小日向地区遺跡群

―県営農村振興総合整備事業（田園居住空間整備）小日向地区
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―

《第１分冊　本文・図版編１》

２０１０

群馬県安中市教育委員会

遠丸遺跡・遠地谷戸遺跡遠景（東より）　手前に天皇塚古墳

壱丁田Ⅱ遺跡遠景（西より）

口絵 2

田中遺跡Ａ区・Ｂ区全景（上が南）

田中西遺跡（K1 18年度調査）全景（上が西）

田中西遺跡（K5 19年度調査）遠景（東より）

田中西遺跡（K5 19年度調査）C区全景（上が北）

口絵４

上新浜遺跡全景（上が南西）

瀧１号古墳出土人物埴輪

序

安中市松井田町小日向地区は、碓氷川の支流である九十九川左岸に位置しています。九十九川左岸の下位段丘上は、小規模な谷地が幾筋か存在するものの、比較的緩やかな地形が広がっており、主に水田耕作に利用されています。一方、長者久保・上野丘陵の末端ともいえる上位段丘上も緩やかな丘陵地帯となっており、畑地が広く展開しています。周辺には古墳等の遺跡が多く確認されており、九十九川・妙義山を望むこの地が、太古より人々の生活の場となっていたことを示しています。

今回の発掘調査は、下位段丘上の土地改良事業に先立ち平成16年度より実施されました。４年間にわたる発掘調査の結果、縄文時代から平安時代までの住居址326軒、古墳10基等が確認されました。中でも、弥生時代後期の住居址は約180軒確認されており、当時の中心的集落がこの地に営まれていたことが分かりました。また、琴平山古墳からは県内３例めとなる石見型盾が出土しました。本報告書は、このような貴重な調査成果をまとめたものです。本書が、学術分野に寄与し、郷土資料として幅広く活用していただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、発掘調査・整理作業に参加された方々、ご教示・ご協力をいただきました方々及び機関に、心より感謝申し上げ序といたします。

平成22年３月

安中市教育委員会

教育長　中澤　四郎

例　言

1　本書は西部県民局西部農業事務所が実施した「県営農村振興総合整備事業（田園居住空間整備）小日向地区」に伴う小日向遠地谷戸遺跡、小日向遠丸遺跡、小日向瀧遺跡、小日向壱丁田遺跡、小日向壱丁田Ⅱ遺跡、小日向田中遺跡、小日向田中西遺跡、小日向白山遺跡、小日向上新浜遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。本文中の遺跡名は、小日向を略している場合もある（例、小日向遠地谷戸遺跡→遠地谷戸遺跡）。

2　遺跡は安中市松井田町小日向遠地谷戸・遠丸・瀧・壱丁田・田中・田中西・白山・上新浜地内に所在する。

3　調査は群馬県の委託を受けて、安中市教育委員会（平成18年３月の合併以前は松井田町教育委員会）が実施した。調査の一部を、平成16年度は埋蔵文化財発掘調査協同組合・㈲毛野考古学研究所に、17年度は山武考古学研究所・㈲毛野考古学研究所にそれぞれ委託した。平成18年度～21年度は安中市教育委員会直営で実施し、壁伸明・千田茂雄・深町真が担当した。

4　費用は原因者である群馬県が負担した。また、平成18年度～21年度は、一部を文化財保存国庫補助金・県費補助金により実施している。

5　調査期間　　○発掘調査　平成16年度調査　平成16年６月14日～平成17年１月24日
　　平成17年度調査　平成17年６月１日～平成17年12月９日
　　平成18年度調査　平成18年６月７日～平成19年３月21日
　　平成19年度調査　平成19年４月24日～平成20年３月19日
　　○整理作業　上記の発掘調査期間及び下記の期間に断続的に実施した。
　　平成20年４月21日～平成21年３月19日
　　平成21年４月23日～平成22年３月19日

6　調査区の国家座標取り付け及び測量基準杭の設置は、上毛測量に委託して行った。

7　遺構の写真撮影は壁・千田・深町が行った。

8　遺物接合復元・遺物実測・トレース・観察表作成・遺物写真撮影の一部を、前橋文化財研究所・㈲毛野考古学研究所に委託して行った。

9　出土遺物・資料類は安中市教育委員会が保管している。

10　発掘調査に従事していただいたのは、次の方々である。（敬称略）
　石井俊介　今井保美　岩井英雄　上原上　上原由美　宇佐美璋一　宇佐美八江子　大沢早知子
　大月圭子　鬼形敦子　小野毅　片貝誠二　坂西武　佐藤光美　菅生陽子　須藤利夫　須藤はるの
　高橋武　田川真知　武井澄　武田文吉　多胡わぐり　土屋朝子　戸高久暉　戸塚里子　中里徳子
　長井明　長井三好　櫛島一廣　野口義則　野積一美　萩原今朝治　萩原治枝　橋爪千昭　長谷純則
　廣上良枝　藤巻勝江　堀口千里　町田一男　町田尚子　黛富雄　山本吉輝　湯本久江　湯本雪江
　吉澤栄子　吉田初江

11　本書の編集は壁・千田が行った。執筆は石器に関する部分を井上慎也（安中市教育委員会）が、瀧遺跡・壱丁田Ⅱ遺跡小結を常深尚（毛野考古学研究所）が、それ以外を壁が担当した。

12　遺構図の作成及び遺物実測・トレース等報告書作成は、壁・千田・井上・鬼形敦子・廣上良枝・上

原由美・佐藤光美・中里徳子・藤井みゆきが行った。

13　発掘調査及び整理作業にあたっては、次の方々・機関よりご教示・ご協力をいただいた。(敬称略)

淺間陽　石坂茂　石川日出志　石丸敦史　伊藤順一　上原富次　大木紳一郎　神戸聖語　小高哲茂
小林二三雄　坂口一　坂爪純久　佐野亨介　柴田洋孝　清水豊　関根慎二　早田勉　谷藤保彦
大工原豊　高島英之　土井道昭　長井正欣　林克彦　平野進一　三浦京子　宮田忠洋　山口逸弘
毛野考古学研究所

14　調査組織

平成16年度

教育委員会事務局

教育長	小林一郎	
社会教育課長	伊藤秀樹	
文化財係長	三浦尚明	
指導主事	壁	伸明（調査担当）

平成17年度

教育委員会事務局

教育長	小林一郎	
社会教育課長	伊藤秀樹	
文化財係長	三浦尚明	
指導主事	壁	伸明（調査担当）

平成18年度

教育委員会事務局

教育長	高橋重治	（5月退任）
	中澤四郎	
教育部長	佐藤伸太郎	
学習の森所長	大野孝一	
文化財係長	藤巻正勝	
主査	壁	伸明（調査担当）
主査	蜂須賀まゆみ	
主査	千田茂雄	（調査担当）
主任	深町	真（調査担当）
主任	井上慎也	

平成19年度

教育委員会事務局

教育長	中澤四郎	
教育部長	佐藤伸太郎	
学習の森所長	小島成公	
文化財係長	藤巻正勝	
主査	壁	伸明（調査担当）
主査	蜂須賀まゆみ	
主査	千田茂雄	（調査担当）
主査	深町	真
主査	新井雅彦	
主任	井上慎也	

平成20年度

教育委員会事務局

教育長	中澤四郎	
教育部長	冨沢春寿	（5月退職）
	本多英夫	
学習の森所長	小島成公	
文化財係長	藤巻正勝	
主査	壁	伸明（調査担当）
主査	蜂須賀まゆみ	
主査	千田茂雄	（調査担当）
主査	深町	真
主査	新井雅彦	
主任	井上慎也	

平成21年度

教育委員会事務局

教育長	中澤四郎	
教育部長		
学習の森所長	小島成公	
文化財係長	藤巻正勝	
主査	壁	伸明（調査担当）
主査	蜂須賀まゆみ	
主査	千田茂雄	（調査担当）
主査	深町	真
主任	井上慎也	
主事補	小此木克之	

凡　例

1　遺構実測図の縮尺は基本的に以下のとおりである。

住居址１／80　溝１／100　土坑１／40　ピット１／40　古墳１／100

これら以外については、図中に縮尺を記した。

2　各遺構図方位記号は国家座標の北を表している。

3　遺構断面図、等高線に付した数字は標高を表す。

4　遺物図版中の縮尺は１／４を基本としている。これら以外については、図中に縮尺を記した。

5　図中のスクリーントーンは、以下のものを示している。

焼土・炭化物　赤色塗彩　黒色処理

6　遺構図中の遺物に付した番号は、出土遺物図の遺物番号に対応している。また、遺構図中の●は出土遺物を表している。

7　18年度・19年度調査分における土層注記の記号・略称は次のとおりである。

色調＜：より明るい方向を示す（例　１＜２：１より２の方が明るい）

しまり・粘性　◎：あり　○：ややあり　△：あまりなし　×：なし

混入物　◎：大量　○：多量　△：少量　＊：若干　×：なし

WP：白色粒子　YP（As-YP）：板鼻黄色軽石層　BP（As-BP）：板鼻褐色軽石層

RP：ローム粒子　RB：ロームブロック　B（As-B）：浅間Ｂ軽石

8　遺構図中における柱穴のスクリーントーンは以下の深さを示している。

0～19cm　20～39cm　40～59cm　60cm以上

9　縄文石器及び石材名については、安中市の分類による（大工原1998『中野谷松原遺跡』ほか）。

10　18年度・19年度調査分における出土遺物重量分布図の記号・重量は次のとおりである。

土師器　◯甕　△坏　□高坏　◇甑　▽台付甕　☆その他

須恵器　●甕　▲坏　■羽釜　◆碗　＋皿　×蓋　★その他

重　量　○　１～10ｇ　○　～100ｇ　◯　～1000ｇ

目　次

口　絵
序
例　言
凡　例
目　次

Ⅰ　調査に至る経過 …… 1
Ⅱ　調査の方法と経過 …… 1
1　発掘調査…… 1
2　整理作業…… 2
Ⅲ　遺跡の地理的・歴史的環境 …… 7
1　地理的環境…… 7
2　歴史的環境…… 7
Ⅳ　層　　序 …… 10
1　基本層序…… 10
Ⅴ　遺跡の概要 …… 10
1　概　　要…… 10
Ⅵ　遺構と遺物 …… 19
1　小日向遠地谷戸遺跡…… 19
⑴　概　　要…… 19
⑵　弥生時代～古墳時代前期…… 19
⑶　古墳時代…… 19
小　　結…… 102
2　小日向遠丸遺跡…… 107
⑴　概　　要…… 107
⑵　縄文時代…… 107
⑶　弥生時代…… 107
⑷　古墳時代…… 107
小　　結…… 175
3　小日向瀧遺跡…… 183
⑴　概　　要…… 183
⑵　弥生時代～古墳時代前期…… 183
⑶　古墳時代…… 183
⑷　古　　代…… 183
小　　結…… 270
4　小日向壱丁田遺跡…… 275
⑴　概　　要…… 275
⑵　弥生時代…… 275
⑶　古墳時代…… 275
⑷　古代以降…… 275
小　　結…… 326
5　小日向壱丁田Ⅱ遺跡…… 331
⑴　概　　要…… 331
⑵　縄文時代…… 331
⑶　弥生時代～古墳時代初頭…… 331
⑷　古墳時代…… 331
小　　結…… 418
6　小日向田中遺跡…… 425
⑴　概　　要…… 425
⑵　弥生時代…… 425
⑶　古墳時代…… 425
小　　結…… 510
7　小日向田中西遺跡・白山遺跡…… 515
⑴　概　　要…… 515
⑵　縄文時代…… 515
⑶　弥生時代…… 515
⑷　古墳時代…… 515
⑸　奈良・平安時代…… 516
小　　結…… 739
8　小日向上新浜遺跡…… 749
⑴　概　　要…… 749
⑵　古墳時代…… 749
小　　結…… 761
Ⅶ　成果と問題点 …… 765

抄　　録

挿図目次

第 1 図　小日向地区遺跡群グリッド設定図 …… 3
第 2 図　周辺の遺跡位置図 …… 8
第 3 図　基本土層模式図 …… 10
第 4 図　小日向地区遺跡群遺跡位置図・調査年度 …… 11

遠地谷戸遺跡

第 5 図　小日向遠地谷戸遺跡全体図・グリッド設定図 …… 17
第 6 図　1 号・2 号住居址実測図 …… 20
第 7 図　3 号住居址実測図 …… 21
第 8 図　1 号溝実測図 …… 22
第 9 図　1 ～ 4 号土坑実測図 …… 23
第 10 図　遺物集中地点実測図 …… 23
第 11 図　1 ～ 3 号住居址、1 号溝、包含層、遺構外出土土器実測図 …… 25
第 12 図　1 ～ 3 号住居址実測図 …… 27
第 13 図　4 号・5 号・9 号・11号住居址実測図 …… 28
第 14 図　7 号住居址実測図 …… 29
第 15 図　12号・13号・56号住居址実測図 … 30
第 16 図　14～16号・57号住居址実測図 …… 31
第 17 図　17～19号・23号住居址実測図 …… 32
第 18 図　24号・46号住居址実測図 …… 33
第 19 図　25号・26号・37号住居址実測図 … 34
第 20 図　27号・28号・55号・30号・31号・33号住居址実測図 …… 35
第 21 図　32号・34号・35号住居址実測図 … 36
第 22 図　36号・38号・39号・41号住居址実測図 …… 37
第 23 図　42～44号・47号住居址実測図 …… 38
第 24 図　48号・51号・52号住居址実測図 … 39
第 25 図　49号・58号住居址実測図 …… 40
第 26 図　59号・61号・62号住居址実測図 … 41
第 27 図　8 号・50号・53号住居址実測図 … 42
第 28 図　2 ～ 4 号住居址出土土器実測図 … 49
第 29 図　5 号・9 号・12号住居址出土土器実測図 …… 50
第 30 図　13号・14号住居址出土土器実測図… 51
第 31 図　14号住居址出土土器実測図 …… 52
第 32 図　16号・18号住居址出土土器実測図… 53
第 33 図　18号・19号住居址出土土器実測図… 54
第 34 図　24号住居址出土土器実測図 …… 55
第 35 図　25号・26号・28号・30号住居址出土土器実測図 …… 56
第 36 図　32号住居址出土土器実測図(1) …… 57
第 37 図　32号住居址出土土器実測図(2) …… 58
第 38 図　33～35号住居址出土土器実測図 … 59
第 39 図　36号住居址出土土器実測図 …… 60
第 40 図　38号住居址出土土器実測図 …… 61
第 41 図　41号住居址出土土器実測図 …… 62
第 42 図　43号住居址出土土器実測図 …… 63
第 43 図　49号・58号住居址出土土器実測図… 64
第 44 図　52号・59号・61号住居址出土土器実測図 …… 65
第 45 図　33号・37号土坑出土土器実測図 … 66
第 46 図　37号土坑出土土器実測図 …… 67
第 47 図　37号土坑・遺構外出土土器実測図 …… 68
第 48 図　37号・44号・48号・50号住居址出土土器実測図 …… 69
第 49 図　53号・62号住居址出土土器実測図 …… 70
第 50 図　遠地谷戸遺跡出土石器実測図 …… 80
第 51 図　6 号・10号・20号・21号住居址実測図 …… 81
第 52 図　22号・40号・45号住居址実測図 … 82
第 53 図　29号・60号・63号住居址実測図 … 83
第 54 図　1 ～ 3 号掘立柱建物址実測図 …… 84
第 55 図　1 ～ 9 号・11号・12号・14～19号土坑実測図 …… 85
第 56 図　20～22号・24～31号・33号・37号・41

号土坑実測図 …… 86
第57図　1号・9号・10号・12号・30号・36号・41号溝実測図 …… 87
第58図　6号住居址出土土器実測図 …… 96
第59図　20～22号住居址出土土器実測図 … 97
第60図　29号・40号・45号・60号住居址出土土器実測図 …… 98
第61図　63号住居址、11号土坑、12号溝出土土器実測図 …… 99
第62図　小日向遠地谷戸遺跡における住居址の変遷 …… 103
遠丸遺跡
第63図　小日向遠丸遺跡・天皇塚古墳全体図・グリッド設定図 …… 108
第64図　1～3号・6号住居址実測図 …… 109
第65図　4号・5号・7号・8号住居址実測図 …… 110
第66図　9～11号・15号住居址実測図 …… 111
第67図　12～14号住居址実測図 …… 112
第68図　16号・17号・21号・23号住居址実測図 …… 113
第69図　18～20号・36号・22号・55号住居址実測図 …… 114
第70図　24～27号住居址実測図 …… 115
第71図　28～30号住居址実測図 …… 116
第72図　31～35号住居址実測図 …… 117
第73図　37号・51号・38号・39号住居址実測図 …… 118
第74図　40～42号・53号・54号住居址実測図 …… 119
第75図　43号・52号・44～47号住居址実測図 …… 120
第76図　48号・57号・58号・49号・50号住居址実測図 …… 121
第77図　1～10号・12号・13号・18号・19号・27号土坑実測図 …… 122
第78図　1号・2号・4号・5号・7号住居址出土土器実測図 …… 134
第79図　7～11号住居址出土土器実測図 … 135
第80図　12～15号住居址出土土器実測図 … 136
第81図　16号・17号住居址出土土器実測図… 137
第82図　17～19号・21号住居址出土土器実測図 …… 138
第83図　21～27号住居址出土土器実測図 … 139
第84図　26～29号住居址出土土器実測図 … 140
第85図　30号・31号住居址出土土器実測図… 141
第86図　31号・32号住居址出土土器実測図… 142
第87図　33号・35～37号住居址出土土器実測図 …… 143
第88図　37～40号住居址出土土器実測図 … 144
第89図　41～44号住居址出土土器実測図 … 145
第90図　44号・45号住居址出土土器実測図… 146
第91図　45～47号住居址出土土器実測図 … 147
第92図　47号・48号住居址出土土器実測図… 148
第93図　49号・50号・52～54号・57号住居址出土土器実測図 …… 149
第94図　57号住居址、一括出土土器、30号住居址出土石器実測図 …… 150
第95図　縄文時代・弥生時代遺構外出土土器実測図 …… 166
第96図　遠丸遺跡出土石器実測図 …… 168
第97図　天皇塚古墳実測図 …… 169
第98図　天皇塚古墳遺物分布図、1号墓実測図 …… 170
第99図　天皇塚古墳出土埴輪実測図(1) …… 171
第100図　天皇塚古墳出土埴輪実測図(2) …… 172
第101図　天皇塚古墳出土埴輪・土器実測図 …… 173
第102図　張り出し部を有する竪穴住居址位置図 …… 175
第103図　市内で検出された張り出し住居 … 176
第104図　遠丸遺跡検出非張り出し住居面積別グラフ …… 177
第105図　市内検出張り出し住居面積別グラフ …… 177

瀧遺跡

第106図　小日向瀧遺跡全体図・グリッド設定図 …… 181
第107図　1号・2号・5号・6号住居址実測図 …… 184
第108図　3号・4号住居址実測図 …… 185
第109図　7号住居址実測図 …… 186
第110図　8～10号住居址実測図 …… 187
第111図　11号・12号住居址実測図 …… 188
第112図　13～16号住居址実測図 …… 189
第113図　17～19号・25号住居址実測図 …… 190
第114図　20号・21号住居址実測図 …… 191
第115図　22～24号住居址実測図 …… 192
第116図　26～28号・31号住居址実測図 …… 193
第117図　29号・30号住居址実測図 …… 194
第118図　32号・33号住居址実測図 …… 195
第119図　34号住居址実測図 …… 196
第120図　1号掘立柱建物址実測図 …… 197
第121図　1～3号溝実測図 …… 198
第122図　4号・15号・8号・10号・11号・17号溝実測図 …… 199
第123図　5～9号・12～14号・16号溝実測図 …… 200
第124図　1～4号土坑実測図 …… 201
第125図　1号古墳実測図 …… 202
第126図　1号古墳遺物分布図 …… 203
第127図　2号古墳実測図 …… 204
第128図　遺物集中地点出土土器実測図 …… 211
第129図　2号・3号住居址出土土器実測図… 212
第130図　4号・5号住居址出土土器実測図… 213
第131図　5号住居址出土土器実測図(1) …… 214
第132図　5号住居址出土土器実測図(2) …… 215
第133図　5号住居址出土土器実測図(3) …… 216
第134図　5～8号住居址出土土器実測図 … 217
第135図　8号・12号住居址出土土器実測図… 218
第136図　9号住居址出土柱材実測図 …… 219
第137図　11号・13号住居址出土土器実測図… 220
第138図　13号・15号住居址出土土器実測図… 221
第139図　16～20号・22号・25号住居址出土土器実測図 …… 222
第140図　21号住居址出土土器実測図(1) …… 223
第141図　21号住居址出土土器実測図(2) …… 224
第142図　21号・23号住居址出土土器実測図… 225
第143図　24号住居址出土土器実測図 …… 226
第144図　24号・26～30号住居址出土土器実測図 …… 227
第145図　31～33号住居址出土土器実測図 … 228
第146図　34号住居址出土土器実測図 …… 229
第147図　34号住居址、溝、古墳、一括出土土器実測図 …… 230
第148図　瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(1)… 243
第149図　瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(2)… 244
第150図　瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(3)… 245
第151図　瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(4)… 246
第152図　瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(5)… 247
第153図　瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(6)… 248
第154図　瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(7)… 249
第155図　瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(8)… 250
第156図　瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(9)… 251
第157図　瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(10)… 252
第158図　瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(11)… 253
第159図　瀧1号古墳出土土器実測図 …… 253
第160図　瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(1)… 254
第161図　瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(2)… 255
第162図　瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(3)… 256
第163図　瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(4)… 257
第164図　瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(5)… 258
第165図　瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(6)… 259
第166図　瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(7)… 260
第167図　瀧2号古墳出土円筒埴輪実測図 … 266
第168図　遺構外出土縄文土器実測図 …… 267
第169図　瀧遺跡出土弥生石器実測図 …… 269
第170図　弥生時代後期の竪穴住居形態 …… 271
第171図　弥生後期の土器敷炉 …… 271
第172図　5号住居址出土の櫛描円弧文を施す壺 …… 272

第173図　24号住居址出土の天王山式系土器… 272
第174図　弥生時代後期の異形壺 …… 272
壱丁田遺跡
第175図　小日向壱丁田遺跡全体図・グリッド設定図 …… 276
第176図　１号住居址実測図 …… 277
第177図　２号・４号住居址実測図 …… 278
第178図　３号住居址実測図 …… 279
第179図　５～８号住居址実測図 …… 280
第180図　９号・10号住居址実測図 …… 281
第181図　11～14号住居址実測図 …… 282
第182図　15～18号住居址実測図 …… 283
第183図　19号・20号住居址実測図 …… 284
第184図　21号・24号住居址実測図 …… 285
第185図　25号・26号住居址実測図 …… 286
第186図　27号・28号住居址実測図 …… 287
第187図　29号・30号住居址実測図 …… 288
第188図　31号・34号・35号住居址実測図 … 289
第189図　32号・38号住居址実測図 …… 290
第190図　36号・39号・40号住居址実測図 … 291
第191図　37号・41号・42号住居址実測図 … 292
第192図　１号古墳実測図 …… 293
第193図　１～３号掘立柱建物址実測図 …… 294
第194図　１～６号土坑・１号埋設土器実測図 …… 295
第195図　１～５号溝実測図 …… 296
第196図　１～３号住居址出土土器実測図 … 303
第197図　５～９号住居址出土土器実測図 … 304
第198図　９号・10号・13号・14号住居址出土土器実測図 …… 305
第199図　14号・16号・17号住居址出土土器実測図 …… 306
第200図　16号・17号・19号・20号住居址出土土器実測図 …… 307
第201図　21号・24～27号住居址出土土器実測図 …… 308
第202図　28号住居址出土土器実測図(1) …… 309
第203図　28号住居址出土土器実測図(2) …… 310
第204図　29号・31号住居址出土土器実測図 …… 311
第205図　34～36号住居址出土土器実測図 … 312
第206図　37号・38号・40号住居址出土土器実測図 …… 313
第207図　41号・42号住居址出土土器実測図　314
第208図　壱丁田遺跡出土石器実測図 …… 324
第209図　壱丁田遺跡樽式期住居址面積別グラフ …… 326
壱丁田Ⅱ遺跡
第210図　小日向壱丁田Ⅱ遺跡全体図・グリッド設定図 …… 329
第211図　１号列石実測図 …… 332
第212図　遺構外出土縄文土器実測図 …… 332
第213図　１号列石出土縄文土器実測図 …… 333
第214図　１号・４号住居址実測図 …… 335
第215図　２号・３号・５号住居址実測図 … 336
第216図　６号・７号・８号住居址実測図 … 337
第217図　９号・10号・11号住居址実測図 … 338
第218図　12号・13号住居址実測図 …… 339
第219図　14号・15号住居址実測図 …… 340
第220図　16号・17号・18号・19号住居址実測図 …… 341
第221図　20号・21号・22号住居址実測図 … 342
第222図　23号・24号住居址実測図 …… 343
第223図　１号・２号集石実測図 …… 343
第224図　１号・２号・３号・４号・５号土坑実測図 …… 344
第225図　１号・２号・６号溝実測図 …… 345
第226図　３～５号溝実測図 …… 346
第227図　１号古墳葺石崩落状況実測図 …… 347
第228図　１号古墳実測図(1) …… 348
第229図　１号古墳実測図(2) …… 349
第230図　１号古墳石室実測図 …… 351
第231図　２号古墳実測図 …… 352
第232図　３号古墳実測図 …… 353
第233図　４号古墳実測図 …… 354
第234図　琴平山古墳実測図(1) …… 355

第235図　琴平山古墳実測図(2) …… 357
第236図　１号溝、１・２号土坑、１号配石実測図 …… 358
第237図　１・２・３号住居址出土土器実測図 …… 365
第238図　４・５・６・７・10・12・14号住居址出土土器実測図 …… 366
第239図　９・13号住居址出土土器実測図 … 367
第240図　15号住居址出土土器実測図 …… 368
第241図　15・16・17・21号住居址出土土器実測図 …… 369
第242図　18・20号住居址出土土器実測図 … 370
第243図　20・23号住居址、２号集石、２号土坑、３号溝、調査区一括出土土器実測図 …… 371
第244図　１号古墳出土土器・埴輪実測図 … 377
第245図　２号古墳出土土器実測図 …… 377
第246図　３号古墳出土土器・埴輪実測図 … 378
第247図　４号古墳出土土器実測図 …… 378
第248図　３号溝出土埴輪実測図 …… 378
第249図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(1)… 380
第250図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(2)… 381
第251図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(3)… 382
第252図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(4)… 383
第253図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(5)… 384
第254図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(6)… 385
第255図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(7)… 386
第256図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(8)… 387
第257図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(9)… 388
第258図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(10)… 389
第259図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(11)… 390
第260図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(12)… 391
第261図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(13)… 392
第262図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(14)… 393
第263図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(1)… 394
第264図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(2)… 395
第265図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(3)… 396
第266図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(4)… 397
第267図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(5)… 398
第268図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(6)… 399
第269図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(7)… 400
第270図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(8)… 401
第271図　琴平山古墳出土土器実測図 …… 402
第272図　Ｙ１号・Ｙ２号住居址実測図 …… 410
第273図　Ｙ２号住居址実測図 …… 411
第274図　１号埋設土器、１～３号溝実測図… 412
第275図　壱丁田Ⅱ遺跡（18年度調査分）出土遺物重量分布図 …… 414
第276図　Ｙ１号・Ｙ２号住居址出土土器実測図 …… 415
第277図　Ｙ２号住居址、１号埋設土器実測図 …… 416
第278図　弧状列石 …… 418
第279図　琴平山古墳形象埴輪出土位置図 … 419
田中遺跡
第280図　小日向田中遺跡全体図・グリッド設定図 …… 423
第281図　Ｙ１号・Ｙ８号住居址実測図 …… 426
第282図　Ｙ２号・Ｙ３号・Ｙ20号住居址実測図 …… 427
第283図　Ｙ４号・Ｙ19号住居址実測図 …… 428
第284図　Ｙ５号・Ｙ７号住居址実測図 …… 429
第285図　Ｙ６号・Ｙ９号住居址実測図 …… 430
第286図　Ｙ10号・Ｙ11号住居址実測図 …… 431
第287図　Ｙ12号・Ｙ13号・Ｙ14号・Ｙ17号住居址実測図 …… 432
第288図　Ｙ15号・Ｙ16号住居址実測図 …… 433
第289図　Ｙ18号・Ｙ21号～23号住居址実測図 …… 434
第290図　Ｙ24号～26号住居址実測図 …… 435
第291図　Ｙ27号・Ｙ41号・Ｙ28号住居址実測図 …… 436
第292図　Ｙ29号・Ｙ30号住居址実測図 …… 437
第293図　Ｙ31号・Ｙ40号・Ｙ32号住居址実測図 …… 438
第294図　Ｙ33号・Ｙ34号住居址実測図 …… 439

第295図　Ｙ35号・Ｙ38号・Ｙ39号住居址実測図 …… 440
第296図　Ｙ36号・Ｙ37号住居址実測図 …… 441
第297図　Ｙ42号・Ｙ43号、１号集石実測図… 442
第298図　１号・２号掘立柱建物址、１～３号埋設土器、１・３号土坑実測図 …… 443
第299図　４・７・８・６号土坑、79～82号・90～92号ピット実測図 …… 444
第300図　１号・２号柵列址実測図 …… 445
第301図　１～３号・７～９号溝実測図 …… 446
第302図　４～６号・10号溝実測図 …… 447
第303図　11号・14号・13号・15号溝実測図 …… 448
第304図　田中遺跡出土遺物重量分布図(1) … 468
第305図　田中遺跡出土遺物重量分布図(2) … 469
第306図　田中遺跡出土遺物重量分布図(3) … 470
第307図　田中遺跡出土遺物重量分布図(4) … 471
第308図　田中遺跡出土遺物重量分布図(5) … 472
第309図　田中遺跡出土遺物重量分布図(6) … 473
第310図　田中遺跡出土遺物重量分布図(7) … 474
第311図　田中遺跡出土遺物重量分布図(8) … 475
第312図　Ｙ１号～３号住居址出土土器実測図 …… 476
第313図　Ｙ３号～５号住居址出土土器実測図 …… 477
第314図　Ｙ６号・Ｙ７号住居址出土土器実測図 …… 478
第315図　Ｙ７号住居址出土土器実測図 …… 479
第316図　Ｙ７号～９号住居址出土土器実測図 …… 480
第317図　Ｙ９号～12号住居址出土土器実測図 …… 481
第318図　Ｙ14号～17号住居址出土土器実測図 …… 482
第319図　Ｙ19号・Ｙ20号・Ｙ23号～26号住居址出土土器実測図 …… 483
第320図　Ｙ27号～31号・Ｙ33号住居址出土土器実測図 …… 484
第321図　Ｙ33号～35号住居址出土土器実測図 …… 485
第322図　Ｙ36号・Ｙ37号・Ｙ39号～41号・Ｙ43号住居址、１号柵列址出土土器実測図 …… 486
第323図　埋設土器、グリッド、遺構外出土土器実測図 …… 487
第324図　田中遺跡出土石器実測図(1) …… 498
第325図　田中遺跡出土石器実測図(2) …… 499
第326図　権現塚古墳実測図(1) …… 501
第327図　権現塚古墳実測図(2) …… 502
第328図　権現塚古墳実測図(3) …… 503
第329図　権現塚古墳実測図(4) …… 504
第330図　権現塚古墳実測図(5) …… 505
第331図　権現塚古墳出土鉄製品実測図 …… 506
第332図　権現塚古墳出土金銅製品実測図 … 507
第333図　権現塚古墳出土玉類実測図 …… 508
第334図　円形溝・柵列位置図 …… 510
第335図　４～６溝、１号・２号柵列平面図、１号柵列出土土器実測図 …… 511

田中西・白山遺跡

第336図　小日向田中西遺跡全体図・グリッド設定図(1) …… 517
第337図　小日向白山遺跡全体図・グリッド設定図 …… 517
第338図　Ｊ３号住居址、１号埋設土器実測図 …… 519
第339図　Ｊ３号住居址、１号埋設土器、14号・33号土坑、５号・７号・８号・97号・163号ピット出土土器実測図 …… 520
第340図　遺構外出土土器実測図(1) …… 521
第341図　遺構外出土土器実測図(2) …… 522
第342図　Ｊ３号住居址石器組成 …… 528
第343図　その他遺構、グリッド石器組成 … 529
第344図　Ｊ３号住居址出土石器実測図 …… 530
第345図　グリッド出土石器実測図 …… 531
第346図　Ｈ１号・Ｈ２号住居址実測図 …… 533
第347図　Ｈ３～Ｈ６号住居址実測図 …… 534

第348図　Ｈ７～Ｈ10号住居址実測図 …… 535
第349図　Ｈ11～Ｈ14号住居址実測図 …… 536
第350図　Ｈ15号・Ｈ16号住居址実測図 …… 537
第351図　Ｈ17号・Ｈ18号住居址実測図 …… 538
第352図　Ｈ19Ａ号・Ｈ19Ｂ号住居址実測図 …… 539
第353図　Ｈ20～Ｈ22号住居址実測図 …… 540
第354図　Ｈ23号・Ｈ24号住居址実測図 …… 541
第355図　１～３号掘立柱建物址実測図 …… 542
第356図　１～５号・７号・８号・11号・14号・15号土坑実測図 …… 543
第357図　17～23号・30～34号土坑実測図 … 544
第358図　35～50号土坑実測図 …… 545
第359図　１～８号溝実測図 …… 546
第360図　９号・10号・12号溝、１号竪穴状遺構、１号集石実測図 …… 547
第361図　田中西遺跡出土遺物重量分布図(1)… 570
第362図　田中西遺跡出土遺物重量分布図(2)… 571
第363図　田中西遺跡出土遺物重量分布図(3)… 572
第364図　田中西遺跡出土遺物重量分布図(4)… 573
第365図　白山遺跡出土遺物重量分布図 …… 574
第366図　Ｈ２号・Ｈ４号・Ｈ５号・Ｈ７号・Ｈ12号住居址出土土器実測図 …… 575
第367図　Ｈ14号・Ｈ15号住居址出土土器実測図 …… 576
第368図　Ｈ17号・Ｈ18号・Ｈ19Ａ号住居址出土土器実測図 …… 577
第369図　Ｈ19Ｂ号住居址出土土器実測図 … 578
第370図　Ｈ３号・Ｈ６号・Ｈ８号・Ｈ10号住居址出土土器実測図 …… 579
第371図　Ｈ13号・Ｈ16号住居址、グリッド、遺構外出土土器実測図 …… 580
第372図　Ｈ21～Ｈ24号住居址出土土器実測図 …… 581
第373図　Ｈ20号住居址、遺構外出土土器実測図 …… 582
第374図　小日向田中西遺跡全体図・グリッド設定図(2) …… 589
第375図　Ｃ区２号集石実測図(1) …… 591
第376図　Ｃ区２号集石実測図(2) …… 592
第377図　Ｃ区３号集石実測図(1) …… 593
第378図　Ｃ区３号集石実測図(2) …… 594
第379図　Ｂ区５号集石実測図(1) …… 595
第380図　Ｂ区５号集石実測図(2) …… 596
第381図　Ｆ区６号集石実測図(1) …… 597
第382図　Ｆ区６号集石実測図(2) …… 598
第383図　Ｆ区６号集石実測図(3) …… 599
第384図　Ｆ区６号集石実測図(4) …… 600
第385図　Ｃ区７号集石実測図 …… 601
第386図　Ｃ区８号・11～13号集石実測図 … 602
第387図　Ｃ区１号・９号集石、１号・２号埋設土器実測図 …… 603
第388図　Ｃ区３～８号土坑実測図 …… 604
第389図　Ａ区遺構外、Ｂ区５号集石出土土器実測図 …… 607
第390図　Ｂ区５号集石、Ｃ区１号集石出土土器実測図 …… 608
第391図　Ｃ区２号集石出土土器実測図 …… 609
第392図　Ｃ区２号・３号・７号集石出土土器実測図 …… 610
第393図　Ｃ区７号・８号集石出土土器実測図 …… 611
第394図　Ｃ区10～12号集石、３～５号土坑出土土器実測図 …… 612
第395図　Ｃ区５～８号土坑出土土器実測図 …… 613
第396図　Ｃ区105号・114号・115号ピット、Ｃ区１号埋設土器、Ｃ区遺構外出土土器実測図 …… 614
第397図　Ｃ区遺構外出土土器実測図(1) …… 615
第398図　Ｃ区遺構外出土土器実測図(2) …… 616
第399図　Ｃ区遺構外出土土器実測図(3) …… 617
第400図　Ｃ区遺構外出土土器実測図(4) …… 618
第401図　Ｃ区遺構外、Ｄ区遺構外、Ｅ区遺構外出土土器実測図 …… 619
第402図　Ｆ区６号集石、Ｆ区遺構外出土土器実

測図 …… 620
第403図　Ｃ区２号集石石器組成 …… 641
第404図　Ｃ区３号集石石器組成 …… 642
第405図　Ｂ区５号集石石器組成 …… 643
第406図　Ｆ区６号集石石器組成 …… 644
第407図　Ｃ区７号集石石器組成 …… 645
第408図　Ｃ区その他の縄文遺構石器組成 … 646
第409図　Ｃ区グリッド石器組成 …… 647
第410図　Ｃ区２号集石出土石器実測図(1) … 648
第411図　Ｃ区２号集石出土石器実測図(2) … 649
第412図　Ｃ区２号・３号集石出土石器実測図 …… 650
第413図　Ｃ区３号集石出土石器実測図 …… 651
第414図　Ｂ区５号集石出土石器実測図 …… 652
第415図　Ｆ区６号集石出土石器実測図(1) … 653
第416図　Ｆ区６号集石出土石器実測図(2) … 654
第417図　Ｆ区６号集石出土石器実測図(3) … 655
第418図　Ｆ区６号集石出土石器実測図(4) … 656
第419図　Ｆ区６号集石出土石器実測図(5) … 657
第420図　Ｃ区７号集石、グリッド出土石器実測図 …… 658
第421図　Ｃ区グリッド出土石器実測図(1) … 659
第422図　Ｃ区グリッド出土石器実測図(2) … 660
第423図　Ｃ区・Ｅ区グリッド出土石器実測図(3) …… 661
第424図　Ｃ区２号・３号集石礫グラフ …… 664
第425図　Ｂ区５号・Ｆ区６号集石礫グラフ… 665
第426図　Ｃ区７号集石礫グラフ …… 666
第427図　Ｃ区１号・９号・12号・13号集石礫グラフ …… 667
第428図　Ｃ区８号集石礫グラフ …… 668
第429図　Ｃ区１号礫床墓実測図 …… 669
第430図　グリッド出土土器実測図 …… 670
第431図　遺構外出土土器実測図 …… 670
第432図　Ａ区Ｈ１号、Ｃ区Ｈ２号・Ｈ３号住居址実測図 …… 671
第433図　Ｃ区Ｈ４～Ｈ６号住居址実測図 … 672
第434図　Ｃ区Ｈ７～Ｈ９号住居址実測図 … 673
第435図　Ｃ区Ｈ10～Ｈ12号住居址実測図 … 674
第436図　Ｃ区Ｈ13～Ｈ17号住居址実測図 … 675
第437図　Ｃ区Ｈ18号・Ｈ19号・Ｈ21号住居址実測図 …… 676
第438図　Ｃ区Ｈ20号・Ｈ22号住居址実測図… 677
第439図　Ｃ区Ｈ23号・Ｈ33号・Ｈ24号・Ｈ28号・Ｈ25号・Ｈ26号住居址実測図 …… 678
第440図　Ｃ区Ｈ27号・Ｈ29号、Ｄ区Ｈ30号住居址実測図 …… 679
第441図　Ｅ区Ｈ31号・Ｈ32号、Ｃ区Ｈ39号住居址、Ｃ区１・２号土坑実測図 …… 680
第442図　Ｃ区１号・２号溝実測図 …… 681
第443図　Ｅ区３号溝、Ｃ区10号集石実測図… 682
第444図　田中西遺跡出土遺物重量分布図(1)… 696
第445図　田中西遺跡出土遺物重量分布図(2)… 697
第446図　田中西遺跡出土遺物重量分布図(3)… 698
第447図　田中西遺跡出土遺物重量分布図(4)… 699
第448図　田中西遺跡出土遺物重量分布図(5)… 700
第449図　田中西遺跡出土遺物重量分布図(6)… 701
第450図　Ｈ１～Ｈ３号住居址出土土器実測図 …… 702
第451図　Ｈ３～Ｈ６号住居址出土土器実測図 …… 703
第452図　Ｈ６号・Ｈ７号住居址出土土器実測図 …… 704
第453図　Ｈ７～Ｈ９号住居址出土土器実測図 …… 705
第454図　Ｈ９号・Ｈ10号住居址出土土器実測図 …… 706
第455図　Ｈ11号・Ｈ12号住居址出土土器実測図 …… 707
第456図　Ｈ12号住居址出土土器実測図 …… 708
第457図　Ｈ12～Ｈ15号住居址出土土器実測図 …… 709
第458図　Ｈ15～Ｈ18号住居址出土土器実測図 …… 710
第459図　Ｈ18～Ｈ20号住居址出土土器実測図 …… 711

第460図　H20号住居址出土土器実測図 …… 712
第461図　H20～H22号住居址出土土器実測図 …… 713
第462図　H22号・H23号住居址出土土器実測図 …… 714
第463図　H24～H26号住居址出土土器実測図 …… 715
第464図　H27～H29号・H33号・H39号住居址出土土器実測図 …… 716
第465図　H30号住居址出土土器実測図 …… 717
第466図　H31号・H32号住居址出土土器実測図 …… 718
第467図　H32号住居址、10号集石、1号・2号溝、C区一括出土土器実測図 …… 719
第468図　1号溝、3号土坑、A区一括、C区・E区グリッド、K5一括、遺構外出土土器実測図 …… 720
第469図　田中西遺跡、グリッド出土時期別土器重量組成 …… 739
第470図　田中西遺跡（K1 18年度調査分）縄文土器分布図 …… 740
第471図　田中西遺跡（K5 19年度調査分）縄文土器分布図 …… 741
第472図　田中西遺跡（K5 19年度調査分）H27号住居址、出土土器実測図 …… 744
第473図　加賀塚遺跡1　H48号住居址実測図 …… 744

上新浜遺跡

第474図　A区、B区基本土層 …… 749
第475図　小日向上新浜遺跡全体図・グリッド設定図 …… 750
第476図　A区H34号・H37号、B区H38号住居址実測図 …… 751
第477図　A区H35号・H36号住居址、B区1号土坑実測図 …… 752
第478図　上新浜遺跡出土遺物重量分布図 … 755
第479図　A区H34号・H35号・H36号住居址出土土器実測図 …… 756
第480図　A区H37号・B区H38号住居址出土土器実測図 …… 757
第481図　九十九川流域において出土したS字状口縁台付甕と共伴土器 …… 762

（成果と問題点）

第482図　炉位置による樽式期竪穴住居址分類 …… 768
第483図　類型別住居址主軸方向 …… 769
第484図　小日向地区遺跡群樽式期住居址面積別グラフ …… 770
第485図　K1 H6号住居址出土墨書土器実測図 …… 771
第486図　小日向地区遺跡群出土の弥生時代石器集成 …… 774

表目次

第1表　縄文時代石器器種分類表 …… 5
第2表　縄文時代石器石材分類表 …… 6
第3表　周辺の遺跡一覧 …… 9

遠地谷戸遺跡

第4表　1～3号住居址、1～4号土坑、1号溝土層注記 …… 24
第5表　1～3号住居址、1号溝、包含層、遺構外出土土器観察表 …… 26
第6表　1～5号・7号・9号・11号住居址土層注記 …… 43
第7表　7号・12～14号・16号・56号・57号住居址土層注記 …… 44
第8表　17号・18号・23～26号・28号・30号・31号住居址土層注記 …… 45
第9表　32号・33号・35号・38号・41号・42号住居址土層注記 …… 46
第10表　43号・47号・49号・51号・52号・58号住居址土層注記 …… 47

第 11 表　59号・61号住居址土層注記 …… 48
第 12 表　２～５号・９号・12号住居址出土土器観察表 …… 71
第 13 表　13号・14号・16号・18号住居址出土土器観察表 …… 72
第 14 表　18号・19号・24～26号・28号住居址出土土器観察表 …… 73
第 15 表　30号・32号・33号住居址出土土器観察表 …… 74
第 16 表　34～36号住居址出土土器観察表 … 75
第 17 表　38号・41号・43号住居址出土土器観察表 …… 76
第 18 表　43号・49号・52号・58号・59号住居址出土土器観察表 …… 77
第 19 表　59号・61号住居址、33号・37号土坑、遺構外、37号・44号住居址出土土器観察表 …… 78
第 20 表　48号・50号・53号・62号住居址出土土器観察表 …… 79
第 21 表　６号・８号・10号・20～22号住居址土層注記 …… 88
第 22 表　22号・29号・37号・39号・40号・44号・45号住居址土層注記 …… 89
第 23 表　45号・48号・50号・53号・60号・62号住居址土層注記 …… 90
第 24 表　63号住居址、５号・24～27号・30号土坑、10号・12号・28号溝土層注記 …… 91
第 25 表　30号溝土層注記 …… 92
第 26 表　遠地谷戸遺跡遺構観察表(1) …… 93
第 27 表　遠地谷戸遺跡遺構観察表(2) …… 94
第 28 表　遠地谷戸遺跡遺構観察表(3) …… 95
第 29 表　６号・20～22号住居址出土土器観察表 …… 100
第 30 表　29号・40号・45号・60号・63号住居址、11号土坑、12号溝出土土器観察表 …… 101

遠丸遺跡

第 31 表　１号・２号・５～10号住居址土層注記 …… 123
第 32 表　11～13号・15号住居址土層注記 … 124
第 33 表　13号・16号・17号・21号住居址土層注記 …… 125
第 34 表　23号・18～20号住居址、４号・３号溝土層注記 …… 126
第 35 表　22号・25～29号住居址土層注記 … 127
第 36 表　29～32号住居址土層注記 …… 128
第 37 表　32～34号・37号・38号・40号・41号・53号住居址土層注記 …… 129
第 38 表　53号・54号・46～48号・57号住居址土層注記 …… 130
第 39 表　57号・50号住居址、12号・18号・19号・27号土坑土層注記 …… 131
第 40 表　遠丸遺跡遺構観察表(1) …… 132
第 41 表　遠丸遺跡遺構観察表(2) …… 133
第 42 表　１号・２号・４号・５号・７号住居址出土土器観察表 …… 151
第 43 表　８～11号住居址出土土器観察表 … 152
第 44 表　12～14号住居址出土土器観察表 … 153
第 45 表　15～17号住居址出土土器観察表 … 154
第 46 表　17～19号・21号住居址出土土器観察表 …… 155
第 47 表　21～27号住居址出土土器観察表 … 156
第 48 表　26～28号住居址出土土器観察表 … 157
第 49 表　28～32号住居址出土土器観察表 … 158
第 50 表　32号・33号・35～37号住居址出土土器観察表 …… 159
第 51 表　37～39号住居址出土土器観察表 … 160
第 52 表　39～44号住居址出土土器観察表 … 161
第 53 表　44～46号住居址出土土器観察表 … 162
第 54 表　47号・48号住居址出土土器観察表　163
第 55 表　48～50号住居址出土土器観察表 … 164
第 56 表　52～54号・57号住居址、一括出土土器、30号住居址出土石器観察表 …… 165
第 57 表　遺構外出土縄文土器・弥生土器観察表 …… 167
第 58 表　天皇塚古墳出土埴輪観察表(1) …… 173

第 59 表　天皇塚古墳出土埴輪観察表(2) …… 174
第 60 表　天皇塚古墳出土埴輪・土器観察表… 174
第 61 表　市内で検出された張り出し住居観察表
…… 176

瀧遺跡

第 62 表　1 ～ 4 号・ 7 号・ 8 号住居址土層注記
…… 205
第 63 表　12～14号・17号・20～23号・26号住居址土層注記 …… 206
第 64 表　28号・31～34号住居址、1 号・ 2 号溝土層注記 …… 207
第 65 表　3 号・ 5 号・ 6 号・ 9 号・13号溝、1 号古墳土層注記 …… 208
第 66 表　瀧遺跡遺構観察表(1) …… 209
第 67 表　瀧遺跡遺構観察表(2) …… 210
第 68 表　遺物集中地点、2 号・ 3 号住居址出土土器観察表 …… 231
第 69 表　3 ～ 5 号住居址出土土器観察表 … 232
第 70 表　5 号住居址出土土器観察表(1) …… 233
第 71 表　5 号住居址出土土器観察表(2) …… 234
第 72 表　5 ～ 9 号・11号住居址出土土器観察表
…… 235
第 73 表　12号・13号・15号住居址出土土器観察表 …… 236
第 74 表　15～21号住居址出土土器観察表 … 237
第 75 表　21号住居址出土土器観察表 …… 238
第 76 表　21～24号住居址出土土器観察表 … 239
第 77 表　25～32号住居址出土土器観察表 … 240
第 78 表　33号・34号住居址出土土器観察表… 241
第 79 表　34号住居址、溝、古墳、遺構外出土土器観察表 …… 242
第 80 表　瀧 1 号古墳出土円筒埴輪観察表(1)… 260
第 81 表　瀧 1 号古墳出土円筒埴輪観察表(2)… 261
第 82 表　瀧 1 号古墳出土円筒埴輪観察表(3)… 262
第 83 表　瀧 1 号古墳出土円筒埴輪観察表(4)… 263
第 84 表　瀧 1 号古墳出土土器観察表 …… 264
第 85 表　瀧 1 号古墳出土形象埴輪観察表(1)… 264
第 86 表　瀧 1 号古墳出土形象埴輪観察表(2)… 265
第 87 表　瀧 1 号古墳出土形象埴輪観察表(3)… 266
第 88 表　瀧 2 号古墳出土円筒埴輪観察表 … 266
第 89 表　遺構外出土縄文土器観察表 …… 267
第 90 表　瀧遺跡出土弥生石器組成表 …… 268
第 91 表　瀧遺跡出土弥生石器観察表 …… 270

壱丁田遺跡

第 92 表　1 ～ 3 号・ 5 ～ 8 号住居址土層注記
…… 297
第 93 表　9 号・19～21号・24号・25号・27号住居址土層注記 …… 298
第 94 表　30号・31号・35号・37～39号・42号住居址、 1 号古墳土層注記 …… 299
第 95 表　1 号溝、 3 号・ 4 号土坑土層注記… 300
第 96 表　壱丁田遺跡遺構観察表(1) …… 301
第 97 表　壱丁田遺跡遺構観察表(2) …… 302
第 98 表　1 ～ 3 号・ 5 号住居址出土土器観察表
…… 315
第 99 表　6 ～10号・13号住居址出土土器観察表
…… 316
第100表　14号・16号・17号住居址出土土器観察表 …… 317
第101表　19～21号・24号・25号住居址出土土器観察表 …… 318
第102表　25～28号住居址出土土器観察表 … 319
第103表　29号・31号・34～37号住居址出土土器観察表 …… 320
第104表　37号・38号・40～42号住居址出土土器観察表 …… 321
第105表　42号住居址出土土器観察表 …… 322
第106表　壱丁田遺跡出土石器組成表 …… 323
第107表　壱丁田遺跡弥生石器観察表 …… 325

壱丁田Ⅱ遺跡

第108表　遺構外・ 1 号列石出土縄文土器観察表
…… 334
第109表　1 ～ 7 号住居址土層注記 …… 359
第110表　8 ～15号住居址土層注記 …… 360
第111表　16～21号住居址、 1 ～ 4 号溝土層注記
…… 361

第112表　５号溝・１号古墳土層注記 …… 362
第113表　３号・４号古墳、琴平山古墳、１号土坑土層注記 …… 363
第114表　壱丁田Ⅱ遺跡（16年度・17年度調査分）遺構観察表 …… 364
第115表　１・２・３・４・５・６号住居址出土土器観察表 …… 372
第116表　７・９・10・12号住居址出土土器観察表 …… 373
第117表　12・13・14・15号住居址出土土器観察表 …… 374
第118表　15・16・17・18・20号住居址出土土器観察表 …… 375
第119表　21・23号住居址、２号集石、２号土坑、３号溝、調査区一括出土土器観察表 …… 376
第120表　１号古墳出土土器・埴輪観察表 … 379
第121表　２号古墳出土土器観察表 …… 379
第122表　３号古墳出土土器・埴輪観察表 … 379
第123表　４号古墳出土土器観察表 …… 379
第124表　３号溝出土埴輪観察表 …… 379
第125表　琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(1)… 402
第126表　琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(2)… 403
第127表　琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(3)… 404
第128表　琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(4)… 405
第129表　琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(5)… 406
第130表　琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(6)… 407
第131表　琴平山古墳出土形象埴輪観察表(1)… 407
第132表　琴平山古墳出土形象埴輪観察表(2)… 408
第133表　琴平山古墳出土形象埴輪観察表(3)… 409
第134表　琴平山古墳出土土器観察表 …… 409
第135表　Ｙ１号・Ｙ２号住居址土層注記 … 411
第136表　２号古墳、１号埋設土器、３号溝土層注記 …… 413
第137表　壱丁田Ⅱ遺跡（18年度調査分）遺構観察表 …… 413
第138表　Ｙ１号・Ｙ２号住居址、１号埋設土器観察表 …… 417

田中遺跡

第139表　Ｙ１号・Ｙ８号・Ｙ２号住居址土層注記 …… 449
第140表　Ｙ３号・Ｙ20号・Ｙ４号・Ｙ19号住居址土層注記 …… 450
第141表　Ｙ４号・Ｙ５号・Ｙ７号住居址土層注記 …… 451
第142表　Ｙ７号・Ｙ６号・Ｙ９号・Ｙ10号住居址土層注記 …… 452
第143表　Ｙ10号～13号住居址土層注記 …… 453
第144表　Ｙ13号・Ｙ14号・Ｙ17号・Ｙ15号・Ｙ16号住居址土層注記 …… 454
第145表　Ｙ16号・Ｙ18号・Ｙ21号・Ｙ22号住居址土層注記 …… 455
第146表　Ｙ21号～23号・Ｙ27号・Ｙ24号住居址土層注記 …… 456
第147表　Ｙ25号～27号・Ｙ24号・Ｙ41号・Ｙ28号住居址土層注記 …… 457
第148表　Ｙ24号・Ｙ27号・Ｙ41号・Ｙ28号～31号・Ｙ40号住居址土層注記 …… 458
第149表　Ｙ31号～34号住居址土層注記 …… 459
第150表　Ｙ34号・Ｙ35号・Ｙ38号住居址土層注記 …… 460
第151表　Ｙ39号・Ｙ36号・Ｙ37号住居址土層注記 …… 461
第152表　Ｙ42号・Ｙ43号住居址、１号集石、１号掘立、１号・３号土坑土層注記 … 462
第153表　３号・４号・６号・７号土坑、２号柵列、１号・３号溝土層注記 …… 463
第154表　４号・５号・７号・８号・11号・14号溝土層注記 …… 464
第155表　田中遺跡遺構観察表(1) …… 465
第156表　田中遺跡遺構観察表(2) …… 466
第157表　田中遺跡遺構観察表(3) …… 467
第158表　Ｙ１号～４号住居址出土土器観察表 …… 488
第159表　Ｙ４号～７号住居址出土土器観察表 …… 489

第160表　Ｙ７号住居址出土土器観察表 …… 490
第161表　Ｙ８号～12号住居址出土土器観察表 …… 491
第162表　Ｙ14号～17号・Ｙ19号・Ｙ20号・Ｙ23号住居址出土土器観察表 …… 492
第163表　Ｙ23号～29号住居址出土土器観察表 …… 493
第164表　Ｙ30号・Ｙ31号・Ｙ33号・Ｙ34号住居址出土土器観察表 …… 494
第165表　Ｙ35号～37号・Ｙ39号～41号住居址出土土器観察表 …… 495
第166表　Ｙ43号住居址、１号柵列址、埋設土器、グリッド、遺構外出土土器観察表… 496
第167表　田中遺跡出土石器組成表 …… 497
第168表　田中遺跡出土石器計測表 …… 500
第169表　権現塚古墳土層注記 …… 502
第170表　権現塚古墳出土鉄製品、金銅製品、玉類観察表 …… 509

田中西・白山遺跡

第171表　Ｊ３号住居址、１号埋設土器、14号・33号土坑、５号・７号・８号・97号・163号ピット、遺構外出土土器観察表…… 523
第172表　遺構外出土土器観察表(1) …… 524
第173表　遺構外出土土器観察表(2) …… 525
第174表　縄文時代石器観察表 …… 532
第175表　Ｈ１号住居址土層注記 …… 548
第176表　Ｈ２～Ｈ４号住居址土層注記 …… 549
第177表　Ｈ４～Ｈ６号住居址土層注記 …… 550
第178表　Ｈ７～Ｈ９号住居址土層注記 …… 551
第179表　Ｈ９～H11号住居址土層注記 …… 552
第180表　H12～H14号住居址土層注記 …… 553
第181表　H14号・H15号住居址土層注記 … 554
第182表　H16号・H17号住居址土層注記 … 555
第183表　H18号・H19号住居址土層注記 … 556
第184表　H19号住居址土層注記 …… 557
第185表　H19～H21号住居址土層注記 …… 558
第186表　H21号・H22号住居址土層注記 … 559
第187表　H22号・H23号住居址土層注記 … 560
第188表　H23号・H24号住居址、１号土坑土層注記 …… 561
第189表　２～５号・８号土坑土層注記 …… 562
第190表　11号・14号・15号・17～21号土坑土層注記 …… 563
第191表　22号・23号・30～37号土坑土層注記 …… 564
第192表　38号・40号・42号・43号・46～48号・50号土坑、１号溝土層注記 …… 565
第193表　２～10号・12号溝、１号竪穴土層注記 …… 566
第194表　小日向田中西・白山遺跡遺構観察表(1) …… 567
第195表　小日向田中西・白山遺跡遺構観察表(2) …… 568
第196表　小日向田中西・白山遺跡遺構観察表(3) …… 569
第197表　Ｈ２号・Ｈ４号・Ｈ５号・Ｈ７号・H12号・H14号住居址出土土器観察表 …… 583
第198表　H15号・H17号・H18号住居址出土土器観察表 …… 584
第199表　H19号・Ｈ３号・Ｈ６号住居址出土土器観察表 …… 585
第200表　Ｈ６号・Ｈ８号・H10号・H13号・H16号住居址出土土器観察表 …… 586
第201表　H16号住居址、グリッド、遺構外、H21号・H22号住居址出土土器観察表 …… 587
第202表　H23号・H24号・H20号住居址、遺構外出土土器観察表 …… 588
第203表　２号・３号・５～７号・10号・12号集石、２号埋設土器、４号土坑土層注記 …… 605
第204表　５～８号土坑土層注記 …… 606
第205表　遺構外、５号集石出土土器観察表… 621
第206表　５号・１号集石出土土器観察表 … 622
第207表　１号・２号集石出土土器観察表 … 623
第208表　２号・３号・７号集石出土土器観察表

…… 624
第209表　７号・８号集石出土土器観察表 … 625
第210表　８号・10～12号集石、３～５号土坑出土土器観察表 …… 626
第211表　６～８号土坑、105号・114号・115号ピット、１号埋設土器、遺構外出土土器観察表 …… 627
第212表　遺構外出土土器観察表(1) …… 628
第213表　遺構外出土土器観察表(2) …… 629
第214表　遺構外出土土器観察表(3) …… 630
第215表　遺構外出土土器観察表(4) …… 631
第216表　遺構外出土土器観察表(5) …… 632
第217表　遺構外出土土器観察表(6) …… 633
第218表　遺構外、６号集石出土土器観察表… 634
第219表　縄文時代石器観察表(1) …… 662
第220表　縄文時代石器観察表(2) …… 663
第221表　Ｃ区１号礫床墓（４号集石・４号溝）土層注記 …… 670
第222表　グリッド出土土器観察表 …… 670
第223表　遺構外出土土器観察表 …… 670
第224表　Ｈ１～Ｈ４号住居址土層注記 …… 683
第225表　Ｈ４～Ｈ８号住居址土層注記 …… 684
第226表　Ｈ８～H11号住居址土層注記 …… 685
第227表　H11～H14号住居址土層注記 …… 686
第228表　H15～H18号住居址土層注記 …… 687
第229表　H19～H21号住居址土層注記 …… 688
第230表　H20号・H22～H24号・H28号・H33号住居址土層注記 …… 689
第231表　H24～H29号住居址土層注記 …… 690
第232表　H29～H32号住居址土層注記 …… 691
第233表　H32号・H39号住居址、１～３号土坑、１号溝土層注記 …… 692
第234表　２号・３号溝土層注記 …… 693
第235表　小日向田中西遺跡遺構観察表(1) … 694
第236表　小日向田中西遺跡遺構観察表(2) … 695
第237表　Ｈ１～Ｈ３号住居址出土土器観察表 …… 721
第238表　Ｈ３～Ｈ５号住居址出土土器観察表 …… 722
第239表　Ｈ６号・Ｈ７号住居址出土土器観察表 …… 723
第240表　Ｈ７～H10号住居址出土土器観察表 …… 724
第241表　H10～H12号住居址出土土器観察表 …… 725
第242表　H12号住居址出土土器観察表 …… 726
第243表　H12～H15号住居址出土土器観察表 …… 727
第244表　H15～H18号住居址出土土器観察表 …… 728
第245表　H18～20号住居址出土土器観察表… 729
第246表　H20号・H21号住居址出土土器観察表 …… 730
第247表　H21・H22号住居址出土土器観察表 …… 731
第248表　H22～H25号住居址出土土器観察表 …… 732
第249表　H25～H27号住居址出土土器観察表 …… 733
第250表　H27～H30号・H33号・H39号住居址出土土器観察表 …… 734
第251表　H30～H32号住居址出土土器観察表 …… 735
第252表　H32号住居址出土土器観察表 …… 736
第253表　H32号住居址、10号集石、１号・２号溝、３号土坑出土土器観察表 …… 737
第254表　グリッド、遺構外、一括出土土器・玉類観察表 …… 738

上新浜遺跡

第255表　Ａ区・Ｂ区基本土層、Ａ区H34号、H35号住居址土層注記 …… 753
第256表　Ａ区H36号・H37号、Ｂ区H38号住居址、Ｂ区１号土坑土層注記 …… 754
第257表　Ａ区H34号・H35号・H36号住居址出土土器観察表 …… 758
第258表　Ａ区H37号・Ｂ区H38号住居址出土土

器観察表 …… 759
第259表　上新浜遺跡遺構観察表 …… 760
（成果と問題点）
第260表　樽式期竪穴住居址（炉位置を把握できるもの）一覧(1) …… 766
第261表　樽式期竪穴住居址（炉位置を把握できるもの）一覧(2) …… 767

Ⅰ　調査に至る経過

安中市松井田町小日向地区は、碓氷川の支流である九十九川左岸に位置している。北方の長者久保・上野丘陵と九十九川との間に立地する同地区には、九十九川支流の幾筋かの小河川が東流または南流し、微妙な高低差のある地形が展開している。そのため、田畑は地形の制約を受け、不整形で小規模なものも多い。また、田畑の間の農道も、軽自動車のみ走行可能な幅員のものが大部分である。現代の大型機械化農業に対応できる基盤整備事業は、時代の当然の流れとも言えよう。

平成15年度、西部農業事務所より、県営農村振興総合整備事業（田園居住空間整備）小日向地区に係る埋蔵文化財の取り扱いに関しての照会が松井田町教育委員会にあった。工事を計画している区域は九十九川左岸の段丘上であり、周知の古墳も数基確認されている場所であった。また、平成５年度には、県道の改修工事に伴い２軒の弥生時代後期住居址が検出され（小日向遠地谷戸遺跡）、周辺には当該期の集落の存在が想定されていた。同地区の広域的遺物詳細分布調査は実施されていなかったため、担当者が工事区域の現地踏査を実施した。結果、当該区域の広範な部分において弥生～古墳時代を中心とする遺物の散布が確認された。そこで、県（西部農業事務所）と町教育委員会で調査について協議した結果、遺物散布が認められた微高地を中心に試掘調査を実施することが決定された。また、試掘調査は開発工事を実施する前年の冬期に行うこととした。そして、試掘調査により遺構が確認された場合、切り土・盛り土等工事の内容変更による遺跡保護は不可能という結論にいたり、道水路・切り土等によって破壊される可能性が高い部分については発掘調査を実施し記録保存を図ることとした。平成16年４月28日、西部農業総合事務所と町教育委員会と締結した契約に基づき、16年度調査を開始した。発掘調査は16年度～19年度にわたり実施し、20年度・21年度は整理作業を行った。

Ⅱ　調査の方法と経過

1　発掘調査

旧松井田町は埋蔵文化財担当職員が１名であったため、大規模発掘調査は民間調査機関へ再委託をして対応していた。本遺跡群の調査においても、16年度・17年度は旧松井田町の従来の方法で民間発掘調査機関へ委託し実施した。平成18年３月、旧松井田町と旧安中市が合併し新安中市が誕生した。以後、発掘調査は旧安中市の方法に則り教育委員会直営調査を原則としているため、18年度・19年度の発掘調査についても同様の方法で実施した。

小日向地区において、過去本発掘調査が実施されたのは、平成５年度の小日向遠地谷戸遺跡発掘調査の１件のみである。この時の調査では、弥生時代後期の竪穴住居址２軒が検出されており、周辺には当該期の集落が展開していると当初から想定された。さらに担当者による遺物分布調査・現地踏査より、九十九川左岸段丘上には、周知の古墳の他にも多数の古墳が存在している可能性が高いことが分かった。これら遺跡地である可能性が高い区域を中心に、工事が実施される前年度の作物収穫後に試掘調査を行い、本調査の範囲を確定した。開発区域の大部分は、耕作されている畑地・水田であったが、本調査を要する部分については地権者に１年間の休耕をお願いし、調査を工事実施年度の前半に行った。

前述のように発掘調査は平成16年度より実施した。遺構測量は光波測量を基本としている。また、遺構の記録写真は、35㎜カラーリバーサルフィルム・白黒フィルム・デジタルカメラ等で撮影を行った。作業風景等も適宜撮影した。合併後の18・19年度調査においては、基本的に旧安中市の調査方法に則り実施している。住居址の遺物については、平面的には１～16区に分割し、各区を覆土の厚さにより上位より１層・２層・３層……と分層し取り上げている。グリッドについては国家座標に取り付け、開発区域全域に一辺50ｍの大グリッドと、それを100に分割した一辺５ｍの小グリッドを設定した。大グリッドはＸ＝36200.000、Ｙ＝－90750.000を北西隅に持つグリッドをＡ１グリッドとし、東方向へはアルファベットでＡ・Ｂ・Ｃ……Ｚ・AA・AB……とし、南方向へは数字で１・２・３……とし、組み合わせて表記した。小グリッドについては、各大グリッドの北西隅から00・01・02……とし、各小グリッドをさらにａ～ｄの４区に分割した（第１図参照）。

２　整理作業

整理作業は、平成16～21年度の間断続的に行った。作業は発掘調査で得られた図面・写真・出土遺物を整理し、各遺構・遺物の状態が客観的に把握できるように資料化することを主目的として実施した。報告書における遺構・遺物の記載方法は、ほぼ通例に準じている。

出土遺物は全て水洗いを行い、小破片を除いて注記した。ただし、古墳出土鉄製品・玉類等、石鏃等の遺物は遺跡名・出土地点等を明記したパッケージに収納した。注記には下記のような略記号を使用した。

遺跡名→小日向遠丸遺跡：OTM、小日向遠地谷戸遺跡：OT、小日向瀧遺跡：OTK、小日向壱丁田遺跡：OI、小日向壱丁田Ⅱ遺跡：OI Ⅱ（16年度・17年度調査分）・K-２（18年度調査分）、小日向田中遺跡：K-３、小日向田中西遺跡：K-１（18年度調査分）・K-５（19年度調査分）、小日向白山遺跡：K-４、小日向上新浜遺跡：K-６、住居跡→H　土坑→D　ピット→P　溝→M　包含層→包　接合・復元は可能な限り行った。接合にはセメダインＣを、復元には必要に応じてエポキシ系樹脂修復剤（バイサム）を用いたが、基本的には補強を目的としているため、必要最小限の復元にとどめている。また、整理作業の効率化を図るため、遺物の水洗・注記・接合・復元・実測・図版作成の一部を㈲毛野考古学研究所・前橋文化財研究所・㈱測研に委託して行った。写真図版作成は朝日印刷㈱に委託した。遺物は客観的に時期や特徴を示すものを優先し掲載している。

縄文時代の石器の整理方法

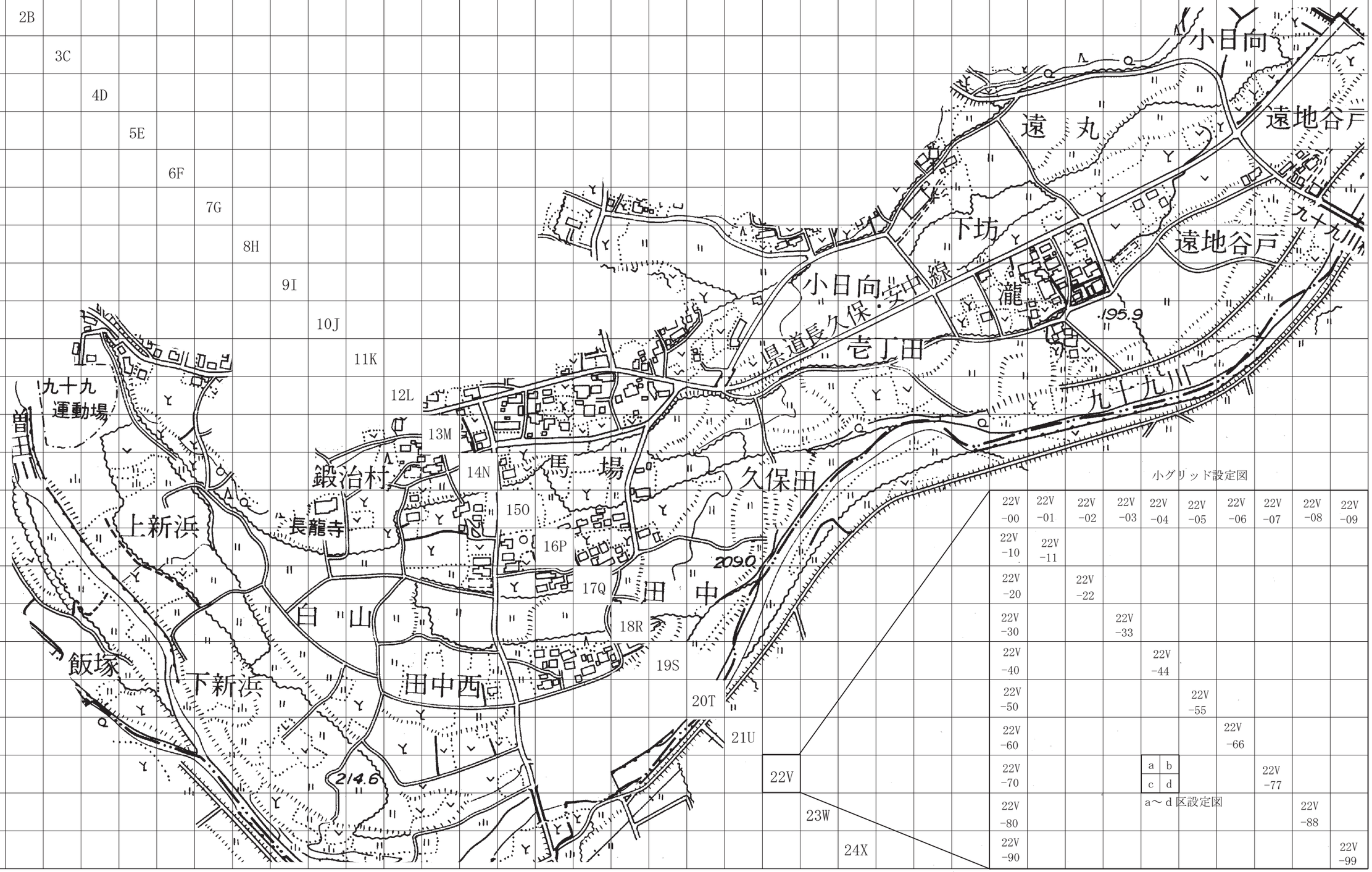
縄文時代の石器は、小日向壱丁田遺跡、田中西遺跡（Ｋ１及びＫ５）において、中期後半から後期後半にかけての遺構及び遺物包含層、古墳時代の住居址覆土から出土した。他の遺跡については、他時期の遺構覆土からの混入によるものが主体で、遺構に伴うものは極めて少ない状態であった。石器の報告は、縄文時代の石器が多数出土し、石器群が把握できる田中西遺跡のみとし、他の遺跡から出土した石器については、概要のみの報告とした。

各遺構出土の石器についても、他時期の混在の可能性もあるため、無理に遺構の時期に帰属させず、遺構出土の石器と遺構外出土の石器に区別し、石器組成の傾向と器種の特徴を示し、他石器群との比較検討が可能となるようにした。石器の分類及び分析方法は、安中市で採用している基準に従った。石器

x=
36200.000

Y=
-907000.000 -906500.000 -906000.000 -905500.000 -905000.000 -904500.000 -904000.000 -903500.000 -903000.000 -902500.000 -902000.000 -901500.000 -901000.000 -900500.000 -900000.000 -899500.000 -899000.000 -898500.000 -898000.000 -897500.000 -897000.000 -896500.000 -896000.000 -895500.000 -895000.000 -894500.000 -894000.000 -893500.000 -893000.000 -892500.000 -892000.000 -891500.000 -891000.000 -890500.000 -890000.000 -889500.000 -889000.000 -888500.000 -888000.000

	1A	1B	1C	1D	1E	1F	1G	1H	1I	1J	1K	1L	1M	1N	1O	1P	1Q	1R	1S	1T	1U	1V	1W	1X	1Y	1Z	1AA	1AB	1AC	1AD	1AE	1AF	1AG	1AH	1AI	1AJ	1AK
36100.000	2A	2B																																			
	3A		3C																																		
36000.000	4A			4D																																	
	5A				5E																																
35900.000	6A					6F																															
	7A						7G																														
35800.000	8A							8H																													
	9A								9I																												
35700.000	10A									10J																											
	11A										11K																										
35600.000	12A											12L																									
	13A												13M																								
35500.000	14A													14N																							
	15A														15O																						
35400.000	16A															16P																					
	17A																17Q																				
35300.000	18A																	18R																		
	19A																		19S																	
35200.000	20A																			20T																
	21A																				21U															
35100.000	22A																					22V														
	23A																						23W													
35000.000	24A																							24X												



小グリッド設定図

22V -00	22V -01	22V -02	22V -03	22V -04	22V -05	22V -06	22V -07	22V -08	22V -09
22V -10	22V -11								
22V -20		22V -22							
22V -30			22V -33						
22V -40				22V -44					
22V -50					22V -55				
22V -60						22V -66			
22V -70				a b / c d			22V -77		
22V -80								22V -88	
22V -90									22V -99

a～d区設定図

第1図　小日向地区遺跡群グリッド設定図

の報告は、石器系列組成、器種組成、石材組成を遺構毎に集計・グラフ化し、遺跡全体の傾向を把握することに努めた。石器実測の選別基準は、遺構出土で完形品を優先し、遺構の特徴が把握できるようにし、遺構外については形態的特徴のあるものとした。なお、田中西遺跡では、石器が敷石住居址及び配石・集石に使用されるものも認められた。（井上　慎也）

石器系列	器種系列(類)	種別	器　種	技術的特徴
打製系列	押圧剥離系列(A類)	石器	石鏃 石錐 石匙A類 スクレイパーA類(ScA) リタッチド・フレイクA類(RFA) 楔形石器 石槍	調整に押圧剥離を多用。
		剥片類	剥片A類 石核A類 原石A類	
	直接打撃系列(B類)	石器	打製石斧 石匙B類 スクレイパーB類(ScB) リタッチド・フレイクB類(RFB)	調整に直接打撃を多用。
		剥片類	剥片B類 石核B類 原石B類	
使用痕系列	形状選択系列(C1類)		凹石 磨石 石皿 球石 部分研磨石器	研磨痕・敲打痕により石器と認識できるもの。
	形状非選択系列(C2類)		敲石 台石 砥石	
複合技術系列	非機能系列(D類)		石棒 棒状礫 槍状石器 多孔石 丸石	直接打撃・敲打・研磨を複合的に用いる。
	機能系列(E類)	石器	磨製石斧	
		剥片類	剥片E類 石核E類 原石E類	
	装身具系列(F類)	石器	垂飾 玦状耳飾 管玉 勾玉 石製円盤 各種石製品 ストーン・リタッチャー	
		剥片類	剥片F類 原石F類	

第1表　縄文時代石器器種分類表

石材系列	石　　材	石材の特徴
Ⅰ類　剥離最適系列	黒曜石 チャート 硬質頁岩 黒色安山岩 めのう・玉随 鉄石英(赤玉・黄玉) 硅質岩 流紋岩(硬質)	硬質で粘度が少ない。 剥片剥離に最も適する。 剥離面は極めて平滑で、エッジは鋭利。
Ⅱ類　剥離適合系列	頁岩類(泥岩・シルト岩) 硬質砂岩 輝緑凝灰岩 ホルンフェルス	多少軟質でやや粘度がある。 剥離に適する。 剥離面はやや平滑で、エッジはやや鋭利。
Ⅲａ類 剥離不適系列	安山岩類 石英閃緑岩	やや軟質で粘度がある。 剥離に不適である。 割れ面は粗面で、エッジは鋭利でない。 耐火性に富む。
Ⅲｂ類 剥離不能系列	砂岩(牛伏砂岩) 凝灰岩	軟質で粘度がない。 剥離に極めて不適である。 割れ面は極めて粗面で、エッジは鈍い。
Ⅳ類　節理系列	結晶片岩類	硬質な部分と軟質な部分があり、粘度はややある。 節理で剥離に方向性があり、やや不適である。 剥離面の鋭利さは方向に左右され一定ではない。
Ⅴ類　緻密質系列	緑色岩類 蛇紋岩 蛇灰岩	緻密質で比較的硬質で、粘度もある。 剥離にあまり適さない。 剥離面は粗面で、エッジはやや鋭利。
Ⅵ類　その他	翡翠 滑石 軽石 礫岩 軟質泥岩 溶岩 石英斑岩 珪化木 石英 緑色凝灰岩(グリーンタフ) 黒雲母流紋岩(下呂石) 斜長石	比較的希少な多種多様な石材。

第２表　縄文時代石器石材分類表

弥生時代の石器の整理方法

小日向遠丸遺跡、小日向遠地谷戸遺跡、小日向壱丁田遺跡、小日向瀧遺跡、小日向田中遺跡では、出土遺物の中に弥生時代の可能性がある石器も混在していることが判明した。ただし、田中遺跡以外は、住居址出土でも覆土一括及び調査時における精度の問題もあり、出土した石器が全て弥生時代に帰属するとは言い難い。したがって、各遺跡で各住居址を中心に弥生時代の石器として認識できたもののみを集計し、遺跡全体の石器組成を示し、石器群の傾向を把握することにした。

弥生時代の石器としたものは、住居址出土を優先して選び出し、縄文石器との型式学的矛盾は無いかを検討してから、弥生時代の石器の可能性が高いものだけとした。少しでも縄文時代の可能性が残るものは、除外している。なお、石器の分類は、安中市で採用している縄文時代の石器分類基準を用い、必要に応じて弥生時代の石器に適用させながら分類をおこなった。　　（井上　慎也）

Ⅲ　遺跡の地理的・歴史的環境

1　地理的環境

安中市松井田町は北西部から南西部にかけて1000mを超える山々に囲まれている。この一帯からは多数の小河川が流出しており、これらは合流を重ねつつ平野部にいたり、碓氷川・九十九川となり、さらに東流する。小日向地区は、九十九川とその支流増田川の合流点東側に位置している。

小日向地区周辺の九十九川左岸は、低位段丘上は水田に、中位段丘上は住宅地・水田・畑地に、そして、長者久保・上野丘陵の末端部分とも言える上位段丘上は畑地に主に利用されている。今回の土地改良事業は、下位段丘～中位段丘の範囲で実施され、主に中位段丘上で集落・古墳等が確認されている。一方、開発地の南には九十九川が流れ、さらにその南には松井田丘陵が並走している。遺跡の所在地は、安中市松井田町小日向字遠地谷戸1161-７他である。遺跡地の西には妙義山・浅間山・長野県境の山々を一望できる。

2　歴史的環境

本遺跡群の周辺では、縄文時代～奈良・平安時代を中心に多くの遺跡が確認されている。それらについて概観する（括弧内数字は第３表及び第２図に対応する）。

本遺跡群（★）の西、細野丘陵の末端部分には国衙遺跡群が所在する。国衙遺跡群を構成する遺跡としては、下増田上田中遺跡（13）・下増田下田中遺跡（14）・国衙森浦朝日遺跡（15）・下増田松原遺跡（12）等があげられる。また、古代律令体制期の官道である東山道は本地域を通過していたとする考えもある。さらに、本遺跡群でも国衙遺跡群でも、多数の古墳の存在が確認されている。

本遺跡群の北西に位置する増田川左岸においては、下増田百石遺跡（18）・下増田下原遺跡（19）・下増田十二平遺跡（20）等が調査されている。南西方向の碓氷川との分水嶺を成す松井田丘陵上には、奈良・平安時代の良好な資料が出土している愛宕山遺跡（21）が存在する。

目を東から南に転じると、九十九川流域においては弥生～古墳時代の大集落である古屋地区遺跡群（29）、同遺跡と一連の集落と考えられる杉名薬師遺跡（28）、奈良・平安時代集落の嶺・下原遺跡（31）、同時期の大型掘立柱建物址が検出された鍛冶ケ嶺遺跡（33）等が確認されている。

また、今回の調査においては多数の６世紀代古墳が確認された。本地区に東接する後閑地区の後閑３号古墳（30）と、西接する下増田地区の下増田上田中１号古墳は、ともに６世紀初頭築造のＴ字型石室を有する古墳である。

第２図　周辺の遺跡位置図

No	遺跡名	所在地	縄文	弥生	古墳	奈・平	備考	参考文献No
1	小日向遠地谷戸遺跡	安中市松井田町小日向1,155-1他		○	○		弥生～古墳時代集落	4
2	小日向遠丸遺跡	安中市松井田町小日向1,252他		○	○		弥生～古墳時代集落	
3	小日向瀧遺跡	安中市松井田町小日向943-3他		○	○		弥生時代集落、古墳	
4	小日向壱丁田遺跡	安中市松井田町小日向821他	○	○	○		弥生時代集落、古墳	
5	小日向田中遺跡	安中市松井田町小日向116他		○	○		弥生～古墳時代集落、古墳	
6	小日向田中西遺跡	安中市松井田町小日向259他	○		○	○	縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代集落	
7	小日向白山遺跡	安中市松井田町小日向456他			○		古墳時代集落	
8	小日向上新浜遺跡	安中市松井田町小日向522他			○		古墳時代集落	
9	天皇塚	安中市松井田町小日向1,188他			○		形象埴輪(馬・人物)出土	
10	琴平山古墳	安中市松井田町小日向857他			○		６世紀前半の前方後円墳	
11	国衙下辻遺跡	安中市松井田町国衙329他		○	○		本書報告遺跡	
12	下増田松原遺跡	安中市松井田町下増田447-1他	○		○	○	縄文時代集落	2
13	下増田上田中遺跡	安中市松井田町下増田554他	○	○	○	○	１号古墳はＴ字形石室を有する	
14	下増田下田中遺跡	安中市松井田町下増田甲360他	○		○	○	平成６年松井田町教育委員会調査	
15	国衙森浦朝日遺跡	安中市松井田町国衙21-1他			○		昭和59～60年松井田町教育委員会調査	
16	下増田天神原遺跡	安中市松井田町下増田996他	○			○	三角壕形土製品出土(表採)	3
17	高梨子椚坂遺跡	安中市松井田町高梨子字椚坂		○			遺物散布地	
18	下増田百石遺跡	安中市松井田町下増田2,763他			○		平成５年松井田町教育委員会調査	
19	下増田下原遺跡	安中市松井田町下増田2,674-1他	○			○	縄文時代、奈良・平安時代集落	5
20	下増田十二平遺跡	安中市松井田町下増田甲2,599				○	平成８年松井田町教育委員会調査	
21	愛宕山遺跡	安中市松井田町松井田1,058他			○	○	古墳～平安時代集落	6
22	高梨子八木田遺跡	安中市松井田町高梨子字八木田		○	○	○	遺物散布地	
23	高梨子柳下遺跡	安中市松井田町高梨子427他				○	As-B 下水田	7
24	高梨子森下遺跡	安中市松井田町高梨子410他	○		○	○	古墳～平安時代集落	7
25	高梨子中貝戸遺跡	安中市松井田町高梨子字中貝戸		○		○	遺物散布地	
26	高梨子三次郎遺跡	安中市松井田町高梨子甲1,117他	○			○	縄文時代、奈良・平安時代集落	8
27	清水Ⅰ～Ⅵ遺跡	安中市原市久昌寺西	○		○	○	縄文時代、奈良・平安時代集落	9
28	杉名薬師遺跡	安中市原市杉名薬師4,013他	○	○	○		縄文時代、弥生時代、古墳時代集落	10
29	高橋遺跡	安中市古屋高橋		○	○		弥生時代後期・５世紀後半・６世紀前半の大規模集落・古墳群	11
30	後閑３号墳	安中市下後閑山王前219			○		６世紀前半の円墳	12
31	嶺・下原・同Ⅱ遺跡	安中市嶺大通連１他			○	○	鍛冶集落	
32	榎木畑遺跡	安中市嶺榎木畑4,164他	○		○	○	縄文時代後半・８世紀前半から10世紀前半の集落	13
33	鍛冶ヶ嶺遺跡	安中市嶺鍛冶ヶ嶺1,402他	○			○	集落・官衙遺構	
34	簗瀬二子塚古墳	安中市簗瀬八幡平756-1他	○		○		前方後円墳	
35	簗瀬首塚・古墳	安中市簗瀬八幡平			○		円墳・板碑群	
36	八幡平Ⅱ遺跡	安中市簗瀬八幡平769他	○				縄文時代中期後半から後期の集落	14
37	広川遺跡	安中市下後閑広川				○	As-B 下水田	
38	鍛冶屋遺跡	安中市下後閑鍛冶屋				○	As-B 下水田	12
39	前原遺跡	安中市安中前原2,305他				○	As-B 下水田	12
40	山王前遺跡	安中市下後閑山王前187-1他				○	As-B 下水田	12
41	宿路遺跡	安中市下後閑宿路１他				○	As-B 下水田	12
42	町浦遺跡	安中市中後閑町浦１他				○	As-B 下水田	12
43	深町遺跡	安中市中後閑深町108他				○	As-B 下水田	
44	芝原遺跡	安中市中後閑芝原1,582他	○		○	○		
45	北野寺遺跡	安中市下後閑北野		○				
46	後閑城遺跡	安中市谷津394						
47	茂木東遺跡	安中市原市茂木東3,192他					館址	
48	榎下城遺跡	安中市原市榎下2,987他						
49	原市東館遺跡	安中市原市下町2,562他					館址	
50	内出砦遺跡	安中市東上秋間上馬場1,813他					館址	15
51	菅沼城遺跡	安中市郷原西下山553他						
52	滝山城遺跡	安中市簗瀬滝山217他						
53	八幡平陣城遺跡	安中市簗瀬八幡平771他					砦	
54	原市城遺跡	安中市簗瀬城山631他						

1 『国衙遺跡群Ⅱ』1992 松井田町教育委員会
2 『下増田松原遺跡』2006 松井田町教育委員会
3 『下増田天神原遺跡』1993 松井田町教育委員会
4 『小日向遠地谷戸遺跡』1994 松井田町教育委員会
5 『下増田下原遺跡』2001 松井田町下増田下原遺跡調査会
6 『愛宕山遺跡』2000 群馬県教育委員会・(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
7 『高梨子地区遺跡群』2008 安中市教育委員会
8 『高梨子三次郎遺跡』1998 松井田町埋蔵文化調査会
9 『清水Ⅰ～Ⅵ遺跡』2007 安中市教育委員会
10 『杉名薬師遺跡』2006 安中市埋蔵文化財発掘調査団
11 『古屋地区遺跡群』2004 安中市教育委員会
12 『九十九川沿岸遺跡群３』1994 安中市教育委員会
13 『榎木畑Ⅱ遺跡発掘調査概要報告書』2006 安中市教育委員会
14 『八幡平Ⅱ遺跡発掘調査報告書』2005 安中市教育委員会
15 『東上秋間遺跡群発掘調査報告書』2003 安中市教育委員会

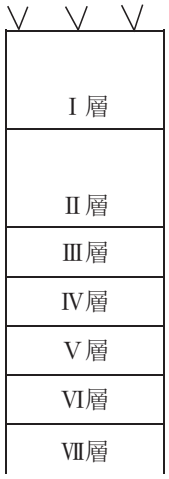
第３表　周辺の遺跡一覧

Ⅳ　層　　序

1　基本層序

本遺跡地の土層は大きく以下の７層に分類できる。

第Ⅰ層　褐灰色土　As-A 混。水田耕作土。粘質。
第Ⅱ層　褐色土　　As-B 混。
第Ⅲ層　明褐色土　As-B 一次堆積。
第Ⅳ層　黒褐色土　粘質。
第Ⅴ層　黒色土　　白色パミスが混入する場合あり。
第Ⅵ層　暗褐色土　しまりあり。
第Ⅶ層　黄褐色土　地山のローム。



第３図　基本土層模式図

本遺跡群の主体をなす弥生時代後期住居址はⅥ層上面付近で確認している。

また、遠地谷戸遺跡（16年度調査分）、天皇塚古墳、瀧遺跡、壱丁田Ⅱ遺跡（16年度・17年度調査分）の報告の中で用いている基本層序は以下のとおりである。

第Ⅰ層　表土
第Ⅱ層　旧耕作土　　As-A 多く含む。酸化。
第Ⅲ層　黒褐色土　　As-B 非常に多く含む。中世の耕作土に比定。
第Ⅳ層　As-B
第Ⅴ層　黒色土　　粘性強い。
第Ⅵ層　灰黄褐色土
第Ⅶ層　黒色土　　As-C 多く含む。
第Ⅷ層　黒色土
第Ⅸ層　黒褐色土
第Ⅹ層　ローム

Ⅴ　遺跡群の概要

1　概　　要

本遺跡群の発掘調査は、平成16年度から19年度までの４年間で実施した。縄文時代中期から平安時代まで、４年間で検出された住居址数は326軒に及ぶ。時代毎の住居址軒数内訳は、縄文時代中期～後期７軒、弥生時代中期～後期180軒、古墳時代129軒、奈良・平安時代10軒である。調査結果からは、各時代毎に居住域が移動している様子が看取できる。即ち、縄文時代中期～後期は田中西遺跡、主体をなす弥生時代後期は、遺跡群の東部から中央部（遠地谷戸遺跡・瀧遺跡・壱丁田遺跡・壱丁田Ⅱ遺跡・田中遺跡）に遺構が集中する。古墳時代住居址は４世紀代のものは遺跡群西端の上新浜遺跡に、５～６世紀代

第４図　小日向地区遺跡群遺跡位置図・調査年度

のものは東部の遠丸遺跡に、６～７世紀代のものは西部の田中西遺跡・白山遺跡に集中する。さらに、奈良・平安時代の住居址も田中西遺跡周辺に集中している。

特徴的な遺構を時代毎に概観する。

縄文時代では、壱丁田遺跡において中期末葉の配石遺構が検出されている。また、田中西遺跡では中期末葉の敷石住居址、後期中葉の敷石住居址・石郭墓が確認された。

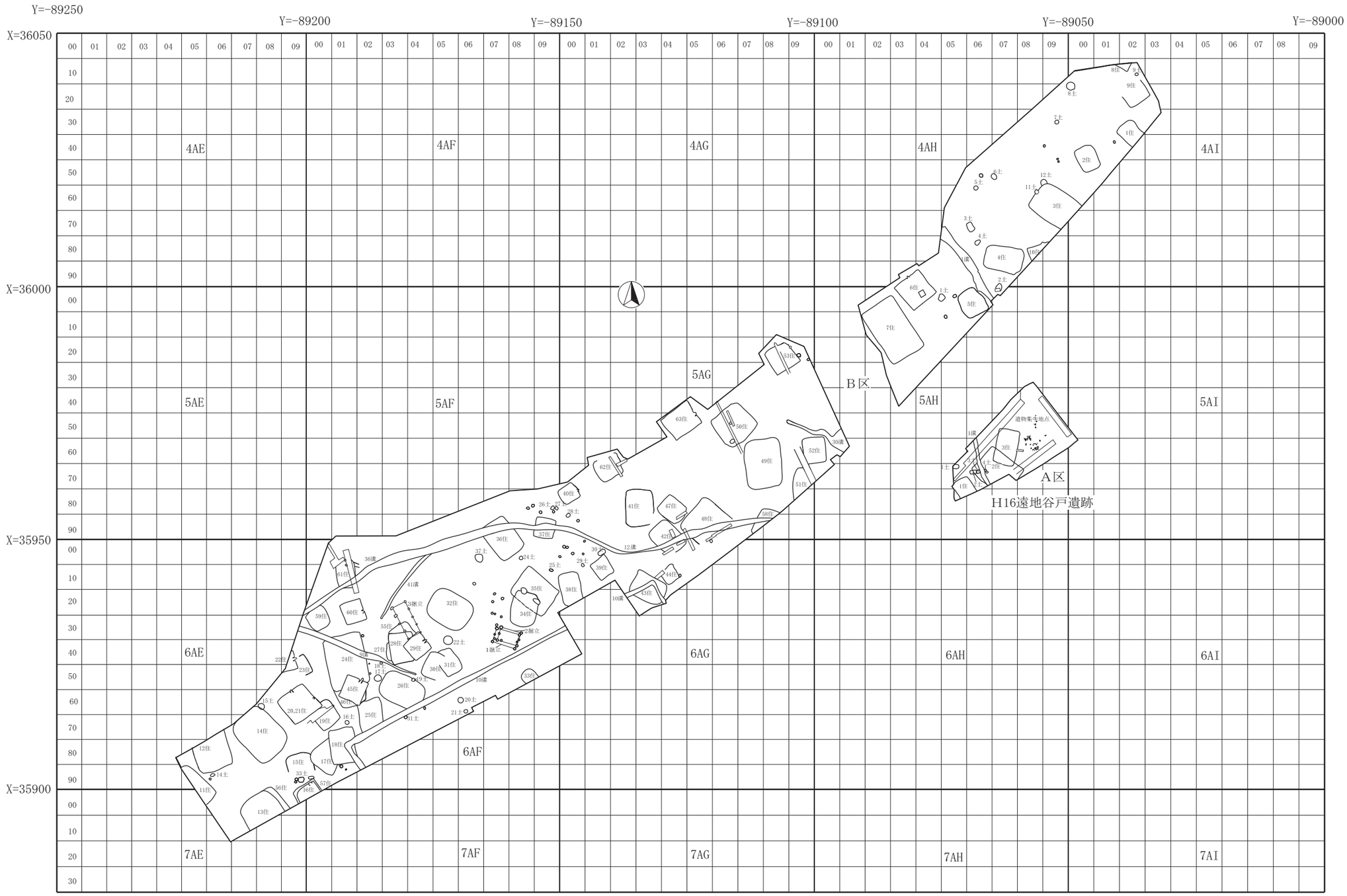
弥生時代では、田中西遺跡において礫床墓が検出された。出土遺物が赤色塗彩された土器片２点のみであり時期の断定は難しいが、周辺からの出土遺物・他遺跡の類例等から、後期の所産である可能性が考えられる。田中遺跡においては、10基の円形溝が検出された（弧状に検出されたものも含む）。この遺構は径10m前後の円形溝底部に、一定間隔にピットが並ぶものであり、遺構確認面によっては、円形柱穴列状を呈する。同遺構の性格については類例もなく不明であるが、弥生時代後期の集落が遺跡群広範に展開する中、田中遺跡においてのみ確認されている点は看過できない。この遺構の築造時期について、出土遺物が少なく断定が難しいが、弥生時代後期～古墳時代前期の可能性が高いと考えられる。

古墳時代では、遠丸遺跡において市内では３例目となる張り出し部を有する住居址が３軒検出された。また、今回の調査においては10基の古墳が調査されたが、６世紀前半の築造と推定されるものも多い。この中で、琴平山古墳は全長50m強の前方後円墳であり、九十九川流域においては最古・最大級であることが確認された。さらに、同古墳・瀧遺跡１号古墳からは、人物・馬・盾等の形象埴輪が多数出土した。特に、琴平山古墳から出土した石見型盾は、県内３例めと考えられる貴重な発見である。

奈良・平安時代では、田中西遺跡において８点の墨書土器が出土した。そのうちの５点は16号住居址からの出土であり、「忠」の文字の墨書が複数点確認されている。

各遺跡の詳細については、次章で遺跡毎に記す。

1　小日向遠地谷戸遺跡



第５図　小日向遠地谷戸遺跡全体図・グリッド設定図

Ⅵ　遺構と遺物

1　小日向遠地谷戸遺跡

⑴　概　　要

平成５年度、県道長者久保・安中線改修工事に伴い２軒の弥生時代後期住居址が調査されており、当初より本遺跡周辺には当該期集落が展開すると想定されていた。本遺跡の北側には、小規模な沢が九十九川に並行するように南西から北東へ流下している。遺跡地はこの沢と九十九川に挟まれた微高地上に位置している。本遺跡の主体をなすのは弥生時代後期～古墳時代初頭の竪穴住居址群である。本遺跡の調査は、平成16年度・17年度の２カ年にわたり実施された。平成16年度に調査をした県道以南をＡ区、17年度調査の県道以北をＢ区と呼称する。調査の結果、Ａ区では弥生時代中期～古墳時代前期住居址３軒、Ｂ区では弥生時代中期後半住居址１軒、弥生時代後期～古墳時代前期住居址49軒、古墳時代後期住居址９軒等が確認された。

なお、平成16年度に周堀の調査を実施した天皇塚古墳（九十九１号墳）は、本遺跡が所在する微高地北東端に位置する。その所在地の小字名は遠地谷戸であり、本遺跡に含まれるものであるが、位置関係より「小日向遠丸遺跡」において報告する。

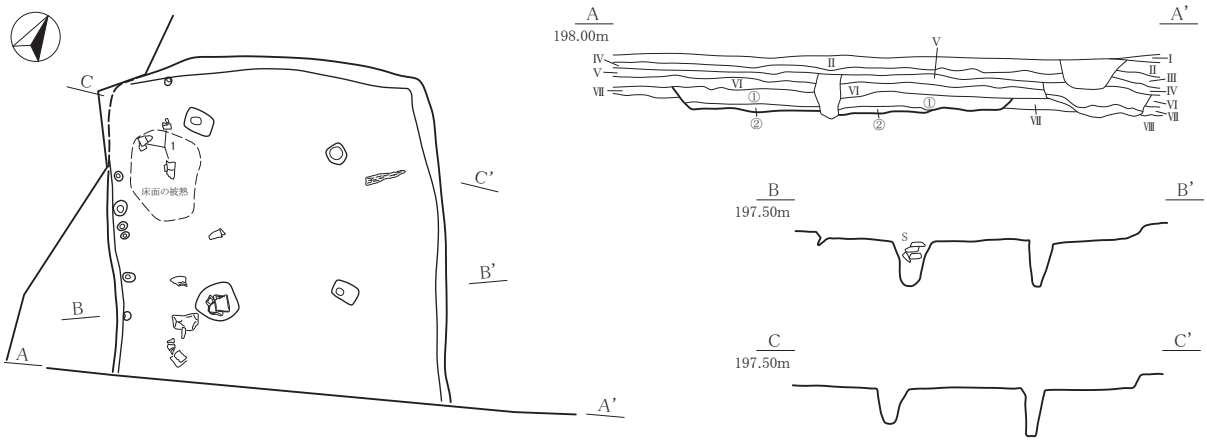
⑵　弥生時代～古墳時代前期

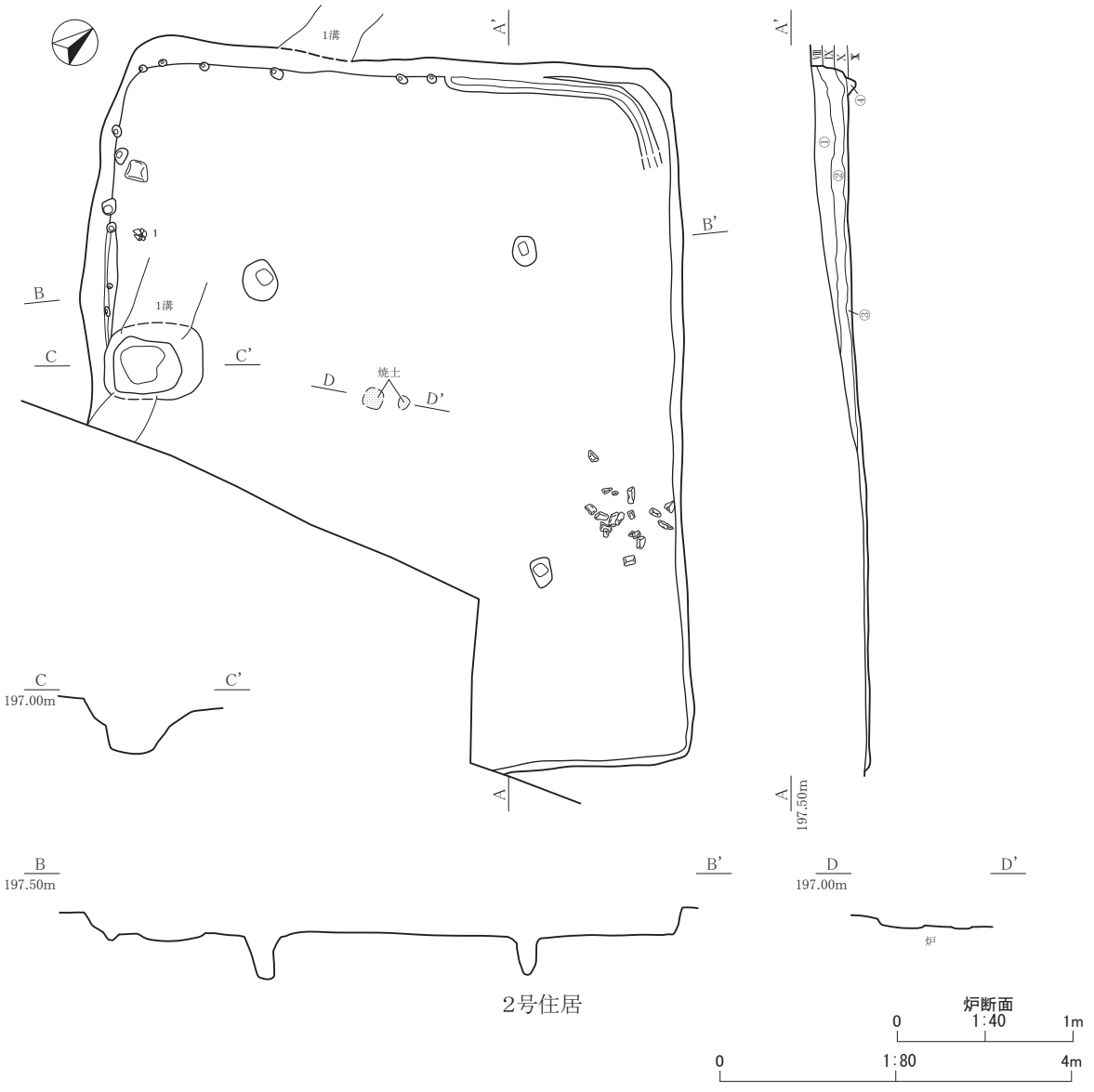
両区合わせて53軒の竪穴住居址が検出された。弥生時代竪穴住居址の大部分は、後期樽式期の所産であり、Ａ区１号住居址とＢ区９号住居址の２軒が中期後半栗林式期所産と考えられる。樽式期竪穴住居址群は、本遺跡より西方の田中遺跡までの広範囲に展開し、大集落を形成している。

⑶　古墳時代

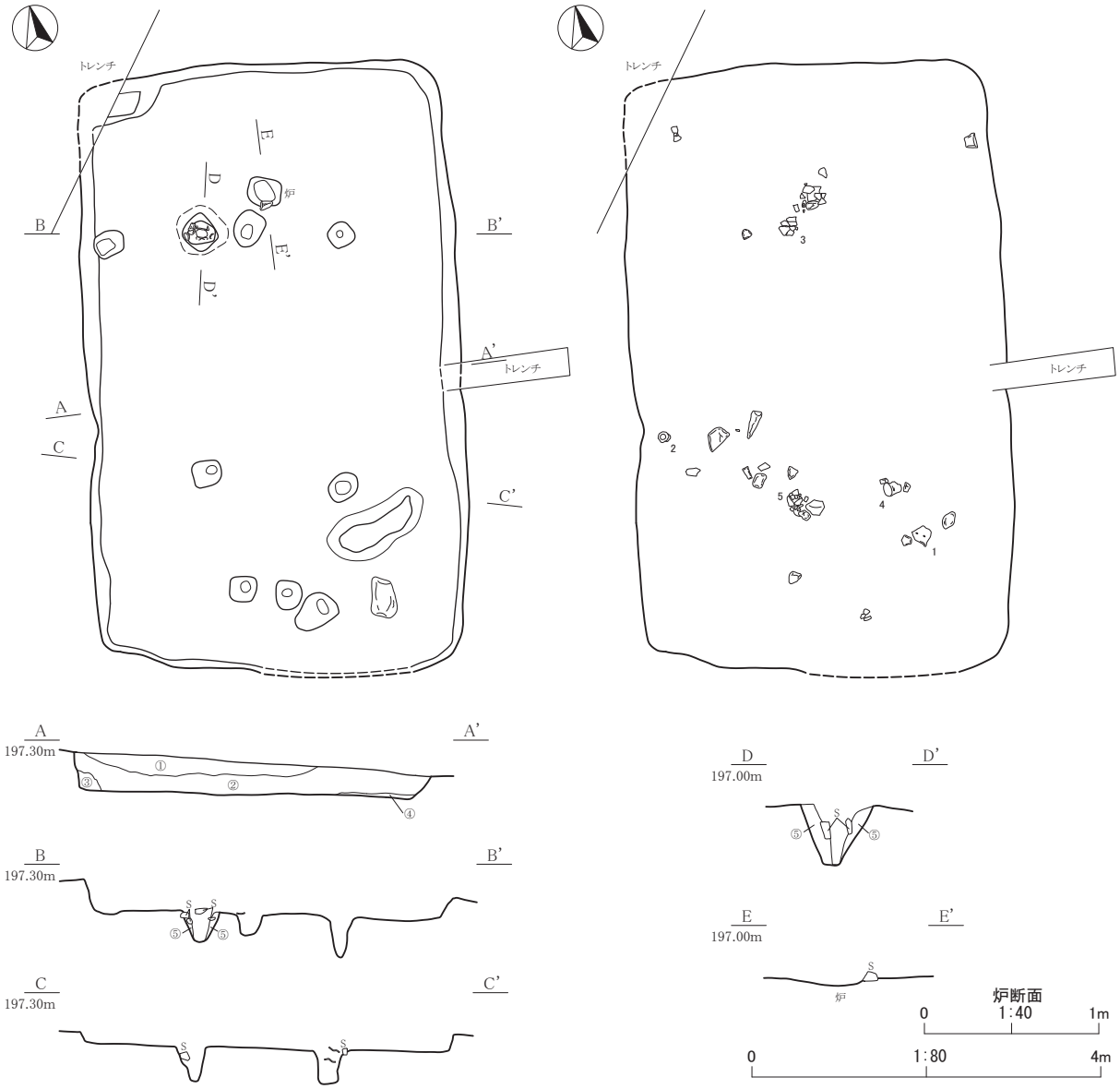
Ｂ区において９軒の後期所産竪穴住居址が検出された。小さな谷地を挟んで北に位置する遠丸遺跡では、後期の竪穴住居址が55軒検出されており、他時期の遺構は確認されていない。しかし、本遺跡では弥生時代後期の竪穴住居址が主体をなし、古墳時代後期の竪穴住居址は散在する程度である。この時期の集落の中心は遠丸遺跡であり、同遺跡と谷を挟んだ台地に立地する本遺跡は、中心集落の縁辺部に疎らに営まれた集落という位置づけになろう。

A区（16年度調査分）

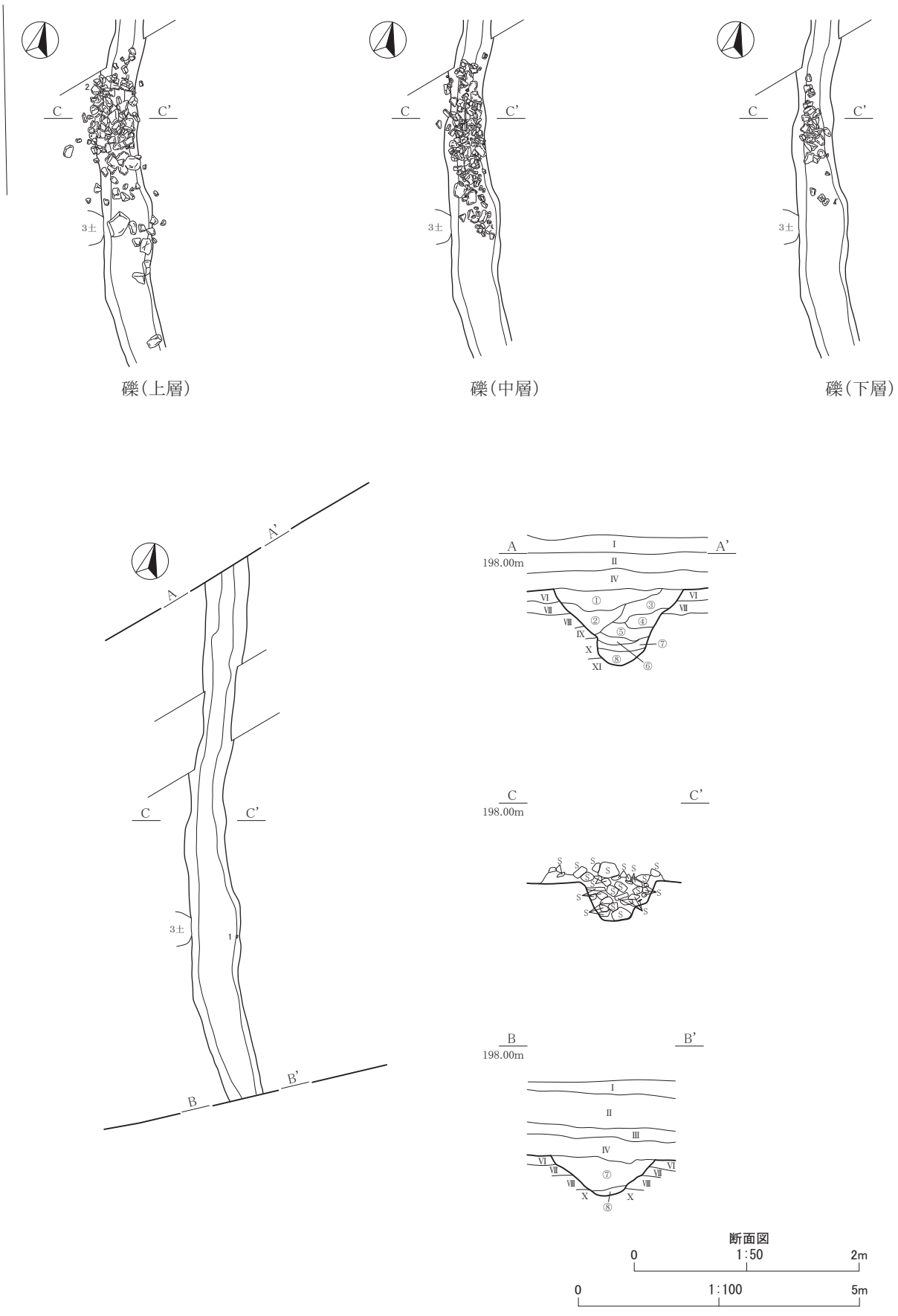




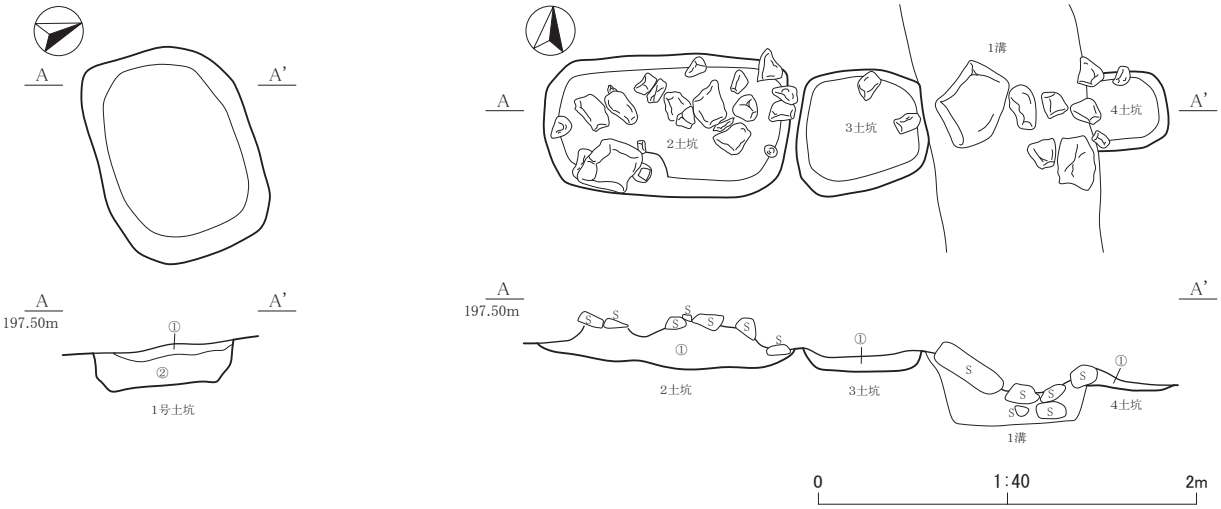
第６図　１号・２号住居址実測図



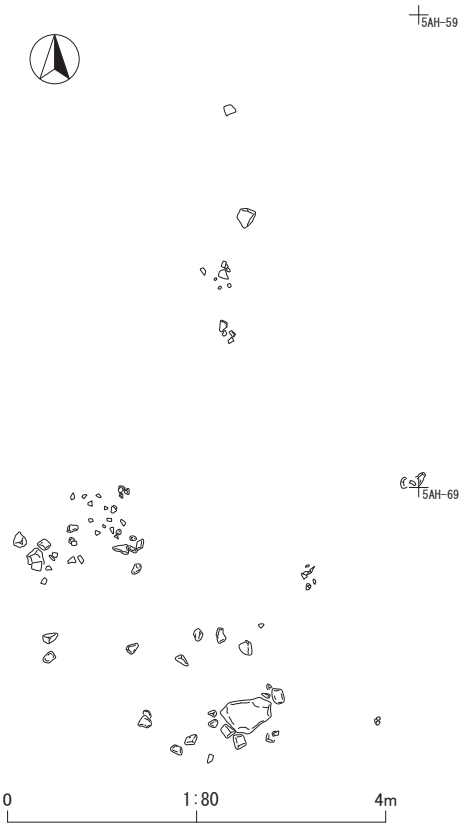
第７図　３号住居址実測図


礫(上層)
礫(中層)
礫(下層)
A
A'
B
B'
C
C'
3土
198.00m
I
II
III
IV
VI
VII
VIII
IX
X
XI
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
S
断面図
0
1:50
2m
0
1:100
5m

第８図　１号溝実測図



第９図　１～４号土坑実測図



第10図　遺物集中地点実測図

1号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	炭化粒・焼土粒少量含む	
2	黒色土	炭化粒・焼土粒多量に含む	

2号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	As-C 軽石・小石多量に含む	
2	黒褐色土	As-C 軽石多量に含む	
3	黒色土	焼土粒多量、As-C 軽石・炭化粒少量含む	
4	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	壁周溝

3号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	土器片多量、ローム粒・炭化粒少量含む	
2	黒褐色土	炭化粒・焼土粒・ローム粒少量含む	
3	黒色土	ローム粒少量含む	粘土質
4	黒褐色土	ローム粒多量、焼土粒少量含む	
5	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	柱穴掘り方

1号土坑

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	As-C 軽石少量含む	
2	暗褐色土	As-C 軽石・炭化粒少量含む	

2号土坑

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	粗砂・小石多量、As-C 軽石少量含む	

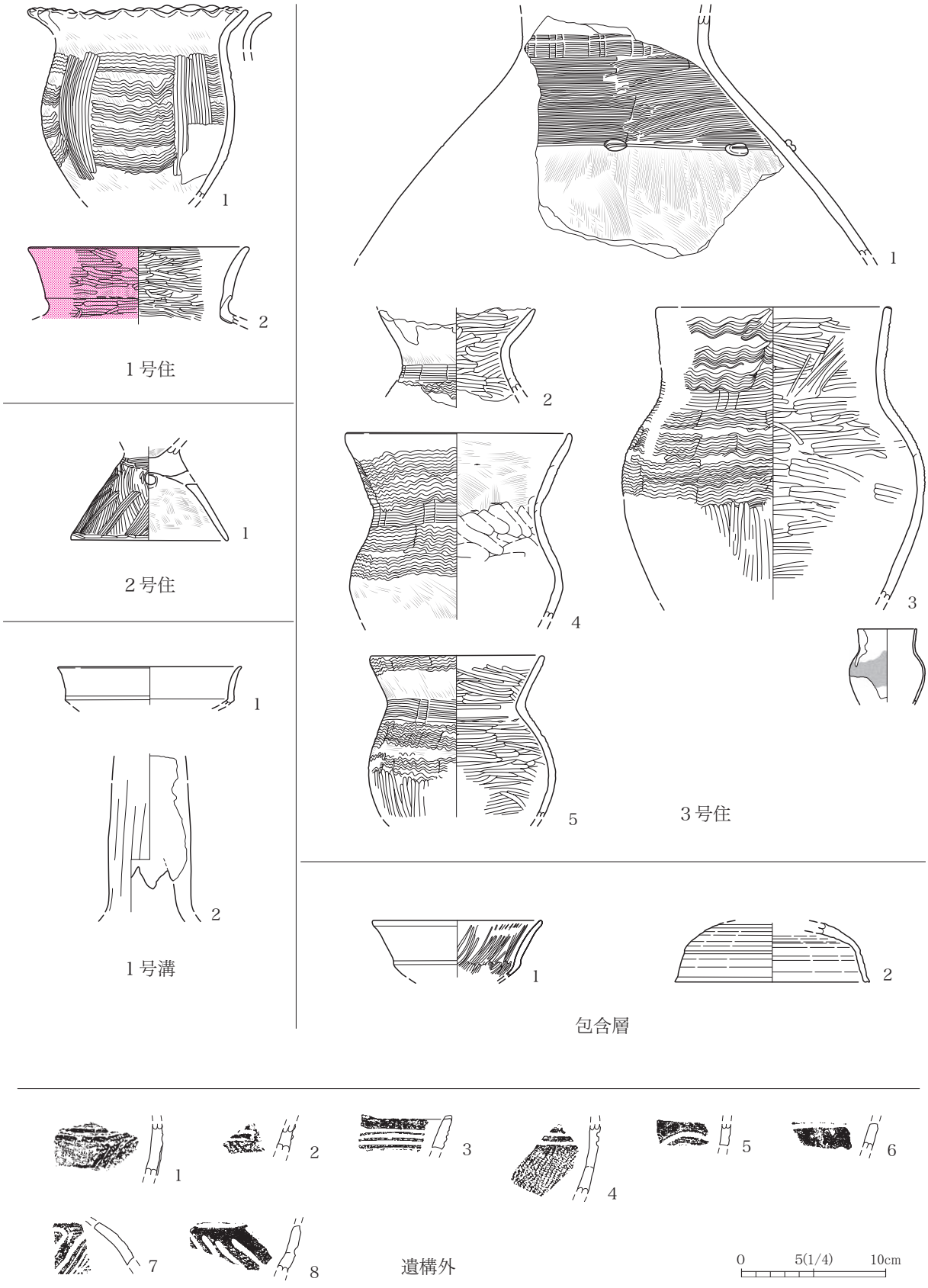
3号土坑・4号土坑

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	灰褐色土	As-C 軽石・粗砂・小石少量含む	

1号溝

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	As-C 軽石・小石多量に含む	
2	黒褐色土	As-C 軽石多量に含む	
3	黒褐色土	As-C 軽石・焼土粒・土器片多量に含む	
4	黒褐色土	As-C 軽石・焼土粒多量に含む	
5	黒褐色土	As-C 軽石・焼土粒多量、小石少量含む	
6	黒褐色土	As-C 軽石・焼土粒・砂利少量含む	
7	黒色土	砂利多量に含む	
8	砂利と小礫		

第4表　1～3号住居址、1～4号土坑、1号溝土層注記



第 11 図　1 ～ 3 号住居址、1 号溝、包含層、遺構外出土土器実測図

1号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 14.9 底径 － 器高 －	①普通②橙色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部 2/3	外面　波状口縁部指圧痕、胴部斜刷毛目→２条１組の櫛描垂下文４カ所(右→左)→５段の波状文(上→下)、櫛歯は６歯/12mm で共通。 内面　波状口縁部指圧痕、胴部斜刷毛目→まばらな横篦磨き。	北西部 床面
2	土師器 壺	口径 (15.0) 底径 － 器高 －	①普通②橙色③チャート・パミスの粗～細砂④口頸部破片	外面　口頸部横刷毛目→赤彩→横篦磨き。 内面　口頸部横刷毛目→横篦磨き。	覆土

2号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	土師器 器台	口径 － 底径 10.7 器高 －	①普通、脚部外面に黒斑②にぶい橙色③チャート・パミスの細砂④脚部	脚部４方に焼成前穿孔。 外面　脚部横刷毛目→斜篦磨き。 内面　脚部斜刷毛目。	西部床面

3号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③石英・チャート・パミスの粗～細砂④頸部～胴部破片	外面　胴部斜刷毛目→頸部３連止簾状文→肩部５～８段の櫛描直線文（上→下、一部波状文）→肩部下端篦描沈線文→楕円形貼付文→貼付文上に篦描沈線、櫛歯は 10 歯/14mm で共通。 内面　頸部～胴部横刷毛目。	南東部 床面
2	弥生土器 壺	口径 (10.6) 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部～肩部	肩部欠損面の整形（倒立土器台に転用）。 外面　口頸部縦刷毛目→口縁部横撫で→頸部等間隔簾状文（８歯/13mm）→肩部波状文。　内面　口頸部横刷毛目→横篦磨き。	西壁沿い 床面
3	弥生土器 甕	口径 (16.1) 底径 － 器高 －	①普通②にぶい褐色③片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部 1/2	口唇部櫛状具による刻み。　外面　頸部３連止簾状文→口縁部３段・肩部４～５段の波状文を重ねる、胴部縦篦磨き、胴部中位にバンド状煤付着。　内面　口縁部～胴部斜刷毛目→横篦磨き。	炉南側 床面
4	弥生土器 甕	口径 15.4 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③片岩・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部中位	外面　口縁部横撫で→頸部～胴部斜刷毛目→頸部 11 分割の２連止簾状文→口縁部２段（下→上）・肩部２段（上→下）の波状文、櫛歯は８歯/15mm で共通。 内面　口縁部～胴部斜刷毛目、頸部指撫で。	柱抜き取り後の南東側 柱穴内
5	弥生土器 台付甕	口径 11.8 底径 － 器高 －	①普通②にぶい赤褐色③角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部中位 3/4	外面　口縁部～胴部斜刷毛目→頸部６分割の２連止簾状文→口縁部１段・肩部２段の波状文、櫛歯は９歯/15mm で共通、全体に被熱。 内面　口縁部～胴部横篦磨き。	南部床面

1号溝

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	土師器 坏	口径 (12.6) 底径 － 器高 －	①普通、無黒斑②橙色③パミス・赤粒の細砂④口縁部～体部の破片	外面　磨滅。 内面　磨滅。	覆土
2	土師器 高坏	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②橙色③石英・チャートの粗～細砂④脚部	外面　脚部縦篦削り。 内面　脚部撫で。	覆土上層

包含層

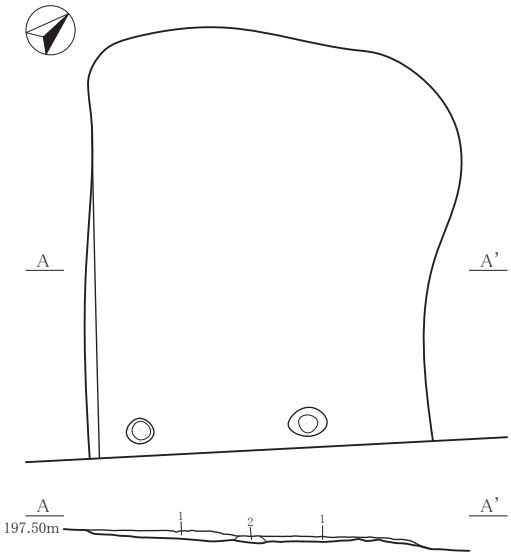
番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	土師器 坏	口径 (11.6) 底径 － 器高 －	①酸化、無黒斑②明赤褐色③雲母・パミス・赤粒の細砂④口縁部～体部の破片	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部～体部縦篦磨き。	包含層
2	須恵器 坏蓋	口径 (13.5) 底径 － 器高 －	①還元②灰色③パミスの粗～細砂④体部～口縁部の破片	外面　天井部回転篦削り、薄く降灰。 内面	包含層

遺構外出土縄文土器

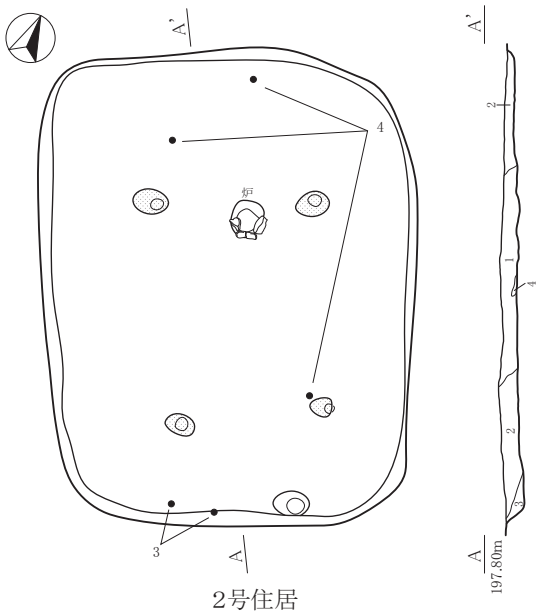
番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	縄文土器 深鉢	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③石英・砂粒④胴部	RL縄文施文後、弧状に浮線を貼付。浮線上にRL縄文を施文。内面は横位のナデ。	5AH-67-09
2	縄文土器 深鉢	口径 － 底径 － 器高 －	①不良②橙色③チャート・白色粒④胴部	RL縄文施文後、浮線を横位に貼付。内面は横位のナデ。	5AH-58-09
3	縄文土器 深鉢	口径 － 底径 － 器高 －	①良好②淡黄色③石英・チャート・砂粒④口縁部	口縁部に小突起。３条の横位沈線。一番上の沈線は口縁部の突起に合わせ、上方に屈曲する。内面は横位のナデ。	5AH-67-24
4	縄文土器 深鉢	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい橙色③チャート・砂粒④頸部～胴部	LR縄文施文後、３条の横位沈線。内面は横位のナデ。	2号住居跡 覆土
5	縄文土器 深鉢	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②橙色③角閃石・砂粒④胴部	弧状の沈線。内面は横位のナデ。	5AH-67-06
6	縄文土器 深鉢	口径 － 底径 － 器高 －	①不良②橙色③角閃石・砂粒④胴部	横位沈線。内面は横位のナデ。	5AH-67-06
7	縄文土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③角閃石・砂粒④胴部	くの字、斜位の太い沈線。斜位の太い沈線の区画内は細い斜位の沈線で充填。内面は横位のナデ。	5AH-67-06
8	縄文土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄褐色③角閃石・砂粒④胴部	横位、斜位の沈線。内面は横位のナデ。	1号住居跡 覆土

第５表　１～３号住居址、１号溝、包含層、遺構外出土土器観察表

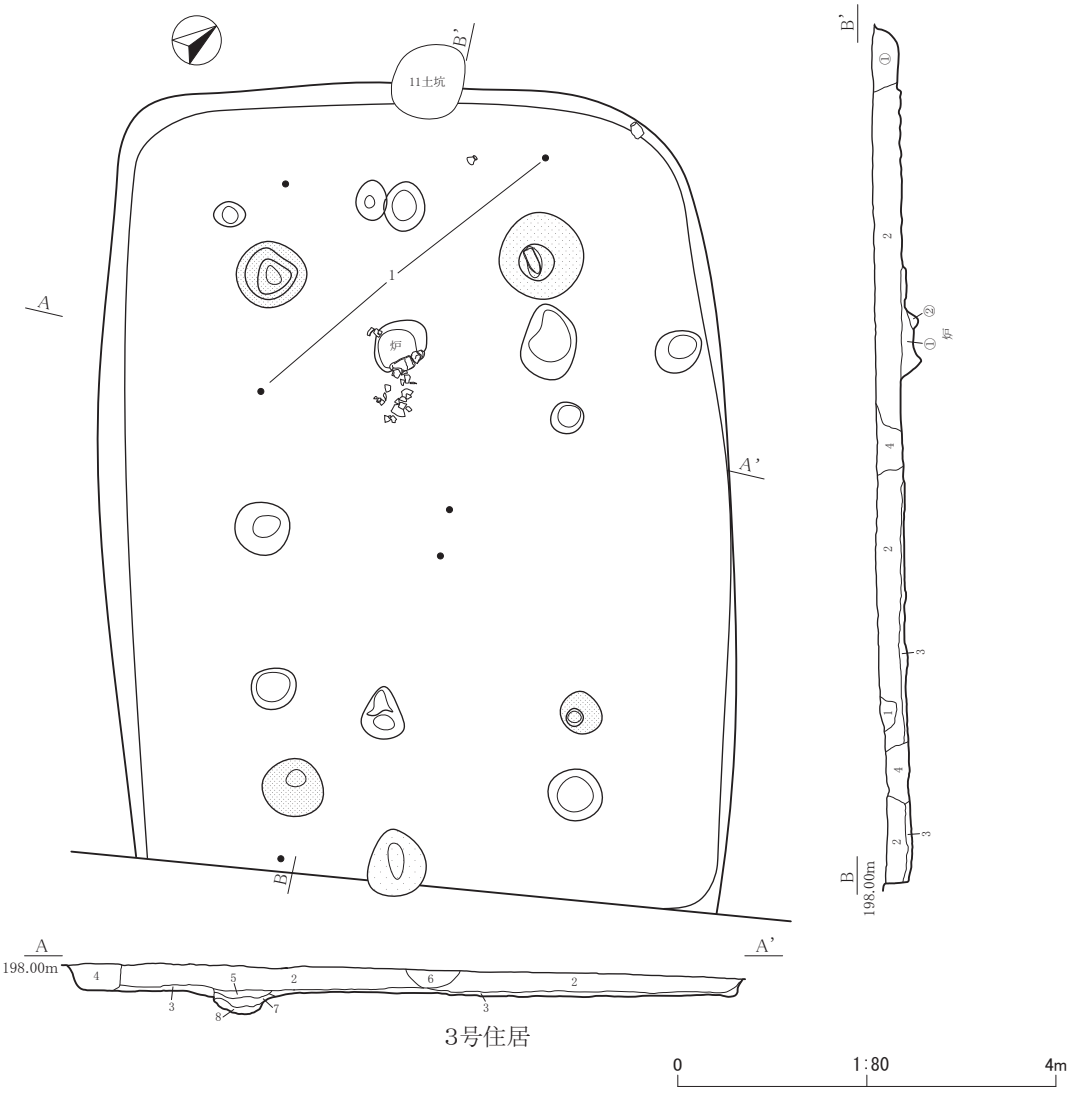
B区(17年度調査分)



1号住居



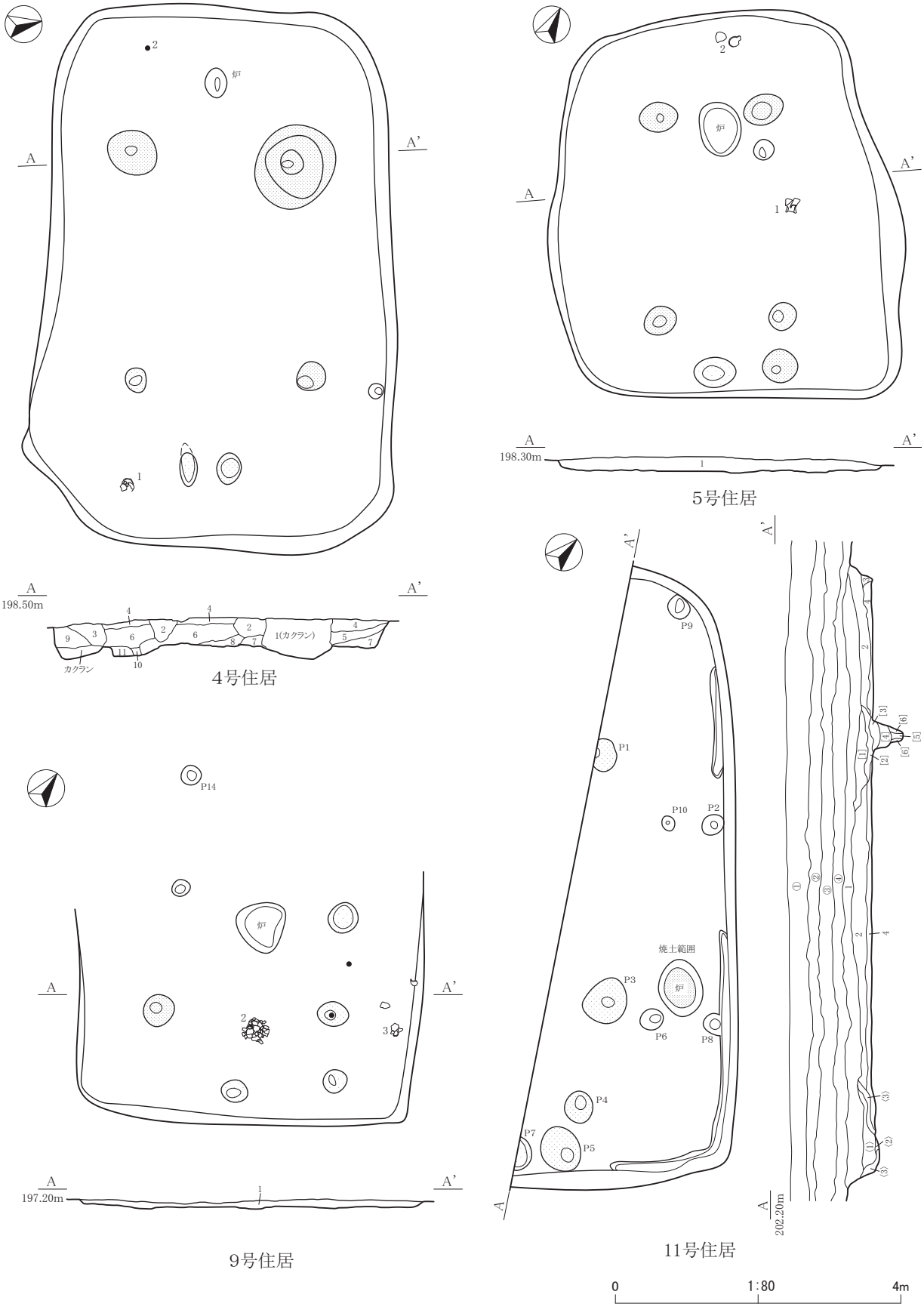
2号住居



3号住居

0 1:80 4m

第12図　1～3号住居址実測図



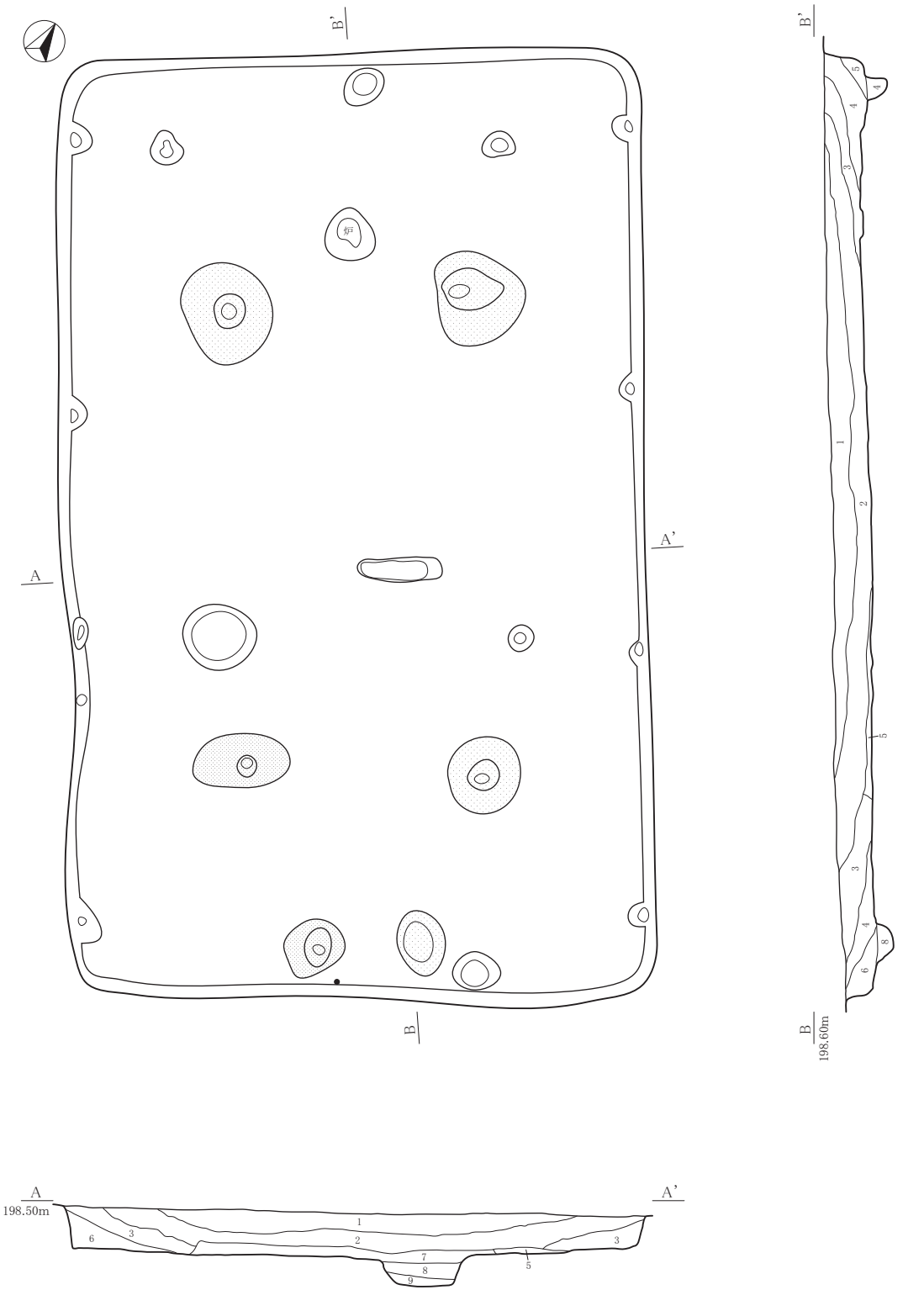
4号住居

5号住居

9号住居

11号住居

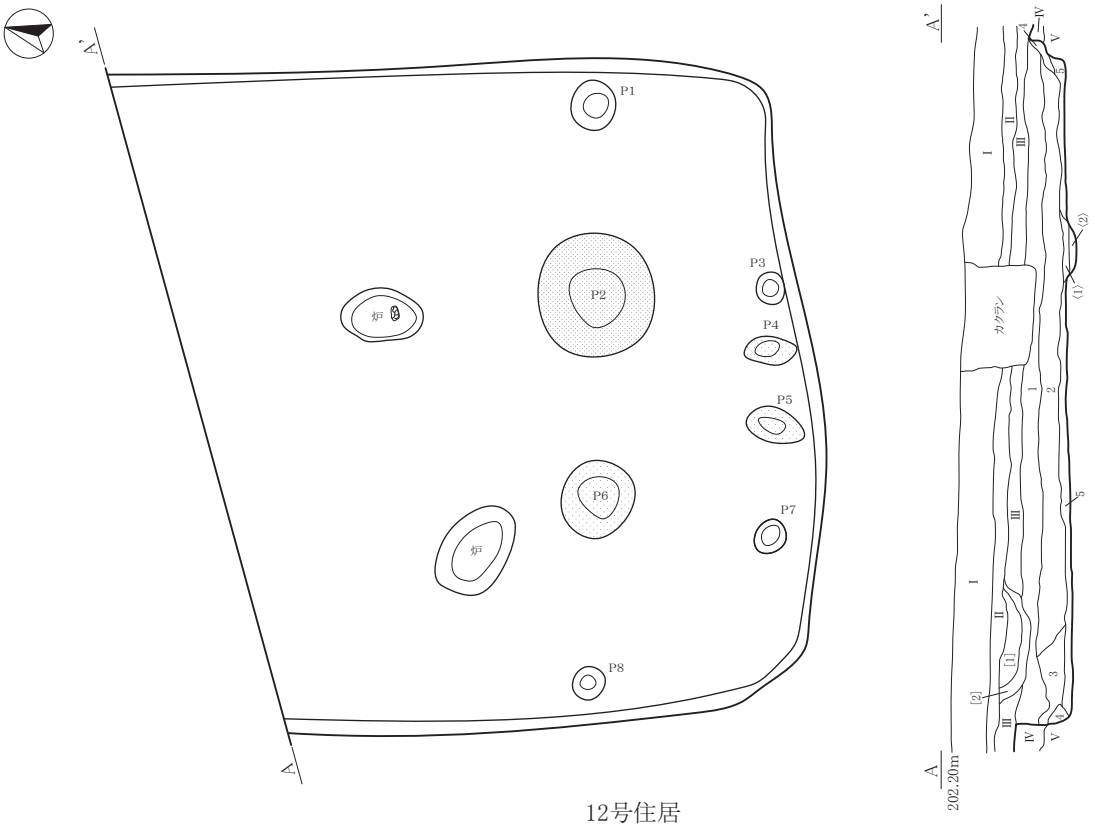
第13図　4号・5号・9号・11号住居址実測図



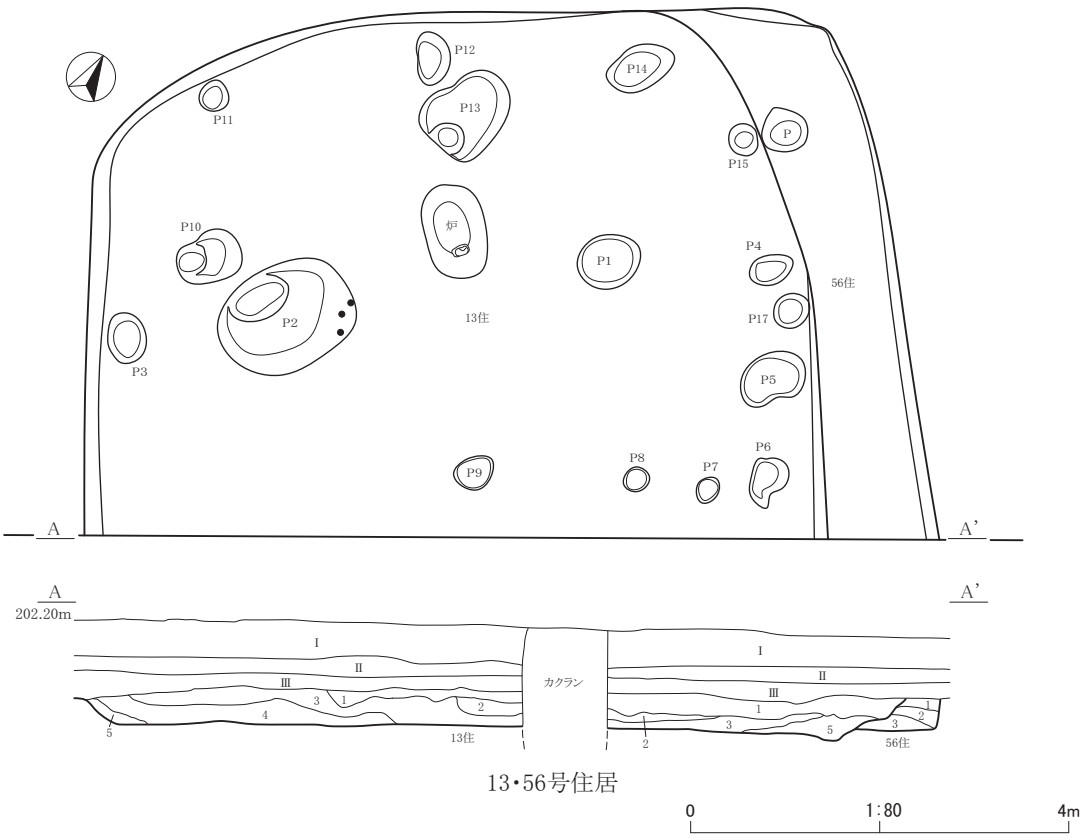
7号住居

0　1:80　4m

第14図　7号住居址実測図



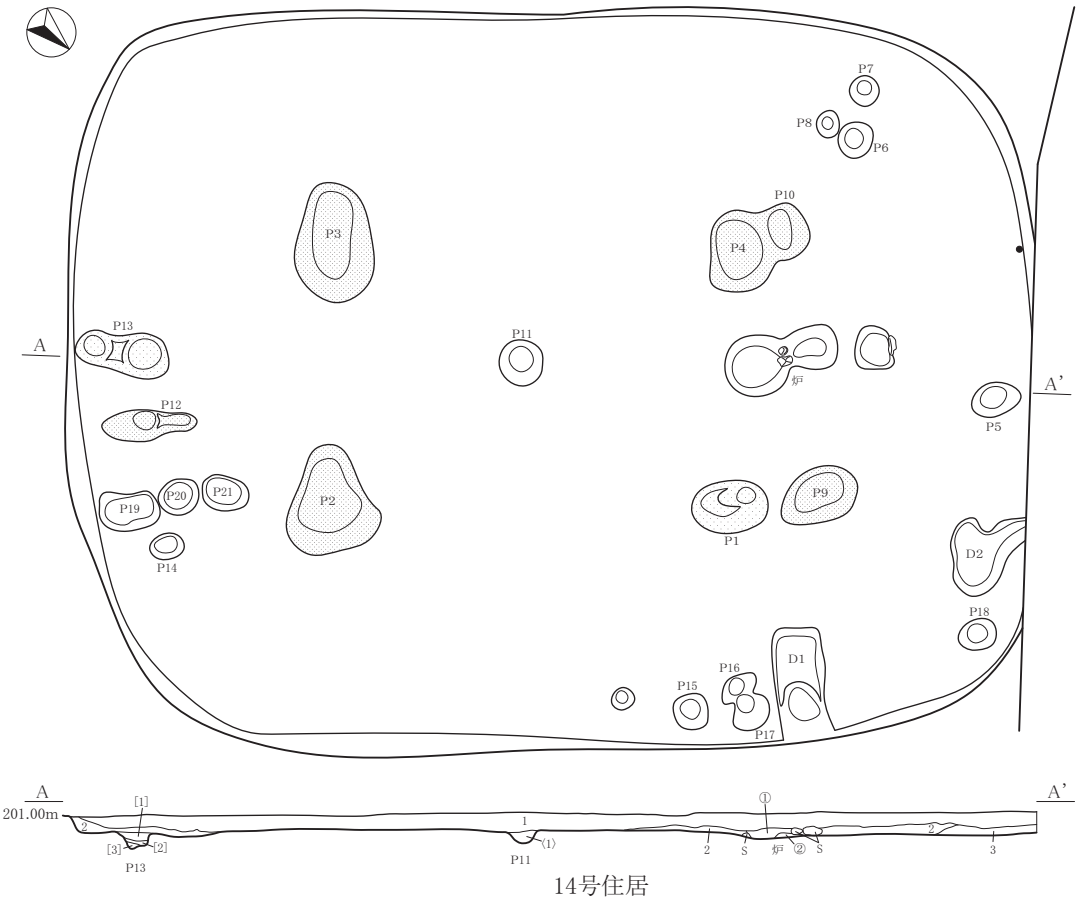
12号住居



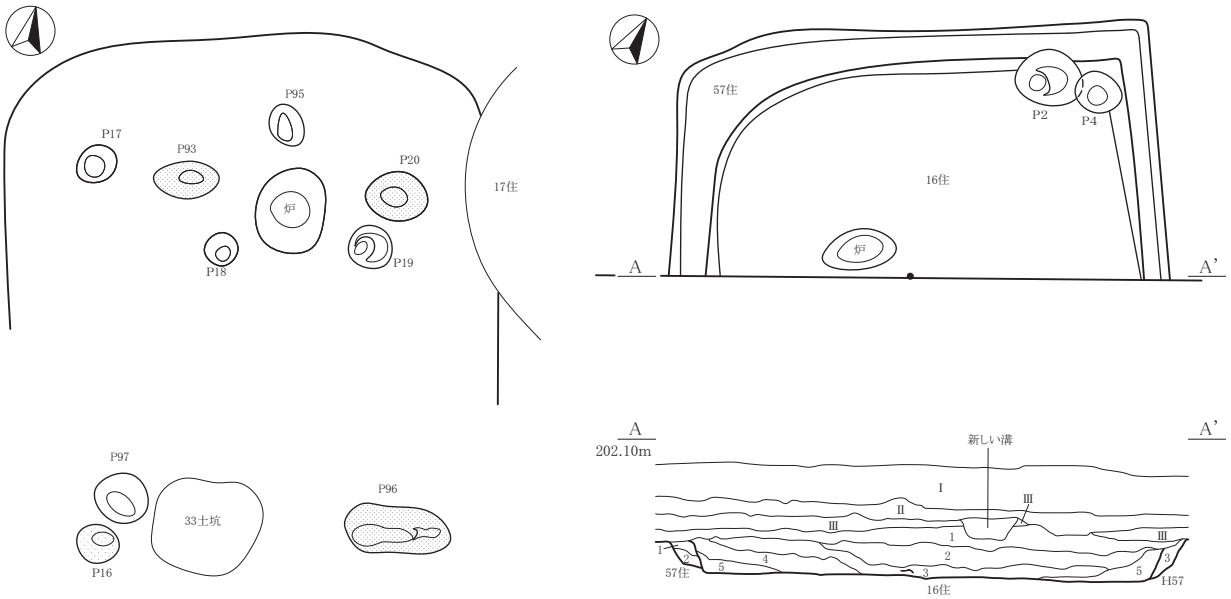
13･56号住居

0 1:80 4m

第15図　12号・13号・56号住居址実測図



14号住居

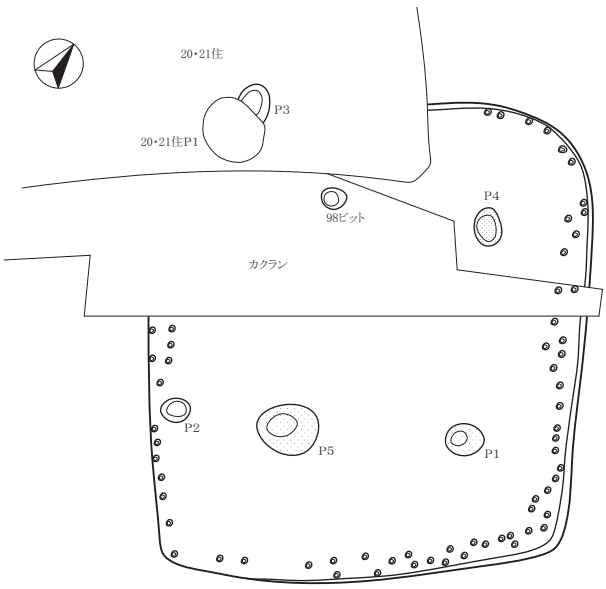


15号住居

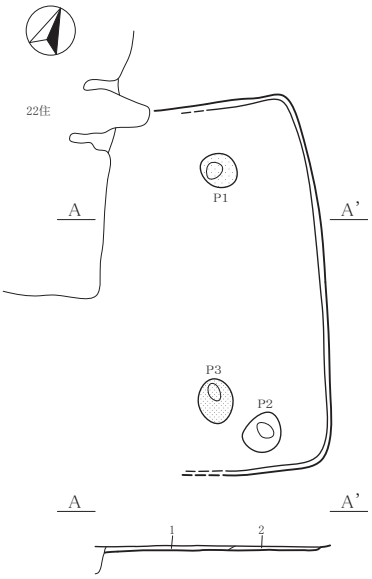
16・57号住居

0 1:80 4m

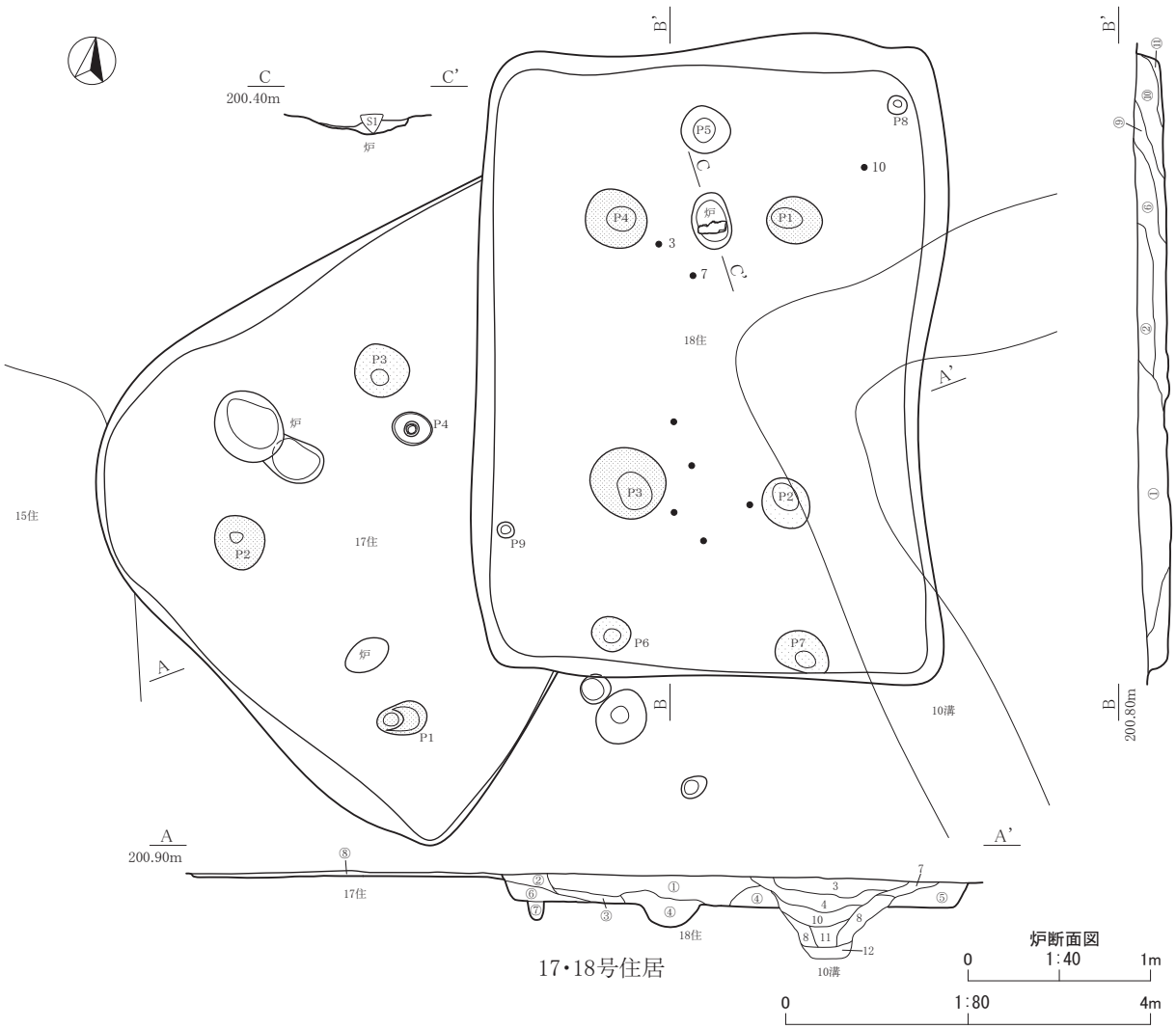
第16図　14～16号・57号住居址実測図



19号住居

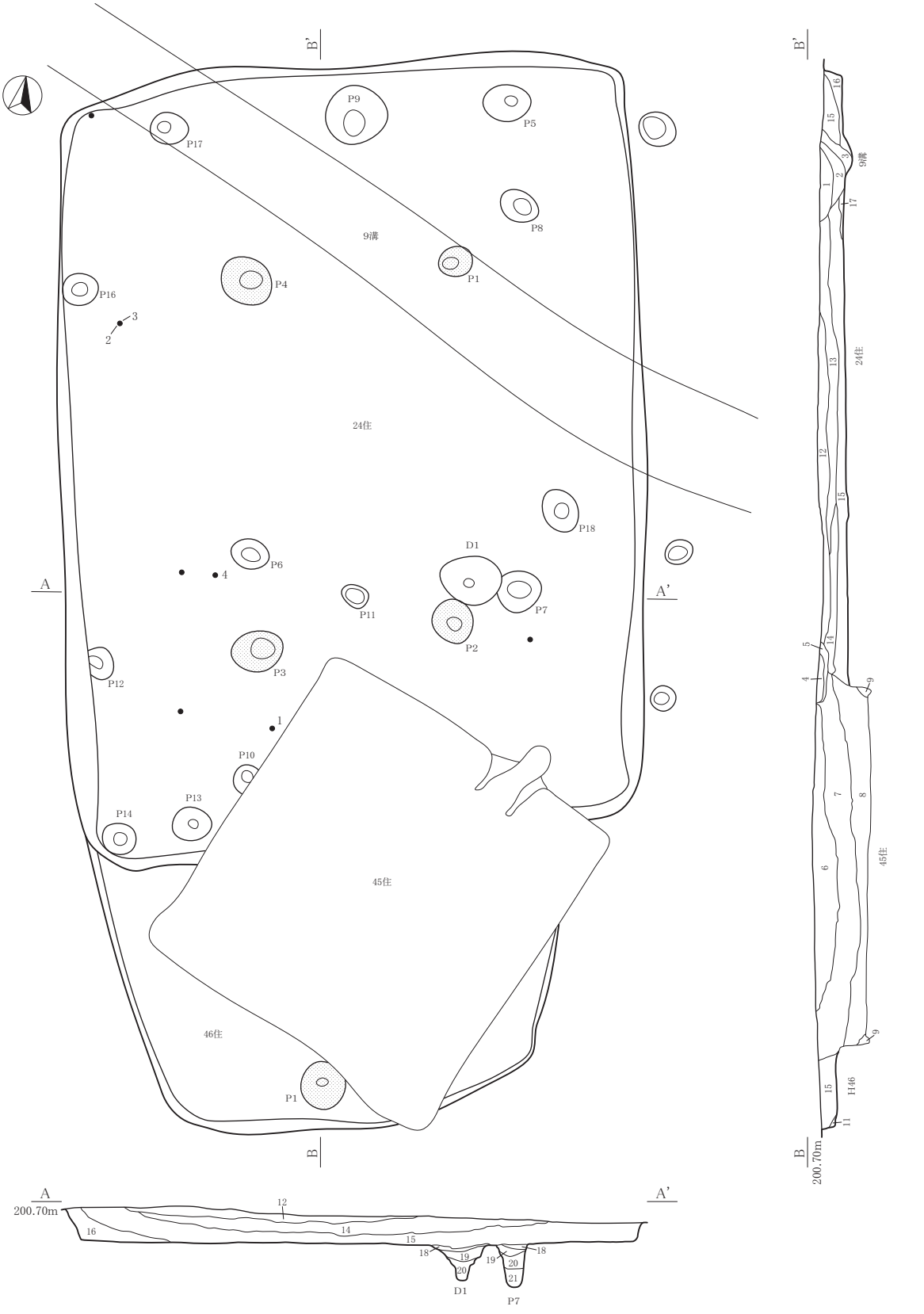


23号住居



17・18号住居

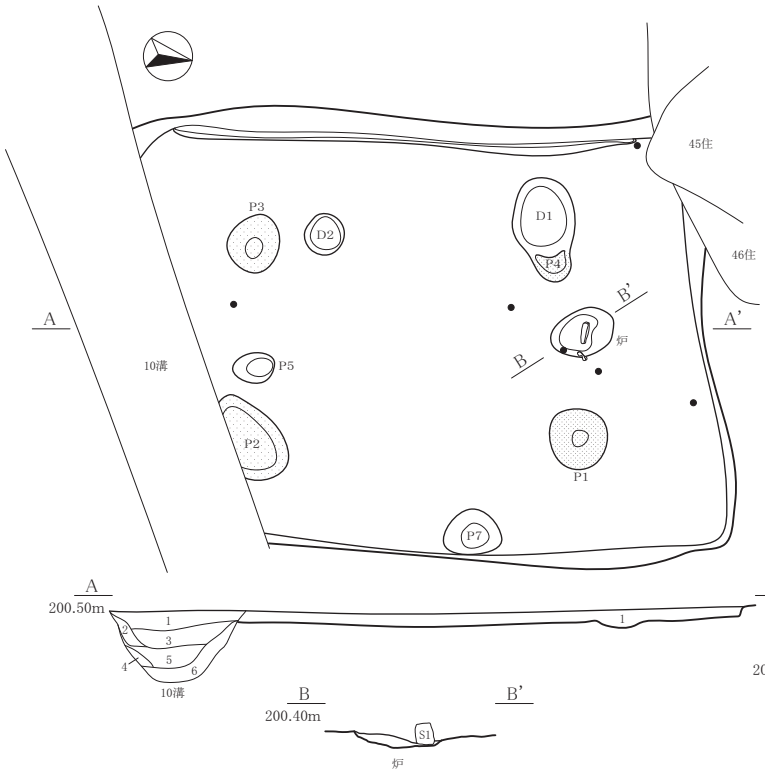
第17図　17～19号・23号住居址実測図



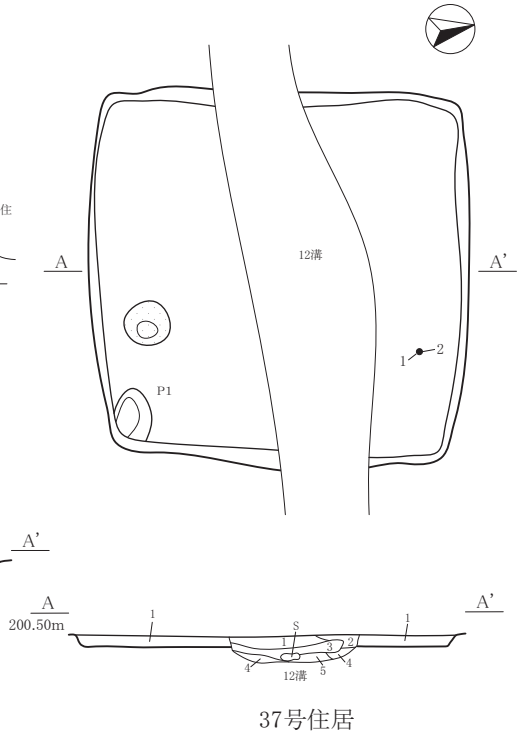
24･46号住居

0　1:80　4m

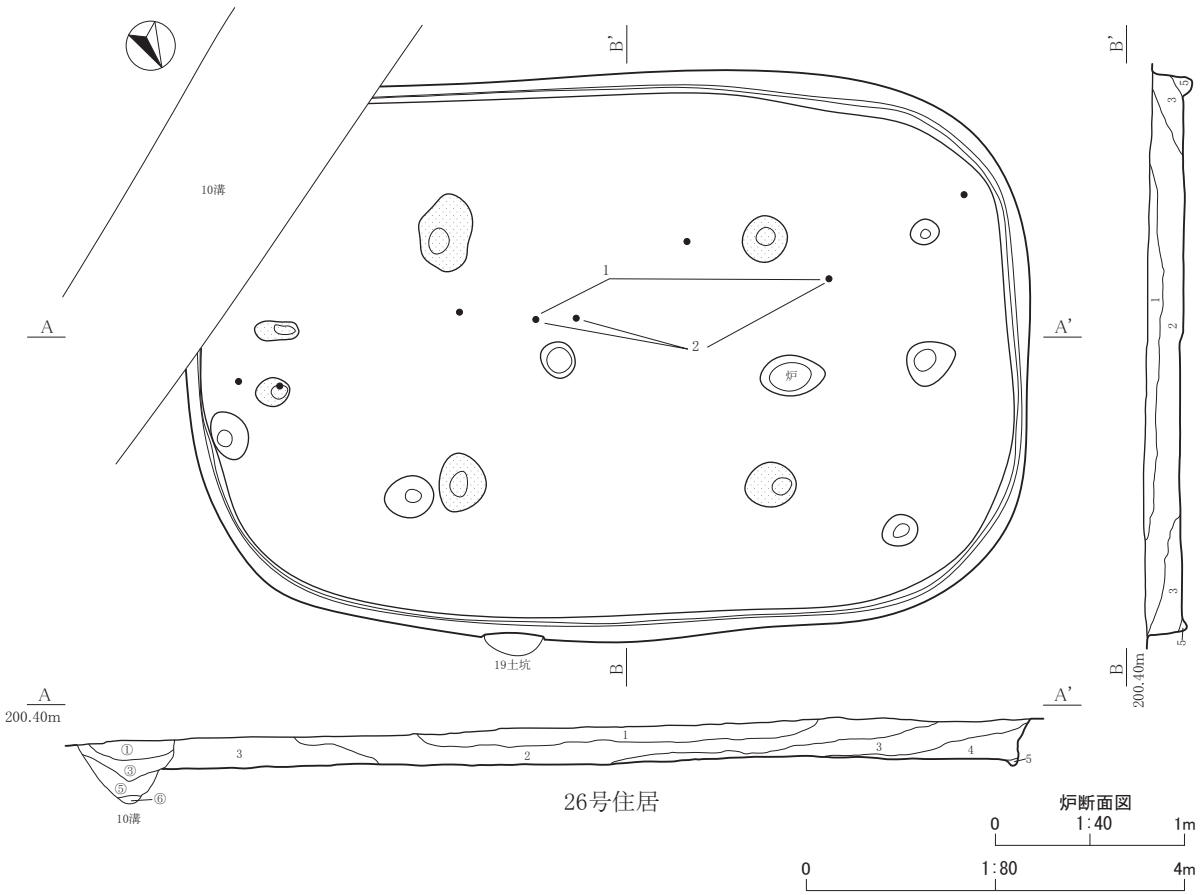
第18図　24号・46号住居址実測図



25号住居

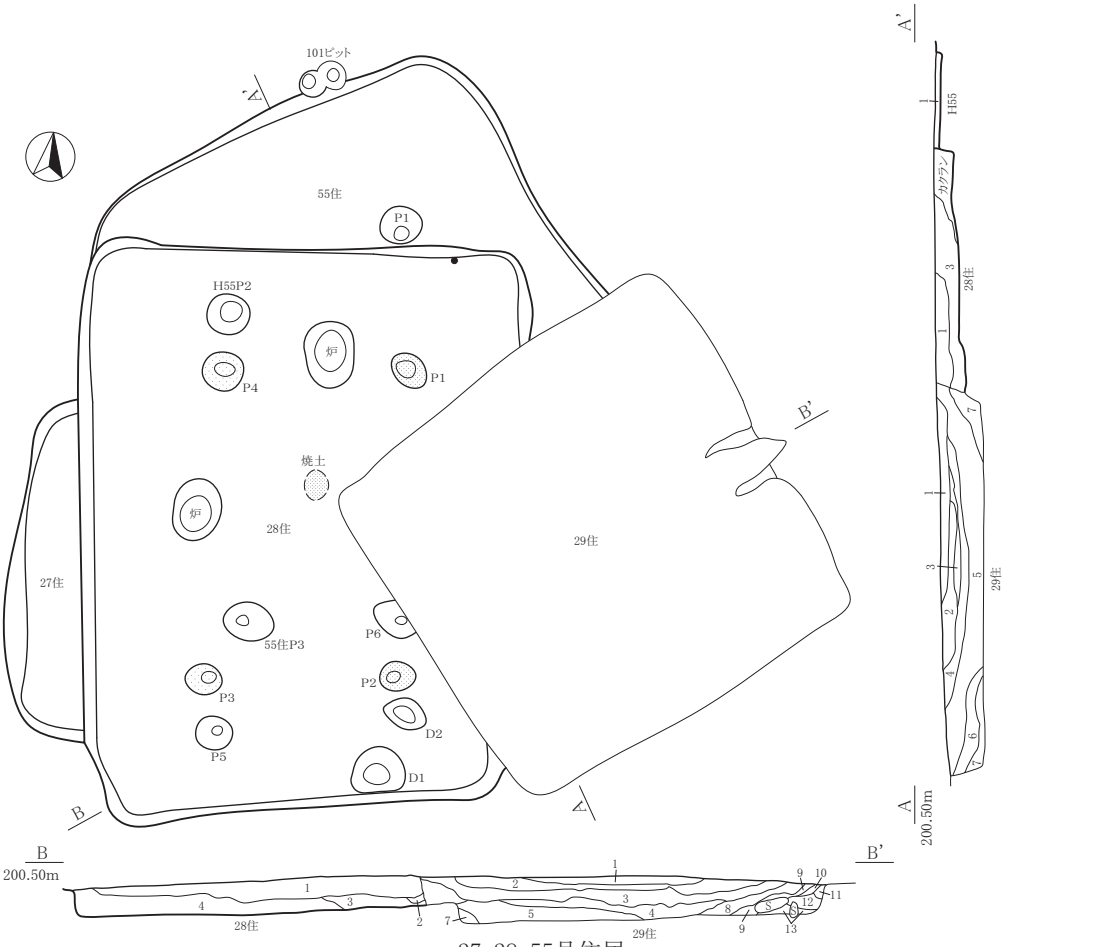


37号住居

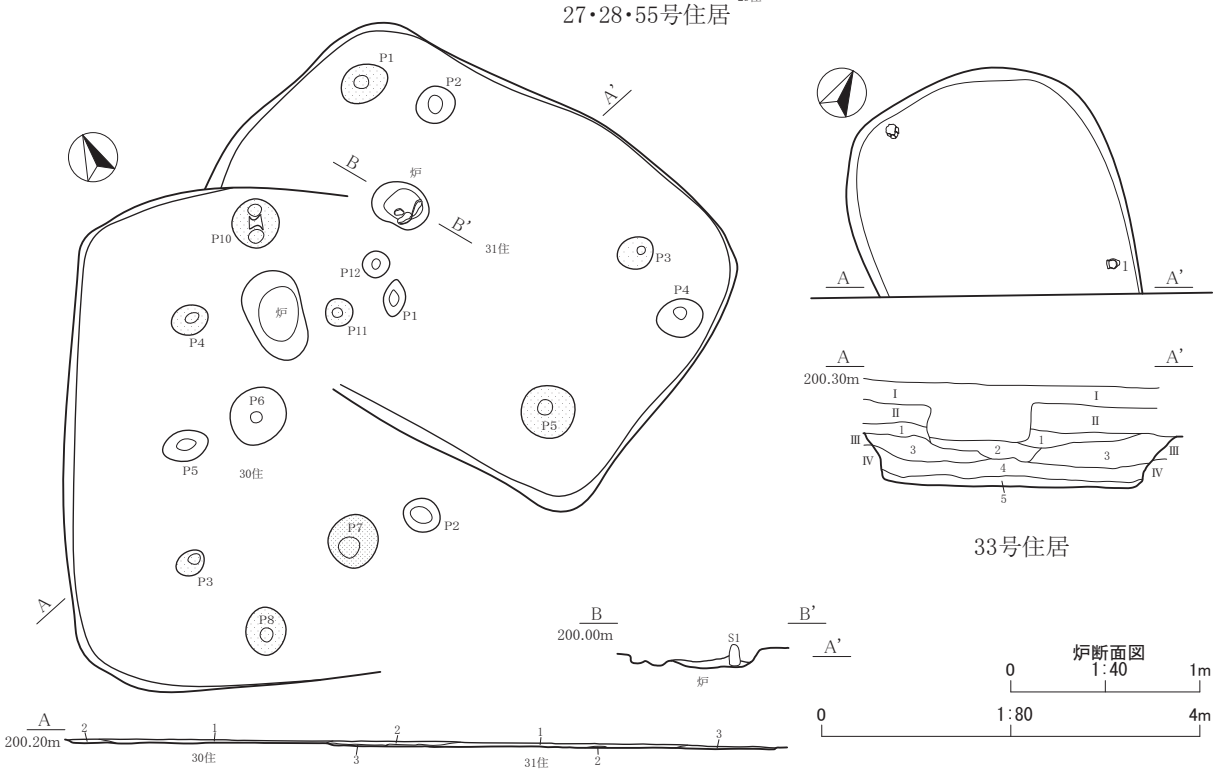


26号住居

第19図　25号・26号・37号住居址実測図

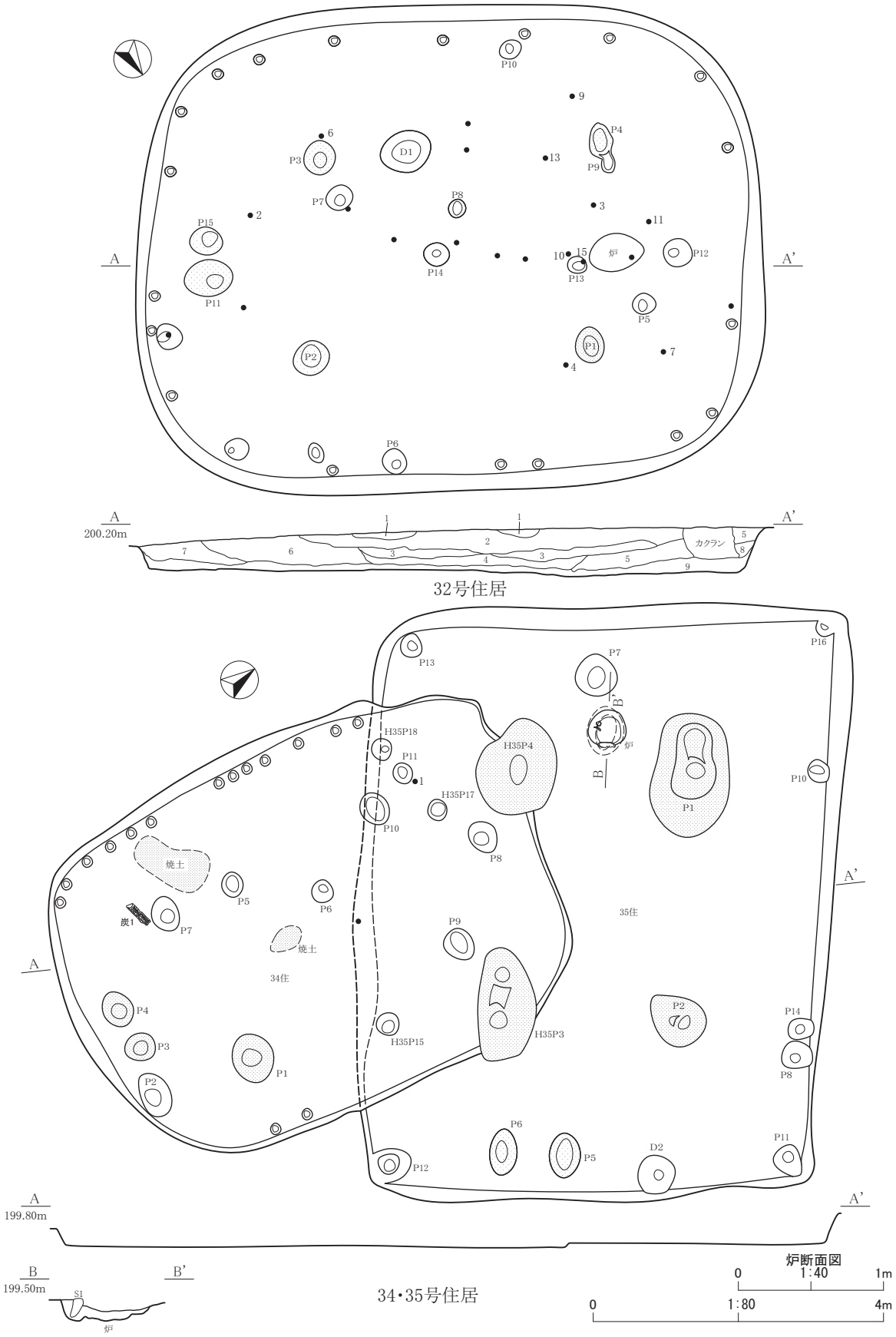


27・28・55号住居

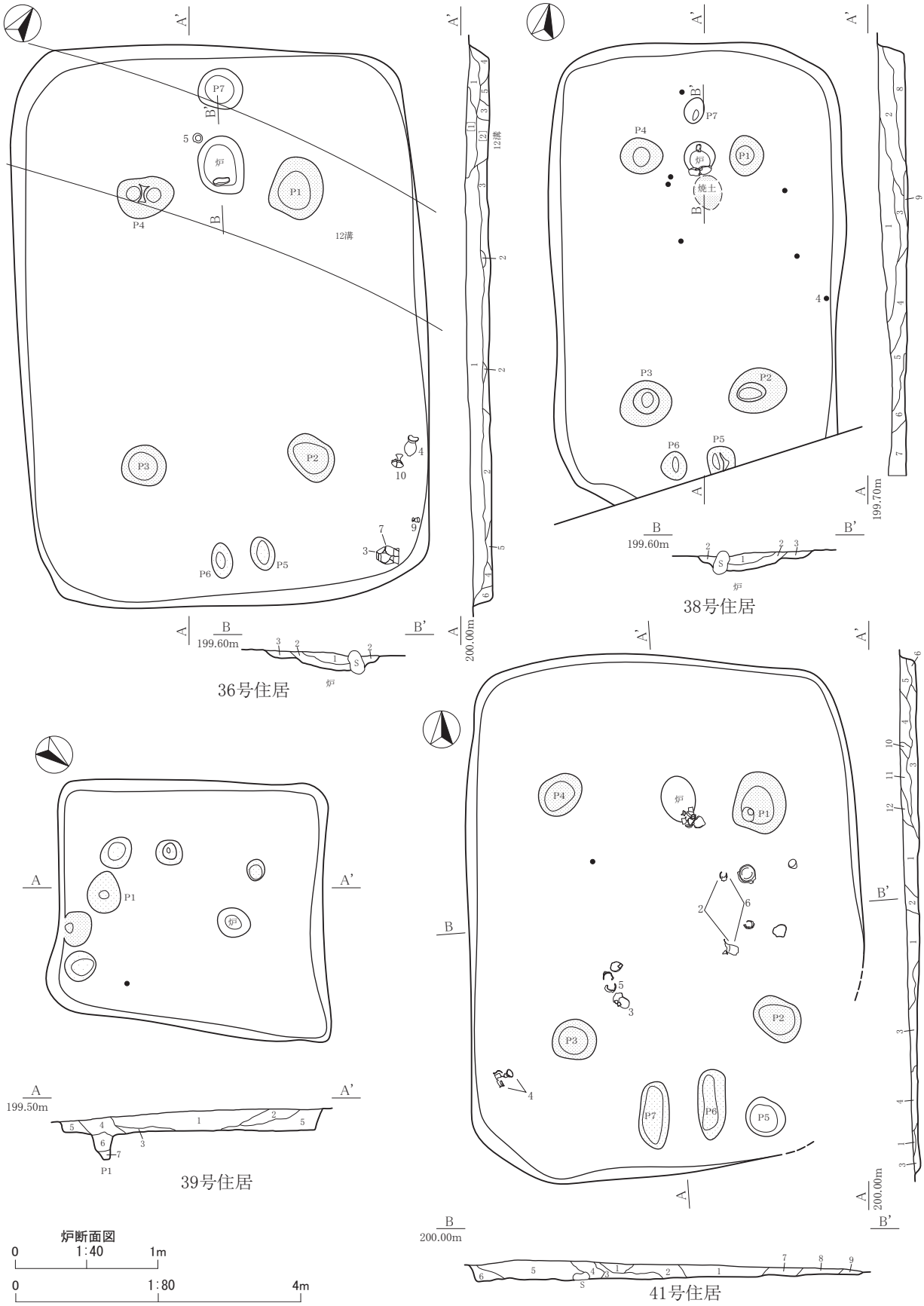


30・31号住居　　33号住居

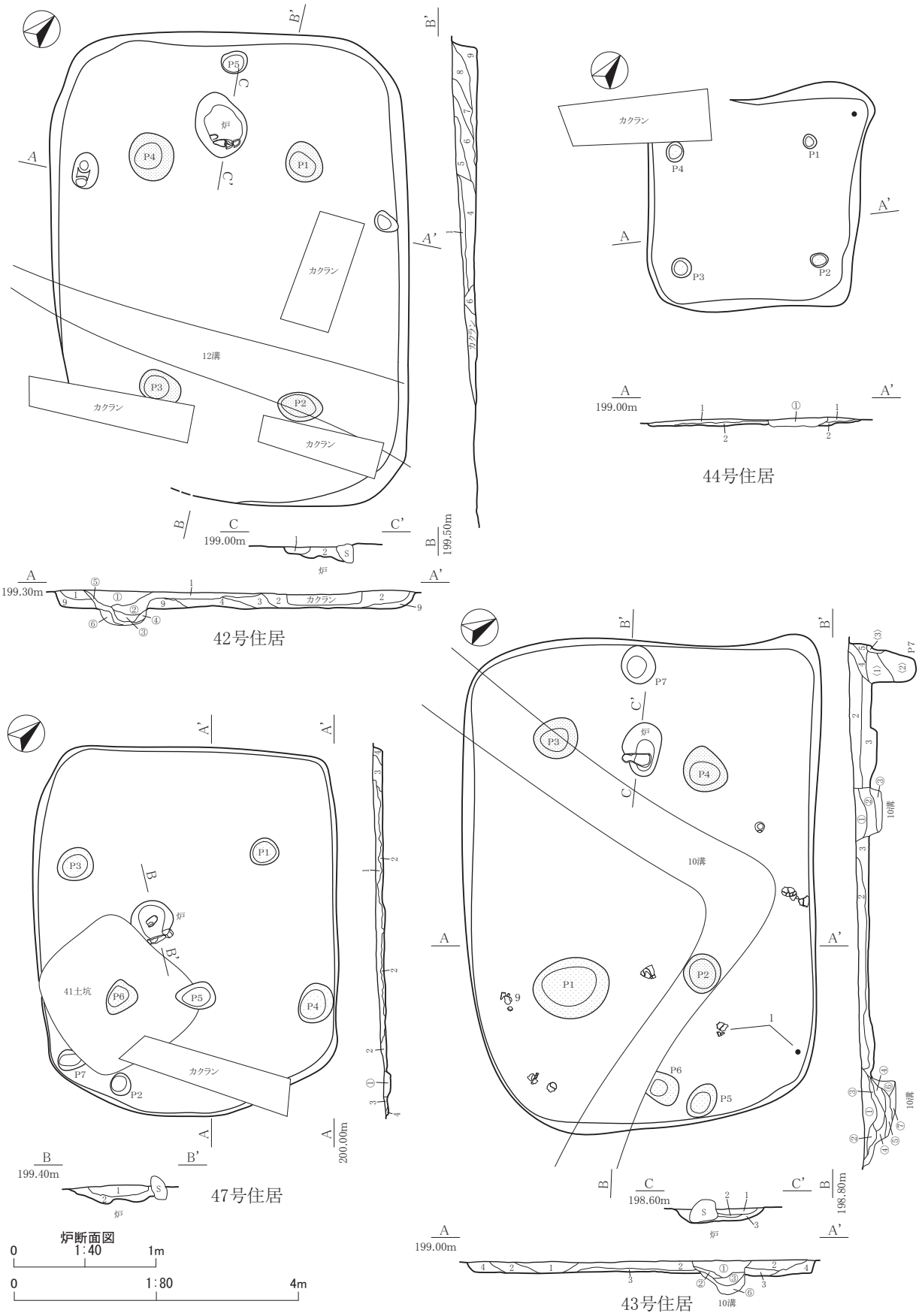
第20図　27号・28号・55号・30号・31号・33号住居址実測図



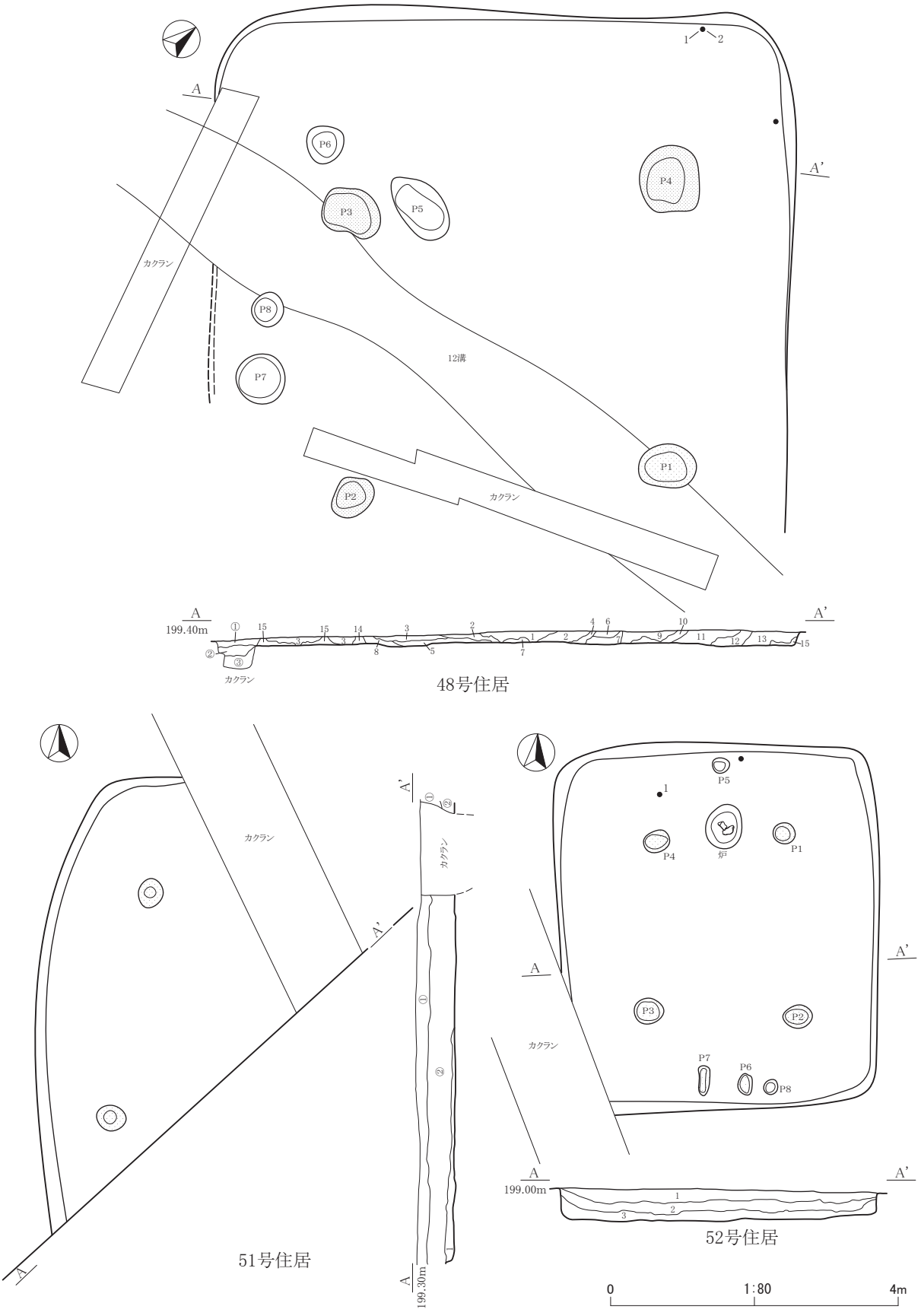
第21図　32号・34号・35号住居址実測図



第22図　36号・38号・39号・41号住居址実測図



第23図　42～44号・47号住居址実測図

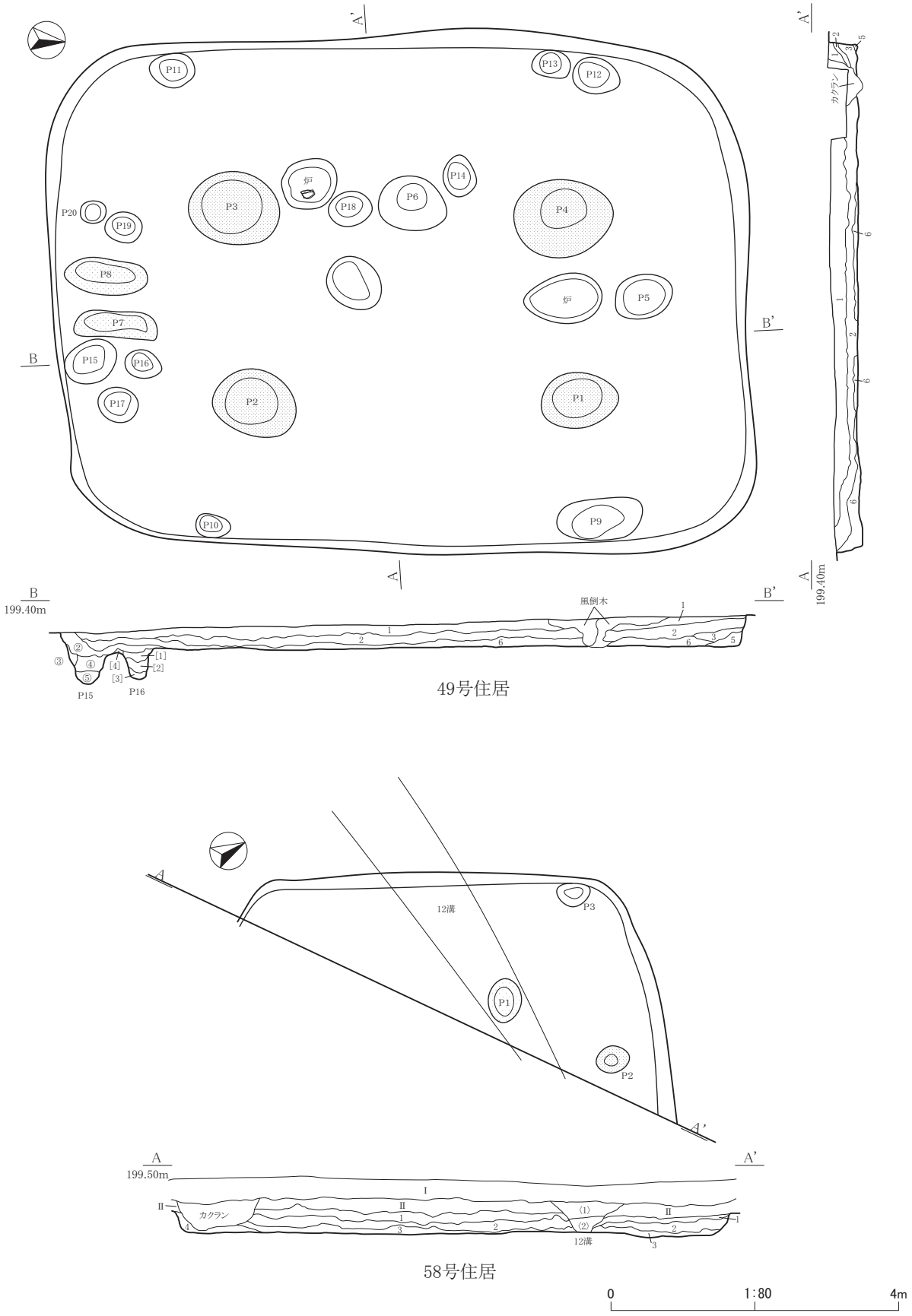


48号住居

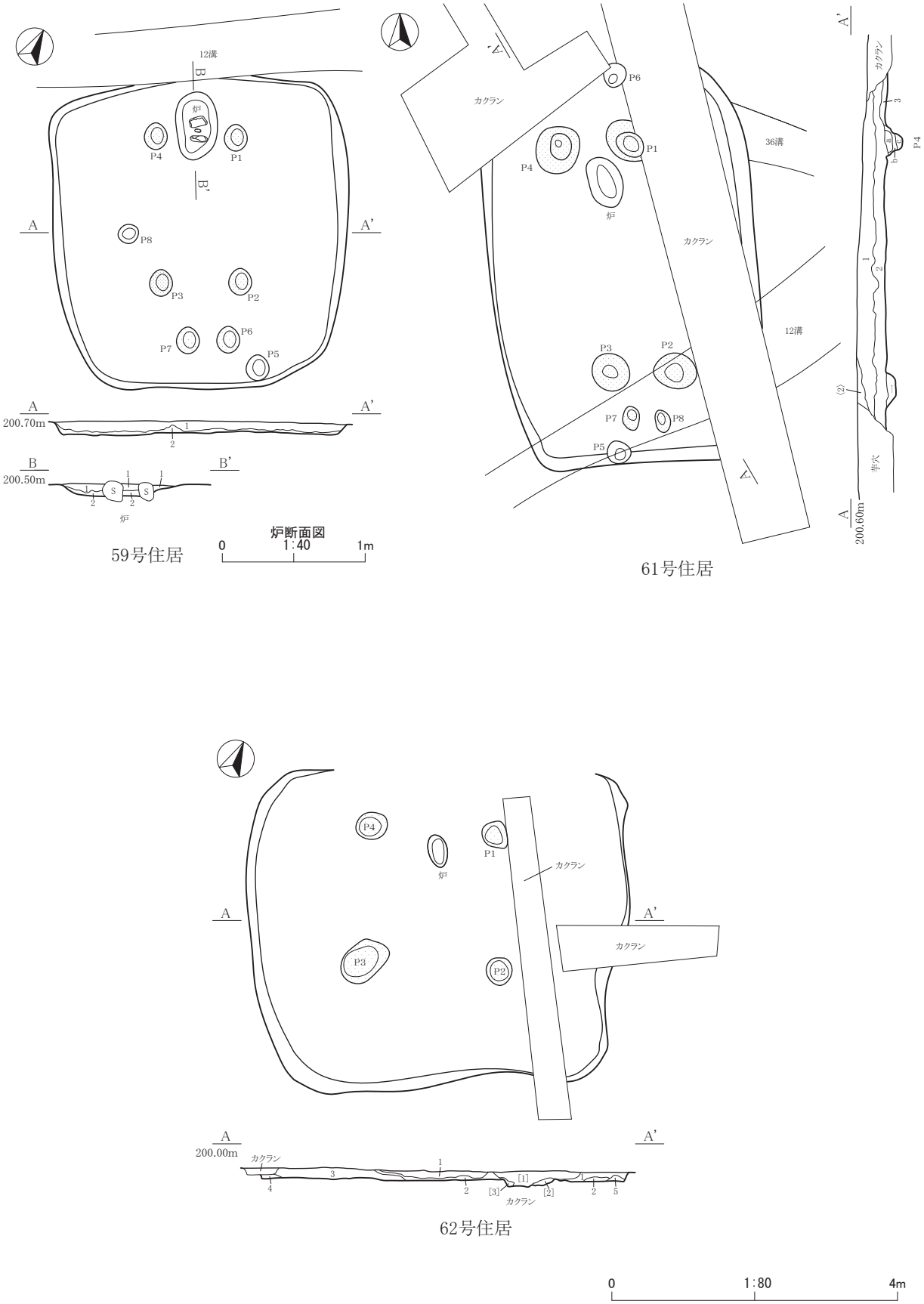
51号住居

52号住居

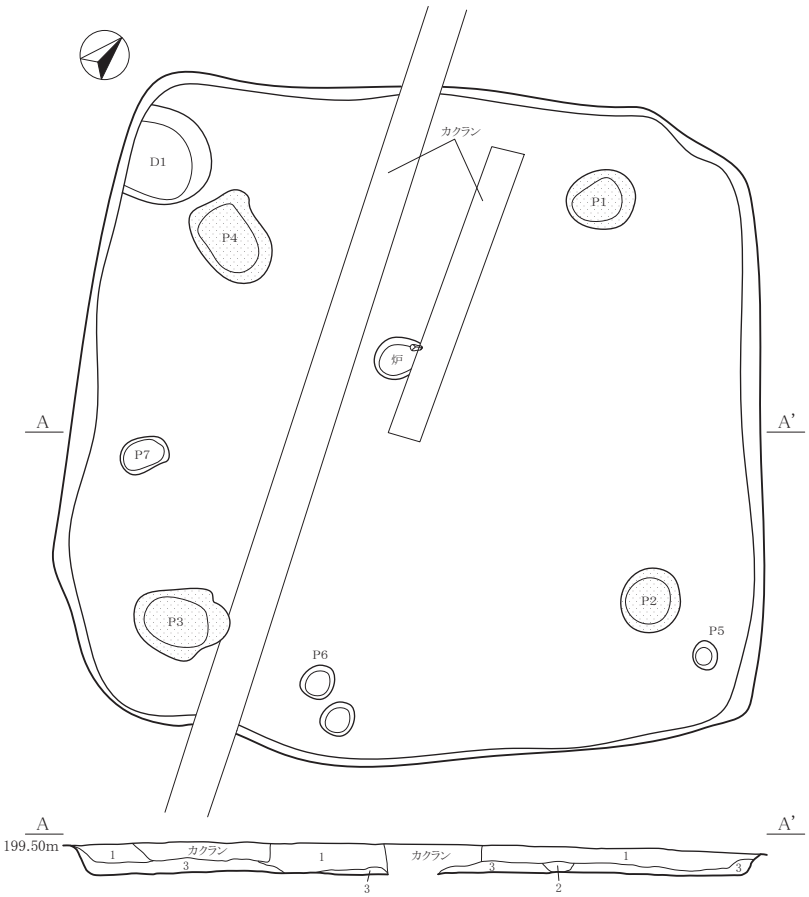
第24図　48号・51号・52号住居址実測図



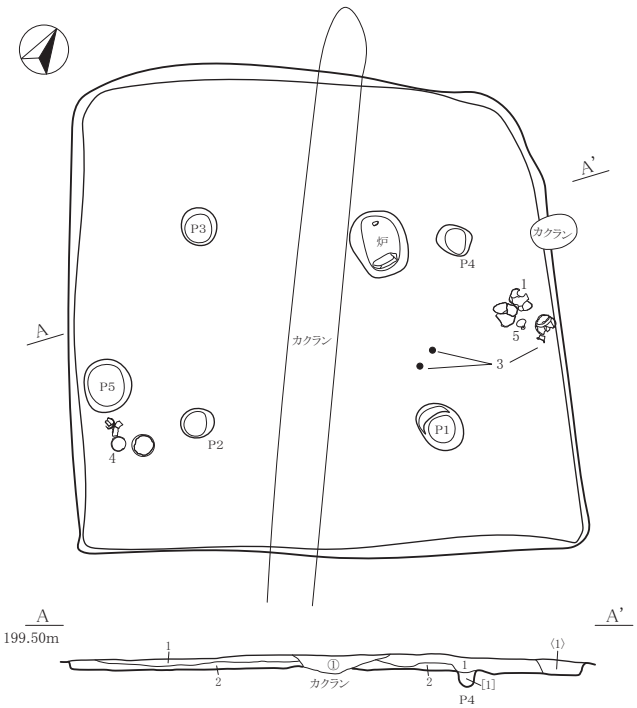
第25図　49号・58号住居址実測図



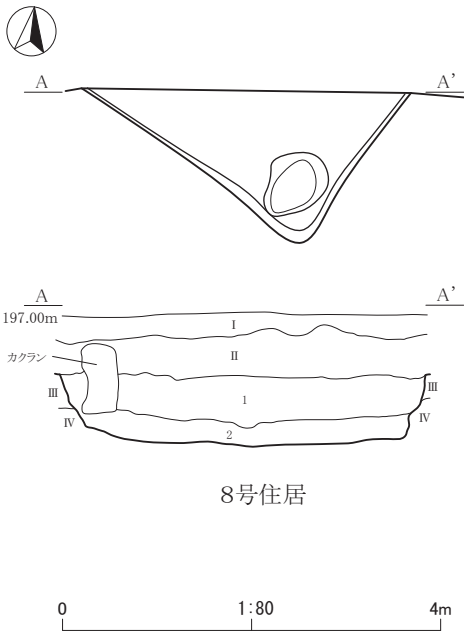
第26図　59号・61号・62号住居址実測図



50号住居



53号住居



8号住居

0 1:80 4m

第27図　8号・50号・53号住居址実測図

1号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石、橙色土を含む。しまりあり。
2	にぶい黄橙色土	しまりあり。

2号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石を微量に含む。しまりあり。
2	暗褐色土	白色軽石を微量に含む。しまりあり。
3	暗褐色土	白色軽石を微量、橙色土をブロック状に含む。しまりあり。
4	にぶい黄褐色土	しまりあり。

3号住居　炉

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	黒褐色土	白色軽石を少量含む。しまりあり。
②	黒褐色土	しまりあり。

3号住居B

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	しまりあり。
2	黒褐色土	白色軽石を少量含む。しまりあり。
3	暗褐色土	しまりあり。
4	暗褐色土	軽石を多量に含む。しまりあり。
5	黒色土	しまりあり。
6	黒色土	白色軽石を微量に含む。しまりあり。
7	黒褐色土	橙色土をブロック状に含む。しまりあり。
8	黒褐色土	しまりあり。

4号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	AS-A を多量に含む。しまりあり。(カクラン)
2	暗褐色土	しまりあり。
3	暗褐色土	白色軽石を微量、橙色土をブロック状に含む。しまりあり。
4	暗褐色土	白色軽石を微量に含む。しまりあり。
5	にぶい黄橙色土	しまりあり。
6	黒褐色土	白色軽石を微量に含む。しまりあり。
7	にぶい黄橙色土	橙色土をブロック状に含む。しまりあり。
8	黒褐色土	しまりあり。
9	暗褐色土	橙色土をブロック状に少量含む。しまりあり。
10	暗褐色土	しまりあり。
11	にぶい黄橙色土	しまりあり。

5号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	橙色土をブロック状に含む。しまりあり。

9号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	橙色土をブロック状に含む。しまりあり。

11号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	暗褐色土	白色軽石(φ1～5㎜)多量、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
②	暗褐色土	白色軽石(φ1～5㎜)多量に含む。Ⅰ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
③	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)中量、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
④	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)少量、ローム粒子、黄色軽石、炭化物、焼土を微量に含む。Ⅲ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
1	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)微量、ローム粒子少量、ロームブッロック、黄色軽石、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)微量、ローム粒子少量、黄色軽石微量、炭化物少量、焼土を微量に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。2層より明るい。
4	暗褐色土	ローム粒子を微量、ロームブッロック、炭化物を少量含む。しまりあり。粘性弱い。

11号住居　P-1

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
[1]	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)微量、ローム粒子少量、ロームブッロック、黄色軽石、炭化物微量に含む。しまりあり、粘性弱い。
[2]	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)微量、ローム粒子微量、炭化物微量に含む。しまりあり、粘性弱い。
[3]	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)微量、ローム粒子微量、炭化物微量に含む。2層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
[4]	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)微量、ローム粒子微量、炭化物少量含む。1層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
[5]	黒褐色土	ローム粒子微量に含む。4層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
[6]	暗褐色土	ローム粒子中量、ロームブッロック多量に含む。しまりあり。粘性弱い。

11号住居　P-7

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
〈1〉	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)微量、ローム粒子少量、炭化物、焼土を微量に含む。住居1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
〈2〉	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)微量、ローム粒子を微量に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
〈3〉	暗褐色土	ローム粒子微量、ロームブッロック少量、炭化物少量含む。しまりあり。粘性弱い。

7号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)少量、橙色土をブロック状に含む。しまりあり。
2	黒褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)多量に含む。しまりあり。
3	黒褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)多量に含む。しまりあり。
4	黒褐色土	粘性少しあり。しまりあり。
5	暗褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)少量含む。しまりあり。
6	黒褐色土	粘性あり。しまりあり。

第6表　1～5号・7号・9号・11号住居址土層注記

7号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
7	黒褐色土	粘性あり。しまりあり。
8	黒褐色土	橙色土をブロック状に含む。しまりあり。
9	暗褐色土	橙色土を微量含む。しまりあり。

12号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
Ⅰ	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
Ⅱ	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量、ローム粒子を微量に含む。Ⅰ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
Ⅲ	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を中量、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
Ⅳ	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量、ローム粒子、ロームブロック、炭化物、焼土を微量に含む。Ⅱ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
Ⅴ	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量、ローム粒子、焼土を微量に含む。Ⅴ層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量、ローム粒子微量、炭化物少量、焼土を微量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量、ローム粒子少量、ロームブロック微量、炭化物、焼土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量、ローム粒子、炭化物、焼土を微量含む。１層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量、ロームブロックを中量、、焼土を微量に含む。３層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	ローム粒子を少量、ロームブロックを中量、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
〔1〕	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を中量、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
〔2〕	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。〔1〕層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

12号住居　P

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
〈1〉	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)微量、ローム粒子少量、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
〈2〉	暗褐色土	ローム粒子微量、ロームブロックを中量含む。しまりあり。粘性弱い。

13・56号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
Ⅰ	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
Ⅱ	黒褐色土	しまりあり。粘性弱い。
Ⅲ	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。Ⅱ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

13号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を中量、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。１層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	３層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

56号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	Ⅲ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	ローム粒子を微量、ロームブロックを少量含む。１層より暗い。しまりあり。粘性弱い。（３～５㎝程の敷きややあり。）

14号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)少量、ローム粒子微量、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)微量、ローム粒子微量、ロームブロックを少量、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)微量、ローム粒子微量、ロームブロックを中量、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

14号住居　炉

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。住居２層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
②	灰色土	ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。やや灰を混じる。しまりあり。粘性弱い。

14号住居　P-11

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
〈1〉	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物、焼土を微量、ローム粒子を少量、ロームブロックを中量含む。住居３層より暗い。しまりあり。粘性弱い。

14号住居　P-13

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
〔1〕	黒褐色土	炭化物を微量、ローム粒子及びロームブロックを少量含む。住居２層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
〔2〕	黒褐色土	ローム粒子及びロームブロックを中量含む。１層より明るい。
〔3〕	暗褐色土	ローム粒子を少量、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

16・57号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
Ⅰ	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
Ⅱ	黒褐色土	しまりあり。粘性弱い。
Ⅲ	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

16号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。１層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
5	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。４層より暗い。しまりあり。粘性弱い。

57号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。３層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。16号住居５層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子及びロームブッロクを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

第７表　７号・12～14号・16号・56号・57号住居址土層注記

17号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
⑧	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を１％含む。しまりあり。

18号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を１％、黄色軽石を２～３％含む。しまりあり。
②	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を１％、黄色軽石を２～３％含む。しまりあり。
③	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を１％、黄色軽石を２～３％、炭化粒を１％含む。しまりあり。
④	極暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を１％含む。しまりあり。
⑤	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を１％、ローム塊を１％含む。しまりあり。
⑥	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を１％黄色軽石を１％含む。しまりあり。
⑦	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を１％黄色軽石を２～３％含む。しまりあり。
⑨	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を１％黄色軽石(φ２～５㎜)を３％含む。しまりあり。
⑩	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を１％黄色軽石(φ２～５㎜)を１％含む。しまりあり。
⑪	暗褐色土	しまりあり。

18号住居　炉

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	山砂、焼土ブロックを含む。

19号住居土層注記なし

23号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	
2	極暗褐色土	

９溝土層注記なし

24号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
12	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。しまりあり。
13	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、黄色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。しまりあり。
14	黒褐色土	黄色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。しまりあり。
15	黒褐色土	しまりあり。
16	黒褐色土	黄色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。しまりあり。
17	黒褐色土	しまりあり。
18	黄褐色土	しまりあり。
19	暗褐色土	しまりあり。
20	褐色土	しまりあり。
21	黒褐色土	しまりあり。

46号住居土層注記なし

25号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。しまりあり。

25号住居　炉

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	山砂、焼土ブロックを含む。

26号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。しまりあり。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、黄色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。しまりあり。
3	黒褐色土	しまりあり。
4	黒褐色土	黄色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。しまりあり。
5	黒褐色土	橙色土をブロック状に含む。しまりあり。

28号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	褐色土	ローム粒子を５～10%、黄橙色軽石(φ５～10㎜大)を２～３％含む。
2	暗赤色土	焼土、ローム粒子を10～15%含む。
3	極暗褐色土	ローム粒子、黄橙色軽石を２～３％、焼土、炭化粒子を１％含む。しまりあり。
4	暗褐色土	ローム粒子を５～10%含む。

37．27．55号住居土層注記なし

30号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	極暗褐色土	白色軽石(φ１～10㎜)、黄色軽石を１％含む。しまりあり。
2	暗褐色土	ローム粒子を２～３％含む。

31号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ３～10㎜)を２～３％、黄色軽石(φ２～３㎜)を１％含む。しまりあり。
2	褐色土	ローム粒子を５～10%、炭化粒子を２～３％含む。
3	極暗褐色土	ローム粒子及びローム塊を２～３％含む。

31号住居　炉

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	山砂、焼土ブロックを含む。

第８表　17号・18号・23～26号・28号・30号・31号住居址土層注記

33号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
Ⅰ	黒褐色土	白色軽石(φ１～５㎜)20～30%、含む。しまりあり。粘性弱い。
Ⅱ	黒褐色土	白色軽石(φ１～５㎜)10～20%、含む。しまりあり。粘性弱い。
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。３層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。４層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

32号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石(φ５～６㎜大)、黄色軽石(φ２～３㎜大)を２～３％含む。
2	黒褐色土	白色軽石(φ３～10㎜大)を２～３％、黄色軽石(φ２～３㎜大)を１％含む。しまりややあり。
3	極暗褐色土	白色軽石(φ３～５㎜大)を２～３％含む。しまりあり。
4	暗褐色土	炭化粒子、ローム粒子を２～３％含む。
5	暗褐色土	焼土粒子、炭化粒子を２～３％、軽石を微量に含む。しまりあり。
6	極暗褐色土	焼土粒子、炭化粒子を１％、ローム粒子を２～３％含む。
7	暗褐色土	炭化材を２～３％、焼土粒子を１％含む。
8	黄褐色土	ローム粒子を20～30％含む。
9	明褐色土	ローム粒子を５～10％、焼土粒子及び炭化粒子を２～３％含む。

35号住居　炉

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	山砂、焼土ブロックを含む。

34. 36号住居土層注記なし

38号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	φ３～10㎜大の白色軽石、黄色軽石を２～３％、炭化粒１％含む。しまりあり。
2	明褐色土	ローム塊を５～10％、焼土粒・炭化粒を１％含む。
3	極暗褐色土	ローム粒、炭化粒２～３％含む。
4	暗褐色土	ローム粒を５～10％、白色軽石１％含む。
5	暗褐色土	ローム粒を２～３％、白色軽石を１％含む。
6	褐色土	φ20～30㎜大のローム塊を５～10％含む。
7	暗褐色土	ローム粒、炭化粒を１％含む。
8	極暗褐色土	ローム粒を２～３％、炭化粒を１％含む。軽石を微量含む。
9	極暗褐色土	焼土粒、炭化粒を１％含む。

38号住居　炉

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	山砂、焼土ブロックを含む。
2	褐色土	焼土粒子を含む。
3	黒褐色土	粘土ブロックを含む。

39号住居土層注記なし

41号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量に含む。ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
3	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
5	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
6	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
7	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
8	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
9	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
10	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
11	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
12	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。まりあり。粘性やや強い。

42号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。ローム粒子、ロームブロック、炭化物、焼土を微量に含む。１層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。ローム粒子を中量含む。まりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、黄色軽石、炭化物、焼土を微量に含む。ローム粒子、ロームブロックを中量含む。１層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。３層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
6	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、焼土を微量に含む。ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物を少量含む。４層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
7	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。５層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
8	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。６層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
9	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。ロームブロックを中量含む。しまりあり。粘性弱い。
①	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。ローム粒子を少量に含む。しまりあり。粘性弱い。
②	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。３層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
③	黒褐色土	しまりあり。粘性弱い。
④	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。③層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
⑤	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。②層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
⑥	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、黄色軽石を微量に含む。④層より暗い。しまりあり。粘性弱い。

42号住居　炉

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	山砂、焼土ブロックを含む。
2	褐色土	焼土粒子を含む。

第９表　32号・33号・35号・38号・41号・42号住居址土層注記

43号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、炭化物、焼土を少量含む。2層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	ローム粒子を少量含む。ロームブロックを中量含む。炭化物、焼土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
4	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを少量に含む。炭化物、焼土を微量に含む。3層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
5	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。2層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

43号住居　P 7

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
〈1〉	黒褐色土	ローム粒子、炭化物を微量に含む。5層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
〈2〉	黒褐色土	炭化物を微量に含む。〈1〉層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
〈3〉	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

43号住居　炉

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	山砂、焼土ブロックを含む。
2	褐色土	焼土粒子を含む。
3	黒褐色土	粘土ブロックを含む。

48号住居土層注記なし

47号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、炭化物、焼土を少量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、黄色軽石、炭化物、焼土を微量に含む。ローム粒子、ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黄褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
4	暗褐色土	炭化物を少量含む。2層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
①	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)を少量含む。4層より暗い。しまりあり。粘性弱い。

47号住居　炉

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	山砂、焼土ブロックを含む。
2	褐色土	焼土粒子を含む。

48号住居土層注記なし

51号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。白色軽石(φ1～3㎜)を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
②	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)を少量含む。①層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
1	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、ローム粒子、焼土、炭化物を微量に含む。②層より暗い。しまりあり。粘性弱い。

52号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、焼土、炭化物、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。ローム粒子を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、焼土、黄色軽石を微量に含む。ロームブロック、炭化物を少量含む。ローム粒子を中量含む。1層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、ロームブロック、ローム粒子、炭化物、焼土、黄色軽石を微量に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

49号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	炭化物、黄色軽石、ローム粒子、焼土を微量に含む。白色軽石(φ1～3㎜)を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物、焼土を微量に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、黄色軽石を微量に含む。炭化物を少量含む。2層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
4	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)を微量に含む。ローム粒子を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。4層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
6	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、焼土、黄色軽石、ローム粒子を微量に含む。炭化物、ロームブロックを少量含む。5層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
7	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。6層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
8	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

49号住居　P15

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、ローム粒子、黄色軽石、炭化物、焼土を微量に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
②	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、炭化物、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。①層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
③	黄褐色土	炭化物、ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。
④	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、ローム粒子を微量に含む。炭化物を少量含む。②層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
⑤	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、ローム粒子を微量に含む。④層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

49号住居　P16

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
[1]	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、焼土、炭化物を微量に含む。ローム粒子、ロームブロックを少量含む。①層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
[2]	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、焼土、ローム粒子を微量に含む。ロームブロック、炭化物を少量含む。[1]層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
[3]	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、焼土を微量に含む。炭化物、ローム粒子を少量含む。ロームブロックを中量含む。[2]層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
[4]	黒褐色土	ローム粒子を少量含む。[3]層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

58号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
Ⅰ	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。白色軽石(φ1～3㎜)を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
Ⅱ	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。白色軽石(φ1～3㎜)を少量含む。①層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
1	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、焼土、炭化物、ロームブロックを微量に含む。ローム粒子を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、焼土、炭化物、ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、炭化物、ロームブロック、ローム粒子を微量に含む。1層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	炭化物を微量に含む。3層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

第10表　43号・47号・49号・51号・52号・58号住居址土層注記

59号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。ローム粒子を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

59号住居　炉

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	山砂、焼土ブロックを含む。
2	褐色土	焼土粒子を含む。

61号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。①層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
〈2〉	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

61号住居　P-2

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
一	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

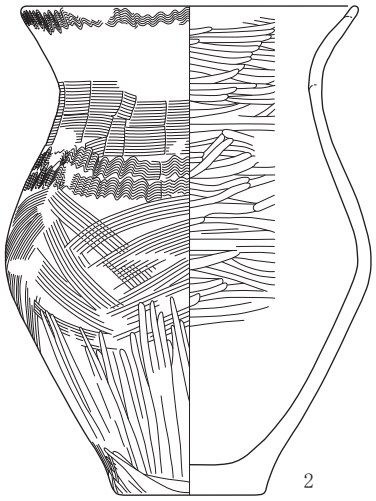
61号住居　P-4

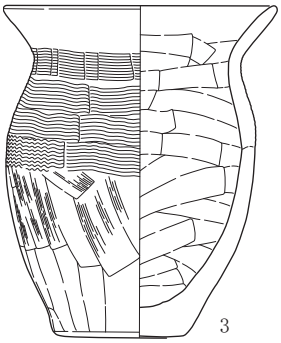
層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
a	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
b	黒褐色土	a層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
c	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。b層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

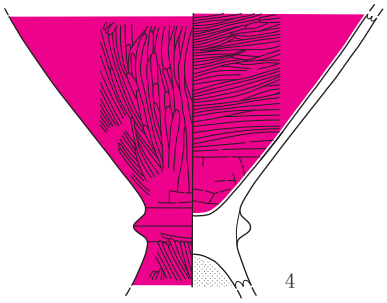
62．8．50．53号住居土層注記なし

第11表　59号・61号住居址土層注記

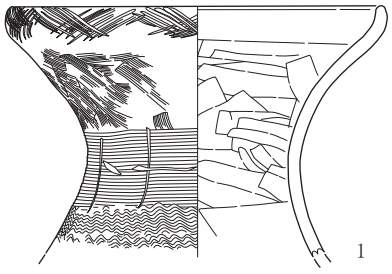
２号住



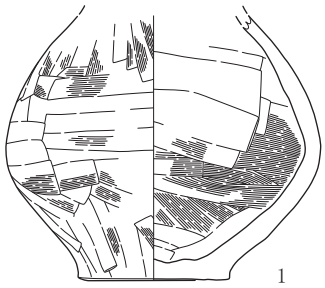


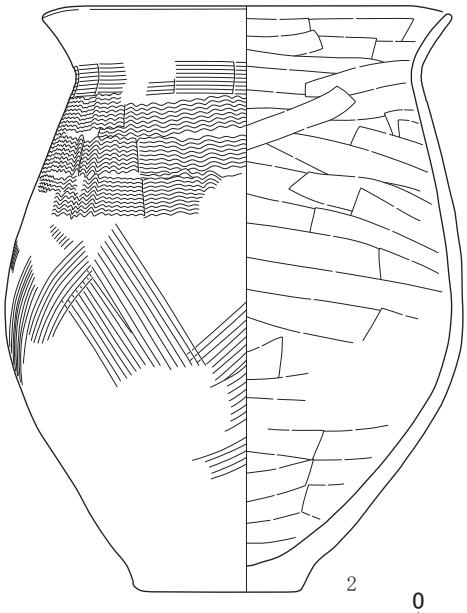


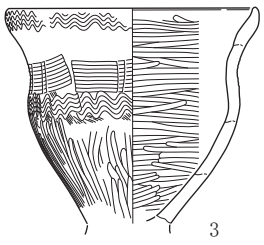
３号住

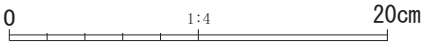


４号住



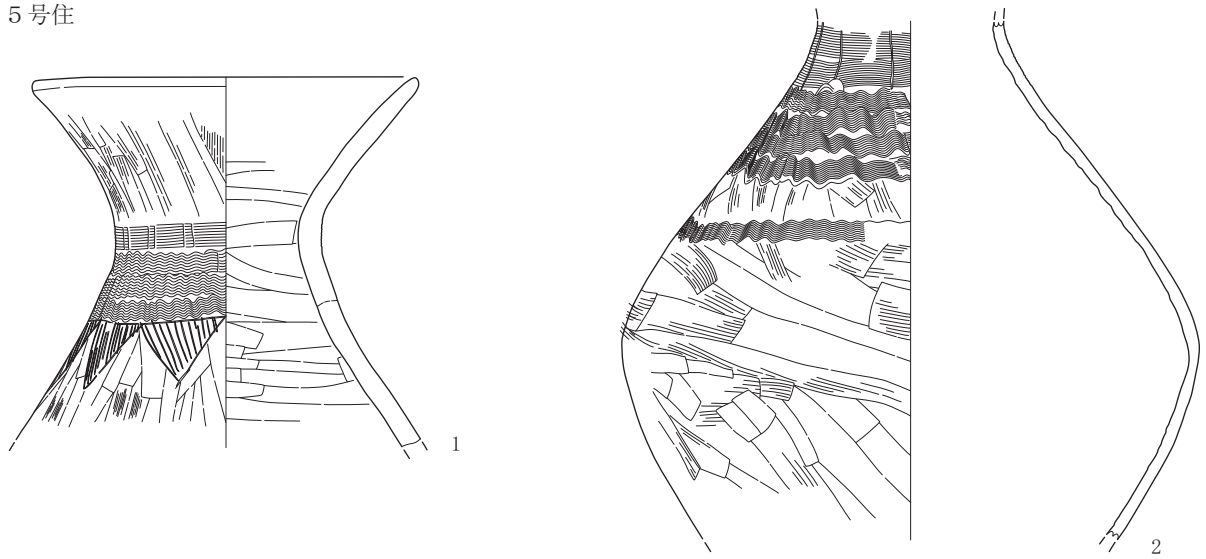




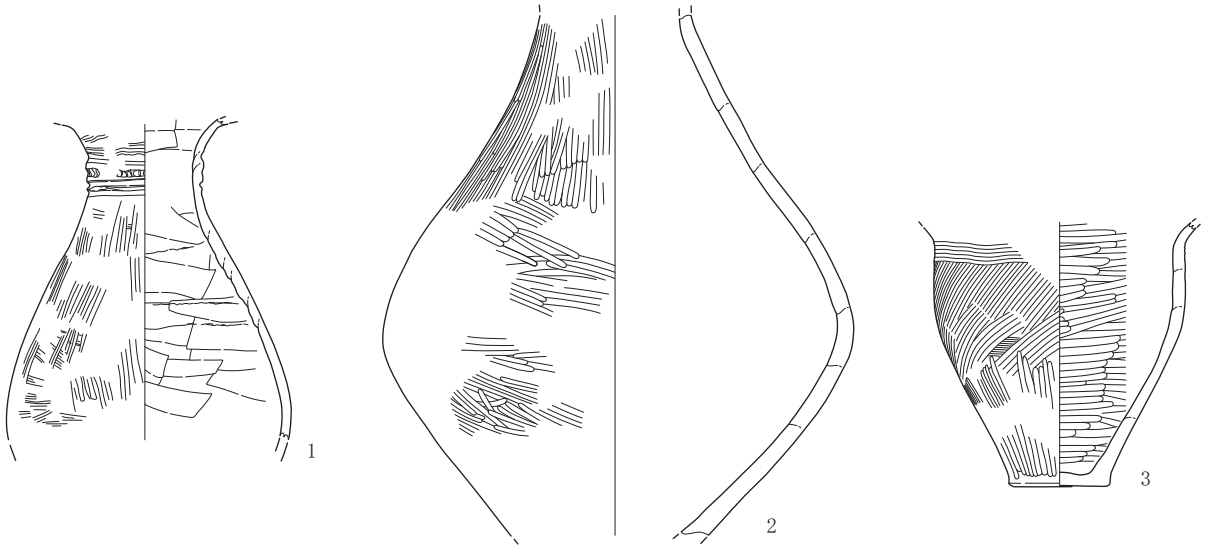


第28図　２～４号住居址出土土器実測図

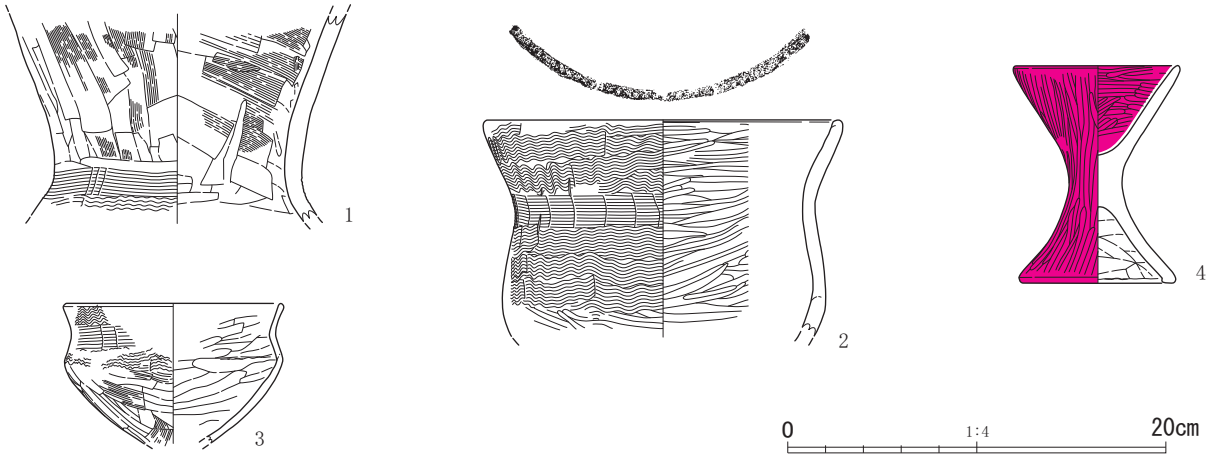
5号住



9号住

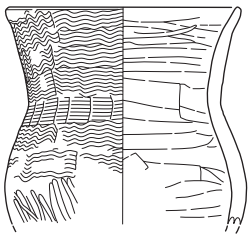


12号住



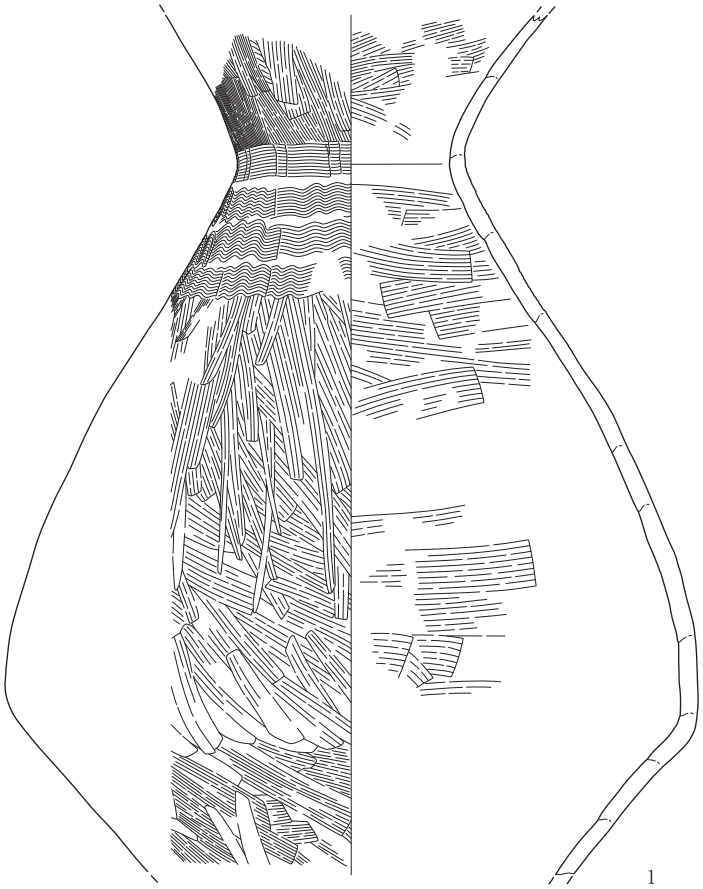
第29図　5号・9号・12号住居址出土土器実測図

13号住

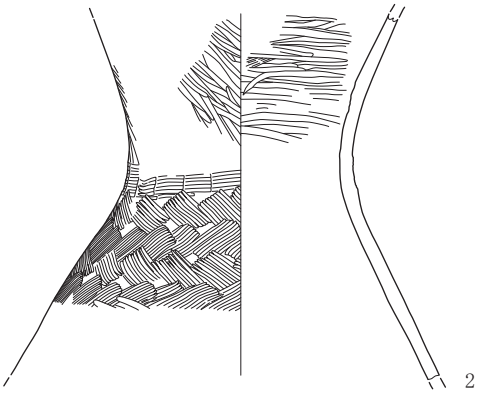


1

14号住



1

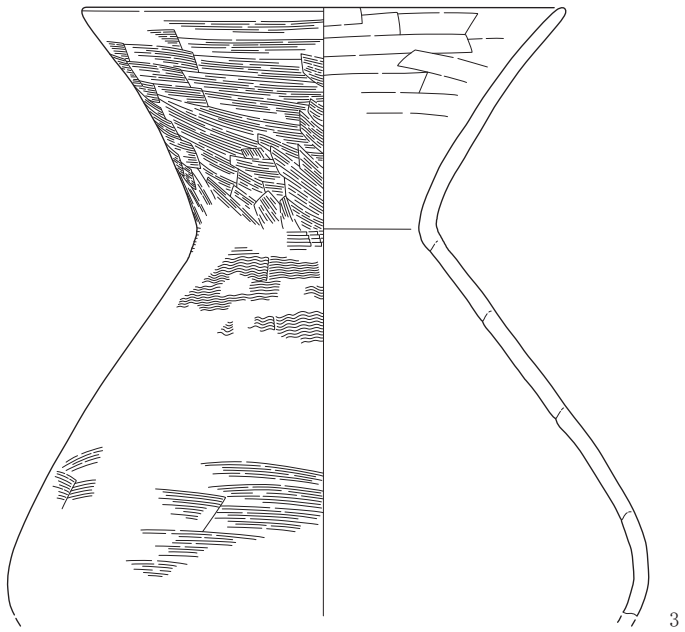


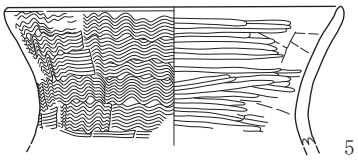
2

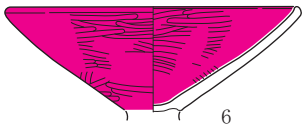
0 1:4 20cm

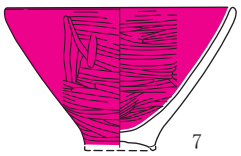
第30図　13号・14号住居址出土土器実測図

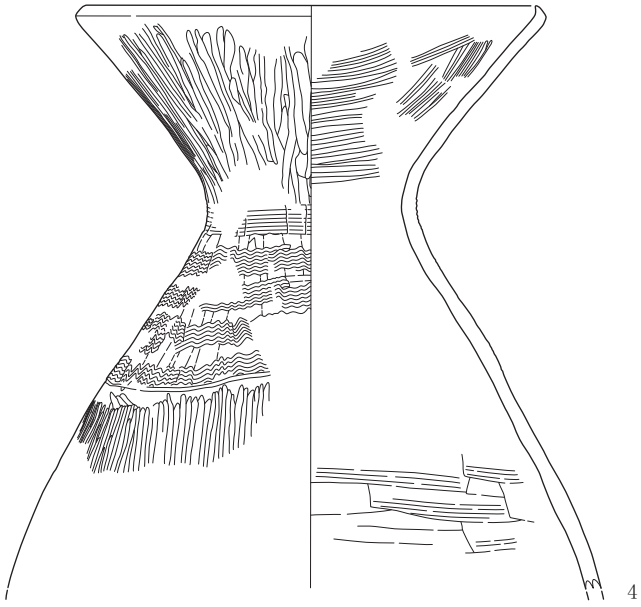
14号住

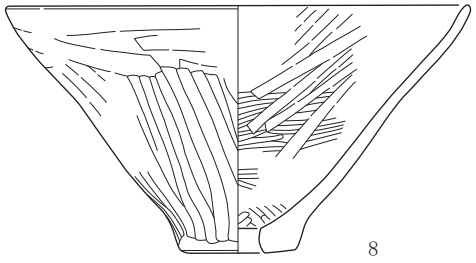


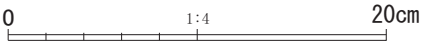






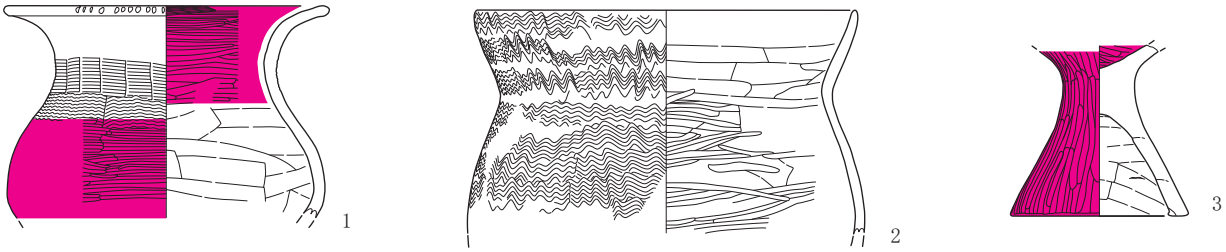




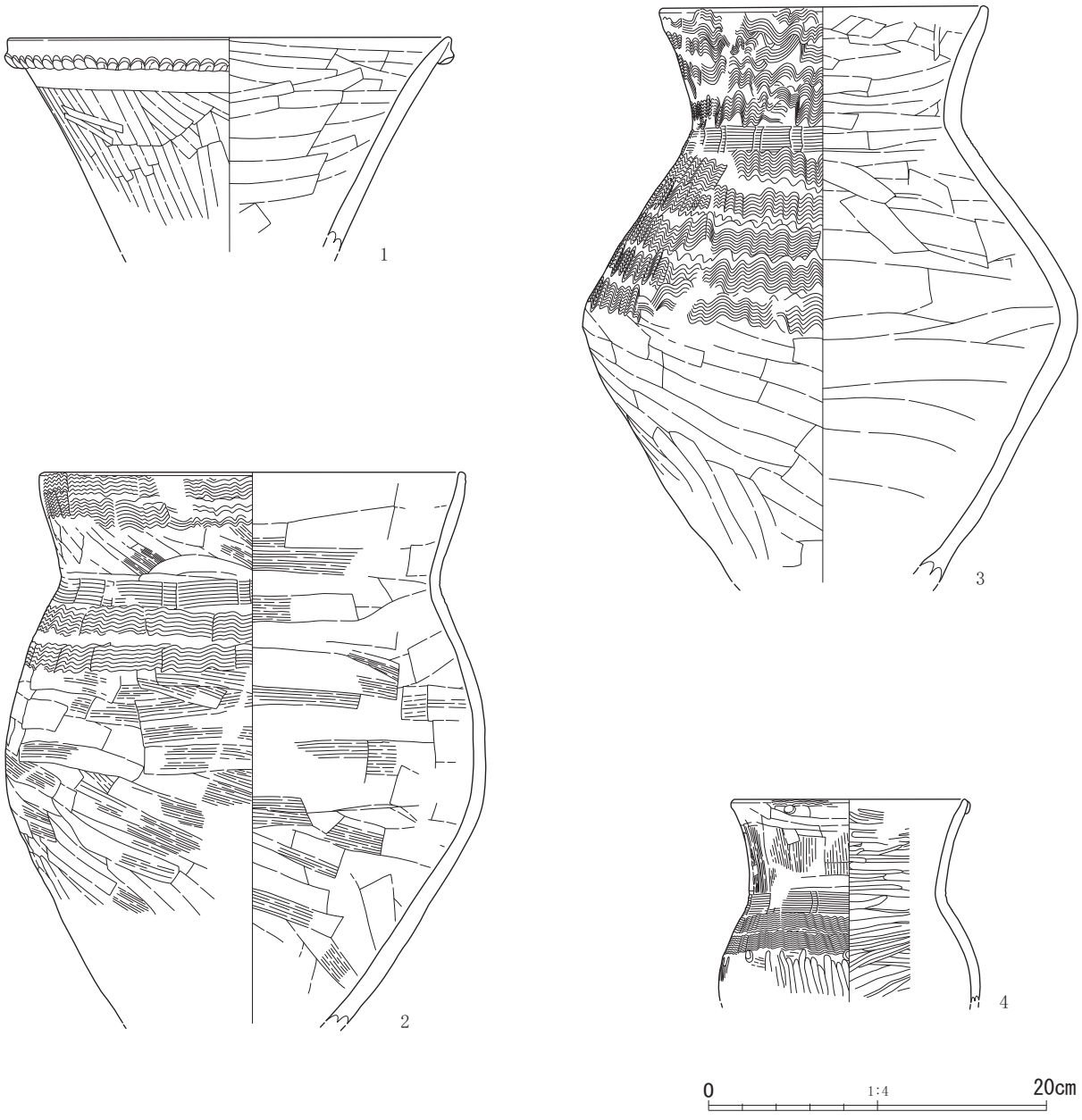


第31図　14号住居址出土土器実測図

16号住

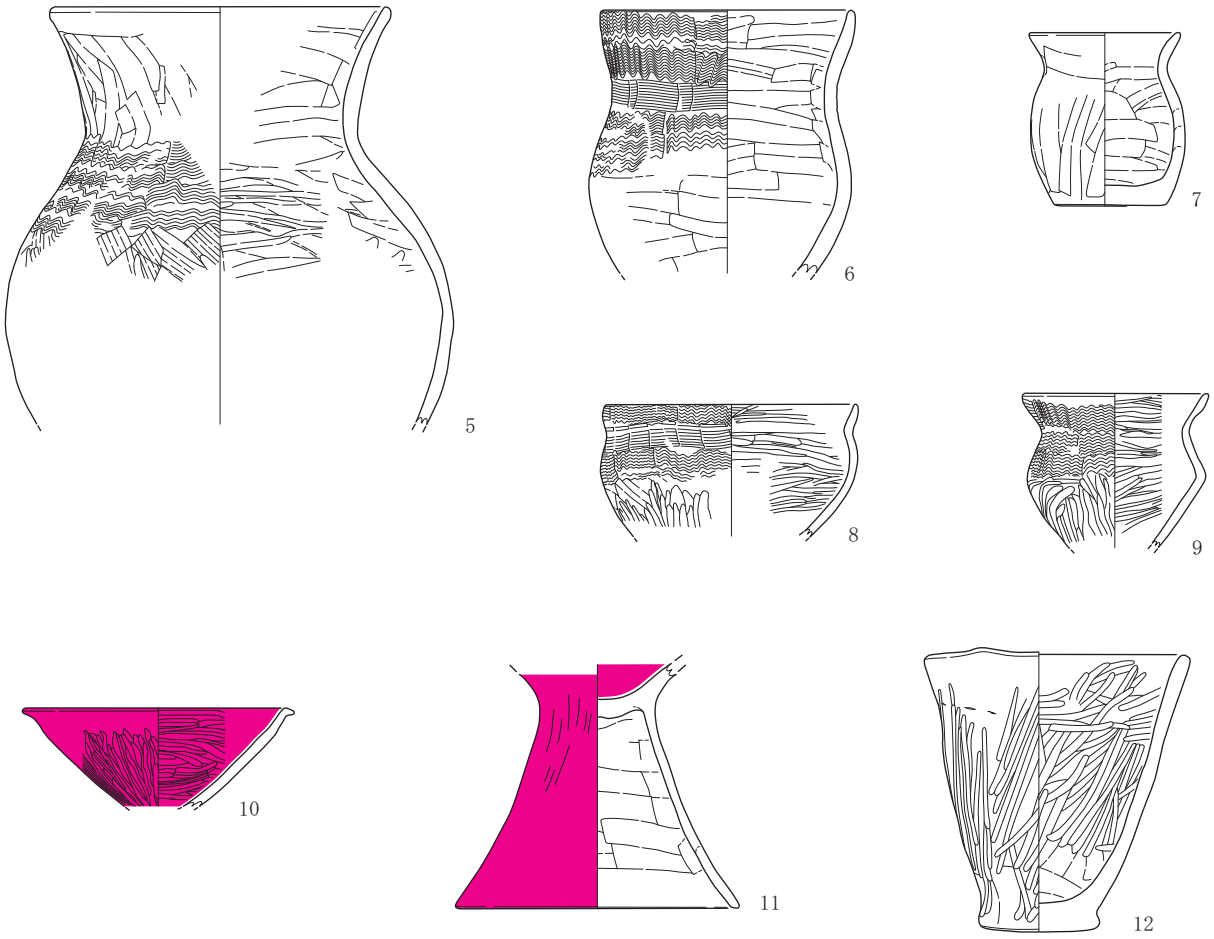


18号住

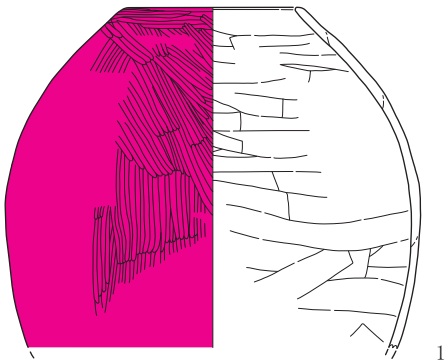


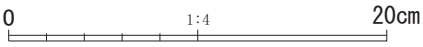
第32図　16号・18号住居址出土土器実測図

18号住



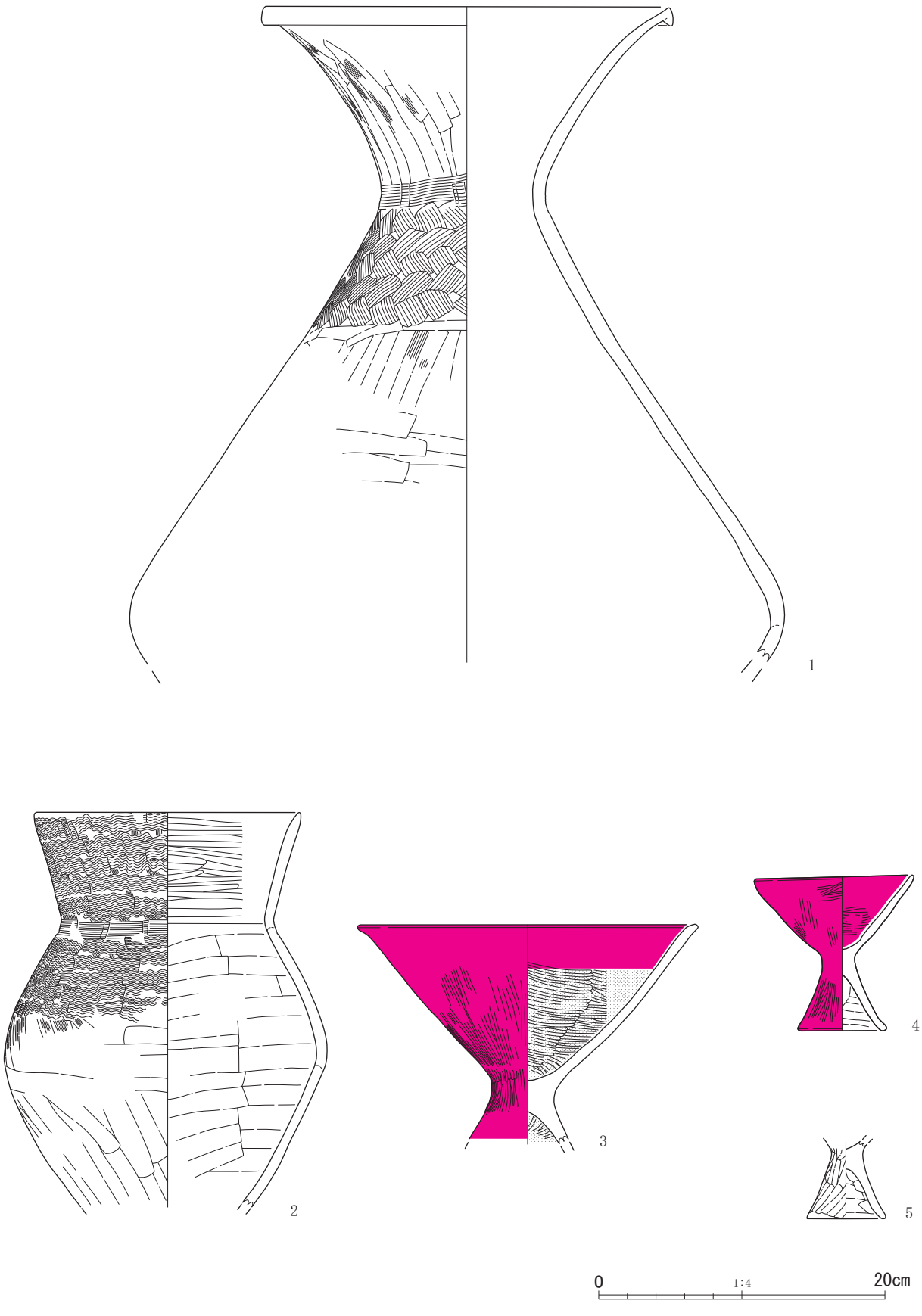
19号住





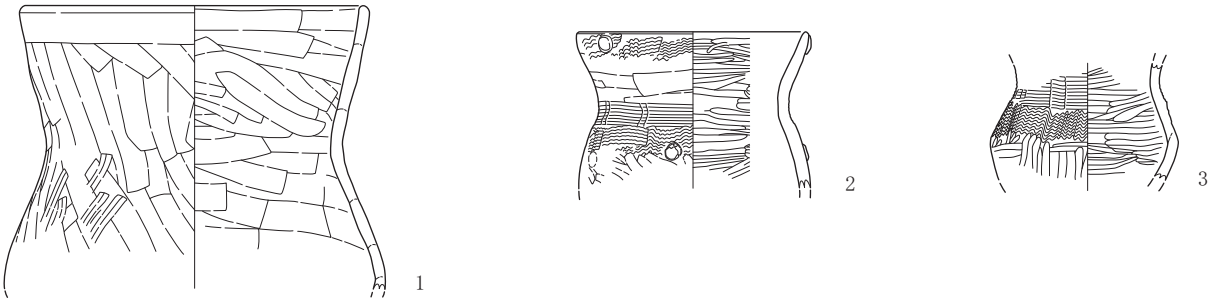
第33図　18号・19号住居址出土土器実測図

24号住

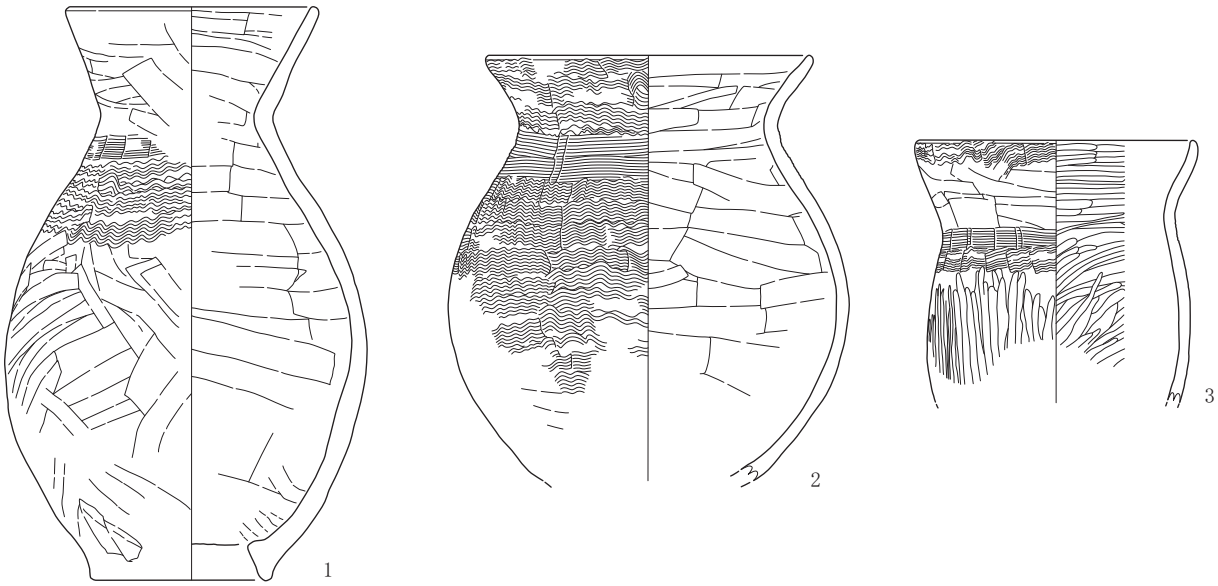


第34図　24号住居址出土土器実測図

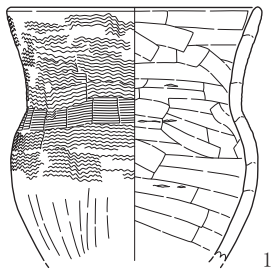
25号住



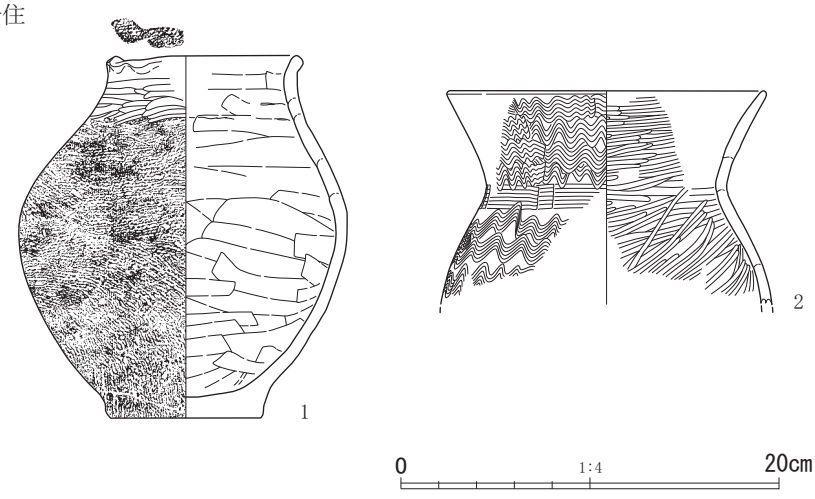
26号住



28号住

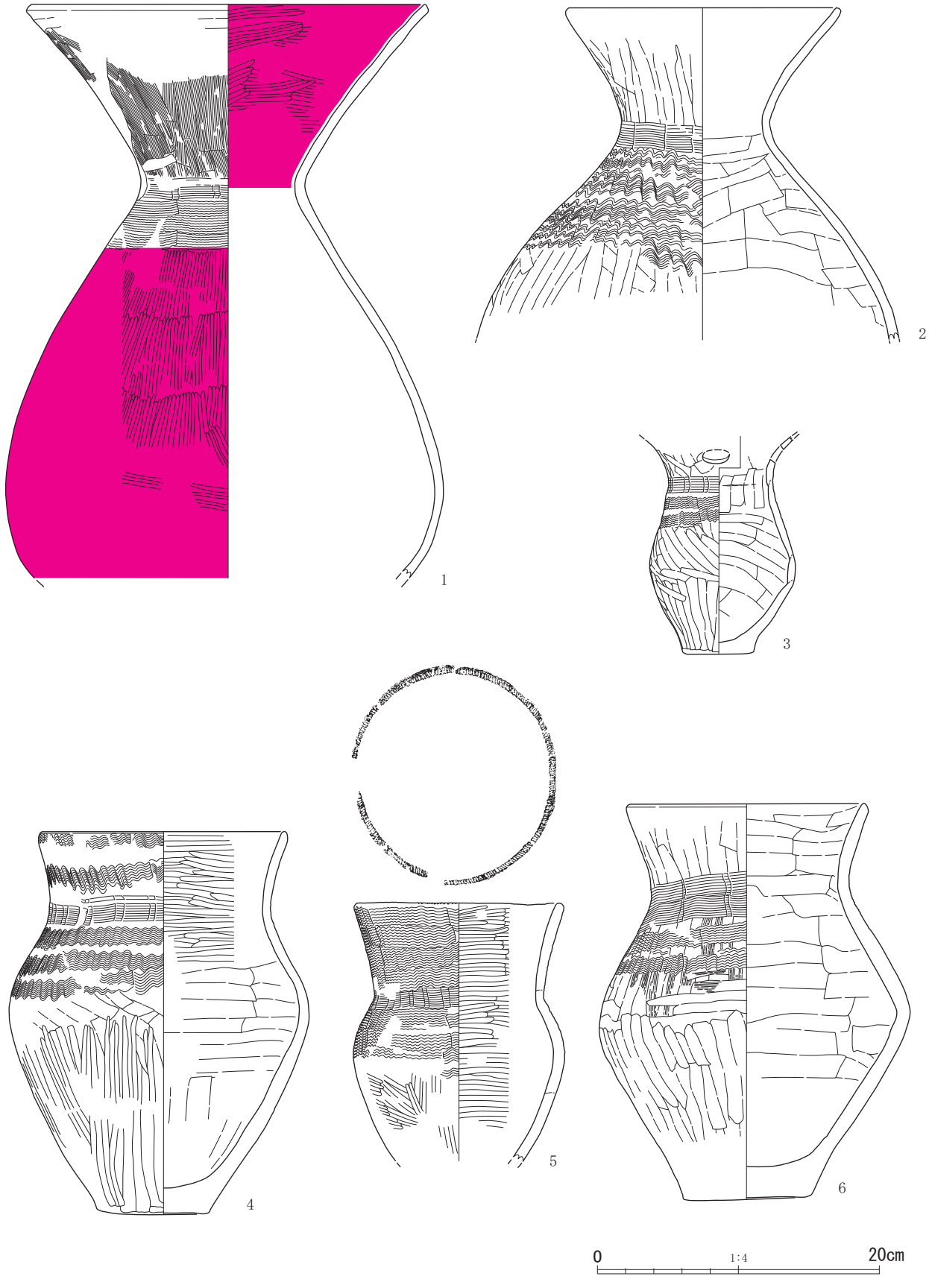


30号住



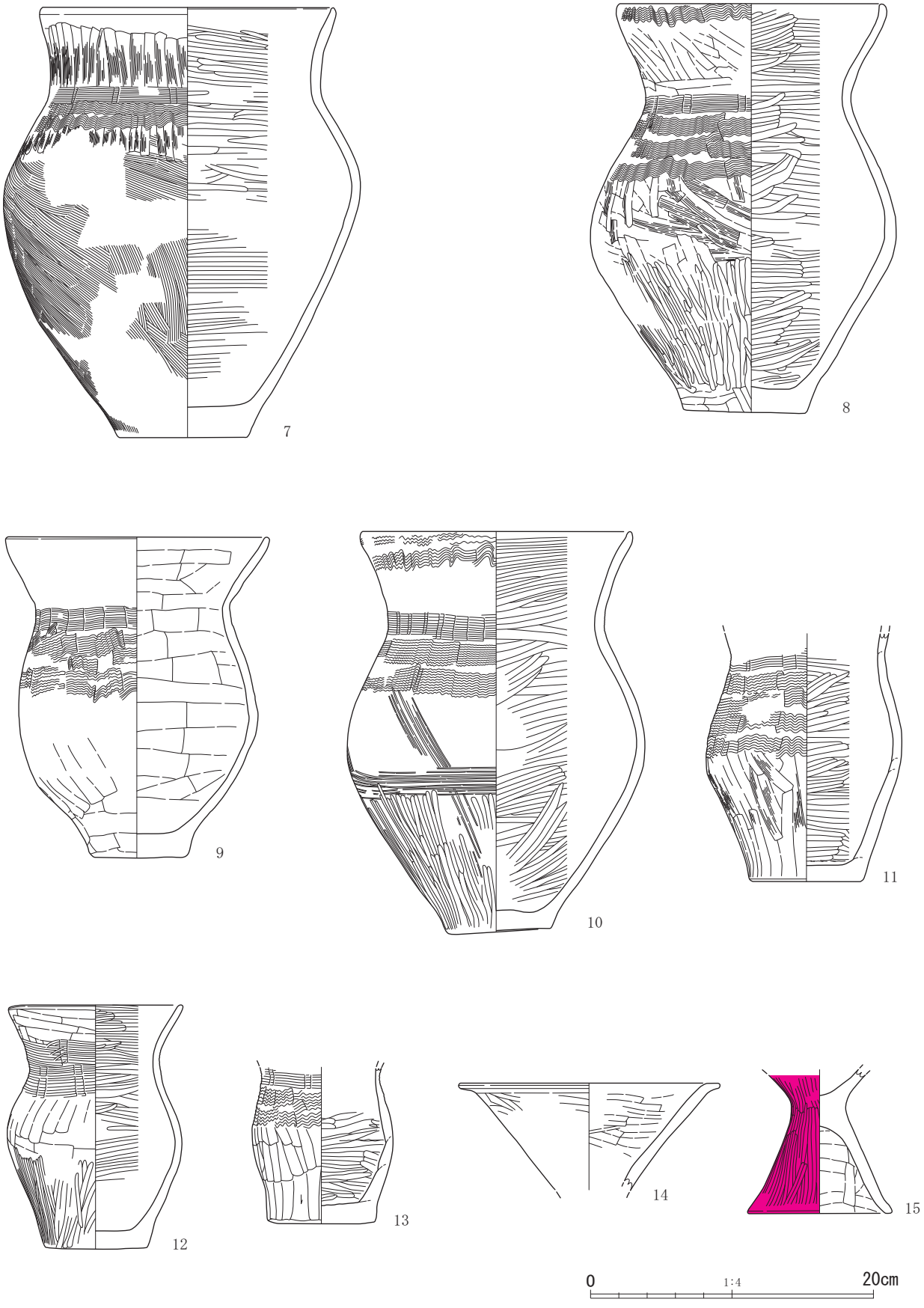
第35図　25号・26号・28号・30号住居址出土土器実測図

32号住



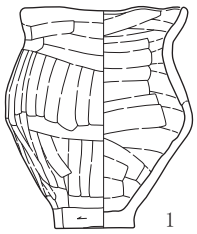
第36図　32号住居址出土土器実測図(1)

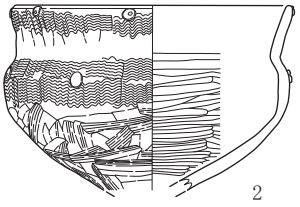
32号住



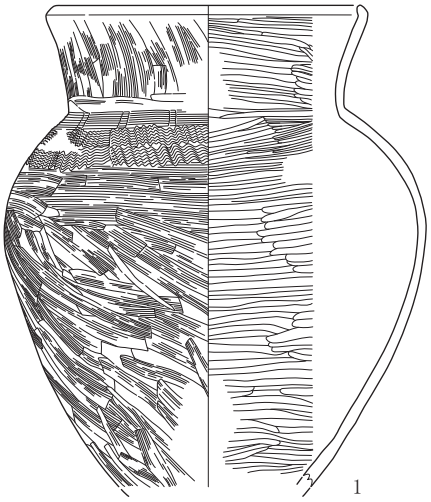
第37図　32号住居址出土土器実測図(2)

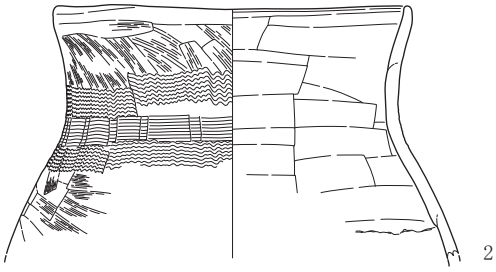
33号住

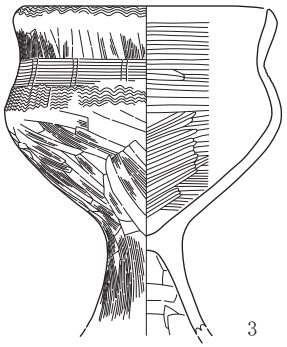


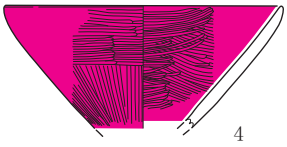


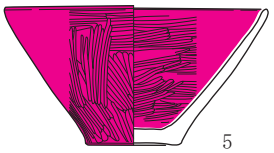
34号住



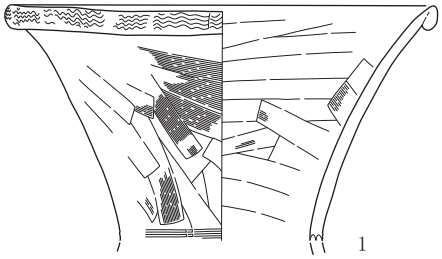


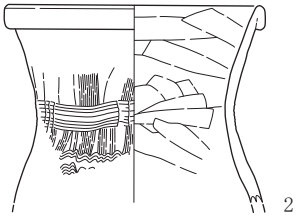


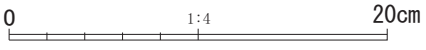




35号住

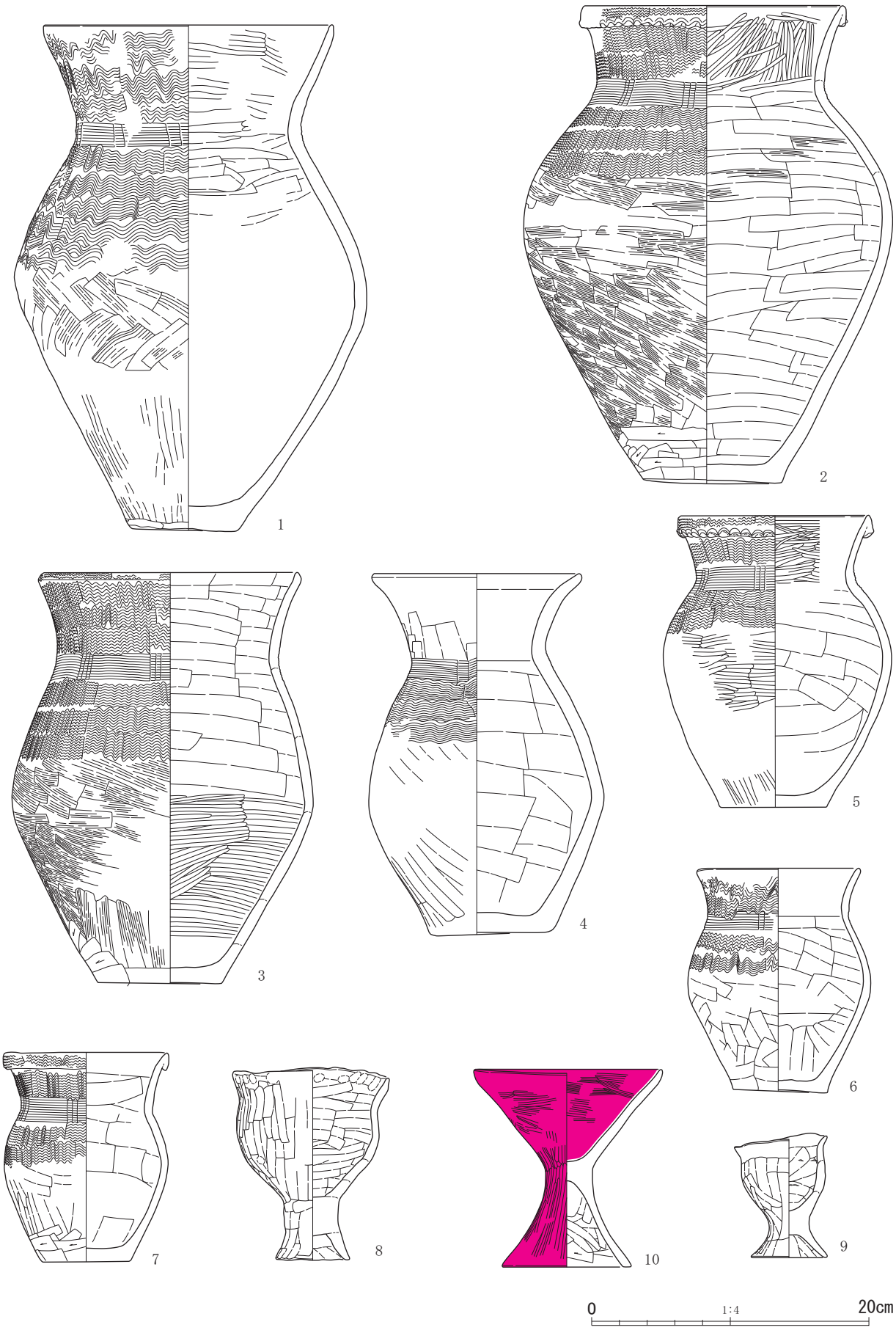






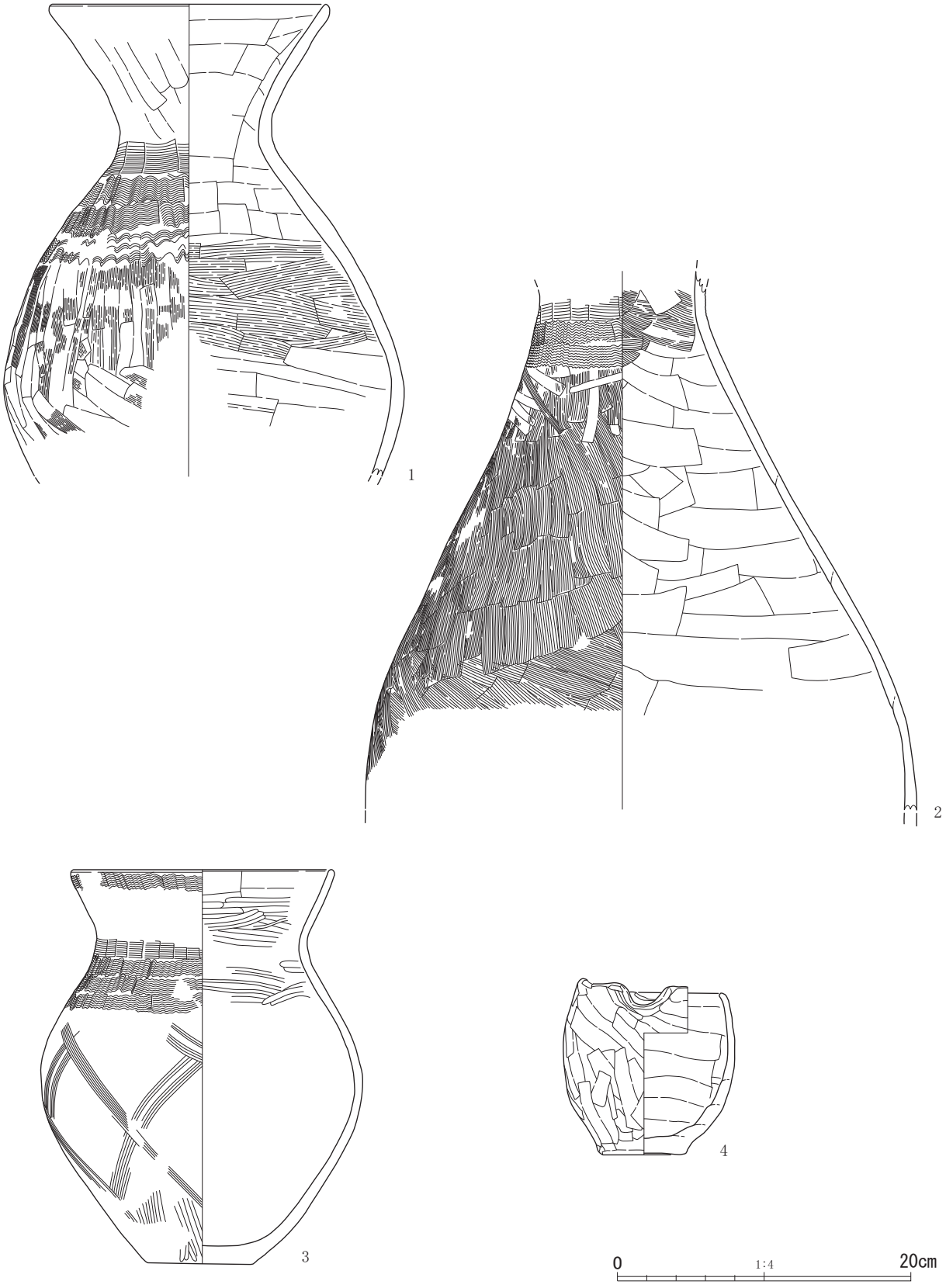
第38図　33～35号住居址出土土器実測図

36号住



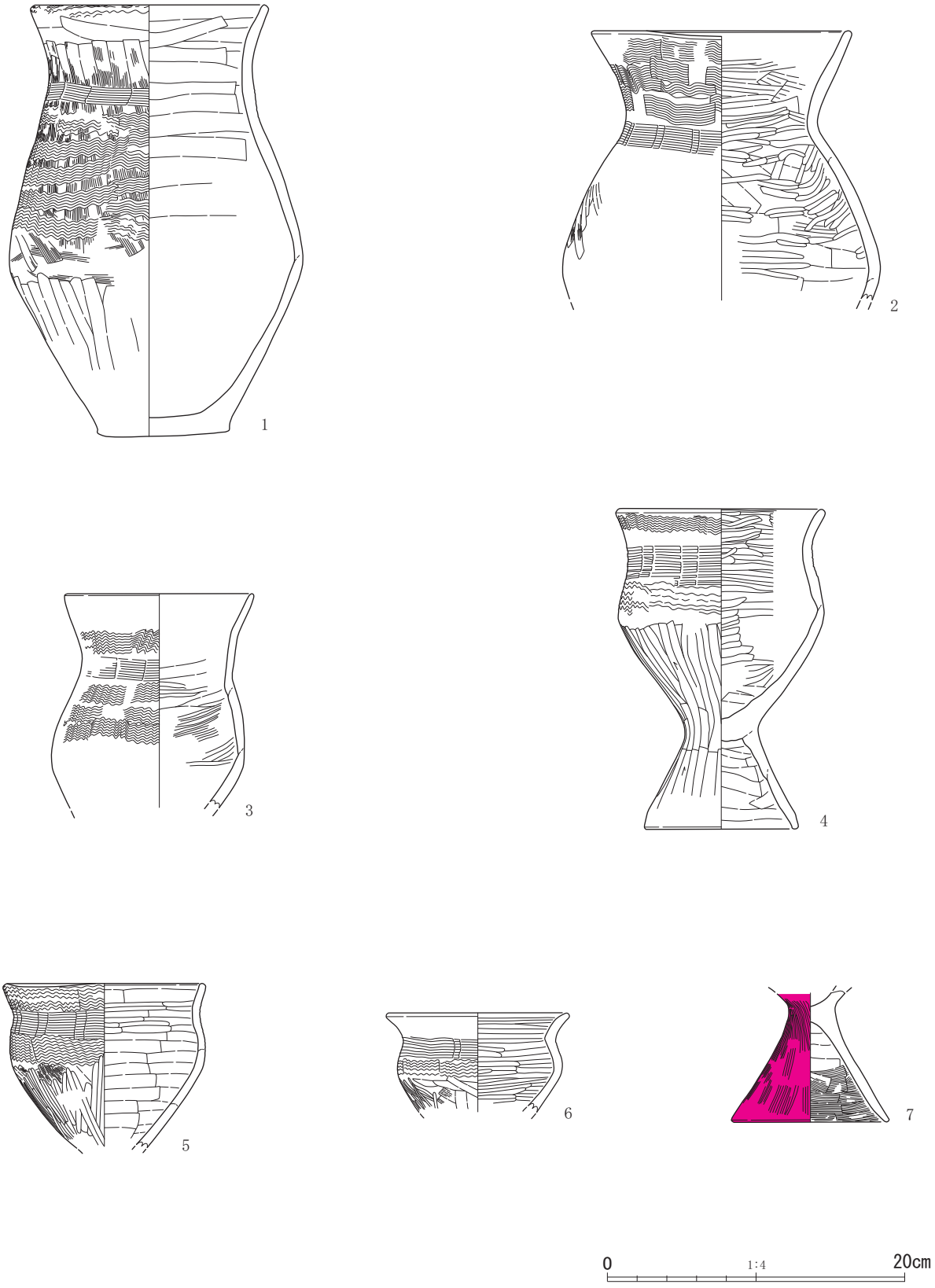
第39図　36号住居址出土土器実測図

38号住



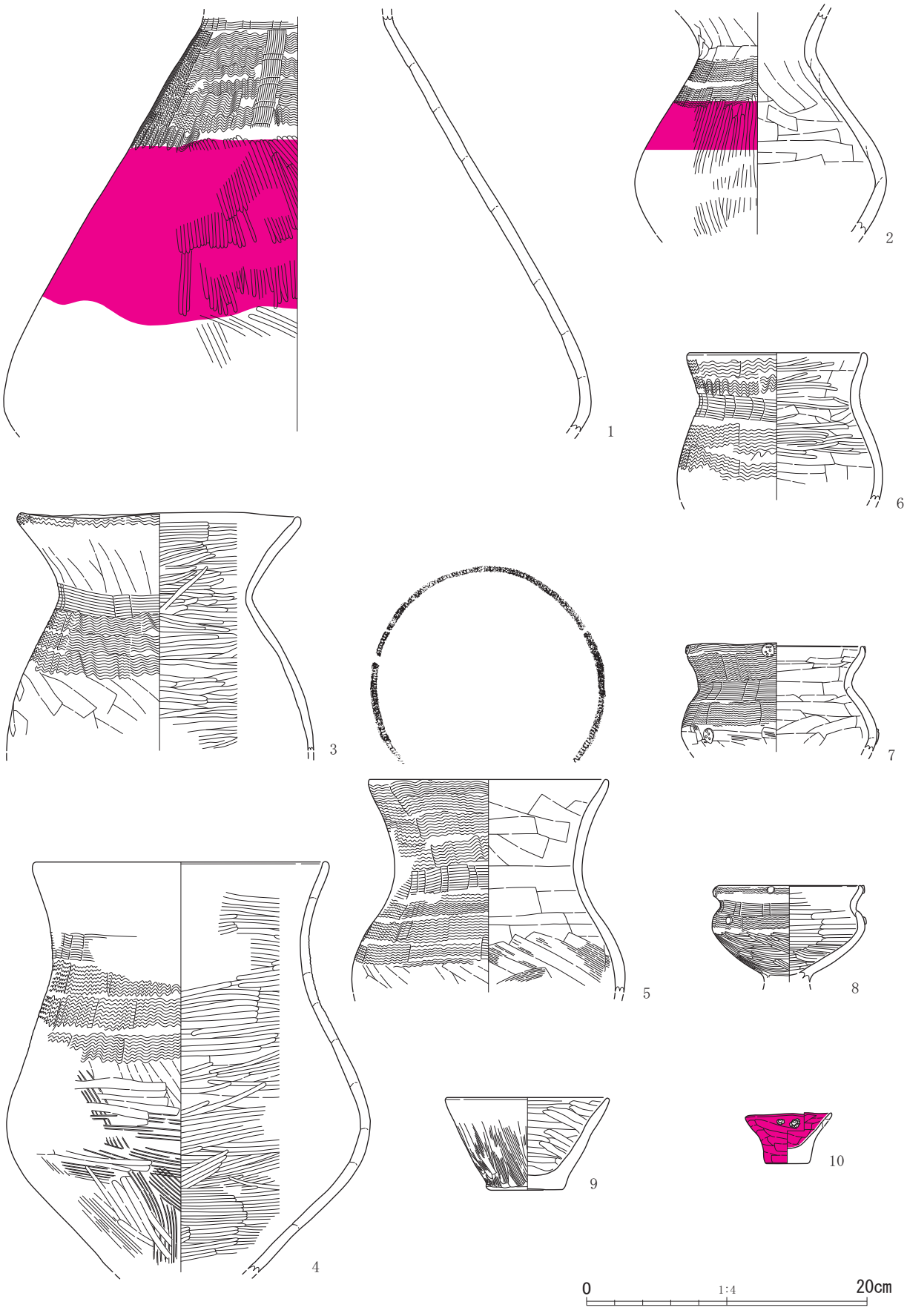
第40図　38号住居址出土土器実測図

41号住



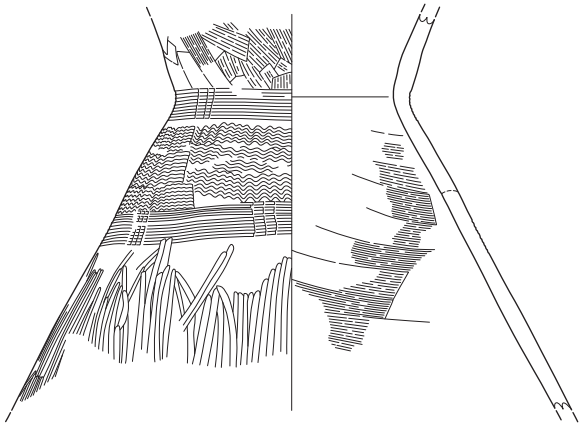
第41図　41号住居址出土土器実測図

43号住

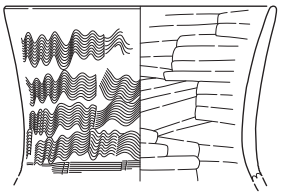


第42図　43号住居址出土土器実測図

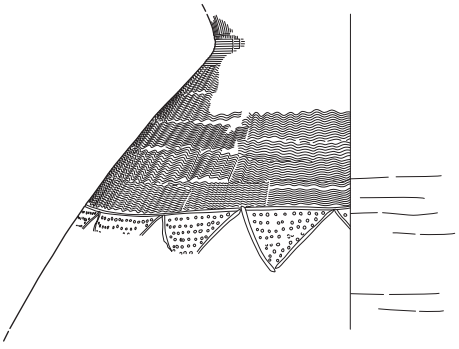
49号住



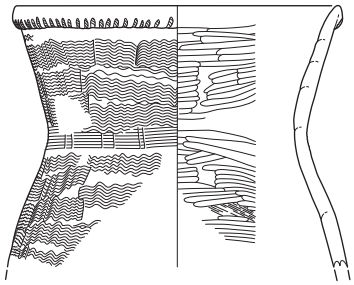
1



3

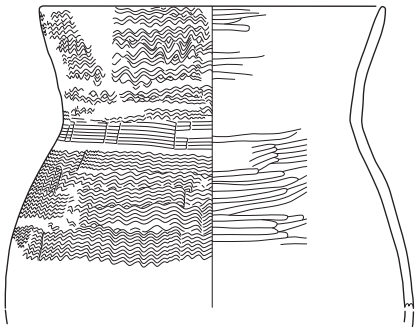


2

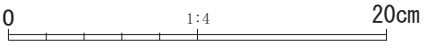


4

58号住

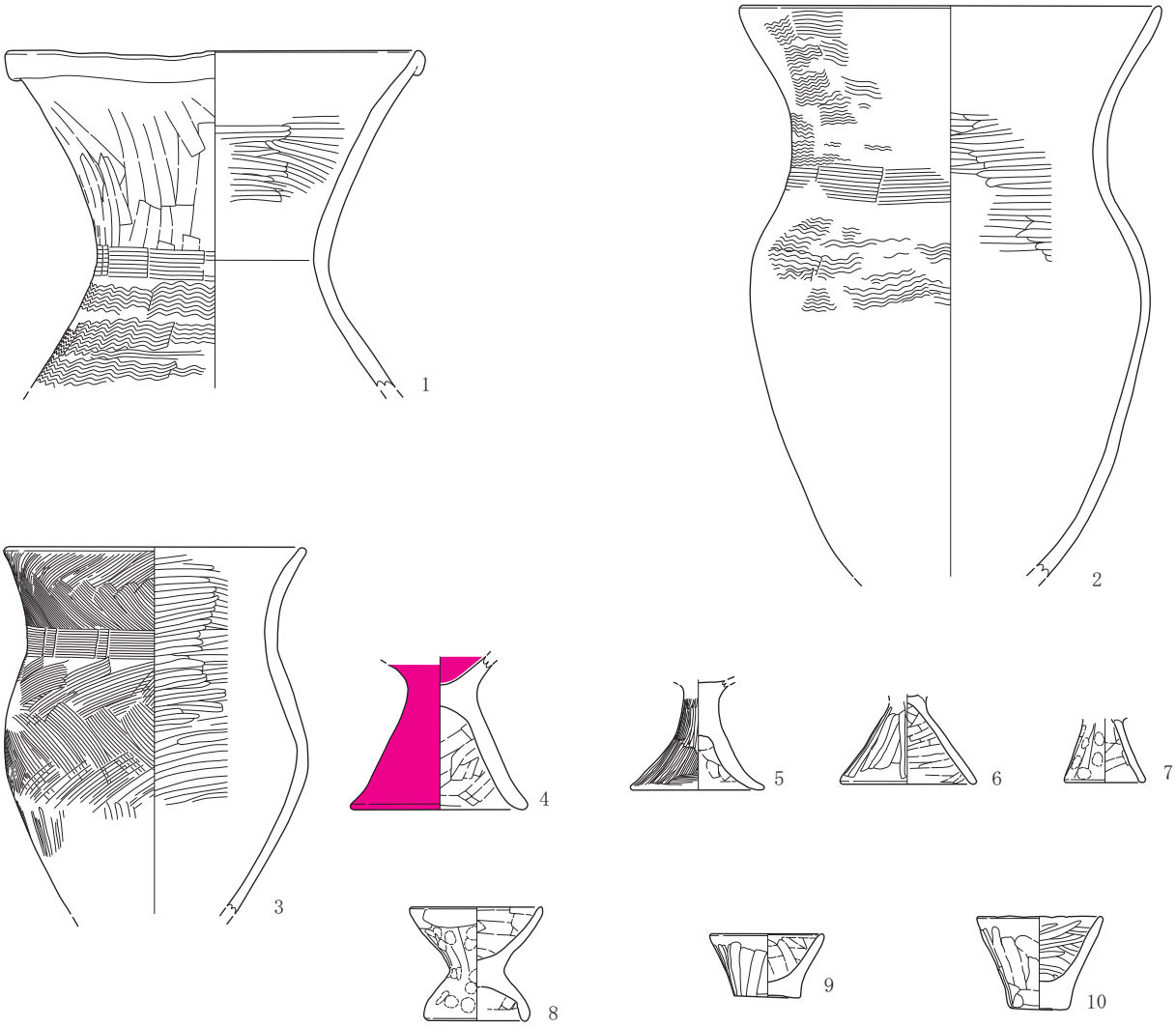


1

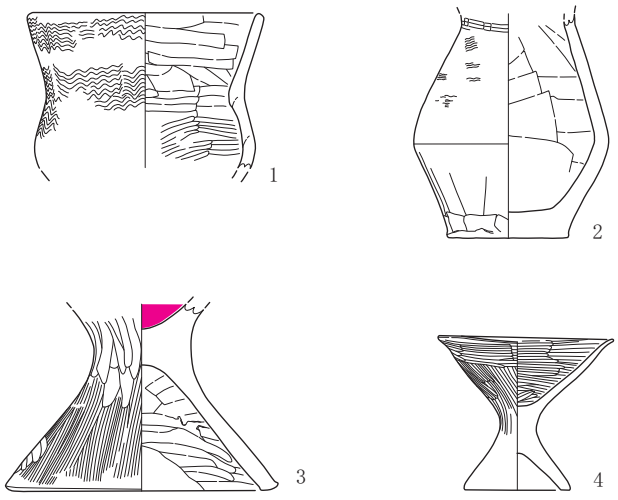


第43図　49号・58号住居址出土土器実測図

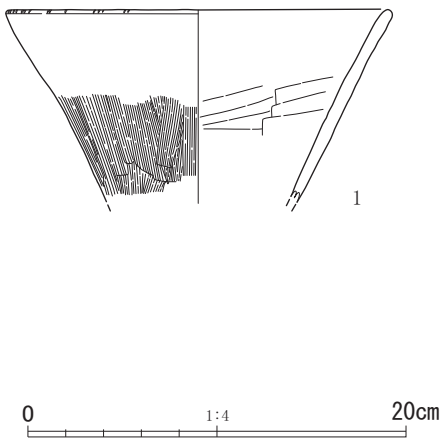
52号住



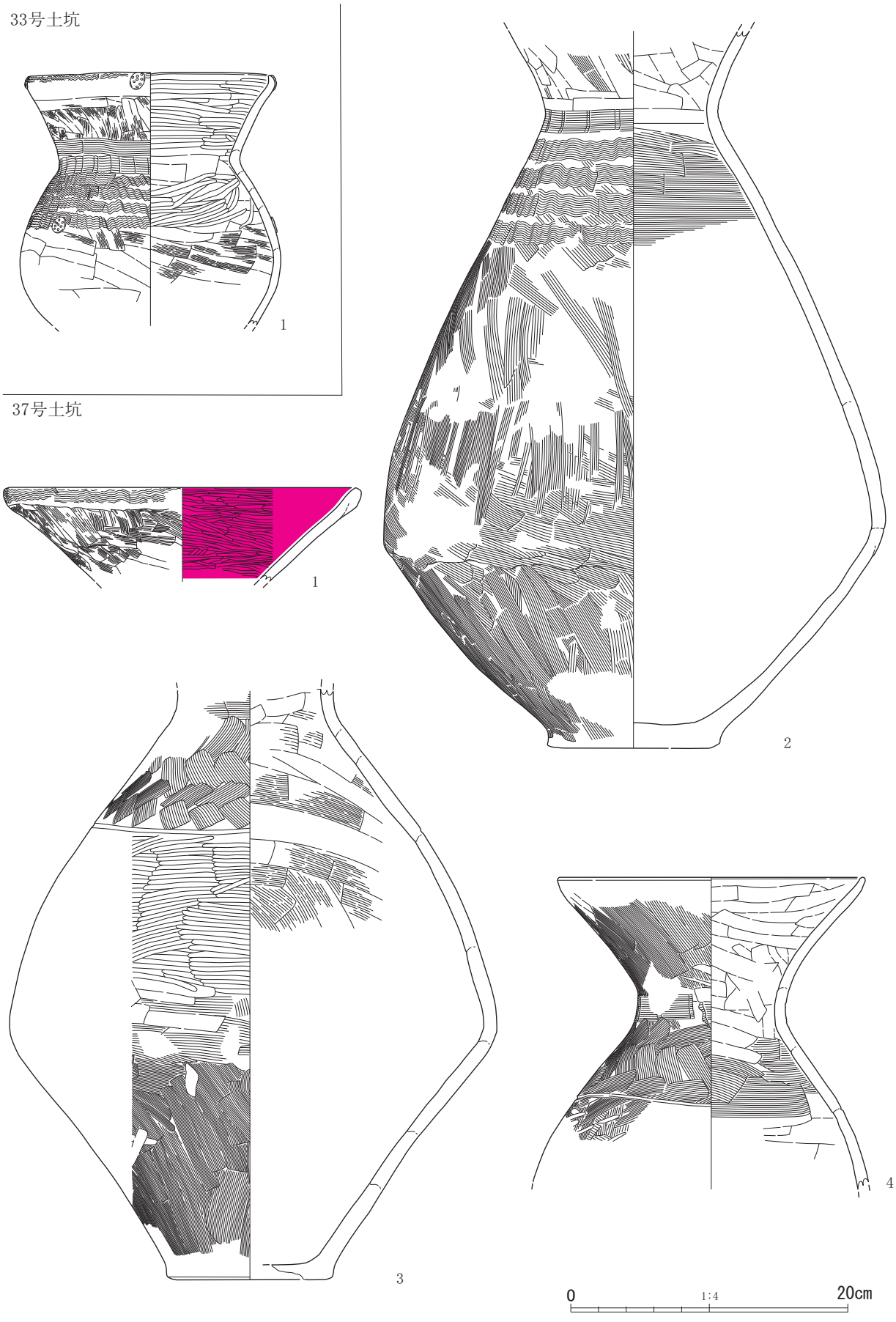
59号住



61号住

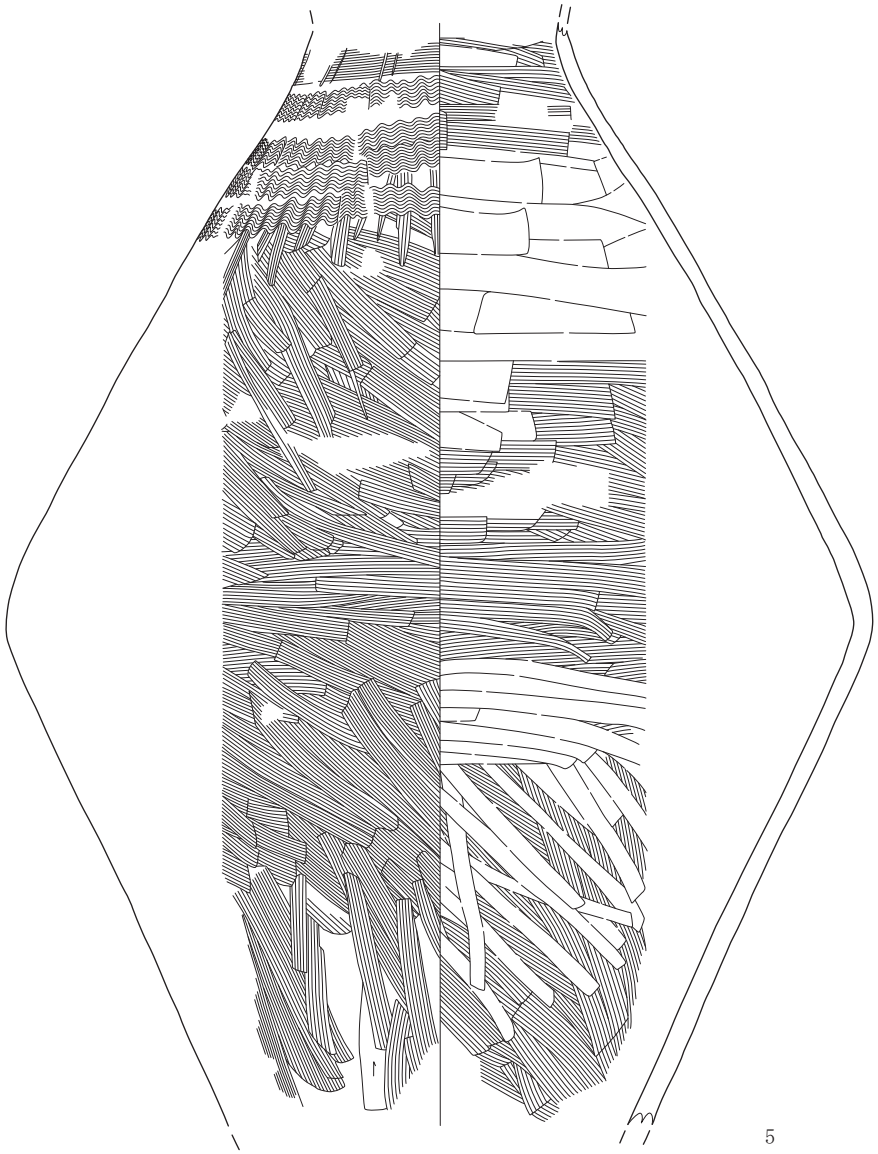


第44図　52号・59号・61号住居址出土土器実測図



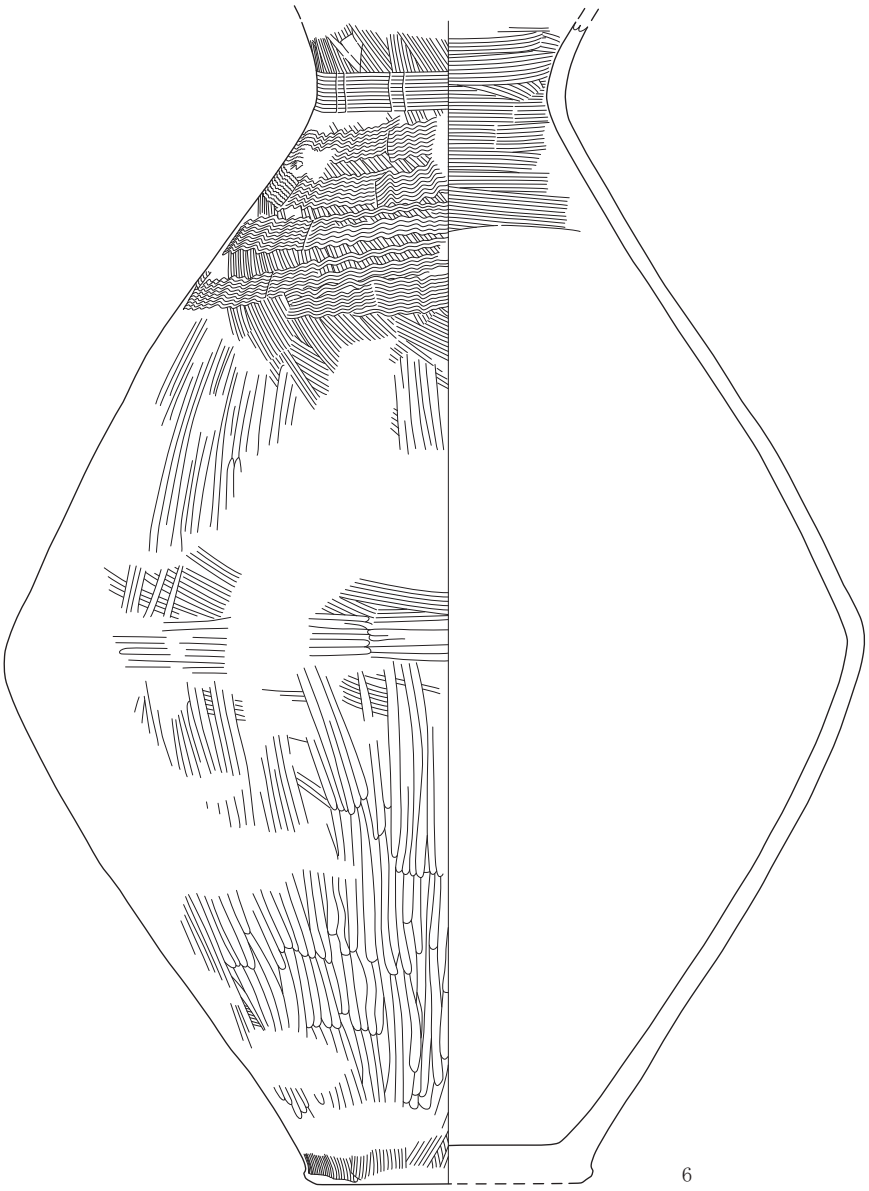
第45図　33号・37号土坑出土土器実測図

37号土坑

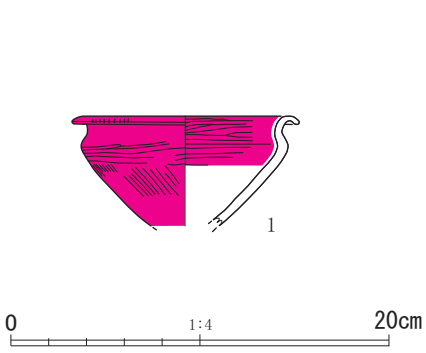


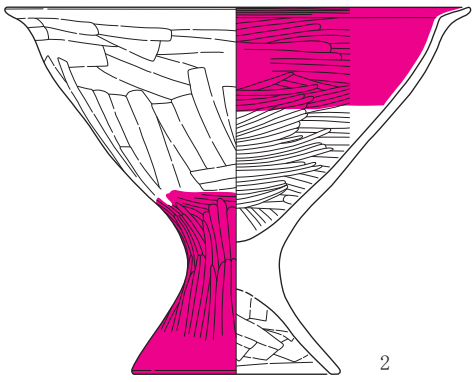
第46図　37号土坑出土土器実測図

37号土坑



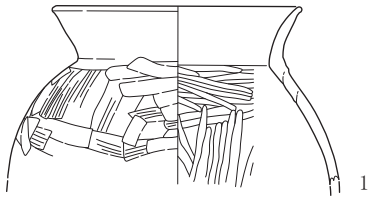
遺構外

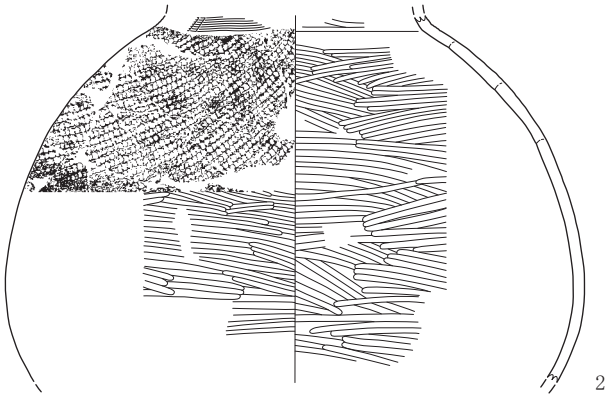




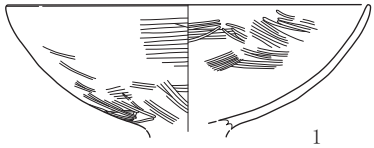
第47図　37号土坑・遺構外出土土器実測図

37号住

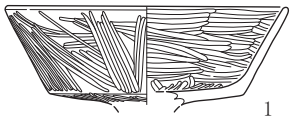


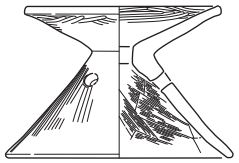


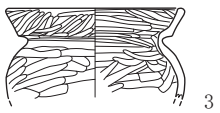
44号住

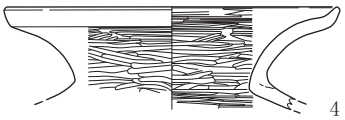


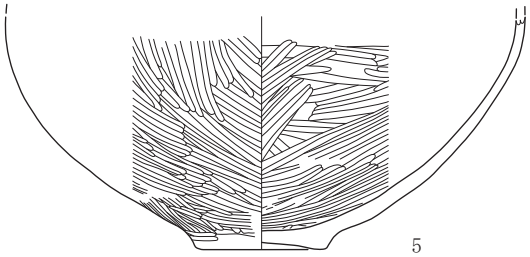
48号住



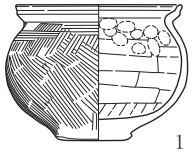


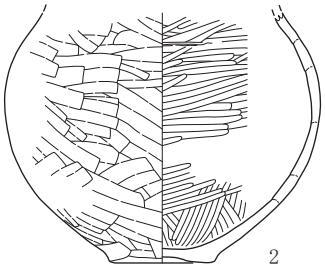


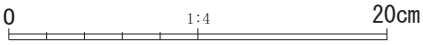




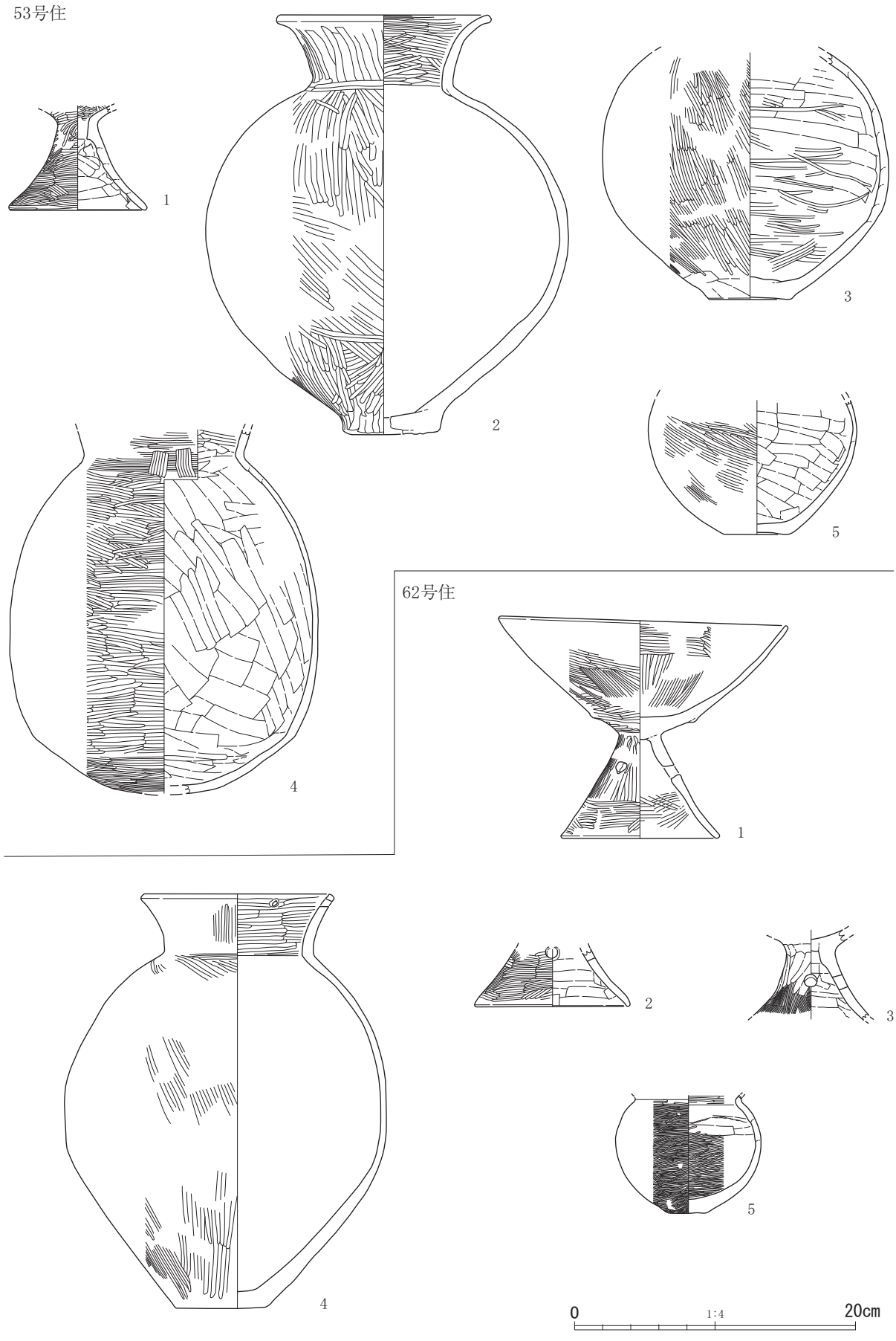
50号住







第48図　37号・44号・48号・50号住居址出土土器実測図



第49図　53号・62号住居址出土土器実測図

遠地谷戸遺跡土器観察表

2号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 22.0 底径 10.0 器高 34.0	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④2/3	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で、底部篦削り。 内面　口縁部篦磨き、胴部～底部篦撫で。
2	弥生土器 甕	№2 一括	口径 17.5 底径 7.8 器高 25.9	①普通　②橙色　③白色粒・角閃石　④9/10	外面　口縁端部波状文、口縁部撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位羽状文、下位篦磨き、底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き。
3	弥生土器 小形甕	一括	口径 14.2 底径 6.8 器高 17.6	①普通　②橙～鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④3/4	外面　口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位～底部篦撫で。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
4	弥生土器 高坏		口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②赤褐～鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④体部上位～脚部上位残存	外面　体部篦磨き、括れ部に凸帯、篦撫で、脚部篦磨き、全面赤彩。 内面　体部篦磨き、赤彩、下位～底部篦撫で、脚部篦撫で、黒色処理。

3号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 19.5 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④口縁部～胴部上位残存	外面　口縁部上位羽状文、口縁部篦撫で、頸部T字文、胴部上位波状文。 内面　口縁部上位横撫で、口縁部～胴部上位篦撫で。

4号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	№1 一括	口径　— 底径 8.0 器高　—	①普通　②灰黄褐～鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④胴部上位～底部3/4	外面　胴部～底部篦撫で。 内面　胴部～底部篦撫で。
2	弥生土器 甕	№2 一括	口径 21.3 底径 8.9 器高 31.0	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④9/10	外面　口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位羽状文、下位～底部器面荒れ調整不明瞭。 内面　口縁部～底部篦撫で。
3	弥生土器 台付甕	一括	口径 13.0 底径　— 器高　—	①普通　②橙～鈍い褐色　③黒色粒・褐色粒　④口縁部～胴部下位7/8	外面　口縁部上位波状文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦磨き。 内面　口縁部～胴部下位篦磨き。

5号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 20.0 底径　— 器高　—	①普通　②明褐～鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④口縁部～胴部上位4/5	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、鋸歯文、篦撫で。 内面　口縁部～胴部上位篦撫で。
2	弥生土器 壺	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②橙～鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④頸部～胴部下位7/8	外面　頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で。 内面　器面荒れ調整不明瞭。

9号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②赤褐～鈍い褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部下位～胴部下位2/3	外面　口縁部篦磨き、頸部沈線、刺突文、胴部篦磨き。 内面　口縁部～胴部篦撫で。
2	弥生土器 壺		口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・角閃石　④頸部～胴部下位7/8	外面　頸部～胴部下位篦磨き。 内面　頸部～胴部下位篦撫で、器面荒れ単位不明瞭。
3	弥生土器 小形甕	一括	口径　— 底径 4.8 器高　—	①普通　②橙～鈍い褐色　③白色粒・角閃石・礫　④頸部～底部2/3	外面　頸部横線文、胴部上位刷毛目、下位篦磨き、底部篦撫で。 内面　頸部～底部篦磨き。

12号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②浅黄橙～橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部上位～胴部上位残存	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面　口縁部～胴部上位篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 18.6 底径　— 器高　—	①普通　②橙色　③白色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位1/3	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦磨き。 内面　口縁部～胴部中位篦磨き。
3	弥生土器 台付甕	一括	口径 (11.4) 底径　— 器高　—	①普通　②灰褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部下位1/3	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で。 内面　口縁部～胴部下位篦撫で。
4	弥生土器 高坏	一括	口径 (8.6) 底径 8.0 器高 11.5	①普通　②明赤褐色　③白色粒・黒色粒　④3/4	外面　口縁部～脚部篦磨き、赤彩。 内面　口縁部～底部篦磨き、赤彩、脚部篦撫で。

第12表　2～5号・9号・12号住居址出土土器観察表

13号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径　12.1 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙～鈍い黄褐色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部中位2/3	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦磨き。 内面　口縁部～胴部中位篦撫で。

14号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②橙～鈍い橙色　③黒色粒・褐色粒　④頸部～胴部中位3/5	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦撫で。 内面　口縁部～胴部中位篦撫で。
2	弥生土器 壺	P３ 一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い褐～鈍い赤褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部中位～胴部上位2/3	外面　口縁部篦磨き、頸部簾状文、胴部上位羽状文、篦磨き。 内面　口縁部篦磨き、胴部上位調整不明瞭。
3	弥生土器 壺	一括	口径　25.3 底径　— 器高　—	①普通　②橙～明赤褐色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位3/5	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦撫で。 内面　口縁部篦撫で、胴部剥落が顕著で調整不明。
4	弥生土器 壺	一括	口径　23.8 底径　— 器高　—	①普通　②明黄褐～橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部中位2/3	外面　口縁部篦磨き、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦磨き。 内面　口縁部篦磨き、胴部篦撫で。
5	弥生土器 甕	一括	口径　17.6 底径　— 器高　—	①普通　②浅黄～橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～頸部残存	外面　口縁部波状文、頸部簾状文。 内面　口縁部～頸部篦磨き。
6	弥生土器 高坏	一括	口径 (15.2) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い褐～鈍い赤褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～底部1/4	外面　口縁部～体部篦磨き、赤彩。 内面　口縁部から底部篦磨き、赤彩。
7	弥生土器 鉢	一括	口径 (12.0) 底径　— 器高　—	①普通　②赤褐色、鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～底部1/3	外面　口縁部～体部篦磨き、赤彩、底部撫で、周辺部は磨耗。 内面　口縁部から底部篦磨き、赤彩。
8	弥生土器 甑	Ｄ１ 一括	口径 (24.4) 底径　6.0 器高　13.1	①普通　②浅黄色　③白色粒・黒色粒　④1/3	外面　口縁部篦撫で、胴部篦磨き、底部撫で。 内面　口縁部から底部篦磨き後一部篦撫で。底部に径2.2cmの円孔。

16号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 (16.6) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位1/2	外面　口唇部刻目、口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、上～中位篦磨き、赤彩。 内面　口縁部篦磨き、赤彩、胴部篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 (20.0) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙～灰黄褐色　③白色粒・黒色粒・石英　④口縁部～胴部上位1/4	外面　口縁部～胴部上位波状文。 内面　口縁部篦撫で、胴部上位篦磨き。
3	弥生土器 高坏	一括	口径　— 底径　9.2 器高　—	①普通　②赤褐色、橙色　③黒色粒・褐色粒　④底部～脚部7/8	外面　体部～脚部篦磨き、赤彩。 内面　体部～底部篦磨き、赤彩、脚部篦撫で。

18号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径　26.0 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部1/3	外面　複合口縁、端部波状の押圧、口縁部篦撫で。 内面　口縁部篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径　24.6 底径　— 器高　—	①普通　②橙～鈍い黄橙色　③白色粒・褐色粒・雲母　④口縁部～胴部下位4/5	外面　口縁部上位波状文、下位篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～下位篦撫で。 内面　口縁部～胴部下位篦撫で。
3	弥生土器 甕	一括	口径　18.8 底径　— 器高　—	①普通　②浅黄橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部下位7/8	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で。 内面　口縁部～胴部下位篦撫で。
4	弥生土器 甕	一括	口径　13.6 底径　— 器高　—	①普通　②灰褐～鈍い褐色　③白色粒・雲母　④口縁部～胴部中位6/7	外面　口唇部波状文、口縁端部円形浮文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、中位篦磨き。 内面　口縁部～胴部中位篦磨き。
5	弥生土器 甕	一括	口径　17.5 底径　— 器高　—	①普通　②橙～鈍い褐色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部下位1/3	外面　口縁部篦撫で、胴部上位波状文、中位篦撫で、下位篦磨き。 内面　口縁部～胴部下位篦撫で。
6	弥生土器 甕	P３	口径　13.1 底径　— 器高　—	①普通　②灰褐～鈍い黄橙色　③白色粒・褐色粒・雲母　④口縁部～胴部下位7/8	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で。 内面　口縁部～胴部下位篦撫で。
7	弥生土器 小形甕	№７	口径 (7.8) 底径　5.9 器高　9.2	①普通　②橙～鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④3/4	外面　口縁部撫で、胴部篦撫で、底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。

第13表　13号・14号・16号・18号住居址出土土器観察表

18号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
8	弥生土器 台付甕	一括	口径 13.1 底径 — 器高 —	①普通 ②橙～鈍い橙色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部下位3/4	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で後篦磨き。 内面 口縁部～胴部下位篦磨き。
9	弥生土器 小形台付甕	一括	口径 9.6 底径 — 器高 —	①普通 ②橙～鈍い赤褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部下位6/7	外面 口縁部～胴部上位波状文、下位篦磨き。 内面 口縁部～胴部下位篦磨き。
10	弥生土器 高坏		口径 14.4 底径 — 器高 —	①普通 ②橙色、赤色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～体部残存	外面 口縁部～体部篦磨き、赤彩。 内面 口縁部～体部篦磨き、赤彩。
11	弥生土器 高坏	P 4	口径 — 底径 (14.8) 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色、明赤褐色 ③白色粒・角閃石 ④体部下位～脚部1/3	外面 体部～脚部篦磨き、赤彩。 内面 体部～底部器面荒れ調整不明瞭、赤彩、脚部篦撫で。
12	弥生土器 鉢	一括	口径 (13.5) 底径 6.2 器高 15.1	①普通 ②鈍い黄橙～黒褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④4/5	外面 口縁部～胴部篦撫で後篦磨き、底部撫で。 内面 口縁部～底部篦撫で後篦磨き。

19号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 無頸壺	P 5	口径 (8.8) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄褐色、赤褐色 ③石英 ④口縁部～胴部中位1/4	外面 口縁部～胴部下位篦磨き、赤彩。 内面 口縁部～胴部下位篦撫で。

24号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	№1	口径 (28.2) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③黒色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部中位2/3	外面 複合口縁、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位櫛描き羽状文、胴部中位篦撫で。 内面 器面荒れ調整不明瞭。
2	弥生土器 甕	一括	口径 18.4 底径 — 器高 —	①普通 ②褐～暗褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部下位7/8	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で。 内面 口縁部篦磨き、胴部篦撫で。
3	弥生土器 高坏	一括	口径 23.4 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色、黒色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～脚部上位5/6	外面 口縁部～脚部篦磨き、赤彩。 内面 口縁部～底部篦磨き、口縁部赤彩、体部～底部黒色処理、脚部篦磨き、黒色処理。
4	弥生土器 高坏		口径 10.9 底径 5.8 器高 10.9	①普通 ②橙～鈍い赤褐色 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部～脚部篦磨き、赤彩。 内面 口縁部～底部篦磨き、赤彩、脚部篦撫で。
5	弥生土器 高坏		口径 — 底径 5.4 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④底部～脚部残存	外面 脚部篦撫で。 内面 底部篦撫で、脚部篦撫で。

25号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 17.8 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部上位1/3	外面 口縁部上位横撫で、口縁部中位～胴部上位篦撫で。 内面 口縁部～胴部上位篦撫で。
2	弥生土器 小形甕	一括	口径 12.0 底径 — 器高 —	①普通 ②暗褐色 ③白色粒 ④口縁部～胴部中位5/6	外面 口縁部上位波状文、円形浮文、下位篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、中位篦撫で。 内面 口縁部～胴部中位篦磨き。
3	弥生土器 小形甕	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通 ②灰褐～黒褐色 ③白色粒・黒色粒 ④頸部～胴部中位3/4	外面 頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦磨き。 内面 頸部～胴部中位篦磨き。

26号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 12.8 底径 9.0 器高 30.3	①普通 ②橙～鈍い橙色 ③白色粒・褐色粒 ④1/2	外面 口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～下位篦撫で。胴部下端は内側に肥厚し、底部は焼成前穿孔、穿孔部分は撫で。 内面 口縁部～胴部下位篦撫で。
2	弥生土器 甕		口径 16.9 底径 — 器高 —	①普通 ②赤褐～鈍い黄褐色 ③白色粒・褐色粒・雲母 ④口縁部～胴部下位2/3	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位～中位波状文、下位篦撫で。 内面 口縁部～胴部下位篦撫で。
3	弥生土器 甕	一括	口径 14.4 底径 — 器高 —	①普通 ②褐灰～鈍い赤褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部中位3/4	外面 口縁端部波状文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦磨き。 内面 口縁部～胴部中位篦磨き。

28号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	D 2	口径 (13.1) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③褐色粒 ④口縁部～胴部下位2/3	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で。 内面 口縁部～胴部下位篦撫で。

第14表　18号・19号・24～26号・28号住居址出土土器観察表

30号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 (9.3) 底径　8.0 器高 19.2	①普通　②橙色　③白色粒・礫 ④3/5	外面　口唇部花弁状に摘まれ端部に縄文、頸部篦磨き、胴部縄文 LR。 内面　口縁部～底部篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 16.6 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い褐色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④口縁部～胴部上位1/4	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面　口縁部～胴部上位篦磨き。

32号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 27.9 底径　— 器高　—	①普通　②橙～明赤褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部中位5/6	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦磨き、赤彩。 内面　口縁部篦磨き、赤彩、胴部調整不明瞭。
2	弥生土器 壺	一括	口径 18.8 底径　— 器高　—	①普通　②橙～鈍い黄橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部中位6/7	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で。 内面　口縁部～胴部中位篦撫で。
3	弥生土器 小形壺		口径　— 底径　4.8 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・褐色粒・石英　④口縁部中位～底部残存	外面　口縁部篦撫で、４箇所に焼成前の穿孔。頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦撫で。
4	弥生土器 甕	一括	口径 17.2 底径　7.7 器高 27.2	①普通　②鈍い赤褐～黒褐色　③白色粒・褐色粒　④7/8	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で、下位篦磨き、底部調整不明瞭。 内面　口縁部篦磨き、胴部～底部篦撫で。
5	弥生土器 甕	一括	口径 14.5 底径　— 器高　—	①普通　②明赤褐色　③白色粒　④口縁部～胴部下位3/4	外面　口唇部刻目、口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦磨き。 内面　口縁部～胴部下位篦磨き。
6	弥生土器 甕	一括	口径 16.5 底径　8.9 器高 28.1	①普通　②橙色　③白色粒・褐色粒　④ほぼ完形	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～下位篦撫で、底部調整不明瞭。 内面　口縁部～底部篦撫で。
7	弥生土器 甕	一括	口径 (20.6) 底径　9.0 器高 30.4	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④3/4	外面　口縁端部横撫で、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、篦撫で、中位～下位刷毛目、底部篦削り。 内面　口縁部～底部篦磨き。
8	弥生土器 甕	一括	口径 18.5 底径　8.5 器高 28.9	①普通　②橙～鈍い褐色　③白色粒・褐色粒　④1/2	外面　口縁端部波状文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で、下位篦磨き、底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き。
9	弥生土器 甕		口径 18.2 底径　6.5 器高 22.8	①普通　②鈍い黄褐色　③白色粒・褐色粒　④口縁部一部欠損	外面　口縁端部横撫で、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位～底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦撫で。
10	弥生土器 甕	一括	口径 19.0 底径　7.2 器高 28.5	①普通　②灰黄褐～黒褐色　③白色粒・黒色粒　④7/8	外面　口縁部上位波状文、下位篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位羽状文、下位篦磨き、底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き。
11	弥生土器 甕	一括	口径　— 底径　7.6 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④口縁部下位～底部残存	外面　口縁部撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で、底部篦削り。 内面　口縁部～底部篦磨き。
12	弥生土器 小形甕	一括	口径 12.2 底径 (7.2) 器高 17.3	①普通　②褐～黒褐色　③白色粒・黒色粒・石英　④7/8	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位篦撫で、下位～底部篦磨き。 内面　口縁部～底部篦磨き。
13	弥生土器 小形甕		口径　— 底径　7.5 器高　—	①普通　②灰褐色　③白色粒・黒色粒　④頸部～底部残存	外面　頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で、下位～底部篦削り。 内面　頸部～底部篦磨き。
14	弥生土器 高坏	一括	口径 18.3 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・角閃石　④口縁部～体部下位3/4	外面　口縁部横撫で、体部器面荒れ調整不明瞭。 内面　口縁部横撫で、体部篦撫で。
15	弥生土器 高坏	一括	口径　— 底径 10.0 器高　—	①普通　②橙色、赤色　③白色粒・褐色粒　④体部下位～脚部7/8	外面　体部下位～脚部篦磨き、赤彩。 内面　体部～底部調整不明瞭、脚部篦撫で、所々に赤色顔料付着。

33号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 小形甕	№1 一括	口径　8.5 底径　4.1 器高 11.8	①普通　②橙～灰褐色　③白色粒・褐色粒・石英　④7/8	外面　口縁部横撫で、胴部篦撫で、下位～底部篦削り。 内面　口縁部～底部篦撫で。
2	弥生土器 台付甕	一括	口径 14.3 底径　— 器高　—	①普通　②橙～灰褐色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部下位7/8	外面　口縁部上位波状文、円形浮文、下位篦撫で、胴部上位波状文、円形浮文、下位篦撫で。 内面　口縁部～胴部下位篦磨き。

第15表　30号・32号・33号住居址出土土器観察表

34号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 16.0 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部下位5/6	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～下位篦撫で。 内面　口縁部～胴部下位篦磨き。
2	弥生土器 甕	一括 35住一括	口径 18.5 底径 — 器高 —	①普通　②橙色　③白色粒・褐色粒・石英　④口縁部～胴部上位1/3	外面　口縁部篦撫で、下位波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、篦撫で。 内面　口縁部～胴部上位篦撫で。
3	弥生土器 台付甕	一括	口径 13.0 底径 — 器高 —	①普通　②赤褐～鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～台部上位7/8	外面　口縁端部波状文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～台部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き、台部篦撫で。
4	弥生土器 高坏	一括	口径 (14.6) 底径 — 器高 —	①普通　②素地 - 灰白色、赤色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～体部下位1/3	外面　口縁部～体部篦磨き、赤彩。 内面　口縁部～体部篦磨き、赤彩。
5	弥生土器 鉢	一括	口径 13.8 底径 4.8 器高 7.4	①普通　②鈍い黄橙色、赤色　③白色粒・角閃石　④口縁部1/5欠損	外面　口縁部～体部篦磨き、赤彩、底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き、赤彩。

35号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 22.4 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④口縁部～頸部6/7	外面　複合口縁、波状文、口縁部篦撫で、頸部簾状文。 内面　口縁部～頸部篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 13.3 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い褐～橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部上位2/3	外面　複合口縁、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面　口縁部～胴部上位篦撫で。

36号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 20.6 底径 7.5 器高 36.8	①普通　②鈍い褐～橙色　③白色粒・褐色粒　④6/7	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位羽状文、下位～底部篦撫で。 内面　口縁部篦磨き、胴部上位～底部篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 18.7 底径 10.0 器高 34.6	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④7/8	外面　複合口縁、波状文、端部波状の押圧、口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～下位篦撫で、底部篦削り。 内面　口縁部篦磨き、胴部～底部篦撫で。
3	弥生土器 甕		口径 18.3 底径 8.9 器高 29.7	①普通　②鈍い黄橙～橙色　③白色粒・黒色粒　④ほぼ完形	外面　口唇部波状文、口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～下位篦撫で、下位～底部篦削り。 内面　口縁部～胴部上位篦撫で、下位～底部篦磨き。
4	弥生土器 甕		口径 14.8 底径 8.8 器高 26.1	①普通　②灰黄褐色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④9/10	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～底部篦撫で。 内面　口縁端部横撫で、口縁部～底部篦撫で。
5	弥生土器 甕	炉 P 7	口径 13.6 底径 7.6 器高 21.1	①普通　②橙～鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④9/10	外面　複合口縁、波状文、端部波状の押圧、口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～下位篦磨き、底部篦削り。 内面　口縁部篦磨き、胴部～底部篦撫で。
6	弥生土器 小形甕	一括	口径 11.6 底径 6.8 器高 16.2	①普通　②橙～灰黄褐色　③白色粒・黒色粒　④3/4	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で、底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
7	弥生土器 小形甕	一括	口径 11.6 底径 6.2 器高 15.2	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④7/8	外面　複合口縁、波状文、口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で、下位～底部篦削り。 内面　口縁部～底部篦撫で。
8	弥生土器 台付甕	一括	口径 11.1 底径 5.2 器高 13.9	①普通　②黄灰色、黒褐色　③白色粒・角閃石　④7/8	外面　口縁部撫で、指頭痕、胴部～台部篦撫で。 内面　口縁部撫で、胴部～底部篦撫で、台部篦撫で。
9	弥生土器 ミニチュア 台付甕		口径 6.6 底径 5.3 器高 9.0	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④台部1/4欠損	外面　口縁部横撫で、胴部～台部篦撫で。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で、台部篦撫で。
10	弥生土器 高坏	一括	口径 13.4 底径 9.2 器高 14.3	①普通　②鈍い黄橙色、赤色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④9/10	外面　口縁部～脚部篦磨き、赤彩。 内面　口縁部～底部篦磨き、赤彩、脚部篦削り後篦撫で。

第16表　34～36号住居址出土土器観察表

38号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	P２ 一括	口径 18.7 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒･褐色粒･雲母 ④口縁部～胴部下位4/5	外面 口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～下位篦撫で。 内面 口縁部～胴部篦撫で。
2	弥生土器 壺	P３ 一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通 ②橙～鈍い黄橙色 ③白色粒・黒色粒 ④頸部～胴部中位3/4	外面 頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～下位篦撫で。 内面 頸部～胴部下位篦撫で。
3	弥生土器 甕	一括	口径 17.6 底径 7.2 器高 27.0	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・石英 ④9/10	外面 口縁端部波状文、口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位羽状文、下位篦磨き、底部篦削り。 内面 口縁部上位篦撫で、下位～胴部上位篦磨き、中位～底部器面荒れ調整不明瞭。
4	弥生土器 片口	№４	口径 9.5 底径 5.7 器高 12.0	①普通 ②鈍い黄橙～暗灰黄色 ③白色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部～底部篦撫で。 内面 口縁部～底部篦撫で。

41号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 15.4 底径 8.8 器高 29.1	①普通 ②鈍い黄橙～灰褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④2/3	外面 口縁端部波状文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位～底部篦撫で。 内面 口縁部～底部篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 17.1 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒･角閃石･石英 ④口縁部～胴部中位1/3	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部篦撫で。 内面 口縁部～胴部篦撫で後一部篦磨き。
3	弥生土器 小形甕	一括	口径 12.4 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙～灰黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部下位2/3	外面 口縁部篦撫で、口縁部下位波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で。 内面 口縁部篦撫で、胴部篦磨き。
4	弥生土器 台付甕		口径 13.5 底径 10.2 器高 21.6	①普通 ②橙～鈍い褐色 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位～台部篦削り。 内面 口縁部～胴部下位篦磨き、底部篦撫で、台部篦撫で。
5	弥生土器 台付甕		口径 13.2 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い赤褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部下位3/4	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で後篦磨き。 内面 口縁部篦磨き、胴部篦撫で。
6	弥生土器 小形台付甕	一括	口径 12.0 底径 — 器高 —	①普通 ②明黄褐～灰黄褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁部～胴部下位3/4	外面 口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で後篦磨き。 内面 口縁部～胴部下位篦磨き。
7	弥生土器 高坏	一括	口径 — 底径 10.2 器高 —	①普通 ②橙～赤褐色 ③白色粒・黒色粒・石英 ④脚部残存	外面 脚部篦磨き、赤彩。 内面 脚部篦撫で。

43号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通 ②橙色、明赤褐色 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④頸部～胴部中位1/2	外面 頸部簾状文、胴部上位波状文・縦位簾状文、中位～下位篦磨き。 内面 器面荒れ調整不明瞭。
2	弥生土器 壺	P４	口径 — 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い褐色 ③白色粒・黒色粒・石英 ④口縁部下位～胴部下位2/3	外面 口縁部下位篦撫で、胴部上位波状文、中位～下位篦磨き、中位赤彩。 内面 口縁部～胴部篦撫で。
3	弥生土器 甕	P３	口径 19.6 底径 — 器高 —	①普通 ②灰黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部中位4/5	外面 口縁端部波状文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で。 内面 口縁部～胴部篦磨き。
4	弥生土器 甕	P４ 一括	口径 20.7 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い褐色 ③白色粒・石英・礫 ④口縁部～胴部下位1/2	外面 口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位櫛描文後篦撫で。 内面 口縁部上位横撫で、下位～胴部篦撫で後篦磨き。
5	弥生土器 甕	P４ 一括	口径 17.0 底径 — 器高 —	①普通 ②褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部中位1/2	外面 口唇部刻目、口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で。 内面 口縁部～胴部篦撫で。
6	弥生土器 小形甕	P３	口径 12.4 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部中位残存	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で。 内面 口縁部～胴部篦撫で後篦磨き。
7	弥生土器 台付甕	一括	口径 12.4 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・褐色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位9/10	外面 口縁端部円形浮文、口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、下位篦撫で。 内面 口縁部～胴部篦撫で。
8	弥生土器 小形台付甕	一括	口径 10.1 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部下位残存	外面 口縁部波状文、円形浮文、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、下位篦磨き。 内面 口縁部～胴部下位篦磨き。
9	弥生土器 鉢		口径 11.4 底径 5.0 器高 6.7	①普通 ②明赤褐色 ③白色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部篦撫で、底部篦削り。 内面 口縁部～底部篦磨き。

第17表　38号・41号・43号住居址出土土器観察表

43号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
10	弥生土器 ミニチュア 鉢	P 5	口径　6.0 底径　3.0 器高　3.6	①普通　②赤色　③白色粒・黒色粒　④ほぼ完形	外面　口縁部～体部篦撫で、赤彩、底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦撫で、赤彩。口縁部に焼成前の穿孔２孔１組。

49号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②褐～鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部下位～胴部中位4/5	外面　口縁部下位篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文・簾状文、中位篦磨き。 内面　口縁部～胴部篦撫で。
2	弥生土器 壺	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②橙～鈍い橙色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④口縁部下位～胴部中位1/3	外面　口縁部下位刷毛目、頸部簾状文、胴部上位波状文・鋸歯文、中位篦磨き。 内面　口縁部～胴部篦撫で。
3	弥生土器 甕	P 2	口径 14.2 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄褐色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④口縁部～頸部1/2	外面　口縁部波状文、頸部簾状文。 内面　口縁部～頸部篦撫で。
4	弥生土器 甕	P 3	口径 (17.0) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④口縁部～胴部上位1/4	外面　複合口縁横撫で、端部刻目、口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面　口縁端部横撫で、口縁部～胴部上位篦撫で後篦磨き。

52号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	№1 一括	口径 22.3 底径　— 器高　—	①普通　②橙色　③白色粒・褐色粒・角閃石　④口縁部～胴部上位9/10	外面　複合口縁横撫で、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面　口縁部篦磨き、胴部器面荒れ調整不明瞭。
2	弥生土器 甕	一括	口径 (22.8) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部下位1/3	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で。 内面　口縁部～胴部下位篦磨き。
3	弥生土器 甕	一括	口径 (16.0) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い赤褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部下位1/2	外面　口縁部羽状文、頸部簾状文、胴部上位羽状文、下位篦磨き。 内面　口縁部～胴部下位篦磨き。
4	弥生土器 高坏	一括	口径　— 底径　9.3 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色、鈍い赤褐色　③角閃石・礫　④底部～脚部残存	外面　器面荒れ調整不明瞭、赤彩。 内面　底部調整不明瞭、赤彩、脚部篦撫で。
5	弥生土器 高坏	一括	口径　— 底径　7.1 器高　—	①普通　②赤褐色　③褐色粒・石英　④底部～脚部残存	外面　脚部篦磨き。 内面　底部篦磨き、脚部篦撫で。
6	弥生土器 高坏	一括	口径　— 底径　7.1 器高　—	①普通　②鈍い褐～鈍い明褐色　③白色粒・褐色粒　④脚部残存	外面　脚部篦削り。 内面　脚部篦撫で。
7	弥生土器 ミニチュア 高坏	一括	口径　— 底径　4.3 器高　—	①普通　②鈍い赤褐～明赤褐色　③白色粒・黒色粒・石英　④脚部残存	外面　脚部篦撫で、指頭痕。 内面　脚部篦撫で。
8	弥生土器 ミニチュア 高坏	一括	口径　7.0 底径 (5.3) 器高　6.2	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・褐色粒　④2/3	外面　口縁部～脚部篦撫で、指頭痕。 内面　口縁部～底部篦撫で、脚部篦撫で。
9	弥生土器 ミニチュア 鉢	一括	口径　6.0 底径　3.6 器高　3.5	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒　④完形	外面　口縁部横撫で、体部～底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦撫で。
10	弥生土器 ミニチュア 鉢	一括	口径　6.7 底径　3.1 器高　5.1	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、体部～底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き。

58号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	P 2 一括	口径 (18.0) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙～灰黄褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部中位2/3	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で篦撫で。 内面　口縁部～胴部中位篦磨き。

59号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 小形甕	一括	口径 (12.0) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄褐～灰黄褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部中位2/5	外面　口縁部～胴部上位波状文、中位篦撫で。 内面　口縁部篦撫で、胴部篦磨き。
2	弥生土器 小形甕	一括	口径　— 底径　6.3 器高　—	①普通　②鈍い橙～鈍い赤褐色　③白色粒・角閃石・礫　④頸部～底部残存	外面　頸部簾状文、胴部上位波状文、下位～底部篦撫で。 内面　頸部～底部篦撫で。
3	弥生土器 高坏	一括	口径　— 底径 14.4 器高　—	①普通　②鈍い褐色　③白色粒・黒色粒　④底部～脚部4/5	外面　体部～脚部上位篦磨き、下位刷毛目。 内面　底部篦撫で、赤彩、脚部篦撫で。脚部一部欠損、欠け口は焼成前の調整痕があり補修部分の剥離の可能性、或いは転用か。

第18表　43号・49号・52号・58号・59号住居址出土土器観察表

59号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
4	弥生土器 高坏	一括	口径　9.2 底径　5.5 器高　8.2	①普通　②赤褐色　③白色粒・黒色粒　④9/10	外面　口縁部～脚部篦磨き。 内面　口縁部～底部篦磨き、脚部篦撫で。口縁部一部に赤彩の痕跡。

61号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径　20.0 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙～橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部4/5	外面　口唇部刻目、口縁部上位横撫で、下位篦撫で。 内面　口縁部上位横撫で、下位篦撫で。

33号土坑

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	№1	口径　17.2 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙～鈍い褐色　③白色粒・石英　④口縁部～胴部中位残存	外面　口縁端部波状文、円形浮文、口縁部上位横撫で、下位篦撫で、頸部横線文・簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、中位篦撫で。 内面　口縁端部横撫で、口縁部篦磨き、胴部篦撫で後篦磨き。

37号土坑

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 (25.0) 底径　— 器高　—	①普通　②橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部1/3	外面　口縁端部波状文、口縁部篦撫で。 内面　口縁部篦磨き、赤彩。
2	弥生土器 壺	一括	口径 (22.0) 底径　— 器高　—	①普通　②橙色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位1/2	外面　口縁端部篦撫で、口縁部刷毛目、中位簾状文、胴部上位羽状文、沈線１条、中位刷毛目後篦磨き。 内面　口縁部篦撫で、胴部上位刷毛目、中位篦撫で。
3	弥生土器 壺	一括	口径　— 底径 (12.4) 器高　—	①普通　②橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部下位～底部7/8	外面　口縁部刷毛目後篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で後刷毛目、下位刷毛目、底部篦撫で。 内面　口縁部篦撫で、胴部上位刷毛目、中位～底部篦撫で。
4	弥生土器 壺	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②橙～浅黄橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部下位～底部4/5	外面　口縁部刷毛目、頸部簾状文、胴部上位刷毛目後波状文、中位～下位刷毛目後篦磨き、底部全面剥離。 内面　口縁部～胴部上位刷毛目、中位～底部篦撫で。
5	弥生土器 壺	一括	口径　— 底径 (11.0) 器高　—	①普通　②橙～明赤褐色　③白色粒・黒色粒　④頸部～底部3/5	外面　頸部簾状文、胴部上位刷毛目後櫛描羽状文、胴部中位篦磨き、赤彩、胴部下位刷毛目後撫で。 内面　頸部～底部篦撫で。
6	弥生土器 壺	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④頸部～胴部下位1/3	外面　頸部Ｔ字文、胴部上位刷毛目後波状文、胴部中位～下位刷毛目後篦撫で。 内面　頸部～底部篦撫で。

遺構外出土

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 高坏	20号住一括	口径　11.2 底径　— 器高　—	①普通　②明赤褐色、赤褐色　③礫・石英　④口縁部～体部下位2/5	外面　口唇部刻目、口縁部横撫で、体部篦磨き、外面赤彩。 内面　口縁部～体部下位篦磨き、口縁部赤彩。
2	弥生土器 高坏	39号住一括	口径 (24.4) 底径　10.8 器高　19.4	①普通　②橙～鈍い赤褐色　③白色粒・黒色粒　④7/8	外面　口縁部～体部篦撫で、脚部篦磨き、赤彩。 内面　口縁部～底部篦磨き、口縁部赤彩、脚部篦撫で。

37号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	№1 一括	口径　12.8 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙～鈍い褐色　③白色粒・黒色粒・角閃石・石英　④口縁部～胴部中位3/4	外面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。 内面　口縁部横撫で、胴部篦磨き。
2	土師器 壺	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②橙～鈍い褐色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④頸部～胴部下位1/5	外面　頸部簾状文、胴部上位縄文 LR、下位篦磨き。 内面　頸部～胴部篦磨き。

44号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 高坏	一括	口径 (19.1) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い褐色　③白色粒・黒色粒　④坏部1/3	外面　口縁部～体部篦磨き。 内面　口縁部～体部篦磨き。

第19表　59号・61号住居址、33号・37号土坑、遺構外、37号・44号住居址出土土器観察表

48号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 壺	№1	口径　— 底径　7.0 器高　—	①普通　②鈍い黄褐～黒褐色 ③白色粒・黒色粒　④胴部下位～底部3/4	外面　胴部篦磨き、底部撫で。 内面　胴部～底部篦磨き。
2	土師器 壺		口径　17.5 底径　— 器高　—	①普通　②明赤褐～鈍い橙色 ③白色粒・褐色粒・角閃石　④口縁部～頸部4/5	外面　口縁端部横撫で、口縁部～頸部篦磨き。 内面　口縁部～頸部篦磨き。
3	土師器 小形甕	一括	口径 (9.2) 底径　— 器高　—	①普通　②橙色　③白色粒・礫 ④口縁部～胴部中位1/4	外面　口縁部～胴部中位篦磨き。 内面　口縁部～胴部中位篦磨き。
4	土師器 高坏	一括	口径 (14.8) 底径　— 器高　—	①普通　②明赤褐～鈍い黄橙色 ③白色粒・黒色粒　④坏部1/3	外面　口縁部～底部篦磨き。 内面　口縁部～底部篦磨き。
5	土師器 器台	一括	口径　10.0 底径　11.8 器高　8.0	①普通　②橙色　③白色粒・礫 ④1/2	外面　口縁部～脚部篦磨き。 内面　口縁部～底部篦磨き、脚部篦撫で。

50号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 壺	一括	口径　— 底径　5.6 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④胴部上位～底部1/4	外面　胴部～底部篦撫で。 内面　胴部～底部篦磨き。
2	土師器 S字口縁甕	一括	口径　8.7 底径　3.6 器高　7.2	①普通　②橙色　③白色粒・黒色粒・礫　④口縁部一部欠損	外面　口縁部横撫で、胴部刷毛目、底部撫で。 内面　口縁部横撫で、胴部上位指頭痕、胴部～底部篦撫で。

53号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 壺	一括	口径　14.8 底径　6.8 器高　29.9	①普通　②鈍い橙～鈍い黄橙色 ③白色粒・黒色粒　④9/10	外面　口縁部～胴部篦磨き、底部篦撫で。 内面　口縁部篦磨き、胴部～底部篦撫で。
2	土師器 壺		口径　— 底径　5.8 器高　—	①普通　②灰黄褐色、鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④胴部上位～底部1/2	外面　胴部篦磨き、底部篦撫で。 内面　胴部～底部篦撫で後篦磨き。
3	土師器 壺	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④口縁部下位～底部1/4	外面　口縁部篦磨き、頸部Ｔ字文、胴部～底部篦磨き。 内面　口縁部篦磨き、胴部～底部篦撫で。
4	土師器 壺		口径　— 底径　4.6 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・黒色粒・石英　④胴部中位～底部残存	外面　胴部篦磨き、底部篦撫で。 内面　胴部～底部篦撫で。
5	土師器 器台		口径　— 底径　9.6 器高　—	①普通　②鈍い黄橙～灰黄褐色 ③白色粒・褐色粒　④底部～脚部残存	外面　体部下位～脚部篦磨き。 内面　底部篦磨き、脚部篦撫で。

62号住居址

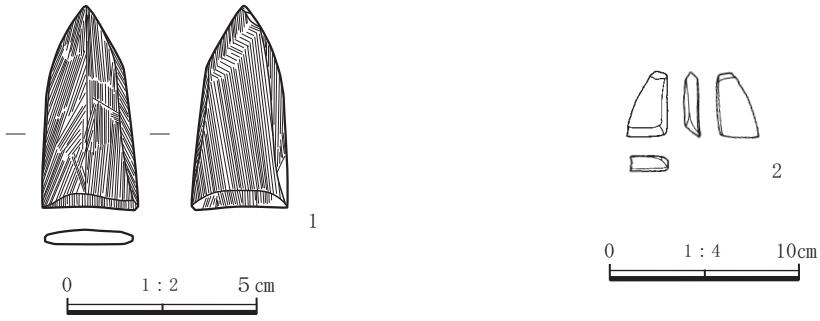
番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径　13.2 底径　6.3 器高　29.5	①普通　②橙～鈍い橙色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④2/3	外面　口縁部～底部篦磨き。 内面　口縁部篦磨き、胴部～底部篦撫で。口縁部焼成前穿孔１箇所
2	土師器 高坏	一括	口径 (20.3) 底径　11.0 器高　15.8	①普通　②橙～鈍い赤褐色　③白色粒・黒色粒　④5/6	外面　口縁部～脚部篦磨き。 内面　口縁部～底部篦磨き、脚部刷毛目。脚部円孔３箇所
3	土師器 小形甕	一括	口径　— 底径　2.7 器高　—	①普通　②橙色　③褐色粒・礫 ④頸部～底部4/5	外面　頸部～底部細かい篦磨き。 内面　頸部篦磨き、胴部上位篦撫で、中位～底部篦磨き。
4	土師器 高坏	一括	口径　— 底径　10.8 器高　—	①普通　②橙～褐灰色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④脚部2/3	外面　脚部篦磨き。 内面　脚部篦撫で。脚部円孔４箇所。
5	土師器 高坏	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙～橙色　③白色粒・礫　④底部～脚部中位残存	外面　脚部篦撫で、中位刷毛目。 内面　底部調整不明瞭、脚部篦撫で。脚部円孔１箇所。

第20表　48号・50号・53号・62号住居址出土土器観察表

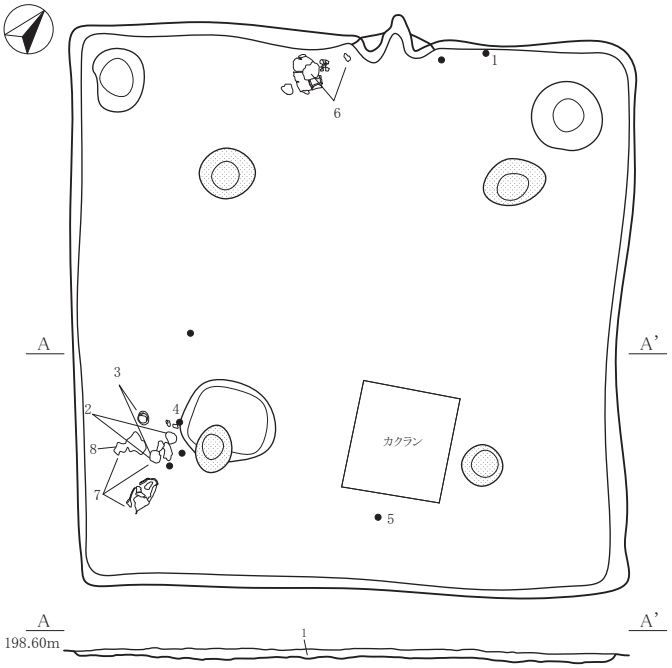
遠地谷戸遺跡出土の石器（第50図）

本遺跡は、弥生時代を主体とする集落であるが、２軒の住居址から磨製石鏃の未成品と扁平片刃石斧の刃部破片が出土したのみである。同時期の遺構が確認されている他の遺跡と比較して、遺構数及び土器等の出土量に比べ、石器の出土量が非常に少ない。この点は、調査精度等に問題がある可能性もあるが、石器自体が少ないのは、後期後半の特徴を反映している可能性がある。なお、平成５年度の調査では、住居址から刃部が摩耗した安山岩製の石器（「石斧」と報告）と安山岩製の石鏃の欠損品が出土している。１は、珪質準片岩製の磨製石鏃未成品である。研磨による鏑及び基部は形成されているが、両側縁（刃部）の研磨は施されていない。長さ53.81㎜、幅25.89㎜、厚さ4.57㎜、重量9.5ｇである。２は、蛇紋岩製の小型扁平片刃石斧の欠損品である。上端部は凸状である。長さ36.91㎜、幅21.45㎜、厚さ7.79㎜、重量9.5ｇである。

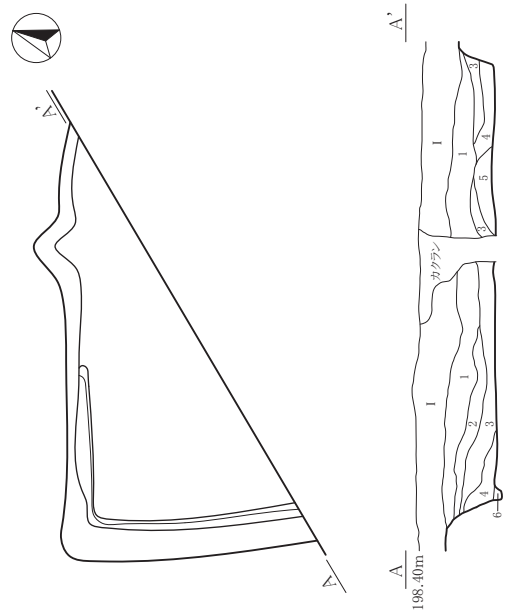
（井上　慎也）



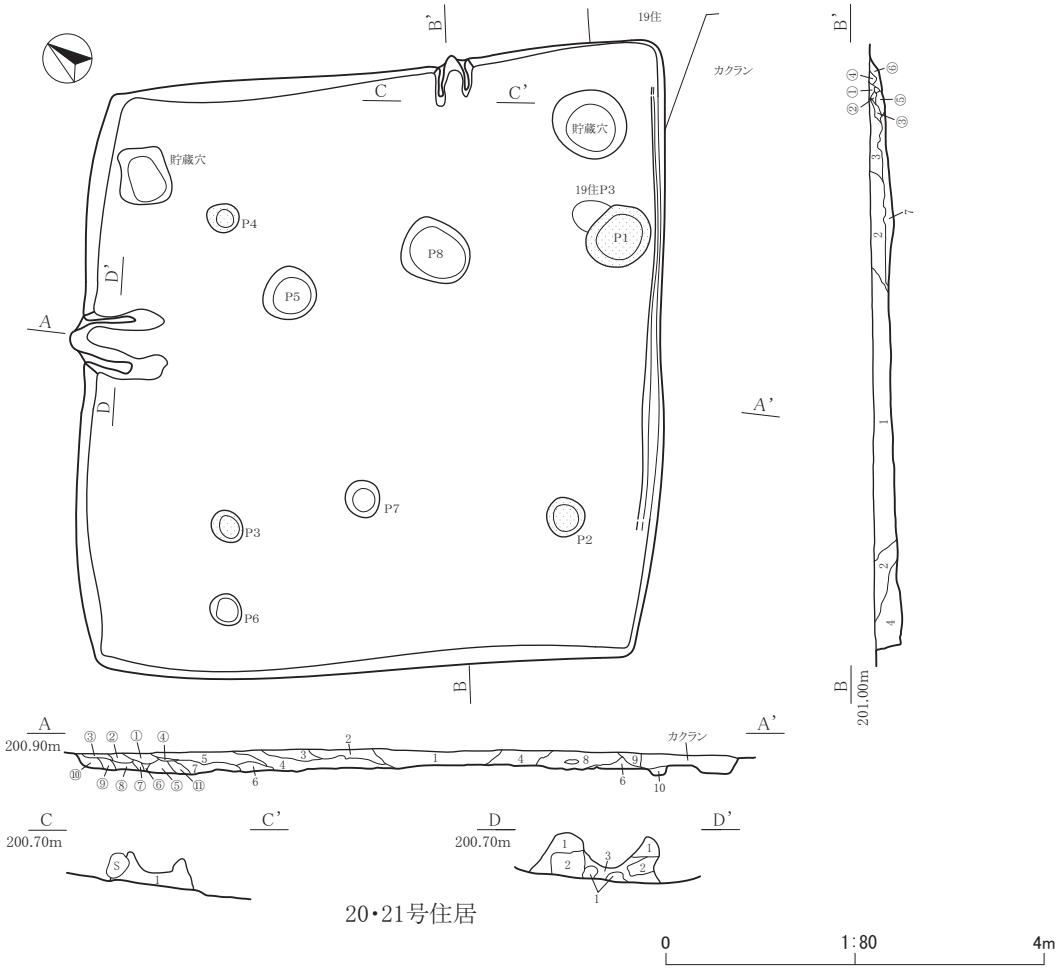
第50図　遠地谷戸遺跡出土石器実測図



6号住居



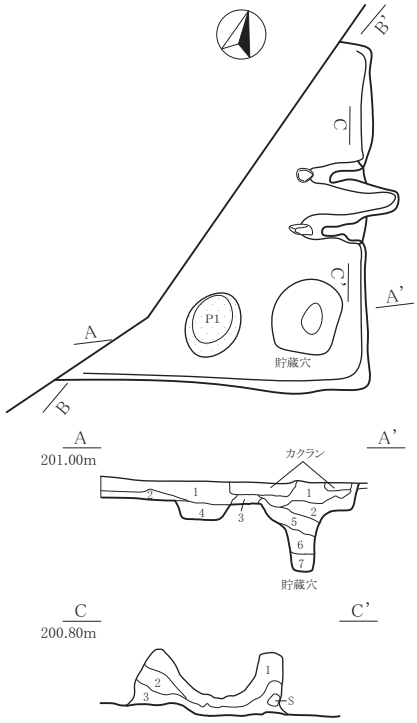
10号住居



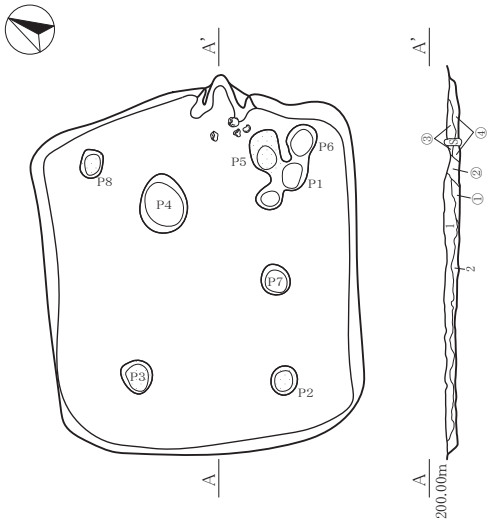
20･21号住居

0 1:80 4m

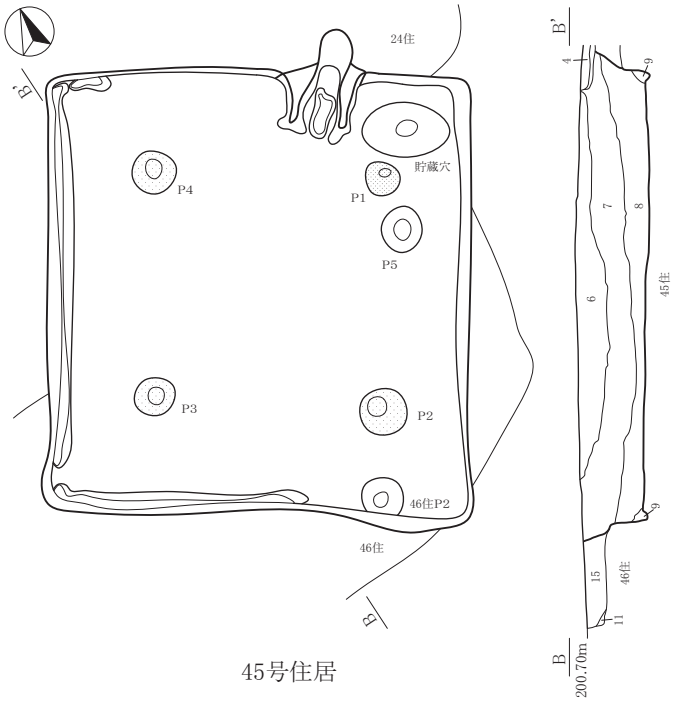
第51図　6号・10号・20号・21号住居址実測図



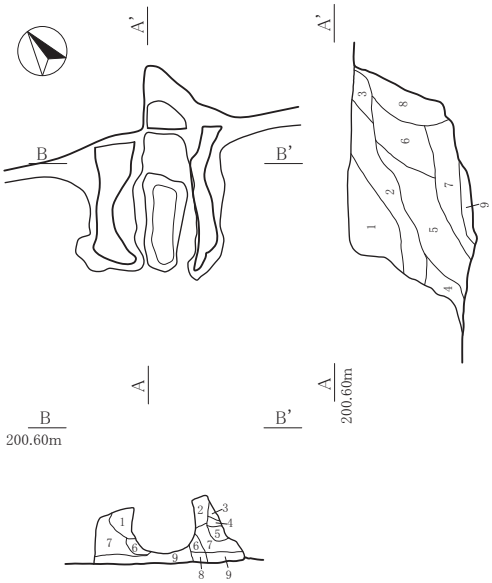
22号住居



40号住居



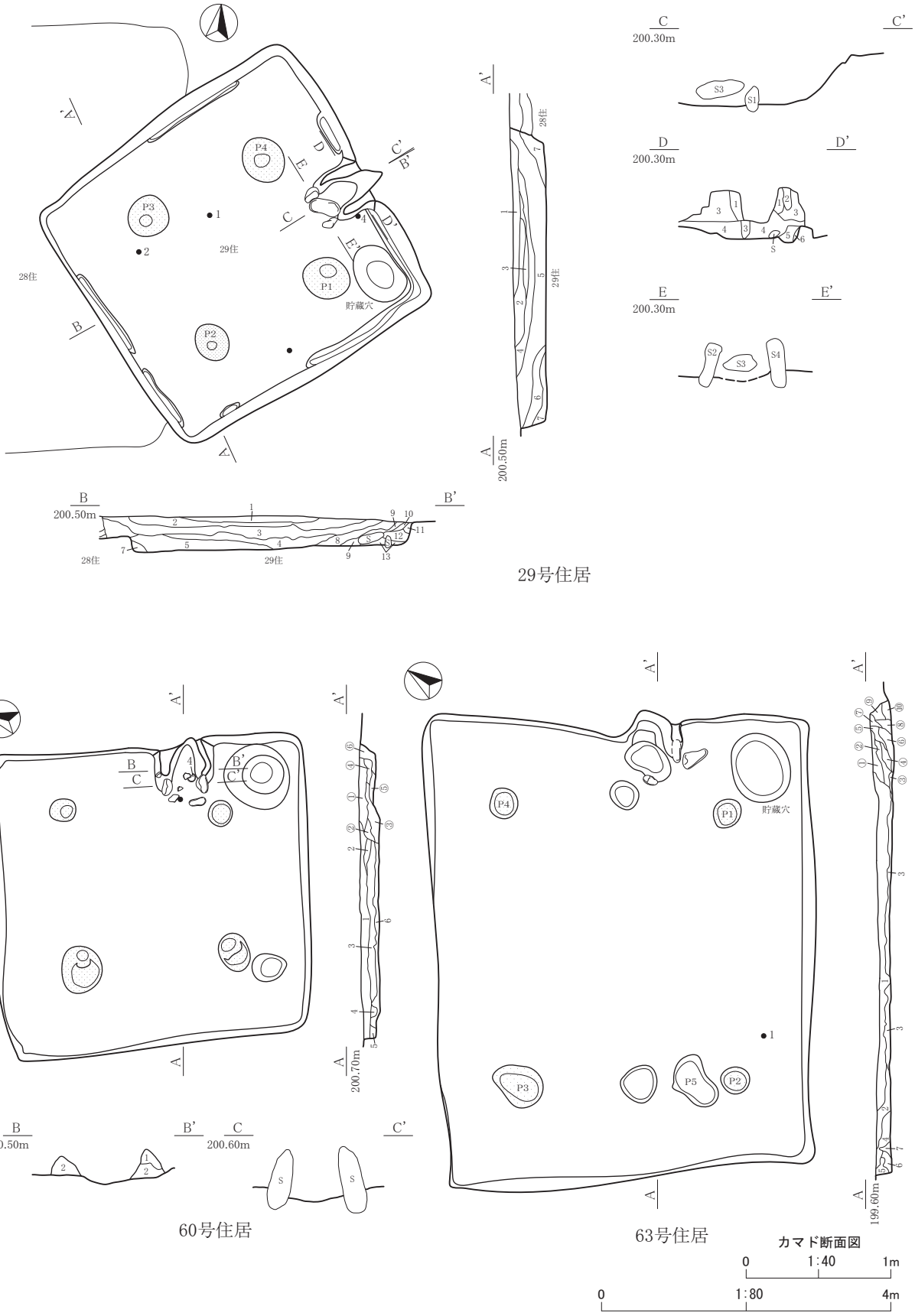
45号住居



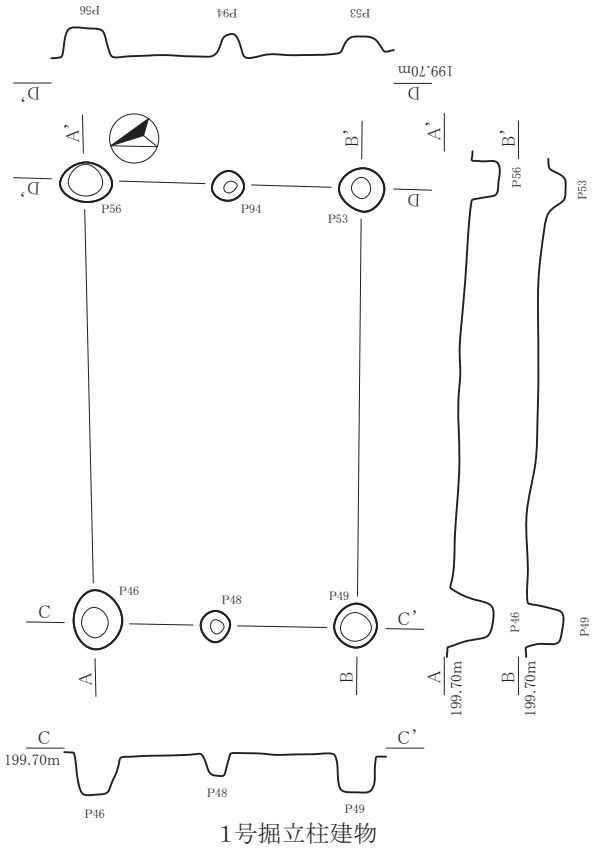
45号住居カマド

カマド
0 1:40 1m
0 1:80 4m

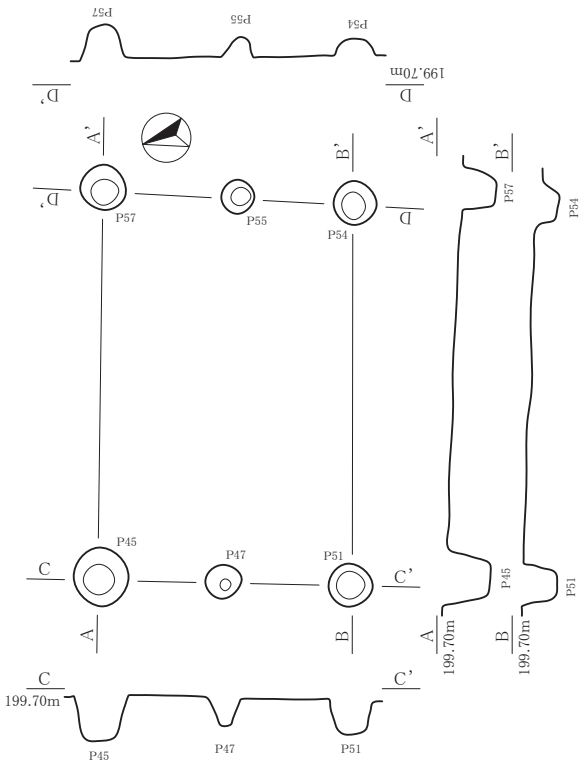
第52図　22号・40号・45号住居址実測図



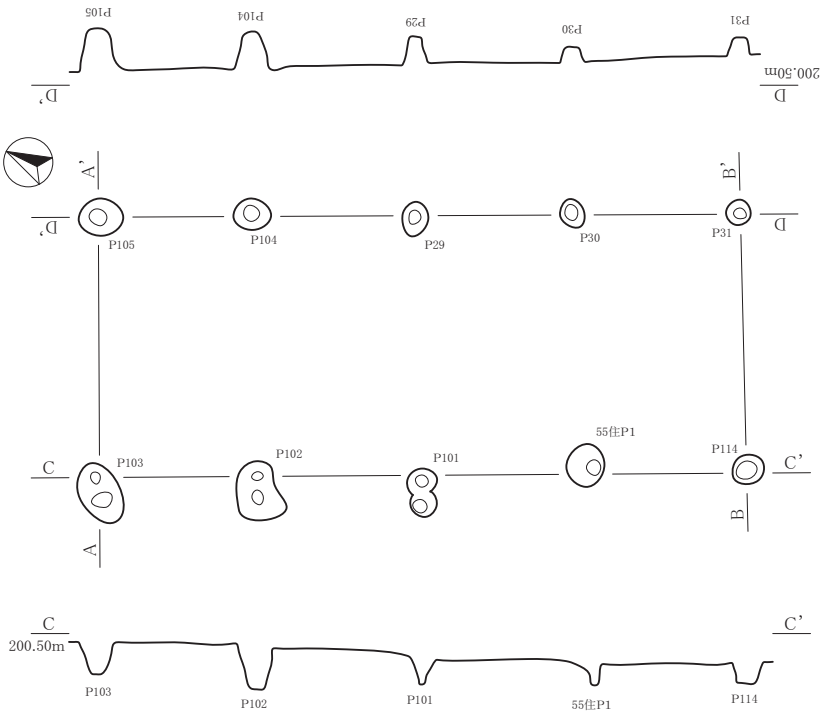
第53図　29号・60号・63号住居址実測図



1号掘立柱建物



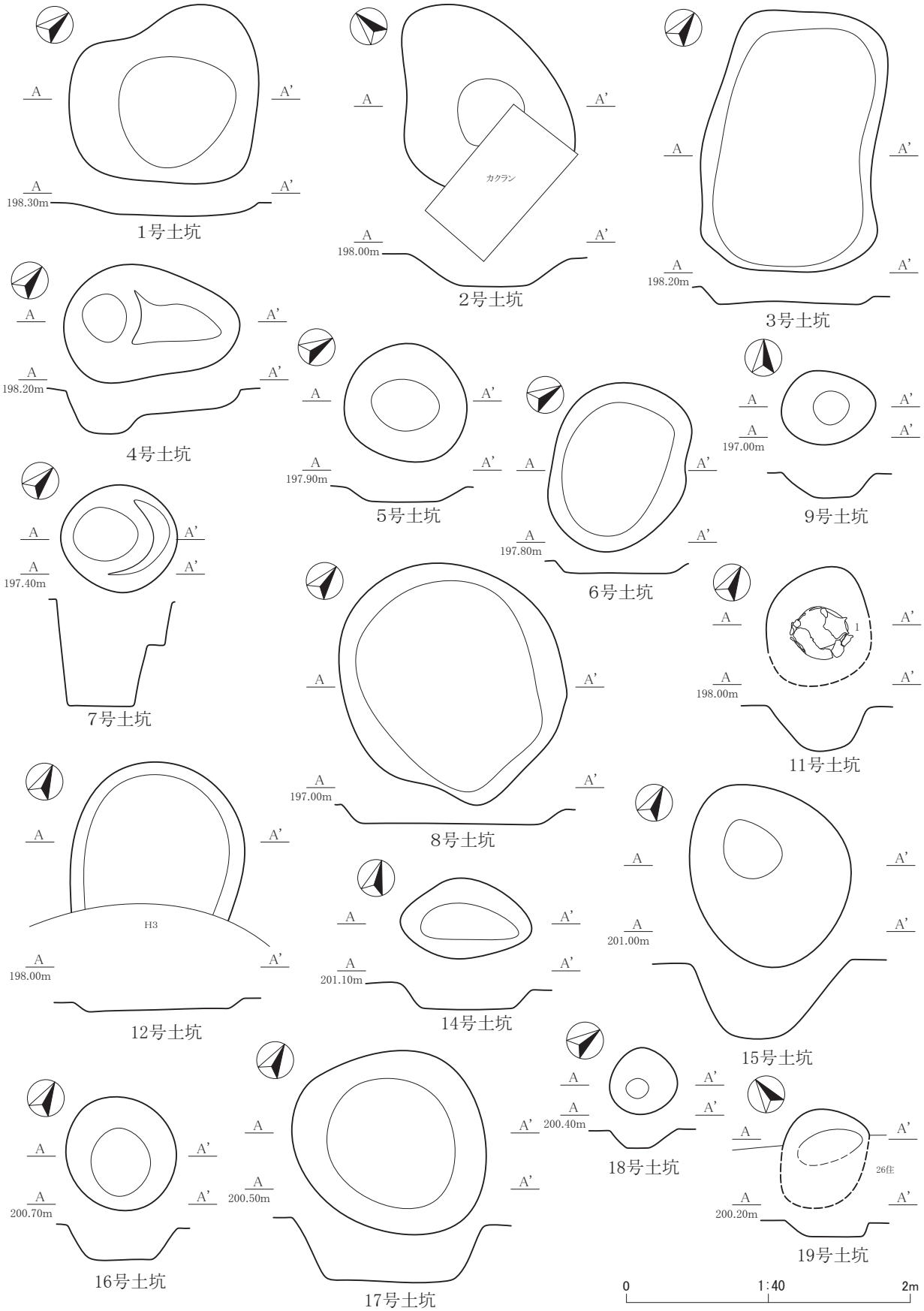
2号掘立柱建物



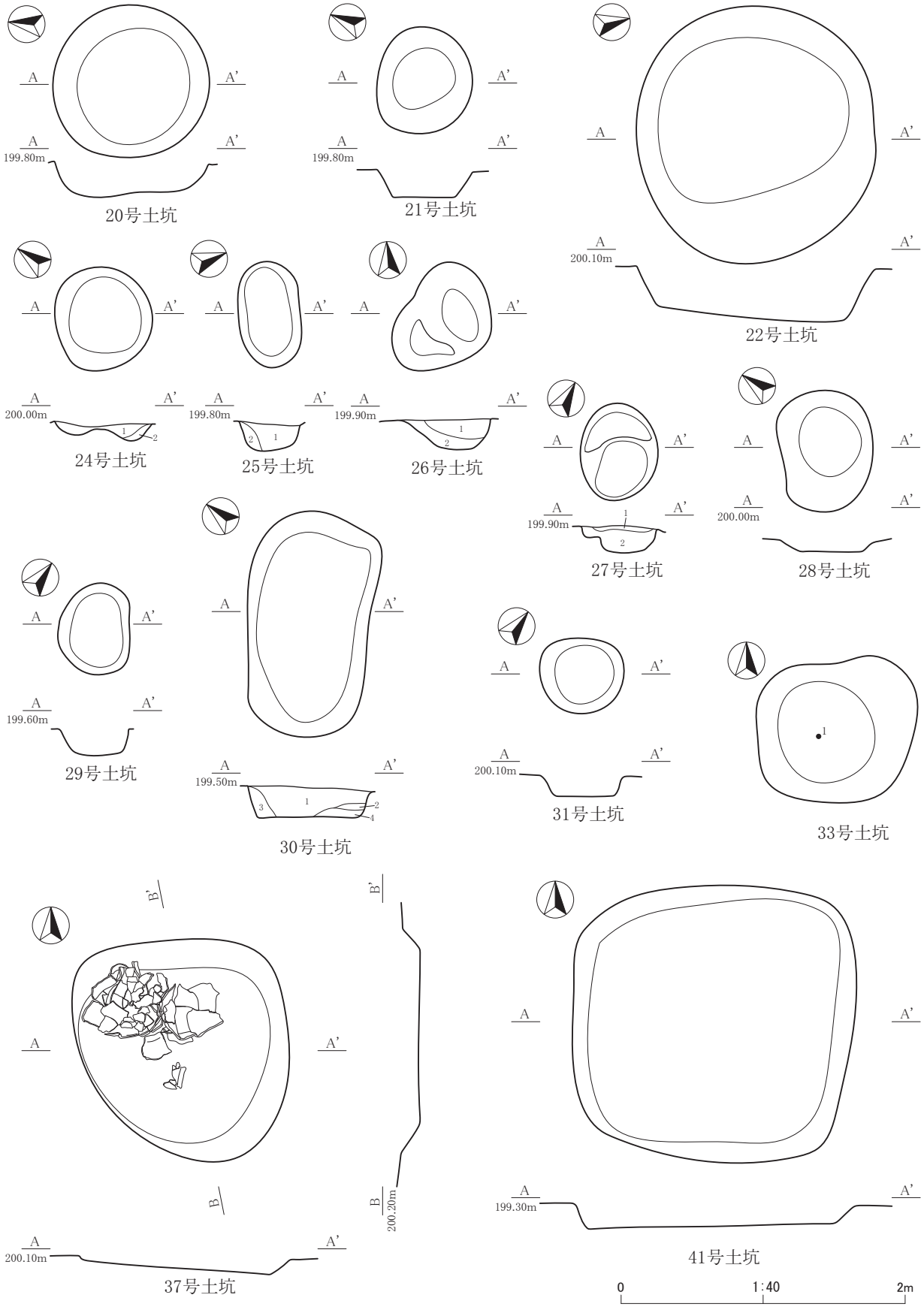
3号掘立柱建物

0 1:80 4m

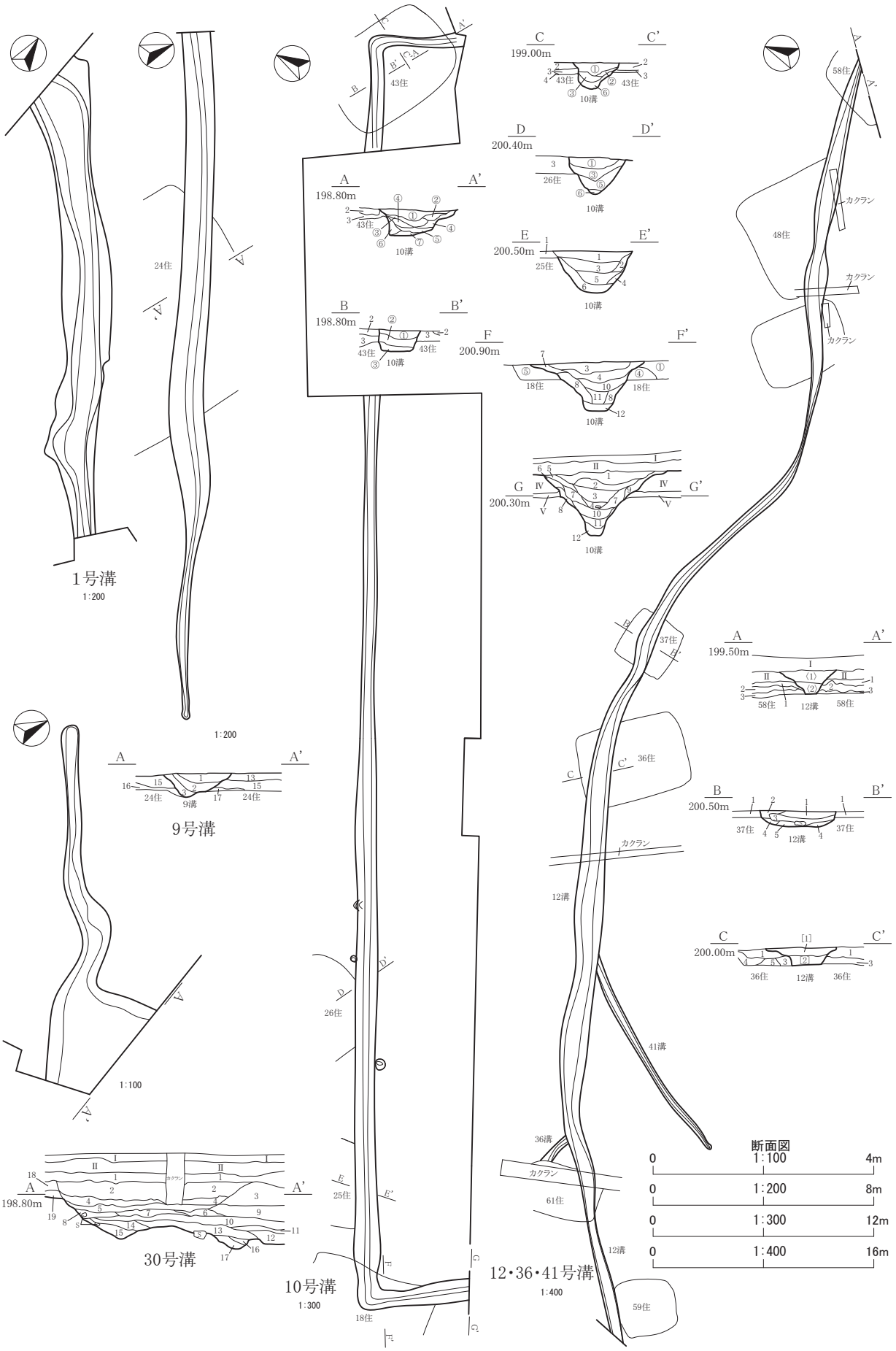
第54図　1～3号掘立柱建物址実測図



第55図　1～9号・11号・12号・14～19号土坑実測図



第56図　20～22号・24～31号・33号・37号・41号土坑実測図



第57図　1号・9号・10号・12号・30号・36号・41号溝実測図

6号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	橙色土をブロック状に含む。しまりあり。

8号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
Ⅰ	暗褐色土	AS-A を多量に含む。しまりあり。
Ⅱ	暗褐色土	AS-A を少量含む。しまりあり。
1	黒色土	白色軽石少量含む。しまりあり。
2	黒褐色土	しまりあり。

10号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
Ⅰ	黒褐色土	AS-A を少量含む。しまりあり。
Ⅱ	黒褐色土	AS-A を多量に含む。しまりあり。(カクラン)
1	黒褐色土	AS-A を多少含む。しまりあり。
2	黒褐色土	AS-A を微量に含む。しまりあり。
3	黒色土	しまりあり。
4	暗褐色土	しまりあり。
5	暗褐色土	焼土を微量に含む。しまりあり。
6	暗褐色土	ローム塊を少量含む。しまりあり。

20号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子及びロームブロックを少量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。１層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。２層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。３層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
5	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、しまりあり。粘性やや強い。
6	暗褐色土	ローム粒子、黄色軽石を微量に含む。ロームブロックを少量含む。
7	黄褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含むローム粒子、ロームブロックを少量含む。黄色軽石を微量に含む。しまり有り。粘性やや強い。
8	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、黄色軽石を微量含む。しまりあり。やや強い。
9	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、黄色軽石を微量含む。しまりあり。やや強い。

20号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	明褐色土	しまりあり。粘性やや強い。
②	褐色土	黄色軽石を微量に含む。しまり有り。粘性やや強い。
③	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。しまりあり。やや強い。
④	黒褐色土	白色軽石、黄色軽石、焼土を微量に含む。しまり有り。粘性やや強い。
⑤	明赤褐色土	焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑥	明赤褐色土	焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。

20号住居　カマド袖

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	山砂、焼土を含む。

21号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	赤褐色土	炭化物を微量に含む。焼土を少量含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	にぶい赤褐色土	炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
③	明赤褐色土	焼土を多量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
④	暗赤褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑤	にぶい赤褐色土	炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。黒褐色土ブロックを含む。
⑥	暗赤褐色土	しまりあり。粘性やや強い。
⑦	暗赤褐色土	⑥層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
⑧	暗赤褐色土	⑦層より暗い。炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑨	暗赤褐色土	炭化物、焼土を少量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑩	明赤褐色土	炭化物を微量に含む。焼土を少量含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑪	暗赤褐色土	ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。

21号住居　カマド袖

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	褐色土	山砂
2	黒褐色土	小石、山砂を含む。
3	黒褐色土	焼土粒子を含む。

22号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
Ⅰ	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
Ⅱ	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。１層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
Ⅲ	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。〔１〕より暗い。しまりあり。粘性弱い。
Ⅳ	黒褐色土	しまりあり。粘性弱い。
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。１～３㎝礫をまばらに含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	１層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

22号住居　カマド袖

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黄褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物を微量に含む。ロームブロックを少量含む。焼土を中量含む。カマド内壁、著しく赤変色している。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを中量含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。

第21表　６号・８号・10号・20～22号住居址土層注記

22号住居（A-A'）

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	黄橙色軽石１％、ローム粒、炭化粒子を２～３％含む。
2	極暗褐色土	ローム粒子を10～15％含む。
3	灰褐色粘質土	焼土痕２～３％含む。カマド構築材の流失土
4	黄褐色土	焼土痕、炭化粒子を２～３％、ローム塊20～30％を含む。

22号住居（A-A'）

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
5	極暗褐色土	ローム粒２～３％含む。
6	褐色土	ローム粒子を５～10％含む。
7	暗褐色土	ローム塊、炭化粒子ををを５～10％含む。

29号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石(φ５～６㎜大)、黄色軽石(φ２～３㎜大)を２～３％含む。
2	黒褐色土	しまりあり。
3	暗褐色土	黄色軽石(φ２～４㎜大)を２～３％含む。
4	黒色土	しまりあり。粘性ややあり。
5	極暗褐色土	ローム塊を２～３％含む。
6	黒褐色土	ローム粒子を２～３％含む。
7	褐色土	ローム塊を２～３％含む。
8	褐色土	焼土塊を１％含む。
9	明褐色土	焼土塊、炭化粒子を２～３％含む。
10	黄褐色土	焼土塊、炭化粒子を５～10％含む。
11	暗橙色土	焼土塊、焼土を５～10％含む。
12	暗赤色土	焼土塊を20～30％含む。
13	赤褐色土	焼土塊、灰、炭化粒子を５～10％含む。

29号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	赤褐色土	焼土塊、炭化物を１％含む。
2	暗赤灰色土	焼土粒子を１％含む。
3	にぶい赤褐色土	炭化物、ローム塊を１％含む。
4	暗赤褐色土	焼土塊を１％含む。
5	黒褐色土	ローム塊を１％含む。しまりあり。
6	暗赤褐色土	炭塊を１％含む。

37号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１㎜)を５～10％、ローム塊を１％含む。しまりあり。

39号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ３～10㎜)、黄色軽石を２～３％、炭化物を１％含む。
2	極暗褐色土	ローム粒を２～３％含む。
3	暗褐色土	ローム粒、炭化粒、焼土粒を２～３％含む。
4	極暗褐色土	白色軽石、炭化粒を１％含む。
5	褐色土	ローム粒を５～10％、炭化粒を２～３％含む。
6	明褐色土	ローム粒を５～10％、炭化粒を２～３％含む。
7	黄褐色土	ローム粒を20～30％、炭化粒を２～３％含む。

40号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。ロームブロックを中量含む。しまりあり。粘性弱い。
①	暗褐色土	ローム粒子、焼土を微量に含む。２層より暗い。しまりあり。粘性弱い。(天井部か？)
②	暗褐色土	ローム粒子、炭化物を少量に含む。焼土を微量に含む。①より暗い。やや灰だまり。しまりあり。粘性弱い。
③	黒褐色土	しまりあり。粘性弱い。
④	暗赤褐色土	炭化物を少量に含む。焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

44号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。
①	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。２層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

45号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
6	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。しまりあり。
7	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性あり。
8	黒褐色土	橙色土を含む。しまりあり。
9	黒褐色土	橙色土をブロック状に含む。しまりあり。

45号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	極暗褐色土	白色軽石、淡い黄色軽石、焼土粒を２～３％含む。
2	褐色土	焼土粒を２～３％含む。
3	褐色土	φ２～10㎜大の焼土塊、炭化粒を２～３％含む。
4	暗褐色土	焼土粒、炭化粒を２～３％含む。

第22表　22号・29号・37号・39号・40号・44号・45号住居址土層注記

45号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
5	灰褐色土	φ５～10㎜大の焼土塊を２～３％含む。粘性あり。しまりあり。
6	暗赤色土	φ10～20㎜大の焼土塊５～10％含む。
7	暗褐色土	φ５～20㎜大の焼土塊を５～10％含む。粘性あり。しまりあり。
8	明褐色土	スサ痕のある焼土塊を５～10％含む。
9	極暗灰色土	焼土粒、灰を５～10％、炭化粒、ローム粒を２～３％含む。

48号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物を中量含む。ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、炭化物、焼土を微量に含む。１層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、炭化物、焼土を微量に含む。２層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
4	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、炭化物を微量に含む。３層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。

48号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
5	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、黄色軽石、炭化物を微量に含む。ローム粒子、ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。４層より明るい。
6	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を中量含む。ロームブロック、炭化物を微量に含む。ローム粒子を少量含む。４層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
7	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ロームブロック、黄色軽石、焼土を微量に含む。ローム粒子、炭化物を少量含む。６層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
8	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、焼土を微量に含む。ローム粒子、炭化物を少量含む。ロームブロックを中量含む。５層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
9	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、焼土、ローム粒子、炭化物、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。２層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
10	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物、黄色軽石を微量に含む。ローム粒子、ロームブロックを少量含む。８層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
11	黒褐色土	焼土を微量に含む。白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物、黄色軽石、ローム粒子、ロームブロックを少量含む。９層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
12	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。炭化物、焼土、黄色軽石、ローム粒子、ロームブロックを少量含む。10層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
13	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物、黄色軽石、ロームブロックを微量に含む。焼土、ローム粒子を少量含む。11層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
14	黄褐色土	焼土を微量に含む。ロームブロック、ローム粒子を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
15	黄褐色土	焼土を微量に含む。ロームブロック、ローム粒子を少量含む。14層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
①	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。ローム粒子を少量含む。１層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
②	黒褐色土	ロームブロックを微量に含む。白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を少量含む。①より暗い。しまりあり。粘性弱い。
③	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。②より暗い。しまりあり。粘性弱い。

50号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	ロームブロック、黄色軽石、炭化物を微量に含む。白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、炭化物を微量に含む。１層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、焼土、炭化物を微量に含む。ローム粒子を少量含む。ロームブロックを中量含む。しまりあり。粘性弱い。

53号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。１層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
①	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。(撹乱)
〈1〉	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。(撹乱)

53号住居　ピット

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
〔1〕	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。２層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

60号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ロームブロック、炭化物、焼土を微量に含む。ローム粒子を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	焼土を微量に含む。ローム粒子、炭化物を少量含む。ロームブロックを中量含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物、焼土を微量に含む。ローム粒子、ロームブロックを少量含む。１層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	炭化物を微量に含む。白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。３層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。２層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
6	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物、焼土、ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。５層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

60号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、焼土、炭化物、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
②	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、焼土、炭化物を微量に含む。ローム粒子を少量含む。①より明るい。しまりあり。粘性弱い。
③	黒褐色土	ローム粒子、焼土を微量に含む。灰まじり。しまりあり。粘性弱い。
④	にぶい赤褐色土	炭化物、ローム粒子を微量に含む。焼土を少量含む。灰まじり。しまりあり。粘性弱い。
⑤	暗褐色土	ローム粒子、炭化物を微量に含む。焼土を少量含む。②より暗い。しまりあり。粘性弱い。
⑥	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。⑤より明るい。しまりあり。粘性弱い。

60号住居　カマド袖

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黄褐色土	山砂、焼土を若干含む。
2	褐色土	山砂、粘土ブロックを含む。

62号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子を少量含む。ロームブロックを中量含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	ローム粒子、炭化物を微量に含む。白色軽石(φ１～３㎜)を中量含む。１層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
4	極暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。２層より明るい。
5	黄褐色土	ローム粒子を微量に含む。白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。黒褐色ブロック10％含む。しまりあり。粘性弱い。
〔1〕	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。白色軽石(φ１～３㎜)、ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。(撹乱)
〔2〕	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。ロームブロックを中量含む。〔1〕より暗い。しまりあり。粘性弱い。(撹乱)
〔3〕	黄褐色土	しまりあり。粘性弱い。(撹乱)

第23表　45号・48号・50号・53号・60号・62号住居址土層注記

63号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、炭化物を微量に含む。焼土を少量含む。西側のカマド付近に焼土分布やや有。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ロームブロック、焼土を微量に含む。ローム粒子、炭化物を少量含む。１層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物、焼土を微量に含む。ローム粒子、ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。
4	暗褐色土	ローム粒子、炭化物を微量に含む。白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。３層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
5	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。１層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
6	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子をを少量含む。４層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
7	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。５層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
①	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、焼土を微量に含む。１層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
②	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロック、炭化物、焼土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
③	にぶい赤褐色土	炭化物、焼土を少量含む。灰まじり。しまりあり。粘性弱い。
④	赤褐色土	炭化物、焼土を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
⑤	にぶい赤褐色土	ローム粒子、ロームブロック、炭化物を微量に含む。焼土を中量含む。黒褐色土をブロック状に30％含む。③より明るい。しまりあり。粘性弱い。
⑥	赤褐色土	炭化物を微量に含む。焼土を多量に含む。黒褐色土をブロック状に10％含む。灰まじり。④より明るい。しまりあり。粘性弱い。
⑦	暗褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
⑧	黒褐色土	ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
⑨	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
⑩	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

５号土坑

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒色土	橙色土ブロック状に含む。
2	明褐色土	しまりあり。粘性あり。

24号土坑

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石、ローム粒子を１％含む。しまりあり。
2	黄褐色土	暗褐色土を含む。

25号土坑

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石、ローム粒子を１％含む。しまりあり。
2	黄褐色土	暗褐色土を含む。

26号土坑

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石φ１～３㎜を１％含む。しまりあり。
2	暗褐色土	白色軽石φ１～３㎜を１％、ローム塊を含む。しまりあり。

27号土坑

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石φ１～３㎜を１％含む。
2	明褐色土	黄色軽石φ２～５㎜を１％を含む。

30号土坑

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石φ１～３㎜を１％含む。しまりあり。
2	明褐色土	しまりあり。
3	明黄褐色土	暗褐色土をブロック状に含む。しまりあり。
4	明黄褐色土	しまりあり。

１～４．６～９．11．12．14～19．20～22．28．29．33．37．41号土坑土層注記不明

10号溝・28号溝（28号溝は撹乱）

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
②	暗褐色土	①より明るい。しまりあり。粘性弱い。
③	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。②より暗い。しまりあり。粘性弱い。
④	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、黄色軽石を微量に含む。ローム粒子、ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。
⑤	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。④より明るい。しまりあり。粘性弱い。
⑥	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを少量含む。黄色軽石を微量に含む。③より明るい。しまりあり。粘性弱い。
⑦	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子を微量に含む。⑤より明るい。しまりあり。粘性弱い。

12溝

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
〈1〉	黄褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物を微量に含む。ローム粒子を少量含む。ロームブロックを中量含む。しまりあり。粘性弱い。
〈2〉	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。粗砂主体１～３㎝大の礫が混じる。３層より暗い。しまりあり。粘性弱い。

10号溝　南壁

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
Ⅰ	黒褐色土	白色軽石(φ１～５㎜)を20～30％含む。しまり強い。
Ⅱ	黒褐色土	白色軽石(φ１～５㎜)を10～20％含む。しまりあり。
Ⅳ	極暗褐色土	しまりあり。
Ⅴ	暗褐色土	しまりあり。
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を10～15％含む。しまり強い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を10～15％、ローム粒を２％含む。しまりあり。
3	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を20％、ローム粒を１％含む。しまりあり。
4	黒褐色土	白色軽石(φ１～５㎜)を25％含む。しまりあり。
5	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を20～30％含む。しまりあり。
6	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を10～20％含む。しまりあり。
7	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を１～２％含む。しまりあり。
8	極暗褐色土	白色軽石(φ１㎜)を１％含む。しまりあり。
9	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を１％含む。しまりあり。
10	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を３％含む。しまりあり。
11	黒褐色土	白色軽石(φ１～５㎜)を５％、ローム粒３％含む。しまりあり。
12	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を１％を含む。しまりあり。粘性あり。

第24表　63号住居址、５号・24～27号・30号土坑、10号・12号・28号溝土層注記

30号溝　東側

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
Ⅰ	暗褐色土	AS-A を含む。
Ⅱ	暗褐色土	白色軽石(φ２～10㎜大)を50％含む。しまりあり。
1	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜大)を10～20％含む。しまりあり。粘性あり。
2	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜大)を50～60％含む。１層より明るい。しまりあり。粘性あり。
3	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜大)を30～40％含む。２層より暗い。しまりあり。粘性あり。
4	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜大)を20～30％含む。黄色軽石を少量含む。２層より暗い。しまりあり。粘性あり。
5	暗灰色土	白色軽石(φ１～２㎜大)を５～10％含む。黄色軽石を少量含む。しまりあり。粘性強い。
6	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜大)を１～３％含む。しまりあり。粘性あり。
7	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜大)を３～５％含む。10層より暗い。しまりあり。粘性あり。
8	暗灰色土	砂質土(川砂)
9	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜大)を１～２％含む。黄色軽石を少量含む。しまりあり。粘性強い。
10	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜大)を１～２％含む。ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性あり。
11	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜大)を１～２％含む。10層より暗い。しまりあり。粘性あり。
12	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜大)を１％含む。11層より明るい。しまりあり。粘性あり。
13	暗褐色土	
14	暗褐色土	
15	暗褐色土	
16	暗褐色土	
17	暗褐色土	
18	暗褐色土	
19	暗褐色土	

１．９．36．41号溝土層注記不明

第25表　30号溝土層注記

遠地谷戸遺跡遺構観察表

（ ）推定値　〈 〉残存値

住居名	平面形態	規模				壁溝	主軸方向	主柱穴	壁際柱穴（炉の対面）	補助柱穴（壁際）	炉・竈		貯蔵穴			遺物	時期	グリッド	備考
		長軸m	短軸m	深さ最大cm	深さ最小cm						位置	構造	長軸cm	短軸cm	深さcm				
1住	中型縦長方形	〈4.48〉	3.60	7	4	×	N-49°-W	—	—	—	—		—	—	—	△	弥生	4AI-42他	
2住	中型縦長方形	4.96	3.76	30	8	×	N-26°-W	4	—	1	北側主柱穴間		—	—	—	○	弥生	4AI-50他	
3住	大型縦長方形	8.64	6.40	41	20	×	N-51°-W	4	—	—	北側主柱穴間住居中央寄り		—	—	—	◎	弥生	4AH-69他	11号土坑と重複
4住	大型縦長方形	7.60	4.72	34	19	×	N-78°-W	4	2	1	西側主柱穴間壁寄り		—	—	—	◎	弥生	4AH-97他	
5住	中型縦長方形	4.80	4.00	13	5	×	N-28°-W	4	2	—	北側主柱穴間		—	—	—	○	弥生	5AH-06他	
9号	不明	〈3.60〉	4.72	7	2	×	N-34°-W	—	—	—	中央部		—	—	—	△	弥生	4AI-22他	
11住	大型縦長方形	8.56	〈2.96〉	32	28	○	N-39°-W	2(4)	2	3	南東主柱穴壁寄り		—	—	—	△	弥生	6AE-95他	焼土あり
7住	大型縦長方形	11.80	7.20	64	29	×	N-30°-W	4	3	9	北側主柱穴間		—	—	—	◎	弥生	5AH-12他	
12住	大型縦長方形	6.80	7.04	27	8	×	N-16°-W	2(4)	2	4	炉1：南東主柱穴北 炉2：南西主柱穴北		—	—	—	◎	弥生	6AE-86他	
13住	大型縦長方形	〈5.60〉	7.68	20	7	×	N-28°-W	2(4)	—	5	北側主柱穴間		—	—	—	◎	弥生	7AE-08他	56号住と重複
56住	不明	〈5.36〉	〈1.12〉	11	3	×	—	—	—	—	—		—	—	—	※	不明	7AE-08他	13号住と重複
14住	大型縦長方形	10.24	7.84	27	14	×	N-42°-W	4	7	7	北側主柱穴間		—	—	—	◎	弥生	6AE-77他	
15住	不明	〈4.00〉	5.20	—	—	×	N-13°-W	2(4)	—	—	北側主柱穴間		—	—	—	※	弥生	6AE-89他	17号住と重複
16住	不明	〈2.32〉	4.48	10	3	×	N-27°-W	—	—	—	住居西寄り ＊16住・57住のどちらか不明		—	—	—	○	弥生	7AE-09他	57号住と重複
57住	不明	〈2.72〉	5.12	4	3	×	N-27°-W	—	—	—	住居西寄り ＊16住・57住のどちらか不明		—	—	—	※	弥生	7AE-09他	16号住と重複
19住	中型正方形	4.96	4.40	4	2	×	N-35°-W	3(4)	—	62	—		—	—	—	※	弥生	6AF-70他	20・21号住と重複
17住	不明	〈4.80〉	5.92	7	2	×	N-48°-E	3(4)	—	—	炉1：西隅 炉2：西側主柱穴間		—	—	—	△	弥生	6AF-80他	15号18号住と重複
18住	大型縦長方形	6.80	4.80	33	17	×	N-8°-W	4	2	3	北側主柱穴間		—	—	—	◎	弥生	6AF-81他	17号住・10号溝と重複
24住	大型縦長方形	10.56	7.84	50	18	×	N-9°-W	4	—	6	—		—	—	—	◎	弥生	6AF-41他	45号46号住・9号溝と重複
46住	不明	〈3.60〉	5.84	19	9	×	—	—	—	—	—		—	—	—	※		6AF-61	24号45号住と重複
25住	大型縦長方形	6.00	4.64	25	6	○	N-7°-W	4	—	—	北側主柱穴間		—	—	—	◎	弥生	6AF-62他	45号46号住・10号溝と重複
26住	大型縦長方形	8.80	6.00	35	—	○	N-62°-W	4	2	4	西側主柱穴間		—	—	—	◎	弥生	6AF-63他	10号溝と重複
37住	中型正方形	4.00	3.92	15	6	×	N-11°-E	—			—	—	—	—	—	△	古墳	5AF-99他	
27住	不明	3.60	〈0.80〉	35	30	×	—	—	—	—	—		—	—	—	△	弥生	6AF-43他	28号55号住と重複
28住	大型縦長方形	6.00	4.80	32	19	×	N-6°-W	4	—	—	炉1：北側主柱穴間 炉2：中央西寄り		56	48	32	△	弥生	6AF-43他	焼土あり 29号55号住と重複
55住	不明	〈3.28〉	〈4.56〉	7	3	×	N-39°-W	2(4)	—	—	—		—	—	—	※	弥生	6AF-33他	27号28号29号住と重複
30住	中型縦長方形	5.36	〈3.20〉	12	0	×	N-26°-E	4	1	1	北側主柱穴間		—	—	—	△	弥生	6AF-54他	31号住と重複
31住	中型縦長方形	5.28	3.76	13	5	×	N-30°-W	3(4)	—	—	北側主柱穴間		50	40	37	△	弥生	6AF-45他	30号住と重複
33住	不明	〈2.48〉	2.88	23	16	×	—	—	—	—	—		—	—	—	△	弥生	6AF-58	
32住	大型縦長方形	8.72	6.72	50	27	×	N-57°-W	4	2	21	西側主柱穴間		—	—	—	◎	弥生	6AF-25他	
34住	大型縦長方形	6.80	4.96	54	18	×	N-14°-E	4	2	17	—		64	40	30	◎	弥生	6AF-28他	炭化物・焼土あり 35号住と重複
35住	大型縦長方形	8.16	6.24	46	12	×	N-50°-W	4	2	11	西側主柱穴間		52	40	21	◎	弥生	6AF-28他	34号住と重複
36住	大型縦長方形	7.92	5.60	34	24	×	N-34°-W	4	2	—	北側主柱穴間		—	—	—	◎	弥生	5AF-07他	
38住	大型縦長方形	6.48	3.92	44	16	×	N-11°-W	4	2	—	北側主柱穴間		—	—	—	◎	弥生	6AG-10他	焼土あり
41住	大型縦長方形	7.36	5.52	29	0	×	N-1°-E	4	2	—	北側主柱穴間		56	56	35	◎	弥生	5AG-82他	
42住	大型縦長方形	6.64	5.04	31	0	×	N-37°-W	4	—	1	北側主柱穴間		—	—	—	△	弥生	6AG-04他	
43住	大型縦長方形	7.04	4.96	32	12	×	N-60°-W	4	2	1	西側主柱穴間		—	—	—	◎	弥生	6AG-23他	10号溝と重複
47住	中型縦長方形	5.20	4.08	9	2	×	N-48°-W	4	—	—	中央西寄り		—	—	—	※	弥生	5AG-84他	41号土坑と重複
51住	不明	〈5.60〉	〈3.60〉	22	8	×	—	—	—	—	—		—	—	—	△	弥生	5AG-79他	
52住	中型縦長方形	5.12	4.40	49	22	×	N-5°-W	4	2	2	北側主柱穴間		—	—	—	◎	弥生	5AG-69他	
49住	大型縦長方形	9.76	7.04	42	17	×	N-5°-W	4	7	5	炉1：北側主柱穴間 炉2：南西主柱穴北		76	58	59	◎	弥生	5AG-77他	
58住	不明	(6.00)	〈2.80〉	31	24	×	N-64°-W	—	—	2	—		—	—	—	△	弥生	5AG-97他	w

第26表　遠地谷戸遺跡遺構観察表(1)

（　）推定値　〈　〉残存値

住居名	平面形態	規模				壁溝	主軸方向	主柱穴	壁際柱穴（炉の対面）	補助柱穴（壁際）	炉・竈		貯蔵穴			遺物	時期	グリッド	備考
		長軸m	短軸m	深さ最大cm	深さ最小cm						位置	構造	長軸cm	短軸cm	深さcm				
59住	中型縦長方形	4.40	4.00	18	3	×	N-30°-W	4	2	1	北側主柱穴間		36	32	36	◎	弥生	6AG-30他	
61住	中型縦長方形	(5.60)	3.68	34	30	×	N-9°-W	4	2	2	北側主柱穴間住居中央寄り		—	—	—	○	弥生	6AF-11	12号36号溝と重複
23住	不明	4.00	〈1.60〉	4	0	×	N-25°-W	—	—	—	—		—	—	—	※	古墳	6AE-59他	
39住	小型縦長方形	3.68	3.36	38	18	×	N-36°-W	—	—	—	中央北寄り		—	—	—	△	古墳	6AG-11他	
44住	小型正方形	2.96	2.96	9	0	×	N-35°-W	4	—	—	—		—	—	—	※	古墳	6AG-14他	
48住	不明	〈7.20〉	(8.00)	27	0	×	N-47°-W	—	—	—	—		—	—	—	△	古墳	5AG-95他	
62住	中型横長方形	5.36	4.48	19	0	×	N-24°-W	4	—	—	北側主柱穴間		—	—	—	◎	古墳	5AG-71他	
50住	大型正方形	7.20	7.20	31	21	×	M-38°-W	4	—	—	中央部		100	84	20	△	古墳	5AG-56他	
53住	中型正方形	5.20	5.20	10	5	×	N-25°-W	4	—	—	北側主柱穴間東寄り		—	—	—	○	古墳	5AG-28他	
8住	不明	〈2.80〉	〈2.00〉	27	14	×	N-64°-W	—			—	—	—	—	—	△	古墳	4AI-12	
6住	大型正方形	6.00	5.92	16	1	×	N-37°-W	4			北壁中央	A	76	72	64	◎	古墳	5AH-03他	
10住	不明	〈4.56〉	〈2.40〉	47	34	○	—	—			—		—	—	—	△	古墳	4AH-88他	
20・21住	大型正方形	6.48	6.16	27	6	○	①N-36-W ②N-55-E	4			竈1：東壁南寄り 竈2：北壁中央	A A	貯蔵穴1：76 貯蔵穴2：60	72 52	60 49	◎	古墳	6AE-69他	19号住と重複
22住	不明	3.68	(2.88)	29	20	×	N-75°-E	—			東壁中央		80	72	60	△	古墳	6AE-49他	
40住	小型正方形	3.60	3.36	15	5	×	N-59°-E	4			東壁中央	B	—	—	—	△	古墳	5AG-80他	
45住	中型正方形	4.56	4.48	47	16	○	N-25°-E	4			北壁東寄り	A	92	56	98	△	古墳	6AF-51他	24号46号住と重複
29住	中型正方形	4.24	4.24	48	22	○	N-50°-E	4			東壁中央	B	84	60	60	○	古墳	6AF-44他	28号55号住と重複
60住	中型正方形	4.32	4.16	34	20	×	N-74°-E	4			東壁南寄り	B	92	88	71	○	古墳	6AF-21他	
63住	大型縦長方形	6.56	5.12	26	0	×	N-55°-E	4			東壁南寄り	B	96	80	81	△	古墳	5AG-54他	

小型4㎡以下
中型4～6㎡
大型6㎡以上

○あり
×なし

A：ローム＋黒色土
B：ローム＋黒色土＋袖芯河床礫
C：ローム＋黒色土＋袖芯土器

※0～1000㎡
△1000～5000㎡
○5000～10000㎡
◎10000㎡以上

堀立名	平面形態	規模				主軸方向	遺物	時期	グリッド	備考
		長軸m	短軸m	ピット深さ最小cm	ピット深さ最大cm					
1号	2間×1間	4.64	2.80	18	46	S-71°-W	※		6AF-37他	
2号	2間×1間	4.08	2.64	18	48	S-73°-W	※		6AF-37他	
3号	4間×1間	6.80	2.80	16	46	N-25°-W	※		6AF-23他	

〈　〉残存値

土坑名	規模			遺物	時期	グリッド	備考
	長軸cm	短軸cm	深さcm				
1号	136	128	14	※		5AH-04d 他	
2号	132	120	22	※		5AH-07a	
3号	184	120	10	※		4AH-76c 他	
4号	124	80	18	※		4AH-86a	
5号	84	84	12	※		4AH-66a	
6号	120	96	12	※		4AH-56d 他	
7号	80	76	76	※		4AH-39c	

第27表　遠地谷戸遺跡遺構観察表(2)

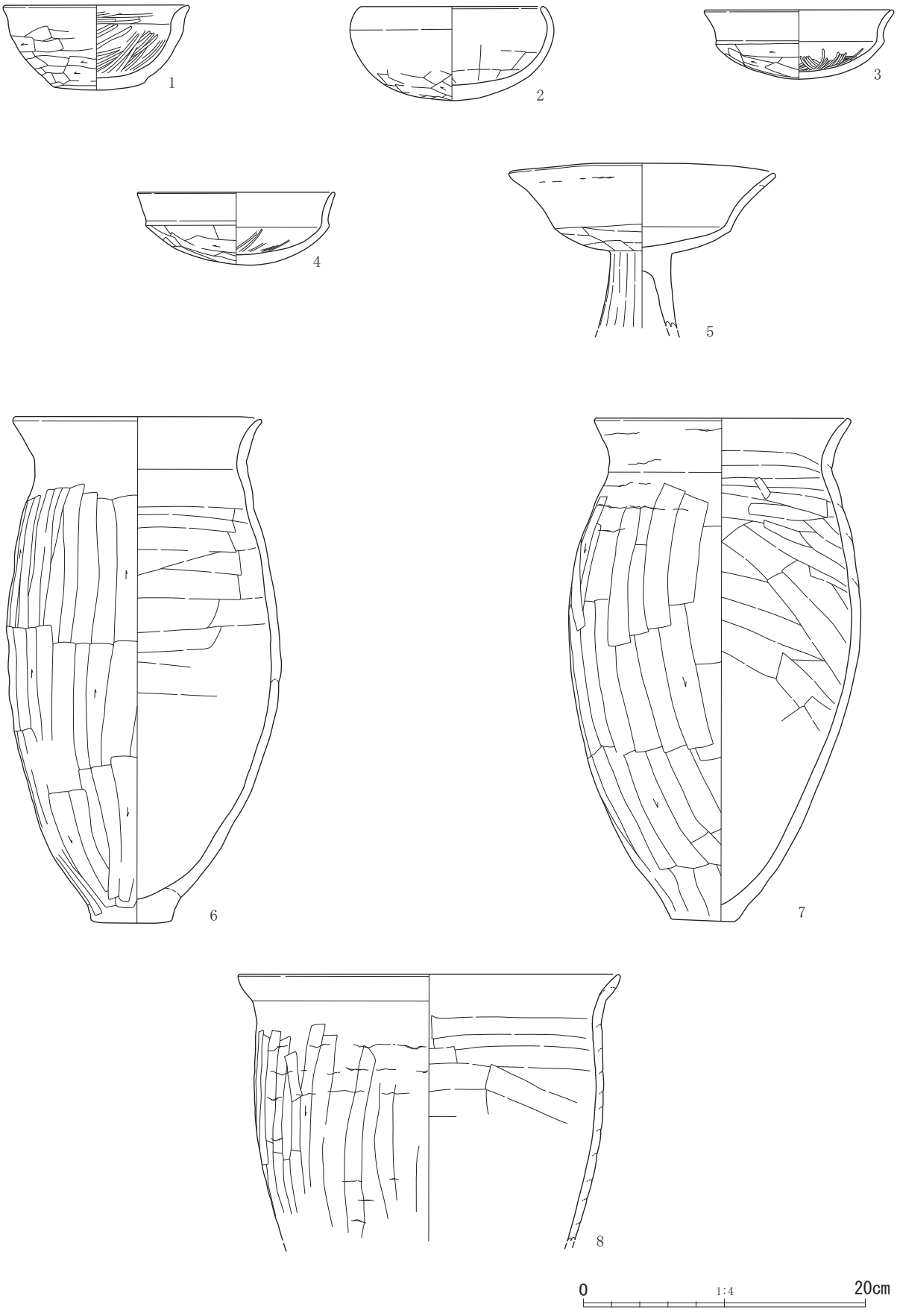
土坑名	規模			遺物	時期	グリッド	備考
	長軸cm	短軸cm	深さcm				
8号	160	160	14	※		4AH-29b 他	
9号	64	52	9	※		4AI-12d	
11号	80	72	25	※		4AH-68b	3号住と重複
12号	120	〈100〉	8	※		4AH-68b 他	
14号	92	56	17	※		6AE-96a	
15号	124	72	52	※		6AE-68c	
16号	80	76	24	※		6AF-71a	
17号	136	128	44	※		6AF-52d 他	
18号	48	48	15	※		6AF-42d	
19号	68	60	12	※		6AF-54c	
20号	112	108	22	※		6AF-65b 他	
21号	76	68	19	※		6AF-66c	
22号	180	168	38	※		6AF-45a 他	
24号	72	68	14	※		6AF-08c	
25号	76	44	18	※		6AF-19a 他	
26号	72	68	22	※		5AF-89d	
27号	68	56	17	※		5AF-89d	
28号	84	64	9	※		5AG-90a	
29号	64	52	20	※		6AG-10b	
30号	160	92	22	※		6AG-01c 他	
31号	60	52	15	※		6AG-73b	
33号	112	96	51	※		6AE-99d	
37号	156	148	10	※		6AF-06d	
41号	200	196	15	※		5AG-94a	47号住と重複

溝名	規模						遺物	時期	グリッド	備考
	上幅		下幅		深さ					
	最小cm	最大cm	最大小cm	最大cm	最小cm	最大cm				
1号	80	200	20	120	24	79	※		4AH-85他	
9号	30	120	10	30	27	43	△		6AF-41他	24号住と重複
10号	60	150	20	50	20	68	△		6AF-51他	18号25号26号43号住と重複
12号	20	210	10	100	8	26	◎		6AF-05他	36号37号42号48号58号59号 .61号住と重複
30号	20	230	10	170	3	48	△		5AH-60他	
36号	60	80	15	20	8	14	※		6AF-12他	61号住と重複
41号	40	70	10	40	3	14	※		6AF-13他	

※0～1000㎡
△1000～5000㎡
○5000～10000㎡
◎10000㎡以上

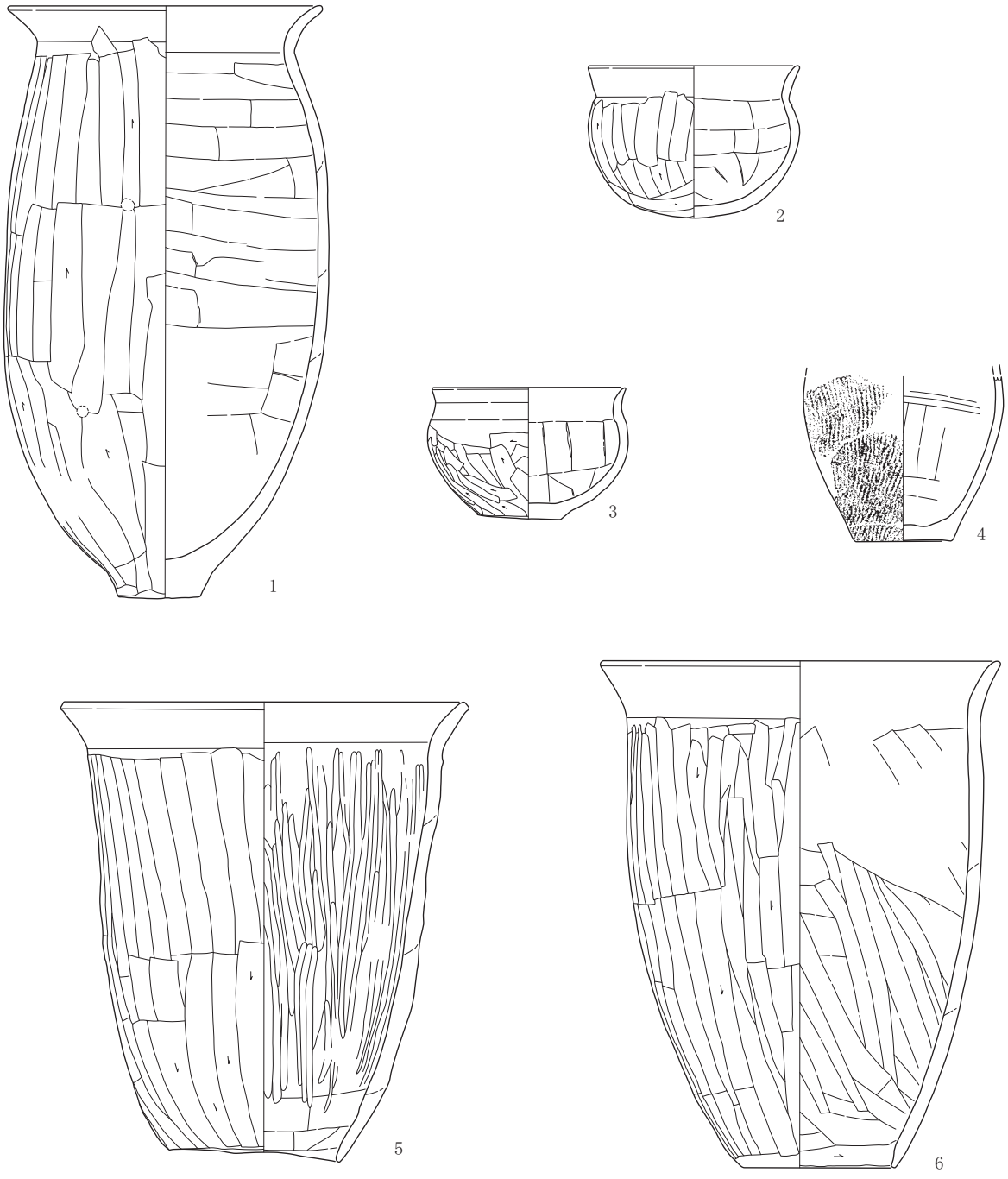
第28表　遠地谷戸遺跡遺構観察表(3)

6 号住

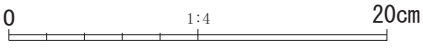


第58図　6 号住居址出土土器実測図

20・21号住

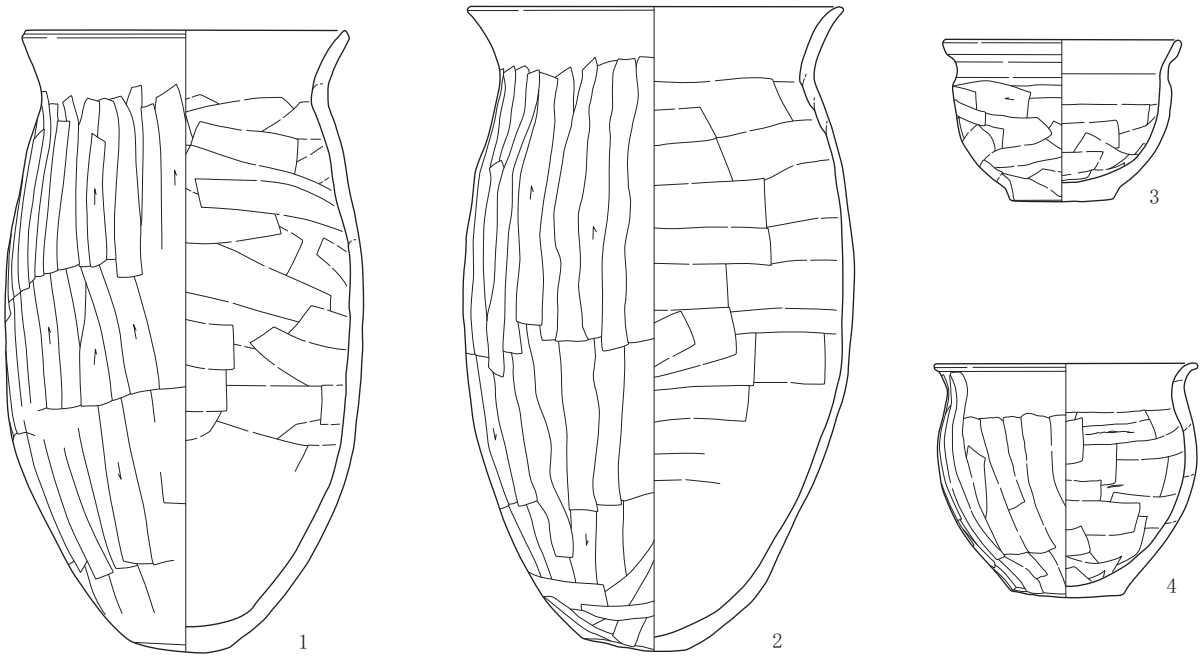


22号住

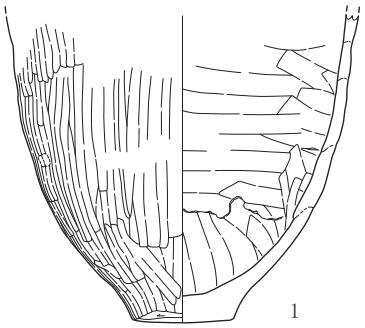


第59図　20～22号住居址出土土器実測図

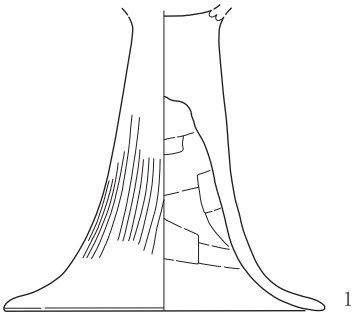
29号住



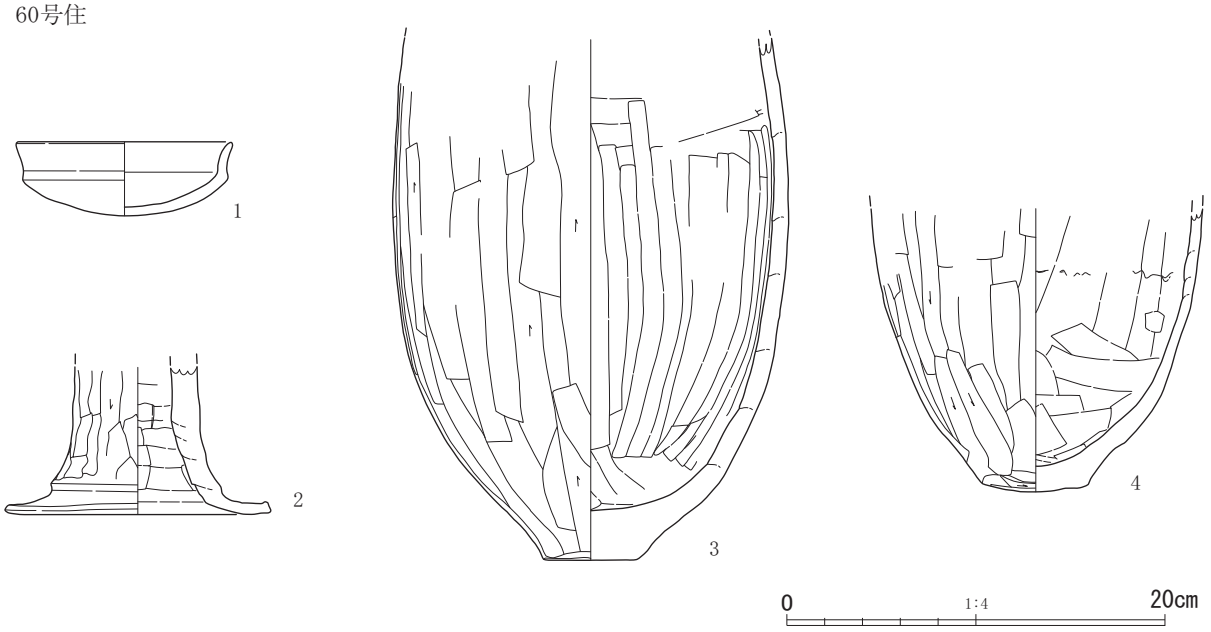
40号住



45号住

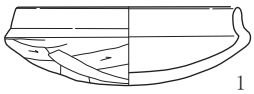


60号住

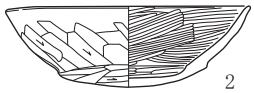


第60図　29号・40号・45号・60号住居址出土土器実測図

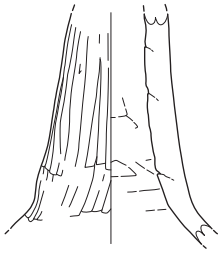
63号住



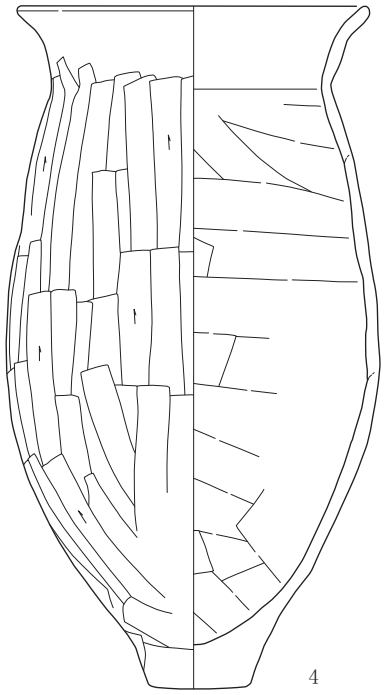
1



2

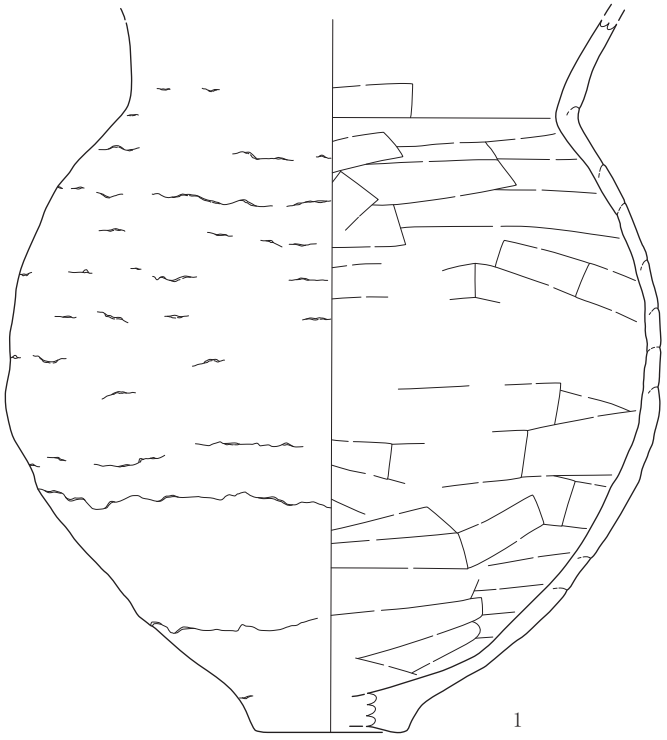


3



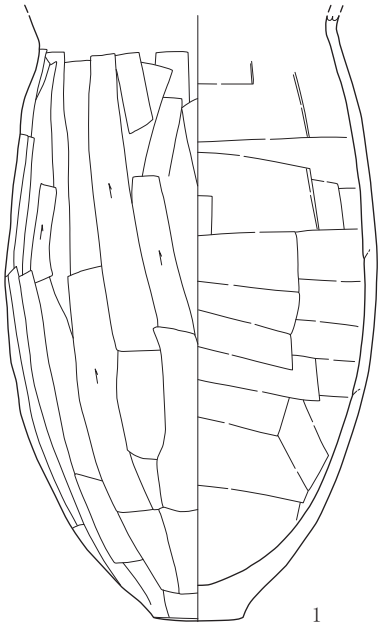
4

11号土坑



1

12号溝



1

0 1:4 20cm

第61図　63号住居址、11号土坑、12号溝出土土器実測図

遠地谷戸遺跡土器観察表

6号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏		口径 (13.0) 底径　6.4 器高　6.0	①普通　②鈍い橙色　③白色粒 ④2/3	外面　口縁部横撫で、体部～底部篦削り。 内面　口縁部～底部篦磨き。
2	土師器 坏		口径 (12.8) 底径　— 器高　6.7	①普通　②赤褐～鈍い褐色　③ 白色粒・黒色粒　④2/3	外面　口縁部横撫で、体部上位撫で、下位～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部～底部篦撫で。
3	土師器 坏		口径　13.2 底径　— 器高　4.9	①普通　②橙色　③白色粒・黒 色粒・雲母　④口縁部1/4欠損	外面　口縁部横撫で、体部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部～底部篦磨き。
4	土師器 坏		口径　13.8 底径　— 器高　5.2	①普通　②明褐～鈍い黄褐色 ③白色粒・黒色粒・雲母　④1/2	外面　口縁部横撫で、体部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部～底部篦磨き。
5	土師器 高坏	一括	口径　18.5 底径　— 器高　—	①普通　②橙色　③白色粒・黒 色粒　④口縁部～脚部中位9/10	外面　口縁部横撫で、体部～脚部篦撫で。 内面　口縁部横撫で、底部撫で、脚部篦撫で。
6	土師器 甕		口径　17.4 底径　5.7 器高　36.0	①普通　②灰黄褐色　③白色 粒・黒色粒・礫　④7/8	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り、底部撫で。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
7	土師器 甕	一括	口径　18.0 底径　4.4 器高　35.6	①普通　②鈍い赤褐色　③白色 粒・黒色粒・角閃石　④7/8	外面　口縁部横撫で、胴部上位撫で、中位～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
8	土師器 甑	一括	口径 (26.8) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色 粒・黒色粒・角閃石　④口縁部 ～胴部中位1/3	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

20・21号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径　19.0 底径　5.1 器高　36.3	①普通　②橙色　③白色粒・石 英・礫　④7/8	外面　口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
2	土師器 小形甕	一括	口径 (12.8) 底径　— 器高　9.3	①普通　②鈍い橙色　③白色 粒・礫・石英　④2/3	外面　口縁部横撫で、体部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部～底部篦撫で。
3	土師器 小形甕	一括	口径　11.8 底径　5.1 器高　8.1	①普通　②橙色　③白色粒･礫･ 石英　④3/4	外面　口縁部横撫で、体部上位撫で、中位～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部～底部篦撫で。
4	土師器 小形甕	一括	口径　— 底径　5.8 器高　—	①普通　②鈍い褐～灰褐色　③ 白色粒・黒色粒・石英　④胴部 上位～底部2/5	外面　胴部縄文 LR、斜縦位施文、底部篦撫で後篦磨き。 内面　胴部～底部篦撫で。
5	土師器 甑	一括	口径　24.4 底径　10.4 器高　28.2	①普通　②橙色　③黒色粒・石 英・礫　④4/5	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦磨き、下位篦撫で、下端部 篦削り。底部筒抜け。
6	土師器 甑	一括	口径　24.2 底径　9.4 器高　31.0	①普通　②鈍い橙～橙色　③黒 色粒・褐色粒・礫　④9/10	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦磨き、下位篦削り。底部筒 抜け。

22号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	竈 一括	口径　12.9 底径　— 器高　4.7	①普通　②明赤褐～赤褐色　③ 白色粒・黒色粒　④3/4	外面　口縁部横撫で、体部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部～底部篦磨き。
2	土師器 坏	竈 一括	口径　12.9 底径　— 器高　6.2	①普通　②鈍い黄橙色、明赤褐 色　③白色粒・褐色粒・角閃石 ④9/10	外面　口縁部横撫で、体部篦撫で、底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部～底部篦撫で。

第29表　6号・20～22号住居址出土土器観察表

29号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 16.9 底径 5.1 器高 33.0	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石・礫　④3/4	外面　口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
2	土師器 甕	一括	口径 19.5 底径 5.5 器高 34.2	①普通　②橙～鈍い褐色　③白色粒・黒色粒・褐色粒・石英　④9/10	外面　口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
3	土師器 小形甕	竈	口径 12.6 底径 5.4 器高 8.6	①普通　②鈍い黄橙色、黒色　③白色粒・褐色粒・礫　④4/5	外面　口縁部横撫で、体部上位篦削り、下位篦撫で、底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部～底部篦撫で。
4	土師器 小形甕		口径 13.8 底径 6.0 器高 12.4	①普通　②橙色　③白色粒・褐色粒・角閃石・石英　④完形	外面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。

40号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 — 底径 5.2 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・片岩・礫　④胴部中位～底部2/5	外面　胴部篦撫で、底部篦削り。 内面　胴部～底部篦撫で。

45号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 高坏	一括	口径 — 底径 16.8 器高 —	①普通　②明黄褐色　③白色粒・黒色粒　④脚部9/10	外面　脚部篦磨き。 内面　脚部篦撫で。

60号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 — 底径 5.0 器高 —	①普通　②鈍い黄橙～鈍い黄褐色　③白色粒・礫　④胴部上位～底部残存	外面　胴部上位～底部篦削り。 内面　胴部上位～底部篦撫で。
2	土師器 甕	貯蔵穴 一括	口径 — 底径 5.6 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④胴部中位～底部3/5	外面　胴部中位～底部篦削り。 内面　胴部～底部篦撫で。
3	土師器 坏		口径 11.3 底径 — 器高 3.9	①普通　②鈍い橙～橙色　③角閃石・礫　④3/4	外面　口縁部横撫で、体部～底部調整不明瞭。 内面　口縁部横撫で、体部～底部調整不明瞭。
4	土師器 高坏	竈 一括	口径 — 底径 14.0 器高 —	①普通　②橙色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④脚部中位～裾部4/5	外面　脚部篦削り、裾部横撫で。 内面　脚部篦撫で、裾部横撫で。

63号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	№1 一括	口径 18.3 底径 5.5 器高 36.2	①普通　②明黄褐橙～黒褐色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④9/10	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り、底部篦撫で。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
2	土師器 坏	貯蔵穴 一括	口径 11.6 底径 — 器高 4.1	①普通　②鈍い赤褐～橙色　③白色粒・礫・雲母　④4/5	外面　口縁部横撫で、体部～底部篦削り。 内面　口縁部～体部横撫で、底部撫で。
3	土師器 坏	貯蔵穴 一括	口径 12.8 底径 — 器高 4.3	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④4/5	外面　口縁部横撫で、体部～底部篦削り。 内面　口縁部～底部篦磨き。
4	土師器 高坏	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通　②明赤褐～赤褐色　③白色粒・礫・雲母　④脚部残存、裾部欠損	外面　脚部篦削り、下位横撫で。 内面　脚部篦撫で、下位横撫で。

11号土坑

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	№1	口径 — 底径 (8.0) 器高 —	①普通　②鈍い褐～黒褐色　③白色粒・片岩・礫　④頸部～底部7/8	外面　頸部～底部器面が荒れ調整不明瞭、輪積痕が顕著。 内面　頸部～底部篦撫で。

12号溝

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 — 底径 4.8 器高 —	①普通　②鈍い黄橙～黒褐色　③白色粒・黒色粒　④頸部～底部9/10	外面　頸部横撫で、胴部篦削り、底部篦撫で。 内面　頸部横撫で、胴部～底部篦撫で。

第30表　29号・40号・45号・60号・63号住居址、11号土坑、12号溝出土土器観察表

小日向遠地谷戸遺跡　小結

今回の調査により64軒の住居址が検出された。これらの住居址は、弥生時代中期・同後期、古墳時代初頭～前期・同後期の４時期所産のものである。以下、検出された住居址数・集落の特徴等を時期毎に記し、集落の変遷について検討したい。なお、出土遺物が無く、全体の形状等も不明のため時期を判断できなかった住居址があり、それらは除外している。

⑴　弥生時代中期

当該期の住居址は、Ａ区１号住居址とＢ区９号住居址の２軒のみである。これらの住居址は、出土遺物より中期後半栗林式期所産と考えられる。九十九川流域における過去の発掘調査では、小日向地区の上流に隣接する国衙地区で２軒の栗林式期住居址が確認されている（国衙遺跡群Ⅱ15号住居、国衙下辻遺跡Ｙ１号住居）。また、下流右岸に位置する杉名薬師遺跡においては、遺構は確認されていないが当該期の土器が一定量出土している。これらの状況より、弥生時代中期後半には九十九川流域に小規模集落が点在していたものと推測される。

⑵　弥生時代後期

本遺跡の主体をなすのが後期樽式期の住居址であり、両区合わせて43軒の住居址が検出されている。樽式期の住居址は、前述の国衙遺跡群Ⅱにおいて２軒、杉名薬師遺跡において７軒検出されている。両遺跡とも調査範囲が限定的であったために検出された住居址数は少ないが、周辺には当該期集落が展開しているものと推測される。また、杉名薬師遺跡のさらに下流に位置する高橋遺跡においては、土地改良事業に伴う発掘調査で樽式期住居址が69軒検出されている。本遺跡群においても合計178軒の当該期住居址が検出されている。弥生時代後期になり、九十九川流域には大規模集落が広範囲に、そして継続して営まれていた様子が看取できる。

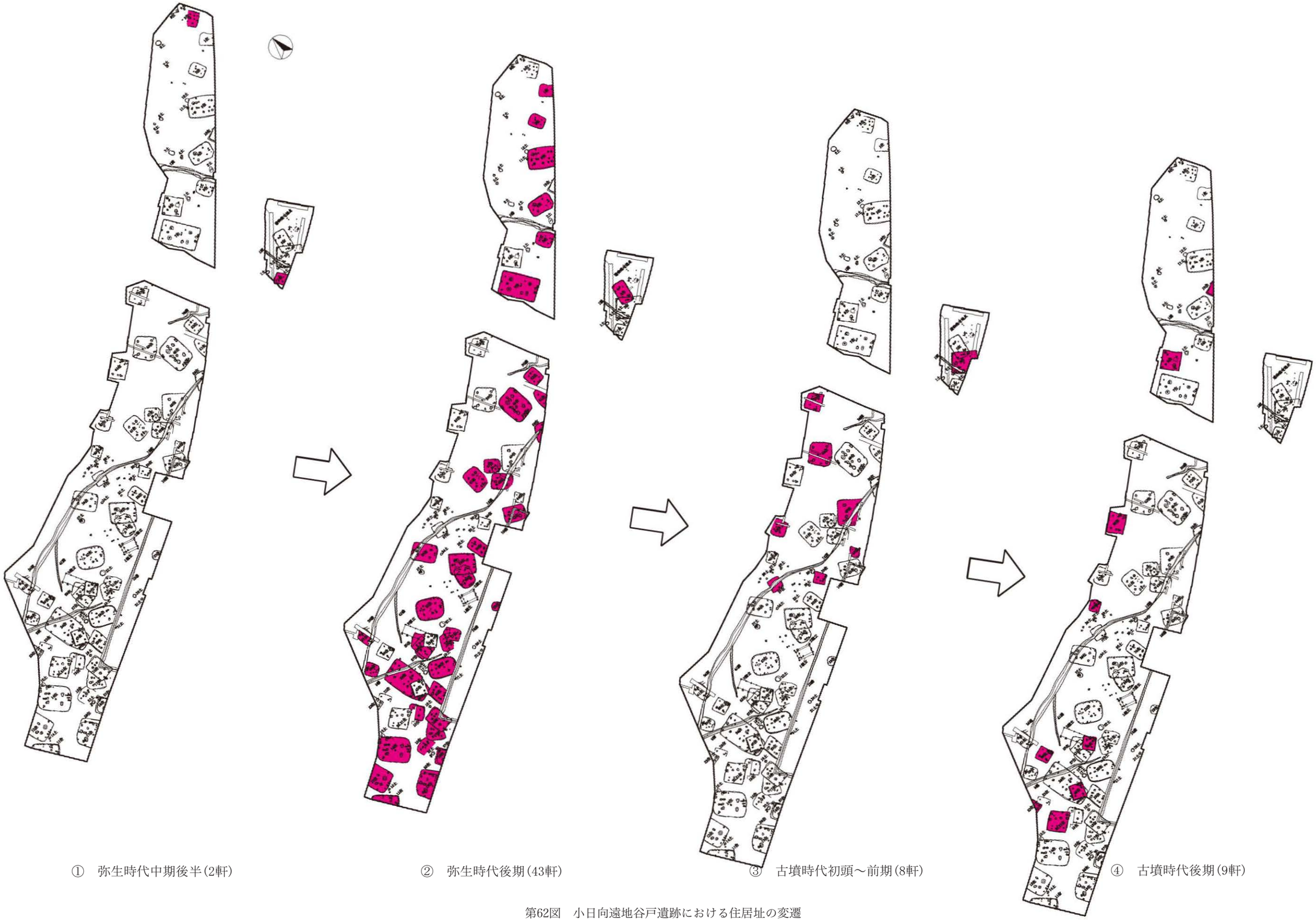
⑶　古墳時代初頭～前期

当該期の住居址はＡ区において１軒、Ｂ区中央付近において７軒、合計８軒検出された。住居址の重複・近接はなく、各住居址は一定の距離を保ち所在している。いずれの住居址も正方形基調であり、主軸もほぼ揃っていることから、短期間営まれた継続性の乏しい集落であると推測される。

⑷　古墳時代後期

当該期の住居址は９軒検出された。この時期においても住居址の重複・近接は認められず、Ｂ区全体に疎らに所在している。ただ、遠丸遺跡に近い台地北西側に住居址が偏っている傾向は看取できる。小日向地区遺跡群の中では、本遺跡の他に瀧遺跡・壱丁田遺跡・壱丁田Ⅱ遺跡・田中遺跡が弥生時代後期を主体とする遺跡である。この中で古墳時代後期の住居址が確認されたのは本遺跡だけである。他の４遺跡は、古墳時代後期には古墳が築造され、墓域としての性格が色濃い。本遺跡においてのみ、古墳が確認されず（台地先端部の離れた地点に天皇塚古墳は所在するが）、引き続き居住域として利用され続ける理由は、当時の中心的集落であった遠丸遺跡に隣接しているという地理的要因に起因しているものと考えられる。

（壁　伸明）



① 弥生時代中期後半(2軒)　② 弥生時代後期(43軒)　③ 古墳時代初頭～前期(8軒)　④ 古墳時代後期(9軒)

第62図　小日向遠地谷戸遺跡における住居址の変遷

２　小日向遠丸遺跡

2　小日向遠丸遺跡

⑴　概　　要

本遺跡は小日向地区遺跡群の東端に位置し、平成17年度に調査を実施した。遺跡地は長者久保・上野丘陵の末端部に立地し、南側には小さな沢が南西から北東へ流下している。この沢が本遺跡と遠地谷戸遺跡との境界をなし、対岸には遠地谷戸遺跡の弥生時代・古墳時代集落が展開している。遠地谷戸遺跡の主体をなすのは弥生時代後期樽式期住居群である。しかし本遺跡においては当該期の遺物は確認されているが、遺構の検出には至っていない。本遺跡の主体をなすのは５世紀後半～６世紀代の竪穴住居址群である。50軒を超える竪穴住居址の大部分はこの時期の所産である。その他に、遺構は確認されていないが縄文時代前期・晩期の所産と考えられる土器・石器も出土している。

また、平成16年度に周堀の調査を実施した天皇塚古墳（九十九１号墳）は、本遺跡の南東に位置する。同古墳は「小日向遠地谷戸遺跡」に含まれるものであるが、所在位置の関係より本遺跡において報告する。

⑵　縄文時代

前述のように、前期の繊維土器と晩期の所産と考えられる土器片が出土している。九十九川流域では、上流に位置する「高梨子三次郎遺跡」・「高梨子森下遺跡」でも晩期の土器が出土している。両遺跡とも住居址等の遺構は確認されていないが、流域に晩期の小集落が点在していた可能性が考えられる。

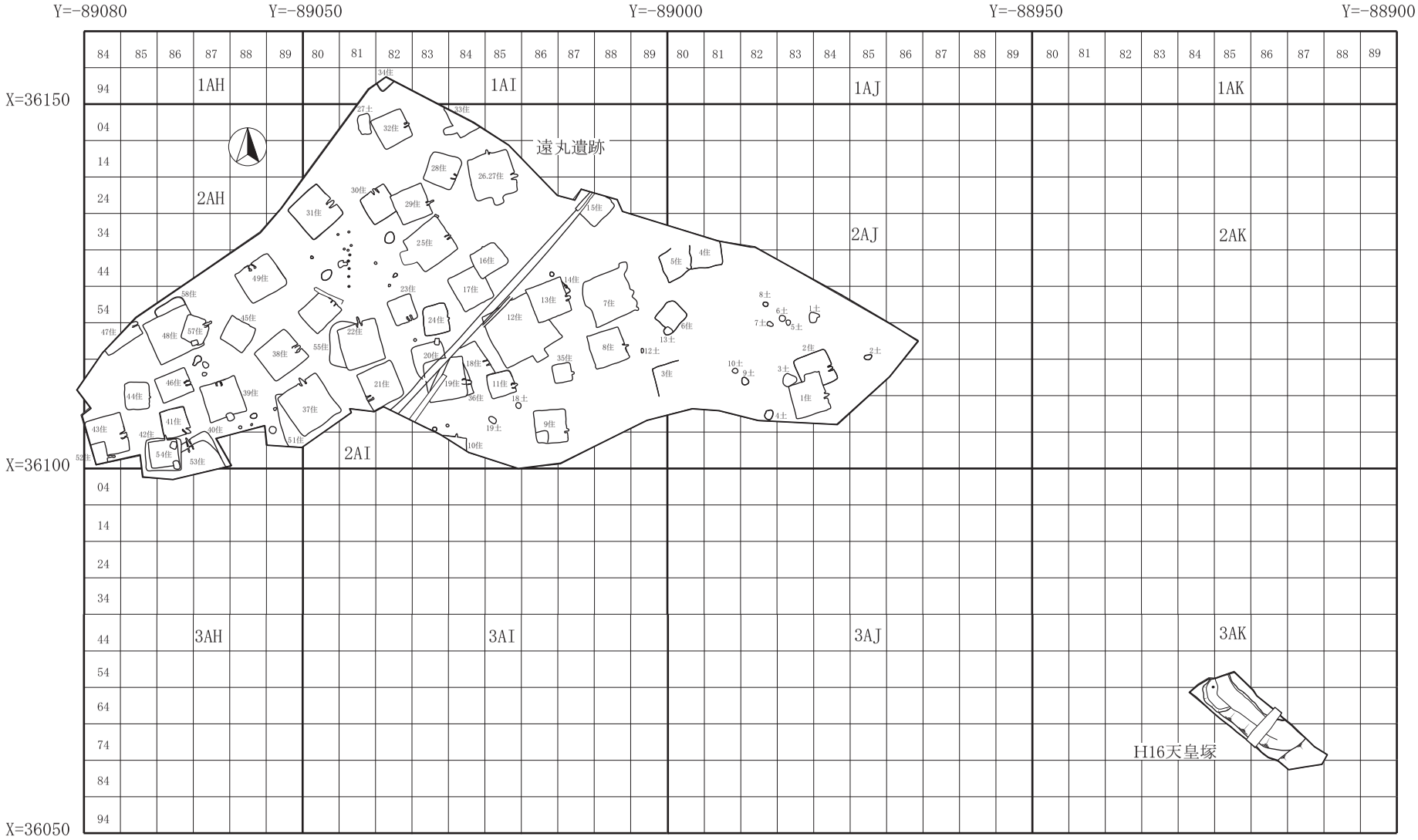
⑶　弥生時代

今回の調査区域内においては、弥生時代の遺構は確認されていない。しかし、当該期の遺物は一定量認められた。出土遺物の大部分は後期所産のものであるが、中期所産のものが若干混入する。

⑷　古墳時代

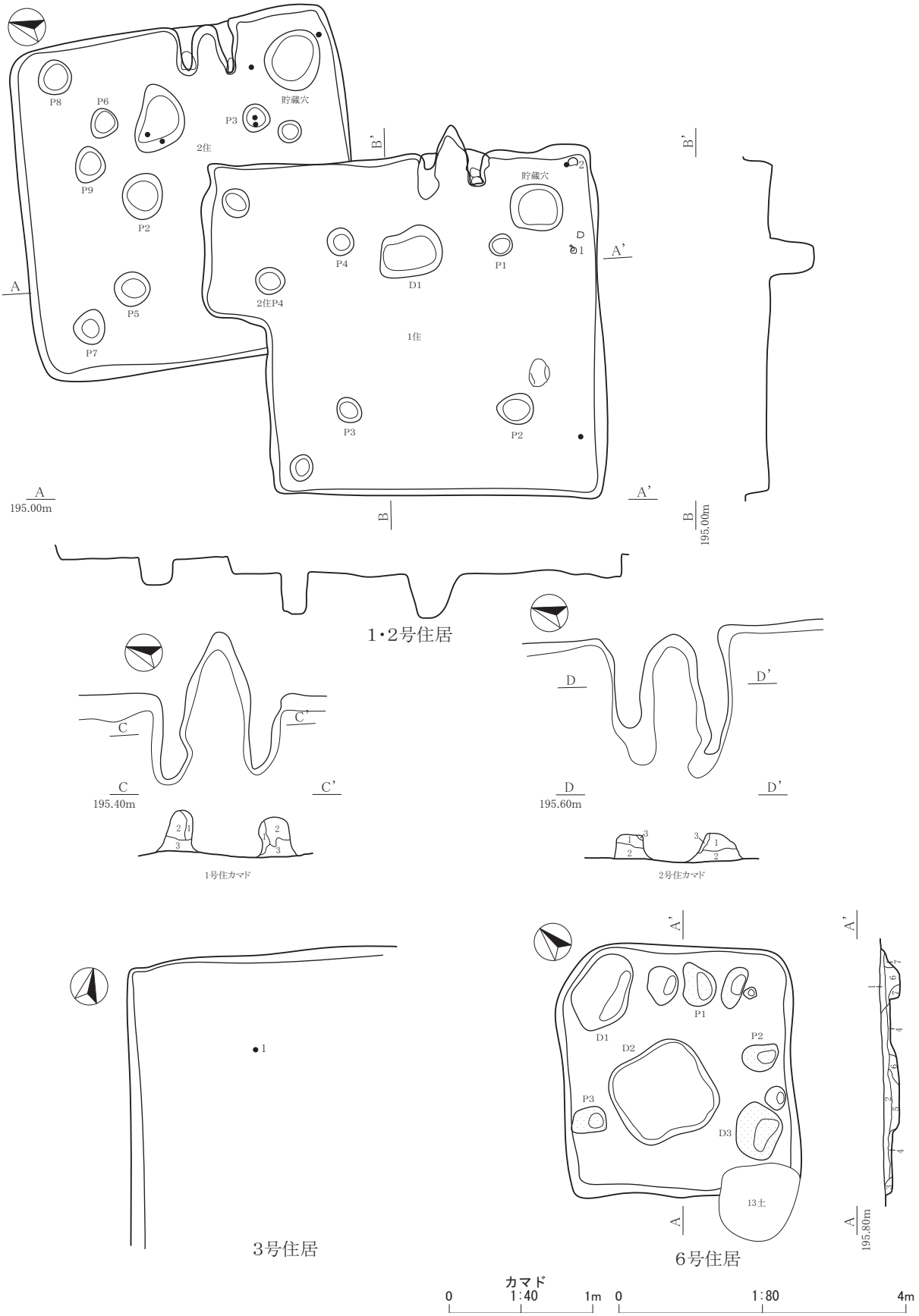
当該期の住居址は55軒検出された。その大部分は５世紀後半から６世紀代の所産と考えられ、一定期間に集中して営まれた集落と言える。この中で12号住居址、26・27号住居址・39号住居址は、南壁に張り出し部を有するもので、市内では３遺跡めの検出例である。

また、16年度に調査を実施した天皇塚古墳は、主体部は保存措置がとれたため周堀の部分的調査に留まった。周堀からは、円筒埴輪の他に形象埴輪も出土している。６世紀前半の築造と推測される。

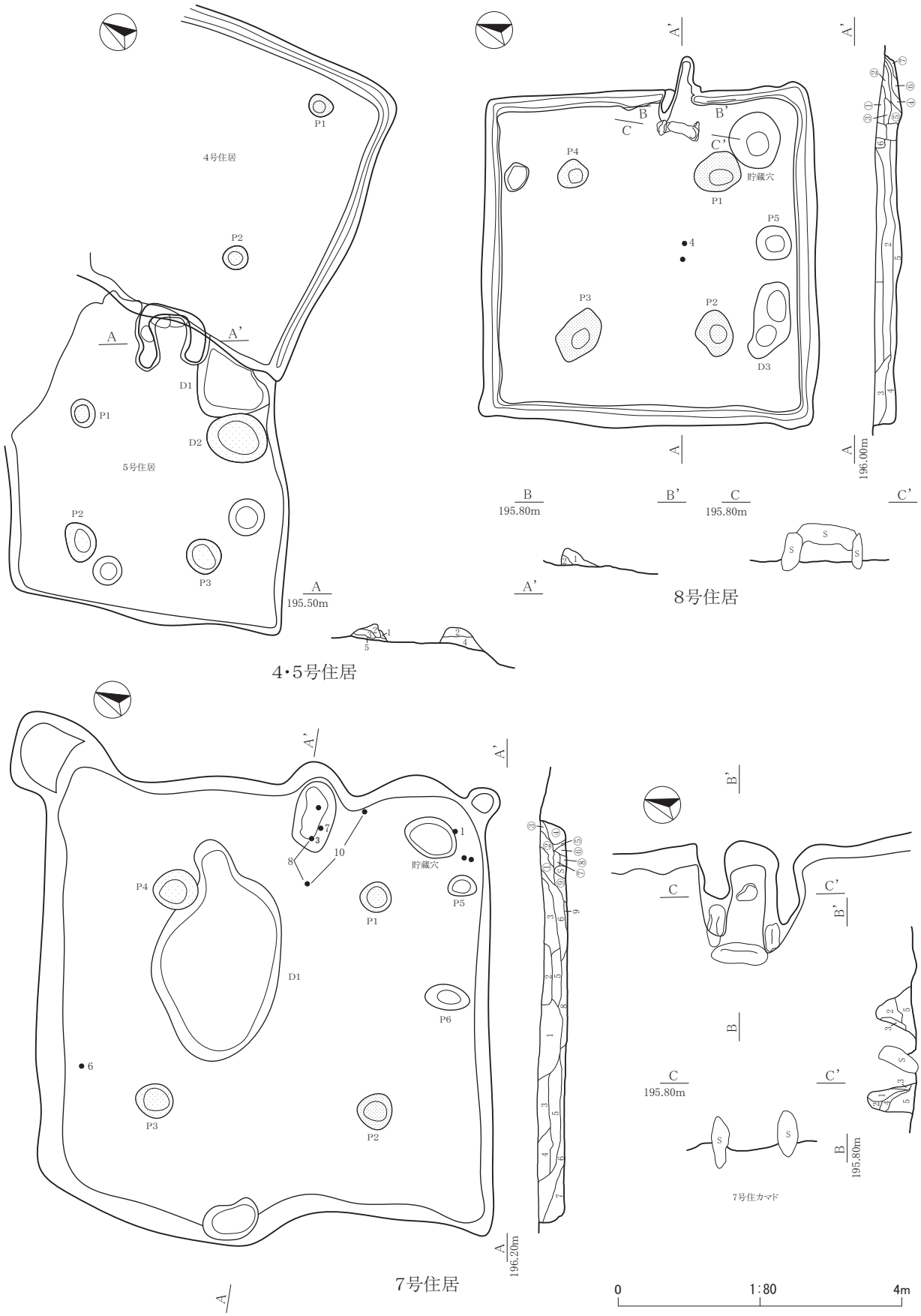


第63図　小日向遠丸遺跡・天皇塚古墳全体図・グリッド設定図

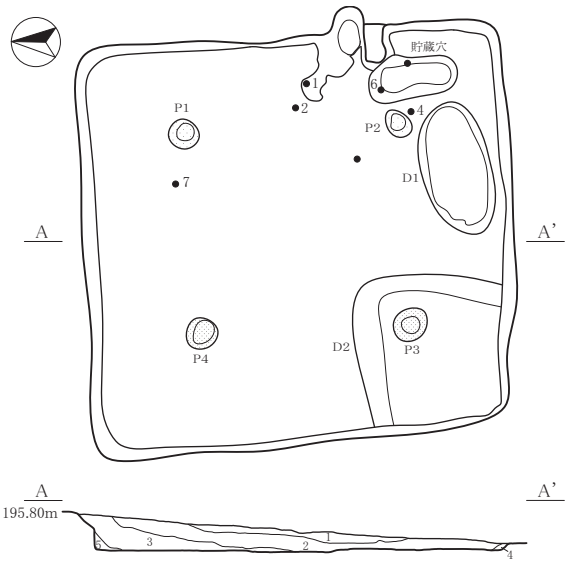
0　1:800　40m



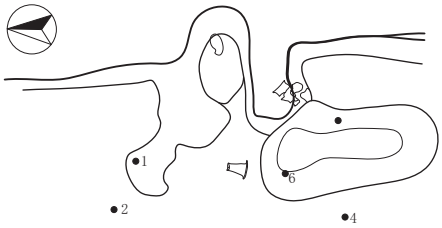
第64図　1～3号・6号住居址実測図



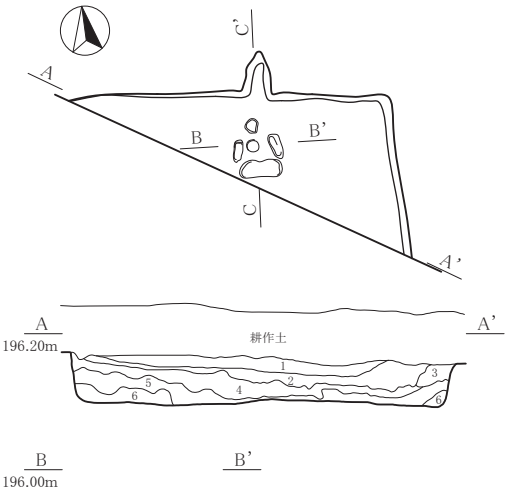
第65図　４号・５号・７号・８号住居址実測図



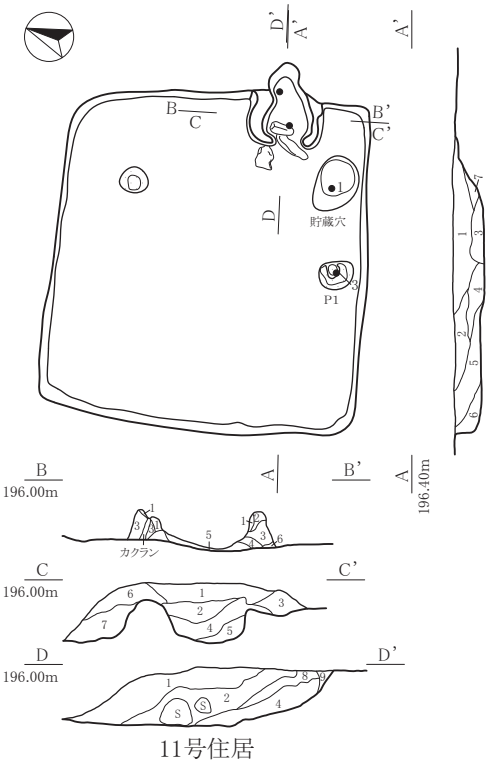
9号住居



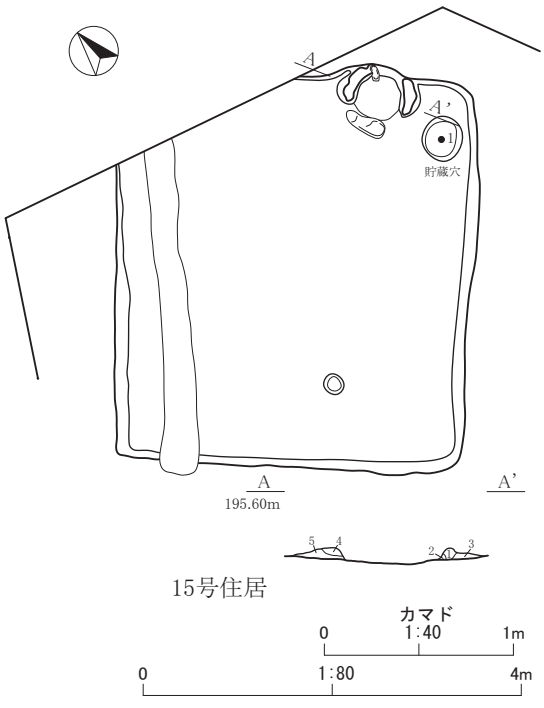
9号住カマド



10号住居

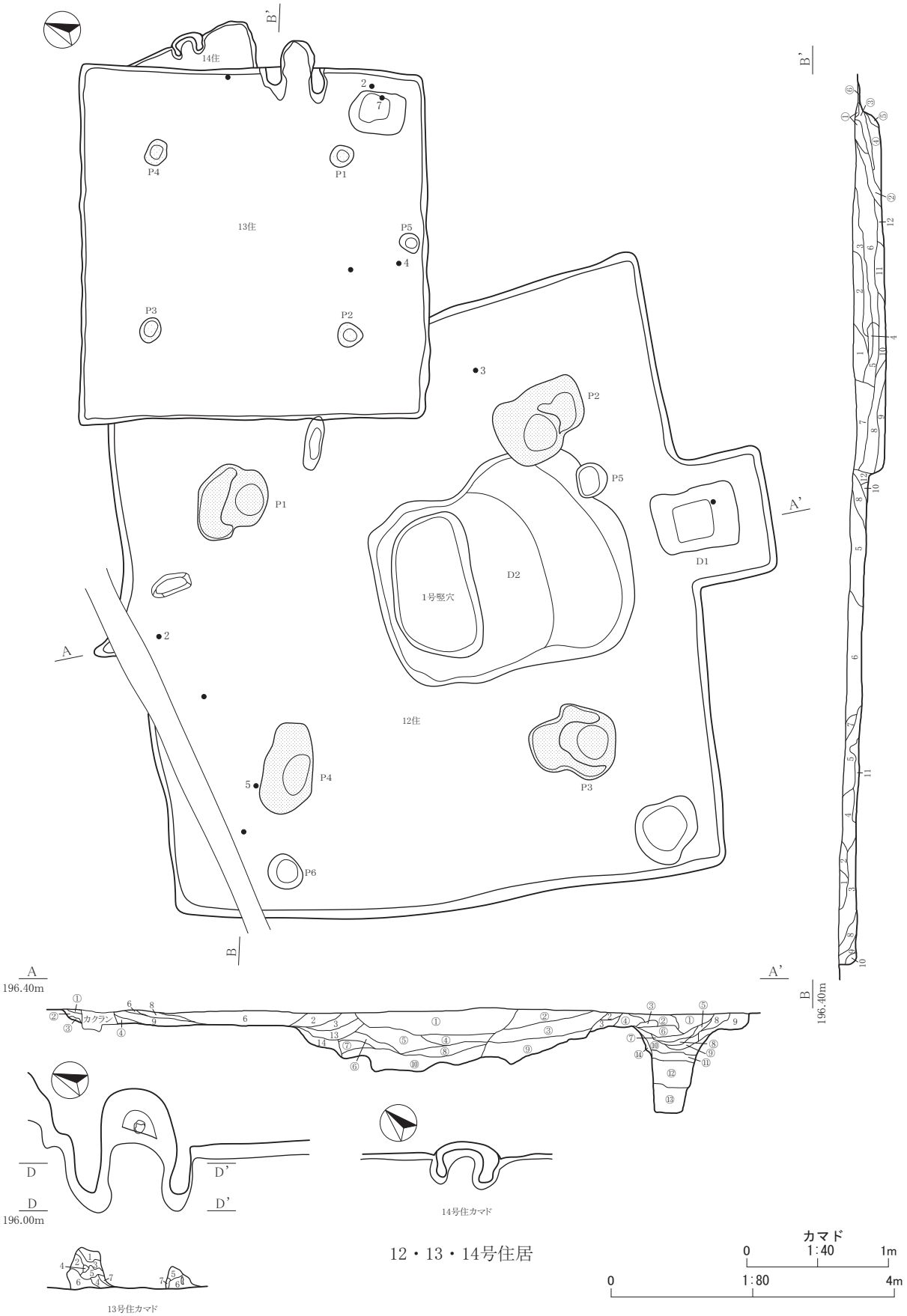


11号住居



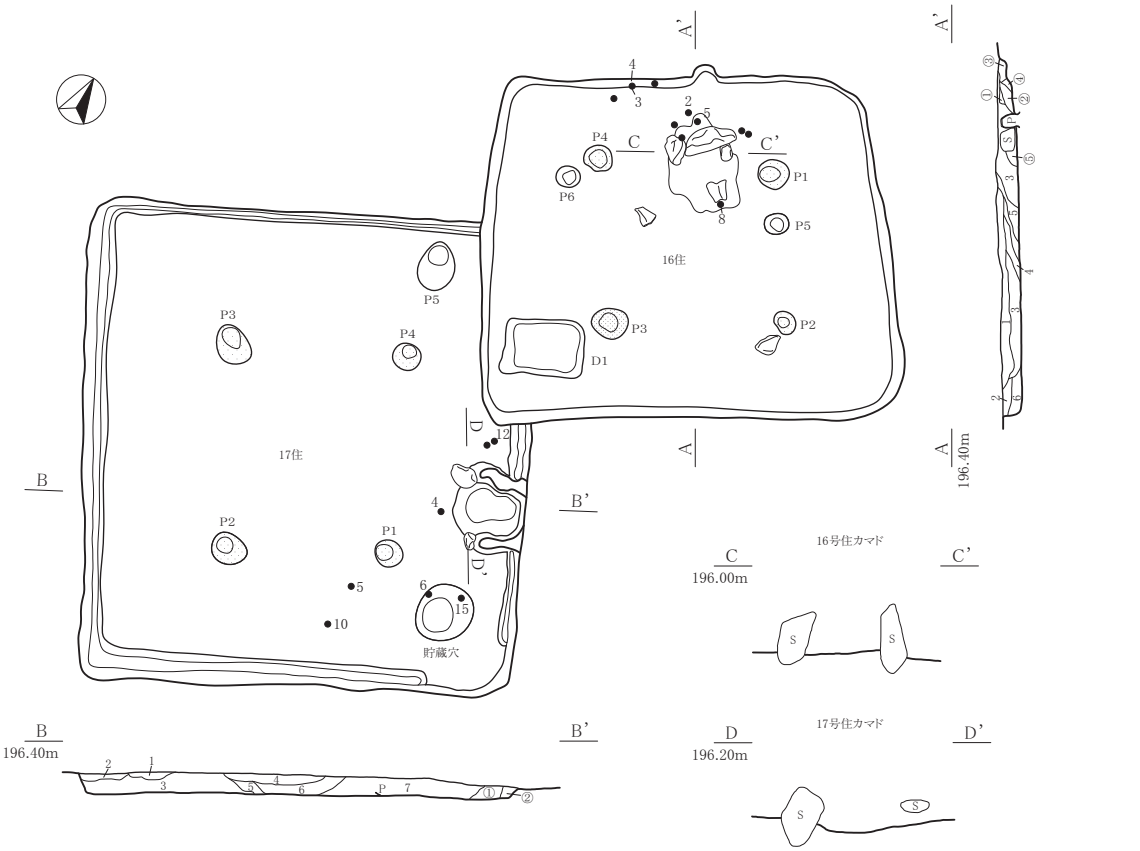
15号住居

第66図　9～11号・15号住居址実測図

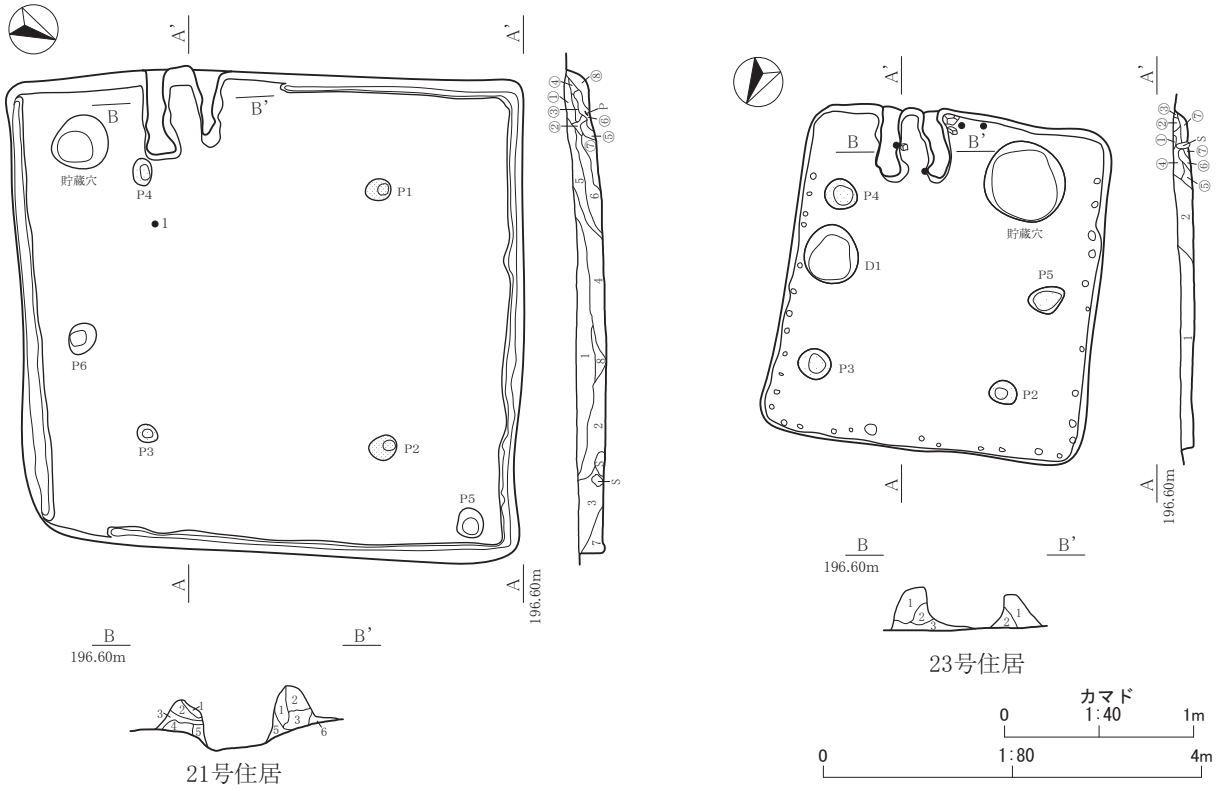


12・13・14号住居

第67図　12～14号住居址実測図



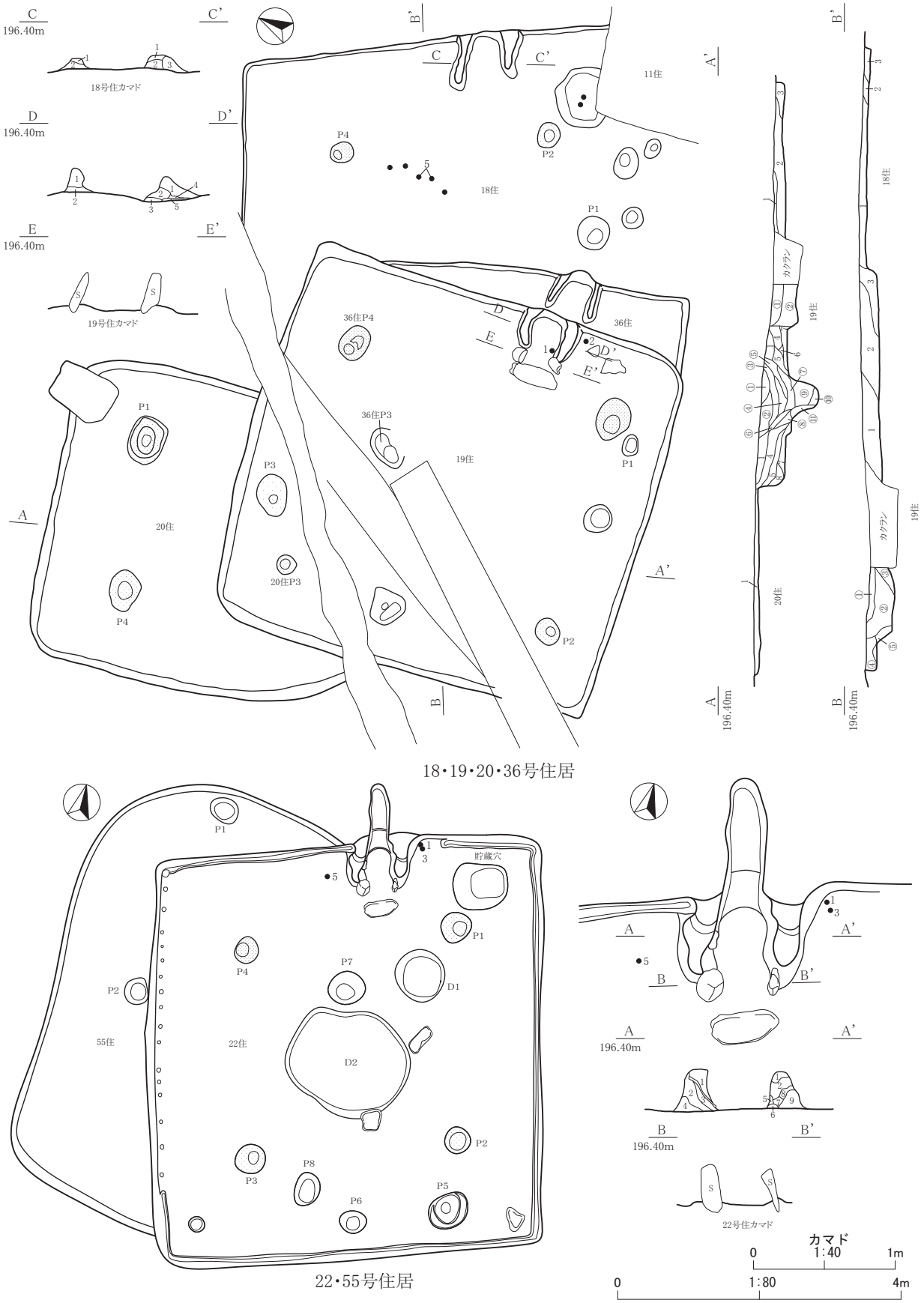
16･17号住居



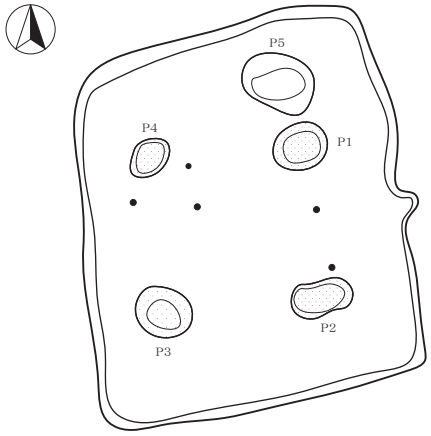
21号住居

23号住居

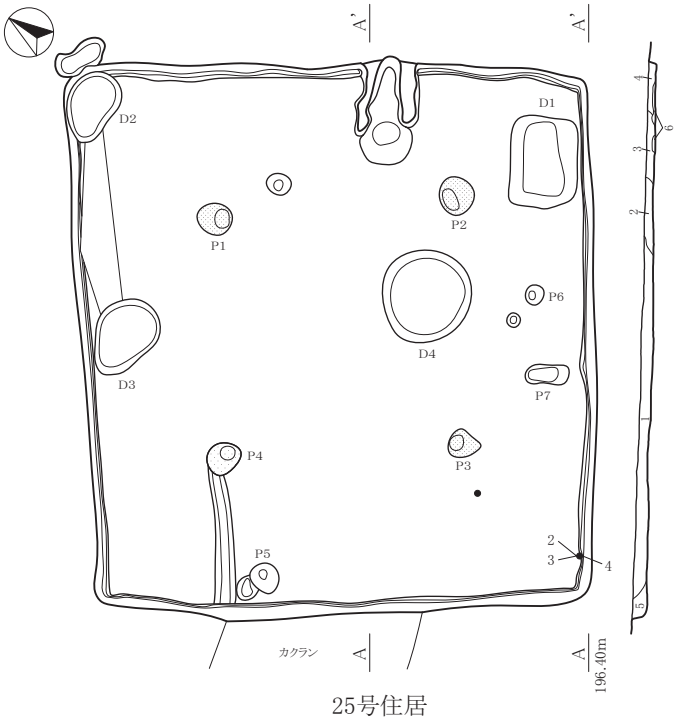
第68図　16号・17号・21号・23号住居址実測図



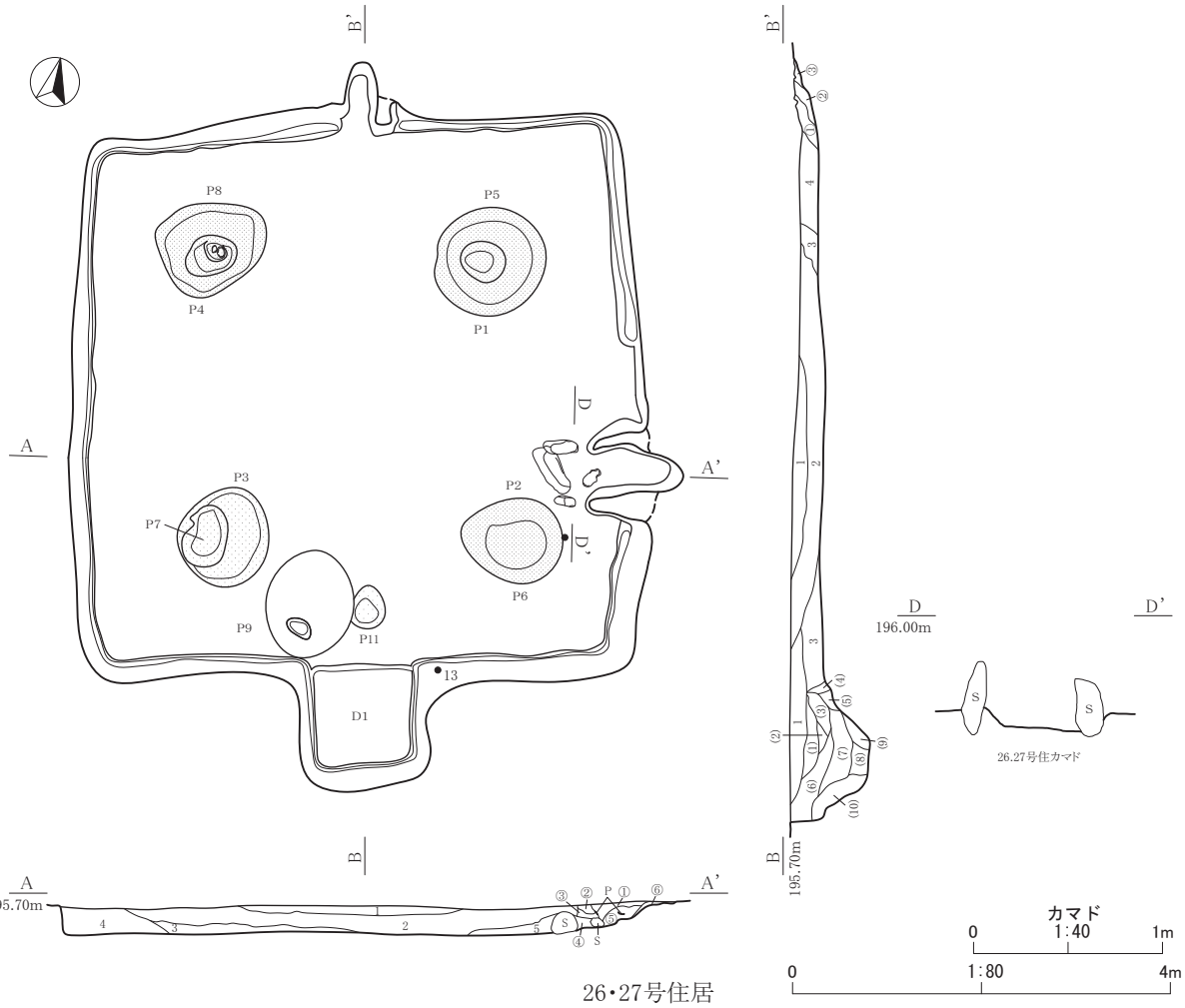
第69図　18～20号・36号・22号・55号住居址実測図



24号住居

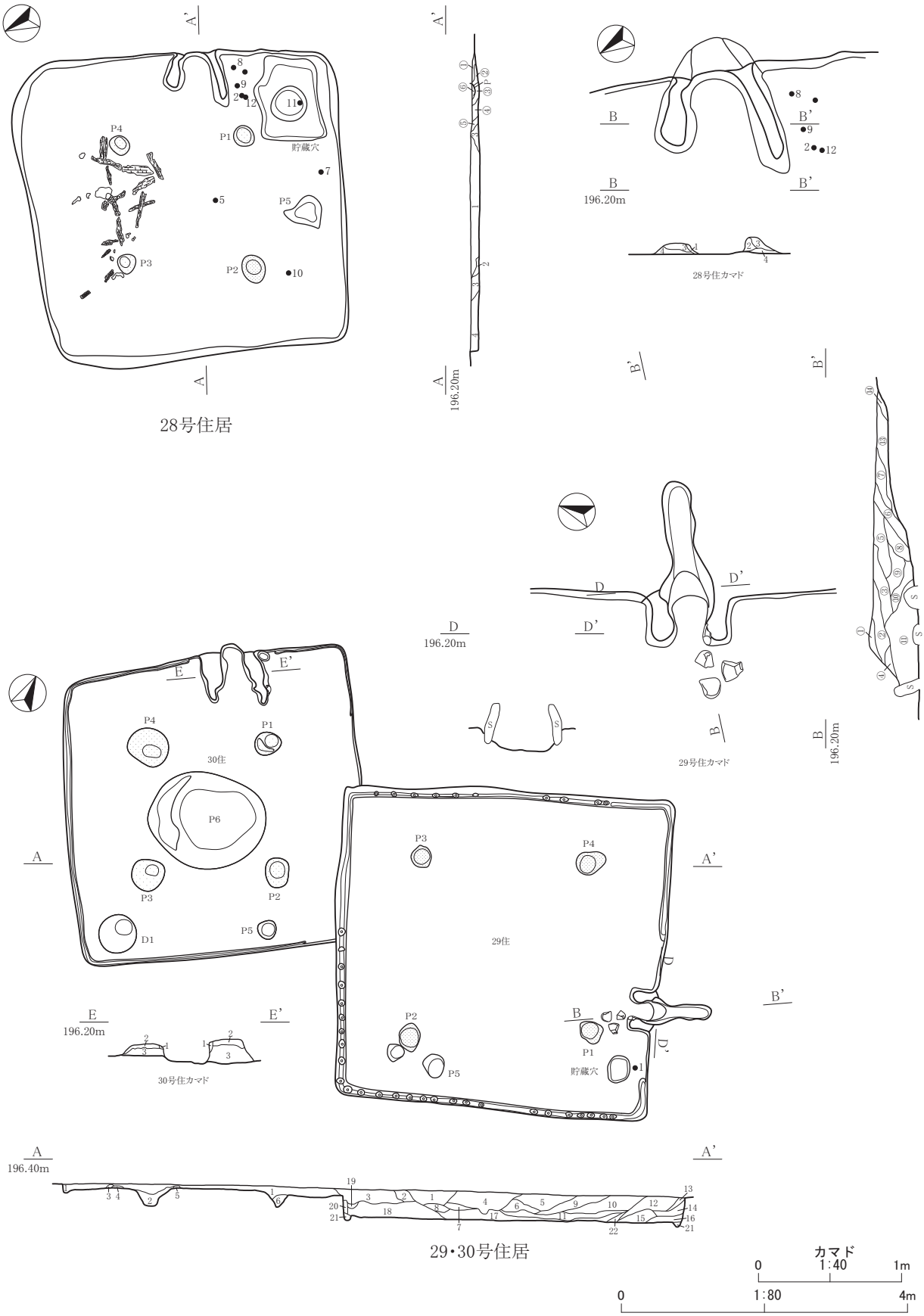


25号住居

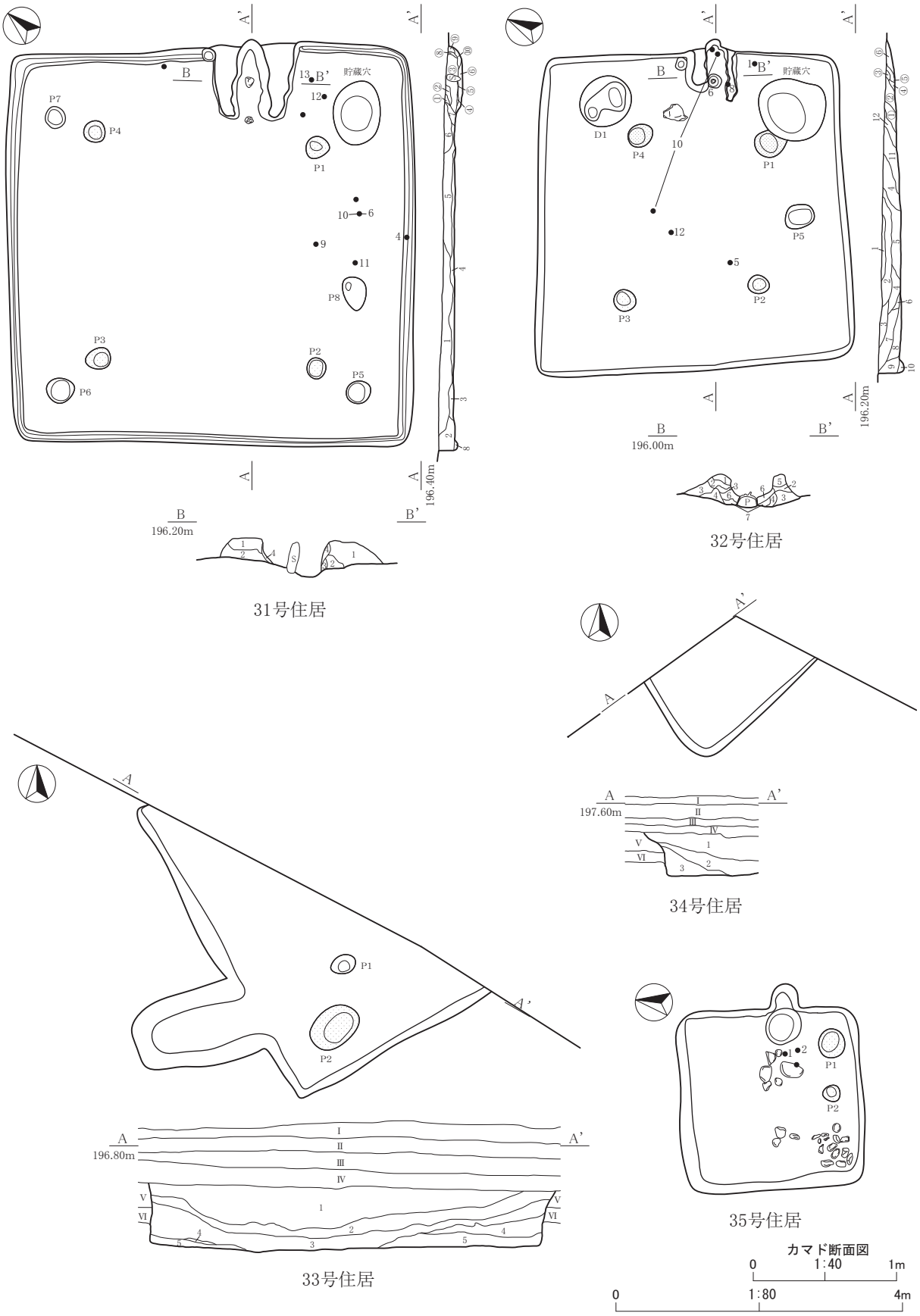


26・27号住居

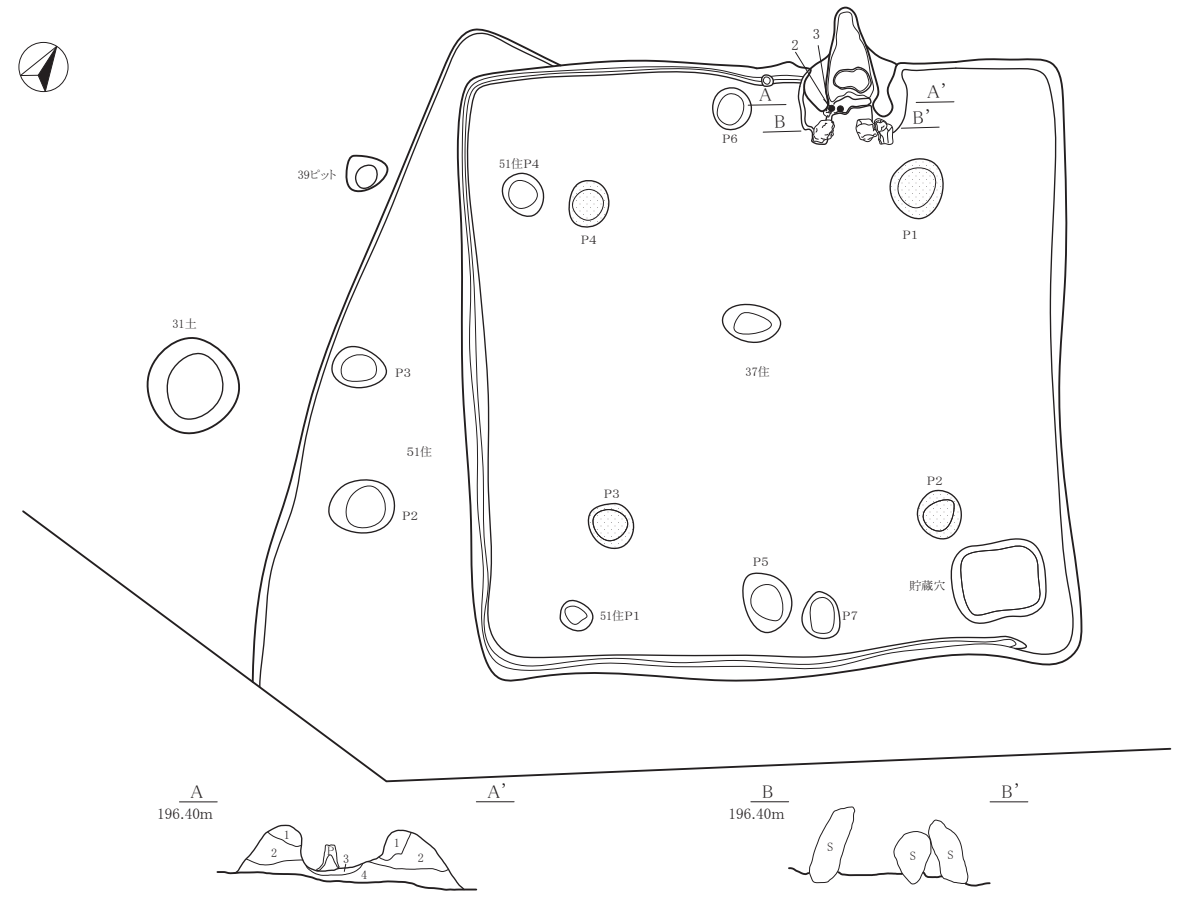
第70図　24～27号住居址実測図



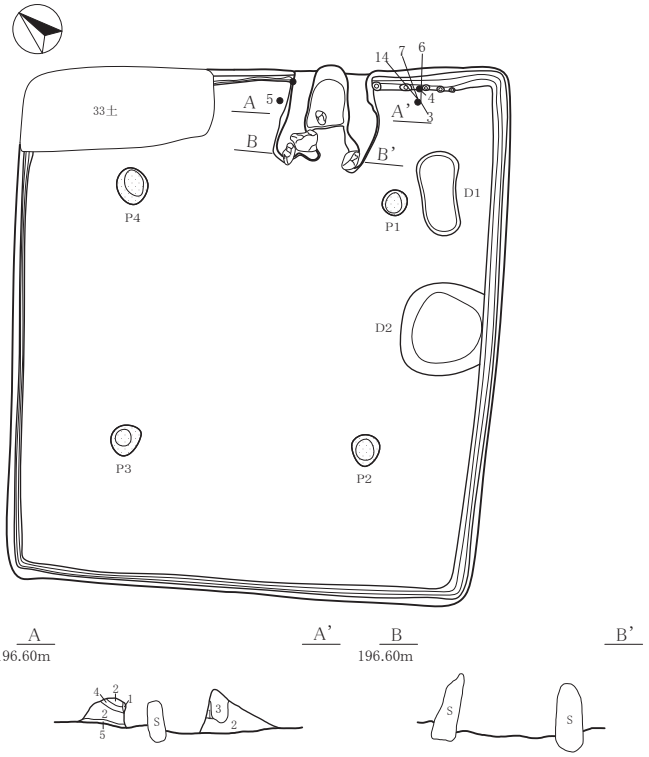
第71図　28～30号住居址実測図



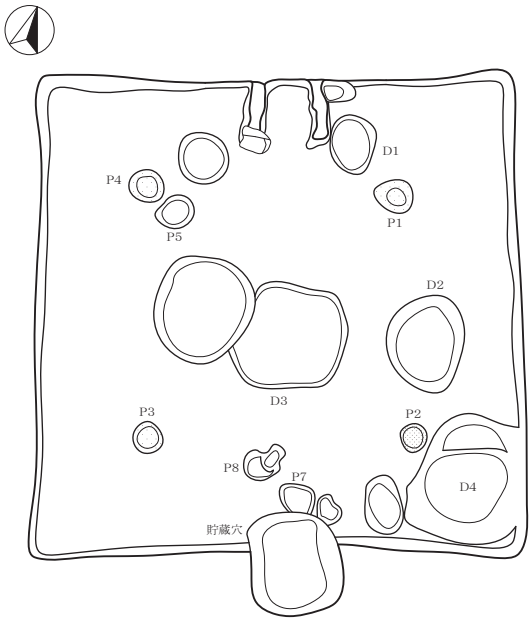
第72図　31～35号住居址実測図



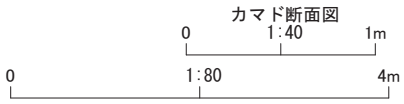
37・51号住居



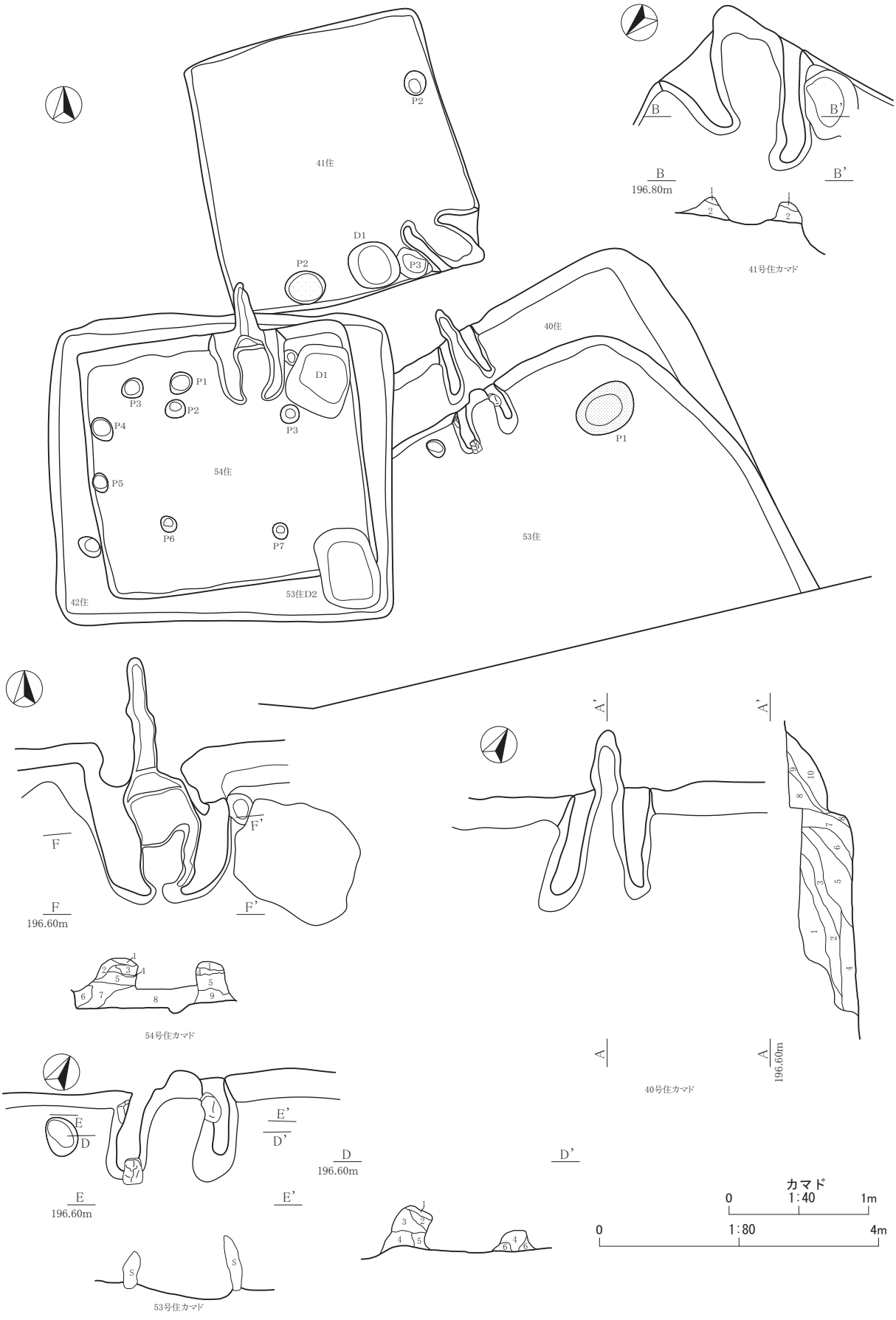
38号住居



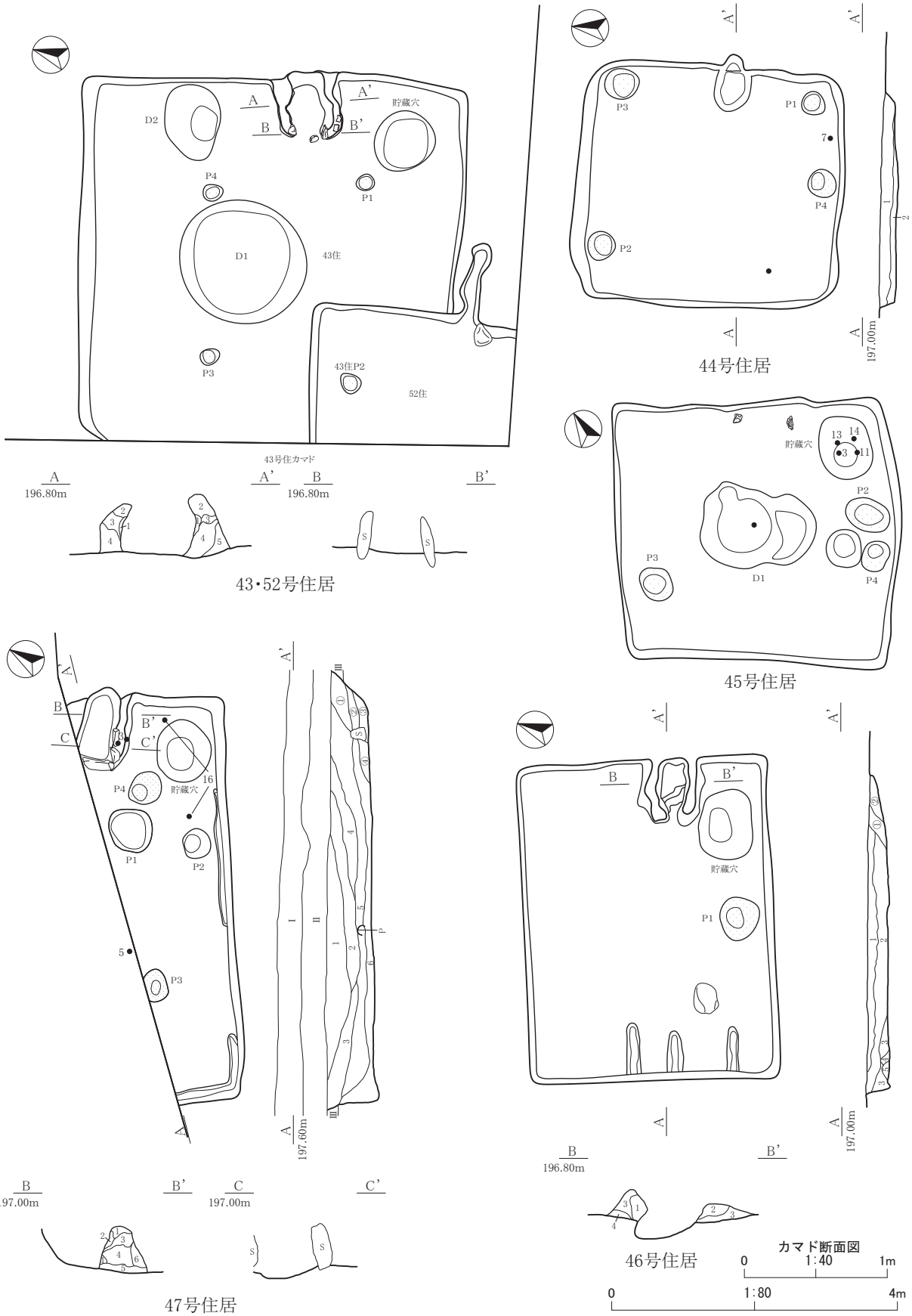
39号住居



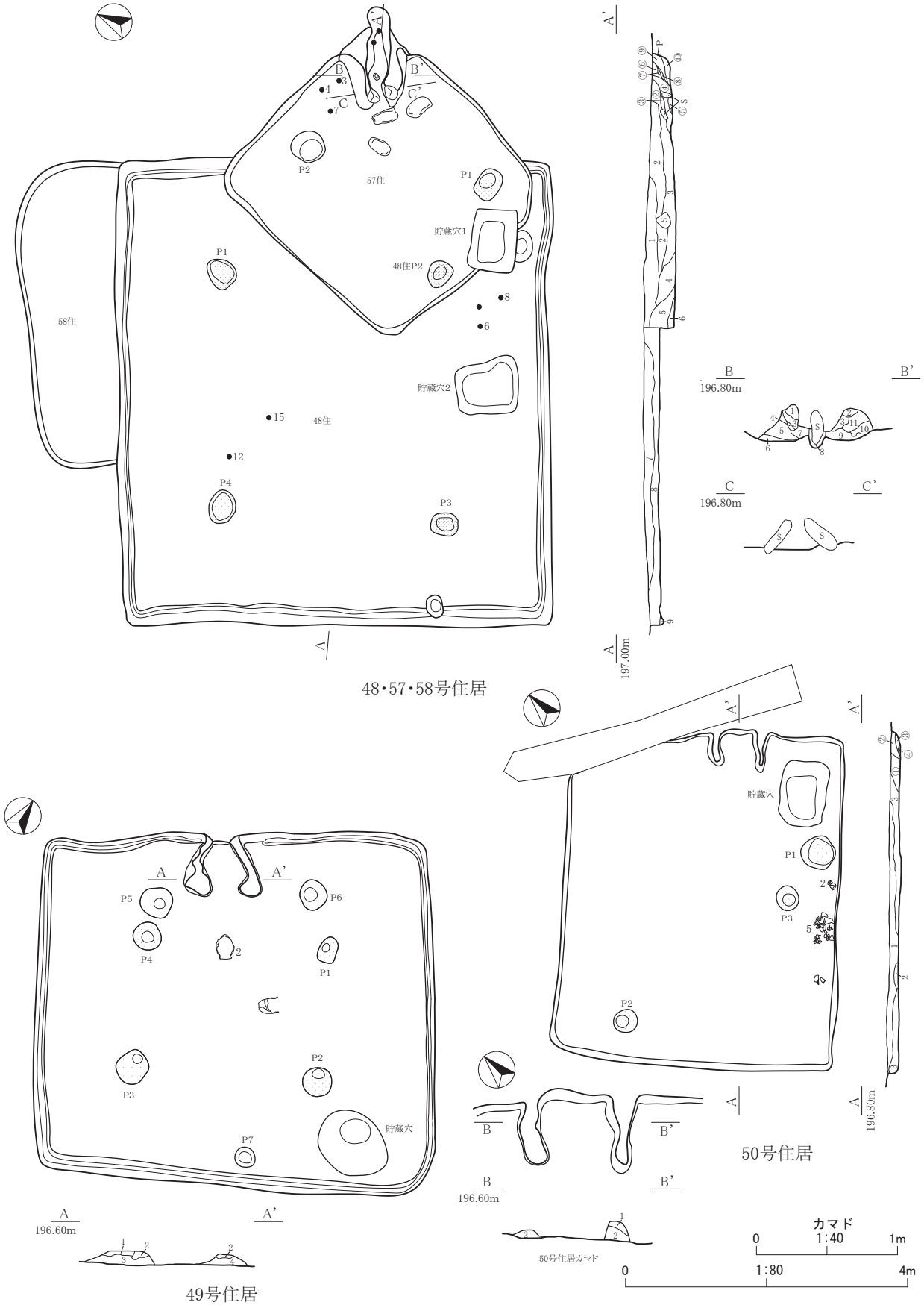
第73図　37号・51号・38号・39号住居址実測図



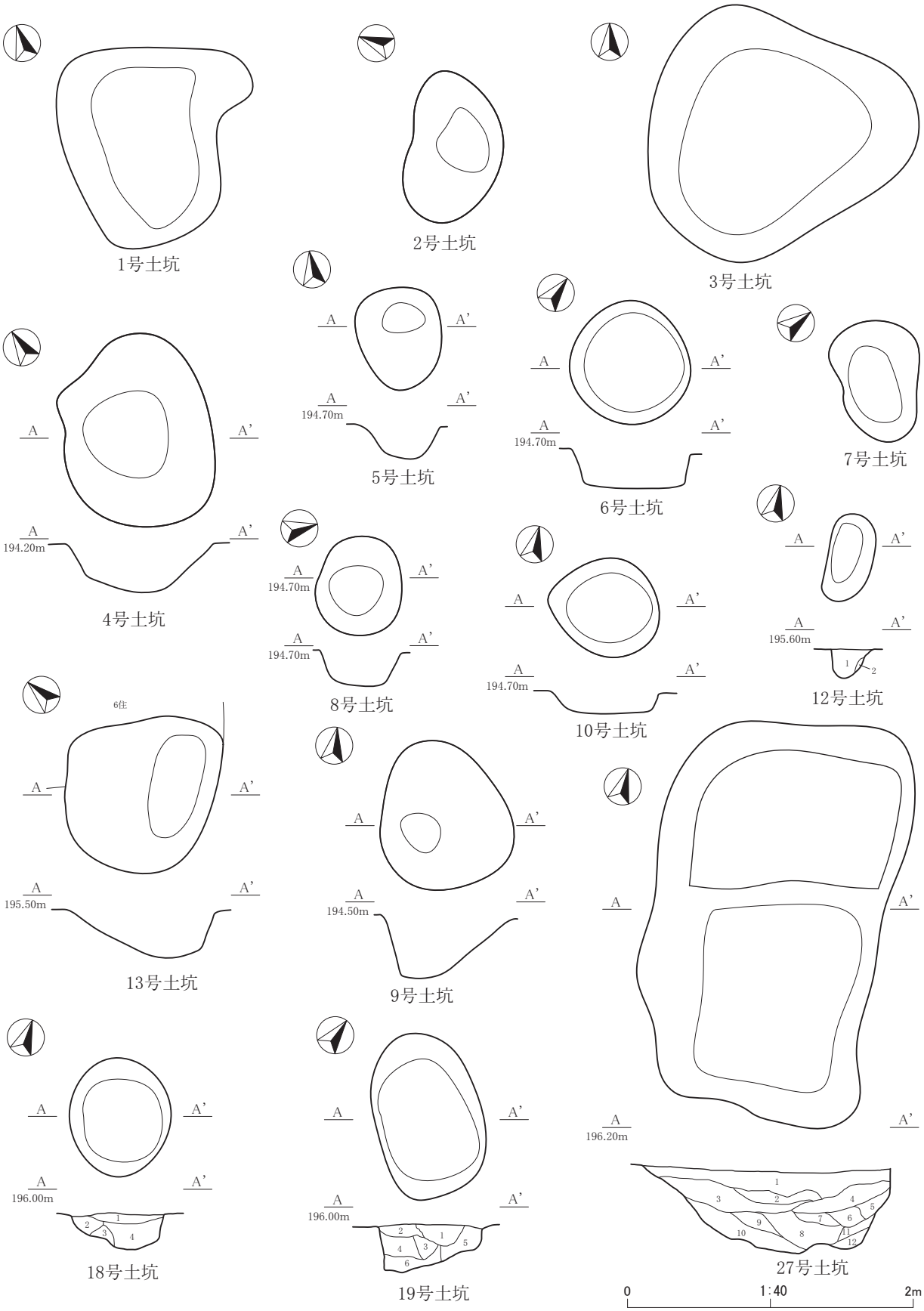
第74図　40～42号・53号・54号住居址実測図



第75図　43号・52号・44～47号住居址実測図



第76図　48号・57号・58号・49号・50号住居址実測図



第77図　1～10号・12号・13号・18号・19号・27号土坑実測図

1号住居　カマドB

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	赤褐色土	焼土を多量に含む。焼壁。
2	灰褐色土	白色軽石及び黄色軽石を少量含む。
3	褐色土	白色軽石を微量、黄褐色軽石を少量含む。

2号住居　カマドB

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	白色軽石ブロックを中量、黄色ブロックを少量含む。
2	暗褐色土	黄色ブロック(大)を中量、白色ブロックを少量含む。
3	赤褐色土	焼土ブロックを中量含む。

3．4号住居土層注記なし

6号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	しまりあり。粘性強い。
2	暗褐色土	ロームブロックを中量含む。6層より暗い。しまりあり。粘性強い。
3	黒褐色土	ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性強い。
4	暗褐色土	ロームブロックを多量に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性強い。
5	明褐色土	ロームブロックを多量に含む。しまりあり。粘性強い。
6	暗褐色土	ロームブロックを中量含む。4層より暗い。しまりあり。粘性強い。
7	にぶい赤褐色土	しまりあり。粘性強い。

5号住居カマドA

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	赤褐色土	焼土ブロックを中量含む。
2	灰褐色土	白色粒子を少量含む。
3	暗褐色土	焼土ブロックを中量含む。
4	暗褐色土	白色軽石ブロックを少量含む。
5	黒褐色土	白色軽石ブロックを微量に含む。

7号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)を5～10%含む。しまりあり。粘性なし。
2	暗褐色土	1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	ロームブロックを微量に含む。黄色軽石を中量含む。しまりあり。粘性強い。
4	暗褐色土	軽石(φ1～3㎜)を20～30%含む。1層より明るい。しまりあり。粘性なし。
5	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性強い。
6	褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。
7	黒褐色土	ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性強い。
8	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)を1～2%含む。しまりあり。粘性強い。
9	暗褐色土	8層より暗い。しまりあり。粘性強い。

7号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	褐色土	ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性なし。
②	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性強い。
③	褐色土	焼土を微量に含む。①層より暗い。しまりあり。粘性強い。
④	にぶい赤褐色土	焼土を多量に含む。しまりあり。粘性なし。
⑤	にぶい赤褐色土	焼土を中量含む。④層より暗い。しまりあり。粘性強い。
⑥	にぶい赤褐色土	焼土を中量含む。⑤層より明るい。しまりあり。粘性強い。
⑦	暗褐色土	焼土を少量含む。しまりあり。粘性強い。
⑧	暗褐色土	焼土を微量に含む。⑦層より暗い。しまりあり。粘性強い。
⑨	にぶい赤褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性強い。

7号住居カマドB

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗赤褐色土	焼土ブロックを多量含む。
2	灰褐色土	赤色ブロック微量に含む。
3	明赤褐色土	焼土主体。
4	暗赤色土	焼土、白色粒子を微量に含む。
5	黒褐色土	黄色ブロック、白色ブロック、橙色ブロックを少量含む。

8号住居　カマドB

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	白色ブロックを多量、焼土ブロックを少量含む。
2	暗褐色土	黄色ブロック及び白色粒子を微量に含む。

9号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒色土	焼土粒子、炭化粒子を微量に含む。
2	黒褐色土	焼土粒子、炭化粒子を1%程含む。
3	極暗褐色土	φ20～50㎜大の焼土ブロック、炭、ロームブロックを2～3%含む。
4	極暗褐色土	ローム粒子、炭化粒子2～3%含む。
5	暗褐色土	軽石含まない。

10号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。黄色軽石を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。黄色軽石を少量含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。1層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
4	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
5	褐色土	φ5～10㎜大のロームブロック、ローム粒子を5～10%含む。
6	極暗褐色土	ローム粒子を少量含む。

第31表　1号・2号・5～10号住居址土層注記

11号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	極暗褐色土	φ３～６㎜大の白色軽石(Ｃか)、ローム粒子１％含む。
2	暗褐色土	ローム粒子２～３％含む。
3	暗褐色土	炭１％、細かいロームブロック２～３％含む。大きな礫を含む。
4	明褐色土	φ５～40㎜大のロームブロック20～30％含む。
5	褐色土	φ５～10㎜大のロームブロック、ローム粒子を５～10％含む。
6	極暗褐色土	ローム粒子を少量含む。
7	褐色土	焼土ブロック、炭、灰褐色粘土を２～３％含む。(カマド崩壊土を含む。)

11号住居カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	焼土ブロック、炭を１％含む。
2	褐色土	焼土ブロック、褐灰色土ブロックを２～３％含む。
3	褐色土	褐灰色土ブロック、ローム粒子を２～３％含む。
4	褐灰色土	φ５～20㎜大の焼土ブロック20～30％含む。しまりあり。粘性あり。
5	暗赤色土	φ５～10㎜大の焼土ブロック５～10％、灰、炭化粒子を２～３％含む。しまりなし。
6	暗赤褐色土	焼土ブロック１％含む。しまりあり。
7	暗褐色土	ローム粒子を２～３％含む。しまりあり。
8	にぶい黄褐色土	焼土粒子を１％含む。しまりなし。
9	暗褐色土	ローム粒子を１％含む。しまりなし。

11号住居カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	明赤褐色土	焼壁
2	灰褐色土	白色軽石ブロック少量、焼土ブロック微量に含む。
3	灰褐色土	白色軽石ブロック中量、焼土ブロック微量に含む。
4	灰褐色土	白色軽石粒子微量に含む。
5	暗赤褐色土	焼土ブロック多量、白色軽石ブロック微量に含む。
6	灰褐色土	白色軽石粒子少量含む。

15号住居カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	白色軽石ブロック少量含む。
2	黒褐色土	焼土ブロック少量含む。
3	暗褐色土	焼土ブロック少量、白色軽石粒子微量、炭化物少量含む。
4	灰褐色土	焼土ブロック、黄褐色土ブロック多量に含む。
5	暗褐色土	黄色軽石ブロック少量含む。

12号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。１層より暗い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、黄色軽石を微量に含む。炭化物を中量含む。しまりあり。粘性やや強い。１層より暗い。
4	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
5	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
6	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物、焼土を微量に含む。５層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
7	黒褐色土	ローム粒子、黄色軽石を微量に含む。６層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
8	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。７層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
9	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。８層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
10	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
11	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。炭化物を少量含む。しまりあり。粘性やや強い。
12	暗褐色土	白色軽石(φ１㎜)、ロームブロック、炭化物を微量に含む。10層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
13	暗褐色土	白色軽石(φ１㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
14	暗褐色土	白色軽石(φ１㎜)、ローム粒子、黄色軽石を微量に含む。ロームブロックを中量含む。しまりあり。粘性やや強い。

12号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	褐色土	炭化物を微量に含む。焼土を中量含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	赤褐色土	炭化物を微量に含む。焼土を多量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
③	暗赤褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
④		炭化物を微量に含む。焼土を少量含む。しまりあり。粘性やや強い。

12号住居内　１号土坑

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石(φ１㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	暗褐色土	白色軽石(φ１㎜)を少量含む。１層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
3	暗褐色土	白色軽石(φ１㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
4	暗褐色土	白色軽石(φ１㎜)を微量に含む。２層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
5	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
6	暗褐色土	白色軽石(φ１㎜)を微量に含む。５層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
7	黒褐色土	白色軽石(φ１㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
8	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性やや強い。
9	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。７層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
10	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。９層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
11	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。10層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
12	黒褐色土	11層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
13	黒褐色土	12層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
14	黒褐色土	10層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。

13号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性強い。
2	褐色土	白色軽石(φ１㎜)、ローム粒子、黄色軽石、炭化物を微量に含む。ロームブロックを中量含む。しまりあり。粘性やや強い。

第32表　11～13号・15号住居址土層注記

13号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
3	黒褐色土	しまりあり。粘性強い。
4	褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
5	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
6	暗褐色土	白色軽石(φ１㎜)を微量に含む。ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を中量含む。５層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
7	暗褐色土	ローム粒子、黄色軽石を微量に含む。ロームブロック、白色軽石(φ１㎜)を少量含む。しまりあり。粘性やや強い。
8	暗褐色土	白色軽石(φ１㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。７層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
9	暗褐色土	白色軽石(φ１㎜)、ローム粒子、黄色軽石を微量に含む。８層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
10	暗褐色土	白色軽石(φ１㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。９層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
11	褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
12	暗褐色土	ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。

13号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	暗褐色土	ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
③	暗褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。②より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
④	暗褐色土	黄色軽石、炭化物、焼土を微量に含む。③より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
⑤	暗褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。④より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
⑥	暗褐色土	①層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。

14号住居土層注記なし

16号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。１層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。炭化物を少量含む。２層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
5	黒褐色土	４層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
6	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。２層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。

16号住居カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	暗赤褐色土	焼土を少量含む。しまりあり、粘性あり。
②	暗赤褐色土	焼土塊少量含む。しまりあり、粘性あり。
③	暗赤褐色土	焼土微量、炭化物微量に含む。しまりあり、粘性あり。
④	暗赤褐色土	焼土塊微量に含む。しまりあり、粘性あり。
⑤	暗赤褐色土	焼土微量に含む。しまりあり、粘性あり。

17号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
3	褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
4	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。ローム粒子を少量含む。しまりあり。粘性やや強い。
5	褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。ローム粒子を少量含む。３層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
6	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。４層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
7	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。６層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。

17号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	明赤褐色土	焼土を多量に含む。しまりあり。粘性なし。

21号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。１層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。２層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。炭化物を少量含む。１層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
5	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
6	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。５層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
7	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。ロームブロックを少量含む。３層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
8	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、炭化物を微量に含む。ロームブロックを少量含む。２層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。

21号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	黒褐色土	黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
③	暗赤褐色土	焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
④	暗赤褐色土	炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑤	明褐色土	焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑥	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑦	褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑧	暗赤褐色土	炭化物を微量に含む。焼土ブロックを中量含む。しまりあり。粘性やや強い。

21住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	明赤褐色土	焼壁
2	暗褐色土	白色軽石粒子微量、焼土粒子中量含む。
3	灰褐色土	白色軽石ブロック多量、黄色軽石ブロック少量含む。
4	暗褐色土	黄色軽石ブロック中量、焼土ブロック少量、炭化物少量含む。
5	灰褐色土	白色軽石少量、焼土粒子少量含む。
6	黒褐色土	黄色軽石ブロック少量含む。

第33表　13号・16号・17号・21号住居址土層注記

23号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物を微量に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。

23号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	黄褐色土	白色軽石(φ1㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	明赤褐色土	焼土ブロックを多量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
③	暗赤褐色土	焼土を中量含む。しまりあり。粘性やや強い。
④	にぶい赤褐色土	焼土を少量含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑤	褐色土	白色軽石(φ1㎜)、ローム粒子、ロームブロック、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑥	黄褐色土	白色軽石(φ1㎜)、ローム粒子、ロームブロック、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑦	褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。

23号住居　カマドB

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	焼土ブロック、白色軽石ブロック、多量に含む。
2	褐色土	焼土ブロック少量、白色軽石粒子微量に含む。
3	黒褐色土	白色軽石粒子少量含む。

18・19号住居、4号溝

18号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)を微量に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
3	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。2層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。

18号住居カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	赤褐色土	焼土ブロック少量、黄色ブロック微量、白色ブロック微量に含む。
2	暗灰褐色土	白色ブロック少量、黄色ブロック微量に含む。
3	黒褐色土	白色ブロック少量含む。

4号溝

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む。軽石(φ1～5㎜)を少量含む。しまりあり。粘性なし。
②	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む。軽石(φ1～5㎜)を少量含む。①層より明るい。しまりあり。粘性なし。
③	暗褐色土	軽石(φ1～5㎜)を微量に含む。②層より暗い。しまりあり。粘性なし。
④	暗褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)を微量に含む。②層より暗い。しまりあり。粘性なし。
⑤	黄褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。

19・20号住居

19号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ1～3㎜)を微量に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
5	暗褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
6	黒褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
7	黒褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物を微量に含む。6層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
8	暗褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。5層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。

19号住居カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	白色ブロック少量、黄色ブロック中量、焼土ブロック微量に含む。
2	暗褐色土	白色ブロック微量、黄色ブロック少量、焼土ブロック少量含む。
3	暗褐色土	焼土粒子、焼土ブロック中量含む。
4	暗褐色土	白色軽石粒子微量に含む。
5	黒褐色土	白色軽石粒子微量、黄色ブロック微量に含む。

20号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)と黒褐色土をブロック状に微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。

3号溝

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	黄色軽石を微量に含む。白色軽石(φ1～2㎜)を多量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	黄色軽石を微量に含む。白色軽石(φ1～2㎜)を中量含む。1層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
3	黒褐色土	黄色軽石を微量に含む。白色軽石(φ1～2㎜)を少量含む。2層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)、黄色軽石を微量に含む。3層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
5	暗褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
6	暗褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
7	黒褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
8	暗褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)を微量に含む。6層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
9	黒褐色土	白色軽石(φ1～2㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
10	暗褐色土	しまりあり。粘性やや強い。
11	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを中量含む。10層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。

第34表　23号・18～20住居址、4号・3号溝土層注記

22住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗赤褐色土	焼土ブロック多量、黄色軽石少量含む。
2	暗褐色土	白色軽石粒子少量含む。
3	暗褐色土	焼土ブロック少量含む。
4	黒褐色土	白色軽石粒子微量、黄褐色軽石少量含む。
5	暗褐色土	焼土粒子少量、黄褐色軽石少量含む。しまりあり。
6	赤褐色土	焼土ブロックを主体とする。
7	灰褐色土	焼土粒子中量含む。
8	灰褐色土	白色軽石粒子微量含む。
9	暗褐色土	白色軽石粒子少量、黄褐色軽石少量含む。

55，24号住居土層注記なし

25号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物、焼土を微量に含む。１層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物、焼土を微量に含む。２層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ロームブロック、黄色軽石、炭化物、焼土を微量に含む。３層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
5	黒褐色土	黄色軽石を微量に含む。１層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
6	明褐色土	白色軽石粒子、黄色軽石ブロックを少量含む。

26・27号住居　A

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、黄色軽石、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
3	黒褐色土	黄色軽石、ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。２層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、、ローム粒子及びロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりややあり。粘性やや強い。
5	暗褐色土	白色軽石、ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。しまりややあり。粘性やや強い。

26号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	暗赤褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	暗赤褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物、焼土を微量に含む。１層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
③	暗赤褐色土	焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
④	暗赤褐色土	炭化物を微量、焼土ブロックを中量含む。３層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
⑤	暗赤褐色土	焼土を多量に含む。１層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
⑥	暗赤褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。１層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。

26・27号住居内土坑

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
〔1〕	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
〔2〕	黒褐色土	１層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
〔3〕	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ロームブロック及びローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
〔4〕	褐色土	炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
〔5〕	黒褐色土	しまりあり。粘性やや強い。
〔6〕	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
〔7〕	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ロームブロック及びローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
〔8〕	黒褐色土	しまりあり。粘性やや強い。
〔9〕	黒褐色土	ロームブロック及びローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
〔10〕	黒褐色土	ロームブロック及びローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。

27号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	にぶい赤褐色土	ロームブロック、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	暗赤褐色土	焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
③	赤褐色土	焼土を中量含む。しまりあり。粘性やや強い。

28号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。炭化物を中量含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黄褐色土	ロームブロックを中量含む。しまりあり。粘性やや強い。
3	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
4	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、黄色軽石を微量に含む。３層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。

28号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	明赤褐色土	焼土を多量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	暗赤褐色土	焼土を中量含む。しまりあり。粘性やや強い。
③	暗赤褐色土	焼土を少量含む。②層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
④	暗赤褐色土	焼土ブロック１％含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑤	黄褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑥	暗褐色土	しまりあり。粘性やや強い。

28号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	赤褐色土	白色軽石粒子を微量に含む。
2	灰褐色土	白色軽石粒子及びブロックを微量、焼土ブロックを少量含む。
3	灰褐色土	白色軽石ブロックを中量含む。
4	黒色土	白色軽石ブロックを中量、黄色軽石ブロックを微量に含む。

29・30号住居

29号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。１層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。

第35表　22号・25～29号住居址土層注記

29号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
4	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
5	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。４層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
6	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
7	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。４層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
8	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、黄色軽石、炭化物を微量に含む。１層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
9	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
10	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
11	黒褐色土	しまりあり。粘性強い。
12	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
13	黒褐色土	12層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
14	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
15	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。14層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
16	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
17	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。７層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
18	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
19	黒褐色土	焼土を中量含む。しまりあり。粘性やや強い。
20	暗褐色土	しまりあり。粘性やや強い。
21	褐色土	焼土を微量に含む。黄色軽石を少量含む。しまりあり。粘性弱い。

29号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	暗褐色土	しまりあり。粘性やや強い。
②	褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
③	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
④	暗褐色土	しまりあり。粘性やや強い。
⑤	黄褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑥	暗赤褐色土	炭化物を微量に含む。焼土を中量含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑦	暗赤褐色土	炭化物を微量に含む。焼土ブロックを少量含む。⑥層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
⑧	暗赤褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑨	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑩	褐色土	しまりあり。粘性やや強い。
⑪	暗褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、黄色軽石、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑫	暗赤褐色土	炭化物を微量に含む。焼土ブロックを少量含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑬	黒褐色土	焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑭	黒褐色土	焼土を微量に含む。⑬層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。

30号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	明赤褐色土	焼壁の残骸と思われる。
2	灰褐色土	白色軽石粒子を少量含む。
3	黒褐色土	白色軽石粒子及びブロックを少量、黄色軽石ブロックを中量、焼土ブロックを微量に含む。

31号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、焼土を微量に含む。１層より暗い。しまりあり。粘性かなり強い。
3	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。炭化物を多量に含む。１層と同じ明るさ。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロック、黄色軽石を中量含む。炭化物を多量に含む。１層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
5	赤褐色土	ローム粒子を少量含む。ロームブロック、黄色軽石、炭化物を中量含む。焼土を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
6	極暗褐色色	ローム粒子、ロームブロック、炭化物を少量含む。黄色軽石を中量含む。焼土を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
7	褐色土	ローム粒子、ロームブロック、炭化物を少量含む。黄色軽石、焼土を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
8	褐色土	ローム粒子、黄色軽石を微量に含む。ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。

31号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	にぶい褐色土	ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
②	赤褐色土	焼土を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
③	極暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。黄色軽石を少量含む。焼土を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
④	赤褐色土	しまりなし。粘性なし。
⑤	黒褐色土	焼土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
⑥	にぶい褐色土	しまりあり。粘性強い。
⑦	暗赤褐色土	炭化物を中量含む。焼土を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
⑧	褐色土	焼土を微量に含む。黄色軽石を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
⑨	にぶい褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
⑩	褐色土	ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

31号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	白色軽石ブロック、黄褐色土ブロックを中量含む。
2	灰褐色土	白色軽石ブロックを少量含む。１層より明るい。
3	灰褐色土	白色粒子を微量に含む。
4	明褐色土	焼土ブロック、黄色土を多量に含む。

32号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。１層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
3	黒褐色土	黄色軽石を微量に含む。２層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
4	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
5	暗褐色土	４層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
6	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。４層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。

第36表　29～32号住居址土層注記

32号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
7	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。6層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
8	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。7層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
9	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
10	黄褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性やや強い。
11	暗褐色土	黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
12	暗褐色土	ローム粒子、黄色軽石を微量に含む。ロームブロックを少量含む。11層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。

32号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	暗赤褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	暗赤褐色土	①層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
③	黒褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
④	黒褐色土	炭化物、焼土を少量含む。⑤層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
⑤	黒褐色土	炭化物を微量に含む。焼土ブロックを少量含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑥	黒褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。⑤層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。

32号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	白色軽石ブロック、焼土ブロックを少量含む。
2	暗赤褐色土	焼土ブロックを少量含む。
3	暗褐色土	白色軽石ブロックを少量、黄褐色土ブロックを中量含む。
4	灰褐色土	白色軽石粒子、黄色土ブロックを微量に含む。
5	赤褐色土	焼土ブロックを多量に含む。
6	暗赤色土	焼土ブロックを多量に含む。灰を多量に混入。
7	暗褐色土	焼土粒子を微量に含む。

33号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。ローム粒子を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む。ローム粒子を少量含む。黄色軽石を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む。ローム粒子を少量含む。黄色軽石を中量含む。2層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を少量含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。ローム粒子を少量含む。3層より暗い。しまりあり。粘性弱い。

34号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、焼土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。

35号住居土層注記なし
37号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	にぶい褐色土	白色軽石ブロックを微量、焼土ブロックを多量に含む。
2	灰褐色土	白色「軽石ブロック、黄褐色土ブロックを少量含む。
3	暗赤褐色土	火床部。焼土粒子を多量に含む。
4	黒色土	黄褐色土ブロック、焼土ブロックを少量含む。

51号住居土層注記なし
38号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	赤色土	焼壁
2	灰褐色土	黄褐色土ブロックを微量含む。
3	黒褐色土	焼土ブロックを中量含む。
4	灰褐色土	焼土ブロックを多量に含む。
5	黒褐色土	

39号住居土層注記なし
40号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	にぶい赤褐色土	ローム粒子を微量に含む。焼土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
5	にぶい赤褐色土	ローム粒子、ロームブロック、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
6	暗褐色土	焼土を微量に含む。炭化物を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
7	黒褐色土	ローム粒子、炭化物を微量に含む。灰まじり。しまりあり。粘性弱い。
8	黒褐色土	灰まじり。しまりあり。粘性弱い。
9	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
10	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

41号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	白色軽石粒子を少量含む。
2	黒褐色土	白色軽石粒子を少量、黄色土ブロックを中量含む。

42号住居土層注記なし
53号住居　カマドB

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	焼土粒子を中量、焼土小ブロックを少量、白色軽石粒子を微量に含む。
2	暗赤褐色土	焼土、焼土ブロックを多量混入する。
3	黒褐色土	白色軽石を少量、黄色軽石を少量、黄色軽石粒子を中量含む。
4	暗褐色土	黄色軽石を中量含む。

第37表　32～34号・37号・38号・40号・41号・53号住居址土層注記

53号住居　カマドC

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	焼土ブロックを少量含む。
2	赤褐色土	焼土主体、白色軽石を微量に含む。
3	灰褐色土	白色軽石粒子を多量、白色軽石を中量、黄色軽石を少量含む。
4	黒褐色土	白色軽石を少量、黄色軽石を微量に含む。
5	暗褐色土	焼土ブロックを多量に含む。
6	灰褐色土	白色軽石を少量含む。

54号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。炭化物、焼土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。炭化物、焼土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
5	黄褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。炭化物を少量含む。焼土を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
6	黒褐色土	ロームブロックを多量、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
7	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック中量含む。炭化物、焼土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
8	黄褐色土	ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。炭化物を少量含む。焼土を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
9	暗褐色土	ローム粒子、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

43．52．44．45号住居土層注記なし

46号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロック、炭化物、焼土を微量に含む。２層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。１層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを少量含む。３層より暗い。しまりあり。粘性弱い。

46号住居カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	暗褐色土	ロームブロック、炭化物を微量に含む。ローム粒子、焼土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
②	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロック炭化物を微量に含む。焼土を少量含む。①層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

46号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	明赤褐色土	焼土ブロックを多量に含む。
2	灰褐色土	焼土粒子を少量含む。
3	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む。、灰褐色土混入。
4	灰褐色土	焼土粒子を少量含む。

47号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
Ⅰ	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
Ⅱ	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
Ⅲ	黒褐色土	しまりあり。粘性弱い。
1	黒褐色土	ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。炭化物、焼土を少量含む。１層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	ローム粒子、炭化物を微量に含む。白色軽石(φ１～３㎜)を少量含む。２層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
4	黄褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物、焼土を微量に含む。黒褐色土をブロック状に20%含む。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
6	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。カマド付近は焼土分布あり。５層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

47号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	暗褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
②	暗褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。①層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
③	暗赤褐色土	炭化物を微量に含む。焼土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
④	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロック、炭化物、焼土を微量に含む。６層より暗い。しまりあり。粘性弱い。

47号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	赤褐色土	焼土粒子を多量に含む。
2	赤褐色土	焼土粒子及び焼土ブロックを少量含む。
3	灰褐色土	白色軽石ブロック、黄色軽石ブロックを少量、焼土ブロックを微量に含む。
4	褐色土	白色軽石粒子を少量、黄色軽石粒子及び黄色軽石ブロックを微量に含む。
5	黒褐色土	黄色軽石ブロックを多量に含む。
6	黒褐色土	白色軽石粒子を少量含む。

48・57号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	焼土を微量、ロームブロック、黄色軽石を少量、ローム粒子を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	褐色土	焼土、ローム粒子及びロームブロックを微量、黄色軽石を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	焼土、ローム粒子及びロームブロックを微量、黄色軽石を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
4	褐色土	ローム粒子を微量、ロームブロックを中量、黄色軽石を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
5	黒褐色土	黄色軽石、ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
6	褐色土	黄色軽石を多量、ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
7	黒褐色土	黄色軽石、ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
8	黒褐色土	黄色軽石、ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。７層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
9	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

第38表　53号・54号・46～48号・57号住居址土層注記

57号住居　カマド（コーナー）

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
②	褐灰色土	ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。ローム粒子を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
③	にぶい褐色土	ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。ローム粒子を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
④	にぶい褐色土	ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。ローム粒子を少量含む。③層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
⑤	明赤褐色土	ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。ローム粒子を少量含む。焼土を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
⑥	灰褐色土	黄色ブロックを少量、白色ブロックを微量に含む。
⑦	灰褐色土	赤色焼土粒子を少量含む。
⑧	赤褐色土	焼土ブロックを多量に含む。
⑨	暗褐色土	黄色ブロックを少量含む。
⑩	褐灰色土	灰を多量に混入する。

57号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	にぶい褐色土	焼土粒子を多量、焼土ブロックを少量含む。
2	灰褐色土	焼土粒子を微量に含む。
3	赤褐色土	焼土を主体とする。
4	黒色土	白色粒子を極微量に含む。
5	灰褐色土	白色粒子、黄色ブロックを微量に含む。
6	灰褐色土	含有物はほとんどみられない。
7	褐灰色土	焼土ブロックを少量含む。
8	灰色土	焼土ブロックを微量に含む。
9	暗灰色土	黄色ブロックを微量に含む。
10	灰褐色土	焼土ブロックを少量含む。
11	灰褐色土	焼土ブロックを多量に含む。

49．58号住居土層注記なし

50号住居

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)、炭化物を微量に含む。ローム粒子、ロームブロック、焼土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを少量含む。１層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

50号住居カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
①	暗褐色土	ローム粒子、炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
②	赤褐色土	炭化物を少量含む。焼土を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
③	にぶい赤褐色土	炭化物を少量含む。焼土を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
④	暗褐色土	しまりあり。粘性弱い。

50号住居　カマド

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	焼土粒子を多量、焼土ブロックを少量含む。
2	暗褐色土	黄色軽石ブロックを微量に含む。灰褐色土を少量混入。

12号土坑

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	黄色軽石を１％含む。しまりあり。粘性あり。
2	明黄褐色土	白色軽石(φ１㎜)を１％含む。しまりあり。粘性あり。

18号土坑

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒色土	ロームブロックを１％含む。しまりあり。粘性あり。
2	黒褐色土	ロームブロックを１％含む。しまりあり。粘性あり。
3	暗褐色土	ロームブロックを20％含む。しまりあり。粘性あり。
4	黒褐色土	黄色軽石を１％含む。しまりあり。粘性あり。

19号土坑

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒色土	しまりあり。粘性あり。
2	黒褐色土	軽石を１％含む。しまりあり。粘性あり。
3	明黄褐色土	しまりあり。粘性あり。
4	暗褐色土	白色軽石を１％含む。しまりあり。粘性あり。
5	暗褐色土	白色軽石を１％含む。４層より暗い。しまりあり。粘性あり。
6	暗褐色土	ロームブロックを１％含む。しまりあり。粘性あり。

27号土坑

層番	層　名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性あり。
2	黒褐色土	白色軽石(φ１～３㎜)を微量に含む。１層より明るい。しまりあり。粘性あり。
3	黒褐色土	しまりあり。粘性強い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)、ロームブロックを微量に含む。１層より明るい。しまりあり。粘性あり。
5	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。しまりあり。粘性あり。
6	黄褐色土	しまりあり。粘性あり。
7	黒褐色土	白色軽石(φ１～２㎜)を微量に含む。４層より明るい。しまりあり。粘性あり。
8	黒褐色土	７層より暗い。しまりあり。粘性強い。
9	黒褐色土	ロームブロックを微量に含む。８層より明るい。しまりあり。粘性あり。
10	黒褐色土	９層より暗い。しまりあり。粘性強い。
11	黒褐色土	ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性あり。
12	黒褐色土	11層より明るい。しまりあり。粘性あり。

１～10．13号土坑不明

第39表　57号・50号住居址、12号・18号・19号・27号土坑土層注記

遠丸遺跡遺構観察表

（　）推定値　〈　〉残存値

住居名	平面形態	規模				壁溝	主軸方向	主柱穴	竈		貯蔵穴			遺物	時期	グリッド	備考
		長軸m	短軸m	深さ最大cm	深さ最小cm				位置	構造	長軸cm	短軸cm	深さcm				
1住	中型正方形	4.80	4.64	41	18	×	N-72°-E	4	東壁南寄り	B	72	48	—	△	古墳	2AJ-73他	張り出し：北壁東寄り 0.80m×1.84m 2号住と重複
2住	中型正方形	4.72	4.56	18	12	×	N-66°-E	4	東壁南寄り	B	80	80	—	○	古墳	2AJ-74他	1号住と重複
3住	不明	〈4.00〉	〈3.76〉	53	34	×	—	—	—	—	—	—	—	※	古墳	2AI-79	
6住	小型正方形	3.52	3.20	9	7	×	N-46°-E	—	—	—	—	—	—	※	古墳	2AJ-50他	13号土坑と重複
4住	不明	4.42	(3.20)	14	—	○	N-8°-W	—	—	—	—	—	—	※	古墳	2AJ-41他	5号住と重複
5住	中型縦長方形	4.40	3.84	—	—	×	N-63°-E	3(4)	東壁中央	B	100	88	16	△	古墳	2AJ-40他	4号住と重複
7住	大型正方形	6.56	6.40	41	16	×	N-70°-E	4	東壁南寄り	A	80	52	73	◎	古墳	2AI-58他	
8住	中型正方形	4.72	4.72	30	17	○	N-74°-E	4	東壁南寄り	B	80	72	79	△	古墳	2AI-68他	
9住	中型正方形	4.48	4.40	20	8	×	N-88°-E	4	東壁南寄り	A	96	40	79	○	古墳	2AI-86他	
10住	不明	〈3.20〉	〈1.60〉	41	37	×	N-7°-E	—	北壁東寄り	B	—	—	—	△	不明	2AI-94他	
11住	小型正方形	3.60	3.28	33	23	×	N-76°-E	—	東壁南寄り	B	64	44	37	△	古墳	2AI-75	18号住と重複
15住	中型正方形	4.08	3.68	28	20	×	N-46°-E	—	東壁南寄り	B	48	44	9	△	古墳	2AI-28他	
12住	大型正方形	8.40	7.92	43	10	×	N-32°-W	4	北壁中央	A	—	—	—	◎	古墳	2AI-66他	張り出し：南壁中央 1.20m×1.76m 13号住と重複
13住	中型正方形	4.96	4.88	31	1	×	N-71°-E	4	東壁南寄り	A	80	60	79	◎	古墳	2AI-56他	12号住と重複
14住	不明	〈1.60〉	〈0.72〉	22	19	×	N-50°-E	—	東壁	A	—	—	—	○	古墳	2AI-57他	13号住と重複
16住	中型横長方形	4.40	3.60	39	13	×	N-29°-W	4	北壁中央	B	—	—	—	◎	古墳	2AI-45他	17号住と重複
17住	中型正方形	5.04	4.72	28	12	○	N-65°-E	4	東壁南寄り	B	60	60	58	◎	古墳	2AI-44他	16号住と重複
21住	中型正方形	5.20	5.12	21	20	○	S-60°-E	4	西壁南寄り	A	60	56	67	◎	古墳	2AI-72他	
23住	小型正方形	3.60	3.28	12	7	×	S-60°-E	3(4)	南壁東寄り	A	88	84	39	△	古墳	2AI-52他	
18住	不明	〈5.12〉	〈2.40〉	9	3	×	N-57°-E	2(4)	東壁	A	84	〈60〉	59	○	古墳	2AI-74他	11号住と重複
19住	中型正方形	5.60	5.44	13	8	×	N-82°-E	—	東壁南寄り	B	—	—	—	○	古墳	2AI-73他	20号36号住と重複
20住	中型正方形	〈4.48〉	4.40	5	—	×	S-15°-E	—	—	—	—	—	—	※	古墳	2AI-63他	19号36号住と重複
36住	不明	〈4.24〉	〈0.88〉	—	—	×	N-70°-E	—	東壁南寄り	A	—	—	—	※	古墳	2AI-74他	19号20号住と重複
22住	中型正方形	5.84	5.52	60	40	○	N-18°-W	4	北壁東寄り	B	76	64	84	○	古墳	2AI-61他	55号住と重複
55住	不明	6.24	〈2.00〉	34	25	×	N-10°-E	—	—	—	—	—	—	※	不明	2AI-60他	22号住と重複
24住	中型横長方形	4.08	3.44	13	3	×	N-82°-E	4	—	—	—	—	25	※	古墳	2AI-53他	
25住	中型正方形	5.92	5.52	17	4	○	N-55°-E	4	東壁南寄り	A	96	72	109	○	古墳	2AI-33他	
26･27住	大型正方形	6.00	5.92	30	8	○	N-12°-W	4	竈1：北壁中央 竈2：東壁南寄り	A B	—	—	—	◎	古墳	2AI-15他	張り出し：南壁中央 1.20m×1.36m
28住	中型正方形	4.32	4.32	9	5	×	S-68°-E	4	東壁中央	A	120	84	72	◎	古墳	2AI-13他	炭化物あり
29住	中型正方形	4.56	4.48	45	32	○	N-67°-E	4	東壁南寄り	B	32	32	3	△	古墳	2AI-23他	30号住と重複
30住	中型正方形	4.16	4.16	10	—	○	N-30°-W	4	北壁東寄り	A	—	—	—	△	古墳	2AI-22他	29号住と重複
31住	中型正方形	5.60	5.60	12	4	○	N-51°-E	4	東壁南寄り	A	88	64	33	◎	古墳	2AI-20他	
32住	中型正方形	4.48	4.40	33	17	×	N-70°-E	4	東壁南寄り	A	92	88	69	◎	古墳	2AI-02他	
33住	不明	〈4.64〉	〈2.96〉	40	31	×	N-63°-E	—	—	—	—	—	—	△	古墳	2AI-04他	張り出し：西壁南寄り 1.12m×1.60m
34住	不明	〈2.00〉	〈1.36〉	26	24	×	—	—	—	—	—	—	—	※	古墳	1AI-34	
35住	小型正方形	2.56	2.56	60	29	×	N-85°-E	—	東壁中央	A	40	36	45	△	古墳	2AI-77他	
37住	大型正方形	6.56	6.40	27	15	○	N-34°-W	4	北壁東寄り	B	100	80	55	○	古墳	2AI-80他	貯蔵穴：竈対面壁隅　51号住と重複
51住	不明	〈7.28〉	〈0.8〉	12	2	×	—	—	—	—	—	—	—	※	古墳	2AH-89他	37号住と重複
38住	中型正方形	5.68	5.20	50	25	○	N-51°-E	4	東壁南寄り	B	88	40	45	◎	古墳	2AH-69他	
39住	中型正方形	5.12	4.96	24	13	×	N-13°-W	4	北壁中央	B	—	—	—	△	古墳	2AH-87他	張り出し：南壁中央 0.65m×0.98m
40住	不明	〈4.24〉	〈2.00〉	44	39	×	N-33°-W	—	北壁	A	—	—	—	△	古墳	2AH-97他	42号53号54号住と重複

第40表　遠丸遺跡遺構観察表(1)

住居名	平面形態	規模				壁溝	主軸方向	主柱穴	竈		貯蔵穴			遺物	時期	グリッド	備考
		長軸m	短軸m	深さ最大cm	深さ最小cm				位置	構造	長軸cm	短軸cm	深さcm				
41住	小型正方形	3.92	3.60	15	6	×	S-9°-E	—	南東角	A	68	68	49	○	古墳	2AH-86他	
42住	中型正方形	4.80	4.40	54	36	×	N-3°-E	—	—	—	—	—	—	△	古墳	2AH-95他	40号53号54号住と重複
53住	不明	〈4.48〉	〈4.56〉	27	11	×	N-27°-W	—	北壁	B	—	—	—	※	古墳	2AH-97他	40号42号54号住と重複
54住	小型正方形	3.92	3.60	11	5	×	N-9°-W	4	北壁東寄り	A	104	92	—	※	古墳	2AH-96他	40号42号53号住と重複
43住	中型正方形	(5.12)	5.20	—	—	×	N-75°-E	4	東壁中央	B	88	84	69	○	古墳	2AH-94他	52号住と重複
52住	不明	〈2.80〉	〈1.92〉	36	13	×	N-76°-E	—	—	—	—	—	—	※	古墳	2AH-94	43号住と重複
44住	小型正方形	3.68	3.44	20	12	×	N-88°-W	3(4)	東壁中央	A	—	—	—	△	古墳	2AH-75他	
45住	中型正方形	4.00	3.76	41	30	×	N-29°-E	—	—	—	88	72	47	◎	古墳	2AH-68他	
46住	中型縦長方形	4.48	3.52	30	19	×	N-70°-E	—	東壁南寄り	A	100	76	48	○	古墳	2AH-76他	
47住	中型縦長方形	5.68	〈2.00〉	41	30	○	N-60°-E	2(4)	東壁	B	88	76	62	◎	古墳	2AH-65他	
48住	大型正方形	6.56	6.08	26	9	○	N-63°-E	4	—	—	—	—	—	◎	古墳	2AH-66他	57.58号住と重複
57住	小型正方形	3.60	3.28	37	25	×	N-17°-E	—	北東角	B	—	—	—	○	古墳	2AH-67他	48号住と重複
58住	不明	4.40	〈1.36〉	3	2	×	—	—	—	—	—	—	—	※	古墳	2AH-56他	48号住と重複
49住	中型横長方形	5.60	5.12	19	12	○	N-29°-W	—	北壁中央	A	108	84	71	○	古墳	2AH-48他	貯蔵穴：竈対面壁隅
50住	中型縦長方形	4.72	3.84	20	12	×	N-50°-E	—	東壁南寄り	A	92	64	84	○	古墳	2AI-50他	

小型4㎡以下
中型4～6㎡
大型6㎡以上

○あり
×なし

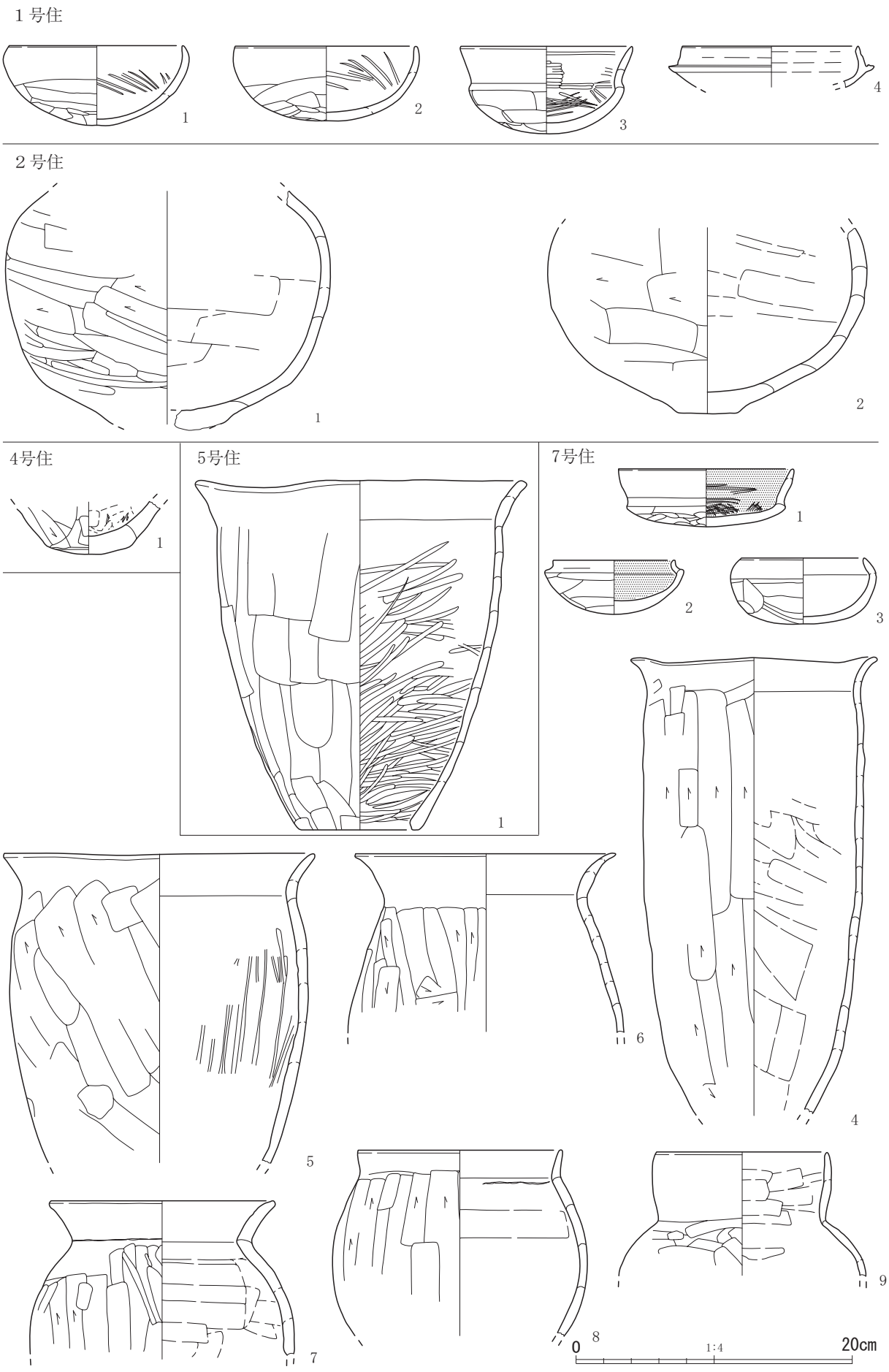
A：ローム＋黒色土
B：ローム＋黒色土＋袖芯河床礫
C：ローム＋黒色土＋袖芯土器

※0～1000㎡
△1000～5000㎡
○5000～10000㎡
◎10000㎡以上

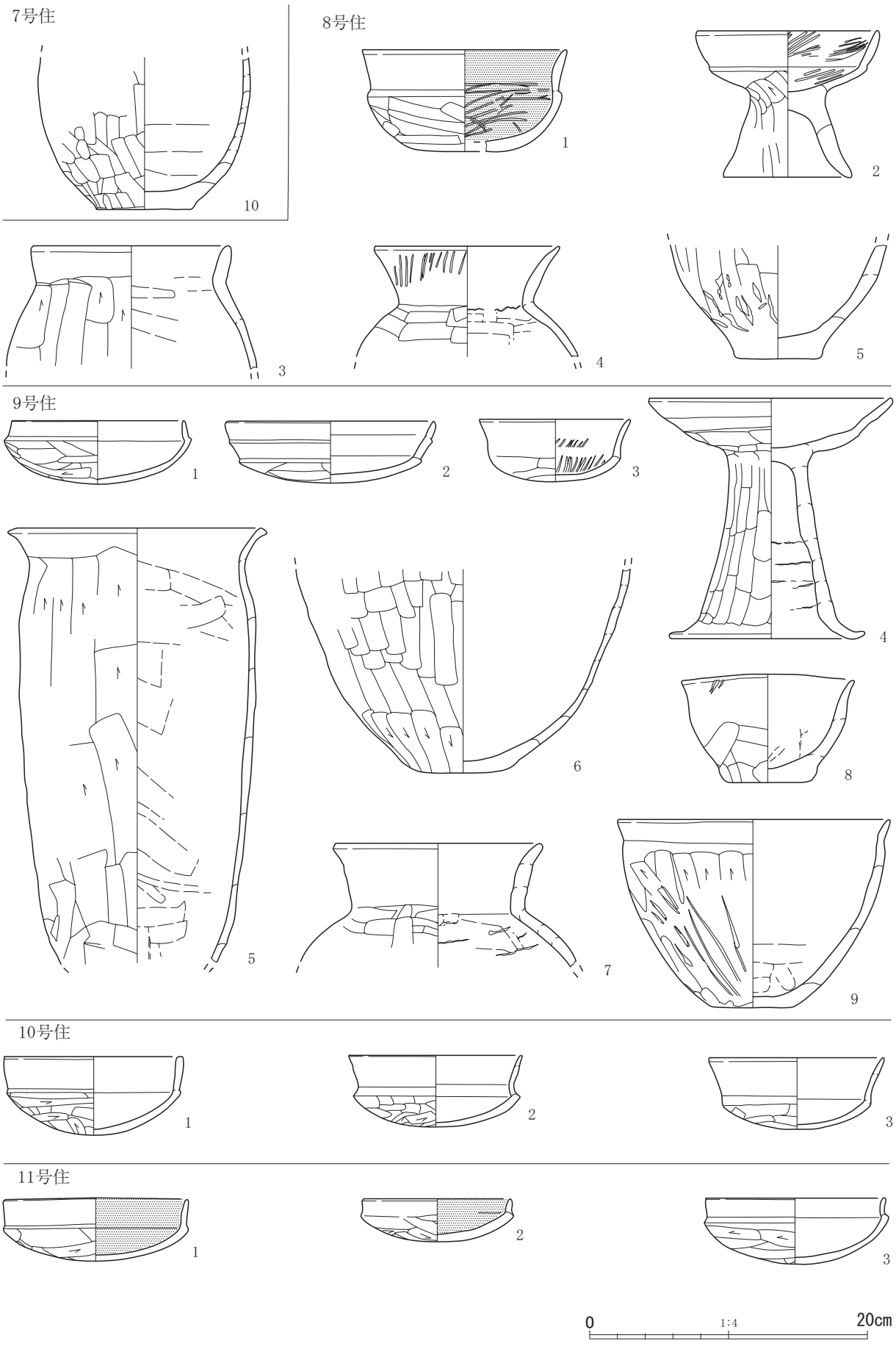
土坑名	規模			遺物	時期	グリッド	備考
	長軸cm	短軸cm	深さcm				
1号	140	116	—	※		2AJ-53d 他	
2号	108	68	—	※		2AJ-65d 他	
3号	188	180	—	※		2AJ-73c 他	
4号	136	104	25	※		2AJ-82b 他	
5号	72	60	21	※		2AJ-53c	
6号	88	80	26	※		2AJ-53c 他	
7号	84	68	—	※		2AJ-62b 他	
8号	68	60	25	※		2AJ-52b 他	
9号	104	88	46	※		2AJ-72c 他	
10号	76	68	16	※		2AJ-71b	
12号	64	32	18	※		2AI-69c	
13号	108	104	32	※		2AI-60他	6号住と重複
18号	84	68	24	※		2AI-85b	
19号	116	76	27	※		2AI-85c	
27号	280	160	53	※		2AI-01b 他	

※0～1000㎡
△1000～5000㎡
○5000～10000㎡
◎10000㎡以上

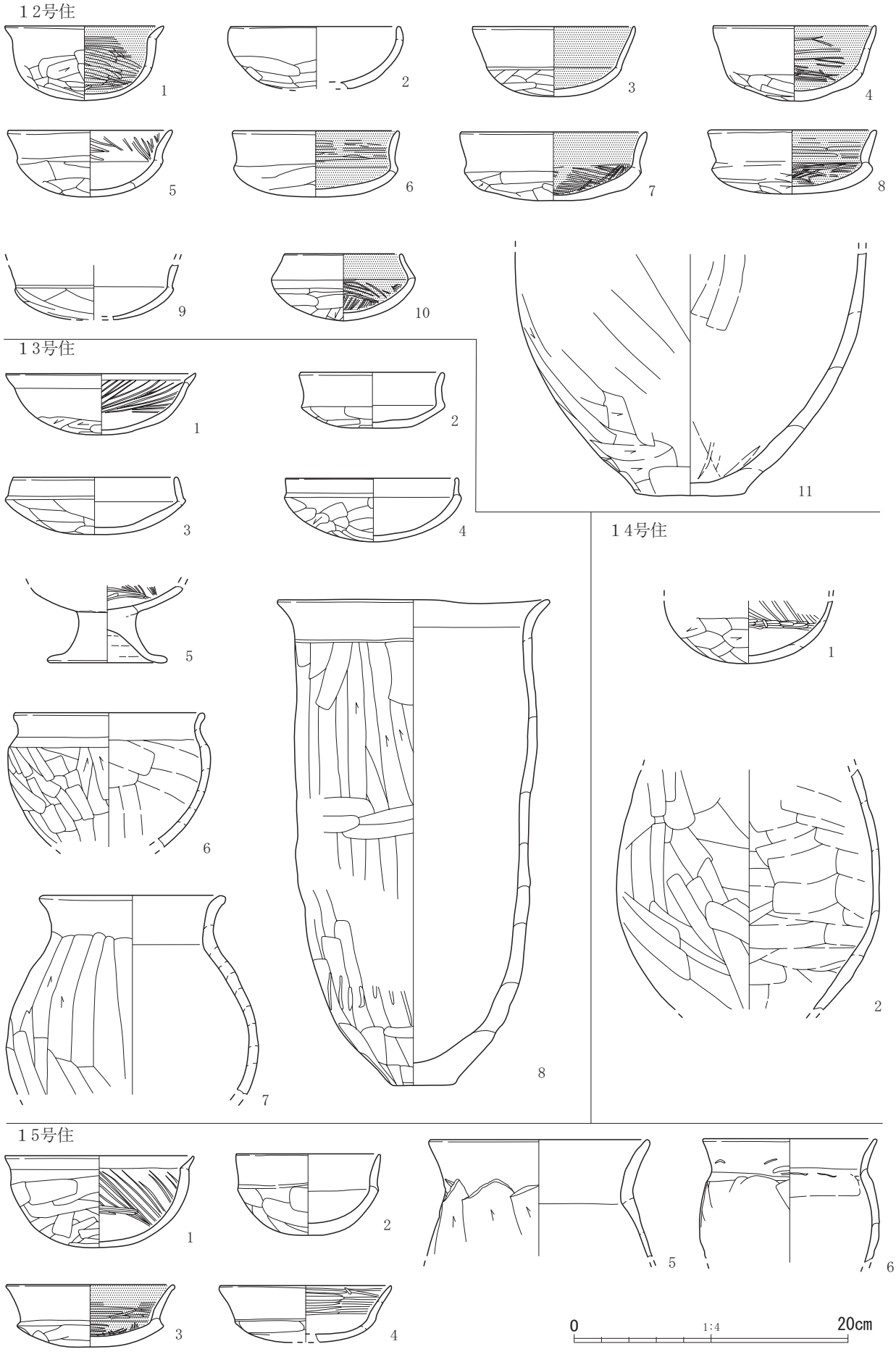
第41表　遠丸遺跡遺構観察表(2)



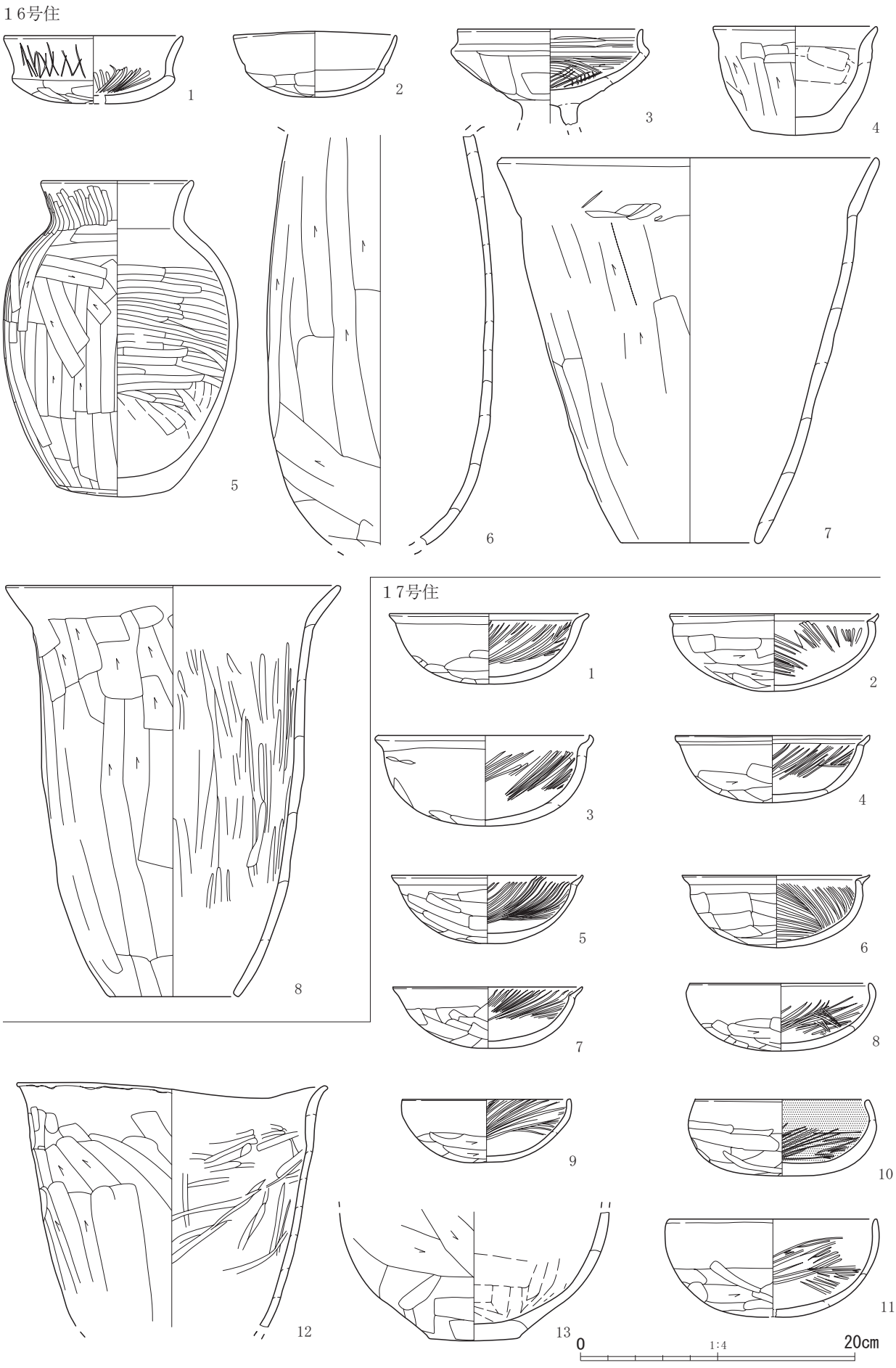
第78図　1号・2号・4号・5号・7号住居址出土土器実測図



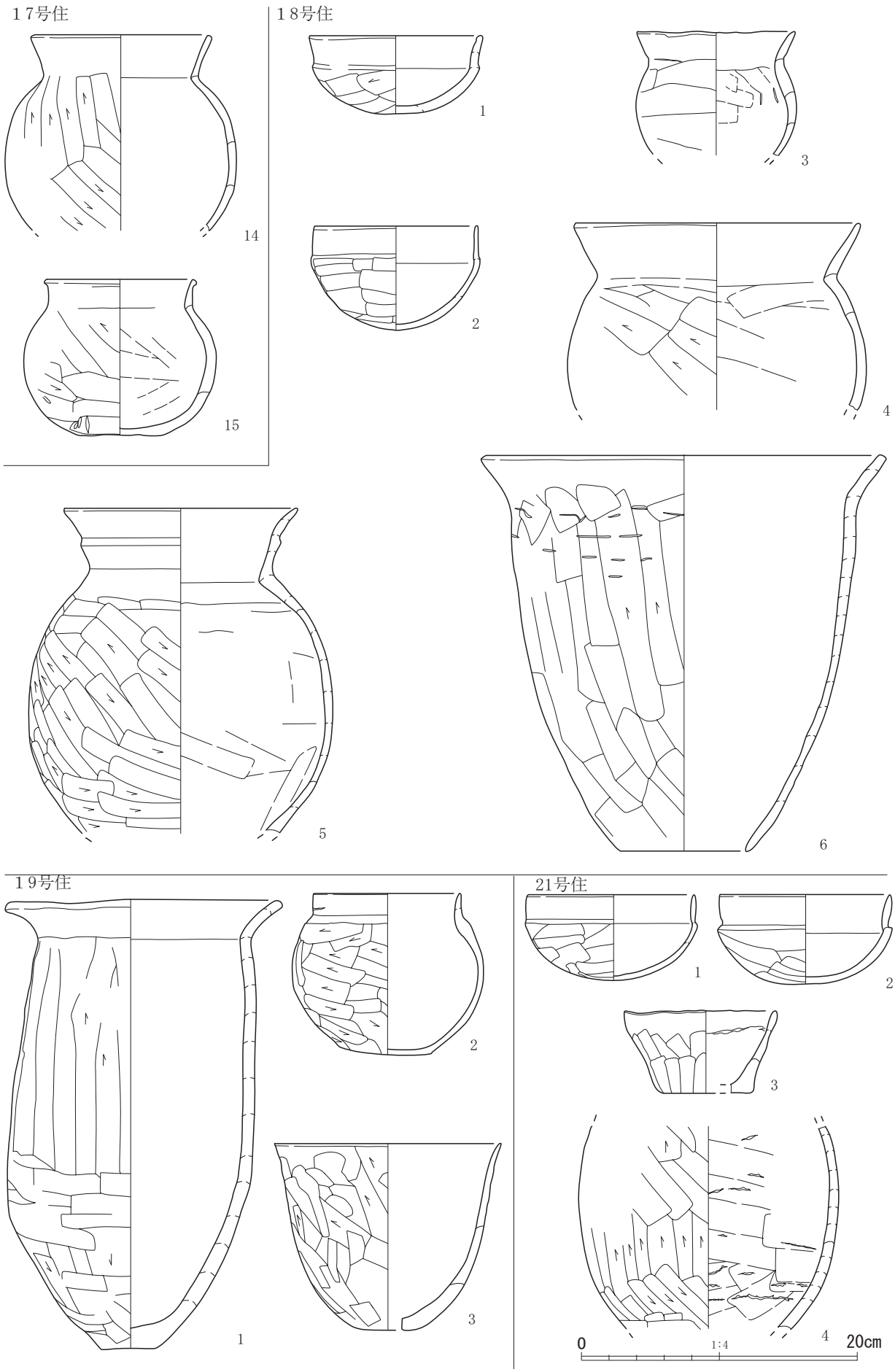
第79図　7～11号住居址出土土器実測図



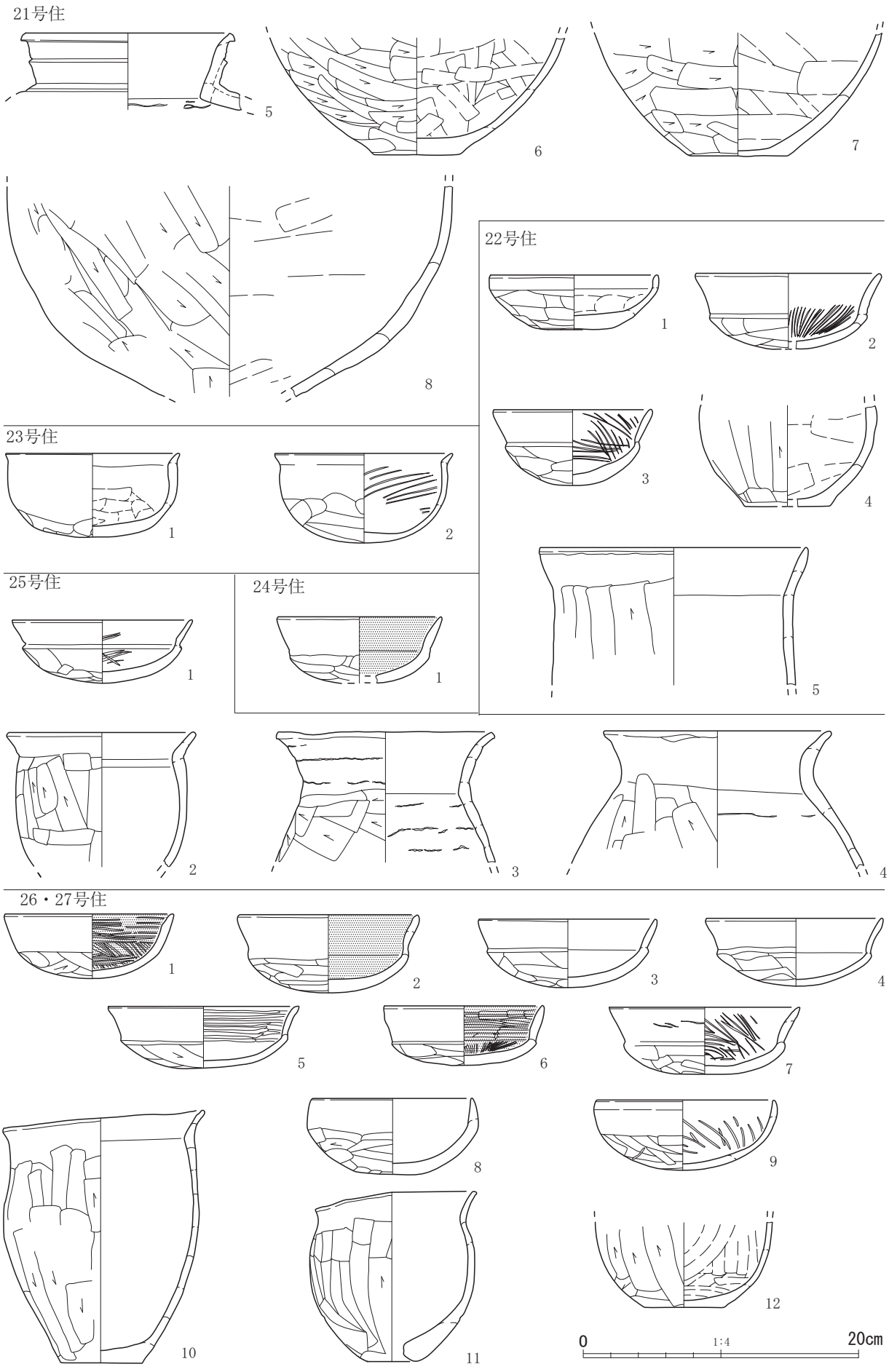
第80図　12～15号住居址出土土器実測図



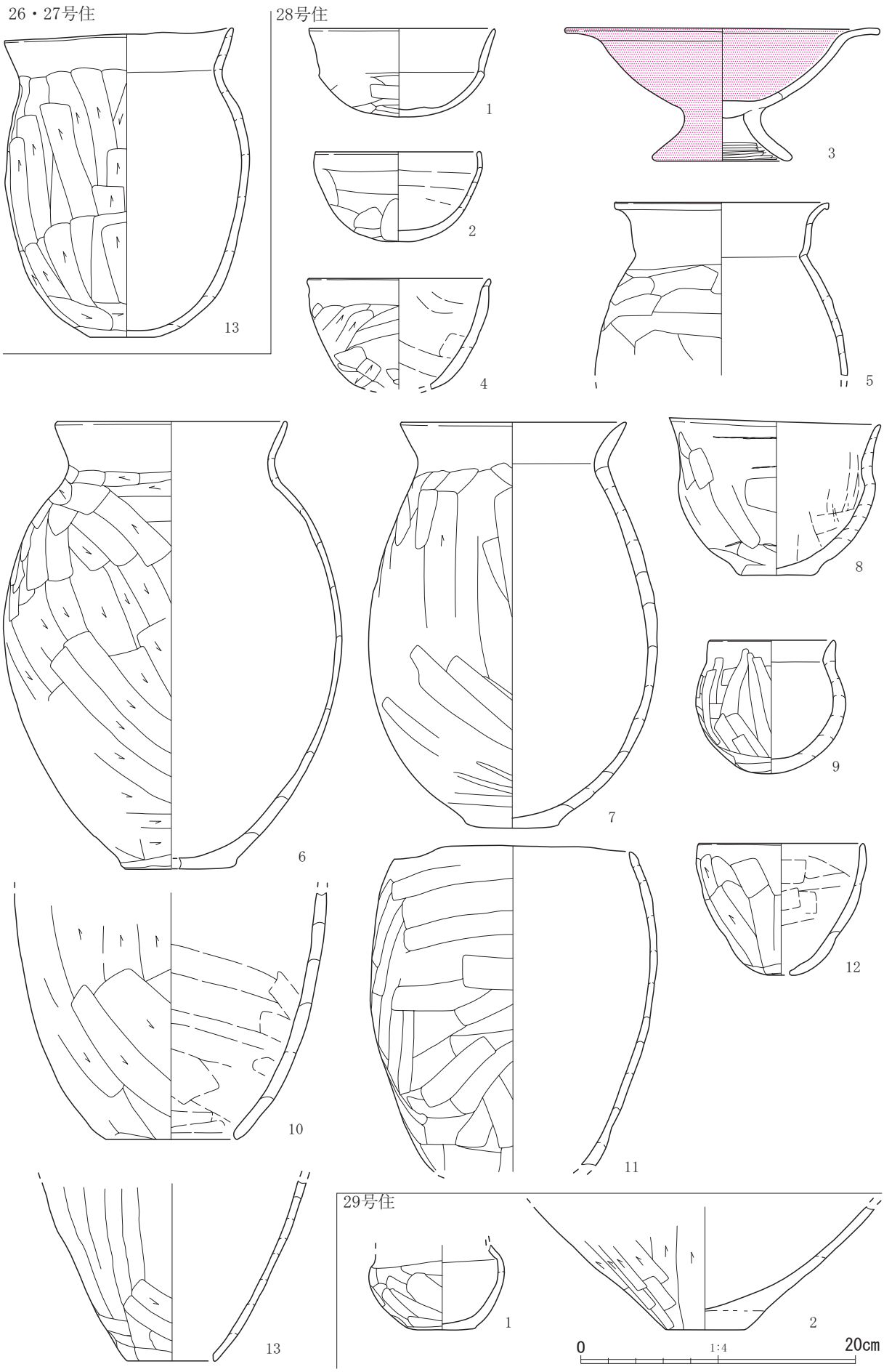
第81図　16号・17号住居址出土土器実測図



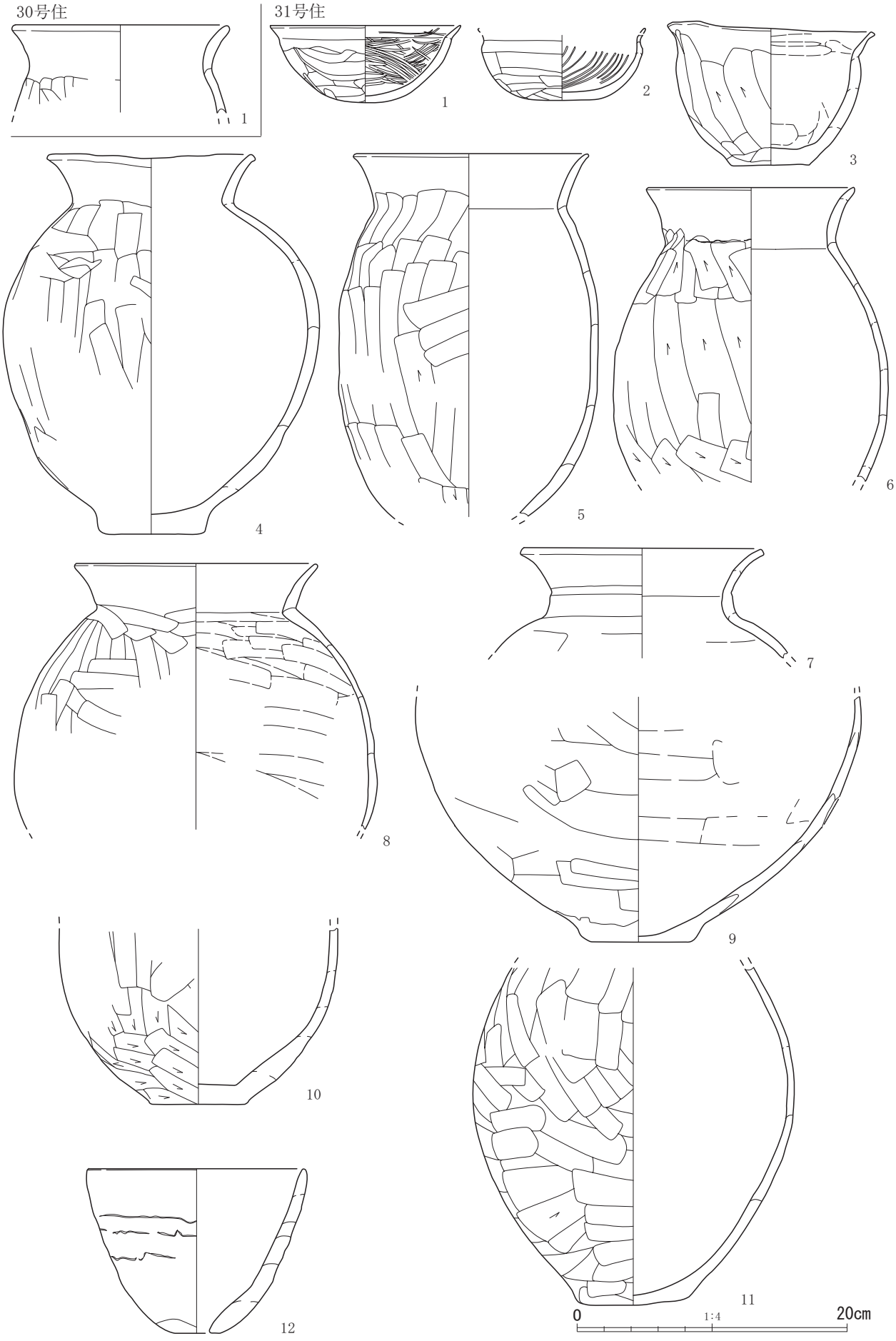
第82図　17～19号・21号住居址出土土器実測図



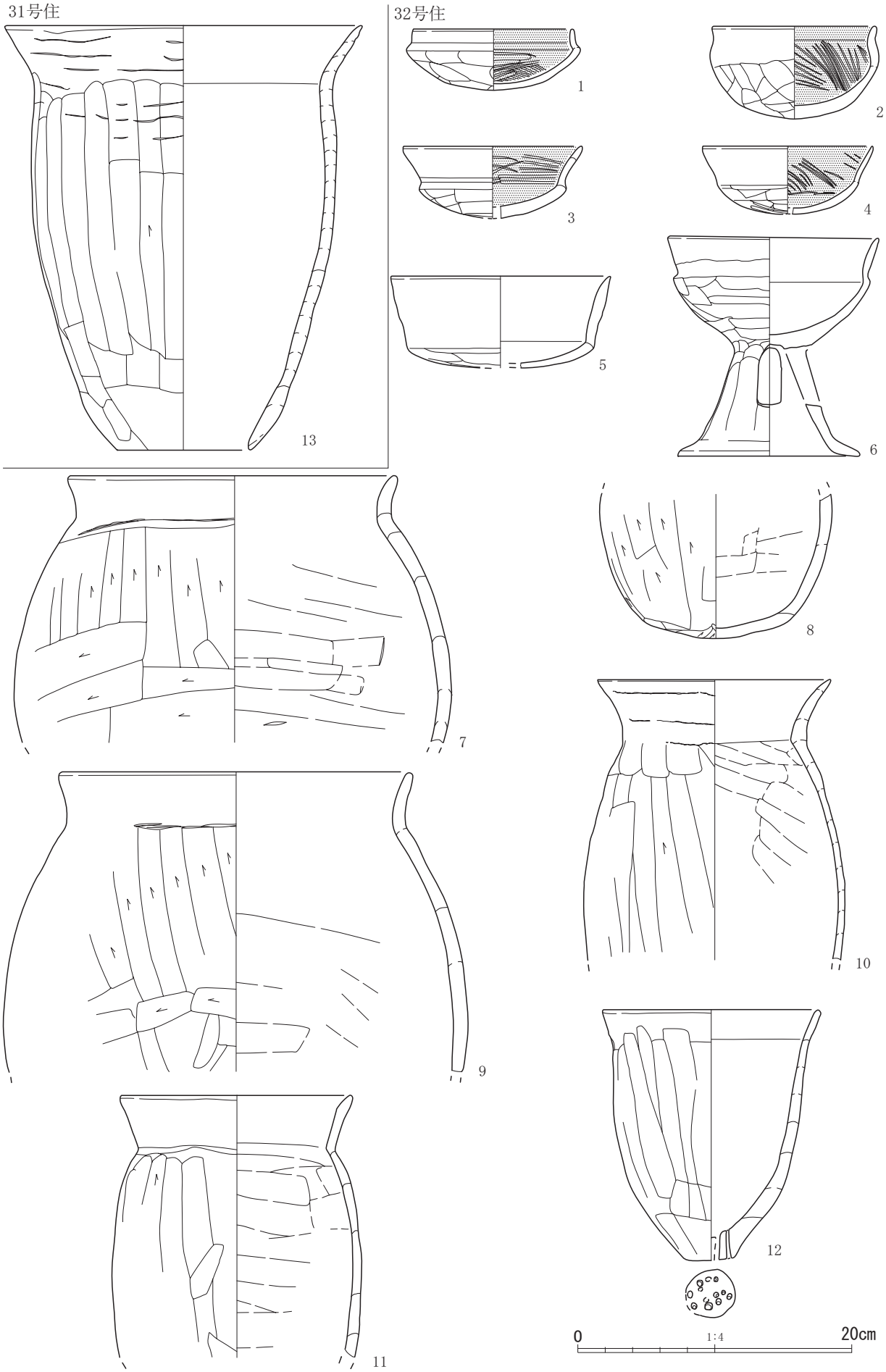
第83図　21～27号住居址出土土器実測図



第84図　26～29号住居址出土土器実測図

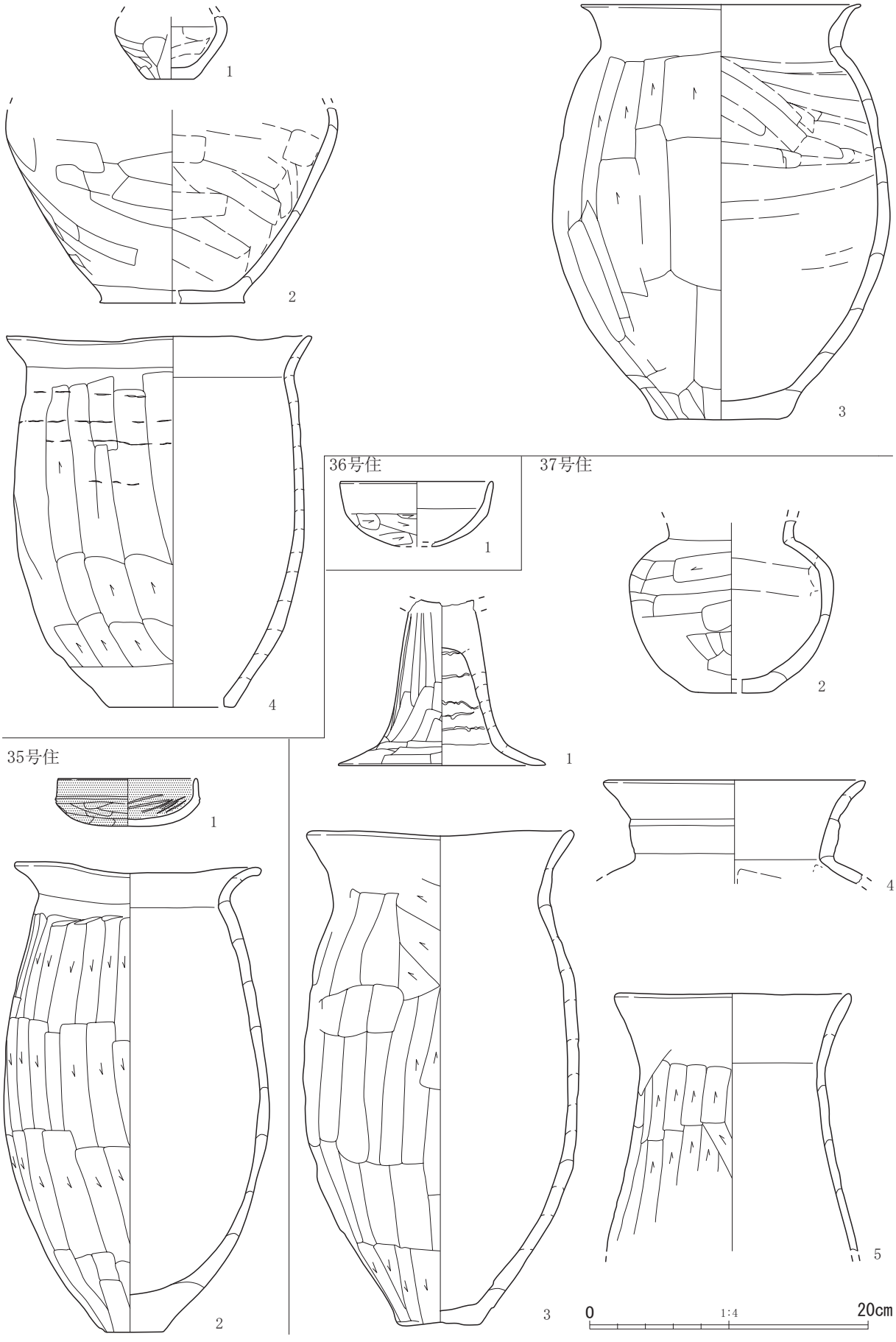


第85図　30号・31号住居址出土土器実測図

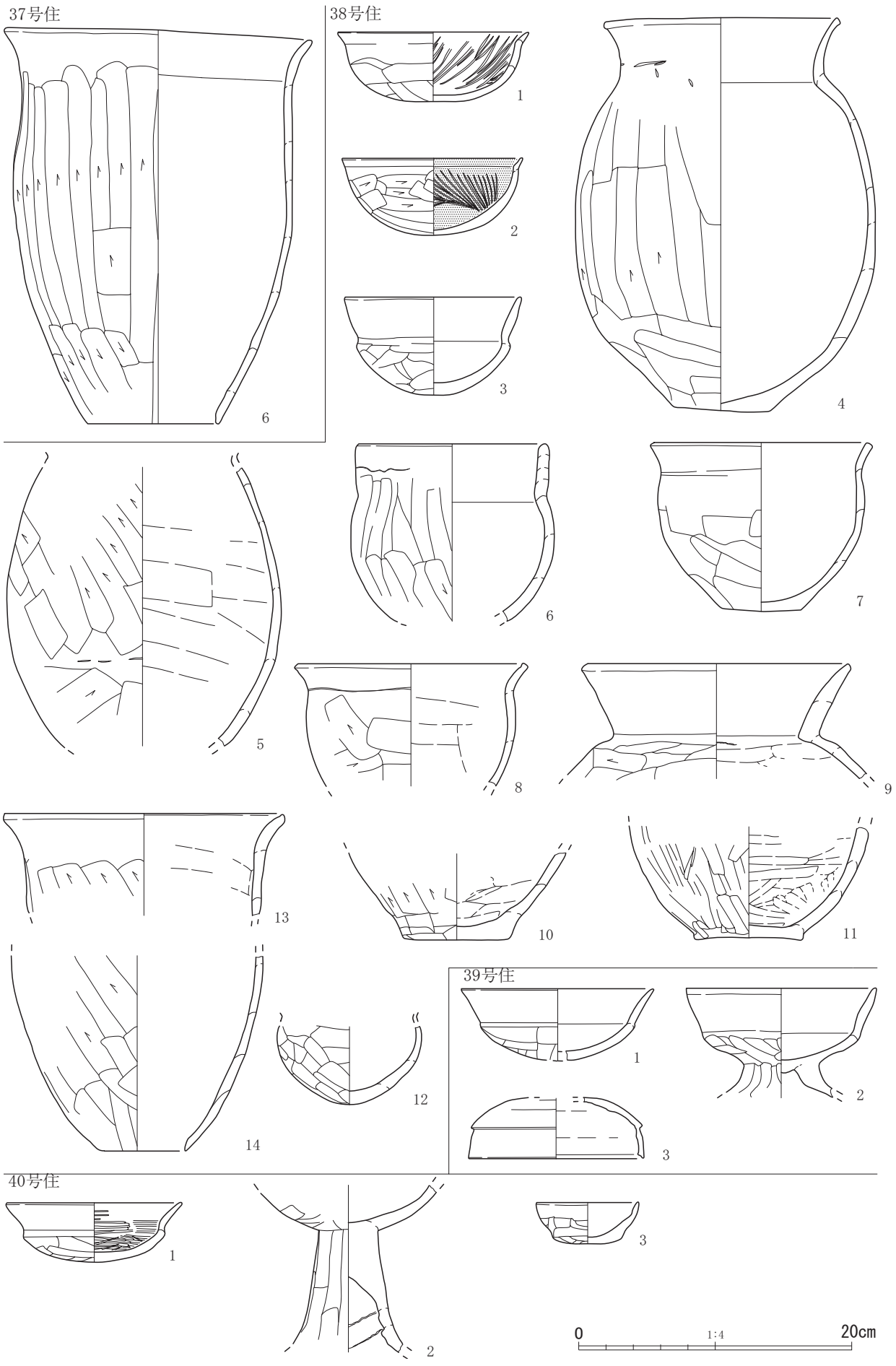


第86図　31号・32号住居址出土土器実測図

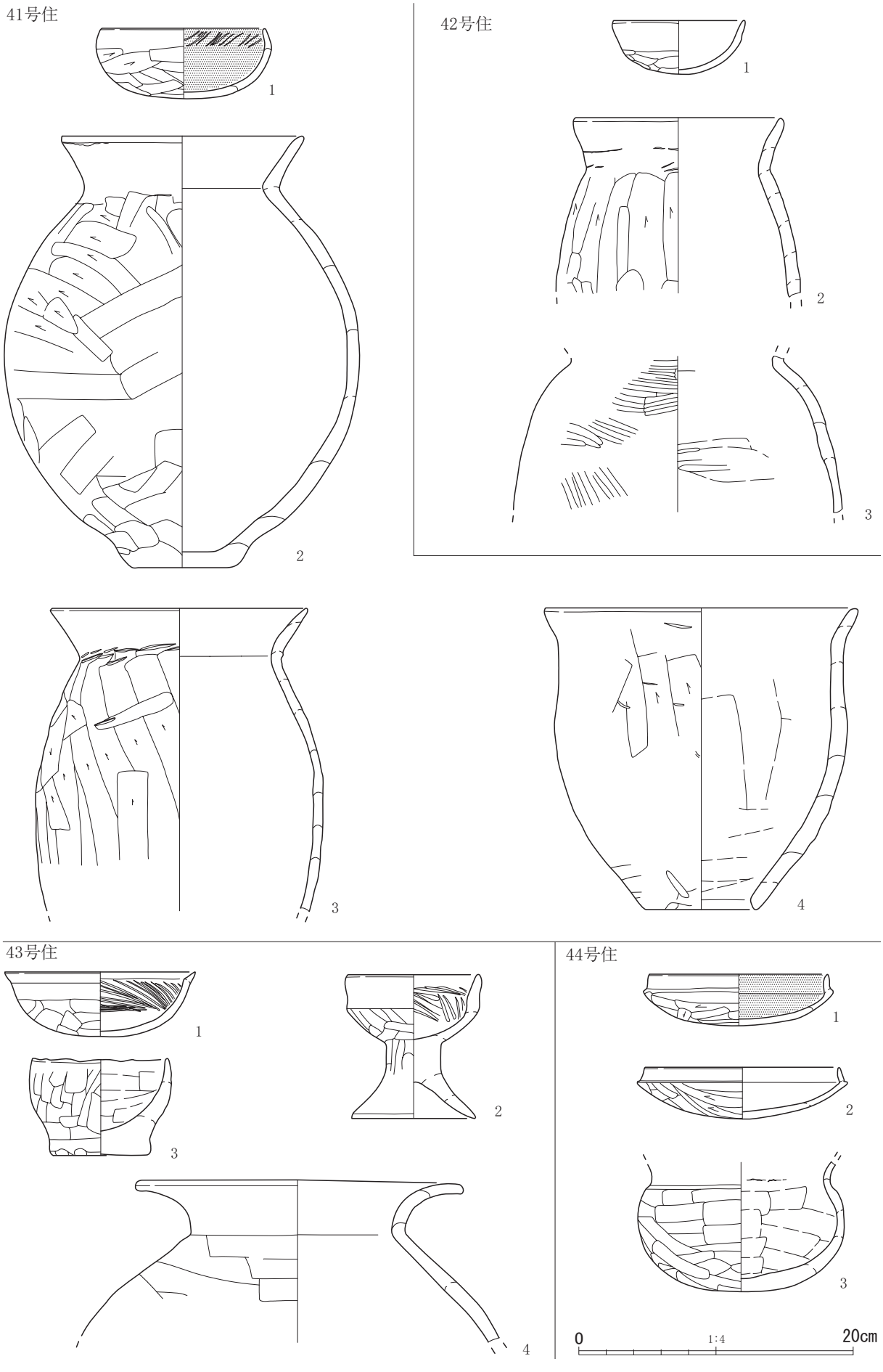
33号住



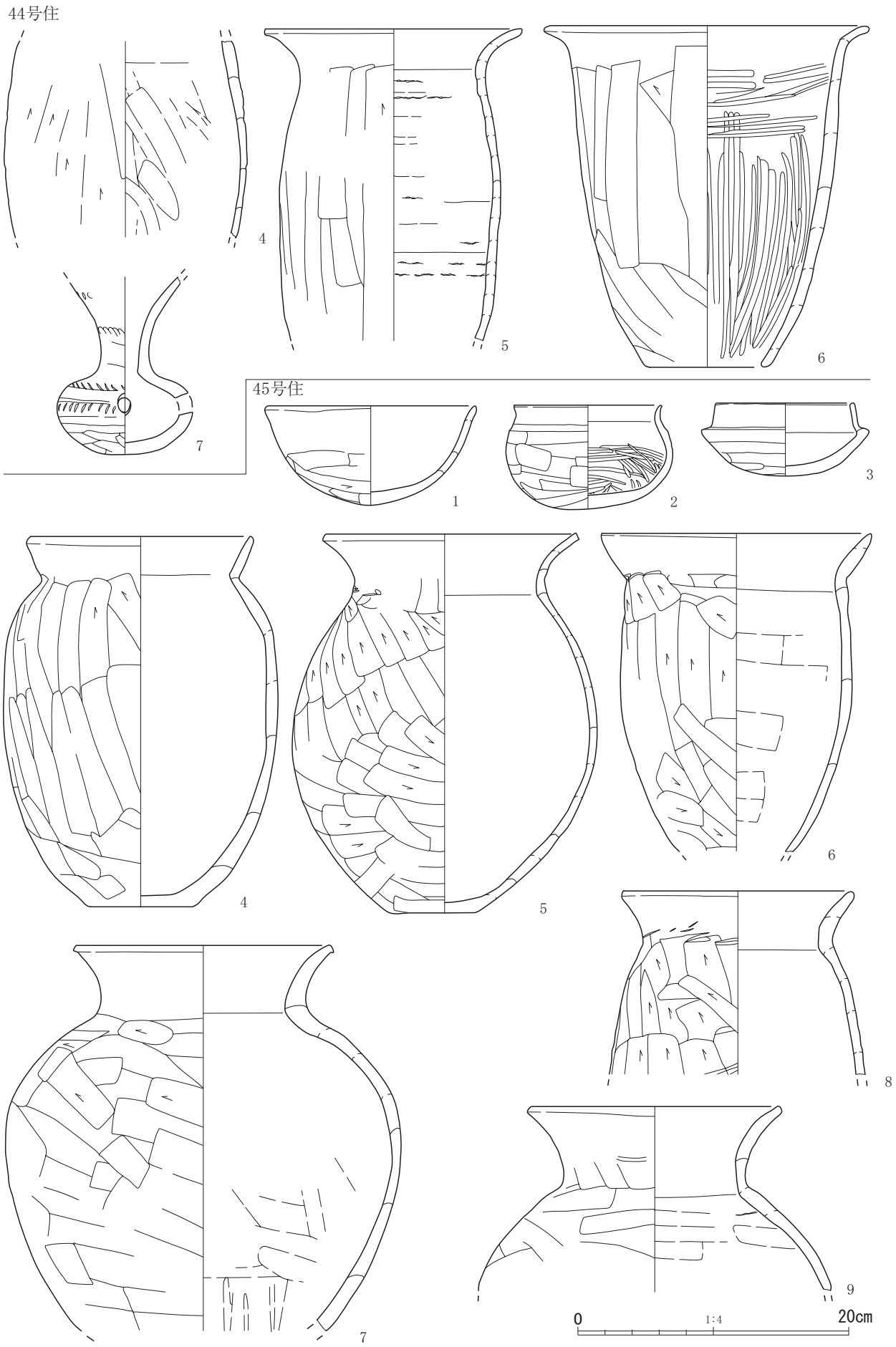
第87図　33号・35～37号住居址出土土器実測図



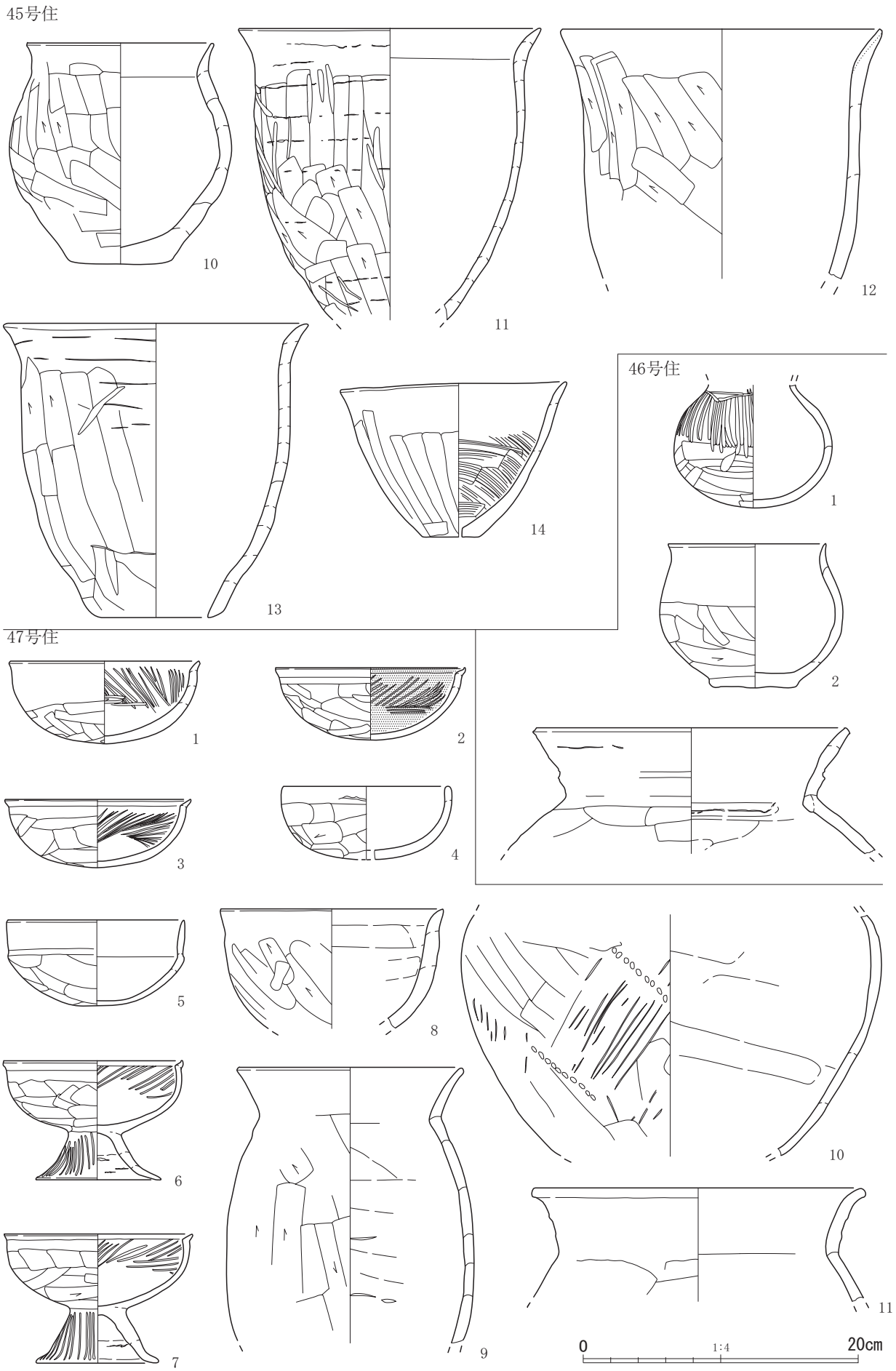
第88図　37～40号住居址出土土器実測図



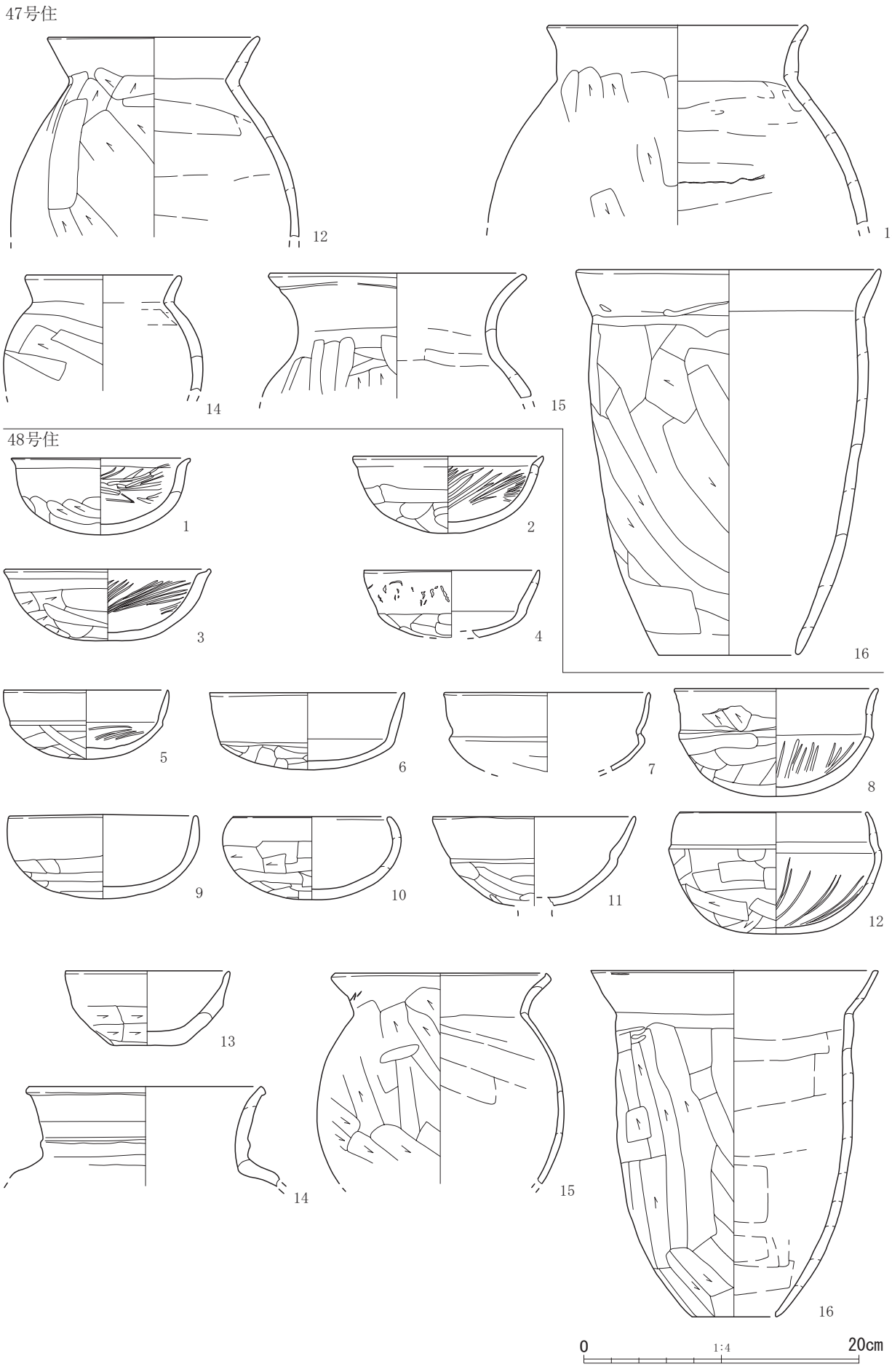
第89図　41～44号住居址出土土器実測図



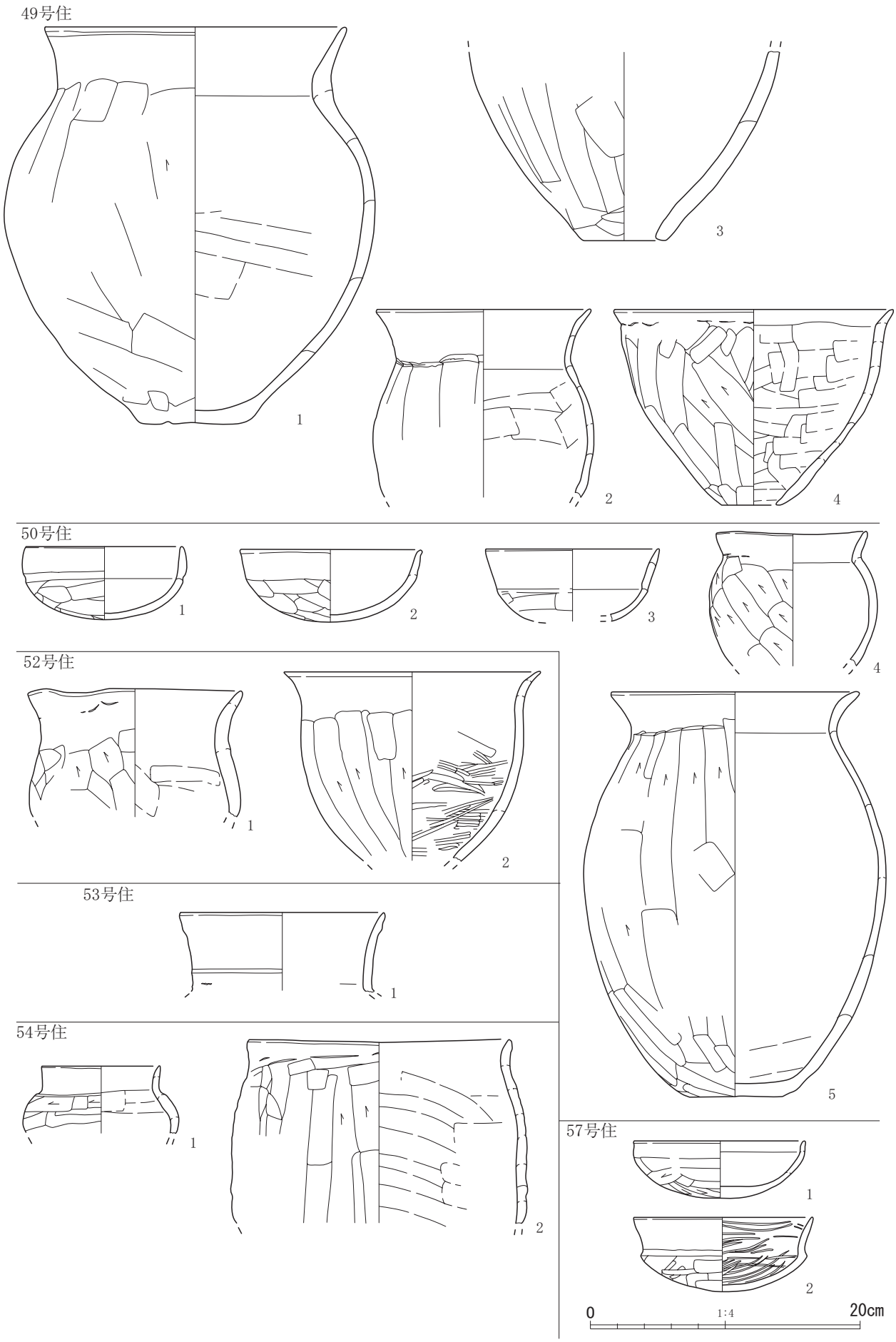
第90図　44号・45号住居址出土土器実測図



第91図　45～47号住居址出土土器実測図

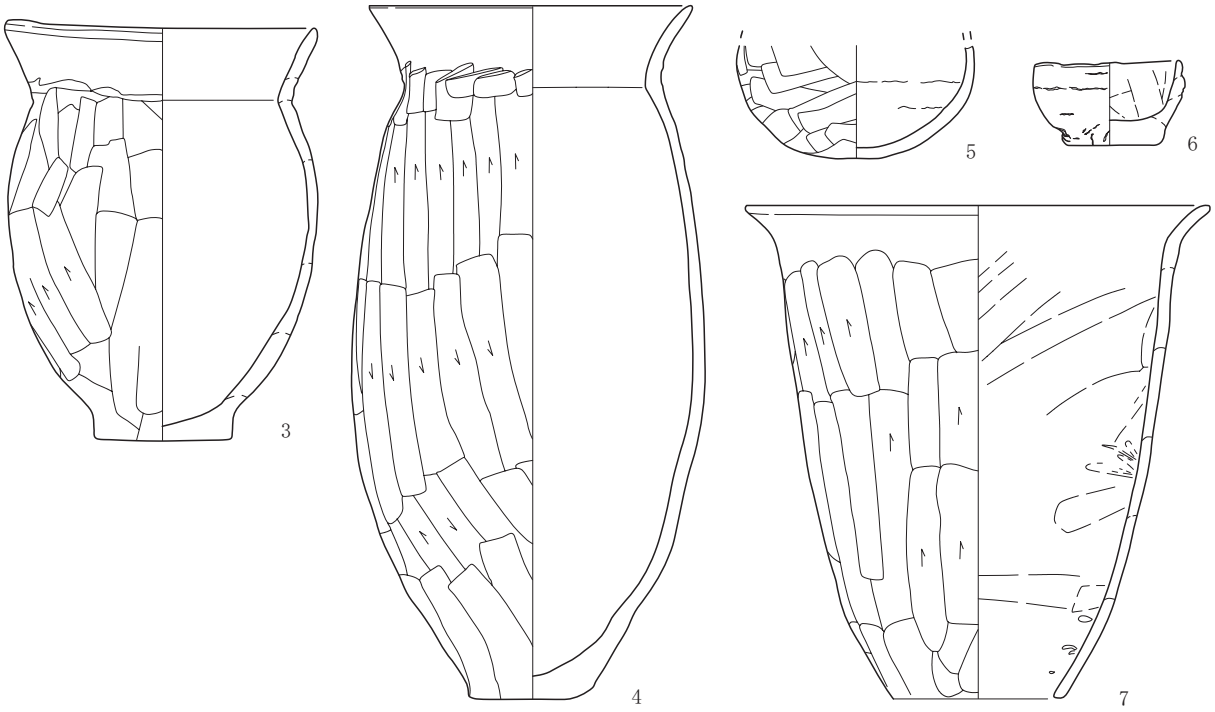


第92図　47号・48号住居址出土土器実測図

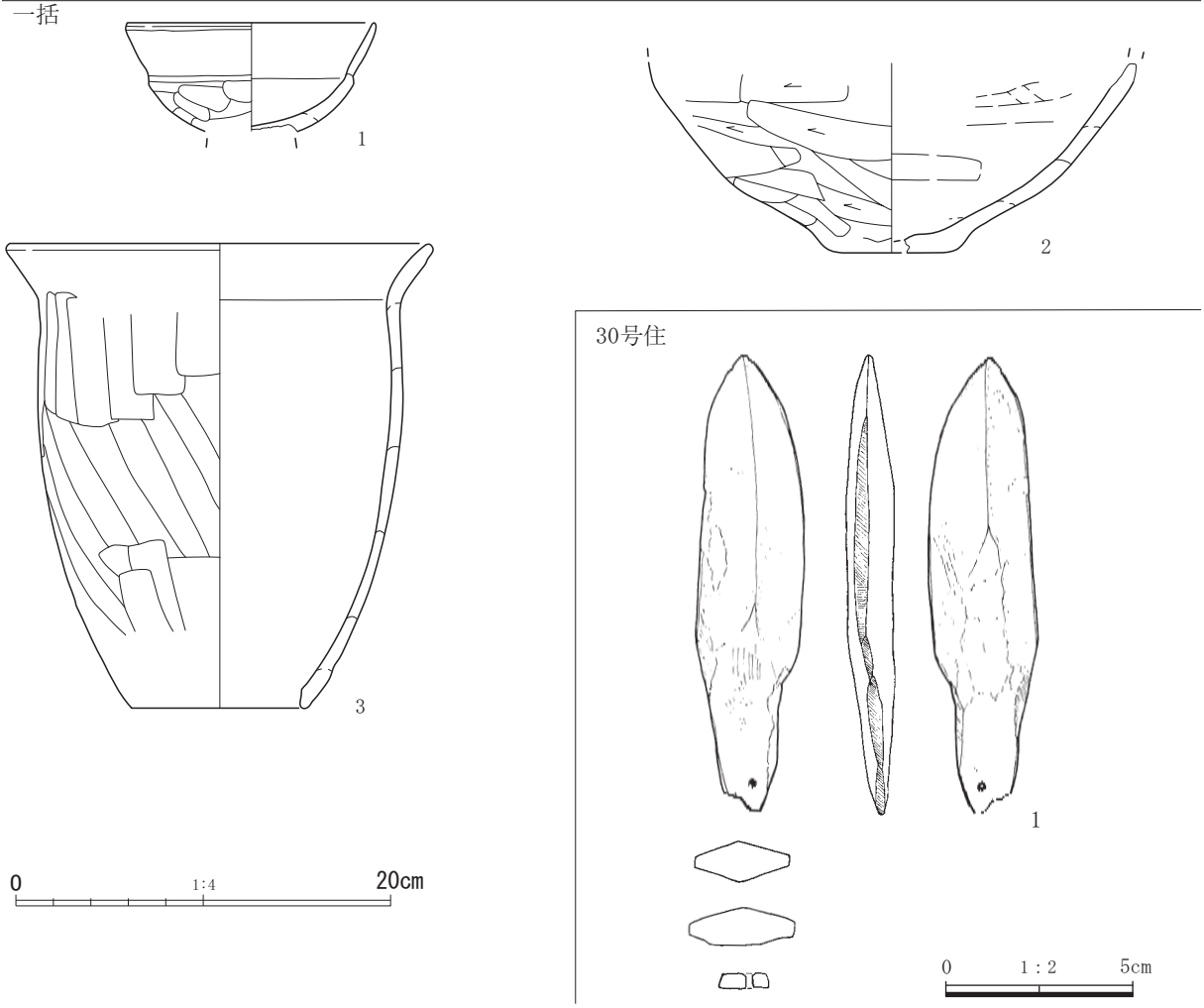


第93図　49号・50号・52～54号・57号住居址出土土器実測図

57号住



一括



30号住

第94図　57号住居址、一括出土土器、30号住居址出土石器実測図

遠丸遺跡土器観察表

1号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏		口径 12.5 底径 — 器高 5.9	①普通 ②鈍い橙色 ③黒色粒・雲母 ④2/3	外面 口縁部横撫で、体部以下篦削り。 内面 撫で後放射状磨き。
2	土師器 坏		口径 13.1 底径 — 器高 5.4	①普通 ②暗橙色 ③白色粒・黒色粒・雲母 ④3/4	外面 口縁部横撫で、体部以下篦削り。 内面 撫で後放射状磨き。
3	土師器 坏	一括	口径 12.4 底径 — 器高 6.4	①普通 ②橙色 ③白色粒・黒色粒・雲母 ④4/5	外面 口縁部横撫で、体部以下篦削り。 内面 撫で後横位基調磨き。
4	須恵器 坏	一括	口径 12.8 底径 — 器高 —	①良好 / 還元 ②灰色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～体部上位破片	外面 轆轤成形。 内面 轆轤成形。

2号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	竈一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色～褐色 ③白色粒・雲母 ④胴部上位～下位1/5	外面 横位～斜位篦削り又は篦撫で。 内面 篦撫で。
2	土師器 甕	竈一括	口径 — 底径 (4.3) 器高 —	①普通 ②鈍い橙色～暗褐色 ③白色粒・雲母 ④胴部中位～底部1/8	外面 篦削り。 内面 篦撫で。

4号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 — 底径 4.3 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③褐色粒・雲母 ④胴部下位～底部	外面 篦削り。 内面 篦撫で。

5号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甑	竈一括 一括	口径 24.0 底径 8.5 器高 25.3	①普通 ②橙色 ③白色粒・雲母 ④4/5	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部撫で後、横位～斜位磨き。

7号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏		口径 (12.6) 底径 — 器高 4.2	①普通 ②鈍い橙色 ③角閃石・雲母 ④口縁部～体部1/2	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 撫で後磨き、黒色処理。
2	土師器 坏	竈	口径 (8.7) 底径 — 器高 3.9	①普通 ②黄橙色 ③白色粒・褐色粒 ④1/2	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部～体部上位横撫で、体部中位以下篦撫で、黒色処理。
3	土師器 坏	一括	口径 9.0 底径 — 器高 4.8	①普通 ②黄橙色 ③褐色粒・礫 ④1/2	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で。
4	土師器 長胴甕	一括	口径 (17.6) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③褐色粒・黒色粒・礫 ④口縁部～胴部下位1/5	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
5	土師器 甕	P 1 貯蔵穴 一括	口径 (22.3) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③褐色粒 ④口縁部～胴部下位1/5	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で後磨き。
6	土師器 甕	一括	口径 18.8 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・黒色粒・雲母若干 ④口縁部～胴部上位1/5	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
7	土師器 甕	竈一括	口径 16.2 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒 ④口縁部～胴部中位1/3	外面 口縁部～胴部上位横撫で、胴部上位の一部横撫で後篦削り、胴部中位篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
8	土師器 甕		口径 (14.6) 底径 — 器高 —	①普通 ②橙色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒・雲母 ④口縁部～胴部中位1/3	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
9	土師器 甕		口径 12.4 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部上位1/5	外面 口縁部篦削り後横撫で、胴部篦削り。 内面 口唇部横撫で、以下篦撫で。
10	土師器 甕	竈一括 一括	口径 — 底径 7.0 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③褐色粒 ④胴部中位～底部1/5	外面 篦削り。 内面 篦撫で。

第42表　1号・2号・4号・5号・7号住居址出土土器観察表

8号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 (14.6) 底径　— 器高　—	①普通　②暗褐色　③白色礫・褐色粒・雲母　④1/3	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後磨き、黒色処理。
2	土師器 高坏	一括	口径 (12.8) 底径 (9.0) 器高 10.6	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・黒色粒・雲母若干　④3/5	外面　体部上半横撫で、下半篦削り、脚部篦削り。 内面　体部撫で後放射状磨き、脚部撫で。
3	土師器 甕	一括	口径 (13.9) 底径　— 器高　—	①普通　②暗渇色　③褐色粒・雲母　④口縁部～胴部上位破片	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
4	土師器 甕	一括	口径 (13.3) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒・雲母　④口縁部～胴部上位1/8	外面　口縁部横撫で後、縦位磨き、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
5	土師器 甕	貯蔵穴 一括	口径　— 底径　5.8 器高　—	①普通　②鈍い橙色～暗褐色　③白色粒・雲母若干・礫　④胴部下位～底部1/10	外面　篦削り。 内面　篦撫で。

9号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	№1 一括	口径 12.3 底径　— 器高　4.6	①普通　②鈍い橙色～暗渇色③白色粒・雲母　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部～体部上半横撫で、体部下半篦撫で。
2	土師器 坏	№2 一括	口径 (14.8) 底径　— 器高　4.5	①普通　②鈍い橙色～暗渇色③白色粒　④2/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で。
3	土師器 坏	一括	口径　11.0 底径　— 器高　4.5	①普通　②橙色～褐色　③白色粒・褐色粒　④2/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後放射状磨き。
4	土師器 高坏	一括	口径　17.4 底径　13.2 器高　17.4	①普通　②橙色～明褐色　③白色粒・褐色粒・雲母　④9/10	外面　体部上半横撫で、体部下半～脚部中位篦削り、脚部下位横撫で。 内面　体部上半横撫で、体部下半篦撫で、脚部上位～中位篦撫で、脚部下位横撫で。
5	土師器 甕	一括	口径 (17.6) 底径　— 器高　—	①普通　②暗褐色　③白色粒・褐色粒・礫　④口縁部～胴部下位1/3	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
6	土師器 甕	一括	口径　— 底径　7.0 器高　—	①普通　②暗褐色　③白色粒・雲母　④胴部下位～底部1/6	外面　篦削り。 内面　篦撫で。
7	土師器 甕		口径 (14.8) 底径　— 器高　—	①普通　②黄橙色　③褐色粒　④口縁部～胴部上位1/8	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
8	土師器 鉢	貯蔵穴	口径 (12.2) 底径　5.4 器高　7.8	①普通　②暗褐色　③白色粒・雲母　④口縁部～底部2/3	外面　口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部以下篦撫で。
9	土師器 鉢	貯蔵穴 一括	口径　19.4 底径　5.6 器高 13.6	①普通　②暗褐色　③白色粒・褐色粒・雲母　④4/5	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

10号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径　12.7 底径　— 器高　5.7	①普通　②鈍い橙色～暗褐色　③白色粒・雲母　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部～体部上半横撫で、体部下半撫で。
2	土師器 坏		口径　12.9 底径　— 器高　5.2	①普通　②鈍い橙色～暗褐色　③黒色粒・雲母　④7/8	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で又は磨き。
3	土師器 坏	一括	口径 (12.5) 底径　— 器高　5.2	①普通　②橙色　③白色粒・褐色粒・黒色粒　④1/3	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で。

11号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏		口径　13.1 底径　— 器高　4.6	①普通　②暗渇色～黒色　③白色粒・雲母　④完形	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部～体部上半横撫で、体部下半撫で、黒色処理。
2	土師器 坏	一括	口径 (10.6) 底径　— 器高　3.1	①普通　②暗褐色～黒色　③白色粒・褐色粒・礫・雲母　④2/3	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で、黒色処理。
3	土師器 坏		口径　13.0 底径　— 器高　4.8	①普通　②鈍い橙色～褐色　③黒色粒・雲母　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部～体部上半横撫で、体部下半撫で。

第43表　8～11号住居址出土土器観察表

12号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 (11.5) 底径　— 器高　5.5	①普通　②鈍い橙色～暗褐色 ③褐色粒・雲母　④1/3	外面　口縁部～体部上位横撫で。 内面　口縁部横撫で、体部磨き、黒色処理。
2	土師器 坏		口径 (12.3) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色～暗褐色 ③雲母多量　④口縁部～体部中位1/3	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部～体部中位横撫で、体部下位篦撫で。
3	土師器 坏		口径　11.8 底径　— 器高　5.2	①普通　②鈍い橙色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒・雲母若干 ④9/10	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部撫で、体部撫で又は磨き、黒色処理。
4	土師器 坏	一括	口径 (11.9) 底径　— 器高　5.6	①普通　②鈍い橙色～褐色　③白色粒・雲母若干　④2/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　磨き、黒色処理。
5	土師器 坏		口径　11.9 底径　— 器高　4.9	①普通　②暗橙色　③白色粒・褐色粒　④4/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部撫で後磨き、体部撫で。
6	土師器 坏	1号竪穴	口径 (12.0) 底径　— 器高　4.9	①普通　②橙色・口唇部黒色③褐色粒　④1/2	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後横位基調磨き、黒色処理。
7	土師器 坏	P 5	口径　13.4 底径　— 器高　5.1	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・雲母若干　④9/10	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後磨き、黒色処理。
8	土師器 坏	一括	口径　12.0 底径　— 器高　4.7	①普通　②橙色～暗褐色　③白色粒若干・褐色粒　④4/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後磨き、黒色処理。
9	土師器 坏	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②橙色　③白色粒若干・褐色粒　④口縁部中位～体部1/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で又は磨き。
10	土師器 坏	一括	口径　8.6 底径　— 器高　4.9	①普通　②鈍い橙色～黒褐色③白色粒・褐色粒・礫・雲母　④9/10	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部磨き、黒色処理。
11	土師器 甕	1号竪穴	口径　— 底径　8.0 器高　—	①普通　②橙色　③白色粒・褐色粒・礫・雲母　④胴部中位～底部1/8	外面　胴部中位～底部篦削り。 内面　胴部中位～底部篦撫で。

13号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径　13.9 底径　— 器高　4.5	①普通　②暗橙色　③白色粒・褐色粒・礫・雲母　④9/10	外面　口縁部～体部上位横撫で、体部中位～下位篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後放射状磨き。
2	土師器 坏		口径　10.5 底径　— 器高　4.1	①普通　②暗褐色　③白色粒・褐色粒・雲母・角閃石　④完形	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部篦撫で。
3	土師器 坏	一括	口径　12.0 底径　— 器高　4.2	①普通　②鈍い橙色～褐色③白色粒若干・褐色粒・雲母　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部～体部上半横撫で、体部下半撫で。
4	土師器 坏		口径　12.5 底径　— 器高　4.7	①普通　②鈍い橙色～褐色③褐色粒・雲母多量　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部篦撫で。
5	土師器 高坏	一括	口径　— 底径 (8.5) 器高　—	①普通　②暗橙色　③白色粒・雲母　④体部中位～脚部	外面　体部篦削り又は篦撫で、脚部撫で。 内面　体部撫で後磨き、脚部撫で。
6	土師器 小型甕	一括	口径 (14.0) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒・雲母　④口縁部～胴部下位1/4	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
7	土師器 甕		口径　12.7 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒・黒色粒・雲母若干　④口縁部～胴部下位2/3	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
8	土師器 甕	一括	口径　20.0 底径　4.5 器高　35.5	①普通　②鈍い橙色～暗褐色 ③褐色粒・石英・礫　④3/5	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り又は篦撫で。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

14号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②暗橙色　③白色粒・礫・雲母　④体部上位～下位1/4	外面　篦削り。 内面　撫で後磨き。
2	土師器 甕	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色～暗褐色 ③褐色粒　④胴部中位～下位1/8	外面　篦削り。 内面　篦撫で。

第44表　12～14号住居址出土土器観察表

15号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 13.8 底径 — 器高 6.7	①普通 ②鈍い橙色～暗褐色 ③白色粒・角閃石 ④2/5	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
2	土師器 坏	一括	口径 10.4 底径 — 器高 6.0	①普通 ②鈍い橙色 ③褐色粒・雲母若干 ④3/5	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部～体部上位横撫で、体部中位～下位篦撫で。
3	土師器 坏	竈	口径 12.1 底径 — 器高 4.6	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒若干・褐色粒 ④4/5	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 撫で後磨き、内面黒色処理。
4	土師器 坏	一括	口径 (12.6) 底径 — 器高 —	①普通 ②暗橙色 ③石英・角閃石・雲母若干 ④口縁部～体部下位1/3	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 撫で後磨き。
5	土師器 甕		口径 16.0 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒・雲母・石英 ④口縁部～胴部上位1/3	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
6	土師器 甕	一括	口径 12.5 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒･褐色粒･石英 ④口縁部～胴部中位1/4	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。

16号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 (13.0) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色～暗褐色 ③褐色粒・礫 ④1/4	外面 口縁部横撫で後磨き、体部篦削り。 内面 撫で後放射状磨き。
2	土師器 坏		口径 11.9 底径 — 器高 4.9	①普通 ②暗橙色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で。
3	土師器 高坏		口径 (13.4) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色～暗褐色 ③白色粒若干・褐色粒・石英 ④口縁部～脚部上位1/4	外面 口縁部横撫で、体部篦削り、脚部篦削り。 内面 体部撫で後磨き、脚部篦撫で。
4	土師器 鉢	竈	口径 (11.8) 底径 6.4 器高 8.0	①普通 ②暗橙色 ③褐色粒・雲母若干 ④1/3	外面 口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
5	土師器 甕		口径 10.8 底径 8.3 器高 23.1	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・角閃石・礫 ④完形	外面 口縁部篦磨き、胴部篦削り、底部篦撫で。 内面 口縁部横撫で、胴部篦磨き、下位～底部篦撫で。
6	土師器 長胴甕	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒･褐色粒･礫 ④胴部上位～下位2/3	外面 篦削り。 内面 篦撫で。
7	土師器 甑	一括	口径 27.8 底径 10.1 器高 28.0	①普通 ②鈍い橙色 ③褐色粒 ④2/5	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
8	土師器 甑	一括	口径 24.2 底径 9.2 器高 30.0	①良好 ②鈍い橙色 ③白色粒・褐色粒 ④9/10	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部撫で後縦位磨き。

17号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 14.4 底径 — 器高 5.2	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐色粒・角閃石 ④9/10	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後放射状磨き。
2	土師器 坏	一括	口径 (15.1) 底径 — 器高 5.7	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・角閃石・雲母 ④1/2	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
3	土師器 坏	一括	口径 15.5 底径 — 器高 6.7	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・雲母若干 ④1/2	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
4	土師器 坏		口径 14.1 底径 — 器高 5.0	①普通 ②鈍い暗橙色 ③白色粒・褐色土 ④4/5	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
5	土師器 坏		口径 14.0 底径 — 器高 5.0	①良好 ②鈍い橙色 ③白色粒・褐色粒・角閃石 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 撫で後磨き。
6	土師器 坏		口径 13.8 底径 — 器高 5.3	①良好 ②鈍い暗橙色 ③白色粒・礫・石英 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
7	土師器 坏		口径 13.9 底径 — 器高 4.5	①普通 ②暗橙色 ③白色粒・角閃石 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 撫で後磨き。

第45表　15～17号住居址出土土器観察表

17号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
8	土師器 坏	貯蔵穴	口径 13.2 底径 — 器高 5.0	①良 ②暗橙色 ③白色粒 ④4/5	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 撫で後磨き。
9	土師器 坏		口径 12.1 底径 — 器高 4.7	①良 ②暗橙色 ③白色粒 ④9/10	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 撫で後磨き。
10	土師器 坏		口径 12.6 底径 — 器高 5.6	①普通 ②鈍い橙色～暗褐色 ③白色粒・角閃石・雲母若干 ④7/8	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 撫で後磨き、黒色処理。
11	土師器 坏	一括	口径 (15.1) 底径 — 器高 (7.2)	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・雲母若干 ④口縁部～体部下位1/4	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
12	土師器 甕		口径 22.2 底径 — 器高 —	①普通 ②褐色～暗褐色 ③褐色粒・礫・石英 ④口縁部～胴部3/5	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部撫で後磨き。
13	土師器 甕	一括	口径 — 底径 6.6 器高 —	①普通 ②鈍い暗橙色 ③褐色粒･石英 ④胴部下位～底部1/8	外面 篦削り。 内面 篦撫で。
14	土師器 甕	一括	口径 12.5 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色～暗褐色 ③褐色粒・角閃石 ④口縁部～胴部下位1/3	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
15	土師器 小型甕		口径 (10.4) 底径 5.5 器高 11.3	①やや不良 ②鈍い橙色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒 ④3/5	外面 口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。

18号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 12.3 底径 — 器高 5.8	①普通 ②鈍い橙色 ③褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部～体部上位横撫で、体部中位以下撫で。
2	土師器 坏	一括	口径 (11.7) 底径 — 器高 7.6	①やや不良 ②鈍い橙色 ③褐色粒・黒色粒 ④1/3	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で。
3	土師器 小型甕	貯蔵穴 一括	口径 (11.5) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③褐色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部下位1/3	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
4	土師器 甕	貯蔵穴	口径 (20.4) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色～暗褐色 ③褐色粒・礫 ④口縁部～胴部中位1/6	外面 口縁部横撫で、口縁～胴の屈曲部篦撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
5	土師器 甕		口径 17.0 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色～暗褐色 ③白色粒若干・褐色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部下位2/3	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
6	土師器 甑	貯蔵穴	口径 28.6 底径 19.2 器高 28.7	①普通 ②鈍い黄橙色 ③褐色粒・礫 ④4/5	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り、胴部上位輪積み痕顕著。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で、胴部輪積み痕顕著。

19号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 長胴甕	№1 一括	口径 19.1 底径 3.5 器高 32.5	①普通 ②鈍い暗橙色～暗褐色 ③白色粒・黒色粒・礫 ④2/3	外面 口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
2	土師器 小型甕	№2	口径 10.8 底径 6.7 器高 11.8	①普通 ②褐色 ③白色粒・褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
3	土師器 甑	竈	口径 16.3 底径 — 器高 13.6	①普通 ②鈍い橙色～褐色 ③白色粒・褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、一部横撫で後篦削り。 内面 口縁部～胴部上位横撫で、胴部中位以下篦撫で。

21号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 (12.0) 底径 — 器高 6.2	①普通 ②鈍い橙色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒・黒色粒 ④1/2	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で。
2	土師器 坏	一括	口径 (12.5) 底径 — 器高 6.5	①普通 ②鈍い明橙色 ③褐色粒・礫 ④2/5	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で。
3	土師器 鉢	一括	口径 (11.2) 底径 (6.6) 器高 6.0	①普通 ②褐色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒 ④1/3	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。

第46表　17～19号・21号住居址出土土器観察表

21号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
4	土師器 甕	一括	口径　— 底径　— 器高 (14.7)	①普通　②黄橙色　③褐色粒・黒色粒　④胴部上位～下位1/8	外面　篦削り。 内面　篦撫で、接合痕顕著。
5	土師器 甕	一括	口径 (14.8) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・礫　④口縁部～胴部上位破片	外面　口縁部～胴部上位横撫で。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
6	土師器 甕	一括	口径　— 底径　6.0 器高 (8.5)	①普通　②鈍い橙色～褐色　③白色粒・石英・雲母若干　④胴部下位～底部破片	外面　胴部篦削り。 内面　胴部篦撫で。
7	土師器 甕	一括	口径　— 底径　7.0 器高　—	①普通　②暗褐色　③白色粒・褐色粒　④胴部下位～底部1/10	外面　篦削り。 内面　篦撫で。
8	土師器 甕	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・石英・礫　④胴部下位1/10	外面　篦削り。 内面　篦撫で。

22号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏		口径 (12.1) 底径　4.0 器高　4.0	①普通　②黄橙色　③褐色粒　④1/2	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部篦撫で。
2	土師器 坏	一括	口径 (13.3) 底径　— 器高　—	①良好　②鈍い橙色　③褐色粒・雲母　④口縁部～体部下位1/3	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後磨き。
3	土師器 坏	№3	口径 (11.4) 底径　— 器高　5.5	①普通　②暗橙色　③褐色粒・礫　④1/2	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後磨き。
4	土師器 甕	一括	口径　— 底径　6.1 器高　—	①普通　②鈍い橙色～暗褐色　③褐色粒　④胴部中位～底部1/4	外面　胴部～底部篦削り。 内面　胴部～底部篦撫で。
5	土師器 甕		口径 (19.7) 底径　— 器高　—	①普通　②暗褐色　③褐色粒・石英・片岩　④口縁部～胴部上位破片	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

23号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 12.5 底径　— 器高　6.1	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒　④4/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部篦撫で。
2	土師器 坏	竈 一括	口径 (12.8) 底径　— 器高　6.6	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒　④1/4	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後磨き。

24号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 11.9 底径　— 器高 (4.9)	①普通　②橙色　③褐色粒　④口縁部～体部下位1/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後磨き？(不明瞭)、黒色処理。

25号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 (13.0) 底径　— 器高　4.6	①普通　②橙色　③白色粒・褐色粒　④2/3	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後磨き(不明瞭)。
2	土師器 甕		口径 (13.3) 底径　— 器高　—	①普通　②褐色　③褐色粒　④口縁部～胴部下位1/4	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
3	土師器 甕		口径 (15.4) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・礫　④口縁部胴部上位破片	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
4	土師器 甕		口径 16.2 底径　— 器高　—	①普通　②褐色　③褐色粒・礫　④口縁部～胴部上位1/5	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

26・27号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	D 1	口径 12.3 底径　— 器高　4.7	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒　④3/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後磨き、黒色処理。
2	土師器 坏	一括	口径 13.0 底径　— 器高　5.7	①普通　②明橙色～褐色　③褐色粒　④2/3	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で、黒色処理。

第47表　21～27号住居址出土土器観察表

26・27号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
3	土師器 坏	一括	口径 (12.9) 底径　— 器高　5.0	①普通　②橙色　③白色粒　④1/2	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で。
4	土師器 坏	一括	口径 (12.9) 底径　— 器高　5.0	①普通　②橙色　③白色粒　④1/2	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で。
5	土師器 坏	一括	口径 (14.0) 底径　— 器高　4.5	①普通　②明橙色～褐色　③褐色粒　④1/3	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部～体部上位撫で後磨き、体部中位～下位篦撫で。
6	土師器 坏	一括	口径 (11.5) 底径　— 器高　4.4	①良好　②黄橙色　③褐色粒　④2/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後磨き、黒色処理。
7	土師器 坏	一括	口径 (13.8) 底径　— 器高　4.9	①普通　②橙色　③白色粒・雲母若干　④2/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後磨き。
8	土師器 坏	一括	口径　11.7 底径　— 器高　5.6	①普通　②明橙色 ③白色粒・褐色粒・礫　④4/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部～体部上位横撫で、体部中位～下位篦撫で。
9	土師器 坏	一括	口径　12.8 底径　— 器高　5.2	①普通　②鈍い暗橙色　③白色粒・褐色粒　④2/3	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後磨き。
10	土師器 小型甕	Ｄ１	口径　14.5 底径　6.0 器高　18.5	①普通　②鈍い橙色～暗褐色 ③褐色粒・石英　④4/5	外面　口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
11	土師器 小型甑	一括	口径　11.5 底径　3.4 器高　12.4	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒　④4/5	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
12	土師器 小型甕	一括	口径　— 底径　5.8 器高　—	①普通　②暗褐色　③褐色粒・石英・礫　④胴部中位～底部1/5	外面　篦削り。 内面　篦撫で。
13	土師器 甕		口径　16.8 底径　5.0 器高　22.5	①普通　②暗褐色　③白色粒・チャート　④完形	外面　口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。

28号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	竈 一括	口径 (13.0) 底径　— 器高　6.5	①普通　②鈍い橙色～暗褐色 ③褐色粒・礫　④1/3	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部篦撫で。
2	土師器 坏		口径 (11.8) 底径　— 器高　6.4	①普通　②黒褐色　③白色粒・褐色粒　④1/2	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部篦撫で。
3	弥生土器 高坏	一括	口径 (21.0) 底径　9.4 器高　9.7	①普通　②赤褐色　③褐色粒　④1/3	弥生時代遺物の流れ込み 外面　口唇部に双頭の小突起あり（６単位か）、口縁部横撫で、体部削り後撫で？(不明瞭)、脚部削り後磨き？(不明瞭)体部～脚部赤色塗彩。 内面　口縁部横撫で、体部撫で、体部赤色塗彩、脚部磨き。
4	土師器 小型鉢	貯蔵穴	口径 (13.0) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い暗橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～体部下位1/4	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
5	土師器 甕		口径　15.4 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・角閃石・雲母若干　④口縁部～胴部中位1/3	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
6	土師器 甕	竈 一括	口径　16.6 底径 (8.1) 器高　32.5	①普通　②暗渇色　③褐色粒・石英　④3/5	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
7	土師器 甕	№７ 貯蔵穴 一括	口径　16.2 底径　6.0 器高　29.5	①普通　②鈍い橙色～褐色　③褐色粒・雲母若干　④3/4	外面　口縁部横撫で、胴部～底部篦削り、胴部下位の一部は篦削り後磨き。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
8	土師器 小型甕		口径　15.4 底径　5.1 器高　11.5	①普通　②鈍い橙色～褐色　③褐色粒　④2/3	外面　口縁部横撫で、一部横撫で後篦削り、胴部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
9	土師器 小型甕		口径　9.8 底径　— 器高　9.8	①普通　②鈍い橙色～暗褐色 ③白色粒・角閃石　④完形	外面　口縁部横撫で、一部横撫で後篦削り、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
10	土師器 甑		口径　— 底径 (9.4) 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③褐色粒・礫　④胴部中位～下位	外面　篦削り。 内面　篦撫で。
11	土師器 甕又は 甑？		口径　— 底径　— 器高 (23.7)	①普通　②鈍い橙色～暗褐色 ③褐色粒・礫　④9/10	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

第48表　26～28号住居址出土土器観察表

28号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
12	土師器 小型甕	一括	口径 (12.0) 底径　1.4 器高　9.6	①普通　②鈍い明橙色～褐色 ③白色粒～褐色粒　④1/2	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
13	土師器 甑	一括	口径　— 底径　6.5 器高　—	①普通　②暗褐色　③白色粒・褐色粒・礫　④1/3	外面　篦削り。 内面　篦撫で。

29号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 小型壺	№1	口径　— 底径　4.5 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③褐色粒・黒色粒　④4/5	外面　口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面　口縁部～胴部上位横撫で、胴部下位～底部篦撫で。
2	土師器 甕	一括	口径　— 底径 (5.8) 器高　—	①普通　②黄橙色　③褐色粒・礫　④胴部下位～底部破片	外面　篦削り。 内面　篦撫で。

30号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 15.5 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い暗橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～体部上位破片	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

31号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	貯蔵穴 一括	口径 14.0 底径　— 器高　5.8	①良好　②鈍い暗橙色 ③白色粒・雲母　④9/10	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後磨き。
2	土師器 坏	一括	口径 (12.6) 底径　— 器高　5.5	①良好　②暗橙色 ③白色粒・黒色粒　④7/8	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
3	土師器 小型甕	一括	口径 15.0 底径　5.7 器高 10.8	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・黒色粒・雲母・礫　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面　篦撫で。
4	土師器 甕		口径 (14.7) 底径　6.9 器高 28.2	①良好　②鈍い橙色　③褐色粒・礫　④1/2	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
5	土師器 甕	一括	口径 (17.4) 底径　— 器高　—	①普通　②暗橙色～暗褐色　③褐色粒・礫　④口縁部～底部下位3/5	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
6	土師器 甕		口径 15.4 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部下位1/2	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
7	土師器 甕	貯蔵穴 一括	口径 17.5 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・褐色粒・角閃石　④口縁部～胴部上位1/8	外面　口縁部横撫で、一部篦撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
8	土師器 甕	一括	口径 (17.6) 底径　— 器高　—	①普通　②暗褐色　③白色粒・褐色粒・黒色粒　④口縁部～胴部中位1/5	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
9	土師器 甕	一括	口径　— 底径　7.0 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色～褐色 ③白色粒・褐色粒・礫　④胴部中位～底部1/8	外面　篦削り。 内面　篦撫で。
10	土師器 甕		口径　— 底径　6.6 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③白色粒･黒色粒･礫　④胴部中位～底部	外面　篦削り。 内面　篦撫で。
11	土師器 甕	貯蔵穴 一括	口径　— 底径　8.5 器高　—	①普通　②鈍い暗橙色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒・石英・雲母 ④胴部上位～底部1/2	外面　篦削り。 内面　篦撫で。
12	土師器 小型甕	一括	口径 15.9 底径　— 器高 12.2	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・礫　④ほぼ完形	外面　口縁部～胴部上位横撫で、胴部中位～下位篦削り、輪積み痕が顕著。 内面　口縁部～胴部上位横撫で、胴部中位～下位篦撫で。
13	土師器 甑		口径 26.0 底径　9.8 器高 31.0	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・褐色粒・石英　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り、口縁部輪積み痕顕著。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

32号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏		口径 (11.6) 底径　— 器高　4.5	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒・礫　④1/2	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部磨き、黒色処理。

第49表　28～32号住居址出土土器観察表

32号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
2	土師器 坏	一括	口径 11.7 底径 — 器高 6.8	①普通 ②鈍い暗橙色 ③黒色粒 ④9/10	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き、黒色処理。
3	土師器 坏	一括	口径 (11.5) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～体部下位2/3	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 撫で後磨き、黒色処理。
4	土師器 坏	一括	口径 (12.4) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い暗橙色 ③白色粒・雲母 ④口縁部～体部下位1/5	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 撫で後磨き、黒色処理。
5	土師器 坏		口径 (15.8) 底径 — 器高 —	①良好 ②鈍い橙色 ③黒色粒・褐色粒 ④口縁部～体部1/3	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、一部横撫で後篦撫で、体部撫で。
6	土師器 高坏	一括	口径 15.2 底径 13.3 器高 15.1	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・褐色粒・礫 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部篦削り、脚部上位～中位篦削り、下位横撫で。 内面 口縁部横撫で、体部撫で、体部内面黒色処理、脚部撫で、下位横撫で、脚部に三ヶ所透かし。
7	土師器 甕	一括	口径 23.6 底径 — 器高 (19.5)	①普通 ②鈍い橙色～黄橙色 ③褐色粒・黒色粒・礫 ④口縁部～胴部1/5	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
8	土師器 甕	貯蔵穴	口径 — 底径 10.2 器高 —	①普通 ②鈍い橙色～暗褐色 ③褐色粒・礫 ④胴部中位～底部1/5	外面 篦削り。 内面 篦撫で。
9	土師器 甕	一括	口径 (25.0) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③褐色粒・礫 ④口縁部～胴部中位破片	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
10	土師器 甕	一括	口径 16.8 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色～暗褐色 ③褐色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部中位1/3	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
11	土師器 甕	一括	口径 (16.8) 底径 — 器高 —	①普通 ②灰色～褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部中位1/5	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
12	土師器 小型甑	一括	口径 15.7 底径 3.7 器高 18.3	①普通 ②鈍い暗橙色 ③褐色粒 ④4/5	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。

33号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 小型甕	一括	口径 — 底径 3.5 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・褐色粒 ④胴部中位～底部1/2	外面 篦削り。 内面 篦撫で。
2	土師器 甕	一括	口径 — 底径 10.4 器高 —	①良好 ②明褐色 ③白色粒・褐色粒 ④胴部中位～底部	外面 篦削り又は篦撫で。 内面 篦撫で。
3	土師器 甕		口径 (20.0) 底径 8.3 器高 29.9	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・石英・礫 ④2/5	外面 口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
4	土師器 甑		口径 22.0 底径 8.6 器高 26.5	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・褐色粒・礫 ④2/3	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り、下位のみ篦撫でか？胴部上位～中位接合痕顕著。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。

35号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏		口径 9.9 底径 — 器高 3.5	①良好 ②黒褐色 ③白色粒・雲母 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部篦削り、黒色処理。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き、黒色処理。
2	土師器 甕	一括	口径 17.8 底径 4.2 器高 33.8	①普通 ②鈍い暗橙色～褐色 ③白色粒・褐色粒・礫 ④9/10	外面 口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。

36号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 (10.8) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い暗橙色 ③褐色粒・礫 ④口縁部～体部下位破片	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で？(不明瞭)

37号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 高坏		口径 — 底径 (15.0) 器高 —	①普通 ②橙色 ③褐色粒・雲母 ④脚部1/2	外面 上位～中位篦削り、下位横撫で。 内面 上位～中位篦撫で、接合痕顕著、下位横撫で。

第50表　32号・33号・35～37号住居址出土土器観察表

37号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
2	土師器 甕	一括	口径　— 底径 (4.0) 器高　—	①普通　②暗橙色　③褐色粒・礫　④口縁部下位～底部2/1	外面　口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
3	土師器 長胴甕		口径 18.7 底径　5.8 器高 35.5	①やや不良　②鈍い橙色～褐色　③白色粒・片岩・白色礫(チャート？)　④9/10	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
4	土師器 甕	貯蔵穴	口径 (18.4) 底径　— 器高　—	①良好　②黄橙色　③褐色粒　④口縁部～胴部上位破片	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
5	土師器 甕	一括	口径 17.0 底径　— 器高　—	①やや不良　②鈍い橙色　③白色粒・白色礫　④口縁部～胴部中位1/5？	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
6	土師器 甑	一括	口径 22.5 底径　9.5 器高 28.8	①普通　②黄橙色　③白色粒・礫　④2/5	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

38号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	竈 一括	口径 14.0 底径　— 器高　5.2	①普通　②橙色　③褐色粒・赤褐色礫　④3/4	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　横撫で又は撫で後磨き。
2	土師器 坏	一括	口径 13.3 底径　— 器高　5.7	①良好　②鈍い橙色　③褐色粒・雲母　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部篦撫で後上半に磨き。
3	土師器 坏	竈 一括	口径 (12.3) 底径　— 器高　6.9	①普通　②鈍い橙色～暗褐色　③白色粒・褐色粒・礫　④3/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部篦撫で。
4	土師器 甕		口径 16.9 底径　6.5 器高 29.0	①普通　②鈍い橙色～褐色　③白色粒・褐色粒・チャート　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
5	土師器 甕	竈	口径　— 底径　— 器高 (19.8)	①普通　②黄橙色　③褐色粒・礫　④胴部1/4	外面　篦削り。 内面　篦撫で。
6	土師器 甕	一括	口径 13.4 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色～暗褐色　③褐色粒・雲母若干　④口縁部～胴部下位2/3	外面　口縁部横撫で、一部横撫で後篦削り、胴部篦削り、口縁部輪積み痕顕著。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
7	土師器 甕	一括	口径 (15.5) 底径　5.5 器高 12.4	①普通　②鈍い暗橙色　③褐色粒・雲母若干　④4/5	外面　口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
8	土師器 甕	竈	口径 (16.4) 底径　— 器高　—	①良好　②鈍い黄橙色　③褐色粒・雲母若干　④口縁部～胴部中位1/4	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
9	土師器 甕	一括	口径 19.2 底径　— 器高　—	①普通　②黄橙色　③白色粒・褐色粒・礫　④口縁部～胴部上位1/8	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
10	土師器 甕	一括	口径　— 底径　7.0 器高　—	①普通　②鈍い暗橙色～暗褐色　③白色粒・黒色粒・礫　④胴部下位～底部破片	外面　篦削り。 内面　篦撫で。
11	土師器 甕	一括	口径　— 底径　7.7 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒　④胴部中位～底部1/4？	外面　篦削り又は篦撫で。 内面　篦撫で。
12	土師器 壺	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②黄橙色　③褐色粒　④胴部～底部2/5	外面　篦削り。 内面　篦撫で。
13	土師器 甑	一括	口径 (20.4) 底径　— 器高　—	①良好　②黄橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部上位破片	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
14	土師器 甑	竈 一括	口径　— 底径　6.3 器高　—	①普通　②黄橙色～褐色　③白色粒・褐色粒　④胴部中位～下位1/10	外面　篦削り。 内面　篦撫で。

39号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	D 5	口径 (14.0) 底径　— 器高　—	①普通　②橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～体部下位破片	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で。
2	土師器 高坏	D 1	口径 13.9 底径　— 器高　—	①良好　②暗橙色　③褐色粒　④口縁部～脚部中位	外面　口縁部横撫で、体部篦削り、脚部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で、脚部篦撫で。

第51表　37～39号住居址出土土器観察表

39号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
3	須恵器 蓋	D２ 一括	口径 (12.8) 摘み径 — 器高 —	①良好 / 還元　②灰色　③黒色粒　④甲部～口縁部破片	外面　轆轤成形、甲部回転篦削り。 内面　轆轤成形。

40号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 (13.0) 底径 — 器高 4.3	①普通　②暗橙色　③褐色粒　④1/4	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　磨き、黒色処理。
2	土師器 高坏	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通　②橙色　③褐色粒・雲母　④体部中位～脚部下位1/2	外面　篦削り。 内面　体部撫で後、放射状磨き？(不明瞭)、脚部篦撫で、脚部内面輪積み痕顕著。
3	土師器 ミニチュア鉢	一括	口径 (7.4) 底径 2.2 器高 3.1	①普通　②黄橙色　③褐色粒　④1/2	外面　口縁部横撫で、胴部篦撫で又は篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

41号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	貯蔵穴	口径 (12.0) 底径 — 器高 5.2	①良好　②暗橙色　③褐色粒・雲母　④1/2	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　撫で後口縁部～体部上位に磨き、黒色処理。
2	土師器 甕	貯蔵穴	口径 17.4 底径 7.5 器高 31.5	①普通　②鈍い暗橙色　③白色粒・褐色粒・礫　④4/5	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、一部横撫で後篦撫で、胴部篦撫で。
3	土師器 甕	一括	口径 18.8 底径 — 器高 —	①良好　②暗橙色　③白色粒・黒色粒・石英　④口縁部～胴部中位3/5	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
4	土師器 甑	一括	口径 (22.4) 底径 8.0 器高 22.0	①やや不良　②鈍い黄橙色　③褐色粒・礫　④1/3	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り、一部篦削り後撫で。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

42号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 9.6 底径 — 器高 4.0	①普通　②橙色　③褐色粒　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、一部篦撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部篦撫で。
2	土師器 甕	一括	口径 14.8 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・褐色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位2/5	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
3	土師器 甕	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①良好　②鈍い暗橙色　③褐色粒　④胴部上位～中位破片	外面　磨き。 内面　篦撫で一部磨き。

43号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	竈 一括	口径 14.0 底径 — 器高 4.7	①良好　②鈍い橙色　③褐色粒・雲母若干　④3/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後上半に磨き。
2	土師器 高坏	一括	口径 9.5 底径 9.0 器高 10.5	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・褐色粒　④9/10	外面　口縁部横撫で、体部篦削り、脚部上位～中位篦削り、脚部下位横撫で。 内面　体部横撫で又は撫で後磨き、脚部上半篦撫で、下半横撫で。
3	土師器 小型鉢	一括	口径 10.0 底径 7.0 器高 7.0	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・礫　④3/4	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
4	土師器 甕	一括	口径 (22.8) 底径 — 器高 —	①普通　②黄橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部上位1/10	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

44号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 (13.0) 底径 — 器高 3.8	①普通　②暗褐色　③白色粒・褐色粒・雲母　④1/2	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部篦撫で、黒色処理。
2	土師器 坏	一括	口径 (13.9) 底径 — 器高 (3.8)	①普通　②鈍い褐色　③褐色粒　④3/10	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で。
3	土師器 坏	竈 一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い暗橙色　③褐色粒・雲母　④口縁部中位以下2/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部篦撫で。

第52表　39～44号住居址出土土器観察表

44号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
4	土師器 甕	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い暗橙色　③褐色粒・チャート　④胴部破片	外面　箆削り。 内面　箆撫で。
5	土師器 甕	一括	口径 (19.0) 底径　— 器高　—	①普通　②暗褐色　③褐色粒・礫　④口縁部～胴部中位1/8	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で、胴部輪積み痕顕著。
6	土師器 甑	P 1 一括	口径 (23.3) 底径　8.5 器高 25.2	①普通　②鈍い橙色～黄橙色　③白色粒・褐色粒・石英　④3/4	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で後磨き。
7	須恵器 はそう		口径　— 底径　2.0 器高　—	①良好 / 還元　②灰色　③白色粒　④4/5	内外とも一部に自然釉付着

45号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	竈	口径 (15.4) 底径　— 器高　7.4	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・黒色粒・雲母若干　④2/5	外面　口縁部横撫で、体部箆削り。 内面　口縁部横撫で、体部箆撫で。
2	土師器 坏	貯蔵穴	口径 10.8 底径　— 器高　7.7	①良好　②橙色　③白色粒・雲母　④完形	外面　口縁部横撫で、体部箆削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
3	須恵器 坏		口径 10.2 底径　— 器高　5.4	①不良 / 弱還元　②褐灰色　③白色粒　④9/10	外面　口縁部横撫で、体部箆削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で。
4	土師器 甕	D 1	口径 (16.2) 底径　7.6 器高 27.4	①普通　②黄橙色　③白色粒・褐色粒・礫　④2/3	外面　口縁部横撫で、胴部～底部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部箆撫で。
5	土師器 甕	D 1	口径 (18.5) 底径　6.4 器高 28.0	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・礫　④3/4	外面　口縁部横撫で、胴部～底部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部箆撫で。
6	土師器 甕	D 1	口径 (19.8) 底径　— 器高　—	①良好　②鈍い橙色～暗褐色　③褐色粒・黒色粒　④口縁部～胴部下位1/5	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
7	土師器 甕	D 1	口径 18.7 底径　— 器高　—	①普通　②黄橙色　③褐色粒・礫　④口縁部～胴部下位3/5	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
8	土師器 甕	D 1	口径 16.8 底径　— 器高　—	①良好　②鈍い暗橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部中位1/5	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
9	土師器 甕	D 1	口径 (18.1) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・礫　④口縁部～胴部上位1/8	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
10	土師器 小型甕	D 1	口径 13.4 底径　5.6 器高 16.1	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒・礫　④9/10	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
11	土師器 甕	貯蔵穴	口径 (22.0) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・角閃石・礫　④口縁部～胴部下位1/2	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り、輪積み痕顕著。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
12	土師器 甑	D 1	口径 (23.1) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③褐色粒・黒色粒・角閃石　④口縁部～胴部1/4	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
13	土師器 甑	貯蔵穴	口径 21.8 底径　7.8 器高 21.4	①普通　②鈍い橙色～褐色　③褐色粒・礫　④7/8	外面　口縁部横撫で又は箆撫で、胴部箆削り、口縁部～胴部上位輪積み痕顕著。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
14	土師器 小型甑		口径 16.5 底径　4.0 器高 11.3	①普通　②黄橙色　③褐色粒　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。

46号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 壺	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①良好　②暗橙色　③白色粒・雲母　④胴部上位～底部	外面　胴部上半箆削り後磨き、下半箆削り。 内面　箆撫で。
2	土師器 小型甕	貯蔵穴	口径 11.4 底径　5.6 器高 10.5	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・雲母・礫　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
3	土師器 甕	一括	口径 (22.4) 底径　— 器高　—	①普通　②黄橙色　③褐色粒　④口縁部～胴部上位破片	外面　口縁部横撫で、口縁部下位に段差を有する、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。

第53表　44～46号住居址出土土器観察表

47号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	竈	口径 (13.7) 底径　— 器高　6.0	①良好　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒・雲母　④2/3	外面　口縁部横撫で、体部上位撫で、中位～下位箆削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後上半に磨き。
2	土師器 坏	一括	口径 (13.9) 底径　— 器高　5.3	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・雲母　④2/5	外面　口縁部横撫で、体部箆削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後上半に磨き、黒色処理。
3	土師器 坏		口径 13.5 底径　— 器高　5.0	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・雲母　④1/2	外面　口縁部横撫で、体部箆削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後上半に磨き。
4	土師器 坏	一括	口径 11.8 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③褐色粒　④口縁部～体部下位4/5	外面　口縁部横撫で、体部箆削り。 内面　口縁部横撫で、体部箆撫で。
5	土師器 坏	№5 一括	口径 13.0 底径　— 器高　6.3	①普通　②橙色　③白色粒・石英　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、体部箆削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で。
6	土師器 高坏	竈	口径 13.0 底径 (9.2) 器高　8.7	①良好　②暗橙色　③白色粒・褐色粒　④7/8	外面　口縁部横撫で、体部箆削り、脚部撫で後磨き。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後磨き、脚部上位撫で、中位箆撫で、下位横撫で。
7	土師器 高坏	一括	口径 (13.8) 底径　9.0 器高　9.4	①良好　②橙色　③褐色粒　④2/5	外面　口縁部横撫で、体部箆削り、脚部撫で又は横撫で後磨き。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後磨き、脚部上位～中位箆撫で、脚部下位横撫で。
8	土師器 鉢	一括	口径 16.1 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③褐色粒・雲母　④口縁部～胴部2/5	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
9	土師器 甕	P 1	口径 (16.2) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒・礫　④口縁部～胴部中位1/10	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
10	土師器 甕	一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②橙色　③褐色粒・礫　④胴部1/5	外面　箆削り後一部に櫛歯状工具(?)による条痕。 内面　箆撫で。
11	土師器 甕	一括	口径 23.6 底径　— 器高　—	①普通　②黄橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部上位1/10	外面　口縁部上位横撫で、中位～下位箆撫で後横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
12	土師器 甕	貯蔵穴	口径 15.0 底径　— 器高　—	①良好　②鈍い黄橙色　③褐色粒・雲母　④口縁部～胴部中位1/8	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
13	土師器 甕	貯蔵穴	口径 (18.6) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色～褐色　③褐色粒・雲母　④口縁部～胴部1/8	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、一部箆撫で、胴部箆撫で。
14	土師器 甕	一括	口径 11.0 底径　— 器高　—	①普通　②暗渇色　③褐色粒　④1/3	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、一部箆撫で、胴部箆撫で。
15	土師器 甕	一括	口径 (18.3) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③褐色粒　④口縁部～胴部上位1/8	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。
16	土師器 甑	一括	口径 21.8 底径 10.0 器高 28.0	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒・石英・礫　④9/10	外面　口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面　口縁部横撫で、胴部箆撫で。

48号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	一括	口径 (12.8) 底径　— 器高　5.7	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・赤褐色礫　④2/5	外面　口縁部～体部上位横撫で、体部中位～下位箆削り。 内面　口縁部横撫で、一部横撫で後磨き、体部撫で後上半に磨き。
2	土師器 坏	一括	口径 13.8 底径　— 器高　5.6	①普通　②橙色　③褐色粒　④3/5	外面　口縁部～体部上位横撫で、体部中位～下位箆削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
3	土師器 坏	一括	口径 14.8 底径　— 器高　5.2	①普通　②橙色　③褐色粒・角閃石・雲母　④ほぼ完形	外面　口縁部～体部上位横撫で、体部中位～下位箆削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
4	土師器 坏	一括	口径 (12.7) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い暗橙色　③褐色粒・雲母　④口縁部～体部中位1/4	外面　口縁部雑な横撫で、体部箆削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で。
5	土師器 坏		口径 11.9 底径　— 器高　5.0	①良好　②橙色　③褐色粒　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、体部箆削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で後磨き(磨き不明瞭)。

第54表　47号・48号住居址出土土器観察表

48号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
6	土師器 坏		口径 14.1 底径 — 器高 5.7	①普通 ②黄橙色 ③褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で。
7	土師器 坏	一括	口径 14.9 底径 — 器高 —	①普通 ②橙色 ③褐色粒 ④口縁部～体部上位	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で。
8	土師器 坏		口径 14.6 底径 — 器高 7.9	①普通 ②橙色 ③褐色粒 ④2/3	外面 口縁部横撫で、一部横後撫で後篦削り、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後放射状磨き。
9	土師器 坏	一括	口径 13.4 底径 — 器高 6.1	①普通 ②鈍い橙色 ③褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で。
10	土師器 坏	一括	口径 11.3 底径 — 器高 6.1	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・褐色粒 ④9/10	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で。
11	土師器 高坏？	一括	口径 14.6 底径 — 器高 —	①良好 ②黄橙色 ③褐色粒 ④体部1/2	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で。
12	土師器 椀？		口径 13.6 底径 — 器高 8.9	①良好 ②黄橙色 ③褐色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後放射状磨き。
13	土師器 鉢	一括	口径 (11.8) 底径 4.6 器高 5.5	①普通 ②黄橙色 ③褐色粒 ④2/5	外面 口縁部横撫で、胴部～底部篦削り。 内面 口縁部～胴部上位横撫で、胴部中位～底部篦撫で。
14	土師器 甕	一括	口径 16.8 底径 — 器高 —	①普通 ②黄橙色 ③褐色粒 ④口縁部～胴部上位破片	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り、口縁部下位に段差を有する。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
15	土師器 甕	一括	口径 (15.3) 底径 — 器高 —	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒・雲母 ④口縁部～胴部下位1/5	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
16	土師器 甑	一括	口径 (21.0) 底径 (6.1) 器高 25.1	①普通 ②鈍い暗橙色 ③褐色粒・石英 ④1/4	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。

49号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	貯蔵穴	口径 22.2 底径 6.9 器高 29.5	①普通 ②黄橙色 ③白色粒・褐色粒 ④7/8	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
2	土師器 甕		口径 (16.0) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い暗橙色 ③褐色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位1/4	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
3	土師器 甑	貯蔵穴	口径 — 底径 6.0 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・褐色粒・石英・雲母 ④胴部中位～下位1/5	外面 篦削り。 内面 篦撫で。
4	土師器 甑	一括	口径 (20.8) 底径 4.5 器高 14.5	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・褐色粒 ④2/5	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。

50号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	貯蔵穴	口径 (11.6) 底径 — 器高 5.5	①良好 ②橙色 ③褐色粒 ④3/5	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で。
2	土師器 坏	貯蔵穴	口径 13.4 底径 — 器高 5.4	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・褐色粒・石英 ④2/3	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で。
3	土師器 坏	貯蔵穴	口径 (12.8) 底径 — 器高 —	①良好 ②橙色 ③褐色粒 ④口縁部～体部中位2/5	外面 口縁部横撫で、体部篦削り。 内面 口縁部横撫で、体部篦撫で。
4	土師器 小型甕	貯蔵穴	口径 10.9 底径 — 器高 —	①普通 ②黄橙色 ③褐色粒 ④口縁部～胴部下位1/3	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。
5	土師器 甕		口径 (18.4) 底径 6.8 器高 30.0	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・褐色粒 ④1/2	外面 口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面 口縁部横撫で、胴部篦撫で。

第55表　48～50号住居址出土土器観察表

52号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 (15.8) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い暗橙色　③褐色粒・黒色粒・礫　④口縁部～胴部中位1/5	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り、口縁部歪み有り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
2	土師器 甑	一括	口径 (18.8) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・雲母若干　④口縁部～胴部下位1/4	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部磨き。

53号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	P 1	口径 (15.1) 底径　— 器高　—	①普通　②褐灰色　③褐色粒 ④口縁部破片	外面　横撫で。 内面　横撫で。

54号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 壺	貯蔵穴	口径　8.7 底径　— 器高 (5.0)	①普通　②暗赤褐色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部中位1/8	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
2	土師器 甕	貯蔵穴	口径 (19.2) 底径　— 器高　—	①良好　②黄褐色　③褐色粒 ④口縁部～胴部中位1/10	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

57号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坏	P 1 一括	口径 12.7 底径　— 器高　4.3	①普通　②黄橙色　③褐色粒・礫　④4/5	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部篦撫で。
2	土師器 坏	P 1	口径 13.3 底径　— 器高　5.5	①良好　②橙色　③白色粒・褐色粒・雲母若干　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で後、一部に磨き、体部撫で後磨き。
3	土師器 甕		口径 16.3 底径　4.2 器高 22.0	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒・雲母　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
4	土師器 長胴甕		口径 17.0 底径　5.0 器高 36.5	①普通　②黄橙色　③白色粒・褐色粒　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。
5	土師器 小型甕？	一括	口径　— 底径　— 器高 (6.0)	①普通　②暗橙色　③褐色粒・雲母　④胴部中位～底部	外面　篦削り。 内面　篦撫で。
6	土師器 ミニチュア鉢	一括	口径　7.8 底径　4.8 器高　4.5	①普通　②黄橙色　③褐色粒 ④4/5	外面　撫で、接合痕顕著、全体に歪み有り。 内面　篦撫で。
7	土師器 甑		口径 24.4 底径　9.0 器高 26.0	①普通　②黄橙色　③褐色粒・礫　④9/10	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

一括

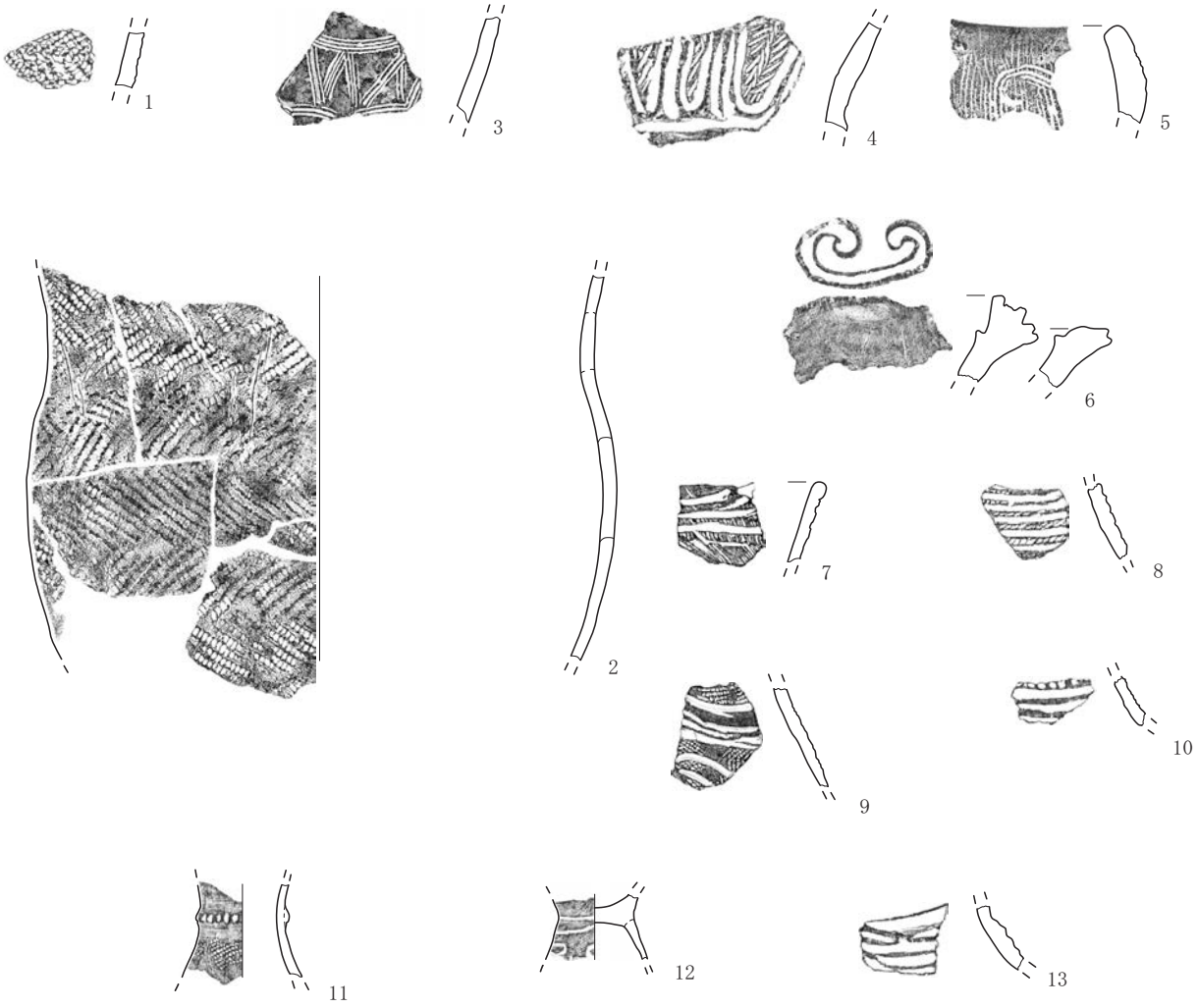
番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 高坏	一括	口径 13.2 底径　— 器高　—	①普通　②橙色　③褐色粒　④体部のみ1/2	外面　口縁部横撫で、体部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で、黒色処理。
2	土師器 甕	一括	口径　— 底径 (5.8) 器高　—	①普通　②黄橙色　③褐色粒 ④胴部下位～底部破片	外面　篦削り。 内面　篦撫で。
3	土師器 甑	一括	口径 22.4 底径　9.2 器高 24.9	①普通　②黄橙色　③白色粒・褐色粒・石英　④3/4	外面　口縁部横撫で、胴部篦削り。 内面　口縁部横撫で、胴部篦撫で。

30号住址

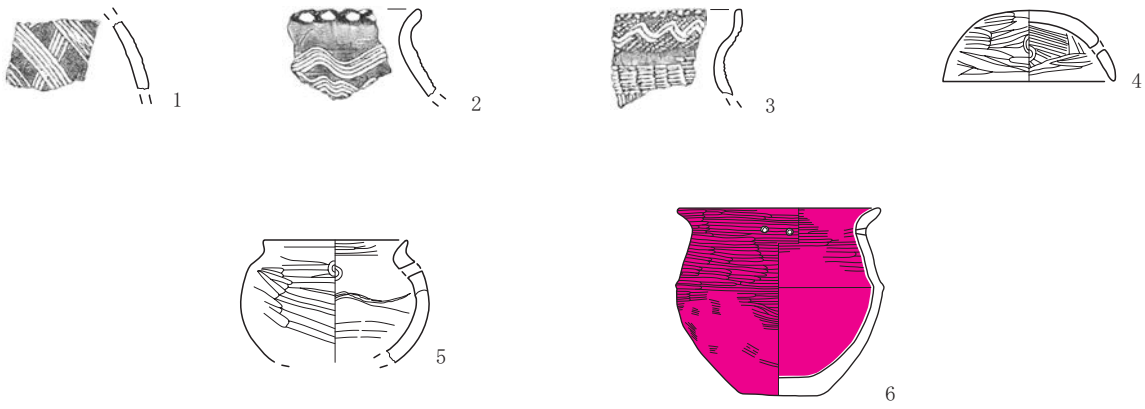
挿図番号	登録番号	遺構名	器　種	形　態	石　材	欠損	被熱	長さ(㎜)	幅(㎜)	厚さ(㎜)	重量(ｇ)	備　考
1		30住	剣型石製品		蛇紋岩			123.7	29.5	12.6	48.3	

第56表　52～54号・57号住居址、一括出土土器、30号住居址出土石器観察表

遺構外　縄文時代



遺構外　弥生時代



第95図　縄文時代・弥生時代遺構外出土土器実測図

0　1:4　20cm

遠丸遺跡土器観察表

遺構外出土　縄文土器

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	時期
1	縄文土器 深鉢	31号住 一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・雲母・植物繊維　④胴部破片	羽状縄文施文。	前期中葉
2	縄文土器 深鉢	55号住 一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・植物繊維　④胴部1/8	羽状縄文施文。	前期中葉
3	縄文土器 深鉢	22号住 一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②暗褐色　③褐色粒・雲母　④胴部破片	４本又は３本を１単位とする平行沈線による区画。	前期後葉 諸磯Ｃ式期
4	縄文土器 甕	６号住 Ｄ１	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②暗橙色　③褐色粒・黒色粒　④胴部破片	隆帯及び凹線による横位・縦位・U字状の区画、U字状区画内に斜位又は綾杉状の沈線文。	中期
5	縄文土器 深鉢	46号住 一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②暗褐色　③褐色粒・礫　④口縁部破片	縦位条線文施文後、曲線(逆U字状?)条線による区画。	中期
6	縄文土器 鉢	31号住 一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒・黒色粒・雲母　④口縁部破片	波状口縁の波頂部、口唇部に沈線と隆帯による連結渦巻状の区画、口縁部内側に横位隆帯。	後期
7	縄文土器 深鉢	７号住 一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②暗褐色　③白色粒・礫　④口縁部破片	斜位条線文施文後、横位基調凹線。	晩期
8	縄文土器 壺	12号住 一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③褐色粒　④胴部破片	縄文(無節Ｌ)施文後、横位凹線による区画。	晩期
9	縄文土器 壺	12号住 １号竪穴	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒　④胴部破片	地文縄文、浅い弧状凹線による区画と磨り消し。	晩期
10	縄文土器 壺	22号住 Ｐ４	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②暗橙色　③雲母・石英　④胴部破片	浅い横位凹線文、連続刺突文。	晩期
11	縄文土器 異形台付 土器	17号住 一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・褐色粒　④胴部破片	折曲点に刻み付横位隆帯、隆帯下位に LR 縄文施文。	晩期
12	縄文土器 台付鉢	29号住 一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③褐色粒・雲母　④胴部破片	地文縄文(LR?)、折曲点付近に２条の並行沈線を施し沈線間磨り消し、台部沈線による区画と磨り消し。	晩期
13	縄文土器 壺	７号住 竈	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②黒褐色　③褐色粒・雲母　④胴部破片	浮線網状文を施す。	晩期

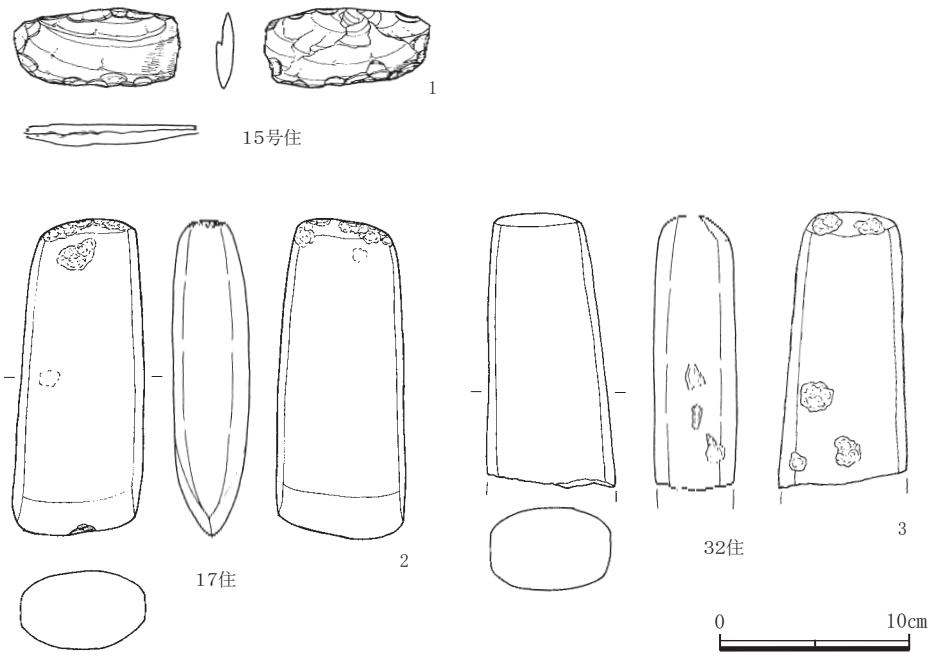
遺構外出土　弥生土器

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	45号住 貯蔵穴	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②黒褐色　③褐色粒・雲母　④胴部破片	外面　格子目状の櫛描文。 内面　磨き。
2	弥生土器 壺	22号住 竈	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②黒褐色　③褐色粒・雲母　④口縁部破片	外面　口唇部に刻み、胴部上位に波状文。 内面　撫で又は磨き。
3	弥生土器 壺	８号住 一括	口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②黄橙色　③褐色粒　④口縁部破片	外面　口唇部に刻み、口縁部縄文(RL)施文後波状文、頸部廉状文。 内面　口縁部篦撫で？頸部磨き？(不明瞭)
4	弥生土器 蓋	15号住 一括	口径　9.0 底径　— 器高　3.7	①普通　②暗橙色　③褐色粒　④ほぼ完形	二ヶ所穿孔(焼成前)有り外面・内面とも磨き有り。外面孔部上位と内面孔部下位に摩滅痕。
5	弥生土器 広口壺	15号住 一括	口径 (7.5) 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③褐色粒　④1/3	外面　口縁部横撫で、胴部磨き、胴部上位に穿孔。(焼成前) 内面　口縁部磨き、胴部篦撫で。
6	弥生土器 小形甕	24号住	口径　10.5 底径　4.5 器高　9.9	①普通　②鈍い黄褐色、赤褐色　③角閃石　④ほぼ完形	外面　口縁部～底部篦磨き、赤彩、胴部中位に凸帯。 内面　口縁部～底部篦磨き、赤彩。口縁部に焼成前の穿孔２孔１組、２対。

第57表　遺構外出土縄文土器・弥生土器観察表

小日向遠丸遺跡出土の石器（第96図）

弥生時代の遺構は検出されなかったが、古墳時代住居址覆土から弥生時代の所産と考えられる石器（スクレイパーと太型蛤刃石斧）が出土した。１は、黒色安山岩製の横刃形スクレイパーである。刃部の一部に摩耗痕（磨り痕）が観察される。半月状の形状から、打製石庖丁の可能性がある。長さ35.58㎜、幅88.24㎜、厚さ10.26㎜、重量42.3ｇである。２と３は大陸系磨製石器で輝緑岩製の太型蛤刃石斧である。出土した２点の石斧は、形態と石材の点から中期後半の「榎田型」石斧（馬場2003）であり、遺構の時期とは明らかに時期が異なる。出土状況から住居に伴うかは不明であるが、２点の磨製石斧は、古墳時代においても何らかの用途で再利用され、廃棄された可能性が考えられるため、位置づけには注意が必要である。２は、長さ186.06㎜、幅64.69㎜、厚さ39.74㎜、重量807.6ｇである。３は長さ142.3㎜、幅69.77㎜、厚さ42.19㎜、重量842.5ｇである。（井上　慎也）

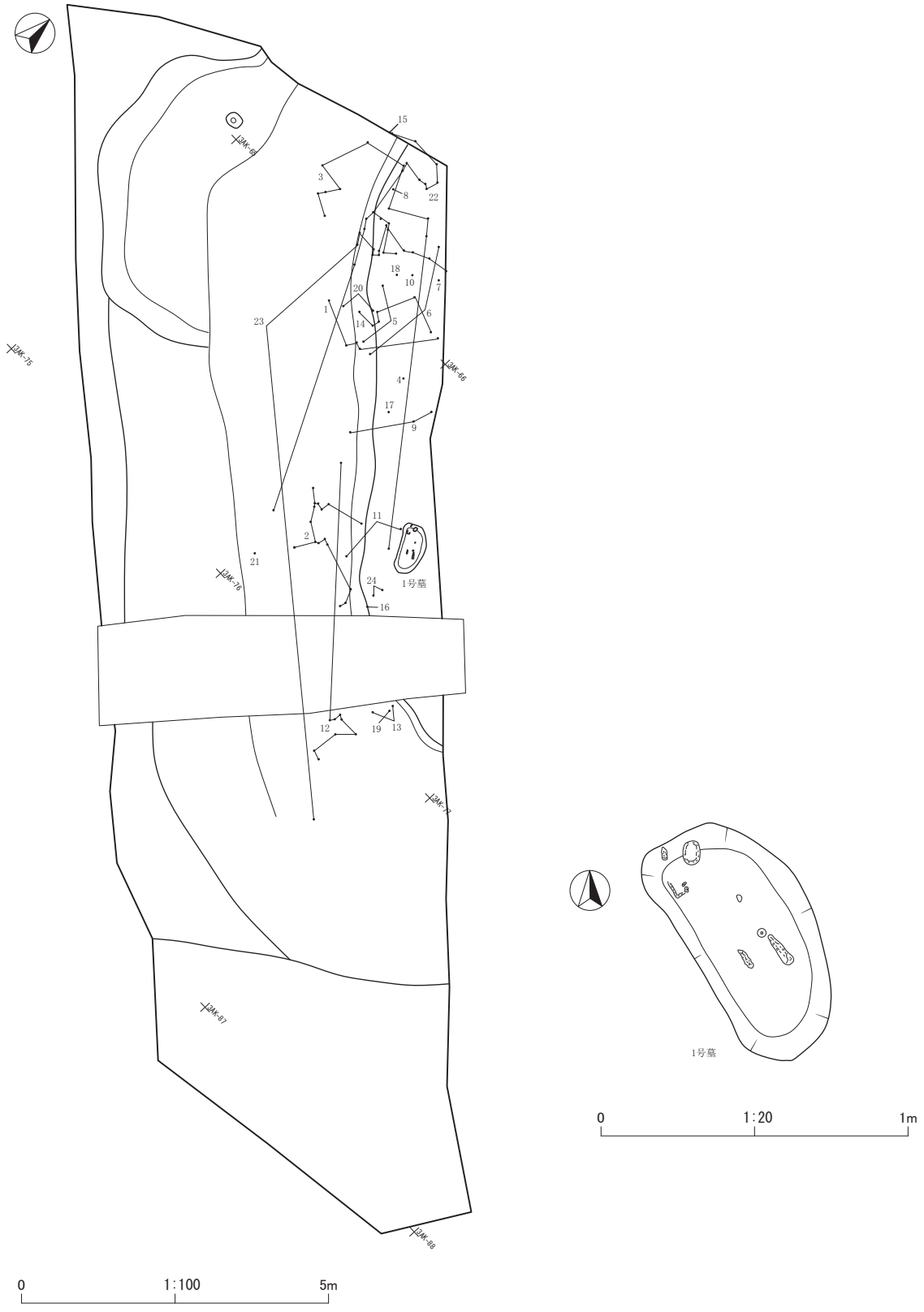


第96図　遠丸遺跡出土石器実測図

天皇塚周溝

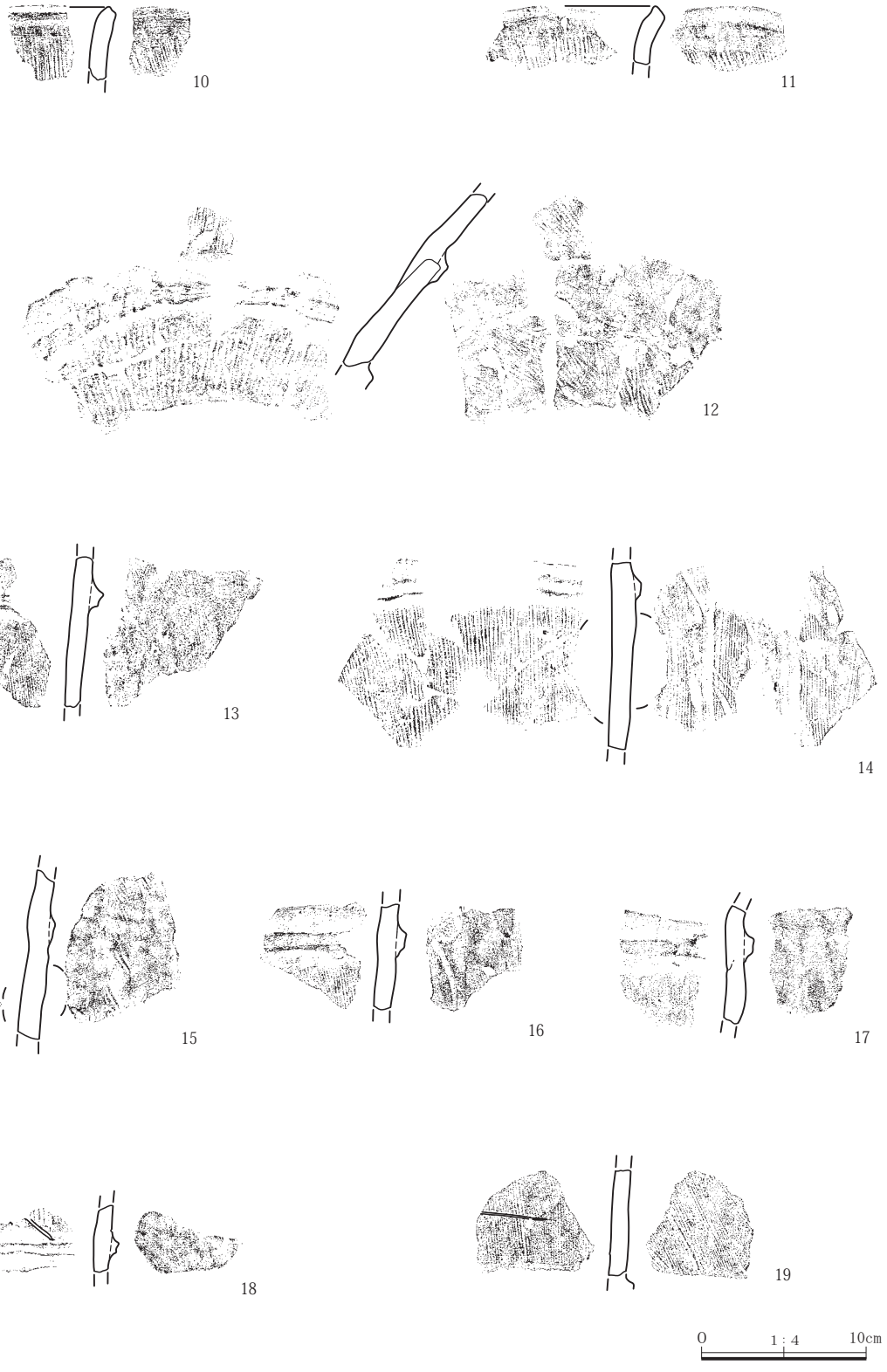
土層番号	色調	土層中含有物	備考
1	表土	As-A 軽石多量に含む	
2	旧表土	As-A 軽石多量に含む	
3	As-A 軽石		
4	As-B 軽石		
5	黒色土	埴輪・葺石少量含む	
6	黒褐色土	埴輪・葺石・小石多量に含む	
7	黒色土	埴輪・葺石多量、ロームブロック・ローム粒少量含む	
8	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
9	黒褐色土	ロームブロック・小石多量に含む	
10	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒多量に含む	

第97図　天皇塚古墳実測図



第98図　天皇塚古墳遺物分布図、1号墓実測図

第99図　天皇塚古墳出土埴輪実測図(1)



第100図　天皇塚古墳出土埴輪実測図(2)

第101図　天皇塚古墳出土埴輪・土器実測図

番号	種類	計測値(cm)	突帯断面形状	透孔		刷毛目	成形・整形の特徴	胎土・色調	備　考
				形状	縦×横	/2cm			
1	円筒埴輪	口径　(22.6) 3段　11.4	台形	(円)	—	10～11	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　第3段ナナメハケ、第2段タテ指ナデ。突帯裏側に指頭圧痕。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 にぶい黄橙色	3段構成と想定。
2	円筒埴輪	1段　17.1 2段　10.3	台形 ～ 三角形	(半円)	—	4～5	外面　タテハケ。 内面　タテ・ナナメ指ナデ。突帯裏側に指頭圧痕。	片岩・チャート 橙色	外面第2段に線刻。底部に焼ムラあり。

第58表　天皇塚古墳出土埴輪観察表(1)

番号	種類	計測値(cm)	突帯断面形状	透孔		刷毛目	成形・整形の特徴	胎土・色調	備　考
				形状	縦×横	/2cm			
3	円筒埴輪	底径　12.5 1段　15.4	M字状 ～ 台形	—	—	6～8	外面　タテハケ。 内面　タテ・ナナメ指ナデ。	片岩・雲母・白色針状粒 明褐色	
4	円筒埴輪		—	—	—	12～16	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 にぶい黄橙色	外面に線刻。
5	円筒埴輪		—	—	—	12	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 赤褐色	還元気味の焼成。
6	円筒埴輪		—	—	—	10～11	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい褐色	外面に線刻。還元気味の焼成。
7	円筒埴輪		—	—	—	6～8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・白色針状粒 明赤褐色	外面に線刻。
8	円筒埴輪		—	—	—	5～9	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	片岩･雲母･チャート 明赤褐色	
9	円筒埴輪		—	—	—	14	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	
10	円筒埴輪		—	—	—	10	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・凝灰岩・チャート 橙色	
11	円筒埴輪		—	—	—	7	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
12	朝顔形円筒埴輪		台形 ～ M字状	(円)	—	5～6	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、部分的にナデ。	片岩・チャート 明赤褐色	
13	円筒埴輪		台形 ～ M字状	(円)	—	8～11	外面　タテハケ。 内面　タテ・ナナメハケ後、タテ指ナデ。	チャート・凝灰岩 明赤褐色	
14	円筒埴輪		台形	—	—	9～11	外面　タテハケ。 内面　タテハケ後に一部ナデ。	片岩・白色針状粒 にぶい黄褐色	
15	円筒埴輪		低台形 ～ 低M字状	—	—	5～6	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、タテ指ナデ。突帯裏側に指頭圧痕。	片岩・チャート 橙色	
16	円筒埴輪		台形	—	—	12	外面　タテハケ。 内面　タテ・ナナメハケ後、タテ指ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
17	円筒埴輪		台形	—	—	12	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ、タテ指ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
18	円筒埴輪		M字状	—	—	7	外面　タテハケ。 内面　ハケ後ナデ。	片岩・白色針状粒 にぶい褐色	外面に線刻。
19	円筒埴輪		—	—	—	12～14	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 橙色	外面に線刻。
20	円筒埴輪		—	—	—	10～12	外面　タテハケ。 内面　タテハケ後に一部ナデ。	砂礫・チャート・凝灰岩 灰黄褐色	外面に線刻。還元気味の焼成。
21	円筒埴輪		—	—	—	13	外面　タテハケ。 内面　ナナメ指ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	底面に棒状圧痕。

第59表　天皇塚古墳出土埴輪観察表(2)

番号	種　類	計測値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	胎土・色調	備　　考
22	蓋形埴輪	裾径　(35.0)	立ち飾りを差し込む笠部。差し込み口の径は推定17.8cm。円筒部は突帯数から3段以上と想定される。外面は浅いタテハケ。内面指ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 赤褐色	組合せ式の蓋形埴輪。
23	蓋形埴輪		笠部の円筒部分。断面台形の突帯と円形の透孔。外面は浅いタテハケ。内面ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 赤褐色	22と同一個体と思われる。
24	須恵器 甕		胴部片。外面は平行タタキ。内面ナデ。	チャート・凝灰岩 灰色	

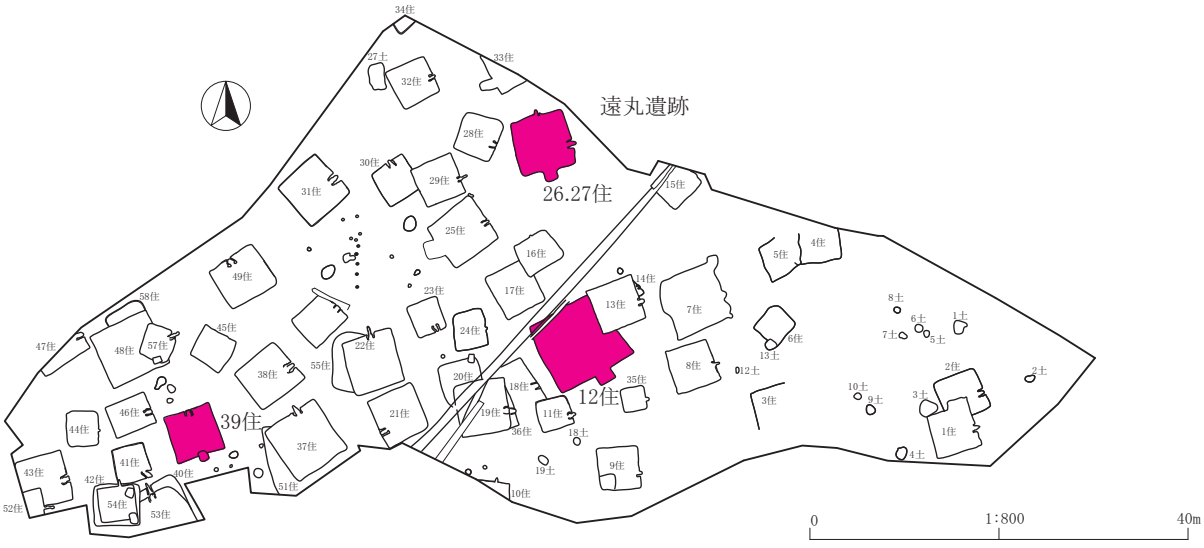
第60表　天皇塚古墳出土埴輪・土器観察表

小日向遠丸遺跡　小結

本遺跡においては、古墳時代後期を中心とする竪穴住居址55軒が検出された。住居址の築造時期は概ね５世紀末から６世紀の範疇に収まり、６世紀前半が住居址数のピークであると考えられる。今回の本遺跡群発掘調査においては、合計10基の古墳の調査を実施したが、このうちの５基の築造時期が５世紀末～６世紀であり、遠丸遺跡において営まれていた集落の時期と一致する。換言すれば、本遺跡は小日向地区古墳群を築造した人々の集落であると考えられる。検出された55軒の住居址のうち、３軒は南壁に張り出し部を有するものであり、市内では３遺跡めの検出例となった。以下、張り出し部を有する住居址（以後「張り出し住居」と略す）について、若干の検討・考察を加え小結に代えたい。

県内の張り出し住居については、『高源寺東Ⅰ遺跡』における小高哲茂・坂口一の両氏による集成・考察がある。両氏は①張り出し部を竪穴住居の壁中央付近に設置し、②張り出し部内に貯蔵穴様のピットを設けた、主として古墳時代中・後期に属す住居を「定型化した張り出し住居」と定義している。この定義に従うと、「12号住居址」・「26・27号住居址（カマドを２基有するため複数の遺構番号を付しているが、実際は１軒の住居址である）」・「39号住居址」が張り出し住居と認められる。なお、１号住居址も北壁に張り出し部を有しているが、先出の定義①・②とも満たしておらず、他の３軒とは性格が異なる可能性が高いためここでは除外した。また、57号住居址については張り出し住居である可能性も考えたが、住居址主軸が他の３軒と異なること、南壁付近に位置する張り出し部（土坑？）が48号住居址に付随するものと思われることから除外した。

両氏の集成によれば、群馬県内では32軒の張り出し住居が確認されている。検出されているのは、富岡市・安中市・群馬町（現高崎市）・渋川市・赤城村（現渋川市）・前橋市・粕川村（現前橋市）・赤堀町（現伊勢崎市）・佐波郡東村（現伊勢崎市）・薮塚本町（現太田市）・尾島町（現太田市）・館林市であり、関東平野及びその縁辺部と言えよう。このうち本市内においてこれまで検出されている張り出し住居は、諏訪ノ木遺跡で２軒、高橋遺跡で１軒の計３軒である。本遺跡で検出された３軒の位置は第102図のとおりである。

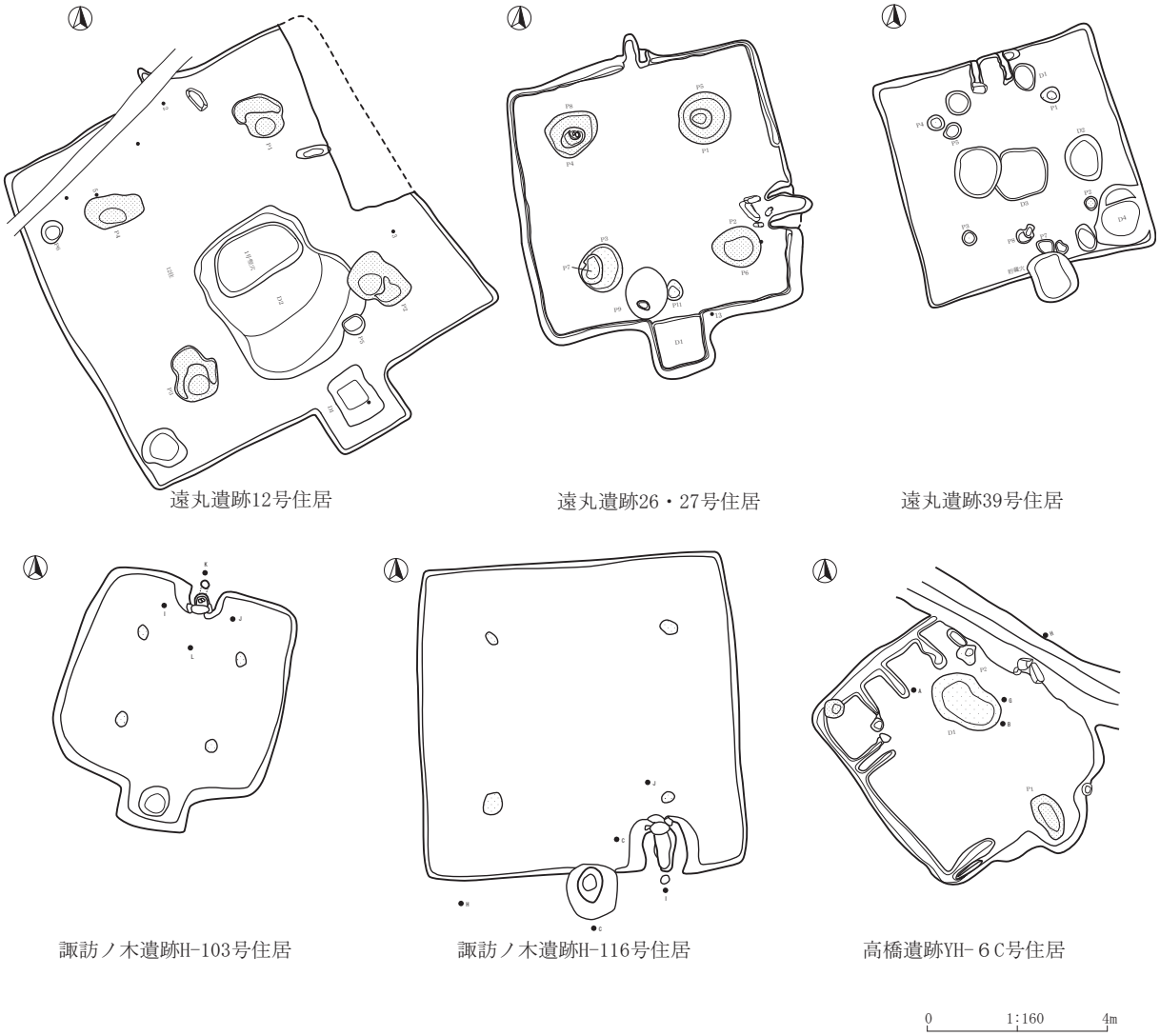


第102図　張り出し部を有する竪穴住居址位置図

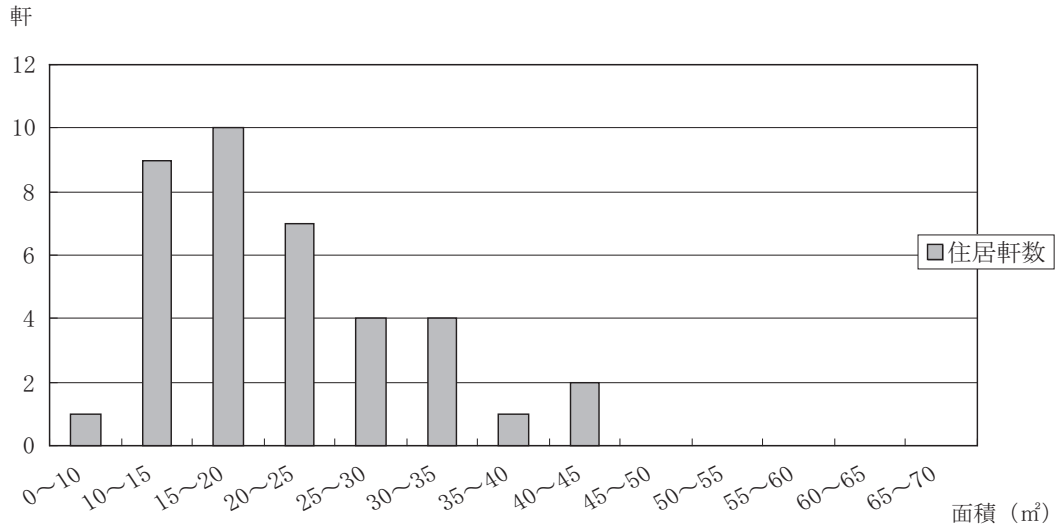
本遺跡で検出された各張り出し住居の主軸はほぼ揃っており、各住居址は一定の距離を保ち位置している。出土遺物より、３軒はいずれも６世紀前半の所産と考えられる。12号住居址は、今回検出された住居址の中で最大の規模を有している。また、26・27号住居址及び39号住居址も、比較的大型の部類に属する住居址であることが分かる。張り出し住居３軒の竪穴部面積平均値は42.48㎡であり、それ以外の住居址21.37㎡の約２倍を測る。以下、本遺跡の３軒も含めた市内で検出された張り出し住居の観察表・遺構図等を掲載する。

遺跡名	住居名	住居規模(m)			貯蔵穴		設置壁(壁・位置)		時期
		長軸	短軸	深さ	位置	形状	カマド	張り出し	
諏訪ノ木	H-103住	4.8	4.8	0.2	張り出し内	円形	北壁中央	南壁中央	５Ｃ後半
	H-116住	7.0	6.8	0.3	張り出し内	楕円形	南壁東寄	南壁中央	６Ｃ前半
高橋	YH-6C 住	5.4	4.8	0.5	張り出し内	楕円形	東壁中央	南壁中央	６Ｃ前半
遠丸	12住	8.4	7.9	0.4	張り出し内	長方形	北壁中央	南壁中央	６Ｃ前半
	26・27住	6.0	5.9	0.3	張り出し内	正方形	北壁中央→東壁南寄	南壁中央	６Ｃ前半
	39住	5.1	5.0	0.2	張り出し内	長方形	北壁中央	南壁中央	６Ｃ前半

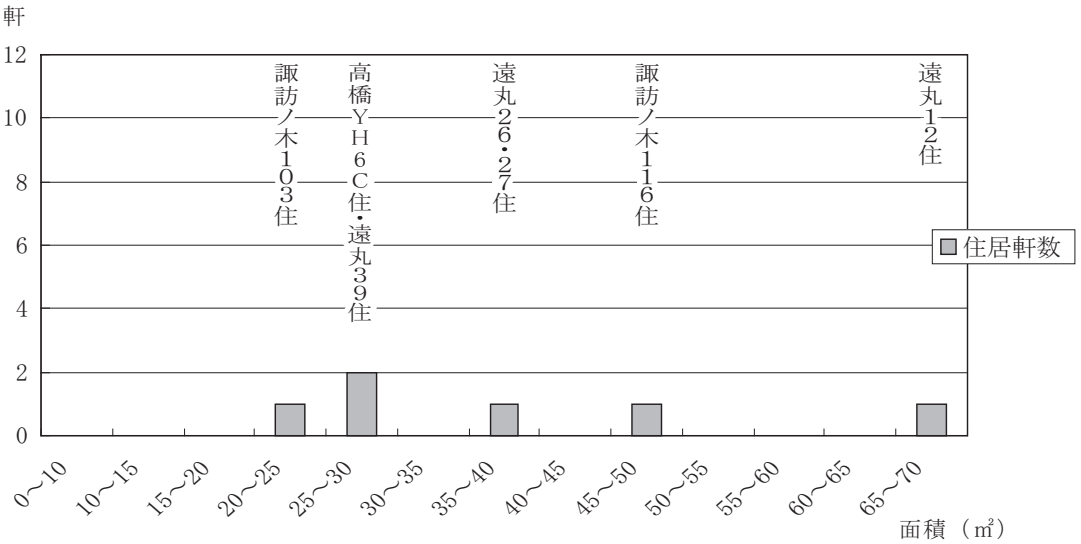
第61表　市内で検出された張り出し住居観察表



第103図　市内で検出された張り出し住居



第104図　遠丸遺跡検出非張り出し住居面積別グラフ



第105図　市内検出張り出し住居面積別グラフ

小高・坂口両氏は、県内における張り出し住居検出例から看取できる傾向として次の４点を挙げている。

①張り出し部は、南壁中央付近付近及びそれに近い部分に設けられる。

②竈の設置壁はそれぞれ異なる。

③通常の竪穴住居より概して大型の住居に設置される。

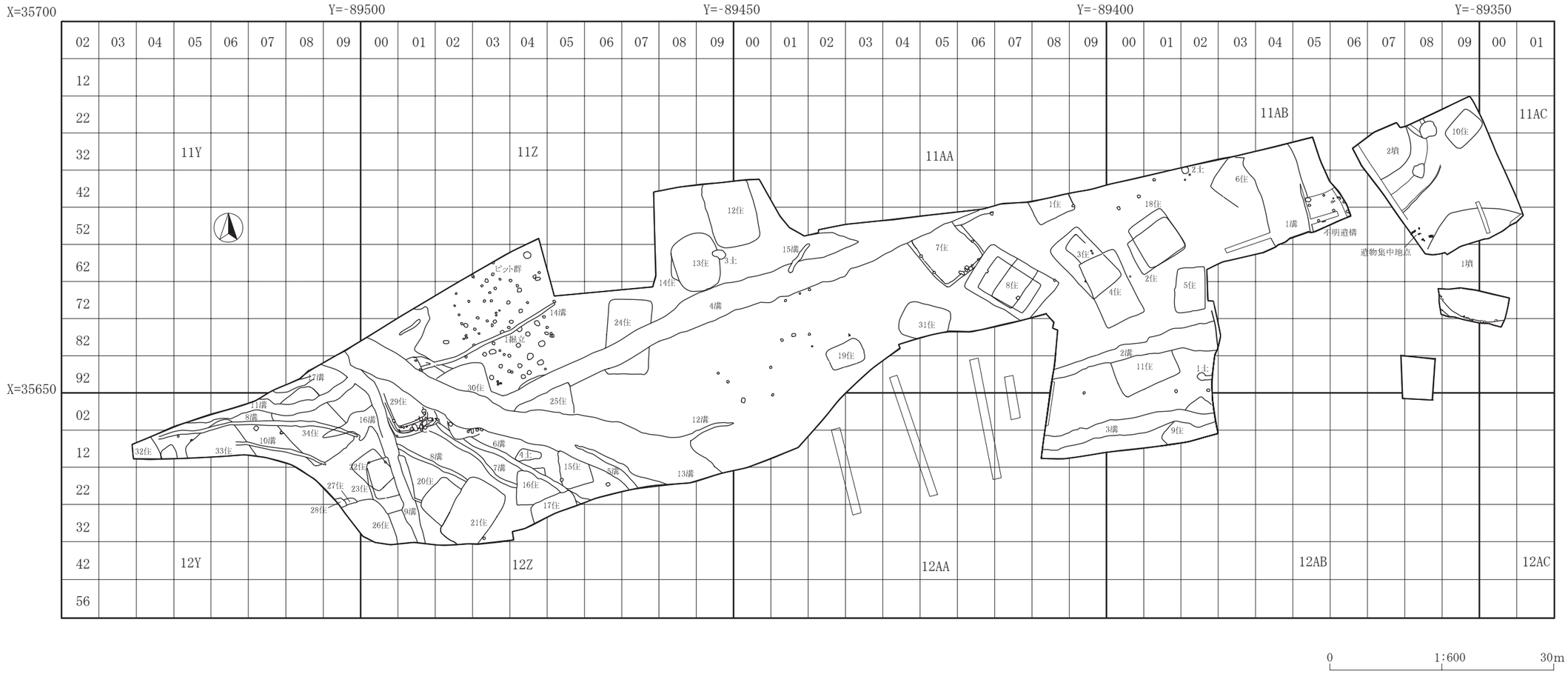
④出土遺物より、５世紀終末～６世紀代の比較的限られた時期に存在する。

前掲した表・図・グラフより、これらの４点は本遺跡の検出例においても認められ、両氏の指摘を追認する結果となっていることが分かる。

また、両氏は張り出し部が設置される理由として、『機能的な構造というよりも、むしろある種の「権威の象徴」として、一部の階層のみに許された住居形態であった可能性が高い』としている。この点に異論はないが、一部の集落においてのみ検出される理由等、これからさらに検討を要する課題であると考えている。また、過去の当該期集落の発掘調査において、張り出し部を住居とは別の土坑等の遺構と誤認している場合がある可能性も考えられる。当該期集落遺跡の再検討もこれからの課題と認識している。

（壁　伸明）

3　小日向瀧遺跡



第106図　小日向瀧遺跡全体図・グリッド設定図

3　小日向瀧遺跡

⑴　概　　要

本遺跡は、平成16年度に調査が実施された弥生時代後期を主体とする遺跡である。東に位置する遠地谷戸遺跡とは同一台地上に立地している。現在本遺跡と遠地谷戸遺跡との間は住宅地となっているため、今回の土地改良事業に伴う開発区域からは外れている。しかし、地理的・地形的観点、又は遺物分布調査結果から判断すると、この区域にも弥生時代後期の集落が営まれていた可能性は高い。つまり、本遺跡と遠地谷戸遺跡は、南に位置する九十九川と、北に位置する九十九川支流である小さな沢に挟まれた東西に細長い台地上に営まれた一連の集落と言うことができる。

一方、本遺跡の西には壱丁田遺跡が所在する。小字名を遺跡名としているため、本遺跡とは別の遺跡名になっているが、実際は本遺跡に隣接する一連の集落である。壱丁田遺跡の西側には、九十九川支流の小さな沢が北西から南東へ流下している。遠地谷戸遺跡から西へ細長く延びる台地は、この沢によって一旦途切れる。つまり、遠地谷戸遺跡・本遺跡・壱丁田遺跡までが、弥生時代後期を主体とする一連の集落と捉えることができるのである。

本遺跡においては、弥生時代後期所産の遺構が主体をなしているが、その他にも２基の古墳、古墳時代～古代所産と考えられる溝等が検出されている。

⑵　弥生時代～古墳時代前期

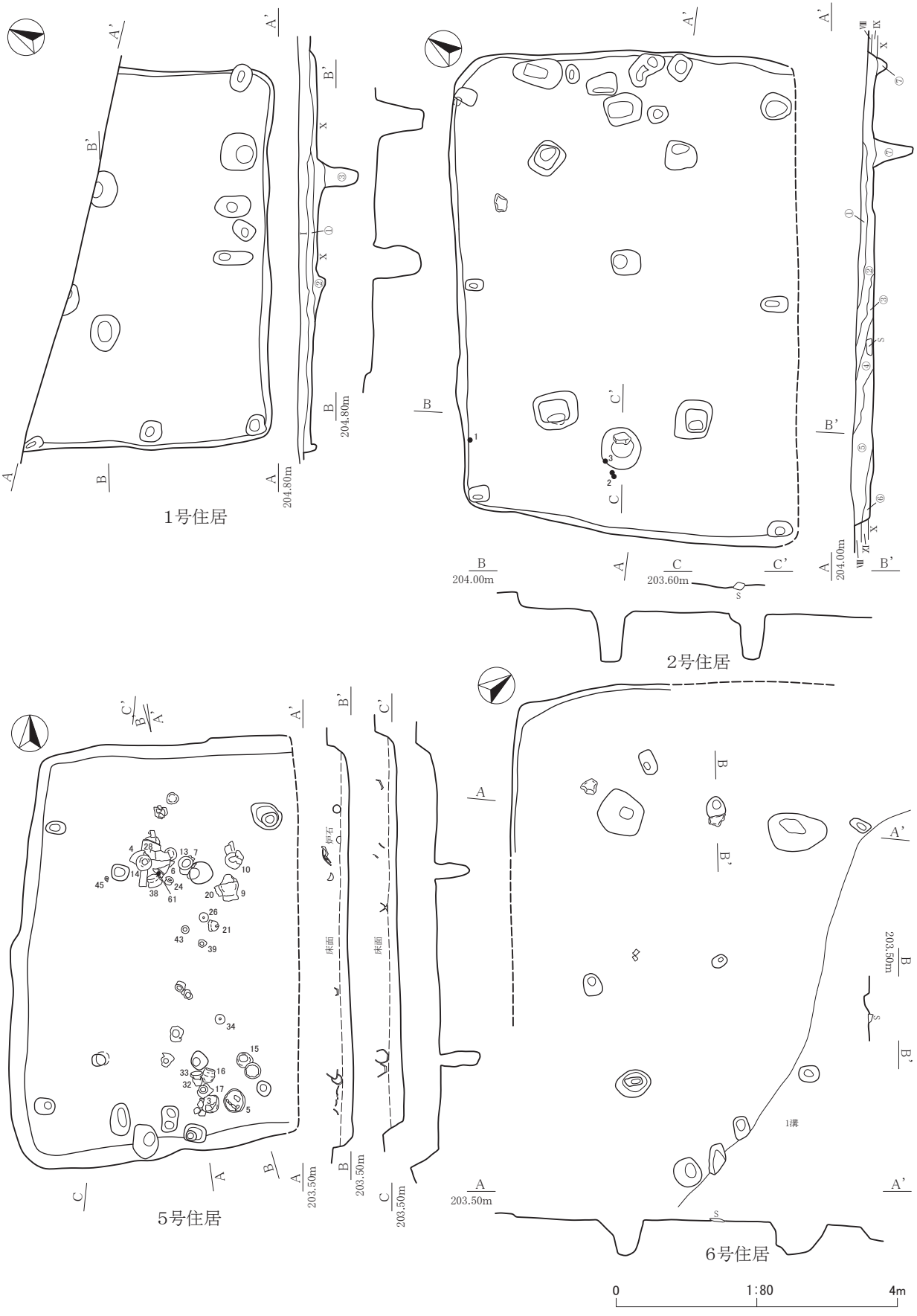
当該期所産の遺構は竪穴住居址34軒等が検出されている。検出された住居址の大部分は、弥生時代後期の所産と考えられるが、32号住居址のみ古墳時代の所産と思われる。住居址は北西～南東の方向に主軸を持つものが多い。29号住居址で４回の拡張が確認されるなど、住居址の建て替えや重複が目立ち、一定期間継続し営まれた集落であると考えられる。また、調査区南端に位置する９号住居址からは、断面長方形の柱材が出土した。

⑶　古墳時代

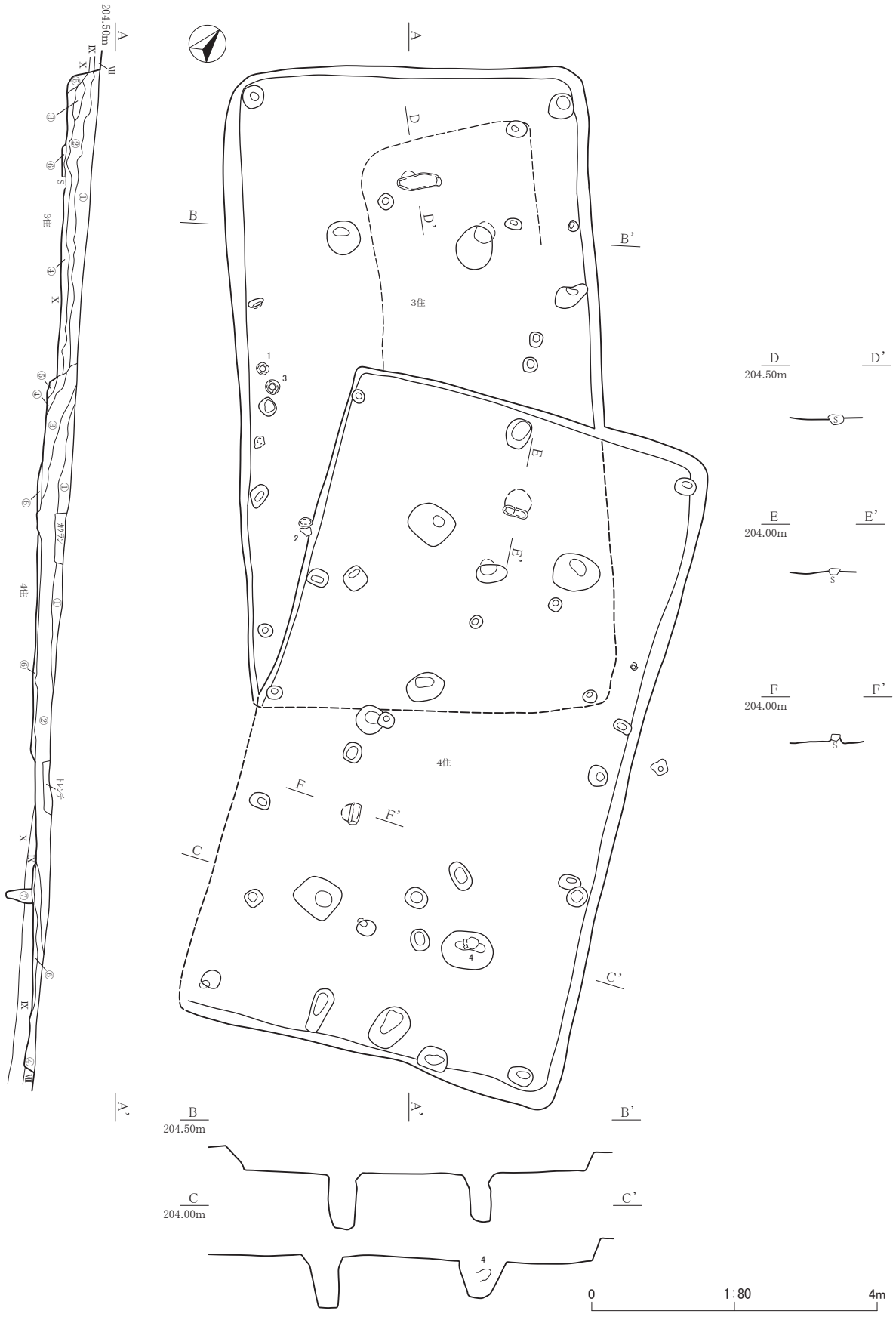
２基の古墳が検出された。１号古墳は遺存状況は良好であったが、主体部上位に墓地が存在し、その部分が開発区域外であったため、主体部の構造等詳細は不明である。形象埴輪・円筒埴輪等の出土遺物より５世紀末の築造と推定され、九十九川流域においては最古級の１基と考えられる。２号古墳は調査区の関係上一部分の調査にとどまり、また遺存状況が不良であり、主体部の構造等の詳細については不明である。

⑷　古代以降

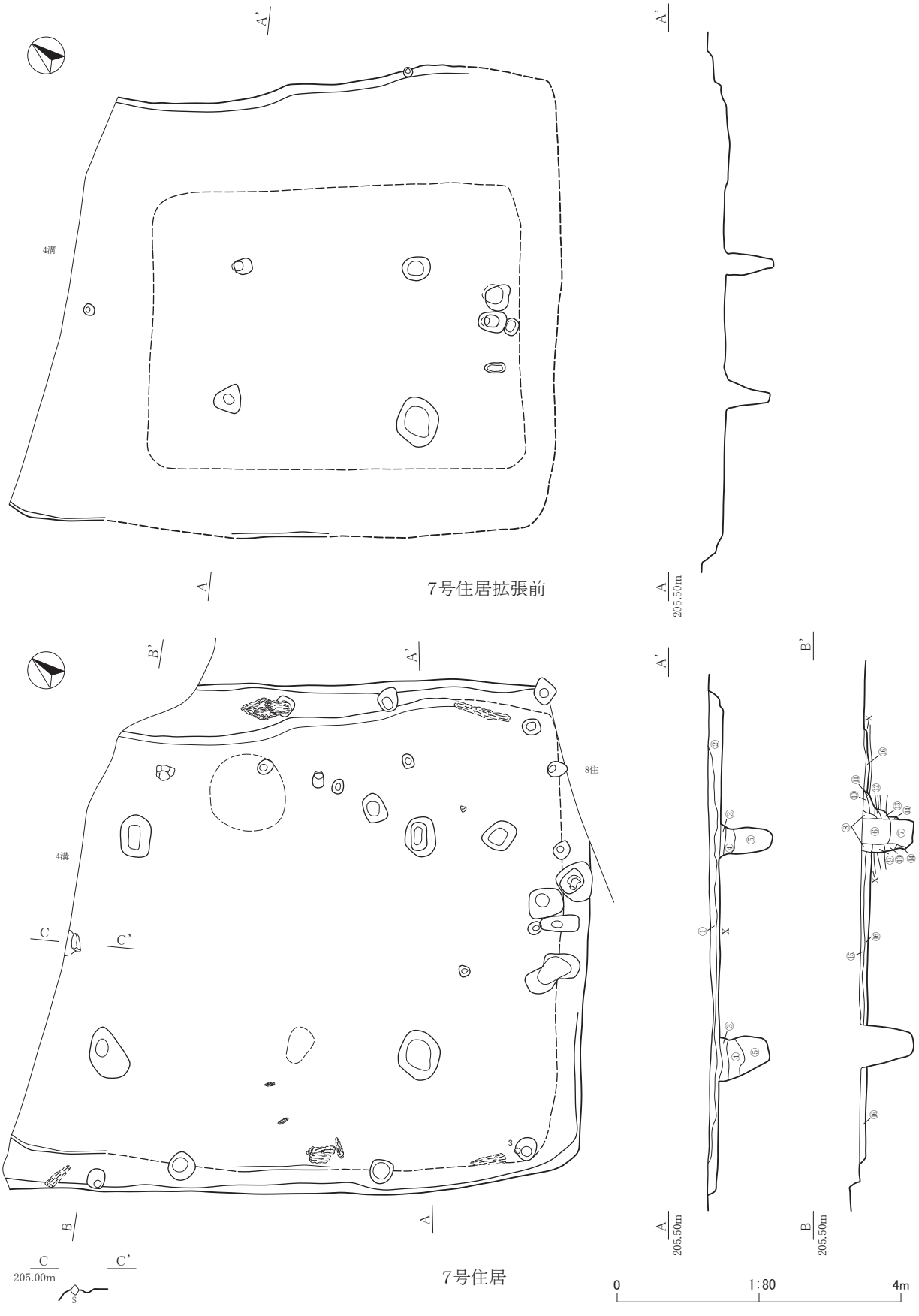
当該期所産と推定される溝が検出されている。２号溝・３号溝は、その規模・形状から直線状道路遺構である可能性を考えたが、東側延長線上に１号古墳が所在すること、西側試掘トレンチによる調査結果より､道路ではないという結論に達した。その他にも当該期所産と考えられる溝が検出されているが、その性格については不明なものが多い。



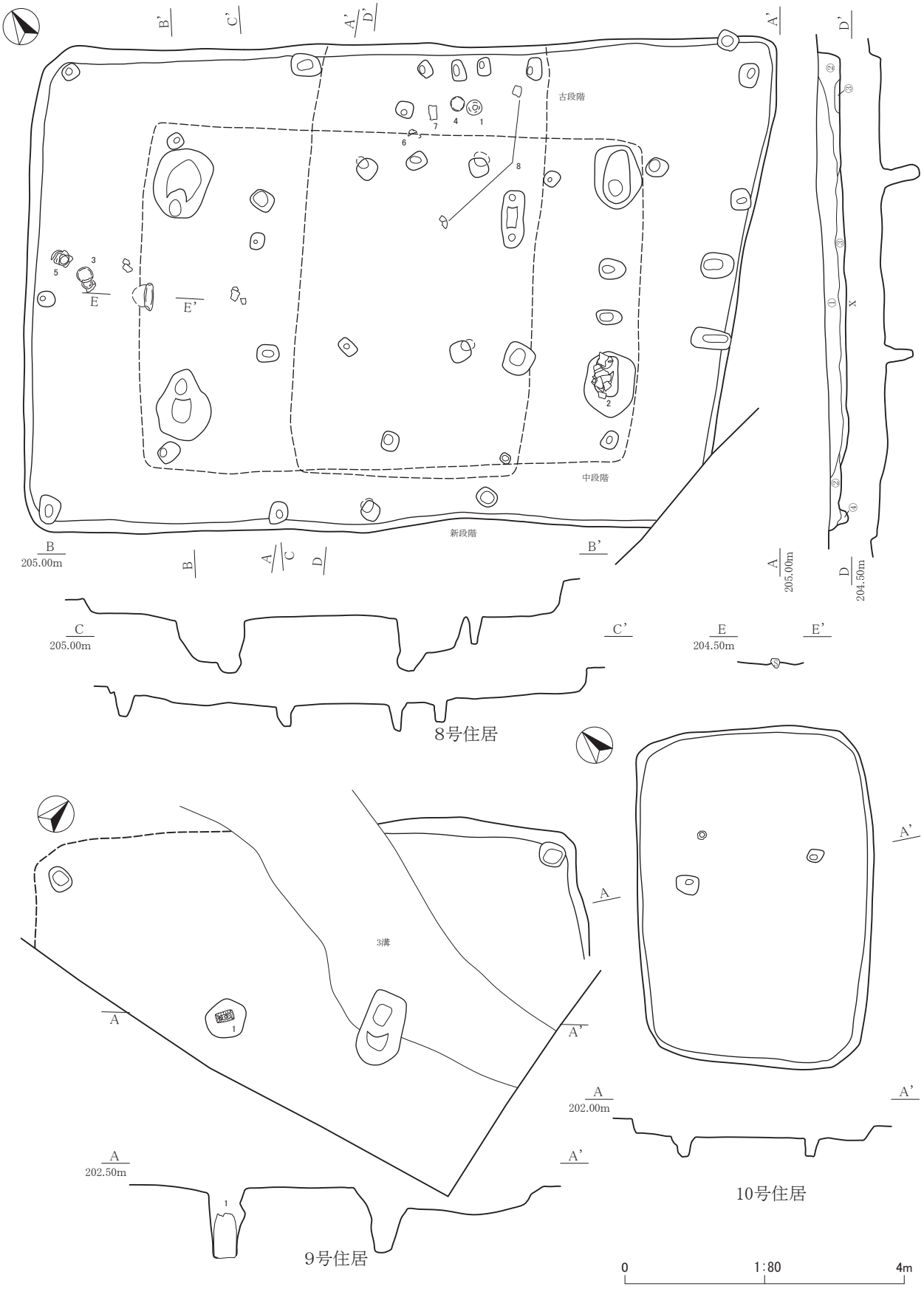
第107図　1号・2号・5号・6号住居址実測図



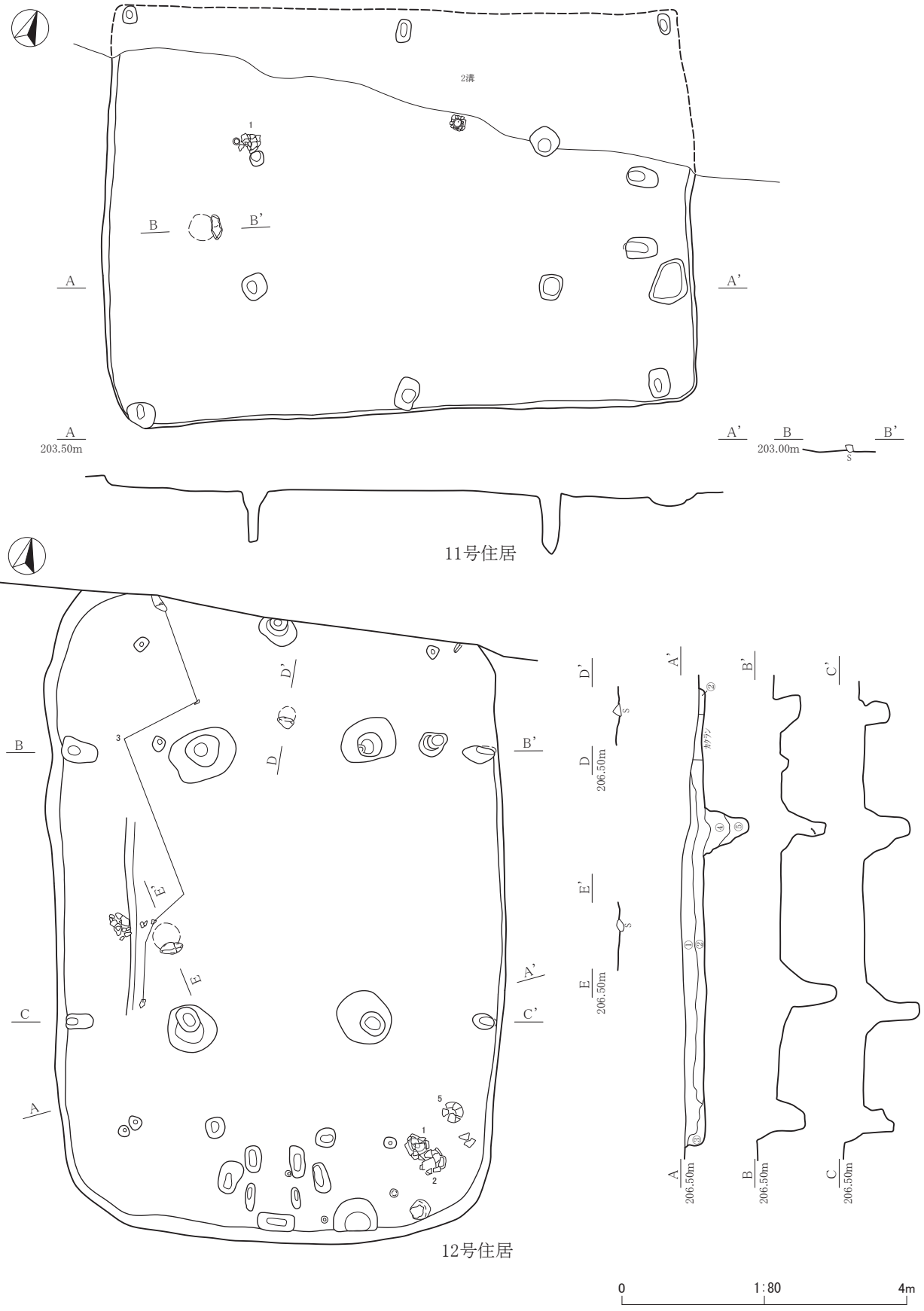
第108図　3号・4号住居址実測図



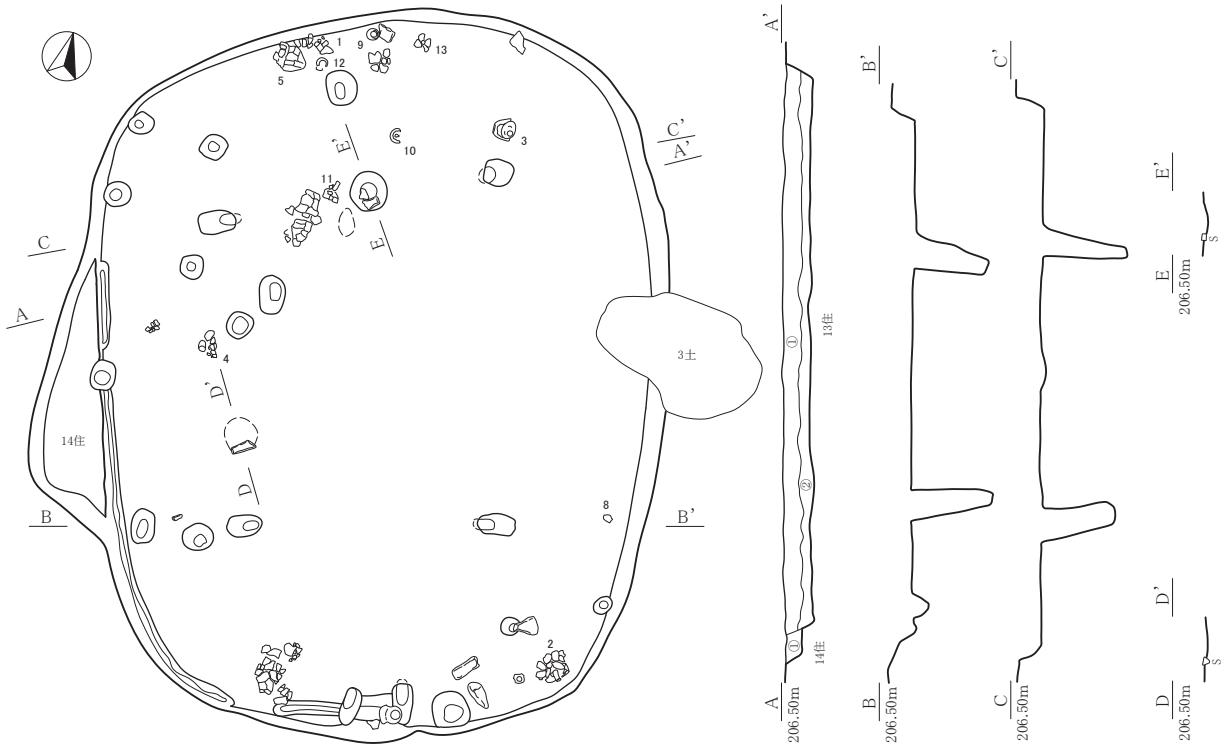
第109図　7号住居址実測図



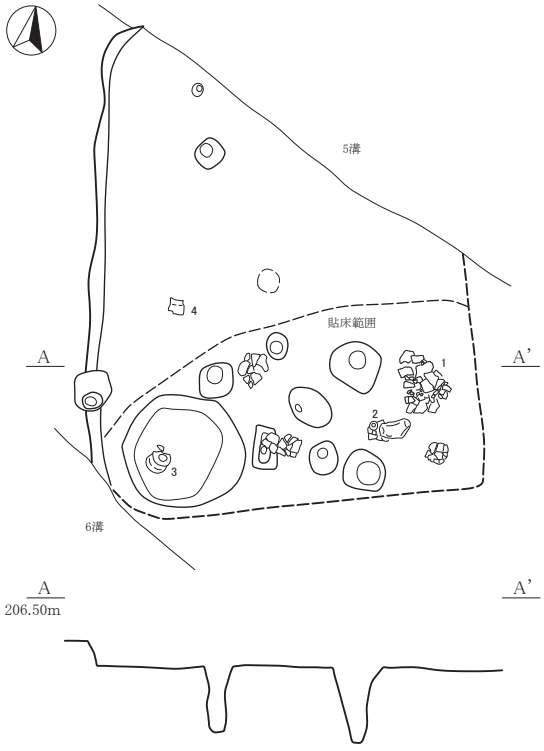
第110図　8～10号住居址実測図



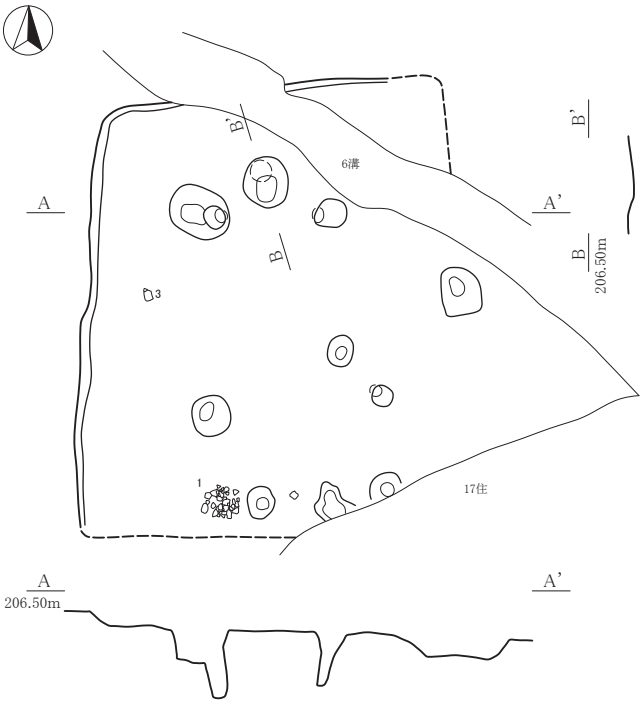
第111図　11・12号住居址実測図



13･14号住居



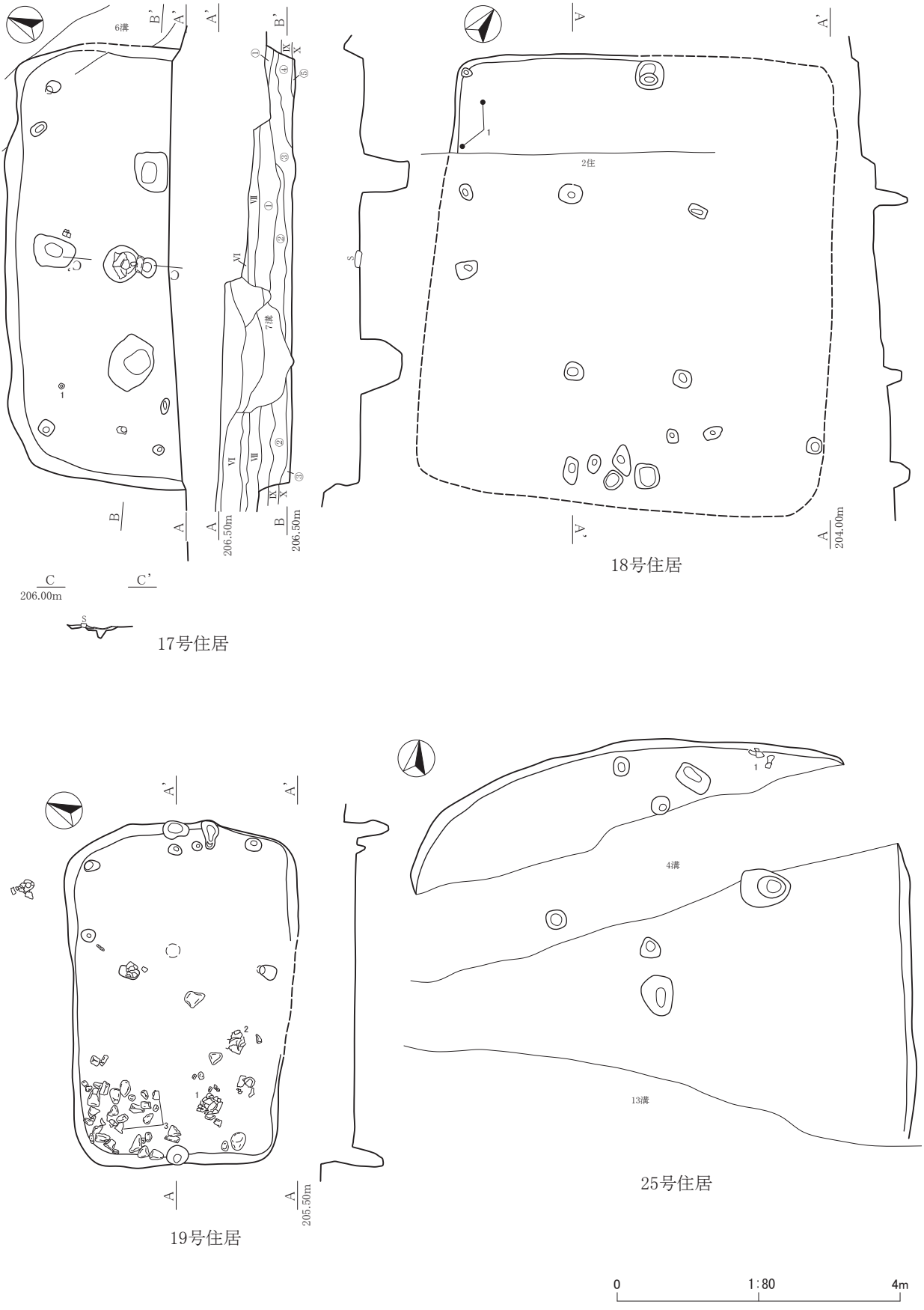
15号住居



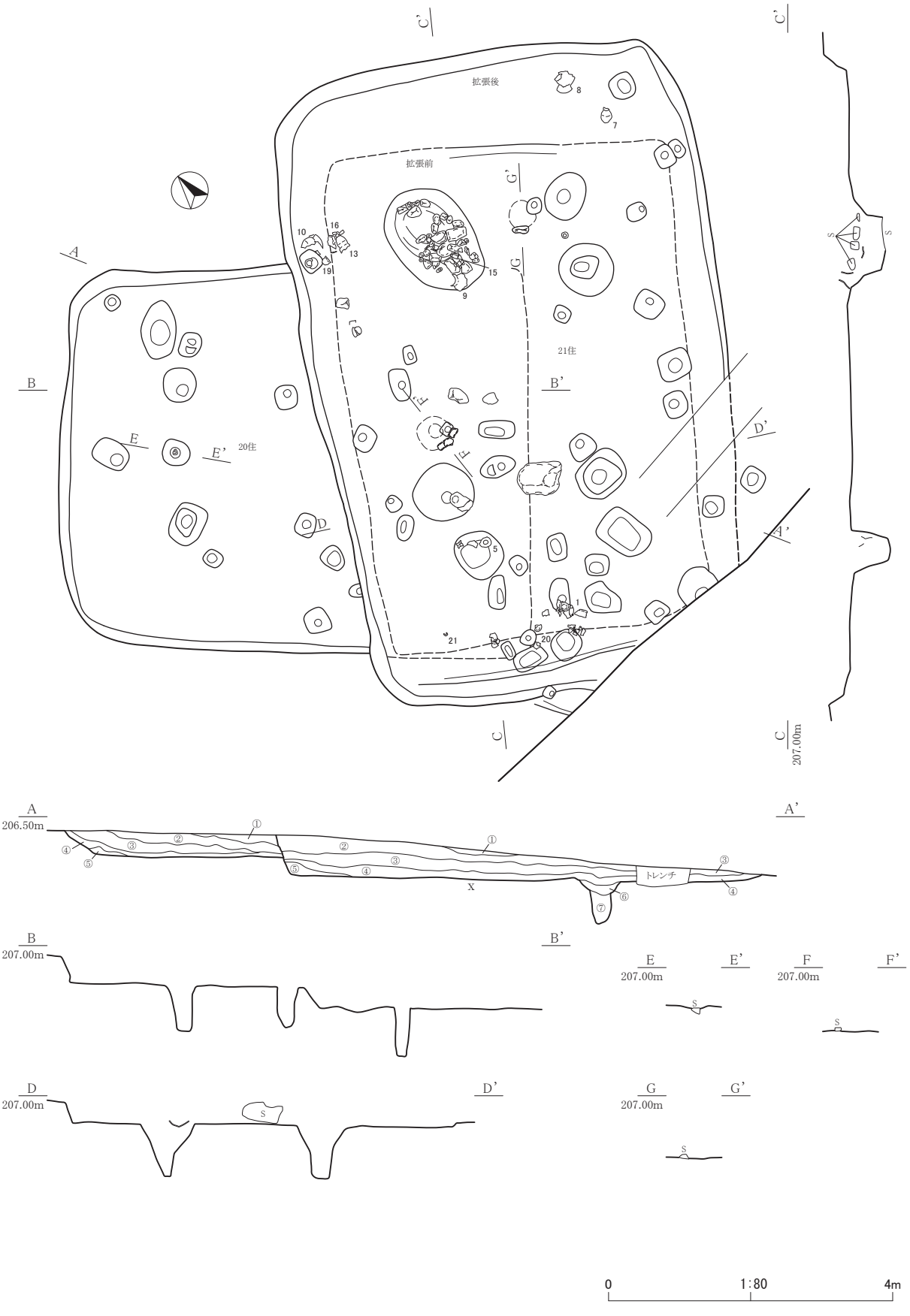
16号住居

0　1:80　4m

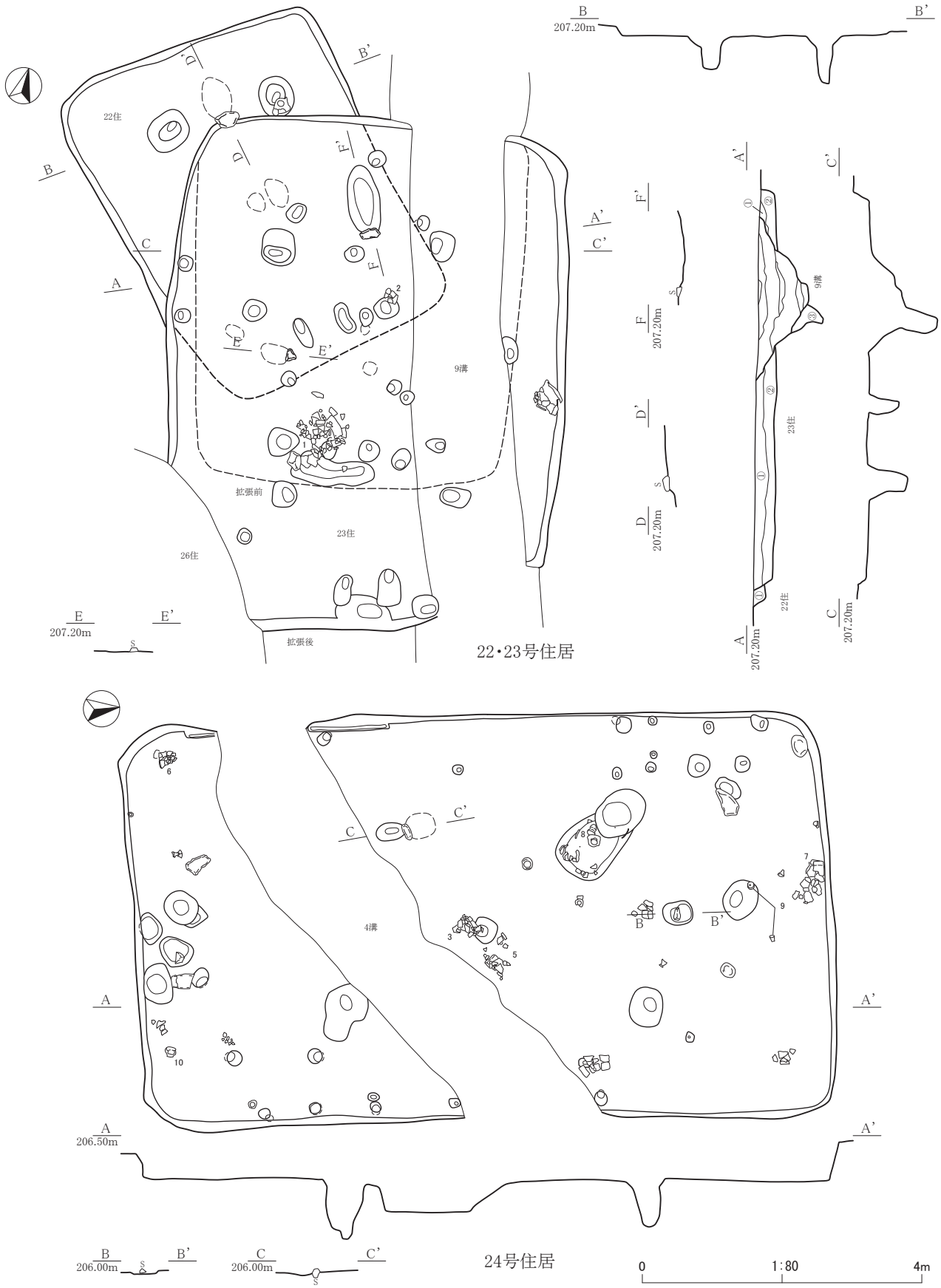
第112図　13～16号住居址実測図



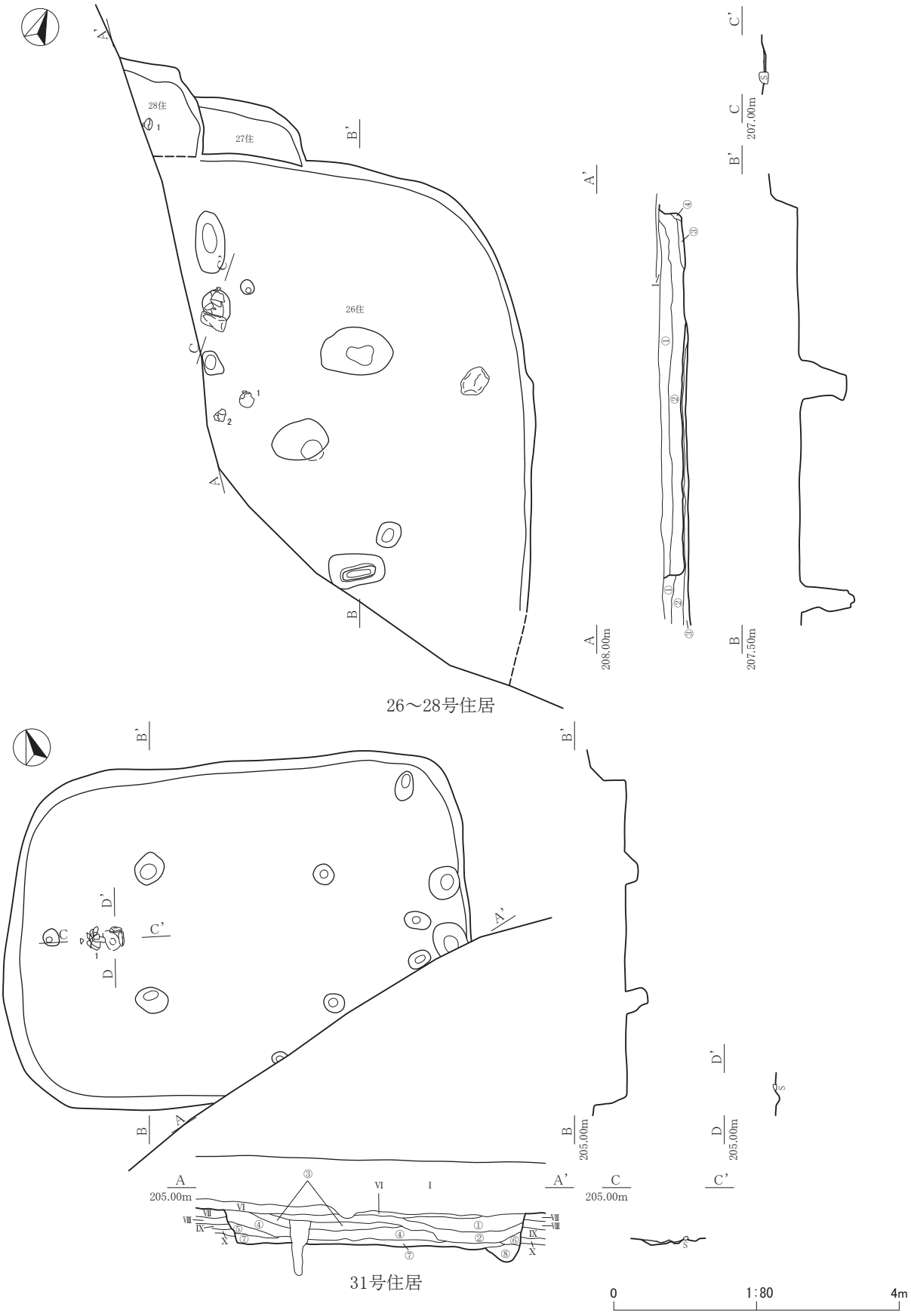
第113図　17～19号・25号住居址実測図



第114図　20号・21号住居址実測図



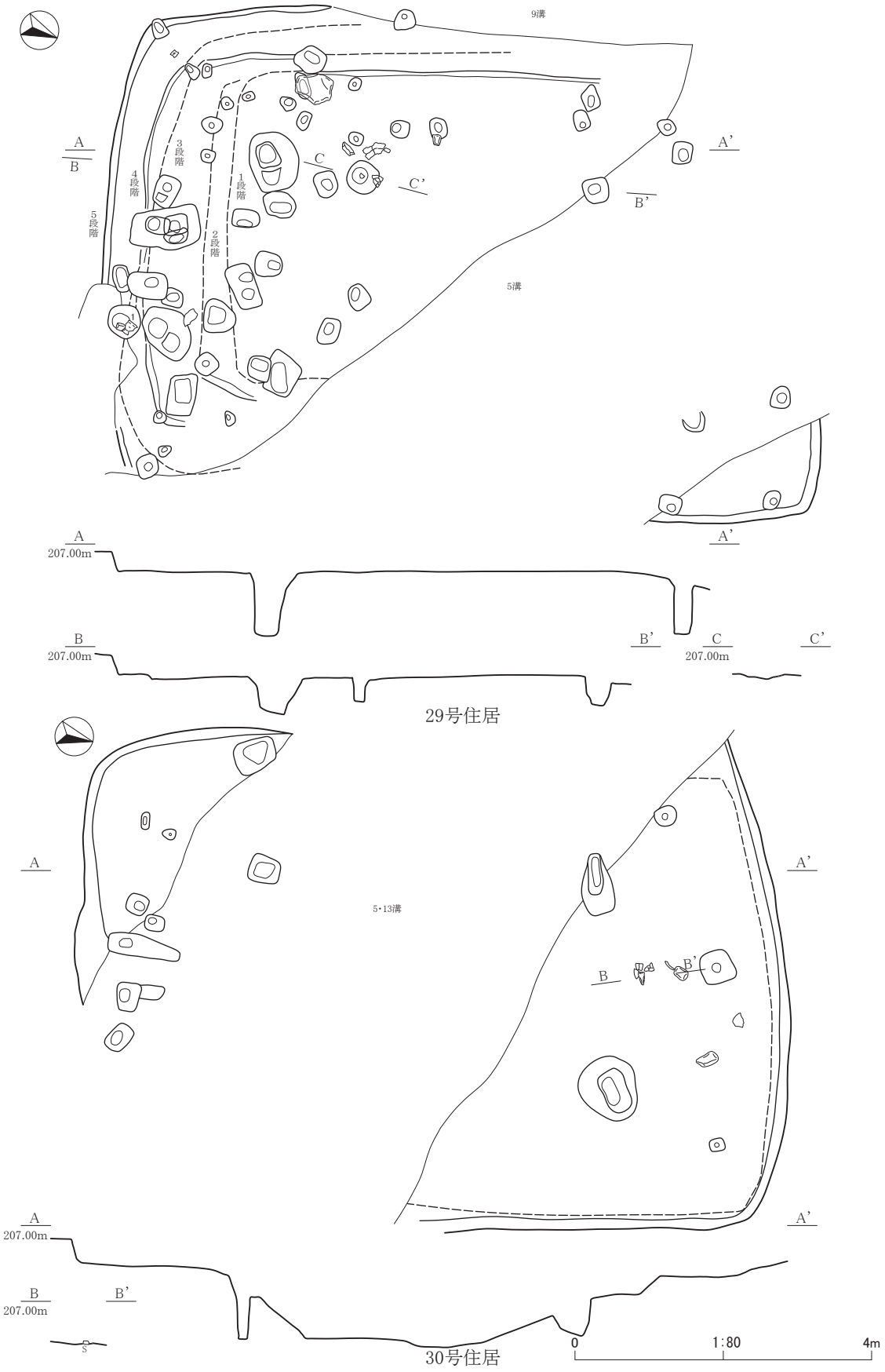
第115図　22～24号住居址実測図



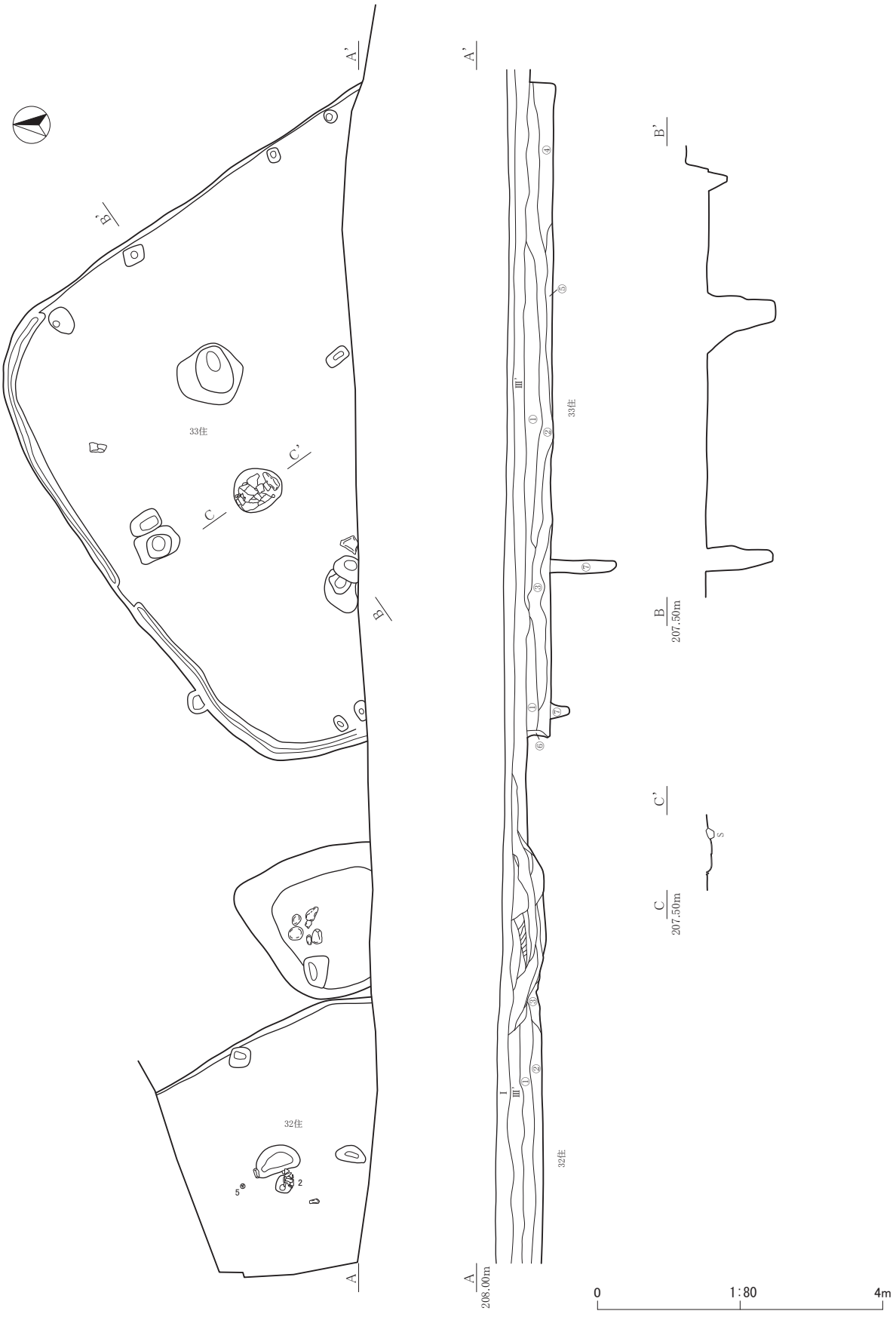
26～28号住居

31号住居

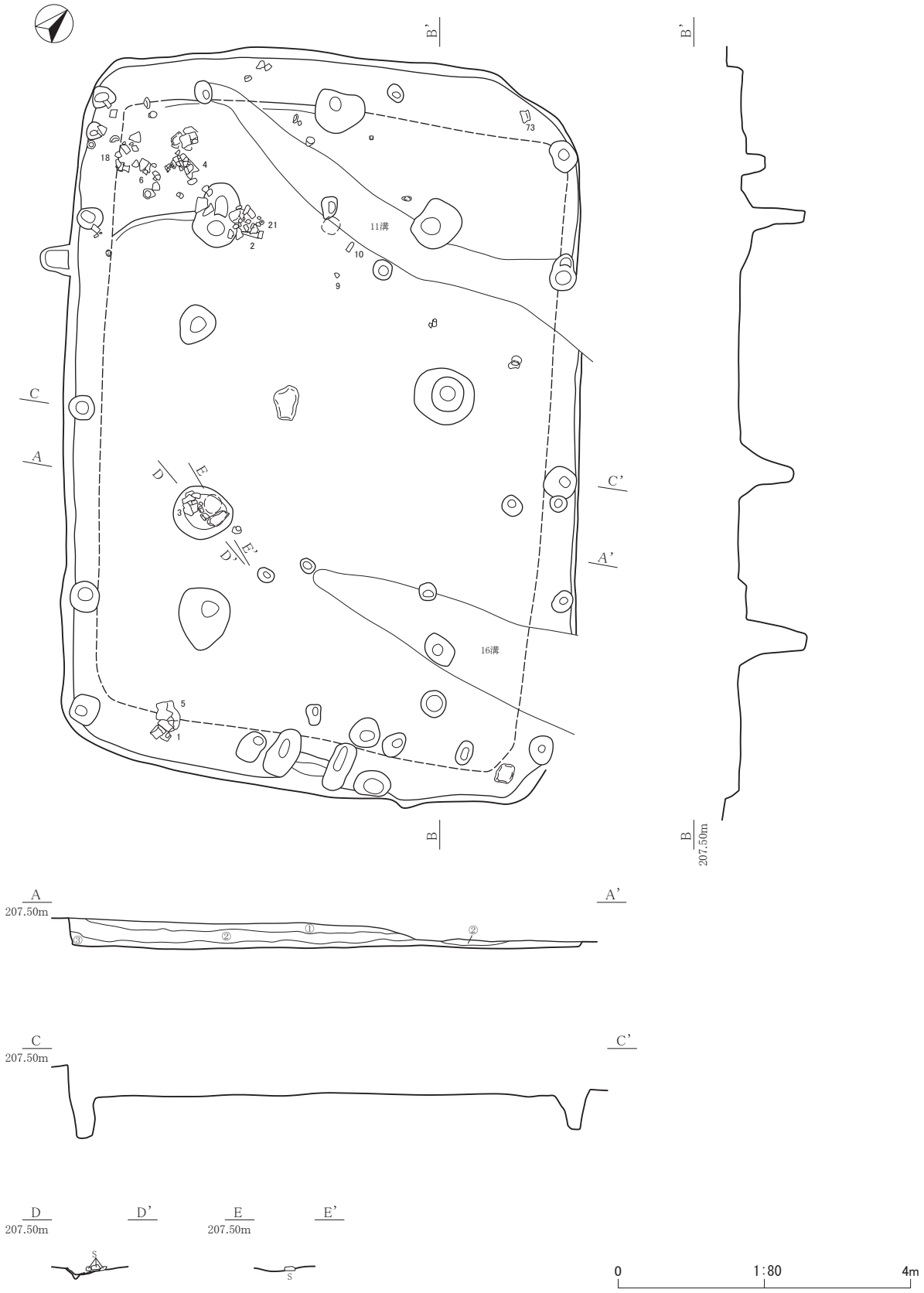
第116図　26～28号・31号住居址実測図



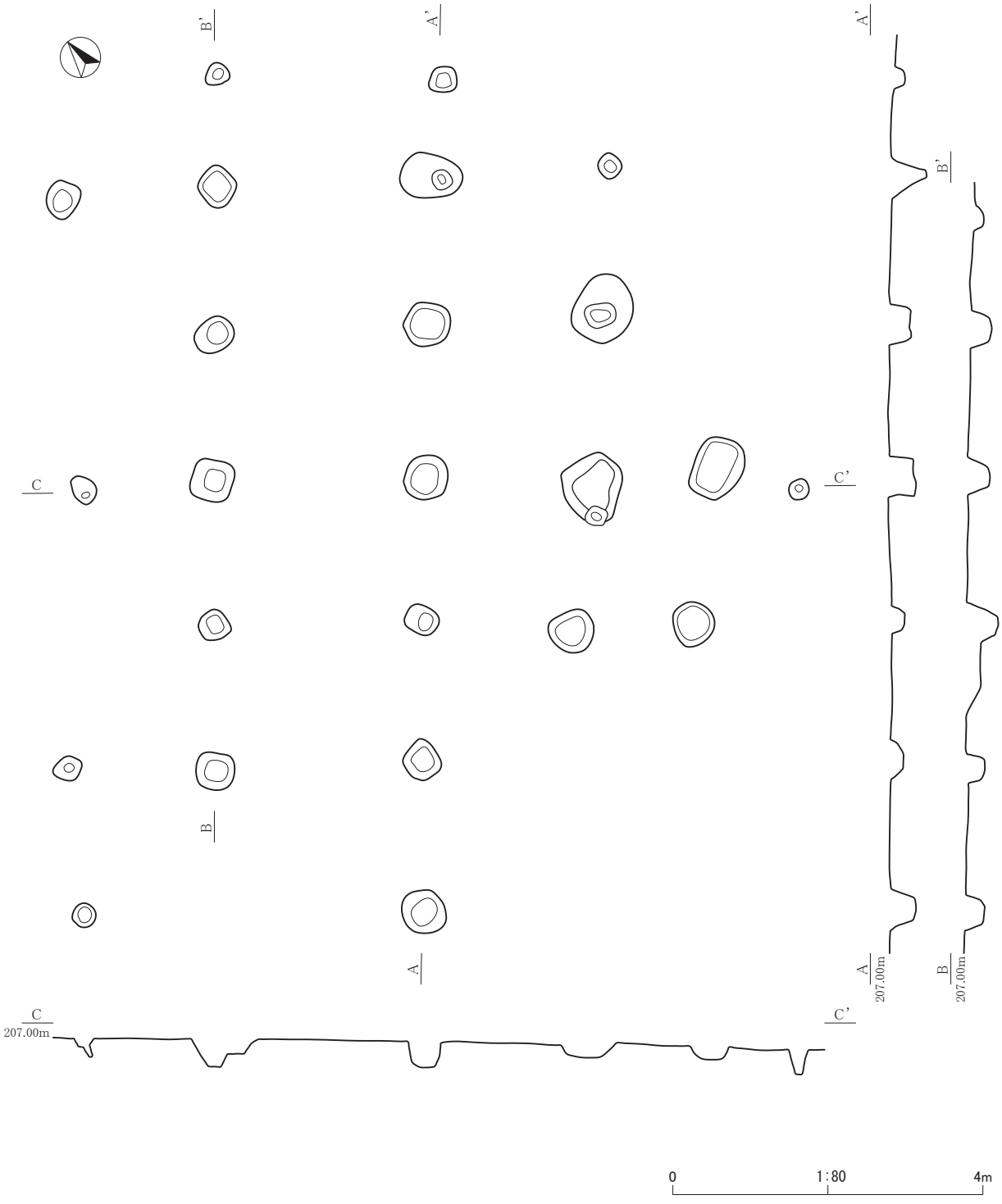
第117図　29号・30号住居址実測図



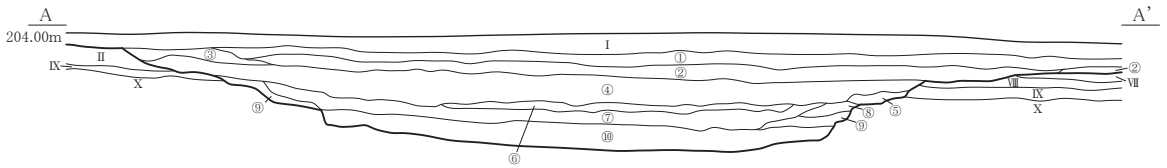
第118図　32号・33号住居址実測図

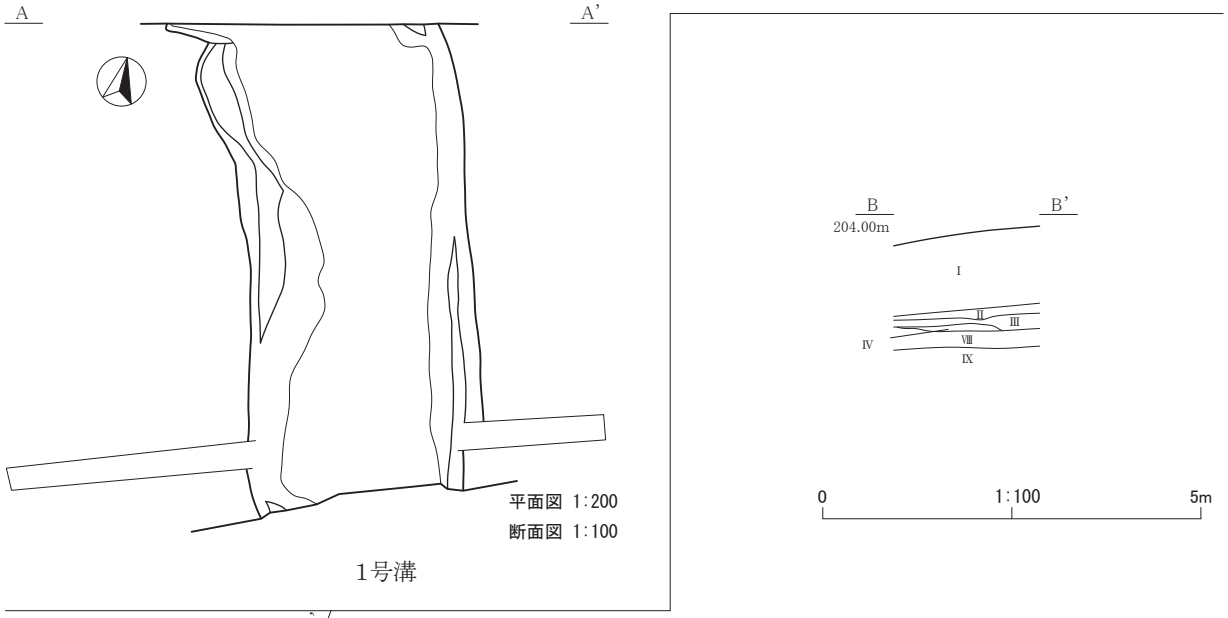


第119図　34号住居址実測図

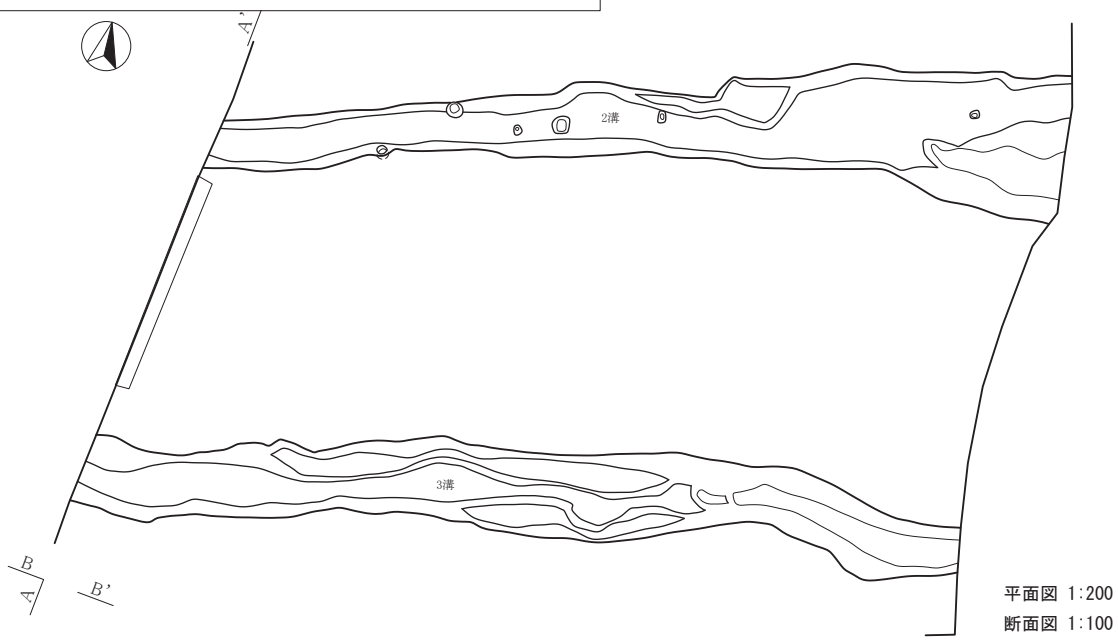


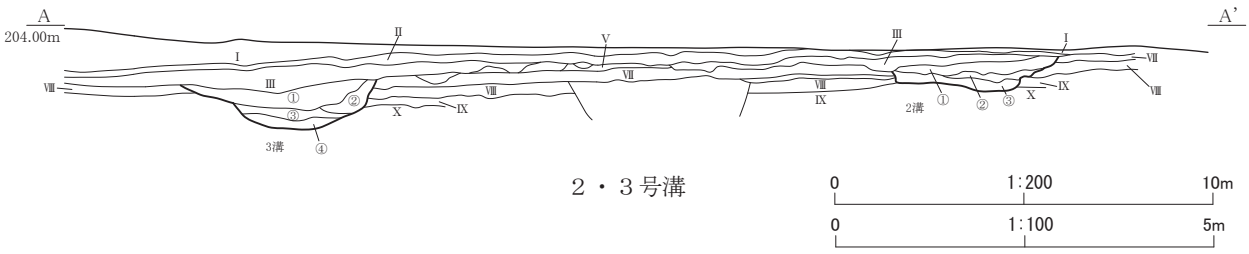
第120図　1号掘立柱建物址実測図





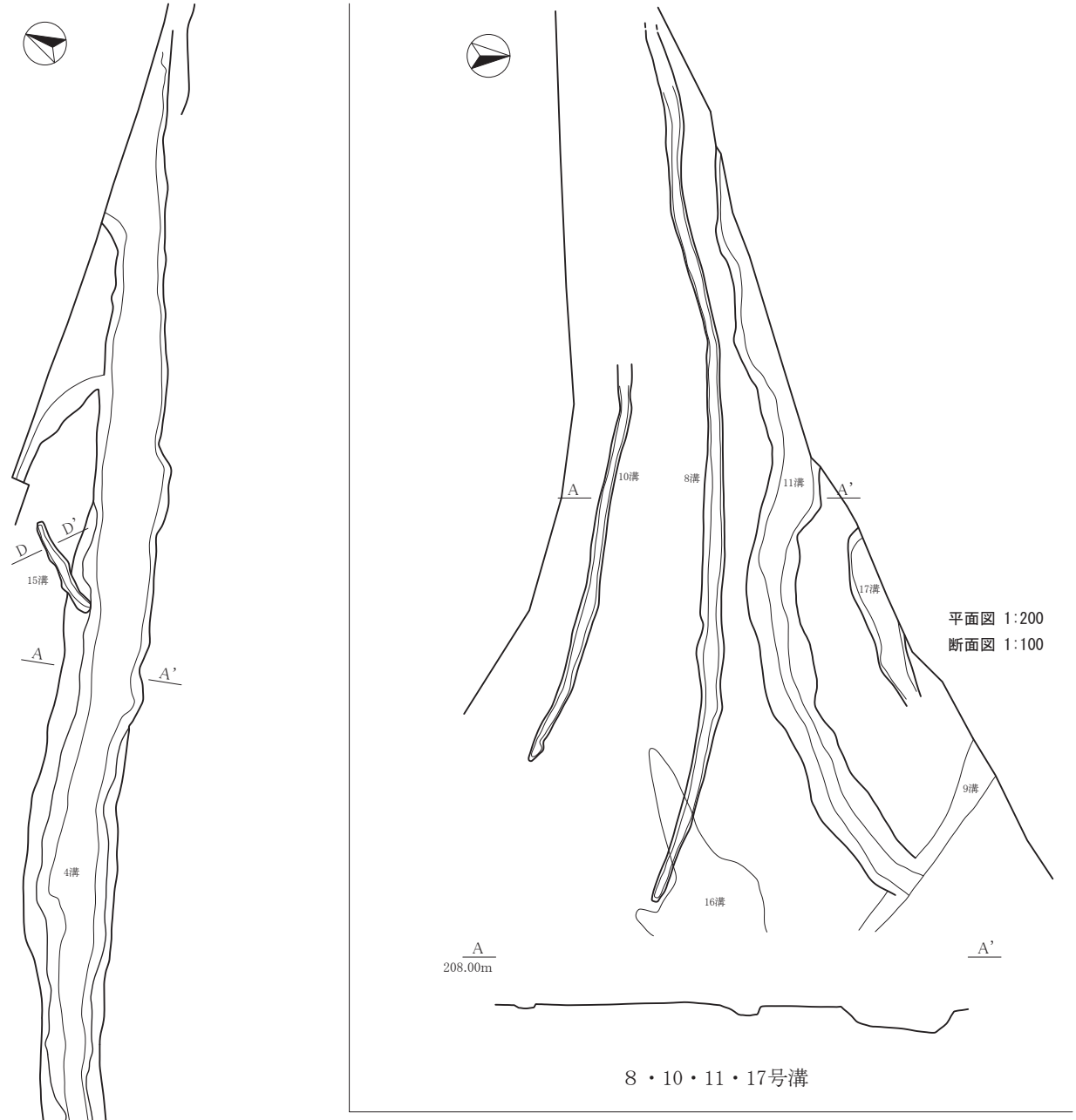
1号溝



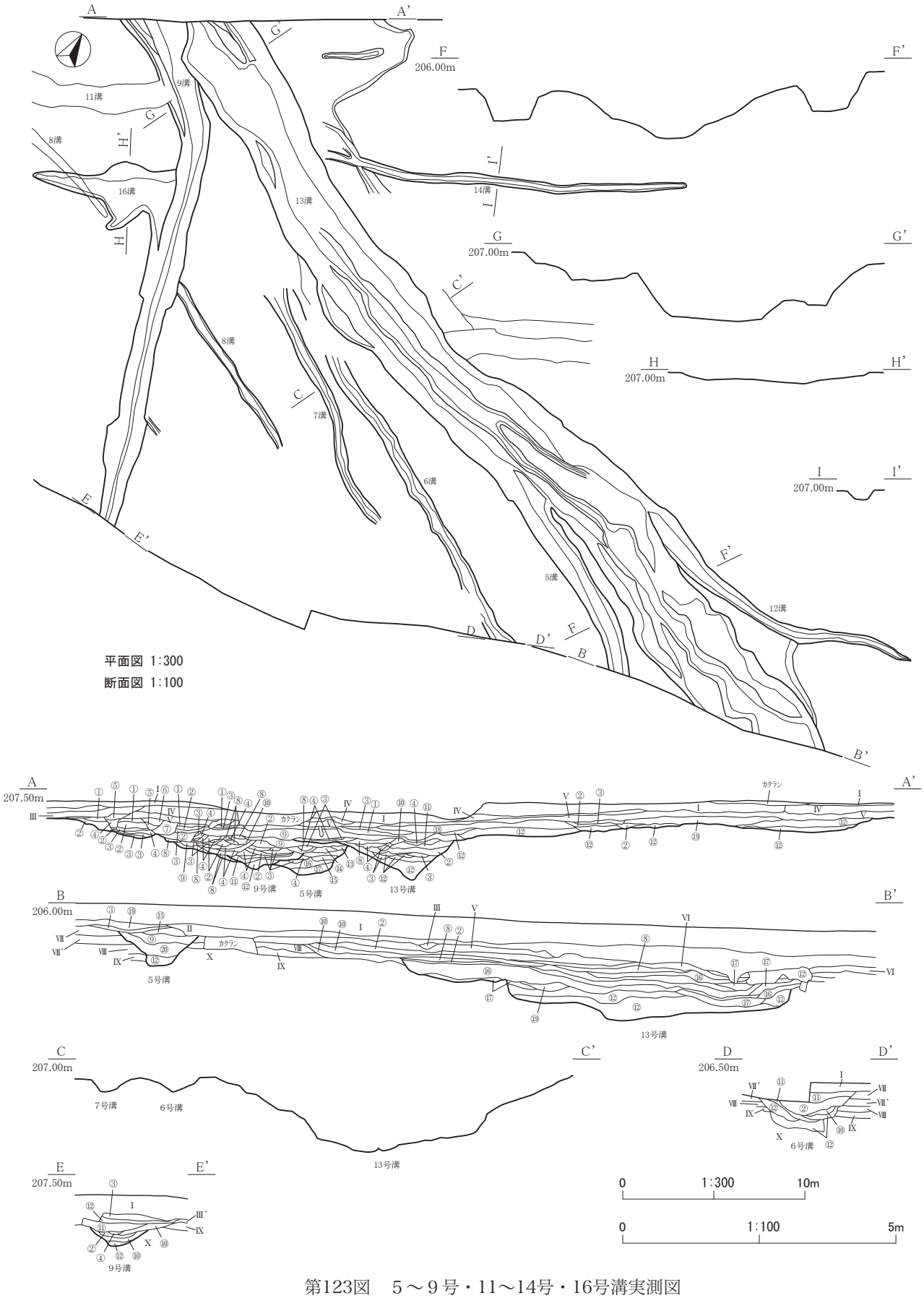


2・3号溝

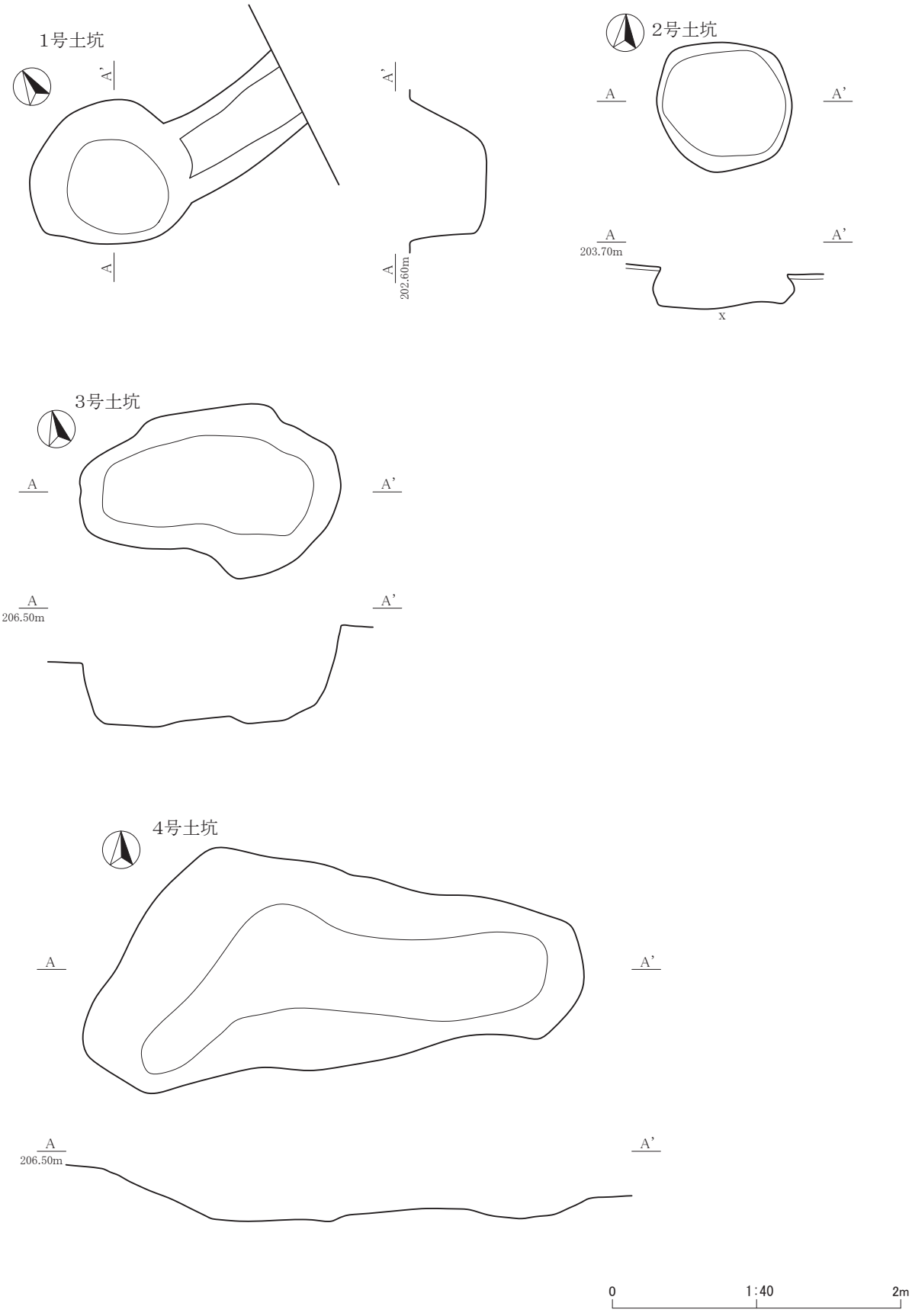
第121図　1～3号溝実測図



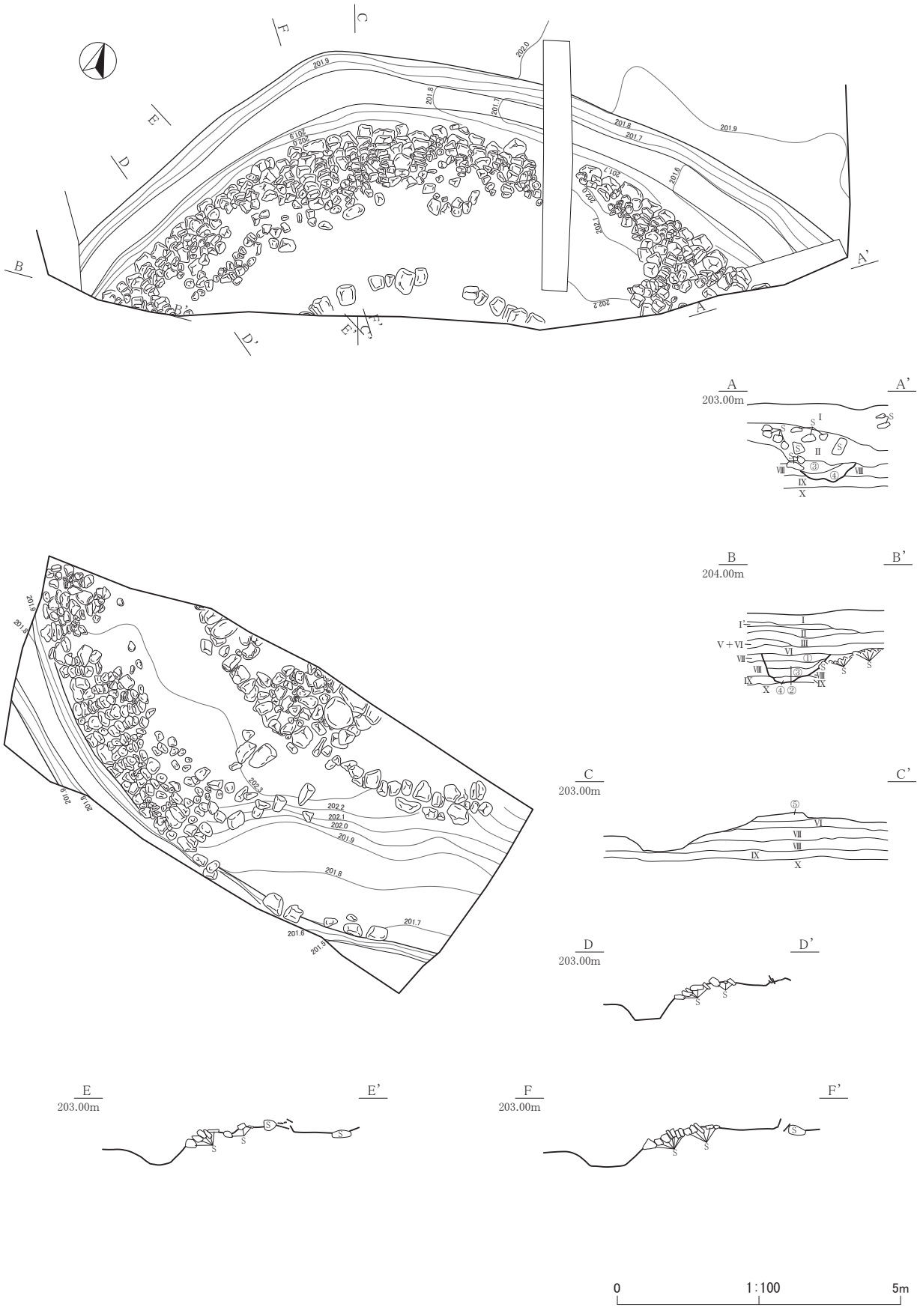
第122図　4号・15号・8号・10号・11号・17号溝実測図



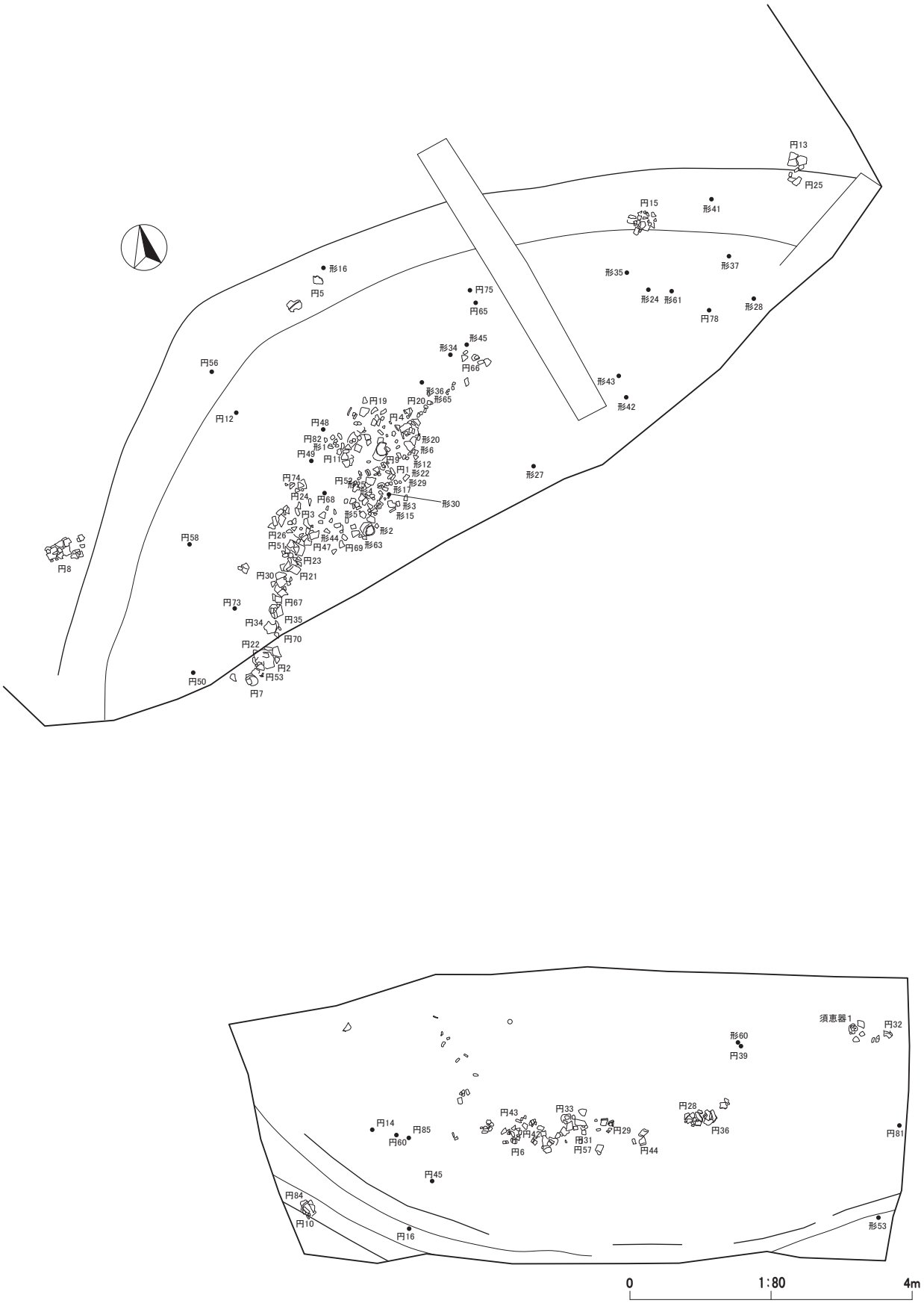
第123図　5～9号・11～14号・16号溝実測図



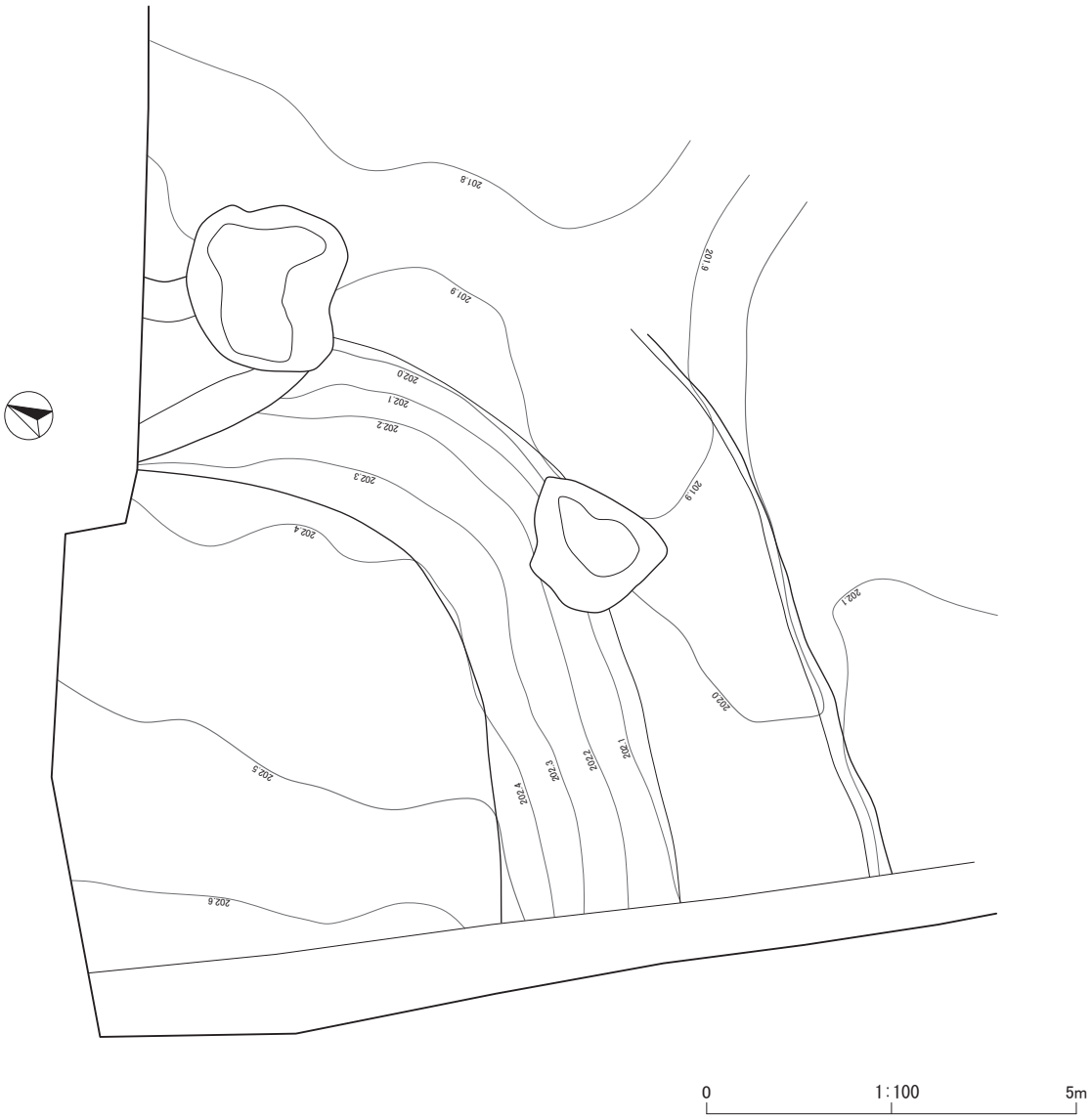
第124図　1～4号土坑実測図



第125図　1号古墳実測図



第126図　1号古墳遺物分布図



第127図　２号古墳実測図

1号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	As-C 軽石多量、ローム粒少量含む	
2	黒褐色土	As-C 軽石・ローム小ブロック少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	柱穴

2号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	ローム粒少量含む	
2	黒色土	ローム粒・炭化粒・焼土粒・小石多量に含む	
3	黒褐色土	ロームブロック多量に含む	
4	黒色土	ロームブロック・ローム粒少量含む	
5	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒多量に含む	
6	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
7	黒色土	ローム粒多量に含む	柱穴

3号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
2	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック多量に含む	
3	黒褐色土	ローム粒少量	
4	灰黄褐色土	ローム粒少量含む	粘土質
5	灰黄褐色土	ローム粒多量に含む	
6	黒色土	焼土粒・ローム粒少量含む	炉跡

4号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	ローム粒少量含む	粘土質
2	灰黄褐色土	ローム粒多量に含む	粘土質
3	灰黄褐色土	ローム粒・小石多量に含む	粘土質
4	黒色土	ローム粒少量含む	
5	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
6	ローム小ブロック	黒褐色土・焼土粒少量含む	貼床
7	黒褐色土	ローム粒多量に含む	ピット

7号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	ローム粒・小石多量含む	
2	黒色土	炭化粒・焼土ブロック多量に含む	
3	ロームブロック		柱穴
4	ローム小ブロック	灰褐色土少量含む	柱穴
5	灰褐色土	ローム粒少量含む	柱穴
6	灰褐色土	ローム小ブロック少量含む	柱痕
7	黒褐色土	炭化粒・ローム粒多量に含む	柱痕
8	灰褐色土	ローム小ブロック少量含む	柱穴掘り方
9	灰褐色土	ローム粒少量含む	柱穴掘り方
10	黒褐色土	ロームブロック少量含む	柱穴掘り方
11	ロームブロック	灰褐色土少量含む	柱穴掘り方
12	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	柱穴掘り方
13	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	柱穴掘り方
14	黒褐色土	ローム粒少量含む	柱穴掘り方
15	黒褐色土	ローム粒多量に含む	貼床
16	黒褐色土	ロームブロック多量に含む	貼床

8号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	As-C 軽石多量、ローム粒少量含む	
2	灰黄褐色土	ローム粒多量、As-C 軽石少量含む	
3	ロームブロック	灰黄褐色土少量含む	
4	黒褐色土	ローム粒少量含む	ピット

第62表　1～4号・7号・8号住居址土層注記

12号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	As-C 軽石多量、ローム粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒多量、As-C 軽石・炭化粒少量含む	
3	黒色土	ローム小ブロック・ローム粒多量に含む	
4	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	柱穴
5	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒多量に含む	柱穴

13号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	As-C 軽石・ローム粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒多量、As-C 軽石少量含む	

14号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	As-C 軽石・ローム粒多量、炭化粒少量含む	

17 号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	焼土粒・ローム粒少量含む	
2	黒色土	炭化粒・ローム粒少量含む	
3	黒色土	ローム粒多量、小石少量含む	
4	黒褐色土	小石少量含む	
5	黒褐色土	ローム粒多量に含む	

20号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	小石多量、As-C 軽石少量含む	
2	黒褐色土	小石多量、As-C 軽石・ローム粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒多量、As-C 軽石少量含む	
4	黒褐色土	ローム粒多量、As-C 軽石・ローム小ブロック少量含む	
5	黒褐色土	ローム粒多量、As-C 軽石少量含む	

21号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	As-C 軽石多量に含む	
2	黒色土	As-C 軽石・小石多量に含む	
3	黒褐色土	As-C 軽石・小石・炭化粒・土器片多量に含む	
4	黒褐色土	小石多量、As-C 軽石・ローム粒・炭化粒少量含む	
5	黒色土	As-C 軽石少量含む	
6	黒色土	As-C 軽石少量含む	粘土質
7	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	

22号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	ロームブロック・炭化粒多量に含む	

23号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	As-C 軽石多量、ローム粒少量含む	
2	黒褐色土	As-C 軽石・ローム小ブロック少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	

26号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	
2	黒褐色土	ローム小ブロック・炭化粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	

第63表　12～14号・17号・20～23号・26住居址土層注記

28号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	ロームブロック・炭化粒少量含む	
2	黒色土	ローム粒・炭化粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	
4	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	

31号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	As-C 軽石・ローム小ブロック・炭化粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム小ブロック・炭化粒多量、As-C 軽石・小石少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒多量、As-C 軽石少量含む	
4	灰褐色土	ローム粒多量、As-C 軽石・小石少量含む	
5	黒褐色土	As-C 軽石・ローム粒少量含む	
6	黒褐色土	As-C 軽石・ローム粒・炭化粒少量含む	
7	灰褐色土	ローム粒少量含む	粘土質
8	黒色土	ローム粒・炭化粒少量含む	

32号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	As-C 軽石多量、ローム粒少量含む	
2	黒褐色土	小石・ローム粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	

33号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	As-C 軽石・礫・ローム小ブロック・ローム粒多量に含む	
2	黒褐色土	As-C 軽石・礫・ロームブロック多量に含む	
3	ロームブロック	As-C 軽石・礫少量含む	
4	黒褐色土	As-C 軽石・小石・ローム粒少量含む	
5	黒色土	As-C 軽石・炭化粒・ローム粒少量含む	
6	ロームブロック		
7	黒褐色土	ロームブロック少量含む	柱穴

34号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	As-C 軽石多量に含む	
2	黒褐色土	As-C 軽石・ローム粒少量含む	
3	灰褐色土	ローム粒・ローム小ブロック多量、炭化粒少量含む	粘土質

1号溝

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	灰褐色土	As-A 軽石多量に含む	
2	灰褐色土	As-A 軽石・小石多量に含む	
3	黒色土	As-A 軽石・ロームブロック多量に含む	
4	黒褐色土	As-A 軽石・小石多量に含む	
5	褐灰色土	ローム粒多量に含む	
6	黒褐色土		
7	灰褐色土	ローム小ブロック多量に含む	
8	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	
9	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
10	灰褐色土	粗砂・小石・礫多量に含む	

2号溝

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	As-B 軽石少量含む	
2	黒褐色土	As-B 軽石少量含む	
3	砂利		

第64表　28号・31～34号住居址、1号・2号溝土層注記

3号溝

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	灰色土	As-B 軽石少量含む	
2	黒褐色土	粗砂少量含む	粘土質
3	砂利		シルト質
4	砂利		

5・6・9・13号溝

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	粗砂		鉄分沈着
2	粗砂と細砂		
3	粗砂		
4	細砂		
5	黒褐色土	As-C 軽石少量含む	
6	黒褐色土	As-C 軽石多量に含む	
7	黒褐色土	As-C 軽石・小石・ローム粒・細砂少量含む	
8	シルト		
9	黒褐色土	細砂少量含む	
10	細砂とシルト		
11	粗砂とシルト		
12	砂利		
13	黒褐色土	As-C 軽石・ローム小ブロック少量含む	
14	黒褐色土	As-C 軽石・ローム粒少量含む	
15	黒褐色土	細砂・ローム小ブロック多量に含む	
16	黒褐色土	小石少量含む	
17	黒褐色土	小石多量に含む	
18	黒褐色土	小石・粗砂・シルト少量含む	
19	黒褐色土	粗砂少量含む	
20	黒褐色土	細砂・シルト・土器片を少量含む	

1号墳

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	小石少量含む	
2	黒色土	ローム小ブロック少量含む	
3	黒色土	ローム小ブロックと崩落した葺石を多量に含む	
4	黒色土	ローム粒少量含む	

第65表　3号・5号・6号・9号・13号溝、1号古墳土層注記

住居名	平面形態	規模				壁溝	主軸方向	主柱穴	壁際柱穴（炉の対面）	補助柱穴（壁際）	炉位置	貯蔵穴			時期	グリッド	備考
		長軸 m	短軸 m	深さ最大 cm	深さ最小 cm							長軸 cm	短軸 cm	深さ cm			
1住	方形？	<3.46>	5.40	26	20	×	NW26°	2(4)	4	4	-	52	52	-	弥生	10Z-48 他	
2住	大型横長方形	7.00	<4.96>	32	14	×	NE52°	4	5	6	西側主柱穴間壁寄り	-	-	-	弥生	11AB-15 他	18 号住と重複
3住	大型縦長方形	(9.04)	5.16	-	-	×	NW43°	4	1	8	北側主柱穴間壁寄り	-	-	-	弥生	10Z-69 他	4 号住と重複
4住	大型縦長方形	9.50	5.32	-	-	×	NW25°	4	3	9	炉 1：北側主柱穴間壁寄り 炉 2：西側主柱穴間南寄り	42	32	-	弥生	11AB-70 他	3 号住と重複
5住	大型縦長方形	6.40	(5.40)	-	-	×	NE5°	4	4	4	-	32	26	-	弥生	11AB-71 他	
6住	不明	-	-	20	4	×	-	4	-	-	北側主柱穴間	-	-	-	弥生	11AB-43 他	1 溝と重複
7住	大型縦長方形	<8.0>	7.24	22	10	×	NW40°	4	4	7	北側主柱穴間壁寄り	56	52	-	弥生	10Z-65 他	8 号住 .4 溝と重複
8住	大型縦長方形	10.70	7.00	40	14	×	NW61°	4	3	8	北側主柱穴間やや壁寄り	-	-	-	弥生	10Z-77 他	7 号住と重複
9住	方形？	<5.44>	(7.98)	-	-	×	-	2(4)	-	2	-	-	-	-	弥生	12AB-02 他	3 溝と重複
10住	中型縦長方形	4.92	3.40	32	24	×	NE40°	-	-	-	-	-	-	-	弥生	11AB-29 他	
11住	大型横長方形	8.34	<5.32>	34	18	×	SW67°	4	3	6	西側主柱穴間壁寄り	68	52	14	弥生	11AB-90 他	2 溝と重複
12住	大型縦長方形	<8.82>	6.36	34	8	×	NW13°	4	4	4	炉 1：北側主柱穴間 炉 2：西側主柱穴間南寄り	62	46	-	弥生	11AA-50 他	
13住	大型縦長隅丸方形	7.74	6.20	36	28	○	NW14°	4	3	5	13 住と同じ	40	38	-	弥生	10Z-68 他	14 号住 .3 号土坑と重複
14住	不明	-	-	18	16	×	-	-	-	-	-	-	-	-	弥生	10Z-68	13 号住と重複
15住	中型縦長方形	(4.98)	(4.04)	30	26	×	NW11°	3(4)	3	-	-	-	-	-	弥生	11Z-25 他	5 溝 .6 溝と重複
16住	中型縦長方形	(4.82)	(3.80)	22	16	×	NW5°	3(4)	-	-	北側主柱穴間	-	-	-	弥生	11Z-24	17 号住 .6 溝 .7 溝と重複
17住	大型縦長方形	6.26	<2.42>	54	42	×	NW22°	2(4)	-	4	北側主柱穴間	-	-	-	弥生	11Z-25 他	16 号住 .6 溝と重複
18住	大型縦長方形	(6.40)	(5.48)	64	12	×	NW35°	4	5	4	-	36	34	-	弥生	11AB-15 他	2 号住と重複
19住	中型横長方形	4.86	3.28	50	50	×	SW61°	2	-	-	主柱穴間やや東壁寄り	-	-	-	弥生	11AA-83 他	
20住	大型縦長方形	(6.56)	5.46	36	30	×	NW49°	6	2	2	北側主柱穴間	-	-	-	弥生	11Z-22 他	21 号住と重複
21住	大型横長方形	9.12	6.04	58	0	×	NE31°	4	2	3	炉 1：東側主柱穴間 炉 2：北側主柱穴間西寄り	-	-	-	弥生	11Z-32 他	20 号住 .8 溝と重複
22住	中型縦長方形	(5.14)	3.90	16	14	×	NW45°	4	3	1	北側主柱穴間	38	30	-	弥生	11Z-10 他	23 号住 .9 溝と重複
23住	大型縦長方形	7.32	5.78	30	22	×	NW17°	4	4	1	炉 1：北側主柱穴間壁寄り 炉 2：西側主柱穴間	-	-	-	弥生	11Z-20 他	22 号 .26 号住 .9 溝と重複
24住	大型縦長方形	10.08	5.86	56	50	○	NE5°	3(4)	4	9	炉 1：北側主柱穴間やや壁寄り 炉 2：西側主柱穴間南寄り	58	40	-	弥生	10Z-87 他	4 溝と重複
25住	方形？	<5.48>		-	-	×	-	2(4)	-	-	-	-	-	-	弥生	11Z-05 他	4 溝 .13 溝と重複
26住	大型縦長方形	<6.58>	<4.64>	44	36	×	NW23°	2(4)	-	-	北側主柱穴間壁寄り	-	-	-	弥生	11Z-30 他	23 号 .27 号 .28 号住と重複
27住	不明	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	弥生	11Y-29	26 号 .28 号住と重複
28住	不明	-	-	-	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	弥生	11Y-29	26 号 .27 号住と重複

第66表　瀧遺跡遺構観察表(1)

住居名	平面形態	規模				壁溝	主軸方向	主柱穴	壁際柱穴（炉の対面）	補助柱穴（壁際）	炉位置	貯蔵穴			時期	グリッド	備考
		長軸ｍ	短軸ｍ	深さ最大cm	深さ最小cm							長軸cm	短軸cm	深さcm			
29住	大型縦長方形	9.46	<6.18>	34	26	×	NW25°	4	4	6	-	46	44	-	弥生	11Z-01他	5溝.6溝.7溝.9溝と重複
30住	大型縦長方形	9.58	<6.44>	52	34	×	NW17°	3(4)	3	-	-	40	28	-	弥生	11Z-02他	4溝.5溝.6溝.13溝と重複
31住	大型横長方形	6.60	4.80	46		×	NW75°	4	4	2	西側主柱穴間やや壁寄り	46	44	-	弥生	11AA-75他	
32住	方形？	-	-	30	26	×	-	1(4)	-	1	残存している住居のほぼ中央	-	-	-	弥生	11Y-14他	8溝.10溝と重複
33住	方形？	<6.0>	7.64	40	30	○	NW38°	2(4)	-	6	北側主柱穴間	-	-	-	弥生	11Y-16他	
34住	大型縦長方形	10.22	7.14	36	8	×	NW44°	4	4	13	炉1：北側主柱穴間 炉2：西側主柱穴間南寄り	50	34	-	弥生	11Y-08他	8溝.10溝.11溝.16溝と重複

堀立名	平面形態	規模				主軸方向	時期	グリッド	備考
		長軸m	短軸m	ピット深さ最小cm	ピット深さ最大cm				
1号								10Z-75他	14溝と重複

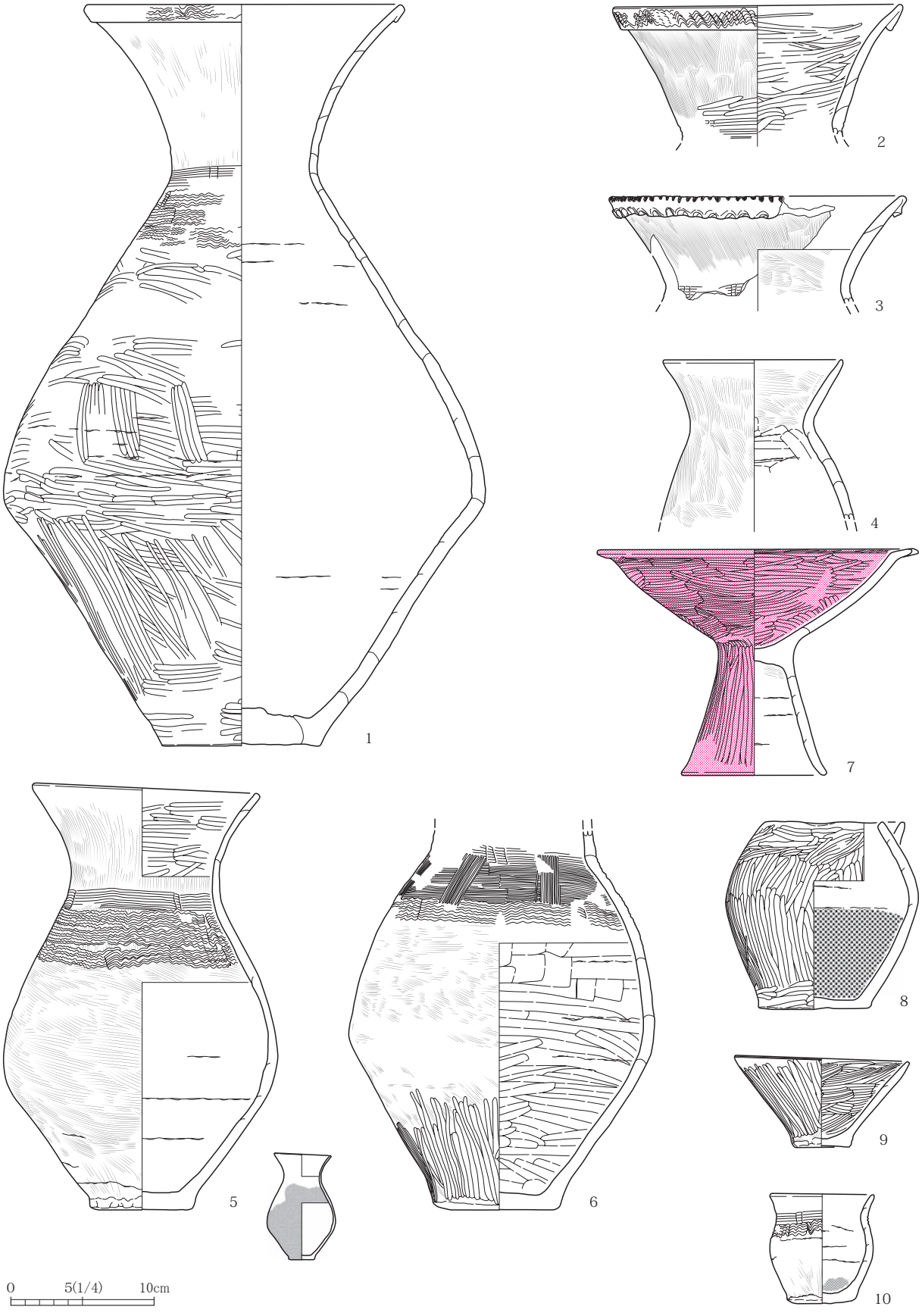
土坑名	規模			時期	グリッド	備考
	長軸ｃｍ	短軸ｃｍ	深さｃｍ			
1号	1.15	1.03	53		11AB-29	
2号	94	91	29		11AB-42他	
3号	1.82	1.21	71		10Z-69	13号住と重複
4号	3.51	1.56	36		11Z-14	6溝と重複

溝名	規模						時期	グリッド	備考
	上幅		下幅		深さ				
	最小ｃｍ	最大ｃｍ	最小ｃｍ	最大ｃｍ	最小ｃｍ	最大ｃｍ			
1号	565	690	280	520	-	100		11AB-44他	6号住と重複
2号	120	385	80	220	-	40		11AB-81他	11号住と重複
3号	150	230	10	110	-	60		12AB-00他	9号住と重複
4号	210	420	40	280	-	115		10Z-79他	7号.24号.25号.30号住.15号溝と重複
5号	120	150	40	60	-	55		11Z-16他	15号.13号溝と重複
6号	60	150	20	80	-	70		11Z-13他	15号.16号.17号.29号.30号住．4号土坑.13号溝と重複
7号	50	130	10	50	-	20		11Z-12他	16号.29号住と重複
8号	35	85	15	45	-	15		11Y-07他 11Z-02他	21号.33号.34号住.9号.16号溝と重複
9号	110	200	10	80	-	-		11Z-10他	22号.23号.29号住.8号.11号.16号溝と重複
10号	30	55	10	30	-	10		11Y-17他	33号.34号住と重複
11号	115	180	25	110	-	30		11Y-07他	34号住と重複
12号					-	65			
13号					-	130			
14号	20	30	10	25	-	15		10Z-84他	29号住.1号堀立柱と重複
15号	40	60	20	40	-	20		11AA-61	4号溝と重複
16号	40	380	20	400	-	20		11Y-09他	34号住.8号.9号溝と重複
17号	65	90	50	75	-	-		10Y-98他	16号.38号住と重複

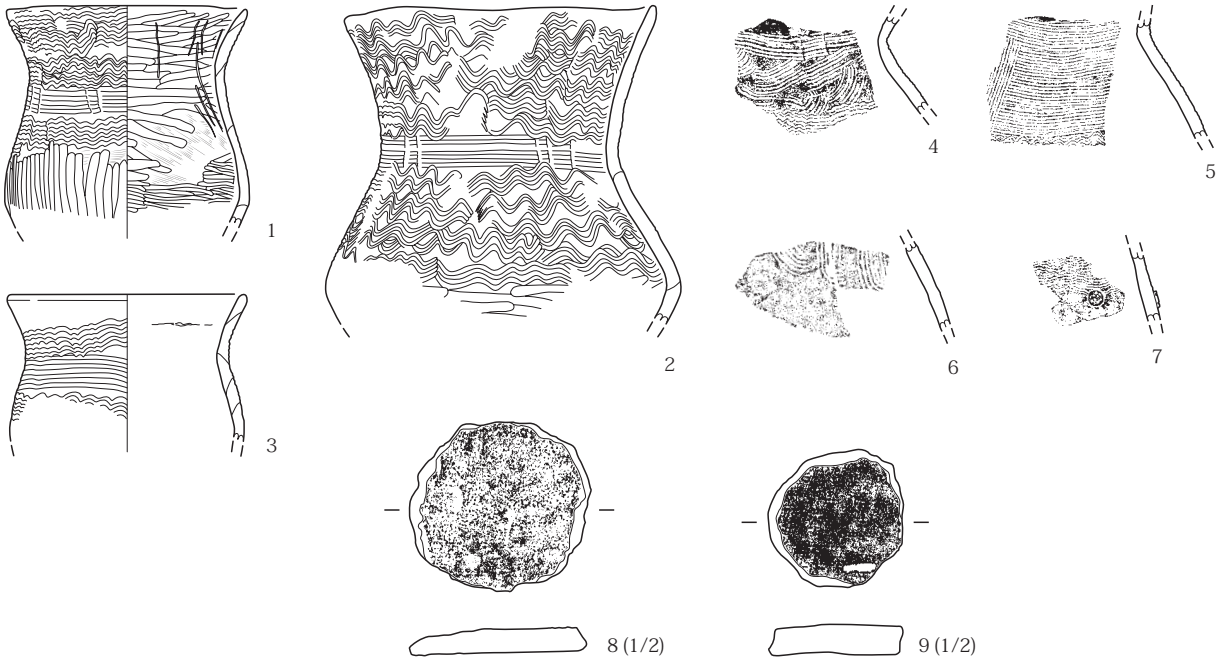
平面形態
小型４㍍以下
中型４～６㍍
大型６㍍以上

壁溝
○あり
×なし

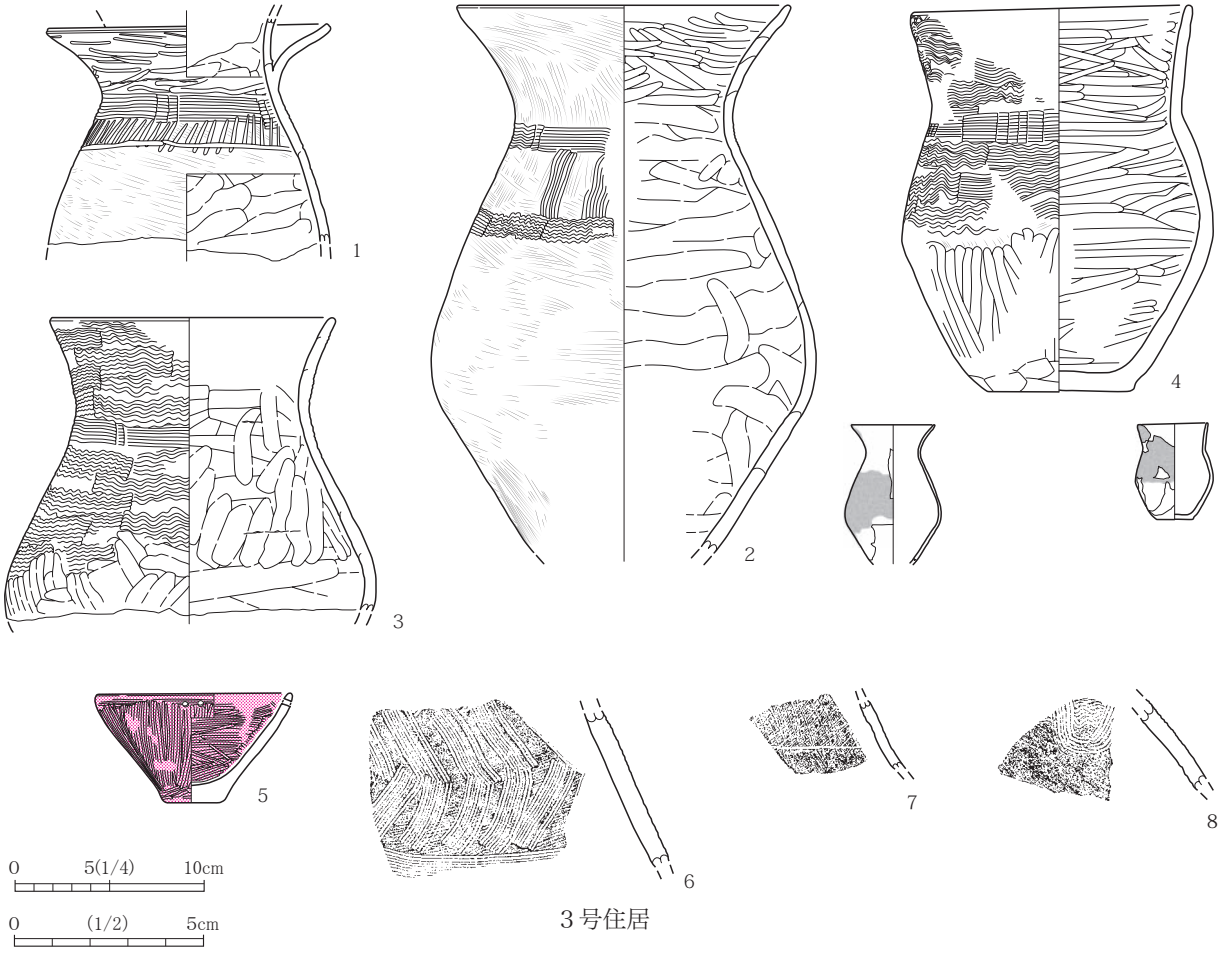
第67表　瀧遺跡遺構観察表(2)



第128図　遺物集中地点出土土器実測図

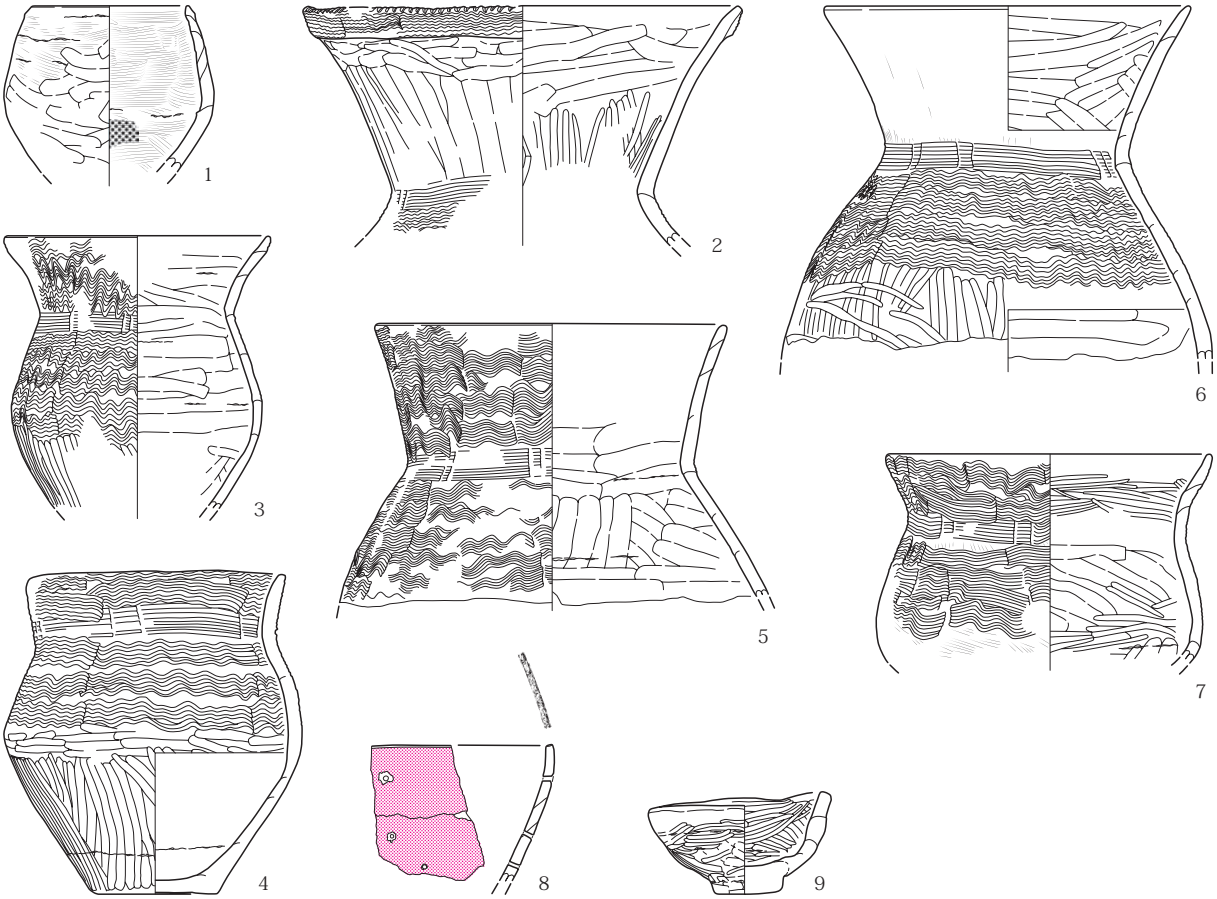


2号住居

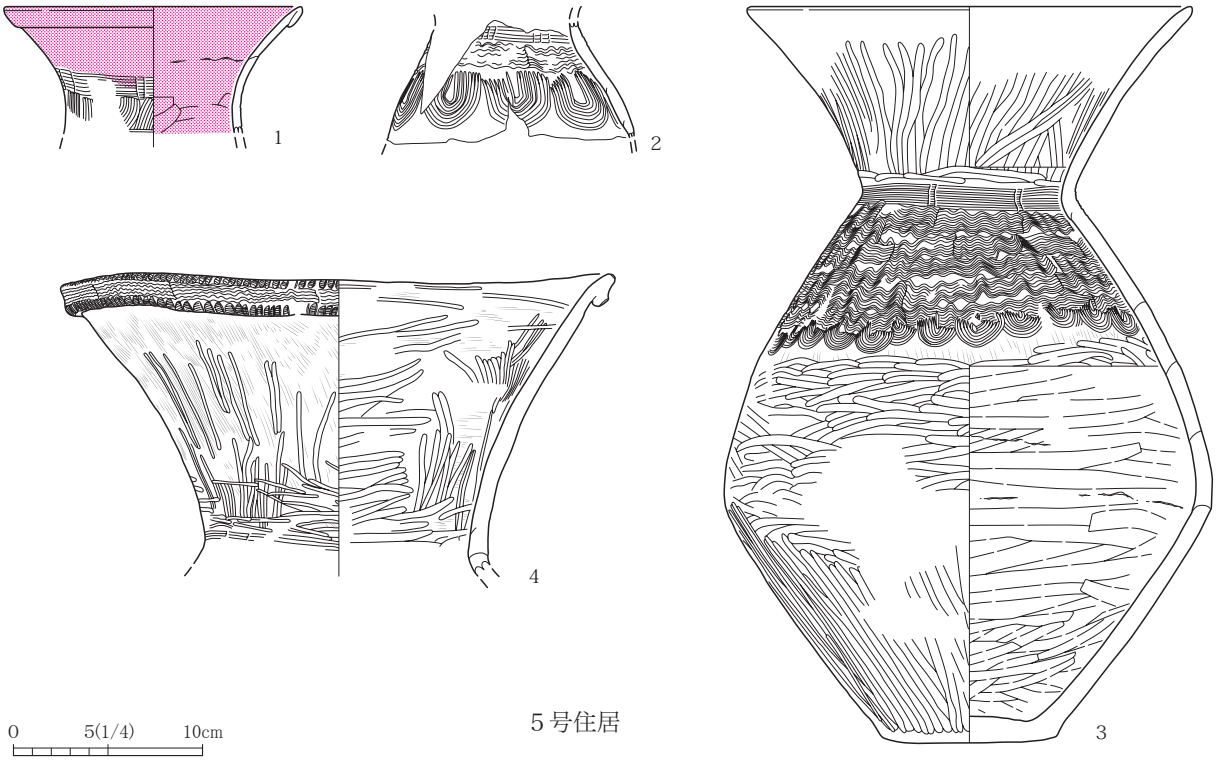


3号住居

第129図　2号・3号住居址出土土器実測図

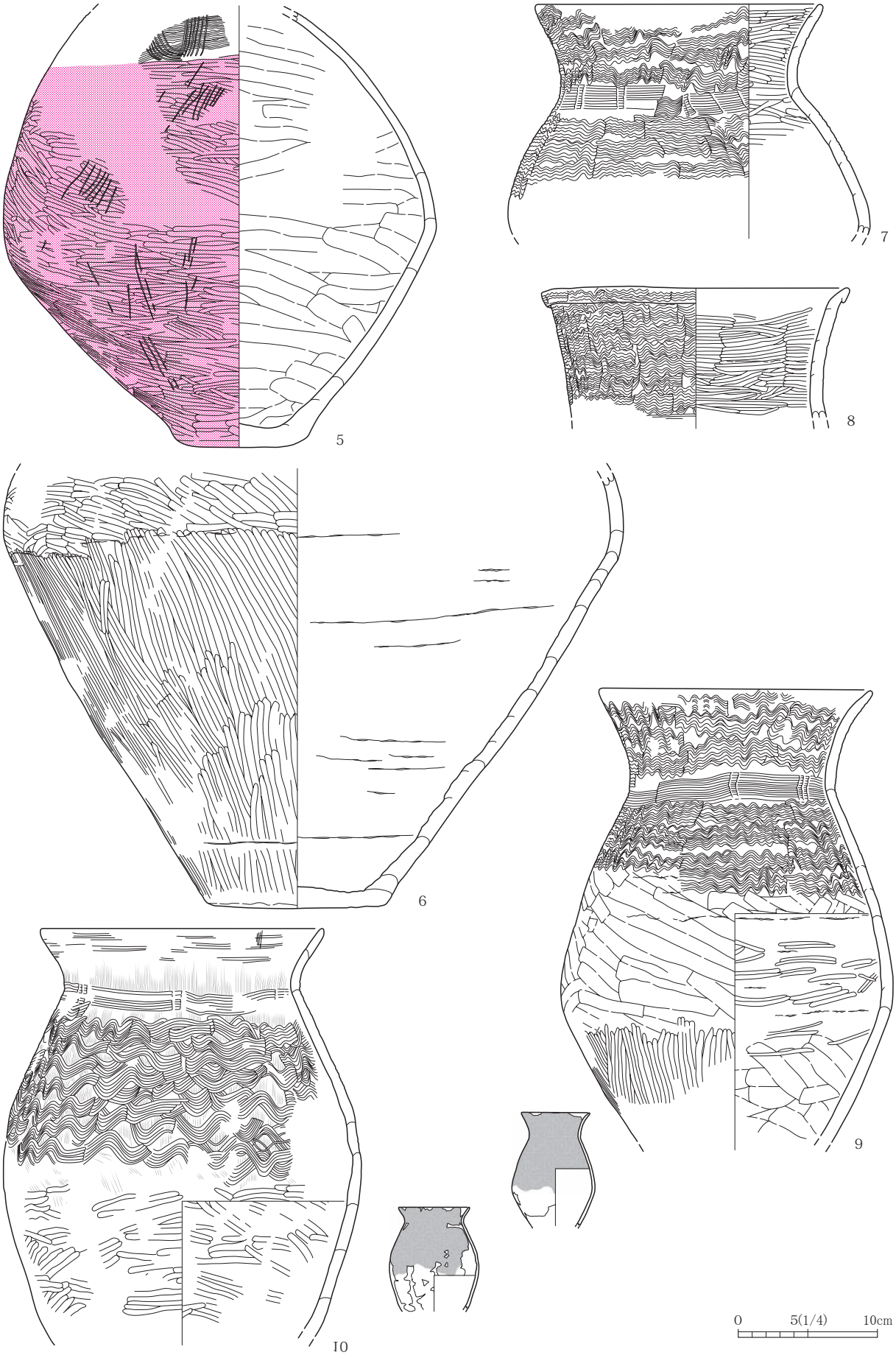


4号住居

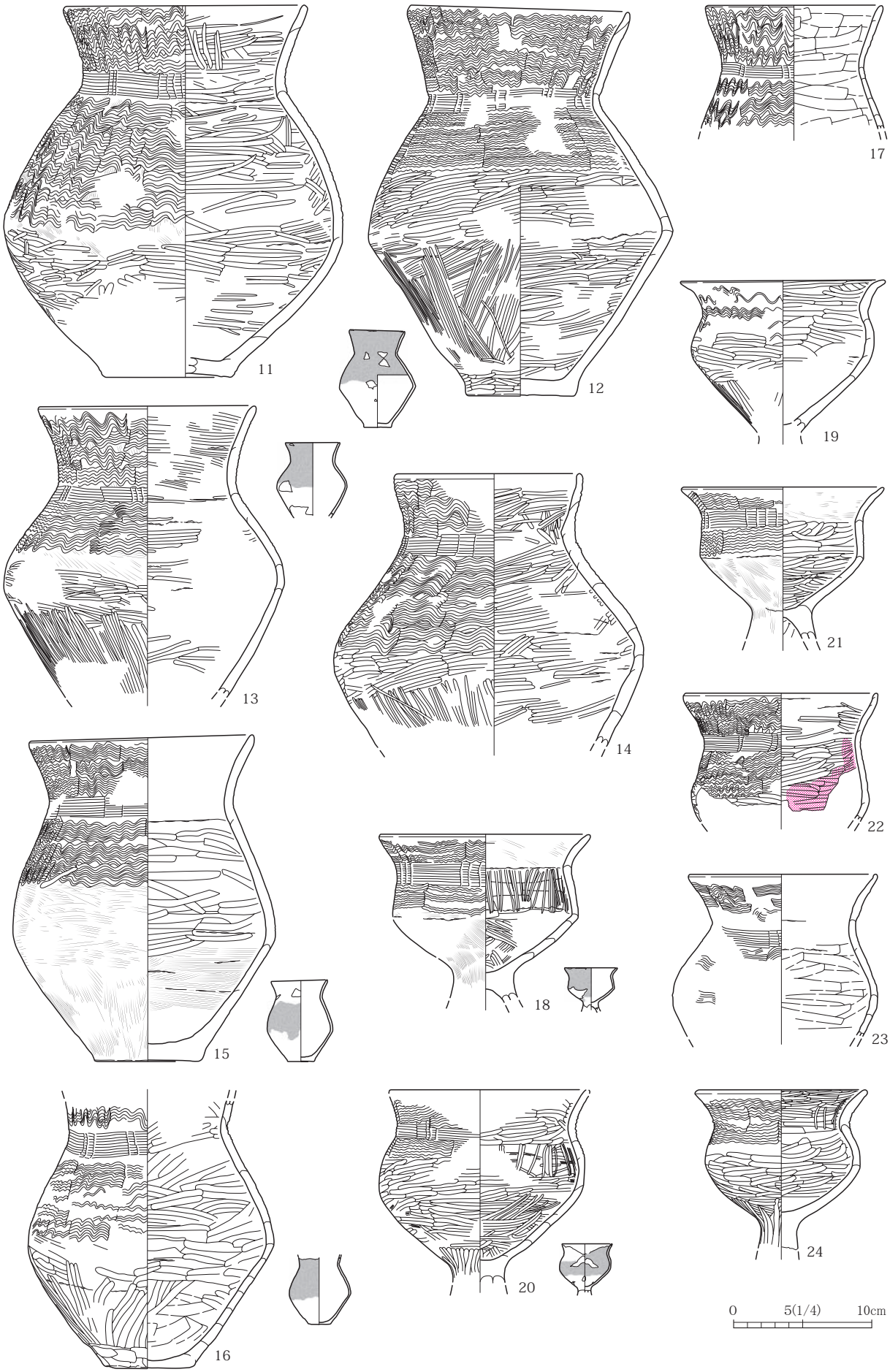


5号住居

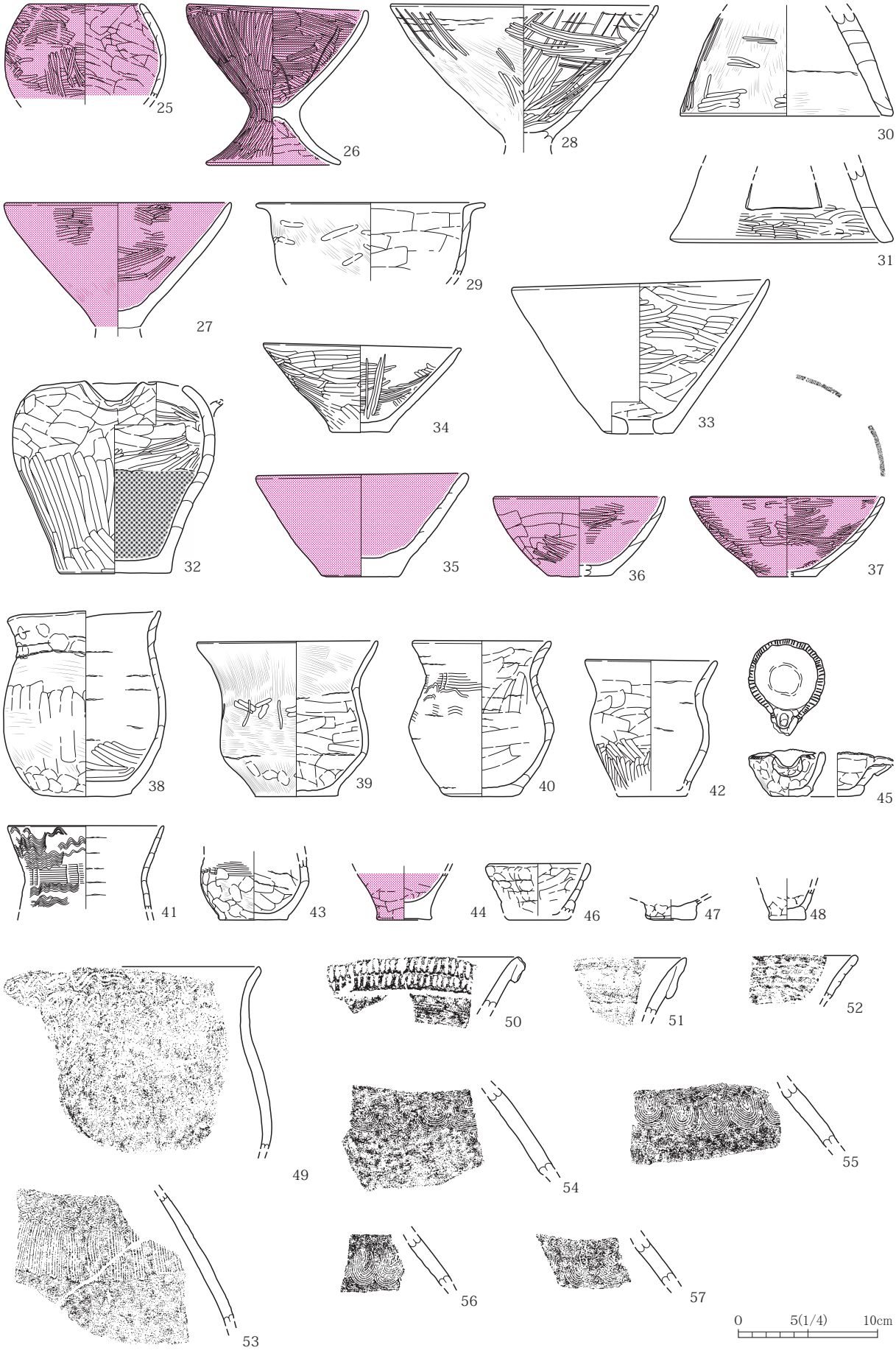
第130図　4号・5号住居址出土土器実測図



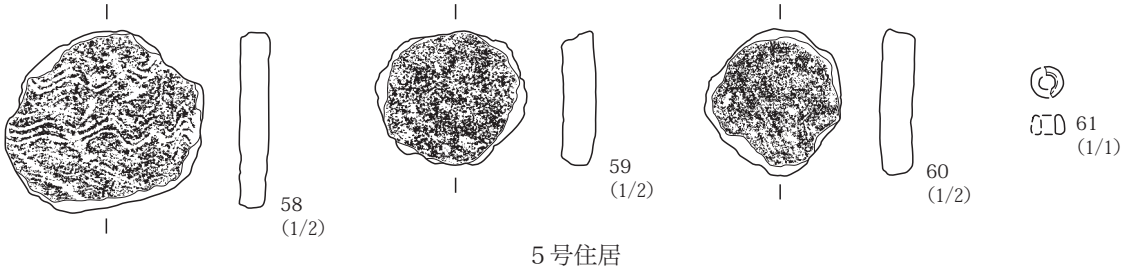
第131図　5号住居址出土土器実測図(1)



第132図　5号住居址出土土器実測図(2)

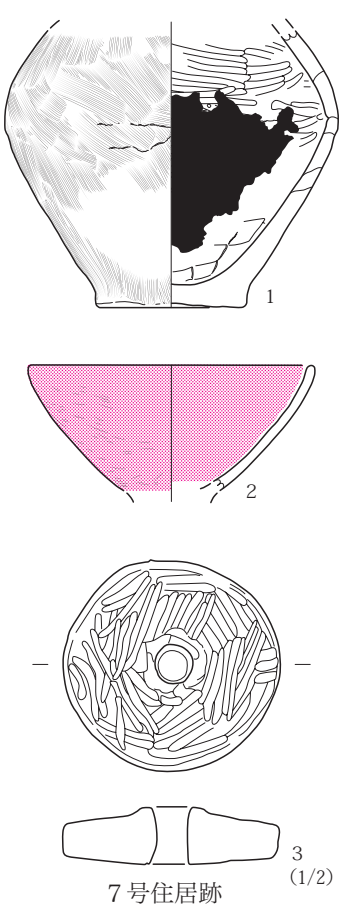


第133図　5号住居址出土土器実測図(3)

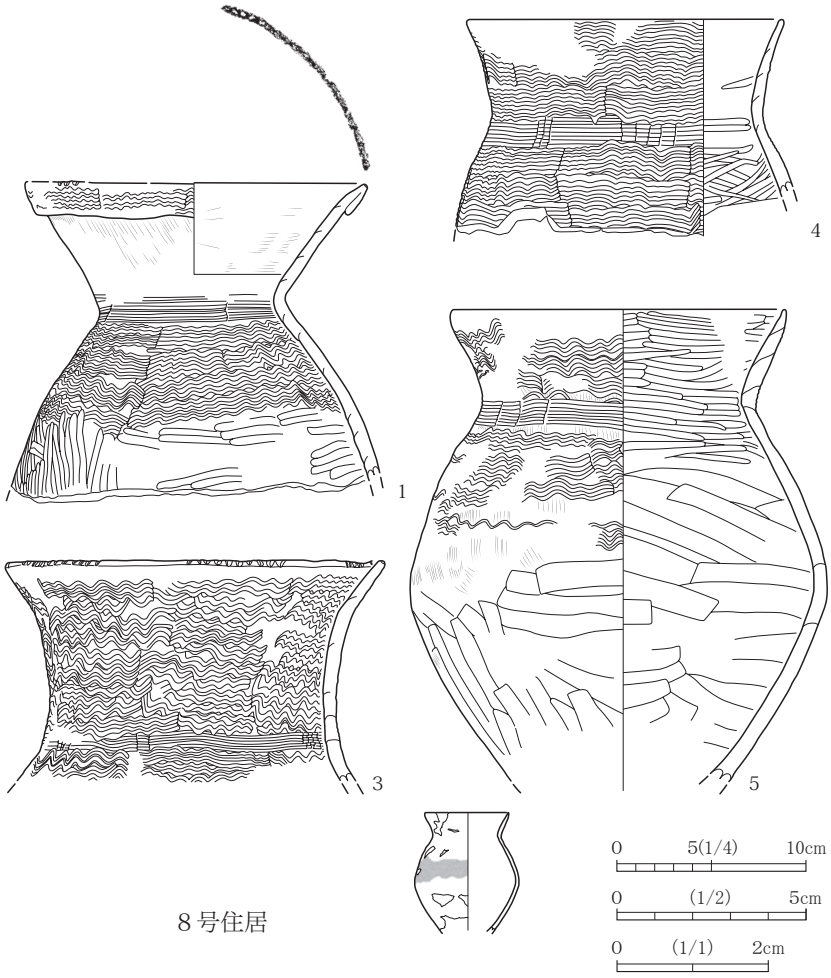


5号住居

6号住居

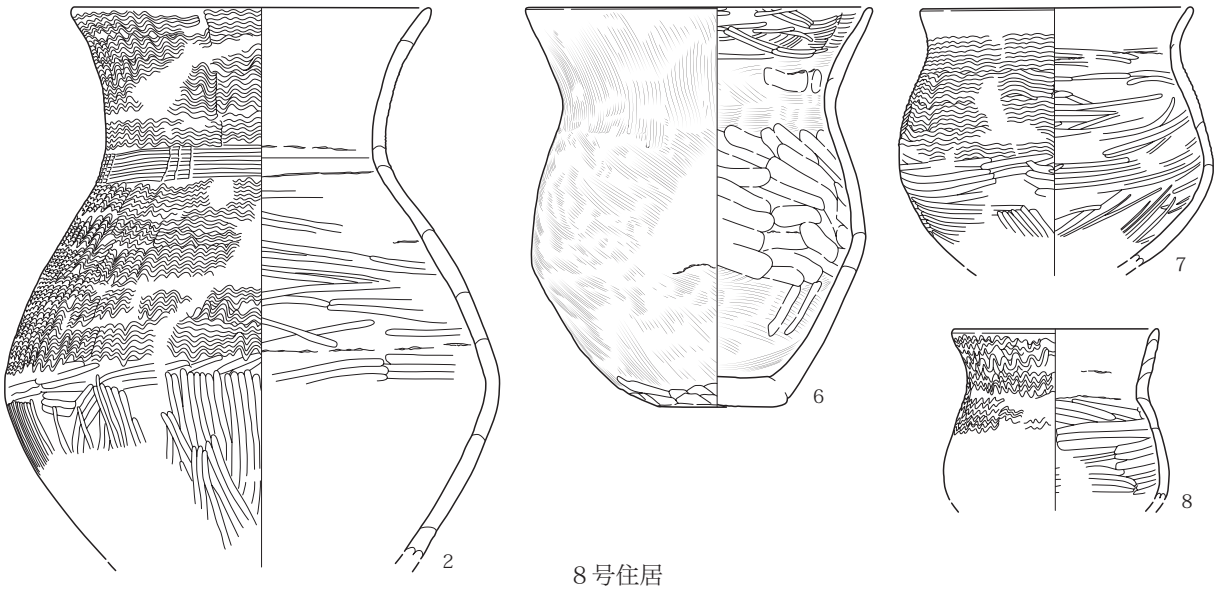


7号住居跡

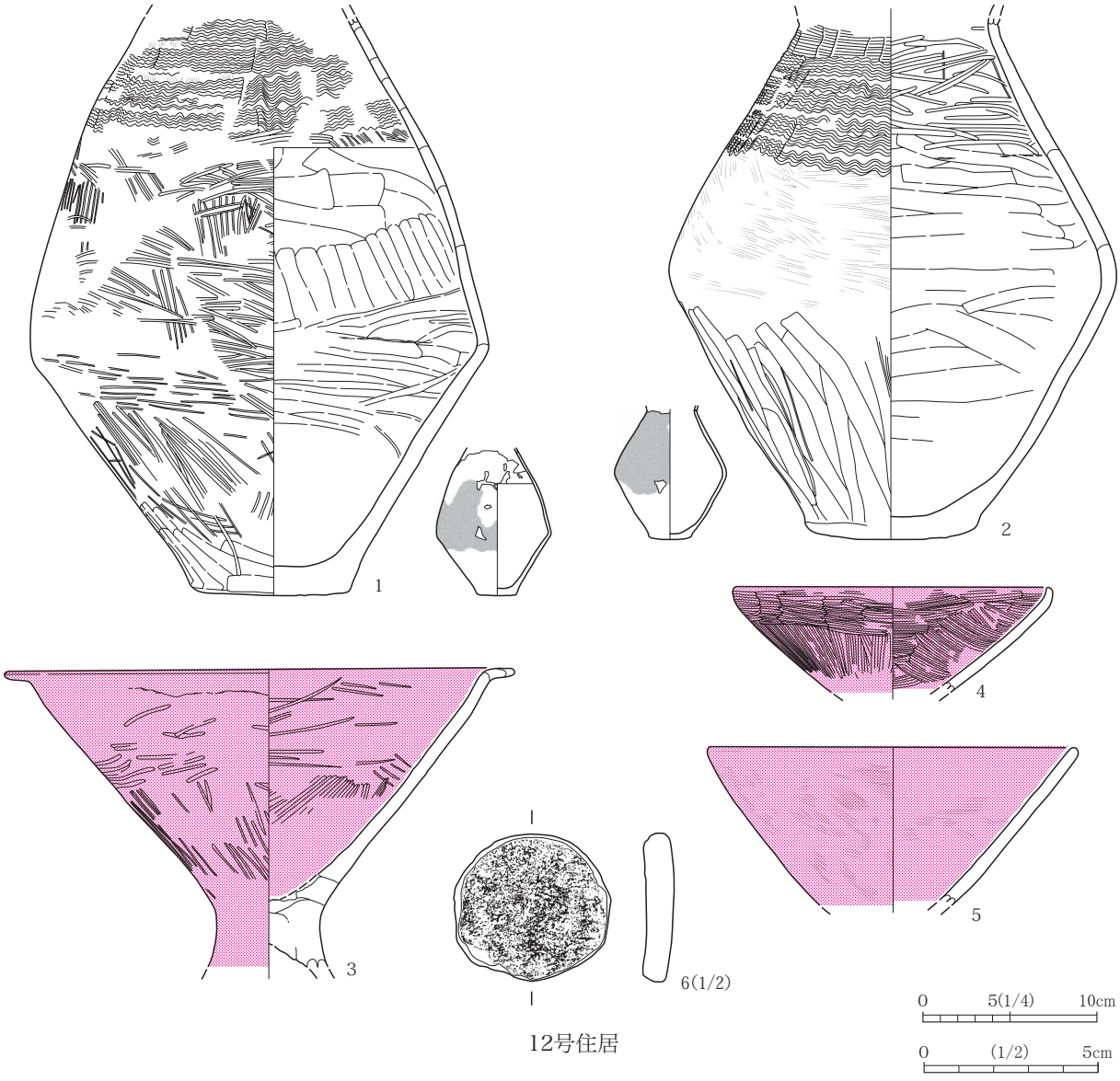


8号住居

第134図　5～8号住居址出土土器実測図



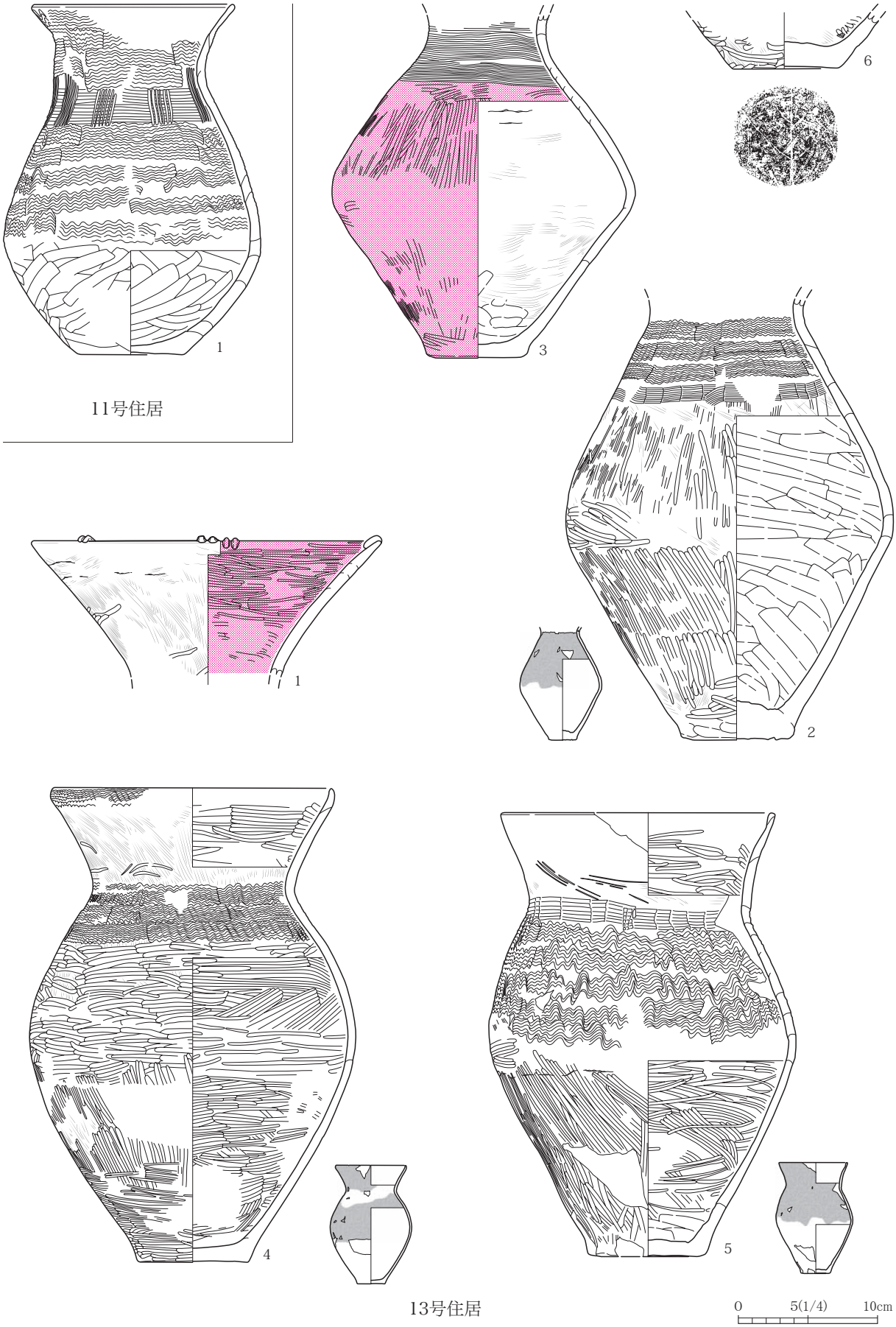
8号住居



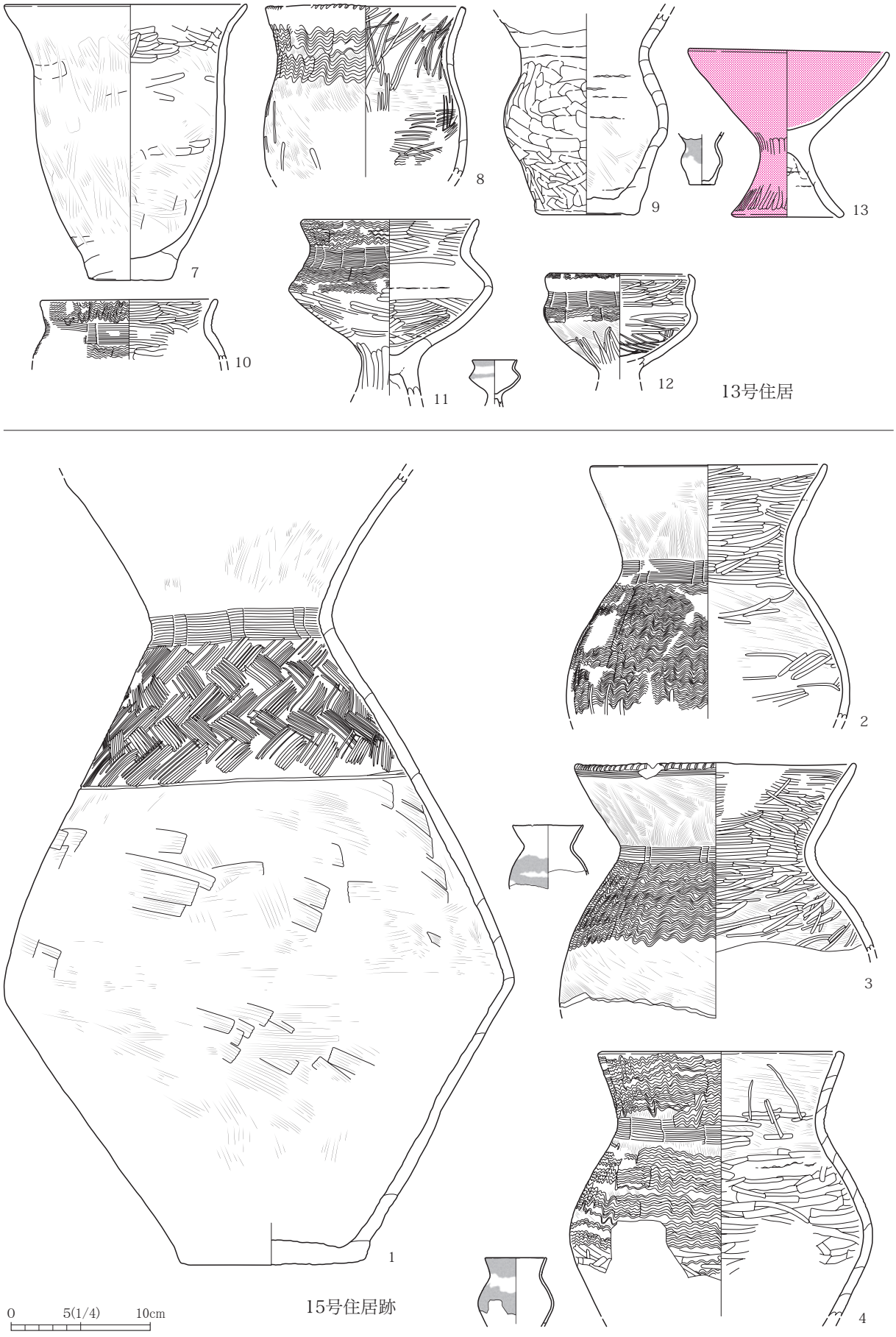
12号住居

第135図　8号・12号住居址出土土器実測図

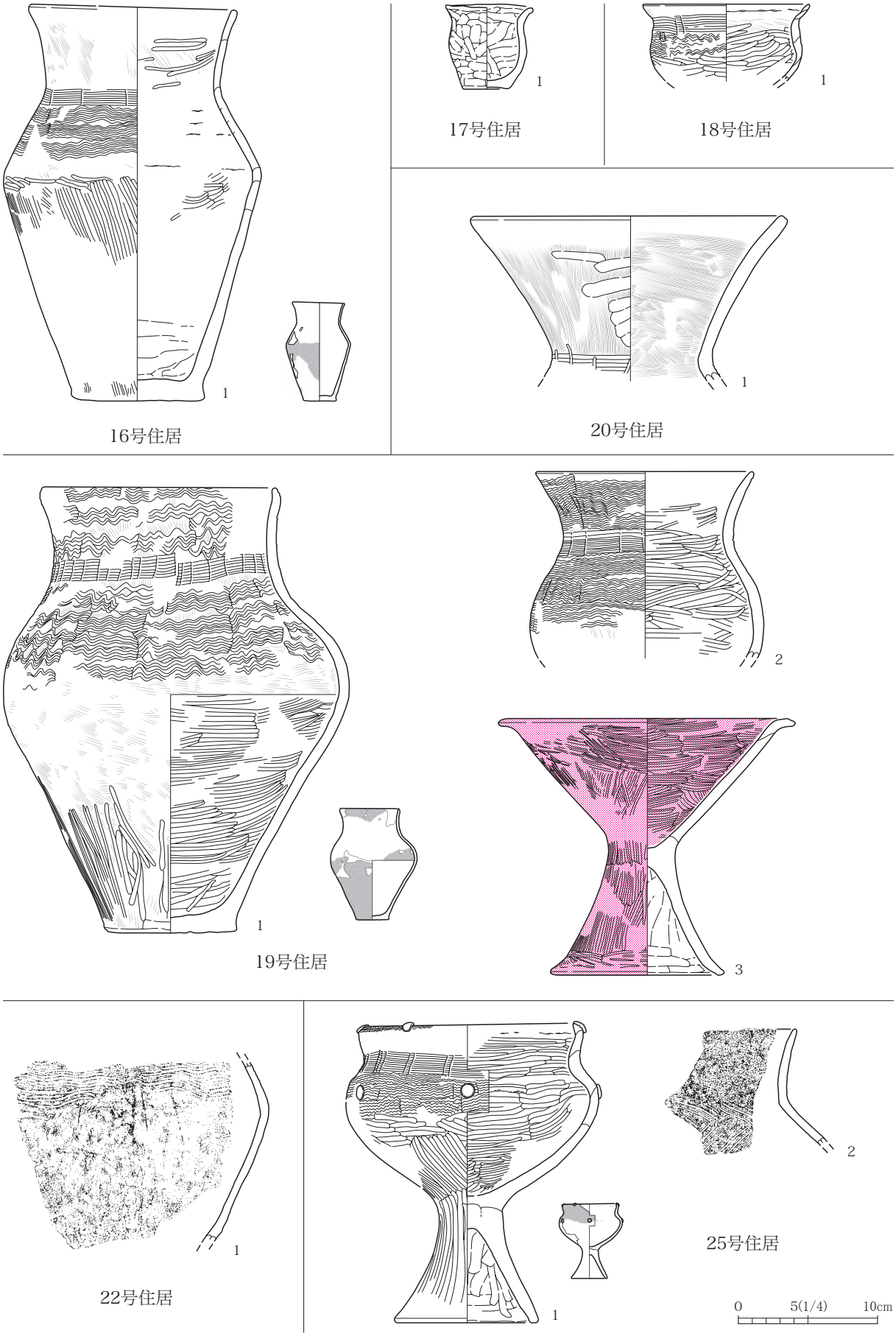
第136図　9号住居址出土柱材実測図



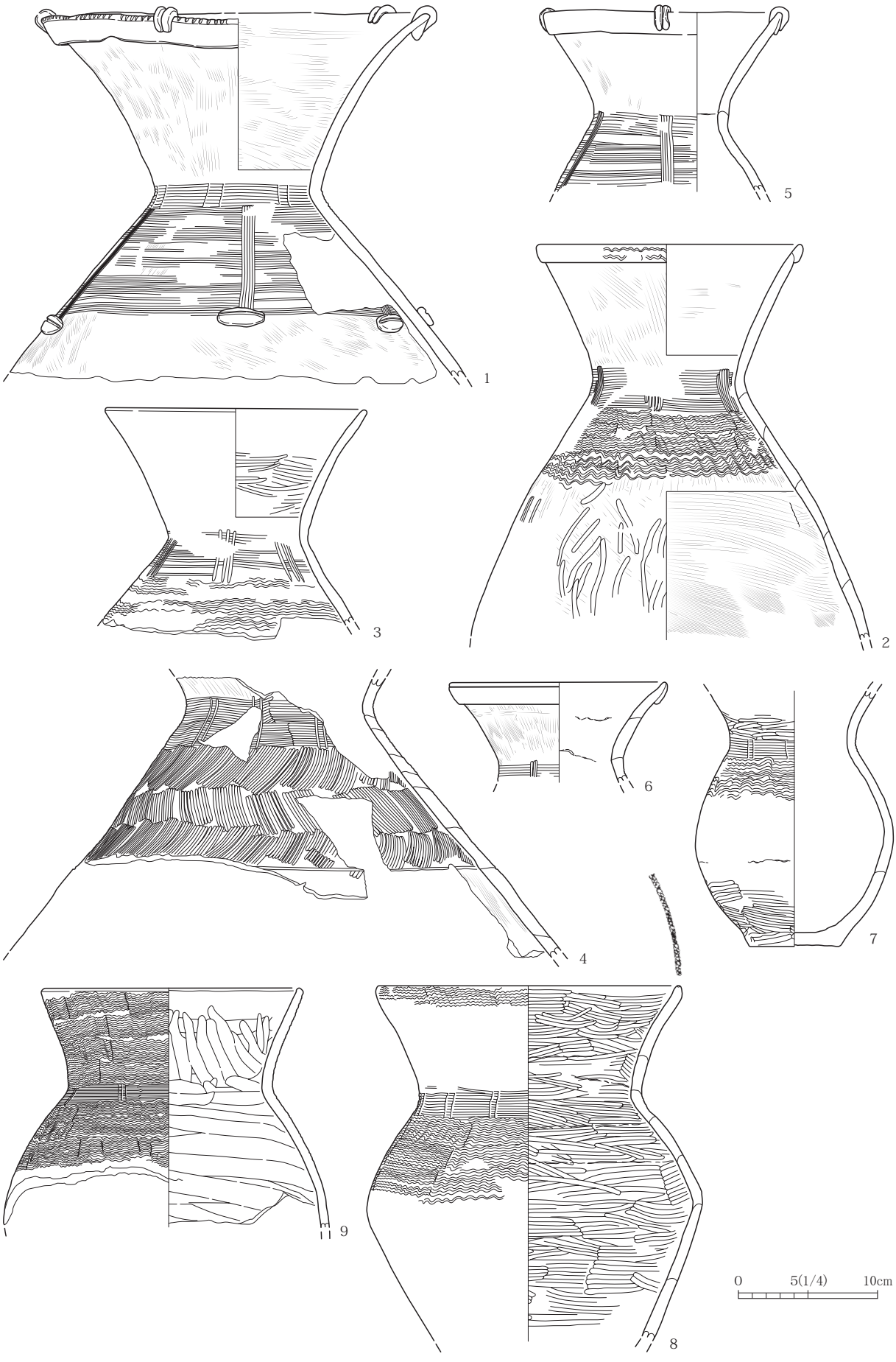
第137図　11号・13号住居址出土土器実測図



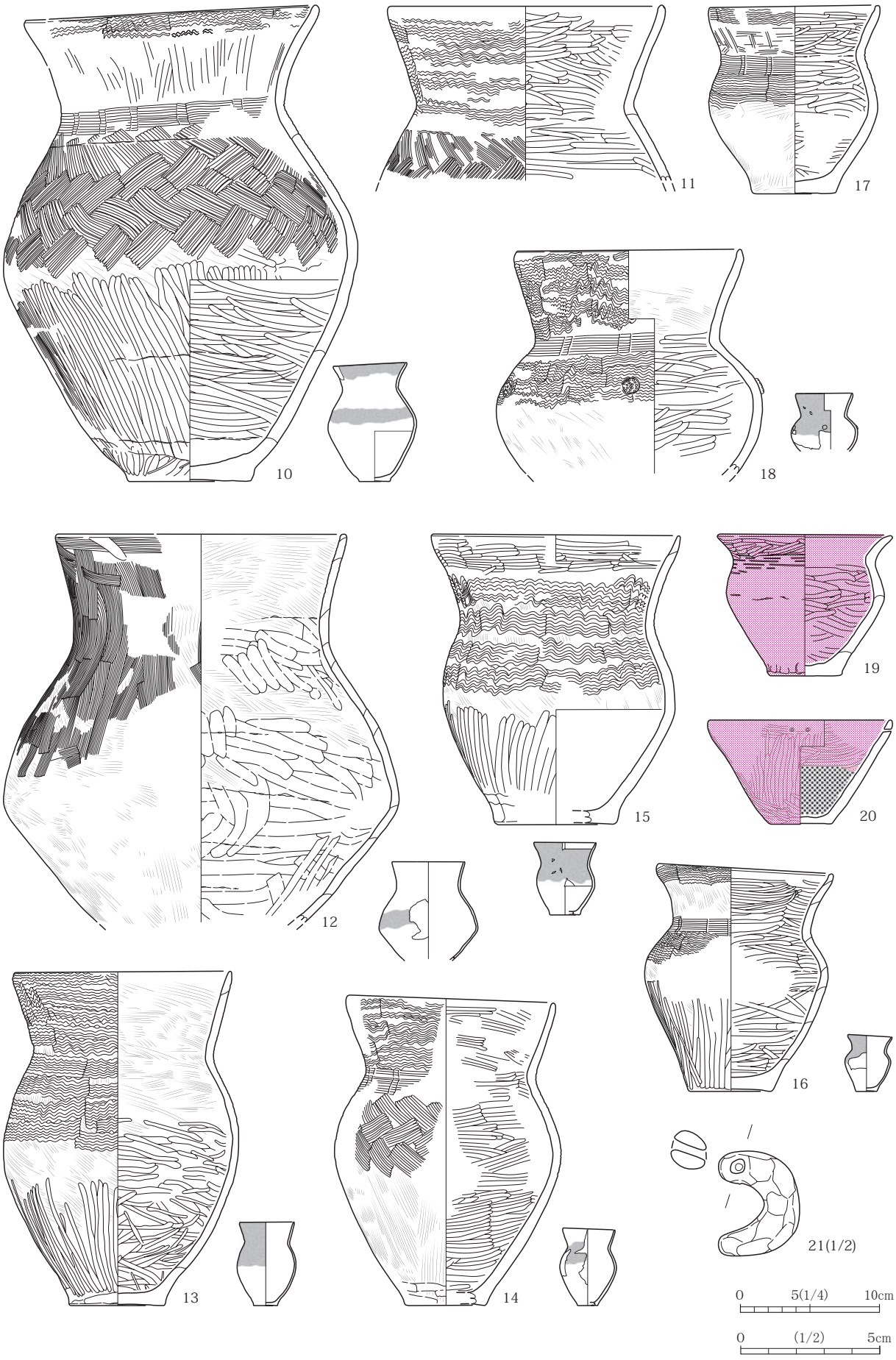
第138図　13号・15号住居址出土土器実測図



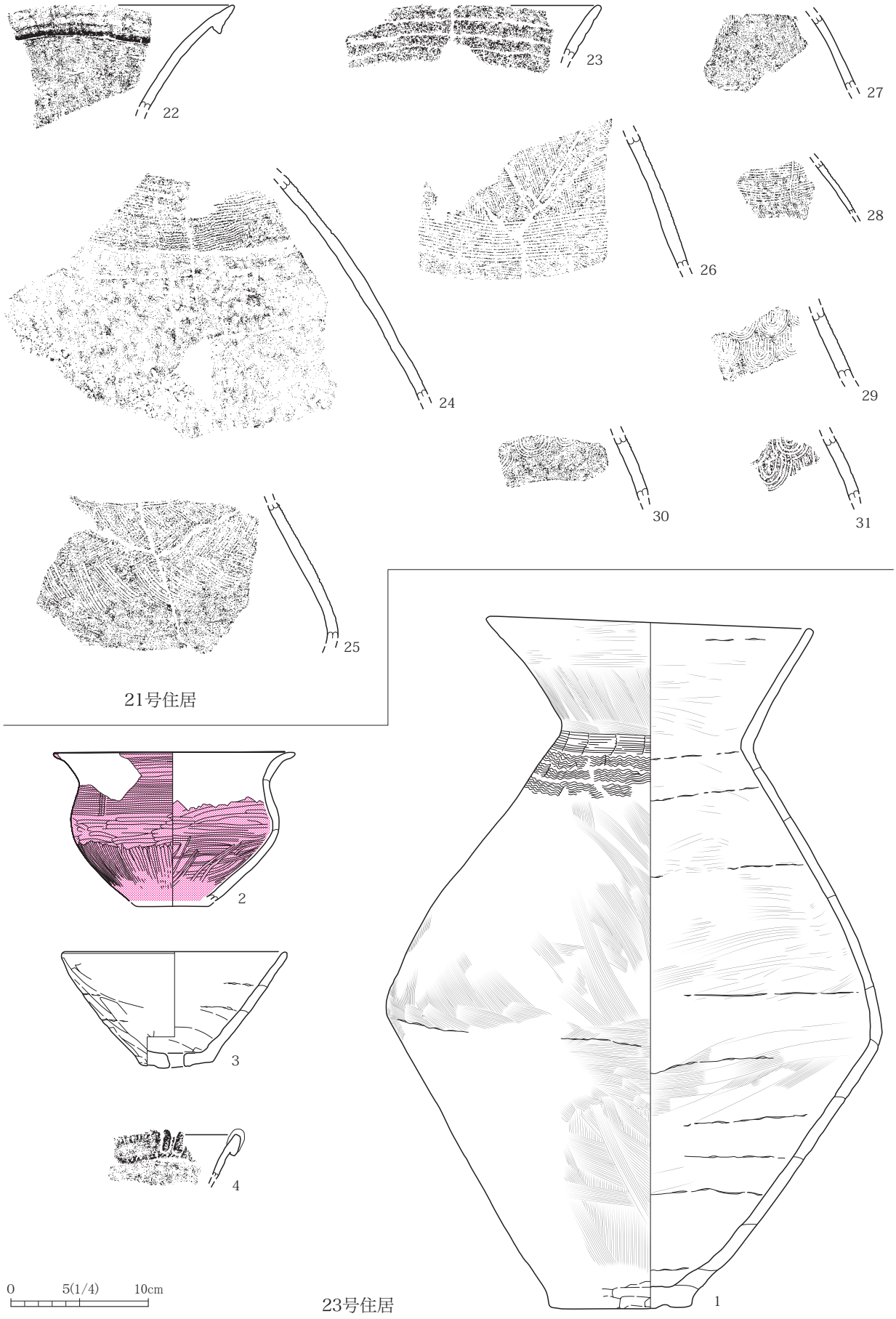
第139図　16～20号・22号・25号住居址出土土器実測図



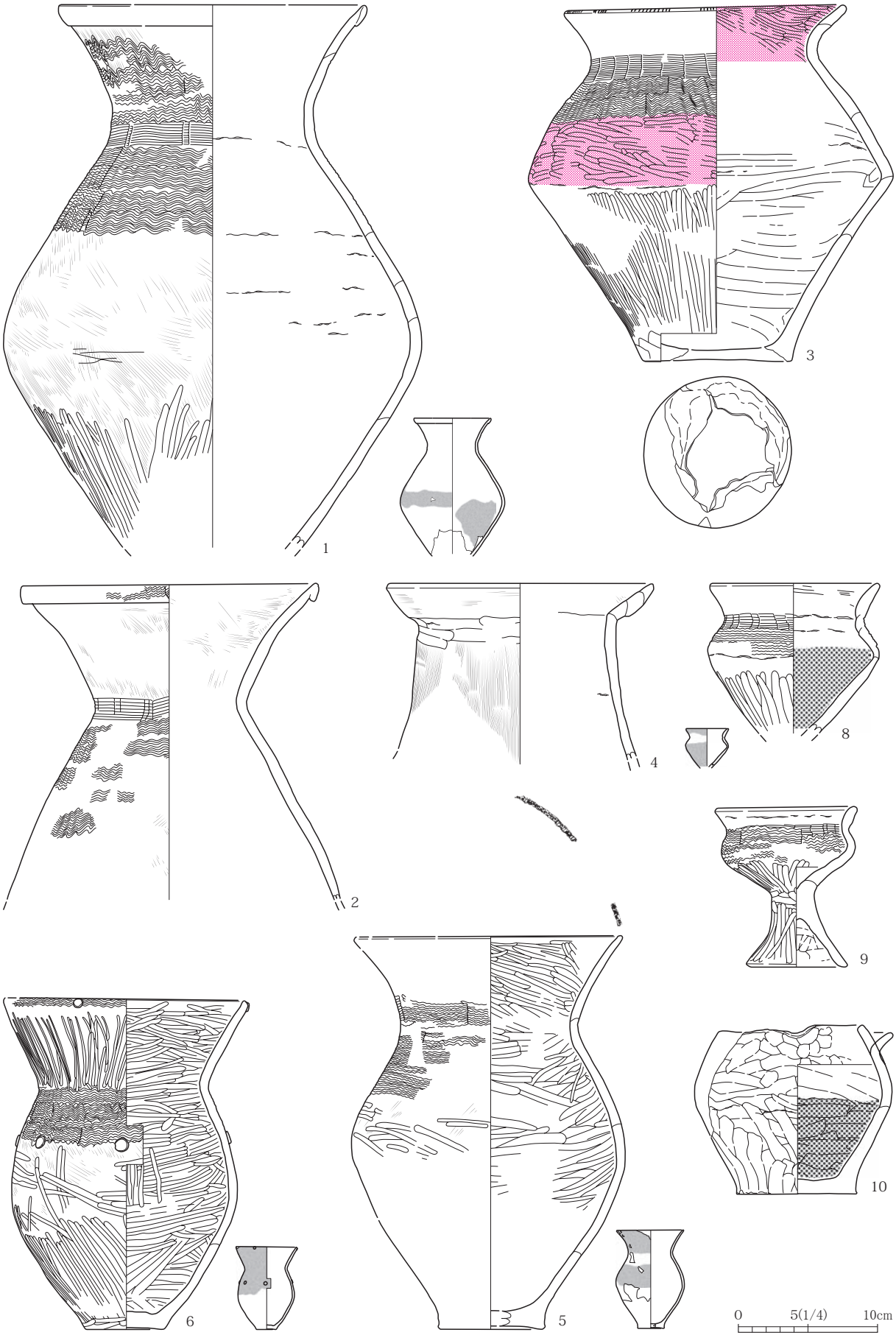
第140図　21号住居址出土土器実測図（1）



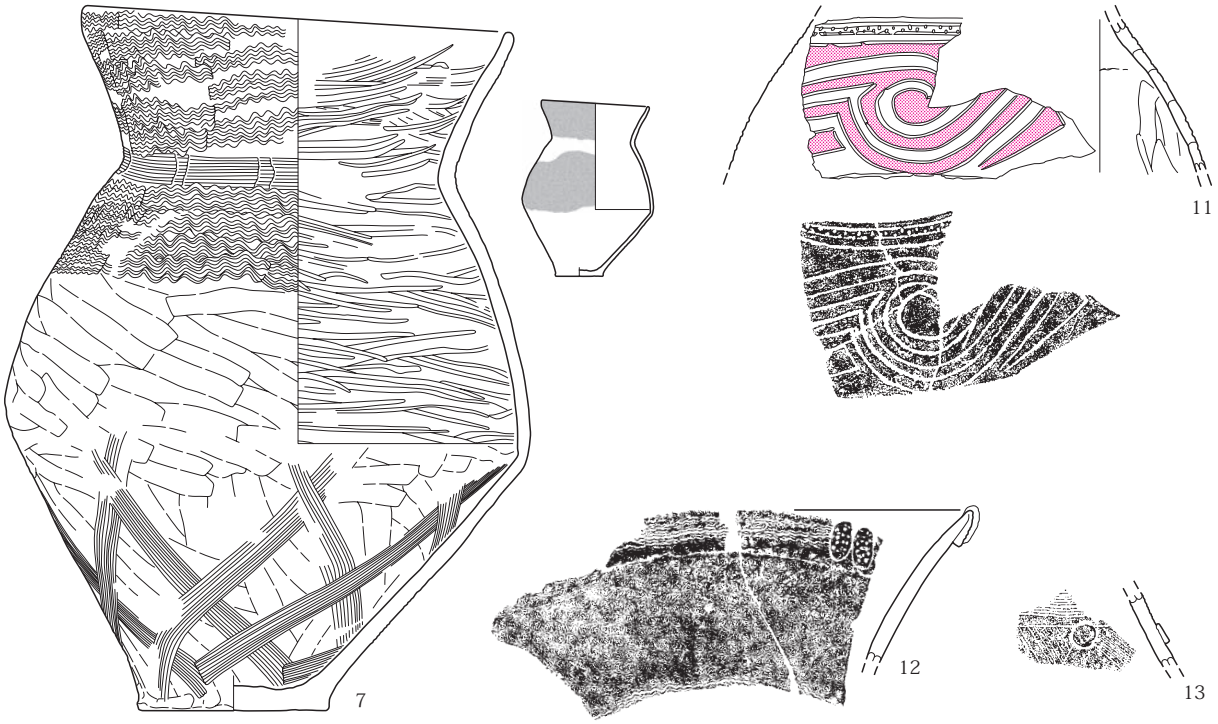
第141図　21号住居址出土土器実測図（２）



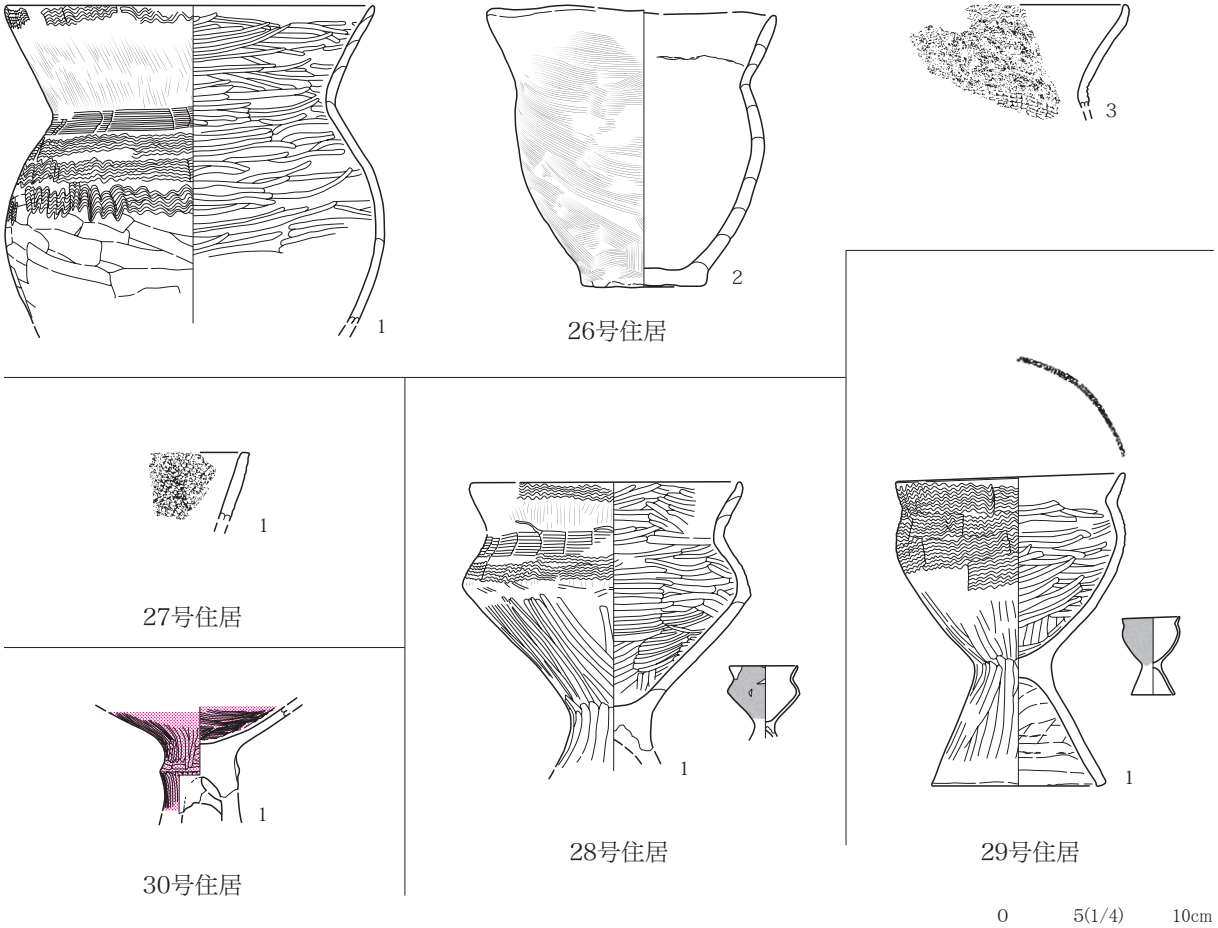
第142図　21号・23号住居址出土土器実測図



第143図　24号住居址出土土器実測図



24号住居



26号住居

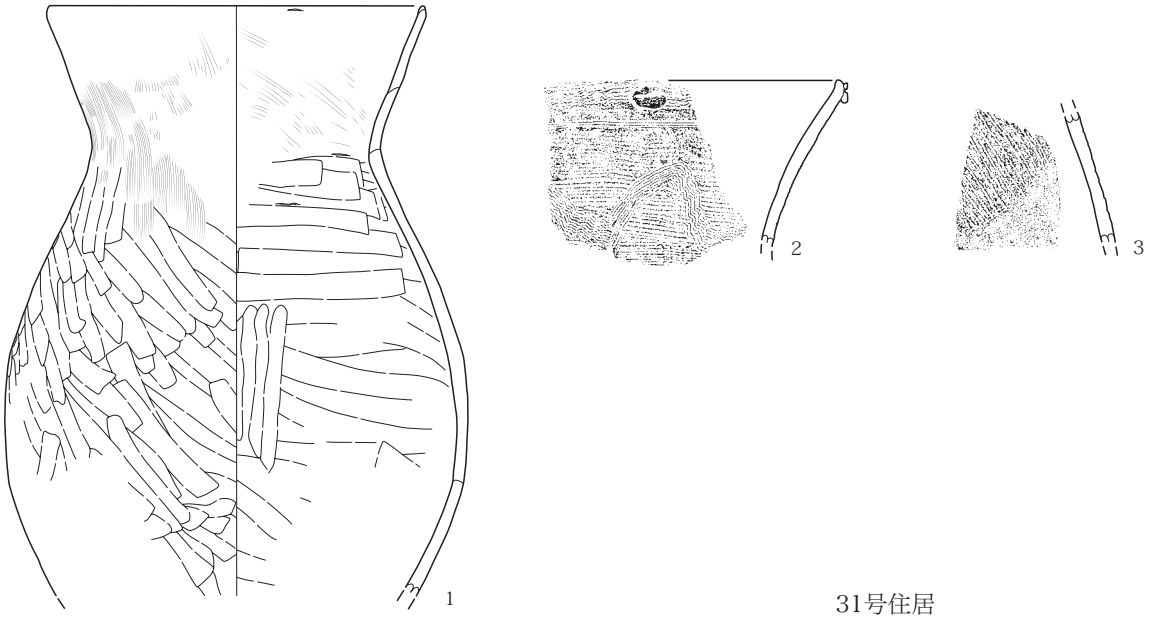
27号住居

28号住居

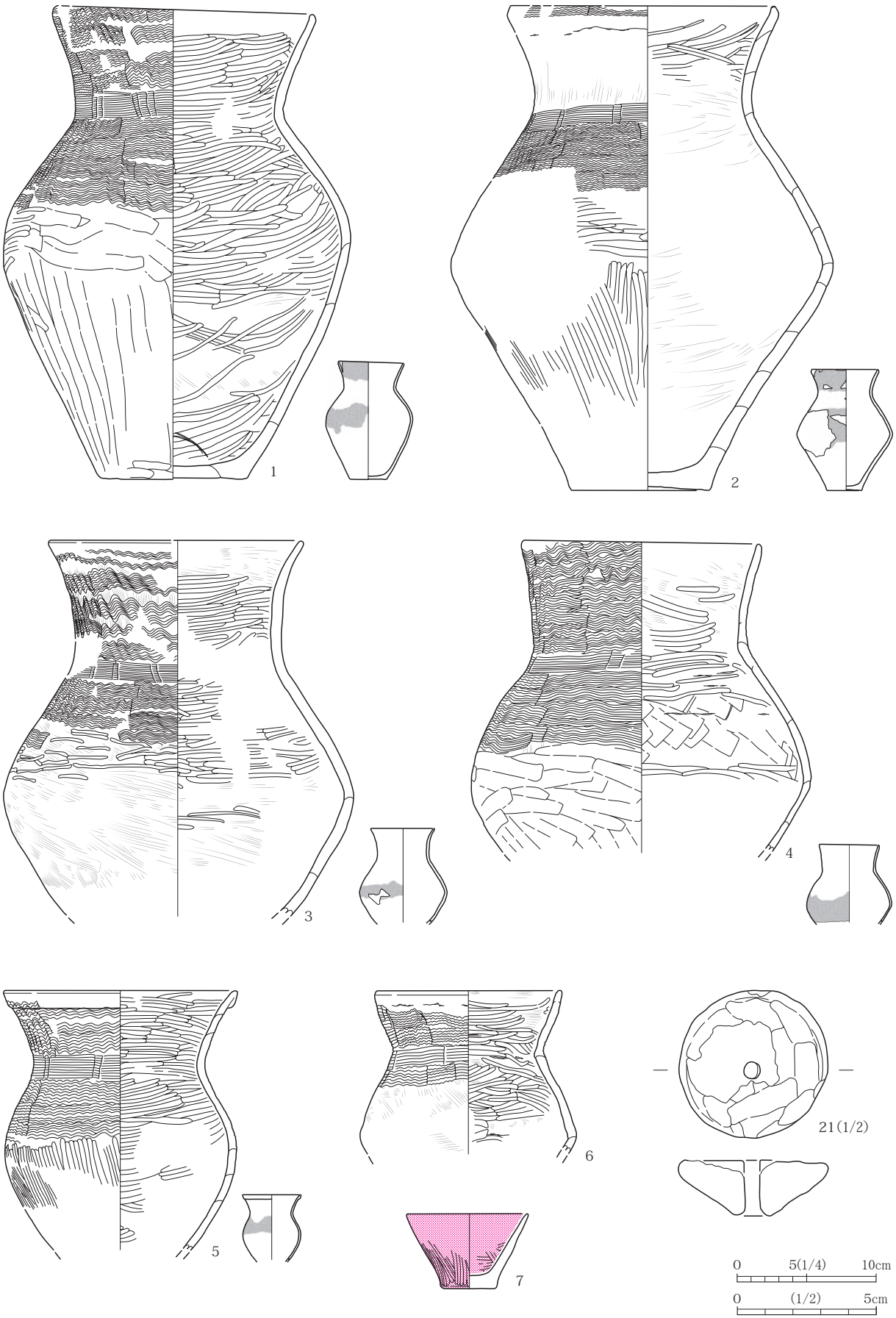
29号住居

30号住居

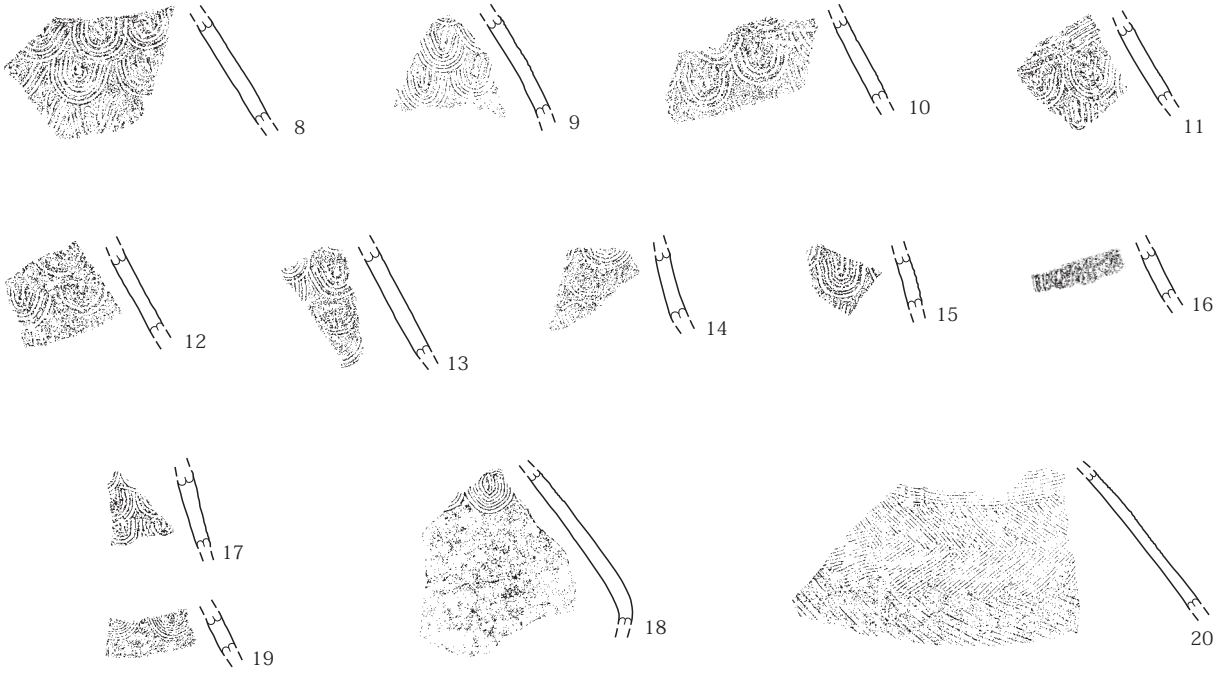
第144図　24号・26～30号住居址出土土器実測図



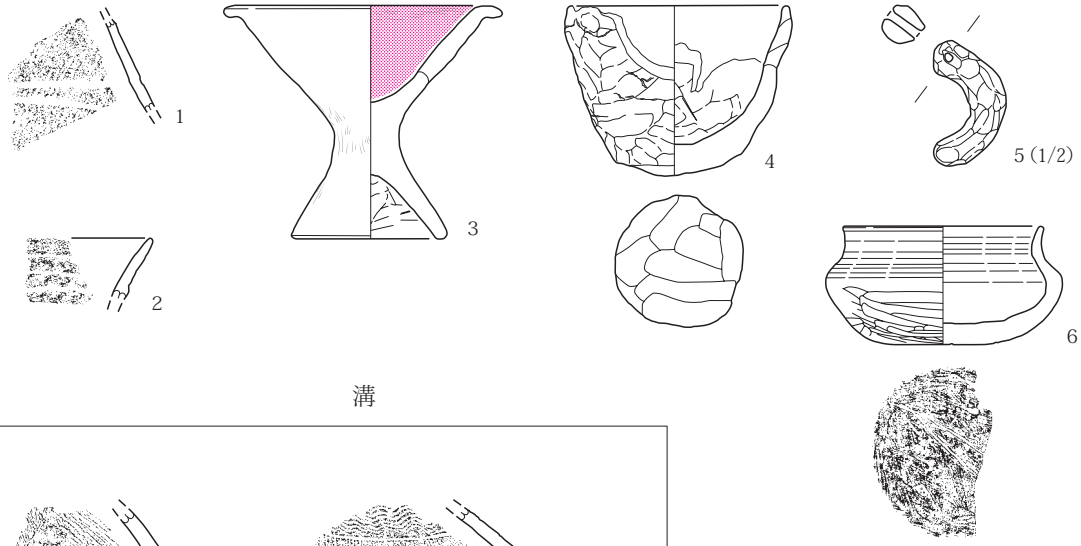
第145図　31～33号住居址出土土器実測図



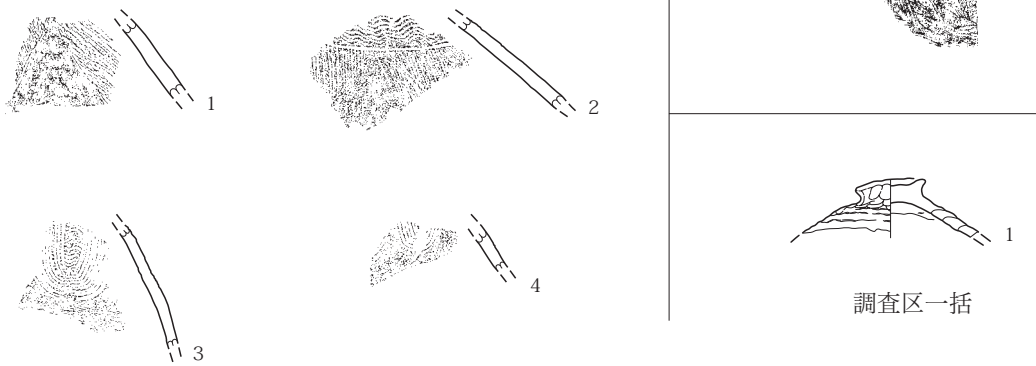
第146図　34号住居址出土土器実測図



34号住居

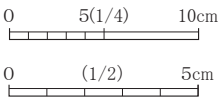


溝



古墳

調査区一括



第147図　34号住居址、溝、古墳、一括出土土器実測図

遺物集中地点

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 (22.4) 底径 11.0 器高 51.9	①普通②にぶい黄橙色③輝石・片岩・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部～底部 1/2	外面　口縁折り返しで、1段の波状文（6歯以上）、頸部縦刷毛目→2連止簾状文（7歯/12㎜）→肩部3段の波状文（7歯/12㎜）、胴部撫で→多方向の篦磨き、底部篦磨き磨滅。 内面　口頸部斜刷毛目磨滅、胴部横方向撫で、底部撫で。	3区
2	弥生土器 壺	口径 20.3 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色 ③石英・輝石・赤粒・パミスの細砂 ④口頸部 1/2	外面　口縁折り返しで、横刷毛目→1段の櫛描波状文（6歯）。頸部縦刷毛目→横篦磨き→3連止簾状文（5歯以上）。 内面　口頸部横刷毛目→横篦磨き。	3区
3	弥生土器 壺	口径 (20.8) 底径 － 器高 －	①普通、口頸部内面に黒斑②にぶい黄橙色③石英・チャート・赤粒・パミスの粗～細砂④口頸部 1/3	外面　口縁折り返しで、横撫で→上端篦状具による刻み（左→右）、下端連続する指圧（左→右）。頸部縦刷毛目→撫で→2連以上の多連止簾状文。 内面　口縁部横撫で、頸部細かい横刷毛目。	3区
4	弥生土器 壺	口径 12.5 底径 － 器高 －	①普通、胴外面黒斑②にぶい黄橙色 ③石英・チャート・パミスの細砂 ④口縁部～胴部上半	外面　口縁部板状具小口による横撫で→頸部～胴部縦刷毛目。 内面　口頸部横刷毛目→胴部横篦撫で。 外面～内面口縁部に煤付着。	3区
5	弥生土器 壺	口径 16.0 底径 7.1 器高 29.7	①普通、外面胴部下端～底部黒斑 ②にぶい黄橙色 ③石英・チャート・パミスの細砂 ④口縁部 1/4 欠損	外面　口縁部横撫で、頸部～胴部上位縦刷毛目→頸部4分割の2連止簾状文（8歯/11㎜）→肩部3段の櫛描波状文（6歯/10㎜、上→下）、胴部中位以下横～斜刷毛目、底部篦磨きで周縁磨滅。胴部上位から中位煤付着。　内面　口縁部横撫で、頸部横篦磨き、胴部ナデ。	3区
6	弥生土器 壺	口径 － 底径 8.9 器高 －	①普通、外面胴部下端～底部黒斑 ②灰白色③石英・輝石・片岩・赤粒・パミスの細砂 ④胴部の一部と口縁部欠損	外面　頸部3連止簾状文（10歯/17㎜）→肩部3段の櫛描直線文（上→下）→下位櫛描波状文で区画（10歯/17㎜）→7分割の縦垂下文（10歯/17㎜）、胴部上半横刷毛目→横篦磨き、胴部下半斜刷毛目→縦篦磨き。 内面　胴部上半篦撫で・下半板状具小口による撫で。	3区
7	弥生土器 高坏	口径 22.0 底径 10.2 器高 15.8	①普通②赤色 ③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部一部欠損	口縁部に2単位以上の山形突起。 外面　坏部斜刷毛目→赤彩→横篦磨き、脚部縦刷毛目→赤彩→縦篦磨き。 内面　杯部刷毛目→赤彩→横篦磨き、脚部板状具小口による撫で。	3区
8	弥生土器 片口鉢	口径 8.2 底径 7.7 器高 13.1	①普通、胴部～底部外面に黒斑②灰黄褐色③石英・輝石・パミスの粗～細砂④口縁部一部欠損	外面　口縁部板状具小口による横撫で、胴部中位縦篦磨き→口縁部と胴部下端横篦磨き、胴部多方向のまばらな篦磨き。胴部に煤付着。 内面　横篦磨き、胴部中位以下に白色物質付着。	3区
9	弥生土器 鉢	口径 12.2 底径 3.8 器高 6.4	①普通、口縁部内外面黒斑②にぶい黄橙色③片岩・チャート・パミスの細砂④完形	口唇部面取り。　外面　口縁部板状具小口による横撫で、体部縦刷毛目→縦篦磨き、底部撫で。 内面　口縁部～体部刷毛目→斜篦磨き、底部磨滅	3区
10	弥生土器 ミニチュア （甕）	口径 7.3 底径 4.9 器高 7.7	①普通、外面胴部下半～底部黒斑　②にぶい黄橙色③石英・輝石・チャート・パミスの粗～細砂④完形	外面　口縁部横撫で、頸部6分割の2連止簾状文（4歯/6㎜）→肩部波状文（4歯/6㎜）、胴部縦刷毛目→撫で、底部撫で後に粘土屑。 内面　口縁部と底部撫で、胴部斜篦磨き、底部ベンガラ付着。	3区

2号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 (12.5) 底径 － 器高 －	①普通②灰黄褐色③石英・片岩の細礫～細砂④口縁部～胴部中位 1/2	外面　口頸部～胴部縦横刷毛目→頸部2連止簾状文（7歯/15㎜）→口縁部3段の波状文(6歯/12㎜､上→下)･肩部1～2段の波状文(6歯/12㎜)、胴部縦篦磨き。 内面　胴部斜刷毛目→口縁部～胴部横篦磨き→まばらな縦篦磨き。	北西壁沿い 床面
2	弥生土器 甕	口径 16.5 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄褐色③石英・片岩の細砂④口縁部～胴部中位	外面　口縁部横撫で→頸部2～3連止簾状文（7歯/16㎜）→口縁部5～6段の波状文（5歯/9㎜、上→下→上）・肩部5～6段の波状文（5歯/9㎜、上→下→上）、胴部横篦磨き。 内面　口縁部～胴部横篦磨き磨滅。	炉跡脇 床面
3	弥生土器 台付甕	口径 (12.7) 底径 － 器高 －	①普通②にぶい橙色③石英・角閃石の細砂④口縁部～肩部 1/2	外面　口縁部横撫で→頸部間隔の広い等間隔簾状文（8歯/16㎜）→口縁部と肩部1段の波状文（6歯/13㎜）。 内面　口縁部横撫で、頸部～胴部横篦磨き磨滅。	炉跡脇 床面
4	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③片岩・パミスの粗～細砂④頸部破片	外面　頸部2連止簾状文→肩部2段の櫛描横羽状文（上→下）→肩部下端波状文、7歯/13mm で共通、口縁部赤彩。 内面　口頸部赤彩→横篦磨き、胴部横篦磨き。	覆土
5	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③片岩・チャート・パミスの細砂④頸部～胴部破片	外面　頸部～肩部4段の櫛描直線文（上→下）→肩部下端波状文→肩部櫛描垂下文、櫛歯は9歯/14mm で共通。 内面　頸部～胴部撫で。	覆土
6	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部櫛描円弧文。 内面　胴部磨滅。	覆土
7	弥生土器 甕	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③石英・パミスの粗～細砂④胴部破片	外面　胴部2段以上の波状文(8歯/11mm)→円形貼付文→貼付文に刺突。 内面　胴部撫で。	覆土
8	加工円盤	壺胴部片の縁辺を打ち欠く。全体に磨滅。			覆土
9	加工円盤	壺ないし甕の胴部片の縁辺を打ち欠く。側面の一部に研磨痕。			覆土

3号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 異形壺	口径 15.0 底径 － 器高 －	①普通、胴部黒斑②浅黄橙色③石英・角閃石・パミスの細砂多い④口縁部と胴部中位以下欠損	口縁部と胴部欠損面の整形（土器台転用）。　外面　上位口縁部撫で、下位口縁部横撫で→横篦磨き、頸部5分割の2～3連止簾状文（8歯/14㎜）→肩部篦描斜線文（右→左）→3分割の篦描横線文（右→左）、胴部横～斜刷毛目。　内面　撫で。	西壁沿い 床面
2	弥生土器 壺	口径 (17.8) 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③石英・角閃石・パミスの細砂多い（1の異形壺と同質）④口縁部～胴部下半 1/2	外面　口縁部斜刷毛目、頸部～肩部縦刷毛目→頸部2連止簾状文→肩部2本一対の櫛描直線文推定4カ所→下端に波状文（櫛描文は8歯/12㎜で共通）、胴部横～斜刷毛目、胴部中位煤付着。 内面　口縁部横撫で→横篦磨き、頸部以下撫で。	南部床面＋4 号住居跡
3	弥生土器 甕	口径 15.2 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③石英・チャート・赤褐粒・パミスの粗～細砂多い④口縁部 1/2 と胴部下半欠損	口縁部の擦痕と胴部欠損面の整形（土器台転用）。　外面　口縁部横撫で→頸部6分割の2連止簾状文→口縁部3～4段の波状文・肩部4段の波状文（櫛描文は7歯/12㎜で共通）、胴部撫で。 内面　口縁部横篦磨き磨滅、頸部以下撫で。	西壁沿い 床面

第68表　遺物集中地点、2号・3号住居址出土土器観察表

3号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
4	弥生土器 甕	口径 14.9 底径 7.8 器高 25.0	①普通②にぶい黄橙色③片岩・赤褐粒・パミスの粗～細砂多い④口縁部～胴部1/4欠損	外面　口縁部横撫で、頸部６分割の４連止簾状文（11歯/16㎜）→口縁部３段の波状文・肩部３段の波状文（10歯/16㎜、上→下）、胴部斜刷毛目→縦篦磨き、胴部下端横篦削り、底部磨滅と白色物質付着、胴部中位以上煤付着。 内面　口縁部板状具小口による横撫で、頸部以下横篦磨き、底部撫で。	覆土
5	弥生土器 鉢	口径 10.4 底径 3.0 器高 5.8	①普通②赤褐色③石英・角閃石・赤粒・パミスの細砂④口縁部一部欠損	口縁に２孔一対の小孔（孔径3㎜）。 外面　口縁部横刷毛目→赤彩→体部体部縦篦磨き→体部下端横篦磨き、底部赤彩だが磨滅・剥離。　内面　赤彩→横篦磨き。	覆土
6	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③石英・チャートの粗～細砂④胴部破片	外面　肩部斜刷毛目→３段以上の櫛描横羽状文（９歯/13㎜）→肩部下端２連止簾状文。 内面　胴部横刷毛目。	覆土
7	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③チャート・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部斜刷毛目→篦描横線文→篦描斜格子文。 内面　胴部磨滅と剥離。	覆土
8	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい橙色③角閃石・チャート・パミスの粗～細砂④胴部破片	外面　胴部斜刷毛目→２段以上の波状文→櫛描円弧文、櫛歯は７歯/11㎜。 内面　胴部撫で。	覆土

4号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 無頸壺	口径 (8.4) 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③雲母・チャートの細砂④口縁部～胴部 1/2	口唇部内外面に指圧痕。 外面　胴部横刷毛目→口縁部横撫で・胴部横方向撫で。 内面　口縁部～胴部横刷毛目、胴部下半に白色物質付着。	ピット
2	弥生土器 壺	口径 (23.3) 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③片岩・赤粒・パミスの粗～細砂④口頸部 1/2	口縁部粘土帯付加し、１段の波状文と口唇部に篦状具による刻み。 外面　頸部縦方向撫で→口縁部横方向撫で・頸部２連止簾状文（８歯/12㎜）→肩部波状文（６歯/9㎜）。 内面　口縁部横撫で、頸部横方向撫で→縦篦磨き。	ピット
3	弥生土器 甕	口径 (14.1) 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③片岩・角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部 1/3	外面　頸部２連止簾状文→口縁部４段の波状文（６歯/9㎜、下→上）・肩部５段の波状文（６歯/9㎜）、胴部縦篦磨き。 内面　口縁部横撫で、頸部～胴部上半横篦撫で、胴部下半斜撫で。	ピット
4	弥生土器 甕	口径 13.7 底径 6.6 器高 17.0	①普通、外面胴部下半に黒斑②明赤褐色③石英・片岩・チャート・赤粒・パミスの粗～細砂④口縁部一部欠損	外面　頸部５分割の２連止簾状文→口縁部２段の波状文（上→下）・肩部３段の波状文（上→下）、櫛歯は８歯/13㎜で共通、胴部横篦磨き→縦篦磨き、底部磨滅。 内面　口縁部～胴部横篦磨き、底部撫で。	南東柱穴
5	弥生土器 甕	口径 18.6 底径 － 器高 －	①普通、胴部外面に黒斑②浅黄橙色③角閃石・片岩・パミスの粗～細砂④口縁部 3/4 ～肩部	胴部欠損面の整形（土器台転用）。 外面　頸部 10 分割の２連止簾状文→口縁部４～６段・肩部５段以上の波状文を重ねる（上→下）、櫛歯は 10 歯/14㎜で共通 内面　口頸部横篦磨き磨滅、胴部縦横撫で。	覆土
6	弥生土器 甕	口径 19.5 底径 － 器高 －	①普通、胴部外面に黒斑②にぶい黄橙色③片岩・角閃石・パミスの粗～細砂多い④口縁部 3/4 ～肩部	胴部欠損面の整形（土器台転用）。 外面　口頸部縦刷毛目→横方向撫で→頸部９分割の２連止簾状文、肩部４段の波状文（上→下）、櫛歯は７歯/13㎜で共通、胴部縦横篦磨き。 内面　口縁部～胴部横方向撫で。	覆土
7	弥生土器 台付甕	口径 17.3 底径 － 器高 －	①普通②にぶい橙色③片岩・パミスの細砂④口縁部 1/2 ～胴部上半	外面　頸部～胴部斜刷毛目→頸部８分割の２連止簾状文→口縁部３段・肩部４～５段の波状文、櫛歯は７歯/11㎜で共通、全体に被熱。 内面　口頸部横刷毛目→横篦磨き、胴部斜撫で→横篦磨き。	覆土
8	弥生土器 鉢	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②赤褐色③石英・パミスの細砂④口縁部～体部破片	口唇部櫛状具による刺突、体部３カ所に焼成後穿孔。 外面　口縁部～体部赤彩→横篦磨き。 内面　口縁部～体部斜刷毛目→赤彩→横篦磨き。	覆土＋ ３号住居跡
9	弥生土器 鉢	口径 9.3 底径 3.5 器高 5.4	①普通、内面黒斑②にぶい黄橙色③片岩・角閃石・チャート・パミスの細砂④口縁部一部欠損	外面　口縁部横撫で、体部横篦磨き、体部下端篦撫で、底部撫で。 内面　口縁部～体部斜刷毛目→横篦磨き、底部篦磨き。	覆土

5号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 (15.8) 底径 － 器高 －	①普通②赤色③輝石・角閃石・チャートの細砂④口頸部 1/3	外面　口縁部折り返し→赤彩→横篦磨き磨滅、頸部２連止簾状文（８歯/10㎜）→２条１組の櫛描垂下文（８歯/10㎜）→垂下文下端に篦描沈線による区画。 内面　頸部篦削り→口頸部赤彩→口縁部横篦磨き磨滅。	覆土
2	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②明赤褐色③石英・雲母・角閃石・パミスの細砂多い④頸部～肩部	外面　肩部斜刷毛目→撫で→頸部３連止簾状文（４歯/6㎜）→肩部１段の波状文（８歯/14㎜）→ 10 個の円弧文（８歯/14㎜、右→左）、全体に被熱。　内面　頸部～胴部縦横撫で。	覆土
3	弥生土器 壺	口径 (23.5) 底径 9.3 器高 39.1	①普通、胴部外面に黒斑②にぶい黄橙色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部と胴部の一部欠損	外面　口縁部横撫で→縦横篦磨き→頸部７分割の２連止簾状文→肩部５段の波状文（上→下）→波状文下端に櫛描円弧文（右→左）、櫛歯は９歯/11㎜で共通、胴部縦刷毛目→縦横篦磨き、底部磨滅。 内面　口頸部縦篦磨き、胴部横方向撫で→まばらな横篦磨き。	南部床面
4	弥生土器 壺	口径 29.4 底径 － 器高 －	①普通、口縁部に黒斑②浅黄橙色③石英・輝石・チャート・赤粒・パミスの粗～細砂④口頸部	外面　口縁部粘土帯付加し、１段の波状文と板状具小口による刻み、頸部斜刷毛目→まばらな縦横篦磨き→２連止簾状文（10 歯/15㎜以上）。 内面　口頸部横刷毛目→縦横篦磨き。	炉跡脇 床面
5	弥生土器 壺	口径 － 底径 9.4 器高 －	①普通②にぶい赤褐色③角閃石・赤粒・パミスの粗～細砂多い④口頸部と胴部 1/2 欠損	外面　肩部４段以上の波状文（５歯/8㎜）→２条１組の櫛描垂下文（８歯/14㎜）→胴部赤彩→横・斜篦磨き→まばらな縦篦磨き、底部磨滅顕著。　内面　胴部～底部篦撫で。	南部床面
6	弥生土器 壺	口径 － 底径 12.9 器高 －	①普通、胴部外面に黒斑②明赤褐色③角閃石・チャート・赤粒・パミスの細礫～細砂多い④胴部中位以下	胴部欠損面の整形（鉢型土器として転用か）。 外面　胴部縦横篦磨き、底部磨滅。 内面　胴部磨滅と剥離顕著、胴部下位～底部に薄く白色物質付着。	炉跡脇 床面
7	弥生土器 甕	口径 20.7 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③角閃石・片岩・赤粒・パミスの粗～細砂④口縁部～肩部	外面　口縁部横撫で、頸部 15 分割の２連止簾状文（９歯/15㎜）→口縁部４段（７歯/13㎜、上→下→上）・肩部４段の波状文（７歯/17㎜、上→下）、簾状文の始点と終点の間に短い波状文（７歯/13㎜）、胴部斜刷毛目→横篦磨き。胴部上位以上に薄く煤付着。 内面　口縁部横撫で、口縁部～胴部横篦磨き	北東柱穴脇 床面

第69表　３～５号住居址出土土器観察表

5号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
8	弥生土器 甕	口径 22.2 底径 － 器高 －	①普通②明赤褐色③石英・角閃石・チャートの細砂多い④口頸部	外面　口縁部折り返し、1段の波状文。頸部2連止簾状文→口頸部6～8段の短い波状文を重ねる（7歯/11㎜、上→下→上）。 内面　口頸部横篦磨き、口縁部に薄く煤付着。	覆土
9	弥生土器 甕	口径 19.8 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③角閃石・片岩・パミスの粗～細砂④胴部下位1/2と底部欠損	外面　口縁部横撫で→頸部7分割の2～4連止簾状文（11歯/16㎜）→口縁部3段（8歯/13㎜、下→上）・肩部3～4段の波状文（8歯/13㎜、上→下）、胴部板状具小口による斜方向撫で→胴部下半縦篦磨き。胴部中位以上に煤付着。 内面　口縁部～胴部板状具小口による斜撫で→まばらな横篦磨き。	北東柱穴脇 床面
10	弥生土器 甕	口径 (20.4) 底径 － 器高 －	①普通②灰黄褐色③石英・角閃石・片岩・赤粒・パミスの粗～細砂④口縁部3/4と胴部1/2	外面　口縁部板状具小口による横撫で→頸部～胴部中位縦刷毛目→頸部2～3連止簾状文（7歯/11㎜）→胴部上半短い波状文を多段に重ねる（6歯/8㎜）、胴部下半横篦磨き、胴部中位以上に煤付着。 内面　口縁部～胴部斜刷毛目→横篦磨き。	北東柱穴脇 床面
11	弥生土器 甕	口径 17.7 底径 (9.1) 器高 27.0	①普通、胴部外面黒斑②にぶい黄橙色③角閃石・チャート・赤粒・パミスの細砂④口縁部1/4と胴部～底部の一部欠損	外面　頸部～胴部中位縦刷毛目→頸部9分割の3連止簾状文（8歯/16㎜）→口縁部3段（7歯/15㎜、下→上）・胴部上半6段の波状文（7歯/15㎜、下→上）、胴部下半横篦磨き、胴部下端～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、口縁部～胴部横篦磨き、底部撫で。	覆土
12	弥生土器 甕	口径 15.8 底径 7.8 器高 28.3	①普通②にぶい褐色③片岩・赤粒・パミスの粗～細砂多い④口頸部1/3と胴部の一部欠損	外面　頸部11分割の2連止簾状文（9歯/11㎜）→口縁部5～7段の波状文（6歯/10㎜、下→上）・肩部4～5段の波状文（6歯/10㎜、上→下）、胴部～底部篦磨き、底部周縁磨滅、胴部中位以上に煤。 内面　口縁部～胴部横篦磨き、底部撫で。	覆土
13	弥生土器 甕	口径 15.8 底径 － 器高 －	①普通②にぶい褐色③片岩・チャート・パミスの細砂④口縁部～胴部下位	外面　口縁部～胴部中位斜刷毛目→頸部6分割の3連止簾状文→口縁部4段（下→上）・肩部3段（下→上）の波状文、櫛歯は7歯/11㎜で共通、胴部横篦磨き→縦篦磨き、胴部中位以上に煤付着。 内面　口頸部斜刷毛目→まばらな横篦磨き、胴部横篦磨き。	炉跡脇 床面
14	弥生土器 甕	口径 (13.7) 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄褐色③片岩・パミスの細砂④口縁部3/4～胴部中位	外面　口縁部横撫で、頸部7分割の2連止簾状文→口縁部3～4段・肩部6～7段(上→下→上)の波状文を重ねる、櫛歯は8歯/15㎜で共通、胴部横篦磨き→縦篦磨き。 内面　口頸部横～斜篦磨き、胴部横篦磨き。	炉跡脇 床面
15	弥生土器 甕	口径 (16.3) 底径 7.8 器高 23.7	①普通、外面の胴部下半に黒斑②にぶい黄橙色③角閃石・チャート・赤粒・パミスの細砂④口頸部1/2欠損	外面　口縁部～胴部中位斜刷毛目→頸部8分割2連止簾状文→口縁部3段・肩部3段の波状文、櫛歯は9歯/14㎜、胴部下位縦刷毛目、底部篦磨きで周縁磨滅、胴部上半に煤付着。　内面　口頸部横篦磨き、胴部斜刷毛目→胴部上半横篦磨き、底部撫で。	南東部 床面
16	弥生土器 甕	口径 － 底径 6.0 器高 －	①普通②灰褐色③片岩・チャート・パミスの細砂④口縁部欠損	外面　胴部上半斜刷毛目→頸部7分割の2～3連止簾状文(9歯/15㎜)→口縁部1段以上・肩部4段（上→下）の波状文（7歯/12㎜）、胴部下半斜篦磨き・下端横篦削り、底部磨滅、胴部中位以上に煤。 内面　頸部～胴部中位横篦磨き、胴部下位～底部撫で。	南東柱穴脇 床面
17	弥生土器 甕	口径 12.9 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③石英・雲母・パミスの細砂④口頸部3/4と肩部1/2	外面　口縁部横撫で、頸部9分割の2連止簾状文→口縁部3段(下→上)・肩部3段以上（上→下）の波状文、櫛歯は5歯/8㎜で共通。 内面　口縁部～胴部上位横篦撫で。	南東柱穴脇 床面
18	弥生土器 台付甕	口径 15.3 底径 － 器高 －	①普通②灰黄褐色③石英・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部1/2と脚部欠損	外面　頸部3連止簾状文（10歯/12㎜）→口縁部2段・肩部2段の波状文（9歯/15㎜）、胴部下半斜刷毛目、胴部中位以上に煤付着。 内面　口頸部斜刷毛目、胴部上半横篦撫で→縦篦磨き、胴部下半斜篦磨き。	覆土
19	弥生土器 台付甕	口径 14.8 底径 － 器高 －	①普通②にぶい橙色③石英・角閃石・チャート・赤粒の粗～細砂④胴部1/3と脚部欠損	外面　口頸部2段の波状文（11歯/14㎜）、胴部横篦磨き→縦篦磨き。全体に煤付着。 内面　口縁部～胴部横篦磨き。	覆土
20	弥生土器 台付甕	口径 15.3 底径 － 器高 －	①普通②にぶい褐色③チャート・角閃石の細砂多い④口縁部～胴部2/3	外面　頸部3連止簾状文（7歯/11㎜）→口縁部2段・肩部1段の波状文（7歯/13㎜）、胴部横篦磨き→縦篦磨き、胴部中位にバンド状煤付着。 内面　口縁部横篦磨き、胴部横刷毛目→横篦磨き→縦篦磨き、胴部中位以上に煤付着、まばらに白色物質付着。	北東柱穴脇 床面
21	弥生土器 台付甕	口径 (14.7) 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③片岩・赤粒・パミスの細砂④口縁部1/2と脚部下位欠損	外面　頸部6分割の2～4連止簾状文（10歯/16㎜）→口縁部1段・肩部1段の波状文（10歯/16㎜）、胴部下半斜刷毛目、脚部縦刷毛目、全体に薄く煤付着。　内面　口頸部斜刷毛目、胴部～底部横篦磨き、脚部篦削り、胴部下半に薄く白色物質付着。	中央部 床面
22	弥生土器 台付甕	口径 14.1 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③片岩・チャート・赤粒・パミスの粗～細砂多い④口縁部～胴部中位	外面　口縁部横撫で、頸部9分割の2連止簾状文（8歯/11㎜）→口縁部2～3段・肩部2～3段の波状文（8歯/11㎜）、胴部横篦磨き、全体に被熱。 内面　口縁部～胴部横篦磨き、胴部の一部にベンガラ付着。	覆土
23	弥生土器 台付甕	口径 13.8 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③チャート・赤粒・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部1/2	外面　頸部2連止簾状文（7歯/11㎜）→口縁部3段・肩部4段以上の波状文（5歯/6㎜）、胴部被熱と剥離。 内面　口頸部横篦磨き磨滅、胴部横篦撫で。	覆土
24	弥生土器 台付甕	口径 12.5 底径 － 器高 －	①普通②暗灰黄色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④脚部下位欠損	外面　口頸部2段の波状文（8歯/14㎜、下→上）、胴部横篦磨き→脚部縦篦磨き、全体に薄く煤付着。 内面　口縁部～胴部横篦磨き→頸部まばらに縦篦磨き。	炉跡周辺 床面
25	弥生土器 無頸壺	口径 (8.1) 底径 － 器高 －	①普通②赤褐色③石英・赤粒・パミスの細砂④口縁部～胴部1/2	外面　口縁部～胴部斜刷毛目→赤彩→縦横篦磨き。 内面　口縁部～胴部撫で。	覆土
26	弥生土器 高坏	口径 13.1 底径 9.7 器高 11.6	①普通②赤色③石英・雲母の細砂④完形	外面　口縁部～脚部赤彩→口縁部横篦磨き→体部～脚部縦篦磨き。 内面　坏部赤彩→横篦磨き→まばらに縦篦磨き、脚部篦撫で→薄く赤彩→まばらに篦磨き。	中央部 床面
27	弥生土器 高坏	口径 (16.4) 底径 － 器高 －	①普通②赤色/赤色③石英・チャート・パミスの粗～細砂④坏部1/2と脚部欠損	外面　坏部斜刷毛目→赤彩→横篦磨き。 内面　坏部赤彩→横篦磨き。	覆土
28	弥生土器 高坏	口径 19.3 底径 － 器高 －	①普通、内外面に黒斑②にぶい黄橙色③石英・角閃石・チャート・赤粒・パミスの粗～細砂④脚部欠損	外面　口縁部横撫で、坏部斜刷毛目→まばらに斜篦磨き。 内面　口縁部横撫で、坏部まばらに篦磨き。	炉跡脇 床面
29	弥生土器 鉢	口径 (15.6) 底径 － 器高 －	①普通②褐灰色③石英・角閃石・赤粒・パミスの粗～細砂④口縁部～体部1/2	外面　口縁部横撫で、体部斜刷毛目→まばらに篦磨き、全体に薄く煤付着。 内面　口縁部横撫で、体部横篦撫で。	覆土

第70表　5号住居址出土土器観察表(1)

5号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
30	弥生土器 高坏	口径　－ 底径 (15.2) 器高　－	①普通、外面に黒斑②浅黄橙色③石英・角閃石・チャートの粗～細砂④脚部下位 1/2	外面　脚部外面斜刷毛目→まばらに篦磨き。 内面　脚部横刷毛目磨滅。	覆土
31	弥生土器 高坏	口径　－ 底径 (16.0) 器高　－	①普通②にぶい橙色③角閃石・赤粒・パミスの粗～細砂多い④脚部下位 1/4	脚部の推定４カ所に三角形の透孔。 外面　脚部横篦磨き。 内面　脚部撫で。	覆土
32	弥生土器 片口鉢	口径　10.7 底径　8.1 器高　13.9	①普通、体部外面に黒斑②橙色③石英・角閃石・チャート・パミスの粗～細砂④注口端部欠損	外面　口縁部～体部上半横方向指撫で、体部下半縦篦磨き、底部篦磨き磨滅。　内面　口縁部～体部上半横方向指撫で→斜篦磨き、体部下半～底部に白色物質付着。	南東柱穴脇 床面 33 と入れ子
33	弥生土器 有孔鉢	口径　18.5 底径　5.0 器高　11.1	①普通、体部外面に黒斑②明赤褐色③石英・角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部一部欠損	底部焼成前穿孔（孔径 1.8cm）。 外面　口縁部横撫で、体部斜刷毛目→縦篦磨き磨滅、底部に白色物質付着。　内面　口縁部～底部篦撫で→横篦磨き。	南東柱穴脇 床面 32 と入れ子
34	弥生土器 鉢	口径　14.3 底径　4.3 器高　6.5	①普通、口縁部内外面に黒斑②暗灰黄色③角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部一部欠損	外面　口縁部横撫で、体部横篦磨き、底部撫で。 内面　口縁部横撫で、体部横篦磨き→まばらに縦篦磨き。	南東部 床面
35	弥生土器 鉢	口径　15.3 底径　5.6 器高　7.2	①普通、体部～底部外面に黒斑②赤褐色③石英・角閃石・赤粒・パミスの粗～細砂、細礫④体部一部欠損	外面　口縁部～体部斜刷毛目→赤彩→篦磨き、底部撫で、全体に磨滅・剥離。 内面　口縁部～底部赤彩→篦磨き、全体に磨滅・剥離。	覆土
36	弥生土器 鉢	口径 (12.4) 底径 (4.6) 器高　5.7	①普通、体部～底部外面に黒斑②赤褐色③石英・角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部～底部 1/2	外面　体部横篦削り→口縁部横撫で→口縁部～体部赤彩→体部斜篦磨き、底部篦磨き。 内面　口縁部～底部赤彩→横篦磨き、全体に剥離。	覆土
37	弥生土器 鉢	口径 (14.0) 底径 (5.8) 器高　4.2	①普通②赤色③片岩・パミスの粗～細砂④口縁部～底部 1/2	口唇部に櫛歯状の刺突。 外面　口縁部～体部赤彩→横篦磨き、底部篦磨き。 内面　口縁部～底部赤彩→横篦磨き。	覆土
38	弥生土器 甕	口径　11.1 底径　7.0 器高　13.4	①やや不良、外面胴部下半に黒斑 ②黄橙色③石英・チャート・赤粒・パミスの粗～細砂 ④口縁部～胴部の一部欠損	外面　口頸部に３段の粘土帯接合痕と指押さえ。胴部上位～中位斜刷毛目→縦方向撫で、胴部下位斜刷毛目→指押さえ、底部撫で。口縁部～胴部まばらに煤付着。 内面　口縁部～胴部上半磨滅、胴部下半横篦磨き、底部撫で。	炉跡周辺 床面
39	弥生土器 甕	口径　13.0 底径　5.9 器高　11.1	①普通、外面口縁部～胴部に黒斑②明赤褐色③チャート・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部 1/3 欠損	外面　口縁部横撫で→口頸部縦刷毛目→頸部まばらな篦磨き、胴部上半横刷毛目、胴部下半縦刷毛目→まばらな指撫で、底部磨滅。 内面　口縁部斜刷毛目、胴部～底部篦撫で。	中央部 床面
40	弥生土器 甕	口径 (10.0) 底径　5.4 器高　11.2	①普通②灰黄褐色③石英・赤粒・パミスの粗～細砂多い④口縁部～胴部 1/2 欠損	外面　口縁部横撫で、頸部２連止簾状文（6 歯 /10㎜）→肩部２段の波状文、胴部下半～底部撫で。 内面　口縁部～胴部撫で、底部磨滅。	覆土
41	弥生土器 甕	口径 (11.2) 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄色③石英・輝石・パミスの細砂④口縁部～肩部 1/2	外面　頸部２連止簾状文（9 歯 /12㎜）→口縁部３段・肩部２段以上の波状文（9 歯 /12㎜、上→下）。 内面　磨滅。	覆土
42	弥生土器 甕	口径　9.5 底径　－ 器高　－	①普通、外面口縁部～胴部に黒斑 ②にぶい黄橙色③角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部 2/3	外面　口縁部横撫で、頸部～胴部横篦撫で→胴部下半縦篦磨き。 内面　口縁部～胴部斜刷毛目→篦磨き磨滅。	覆土
43	弥生土器 甕	口径　－ 底径　4.3 器高　－	①普通②明黄褐色③石英・チャート・パミスの粗～細砂④胴部～底部	外面　頸部４連止簾状文、胴部斜刷毛目→指撫で、底部木葉痕→撫で。 内面　胴部～底部篦撫で→まばらにベンガラ付着。	中央部 床面
44	弥生土器 鉢	口径　－ 底径　4.0 器高　－	①普通、底部外面に黒斑②赤褐色 ③角閃石・チャート・パミスの粗～細砂 ④口縁部欠損	外面　胴部篦撫で→赤彩、底部撫で。 内面　胴部～底部篦撫で→赤彩。	覆土
45	弥生土器 片口鉢	口径　5.5 底径　2.7 器高　3.4	①普通②明赤褐色③チャート・赤粒・パミスの粗～細砂多い④ほぼ完形	注口部は折り曲げ後に粘土追加、口唇部篦状具による刻み。 外面　口縁部～体部縦刷毛目→指押さえ、底部撫で。 内面　口縁部～底部横方向篦撫で。	北西部 覆土
46	弥生土器 鉢	口径 (9.0) 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部～体部 1/4	外面　口縁部～体部粘土帯接合痕と指押さえ。 内面　口縁部～体部篦撫で。	覆土
47	弥生土器 蓋	口径　－ 摘径　3.5 器高　－	①普通、外面体部～底部に黒斑②にぶい黄橙色③角閃石・赤粒の粗～細砂 ④天井部残存	外面　摘部篦磨き、体部指押さえ。 内面　天井部撫で。	覆土
48	弥生土器 鉢	口径　－ 底径　2.6 器高　－	①普通②にぶい橙色③片岩・角閃石・パミスの粗～細砂④体部 1/2 ～底部	外面　体部～底部指撫で。 内面　体部～底部指撫で。	覆土
49	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部破片	外面　口縁部～肩部３段の波状文、胴部に煤付着。 内面　口縁部～胴部斜刷毛目→横篦磨き。	覆土
50	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②黄灰色③角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部破片	外面　折り返し口縁部に篦状具による刻み２段、口頸部横篦磨き。 内面　口頸部横刷毛目→斜刷毛目。	覆土
51	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③石英・チャートの粗～細砂④口縁部破片	外面　折り返し口縁部は無文。 内面　口縁部横篦磨き。	覆土
52	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②灰黄色③石英・チャート ④口縁部破片	外面　口縁部粘土帯積み上げ痕を残す。 内面　口縁部撫で。	覆土
53	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部斜刷毛目→２段以上の波状文→櫛描垂下文（8 歯 /11㎜）、文様帯以下は赤彩。 内面　胴部横篦磨き。	覆土
54	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・片岩・チャートの粗～細砂④胴部破片	55・56・57 と同一個体か。 外面　胴部波状文→櫛描円弧文（右→左）。 内面　胴部磨滅。	覆土
55	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・片岩・チャートの粗～細砂④胴部破片	54・56・57 と同一個体か。 外面　胴部２段以上の波状文→櫛描円弧文（右→左、11 歯 /13㎜）。 内面　胴部磨滅。	覆土

第71表　５号住居址出土土器観察表(2)

5号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
56	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・片岩・チャートの粗～細砂④胴部破片	54・55・57と同一個体か。 外面　胴部波状文→櫛描円弧文（右→左、11歯/13mm）。 内面　胴部磨滅。	覆土
57	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・片岩・チャートの粗～細砂④胴部破片	54・55・56と同一個体か。 外面　胴部波状文→櫛描円弧文。 内面　胴部磨滅。	覆土
58	加工円盤	壺ないし甕の胴部片（波状文）の縁辺を打ち欠く。			覆土
59	加工円盤	壺ないし甕の胴部片の縁辺を打ち欠く。全体に磨滅。			覆土
60	加工円盤	壺ないし甕の胴部片（内外面に篦磨き）の縁辺を打ち欠く。			覆土
61	ガラス玉	1/2欠損。径8.5㎜、厚4.5㎜、重0.17g。青色。			炉跡脇覆土

6号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部斜刷毛目→波状文（9歯/14mm）。 内面　胴部斜横刷毛目→横篦撫で。	覆土
2	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②明赤褐色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④胴部破片	外面　胴部斜刷毛目→頸部簾状文→胴部4段の櫛描横羽状文（上→下、9歯/21mm）、胴部下半被熱、胴部上半煤付着。 内面　胴部横篦磨きだが磨滅。	覆土

7号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径　－ 底径　(8.0) 器高　－	①普通②橙色③角閃石・チャート・パミスの粗～細砂④胴部中位～底部1/2	外面　胴部板状具小口による縦～斜撫で、底部撫で。 内面　胴部中位横篦磨き、胴部下位～底部篦撫で→おこげ付着。	覆土
2	弥生土器 高坏	口径 (15.2) 底径　－ 器高　－	①普通②赤色③角閃石・チャート・パミスの粗～細砂④坏部1/2	外面　坏部斜刷毛目→赤彩→横篦磨き磨滅。 内面　坏部斜刷毛目→赤彩→横篦磨き磨滅。	覆土
3	土製紡錘車	外径5.6～5.7cm、厚さ1.5cm、孔径0.8cm。外面刷毛目→篦磨き。外面に薄く煤付着。			南西隅床面

8号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 18.2 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面黒斑②橙色③角閃石・片岩・チャート・赤粒・パミスの粗砂多い④口縁部1/2～胴部中位	口唇部の剥離と胴部欠損面の整形（土器台転用）。口縁折り返しで、口唇部篦状具による刻み。 外面　頸部縦刷毛目→横篦磨き→5分割の等間隔簾状文（10歯/15㎜）→肩部4段の波状文（10歯/16㎜、上→下）、胴部多方向篦磨き。 内面　口頸部横刷毛目磨滅、胴部横篦磨き。	北東壁沿い 床面
2	弥生土器 甕	口径 19.2 底径　－ 器高　－	①普通、肩部外面黒斑②にぶい橙色③角閃石・赤粒・パミスの粗～細砂多い④口縁部1/4と胴部下位以下を欠損	外面　頸部7分割の3連止簾状文→口頸部5段の波状文（下→上）・胴部上半6～7段の波状文（上→下）、簾状文・波状文は8歯/16㎜、胴部下半横→縦篦磨き、全体に被熱と剥離。 内面　口縁部横撫で、頸部～胴部横篦磨き。	南柱穴
3	弥生土器 甕	口径 20.2 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・片岩・赤粒・パミスの粗～細砂④口頸部	肩部欠損面の整形と頸部内面の擦痕（倒立土器台転用）。口唇部篦状具による刻み（9～17個が6単位）。外面　頸部5分割の3～4連止簾状文(6歯/8㎜)→口頸部波状文を多段に重ねる(6歯/8㎜､上→下→上)、肩部波状文（上→下）。内面　口頸部横篦磨き磨滅。	北西壁沿い 床面
4	弥生土器 甕	口径 16.8 底径　－ 器高　－	①普通②灰黄褐色③片岩・チャート・パミスの細砂④口縁部～肩部	肩部欠損面の整形（倒立土器台転用）。　外面　頸部6分割の3～5連止簾状文（9歯/12㎜）→口頸部と胴部波状文を重ねる（9歯/17㎜、上→下）。　内面　口縁部横撫で、頸部～胴部横篦磨き。	北東壁沿い 床面
5	弥生土器 甕	口径 17.8 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③角閃石・赤粒・パミスの細砂多い④口縁部1/4と底部を欠損	外面　口縁部横撫で、頸部～胴部上半縦刷毛目・胴部下半篦削り→頸部5分割で間隔の広い2～3連止簾状文（7歯/12㎜）→口縁部3段の波状文（4歯/7㎜、上→下→上）・胴部上半4段の波状文（6歯以上）、胴部中位にバンド状煤付着。 内面　口縁部横撫で、口頸部横篦磨き、胴部横篦削り。	北西壁沿い 床面
6	弥生土器 甕	口径 (18.4) 底径　6.7 器高 21.3	①普通②にぶい黄橙色③片岩・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部上半の1/2欠損	外面　口縁部横撫で、胴部斜刷毛目（11歯/14㎜）→頸部縦刷毛目（9歯/17㎜）、胴部下端と底部撫で、胴部上半に薄く煤付着。 内面　口縁部横撫で、頸部横刷毛目→横篦磨き、胴部下半横刷毛目→上半斜撫で、底部撫で。	北東壁沿い 床面
7	弥生土器 甕	口径 14.5 底径　－ 器高　－	①普通②灰黄褐色③角閃石・片岩・チャート・赤粒・パミスの細砂多い ④口縁部～胴部下位の3/4	外面　口縁部横撫で、頸部～肩部4段の櫛描波状文（8歯/17㎜、下→上）、胴部横～斜篦磨き。　内面　口縁部横撫で、頸部～胴部上半横篦磨き、胴部下半横刷毛目→斜篦磨き。	北東壁沿い 床面
8	弥生土器 台付甕	口径 11.0 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・角閃石・パミスの細砂④口縁部3/4～胴部中位2/3	外面　口縁部横撫で、口縁部～肩部5段の櫛描波状文を重ねる（4歯/7㎜、上→下）、胴部被熱強く剥離。 内面　口縁部横撫で、頸部横刷毛目→横篦磨き、胴部横篦磨き、胴部に薄く白色物質付着。	北東部 床面

9号住居

番号	器　種	特　　徴	出土位置
1	柱根	長さ68cm、幅29.5cm、厚さ12.5cmの断面長方形。樹種：クリ　木取り：柾目。	北西柱穴

11号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 14.7 底径　7.6 器高 25.2	①普通、胴部外面に黒斑②にぶい黄橙色③片岩・チャート・赤粒・パミスの粗～細砂④口縁部と胴部の一部欠損	外面　頸部2段の櫛描横線文（上→下）→口縁部4段の波状文（上→下）・肩部5段の波状文（上→下）→頸部10ないし11分割の櫛描垂下文、櫛歯は6歯/14㎜で共通、胴部下半～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、頸部指圧痕、胴部上半撫で、胴部下半篦削り。	北西柱穴脇 床面

第72表　5～9号・11号住居址出土土器観察表

12号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径　－ 底径　9.0 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・パミスの粗～細砂④口頸部と胴部上半 1/2 欠損	外面　肩部４段以上の波状文（9 歯 /16㎜、上→下）、胴部斜筺磨き、胴部下端筺撫で、底部周縁磨滅、胴部中位に煤付着。 内面　胴部上位筺撫で、胴部中位指撫で、胴部下位横筺磨き、底部磨滅。	南東部 床面
2	弥生土器 壺	口径　－ 底径 10.0 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・チャート・パミスの細砂④口縁部欠損	外面　頸部 10 分割の２連止簾状文(11 歯 /17㎜)→肩部３段の波状文(11 歯 /20㎜)、胴部中位筺状具小口による撫で、胴部下位縦筺削り→まばらな縦筺磨き、底部撫で、胴部中位以上に煤付着。 内面　胴部～底部横筺撫で→胴部上位横筺磨き。	南東部 床面
3	弥生土器 高坏	口径 (29.4) 底径　－ 器高　－	①普通②赤褐色③片岩・チャートの粗～細砂④口縁部 1/3 と脚部欠損	外面　口縁部横撫で、坏部斜刷毛目→赤彩→縦横筺磨き、脚部赤彩→筺磨き。 内面　口縁部横撫で、坏部赤彩→縦横筺磨き。	西部床面
4	弥生土器 高坏	口径 (18.4) 底径　－ 器高　－	①普通②赤色③石英・パミスの細砂④坏部 1/2	外面　坏部赤彩→体部縦筺磨き→口縁部横筺磨き。 内面　坏部赤彩→横筺磨き。	覆土
5	弥生土器 鉢	口径 (21.4) 底径　－ 器高　－	①普通、口縁部外面に黒斑②にぶい黄橙色③角閃石・赤粒・パミスの粗～細砂④底部欠損	外面　体部斜刷毛目→赤彩磨滅。 内面　体部横刷毛目→赤彩磨滅。	南東部 床面
6	加工円盤	壺ないし甕の胴部片（斜刷毛目）の縁辺を打ち欠く。全体に磨滅。			覆土

13号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 25.2 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい橙色③石英・輝石・チャートの粗～細砂多い④口頸部	口唇～口縁内面に６カ所２本組の棒状貼付文。 外面　口縁部横撫で、頸部縦刷毛目→まばらな横筺磨き 内面　口縁部横撫で・頸部横刷毛目→口頸部赤彩→横筺磨き。	北壁沿い 床面
2	弥生土器 壺	口径　－ 底径　8.1 器高　－	①普通、胴部中位と底部に黒斑②にぶい黄褐色③石英・角閃石・赤粒・パミスの粗～細砂④口縁部欠損	外面　頸部～肩部に３段の波状文（8 歯 /11㎜）と文様帯下端に等間隔簾状文（8 歯 /11㎜）、胴部細かい斜刷毛目→縦筺磨き、体部下端～底部撫で、頸部～胴部中位に煤付着。 内面　頸部～胴部筺撫で、底部撫で。	南東隅 床面
3	弥生土器 壺	口径　－ 底径　7.1 器高　－	①普通②明赤褐色③片岩・チャート・パミスの細砂④口縁部欠損	外面　頸部３段の櫛描横線文（13 歯 /17㎜）、胴部赤彩→縦筺磨き→横筺磨き、底部筺磨き磨滅。 内面　胴部横刷毛目→撫で、底部撫で。	北壁沿い 床面
4	弥生土器 甕	口径 20.0 底径　8.0 器高 40.1	①普通②にぶい赤褐色③石英・片岩・チャートの粗～細砂④ほぼ完形	外面　口縁部櫛描波状文、頸部上半斜刷毛目→まばらな横筺磨き→頸部～肩部３段の波状文（9 歯 /13㎜、上→下）、胴部斜刷毛目→縦・横筺磨き、底部筺磨き磨滅。胴部中位と口縁部に煤付着。 内面　口頸部横刷毛目→横筺磨き、胴部斜刷毛目→横筺磨き、底部筺磨き。	西部床面
5	弥生土器 甕	口径 (19.4) 底径　8.3 器高 31.9	①普通②にぶい褐色③石英・片岩・チャート④口縁部 1/2 欠損	外面　口縁部横撫で、頸部斜刷毛目→撫で→等間隔簾状文（7 歯 /14㎜）→肩部５段の波状文（5 歯 /9㎜、上→下）、胴部下半斜刷毛目→斜筺磨き、胴部中位以上煤付着。 内面　口縁部横撫で、頸部横刷毛目→横筺磨き、胴部斜刷毛目→横筺磨き、胴部下端～底部撫で。	北壁沿い 床面
6	弥生土器 壺	口径　－ 底径　7.6 器高　－	①普通、外面胴部下端に黒斑②浅黄橙色③角閃石・チャート・パミスの粗～細砂④底部	外面　胴部下端斜刷毛目→横筺磨き、底部木葉痕→まばらな筺磨き。 内面　胴部下端斜刷毛目→横筺磨き、底部撫で。	覆土
7	弥生土器 甕	口径 (17.5) 底径 (5.8) 器高 19.9	①普通②明赤褐色③石英・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部～底部 1/2	外面　口縁部横撫で、胴部縦刷毛目→横方向撫で、胴部下端横筺削り、底部筺削り磨滅、全体に被熱。 内面　口縁部横撫で、胴部斜刷毛目→横方向撫で、底部撫で。	覆土
8	弥生土器 甕	口径 (14.4) 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい赤褐色③石英・片岩・パミスの細砂④口縁部～胴部中位 1/2	口唇部面取りし、筺状具による刻み。 外面　口縁部横撫で、頸部２段の波状文（7 歯 /14㎜、下→上）、胴部斜刷毛目→縦筺磨き、全体に被熱。　内面　口縁部横撫で、頸部～胴部横刷毛目→頸部縦筺磨き・胴部横筺磨き。	東壁沿い 床面
9	弥生土器 甕	口径　－ 底径　7.2 器高　－	①普通②にぶい橙色③石英・角閃石・パミスの粗～細砂多い④口縁部欠損	外面　頸部に２段の粘土帯接合痕を残す。頸部弱い指圧痕、胴部撫で、底部撫で、胴部中位以上に煤付着。　内面　頸部～胴部上半斜刷毛目→横方向撫で、胴部下半斜刷毛目、底部撫で。	北壁沿い 床面
10	弥生土器 台付甕	口径 12.8 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい褐色③片岩・チャート・パミスの細砂④口縁部～肩部 3/4	口唇部面取りし、刷毛状具による刻み。　外面　口縁部横撫で→頸部 12 分割の２連止簾状文（12 歯 /16㎜）→口縁部波状文（10 歯 /13㎜）・肩部波状文。　内面　口縁部横撫で→口縁部～頸部横筺磨き。	炉跡周辺 床面
11	弥生土器 台付甕	口径 12.8 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③チャート・角閃石・赤粒・パミスの粗～細砂多い④脚部下半欠損	外面　頸部 25 分割の等間隔簾状文（13 歯 /14㎜）→口縁部２段の波状文（10 歯 /12㎜、下→上）・肩部２段の波状文（10 歯 /12㎜、上→下）、胴部斜筺磨き、脚部縦筺磨き、胴部中位と口縁部に煤付着。 内面　口縁部と胴部下半横筺磨き、胴部中位横方向撫で、脚部撫で。	炉跡脇 床面
12	弥生土器 台付甕	口径 10.0 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい褐色③石英・片岩・パミスの細砂④口縁部の一部と脚部欠損	外面　口縁部横撫で→１段の波状文、頸部 19 分割の等間隔簾状文（12 歯 /11㎜）→肩部１段の波状文、胴部斜刷毛目→まばらな縦筺磨き。 内面　口縁部～肩部横筺磨き、胴部斜筺磨き。	北壁沿い 床面
13	弥生土器 高坏	口径 14.5 底径　8.2 器高 12.0	①普通②赤褐色③石英・角閃石・赤粒・パミスの粗～細砂多い④ほぼ完形	外面　坏部赤彩→筺磨き磨滅、脚部赤彩→縦筺磨き磨滅。 内面　坏部赤彩→筺磨き磨滅、脚部縦方向撫で。	北壁沿い 床面

15号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径　－ 底径 13.4 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②橙色③角閃石・チャート・赤粒・パミスの粗～細砂④口縁部欠損	外面　口頸部縦刷毛目・胴部縦横刷毛目→頸部９分割の２連止簾状文(12 歯 /20㎜)・肩部下端に筺描沈線による区画→肩部５段の櫛描横羽状文(10 歯 /20㎜)、底部磨滅。　内面　磨滅。	南東部 床面
2	弥生土器 甕	口径 17.0 底径　－ 器高　－	①普通②黒褐色③雲母・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部上半 2/3	外面　口縁部横撫で→口頸部斜刷毛目→頸部２連止簾状文(14 歯 /15㎜)→肩部６段の波状文（14 歯 /15㎜、上→下）、全体に煤付着。 内面　口頸部横筺磨き、胴部斜刷毛目→まばらな筺磨き。	南東部 床面

第73表　12号・13号・15号住居址出土土器観察表

15 号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
3	弥生土器 甕	口径 20.3 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③片岩・パミスの粗～細砂④口縁部の一部と胴部下半欠損	胴部欠損面の整形と頸部内面ベンガラ付着（赤彩品を置く土器台に転用）。　外面　口縁部篦状具小口による横撫で→口唇部小口状工具による刻み・口頸部斜刷毛目→頸部 10 分割の２連止簾状文（9 歯 /12㎜）→肩部５～６段の波状文（8 歯 /11㎜）、胴部斜刷毛目、胴部中位煤付着。 内面　口縁部～胴部横刷毛目→横篦磨き。	南西部 床面
4	弥生土器 甕	口径 (17.7) 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③片岩・パミスの細砂④口縁部～胴部中位 1/2	外面　頸部～胴部斜刷毛目→頸部等間隔簾状文（9 歯 /14㎜）→口縁部３～４段・肩部４段の波状文（7 歯 /16㎜）、胴部中位篦磨き、口縁部と胴部中位に煤付着。 内面　口頸部横刷毛目→まばらな篦磨き、胴部横篦撫で。	西部 床面

16号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 15.0 底径 9.5 器高 28.5	①やや不良②浅黄橙色③片岩・パミス・赤褐粒の粗～細砂④口縁部～胴部の一部欠損	外面　口縁部横撫で、頸部～胴部斜刷毛目→頸部等間隔簾状文（7 歯 /11㎜）→肩部３段の波状文（7 歯 /11㎜、上→下）、胴部下半縦篦磨き、胴部下半煤付着。　内面　口頸部斜刷毛目→横篦磨き、胴部横篦磨き磨滅、胴部下端～底部撫で。	南西部 床面

17号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 6.2 底径 3.2 器高 6.1	①普通、底部外面に黒斑②にぶい橙色③角閃石・片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④完形	外面　口縁部～胴部斜刷毛目→指撫で、底部まばらな篦磨き。 内面　口縁部～底部指撫で。	北西部 床面

18号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 台付甕	口径 (12.0) 底径 － 器高 －	①普通②褐色③石英・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部 2/3	外面　口縁部横撫で、頸部２連止簾状文（8 歯 /12㎜）→肩部２段の波状文（8 歯 /12㎜、上→下）、胴部横篦磨き、口縁部～胴部煤付着。 内面　口縁部横撫で、頸部～胴部横篦磨き、口縁部煤付着。	北西部 床面

19号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 (17.3) 底径 9.4 器高 32.0	①普通②にぶい黄橙色③片岩・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部の 1/4 欠損	外面　口縁部～肩部縦刷毛目→頸部短い等間隔簾状文（7 歯 /13㎜）→口縁部３～４段・肩部４～５段の波状文（7 歯 /13㎜、上→下）、胴部斜刷毛目→まばらな縦篦磨き、底部磨滅、口縁部と胴部下半に煤付着。 内面　口縁部～胴部横篦磨き、底部撫で。	南西部 床面
2	弥生土器 甕	口径 15.7 底径 － 器高 －	①普通②にぶい褐色③石英・片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部中位	外面　頸部 26 分割の等間隔簾状文→口縁部３段（下→上）・肩部３段の波状文（上→下）、櫛描文は 11 歯 /16㎜で共通、全体に被熱と煤付着。 内面　口縁部磨滅、頸部～胴部横篦磨き。	南西部 床面
3	弥生土器 高坏	口径 (21.3) 底径 12.4 器高 18.5	①普通②赤色③チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④坏部 1/2 欠損	外面　口縁部～底部赤彩→口縁部と脚部下端横篦磨き、坏体部～脚部縦篦磨き。 内面　坏部赤彩→横篦磨き、脚部上半篦撫で・下半指撫で。	南西部 床面

20号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 22.8 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③角閃石・チャート・パミスの粗～細砂多い④口頸部 3/4	外面　口縁部横撫で、頸部板状具小口による撫で→まばらな横撫で→簾状文→篦描垂下文。 内面　口縁部横撫で、頸部板状具小口による撫で。	覆土

21号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 27.8 底径 － 器高 －	①普通、胴部外面黒斑②橙色③赤粒の粗砂、角閃石・輝石・チャート・パミスの細砂④口頸部～胴部中位 3/4	口縁部粘土帯付加し無文。口唇部は面取りされ、篦状具による刻み。焼成後の口唇部に２本一対の棒状貼付文推定６カ所。 外面　頸部縦刷毛目→まばらな横篦磨き→８分割の２連止簾状文（8 歯 /18㎜）→肩部５段の櫛描横線文（8 歯 /18㎜、上→下）→６分割の櫛描垂下文（5 歯 /8㎜）→焼成後の垂下文下端に楕円形貼付文→楕円形貼付文に篦状具による横線、胴部縦～斜刷毛目。 内面　口縁部横撫で、頸部～胴部横刷毛目。	貯蔵穴脇 床面
2	弥生土器 壺	口径 (18.8) 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③角閃石・赤粒・チャート④口縁部～胴部中位 1/2	外面　口縁部粘土帯付加し、１段の波状文。頸部斜刷毛目→２段の櫛描横線文（上→下）→７分割の櫛描垂下文→肩部３段の波状文（上→下）、櫛描文は８歯 /14㎜で共通、胴部斜刷毛目→まばらな縦篦磨き。 内面　口頸部横刷毛目→横篦磨き磨滅、胴部上位粗い刷毛目、胴部中位細かい刷毛目。	覆土
3	弥生土器 壺	口径 18.9 底径 － 器高 －	①普通②にぶい橙色③角閃石・チャート・赤粒・パミスの粗～細砂多い④口縁部～胴部上位	胴部欠損面の整形（土器台転用）。 外面　口縁部篦磨き磨滅、頸部２段の櫛描横線文（8 歯 /16㎜、上→下）→７分割の櫛描垂下文（3 歯 /11㎜）→肩部３段以上の波状文（8 歯 /16㎜、上→下）。　内面　口頸部横篦磨き、胴部磨滅。	覆土
4	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②橙色③石英・角閃石・パミスの細砂多い④頸部～胴部上半 1/2	外面　頸部斜刷毛目→２段の櫛描横線文（11 歯 /19㎜、上→下）→肩部３段の櫛描横羽状文（11 歯 /24㎜、上→下）→頸部櫛描垂下文（2 歯 /5㎜）・羽状文下に篦描横線文。胴部斜刷毛目。 内面　胴部横刷毛目→横篦撫で。	覆土
5	弥生土器 壺	口径 (17.2) 底径 － 器高 －	①普通②橙色③石英・片岩・チャートの粗～細砂④口縁部～胴部上位 3/4	口縁部折り返しで、２本一対の棒状貼付文推定４カ所。 外面　口縁部縦刷毛目→篦磨き磨滅、頸部～肩部３段の櫛描横線文（8 歯 /14㎜）→４～５分割の櫛描垂下文（5 歯 /7㎜）、全体に剥離進む。 内面　口頸部篦磨き、全体に剥離進む。	南西柱穴
6	弥生土器 壺	口径 15.7 底径 － 器高 －	①普通②明赤褐色③石英・チャート・パミスの粗～細砂④口頸部 3/4	粘土帯を付加した折り返し口縁。 外面　口縁部縦刷毛目→折り返し→頸部櫛描横線文（6 歯 /11㎜）→４分割の櫛描垂下文（3 歯 /4㎜）。　内面　口頸部横篦磨き磨滅。	ピット

第74表　15号～21号住居址出土土器観察表

21 号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
7	弥生土器 壺	口径　－ 底径　6.6 器高　－	①普通②にぶい褐色③角閃石・チャートの粗～細砂多い④口縁部欠損	外面　頸部横篦磨き→７分割の２連止簾状文（8 歯 /13㎜）→肩部２段の波状文（8 歯 /13㎜、上→下）、胴部横篦磨き、底部篦磨き。 内面　撫で磨滅、胴部中位以下に薄く白色物質付着。	北東部床面
8	弥生土器 甕	口径　21.9 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③角閃石・雲母・赤褐粒・パミスの粗～細砂多い④胴部 1/2 と口頸部	口唇部櫛歯押圧。　外面　口頸部縦刷毛目→横方向撫で→頸部２連止簾状文（12 歯 /20㎜）→口縁部１段・肩部３段の波状文（9 歯 /20㎜、上→下）、胴部磨滅。　内面　口縁部～胴部横篦磨き。	北東部 床面
9	弥生土器 甕	口径　18.5 底径　－ 器高　－	①普通②褐色③角閃石・雲母・チャート・パミスの細砂④口縁部 1/4 と胴部中位以下欠損	胴部欠損面の整形と頸部内面の擦痕（倒立土器台転用）。 外面　頸部 10 分割の２連止簾状文→口頸部４段の波状文（下→上）・肩部４段の波状文（上→下）、櫛歯は 12 歯 /16㎜で共通、胴部斜刷毛目。 内面　口縁部～胴部横篦撫で、頸部斜撫で。	北西柱穴
10	弥生土器 甕	口径　(21.3) 底径　(8.9) 器高　34.3	①普通②にぶい黄橙色③輝石・片岩・赤粒・パミスの細砂④口縁部～胴部 1/2 欠損	外面　頸部縦篦磨き→頸部２連止簾状文（10 歯 /15㎜）→口縁部１段の波状文・肩部４段の櫛描横羽状文（10 歯 /19㎜、上→下）、胴部斜刷毛目→縦篦磨き、底部篦磨き、胴部中位と口縁部に煤付着。 内面　口縁部～胴部横篦磨き、底部篦磨き、胴部下位に煤付着。	北西壁沿い 床面
11	弥生土器 甕	口径　19.9 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③石英・角閃石・赤粒の細砂多い④口縁部 1/2 と肩部残存	口唇部櫛歯押圧磨滅。　外面　口縁部３段の波状文（下→上）→頸部１段の波状文→肩部２段以上の櫛描横羽状文（上→下）、櫛歯は 10 歯 /18㎜で共通。　内面　口縁部～肩部横篦磨き。	覆土
12	弥生土器 甕	口径　(21.0) 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②にぶい黄橙色③石英・角閃石・チャートの粗～細砂④口縁部～胴部下位 1/2	外面　口縁部～胴部斜刷毛目→板状具小口による縦撫で、胴部中位にバンド状煤付着。 内面　口縁部～胴部上半斜刷毛目→頸部・胴部中位以下撫で。	覆土
13	弥生土器 甕	口径　15.8 底径　6.9 器高　24.1	①普通、胴部内面に黒斑②橙色③片岩・チャート・赤粒・パミスの細砂④口縁部一部欠損	外面　口縁部～胴部斜刷毛目→口縁部～肩部に８～ 10 段の波状文（6 歯 /12㎜、上→下）、胴部下半縦篦磨き、胴部下端～底部撫で、胴部中位以上に煤付着。 内面　口縁部～胴部上半斜刷毛目→胴部中位以下横篦磨き。	北西壁沿い 床面
14	弥生土器 甕	口径　15.1 底径　(6.0) 器高　22.4	①普通②灰白色③角閃石・赤粒の細砂多い④口縁部～底部 3/4	外面　頸部２連止簾状文（10 歯 /16㎜）→口縁部３段の波状文（8 歯 /13㎜）・肩部３段の櫛描横羽状文（8 歯 /13㎜）、胴部下半縦～斜刷毛目、胴部下端～底部撫で、頸部～肩部に煤付着、全体に磨滅。 内面　口頸部斜刷毛目→口縁部～胴部横篦磨き。	覆土
15	弥生土器 甕	口径　(17.9) 底径　(8.8) 器高　21.0	①普通、底部内面に黒斑②明褐灰色③片岩・角閃石・赤粒の細砂④口縁部～底部 3/4	外面　口縁部～胴部斜刷毛目→口縁部横篦磨き・頸部～肩部４段の波状文（5 歯 /13㎜）・胴部下半縦篦磨き、胴部下端～底部撫で、胴部中位以上煤付着。　内面　口縁部～胴部横篦磨き。	北西柱穴
16	弥生土器 甕	口径　12.8 底径　5.9 器高　16.4	①普通②にぶい黄橙色③石英・角閃石・パミスの細砂④口縁部～胴部 1/4 欠損	外面　口縁部～胴部斜刷毛目→頸部等間隔簾状文（8 歯 /11㎜）→口縁部１段の波状文・肩部２段の波状文（8 歯 /11㎜、上→下）・胴部下半縦篦磨き、底部篦磨き。 内面　口縁部横撫で→口縁部～胴部横篦磨き、底部篦磨き。	北西壁沿い 床面
17	弥生土器 甕	口径　12.3 底径　5.9 器高　13.6	①普通②にぶい橙色③片岩・チャート・赤粒・パミスの粗～細砂④胴部下半 1/2 欠損	外面　口縁部横撫で→まばらな横篦磨き→頸部 12 分割の２連止簾状文（9 歯 /12㎜）→口縁部１段の波状文・肩部２段の波状文（9 歯 /12㎜）、胴部下半斜刷毛目、底部刷毛目で周縁磨滅、全体に被熱。 内面　口縁部横撫で→口縁部～胴部横篦磨き、底部篦磨き。	ピット
18	弥生土器 台付甕	口径　16.1 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③石英・角閃石の粗～細砂④口縁部～胴部中位 3/4	外面　口縁部横撫で→頸部 11 分割の２連止簾状文（7 歯 /13㎜）→口縁部４～５段の波状文（上→下）・肩部３段の波状文（8 歯 /15㎜、上→下）→肩部４カ所に円形貼付文、胴部斜刷毛目、胴部中位以上に煤付着。 内面　口縁部横撫で、頸部斜刷毛目→まばらな横篦磨き、胴部横篦磨き。	覆土
19	弥生土器 鉢	口径　12.6 底径　5.1 器高　10.2	①普通②赤褐色③石英・片岩・パミスの細砂④口縁部一部欠損	外面　頸部櫛描横線文→口縁部～体部赤彩→横篦磨き、体部磨滅、底部篦磨き。 内面　口縁部～底部赤彩→横篦磨き。	北西壁沿い 床面
20	弥生土器 鉢	口径　(13.3) 底径　4.4 器高　7.5	①普通②赤褐色③角閃石・チャート・パミスの細砂④口縁部 1/3 欠損	口縁に２孔一対の小孔（孔径 2㎜）。　外面　口縁部～体部赤彩→口縁部横篦磨き→体部縦篦磨き→体部下端横篦磨き、底部篦磨き。　内面　口縁部～底部斜刷毛目→赤彩→横篦磨き、体部中位以下に薄く白色物質付着。	入り口ピット 脇 床面
21	土製勾玉	長さ　3.8 幅　2.9 厚さ　1.6	①普通②浅黄橙色③輝石・チャートの細砂④完形	孔径 3㎜、重さ 14.29g。 外面　撫で。	南西部 覆土
22	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部破片	外面　折り返し口縁部は無文、全体に磨滅。 内面　口頸部横刷毛目磨滅。	覆土
23	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄色③石英・角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部破片	外面　口縁部粘土帯接合痕を装飾的に残す。 内面　磨滅・剥離。	覆土
24	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③チャート・角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	胴部欠損面打ち欠き調整及び内面煤付着と細かい剥離（土器敷炉に転用）。外面　肩部３段以上の波状文→文様帯下端に篦描沈線１条、胴部篦磨き磨滅。　内面　剥離。	覆土
25	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②橙色③角閃石・片岩・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　頸部２連止め簾状文→肩部３段の櫛描横羽状文（上→下、5 歯 /11㎜）、胴部斜刷毛目。 内面　胴部横篦磨き。	覆土
26	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい橙色③片岩・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　肩部斜刷毛目→篦描鋸歯文内を櫛描直線文で充填（4 歯 /5㎜）・２段の櫛描横線文（上→下、8 歯 /16㎜）。 内面　胴部横刷毛目→横篦撫で。	覆土
27	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③角閃石・片岩・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　肩部篦描鋸歯文内を篦描沈線で充填。 内面　胴部撫で。	覆土
28	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・片岩・角閃石・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　肩部２段以上の櫛描横線文（8 歯 /12㎜）→２条の篦描垂下文→篦描鋸歯文内を篦描沈線で充填。 内面　胴部撫で。	覆土
29	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　肩部撫で→２段の櫛描円弧文（7 歯 /10㎜）。 内面　胴部横刷毛目→篦撫で。	覆土
30	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②灰黄褐色③石英・チャート・パミスの粗～細砂④胴部破片	外面　肩部横篦磨き→櫛描円弧文。 内面　胴部磨滅。	覆土

第75表　21号住居址出土土器観察表

21 号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
31	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②黄橙色③チャート・角閃石・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　肩部櫛描円弧文（6 歯 /15㎜）。 内面　胴部磨滅。	覆土

22号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②橙色③角閃石・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部上半波状文（6 歯 /12㎜）、胴部下半縦箆磨き。 内面　胴部横箆磨き。	ピット

23号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 (23.9) 底径 (10.5) 器高 50.4	①普通②明黄褐色③石英・片岩・角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部 1/2 と胴部 1/4 欠損。	外面　口頸部板状具小口による縦横撫で→頸部等間隔簾状文（10歯/17㎜）→肩部 3 段の波状文（8 歯/18㎜、上→下）、胴部板状具小口による斜撫で、胴部下端～底部撫で。　内面　口頸部斜刷毛目、胴部上半横箆磨き、胴部下半～底部板状具小口による撫で。	南西柱穴脇 床面
2	弥生土器 壺	口径 (17.6) 底径　－ 器高　－	①普通②赤色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部～体部 3/4	外面　口縁部赤彩→横箆磨き、頸部 3 連止簾状文（18/24㎜）、体部斜刷毛目→赤彩→縦横箆磨き。 内面　口縁部～頸部赤彩剥落、体部斜刷毛目→赤彩→縦横箆磨き。	中央部 床面
3	弥生土器 有孔鉢	口径 16.1 底径　5.3 器高　8.5	①普通、体部外面に黒斑②橙色③石英・角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部～体部 1/2 欠損	底部に焼成前穿孔（孔径1.1cm）。 外面　口縁部～体部箆撫で、底部撫で。 内面　口縁部箆磨き磨滅、体部～底部箆撫で→箆磨き磨滅。	覆土
4	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③石英・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部破片	折り返し口縁部に棒状貼付文、口唇部に箆状具による刻み。 外面　磨滅。 内面　口縁部横刷毛目磨滅。	覆土

24号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 (21.9) 底径　－ 器高　－	①普通②明赤褐色③片岩・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部下半 1/2	土器敷き炉に転用（胴部内面に不整楕円形の煤付着）。 外面　口縁部～胴部斜刷毛目→頸部 2 連止簾状文→口縁部 3 段（下→上）・肩部 4 段の波状文（上→下）、櫛描文は 9 歯 /16㎜で共通、胴部下半縦箆磨き、胴部中位にバンド状煤付着。 内面　口縁部～胴部撫で磨滅顕著。	覆土
2	弥生土器 壺	口径 21.5 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②浅黄橙色③石英・片岩・角閃石・パミスの粗～細砂多い④口縁部～胴部中位	外面　口縁部～胴部斜刷毛目→頸部 2 連止簾状文（8 歯 /14㎜）→折り返し口縁部 1 段・肩部 5 段以上の波状文（8 歯 /14㎜）。 内面　口頸部斜～横刷毛目、胴部磨滅。	覆土
3	弥生土器 壺	口径 20.4 底径 10.7 器高 25.7	①普通②橙色③片岩・角閃石・輝石・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部の一部欠損	口唇部に櫛歯による刻み、底部は焼成後内側からの打割による穿孔。 外面　口縁部横撫で、頸部 31 分割の等間隔簾状文（12 歯 /19㎜）→肩部 2 段の波状文（12 歯 /19㎜、上→下）、波状文下端～胴部中位赤彩→横箆磨き、胴部下半縦箆磨き。 内面　口頸部赤彩→横箆磨き、胴部横方向箆撫で。	中央部 床面
4	弥生土器 壺	口径 18.8 底径　－ 器高　－	①普通、口縁部内外面に黒斑②にぶい黄橙色③角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部上半 3/4	外面　口縁部板状具小口による撫で、頸部強い撫で、胴部縦刷毛目。 内面　口縁部斜刷毛目磨滅、胴部磨滅。	覆土
5	弥生土器 甕	口径 (19.4) 底径 (7.7) 器高 28.3	①普通②褐色③片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～底部 3/4	外面　口縁部板状具小口による撫で、頸部～肩部 4 段の波状文（11 歯/16㎜、上→下）、胴部斜刷毛目→箆磨き、口頸部と胴部中位煤付着、胴部下半被熱。　内面　口縁部～胴部横箆磨き。	中央部 床面
6	弥生土器 甕	口径 17.1 底径　5.6 器高 23.9	①普通②褐色③片岩・パミスの粗～細砂④胴部 1/4 欠損	口唇部と肩部に各 7 か所の円形添付文。 外面　頸部斜刷毛目→口縁部 1 段・肩部 3 段の波状文（8 歯 /10㎜）→口頸部縦箆磨き、胴部斜刷毛目→斜箆磨き、底部箆磨き、胴部中位以上に煤付着。　内面　口縁部～胴部横箆磨き、底部撫で。	南西隅 床面
7	弥生土器 甕	口径 22.8 底径 10.0 器高 37.4	①普通②明赤褐色③片岩・チャート・パミス・赤粒の細砂④ほぼ完形	外面　頸部 12 分割の 2 連止簾状文（9 歯 /13㎜）→口縁部 4 ～ 5 段・肩部 4 段の波状文（9 歯 /13㎜）、胴部斜箆撫で→胴部下半斜格子の櫛描文（9 歯 /13㎜）、底部磨滅、口縁部と胴部中位に煤付着。 内面　口縁部～胴部横箆磨き、底部撫で。	北壁沿い 床面
8	弥生土器 台付甕	口径 12.2 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③片岩・角閃石・チャートの粗～細砂多い④脚部欠損	外面　口縁部板状具小口による撫で、頸部 2 連止簾状文（7 歯 /11㎜）→肩部 2 段の波状文（上→下）、胴部縦箆磨き。 内面　口縁部板状具小口による撫で、胴部下半白色物質付着。	北西柱穴（建て替え前）
9	弥生土器 台付甕	口径 10.2 底径　7.3 器高 10.6	①普通②浅黄橙色③片岩・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④完形	外面　口縁部横撫で、頸部 2 連止簾状文は頸部の 1/2 程度で止まる、肩部 2 段の波状文（6 歯 /9㎜）、胴部～脚部縦横箆磨き。 内面　口縁部～胴部横刷毛目→箆磨き磨滅、脚部箆撫で。	北壁沿い 床面
10	弥生土器 片口鉢	口径 (10.0) 底径　8.6 器高 12.2	①普通、底部外面に黒斑②橙色③片岩・角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂多い④口縁部～体部上半の 1/3 欠損	外面　口縁部～体部縦横撫で、底部撫で。 内面　口縁部～底部撫で、体部下半～底部白色物質付着。	南東部 床面
11	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③チャート・パミス・赤粒の粗～細砂多い④胴部破片	外面　肩部上端 3 条の箆描横線文と交互刺突文、肩部下位箆描渦巻き文と赤彩。 内面　肩部縦方向の撫で。	覆土
12	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③石英・角閃石・赤粒の粗～細砂④口頸部 1/4	外面　口縁部折り返し→横撫で→ 2 個 1 組の棒状添付文に刺突→ 2 段の波状文、頸部波状文。 内面　口頸部剥落。	覆土
13	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　肩部櫛描横線文→箆描鋸歯文内を箆描沈線で充填→円形貼付文。 内面　胴部磨滅。	覆土

第76表　21～24号住居址出土土器観察表

25号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 台付甕	口径 15.0 底径 10.2 器高 21.8	①普通②赤褐色③片岩・パミスの粗～細砂多い④口縁部～胴部 1/2 欠損	口縁部と肩部に円形添付文。　外面　頸部２連止簾状文（10 歯 /14㎜）→口縁部１段・肩部３段の波状文（6 歯 /11㎜、上→下）、胴部～脚部縦横篦磨き、口縁部～肩部煤付着、胴部被熱。　内面　口縁部～胴部横篦磨き、脚部撫で、口縁部～肩部薄く煤付着。	北壁沿い 床面
2	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②黄橙色③石英・角閃石の粗～細砂多い④口縁部～胴部破片	外面　頸部～胴部櫛描横羽状文（10 歯 /11㎜）。 内面　磨滅。	覆土

26号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 (19.6) 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③片岩・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部上半 3/4	外面　口縁部横撫で・口頸部縦刷毛目→頸部 13 分割の２連止簾状文（10 歯 /12㎜）→口縁部１段・肩部３段の波状文（9 歯 /12㎜、上→下）、胴部斜篦撫で、外面全体に薄い煤付着。 内面　口縁部～胴部横篦磨き。	中央部 床面
2	弥生土器 甕	口径 15.1 底径　6.6 器高 14.9	①普通②にぶい橙色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部の一部欠損	外面　口縁部横撫で、頸部～胴部板状具小口による斜撫で、底部磨滅。 内面　口縁部横撫で、口縁部～胴部横篦磨き磨滅、底部撫で。	中央部 床面
3	弥生土器 台付甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい褐色③片岩・パミスの粗～細砂④口頸部破片	外面　口縁部横撫で→１段の波状文、頸部斜刷毛目→等間隔簾状文。 内面　口縁部横撫で、頸部横篦磨き。	覆土

27号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②灰黄褐色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部破片	口唇部面取り。 外面　口縁部２段の斜縄文（LR）。 内面　口縁部斜篦削り。	覆土

28号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 台付甕	口径 (14.1) 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③片岩・パミスの粗～細砂④口縁部 3/4・胴部上半 1/3・脚部下半を欠損	外面　口頸部縦刷毛目→頸部等間隔簾状文（7 歯 /12㎜）→口縁部１段・肩部２段の波状文（7 歯 /12㎜）、胴部～脚部縦篦磨き、口縁部～胴部に煤付着。　内面　口縁部～胴部横篦磨き、脚部撫で。	北東隅 床面

29号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 台付甕	口径 12.1 底径　8.7 器高 16.6	①普通②橙色③石英・片岩・パミスの粗～細砂④完形	口唇部に櫛状具による刻み。 外面　口縁部横撫で→口縁部～肩部３～４段の波状文（8 歯 /14㎜）、胴部～脚部縦篦磨き、口縁部～胴部煤付着、脚部被熱。 内面　口縁部横撫で、胴部横篦磨き、脚部篦撫で。	貯蔵穴

30号住居跡

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 高坏	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②赤色③片岩・パミスの細砂④坏部底～脚部	脚部に粘土帯貼付による突帯。 外面　坏部～脚部赤彩→縦横篦磨き。 内面　坏部赤彩→横篦磨き。	覆土

31号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 (19.8) 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②にぶい黄橙色③片岩・角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部下半 1/3	外面　口縁部横撫で、頸部縦刷毛目、胴部斜篦撫で。 内面　口縁部横撫で、頸部斜刷毛目、胴部横篦撫で→まばらな指撫で。	炉跡（土器敷炉に転用）
2	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい褐色③片岩・チャート・赤粒の粗～細砂④口頸部破片	外面　口頸部横刷毛目→口縁部１段の波状文→楕円形貼付文、頸部４連止め簾状文→蛇行する波状文（9 歯 /14㎜）。 内面　口頸部斜刷毛目→横篦磨き。	覆土
3	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい橙色③石英・チャート・赤粒の粗～細砂④肩部破片	外面　肩部篦描鋸歯文内を篦描沈線で充填。 内面　肩部撫で。	覆土

32号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	土師器 甕	口径 (13.9) 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい橙色③石英・チャートの粗～細砂④口縁部～胴部上半 1/4	受口状口縁。 外面　口縁部横撫で、頸部～胴部斜刷毛目、全体に煤付着。 内面　口縁部横撫で、胴部斜篦撫で。	覆土
2	土師器 高坏	口径 20.5 底径　－ 器高　－	①普通、坏部外面に黒斑②にぶい橙色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④坏部 3/4	外面　坏部斜篦磨き磨滅。 内面　坏部斜篦磨き磨滅・剥離。	中央部 床面
3	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄褐色③石英・角閃石の粗～細砂④口縁部破片	外面　折り返し口縁部に１段の波状文。 内面　口頸部横篦磨き。	覆土
4	土師器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③石英・チャート・雲母の粗～細砂④肩部破片	外面　肩部斜刷毛目→横刷毛目。 内面　肩部縦方向撫で。	覆土
5	土製紡錘車	径 4.0㎝、厚さ 2.5㎝、孔径 0.6㎝、重さ 34.12g。明褐色、焼成前穿孔、全面を指撫で。			中央部床面

第77表　25～32号住居址出土土器観察表

33号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 21.3 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③片岩・角閃石・パミスの粗～細砂④胴部下半 1/2 と底部欠損	外面　口頸部斜刷毛目→撫で→頸部 17 分割の等間隔簾状文（10 歯 /19㎜）→口縁部 1 段・肩部 3 段の波状文（10 歯 /19㎜）、胴部斜刷毛目→斜筺撫で、胴部中位にバンド状煤付着。 内面　口縁部筺状具小口による撫で、頸部～胴部上半斜刷毛目、胴部下半横刷毛目、胴部中位横筺磨き。	覆土
2	弥生土器 台付甕	口径 14.9 底径 － 器高 －	①普通②灰黄褐色③角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂多い④口縁部～胴部 2/3	口縁部と胴部中位に円形貼付と刺突。 外面　口縁部～肩部 4 段の波状文（9 歯 /12㎜、上→下）。 内面　口縁部横撫で、胴部横筺削り。	覆土
3	弥生土器 鉢ヵ	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③石英・角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部破片	外面　口縁部筺描横線文、赤彩剥落。 内面　口縁部赤彩。	覆土

34号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 18.4 底径 10.6 器高 34.1	①普通、胴部外面に黒斑②橙色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④ほぼ完形	外面　頸部 12 分割の 3 連止簾状文（11 歯 /16㎜）→口縁部 4 段・肩部 4 ～ 5 段の波状文（上→下、11 歯 /16㎜）、胴部縦横筺撫で→中位横筺磨き、口縁部と胴部中位に煤付着。 内面　口縁部～胴部中位横筺磨き、胴部下位斜刷毛目→まばらな斜筺磨き、底部撫で。	南西部 床面
2	弥生土器 甕	口径 (19.1) 底径 (9.9) 器高 34.9	①普通②褐色③角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部中位の 1/2 欠損	口唇部に櫛状具による刻み。　外面　口頸部斜刷毛目→横撫で→頸部 2 連止簾状文→口縁部 1 段・肩部 4 段の波状文、櫛歯は 10 歯 /16㎜で共通、胴部縦横筺磨き、口縁部と胴部中位に煤付着。 内面　口縁部～胴部斜刷毛目→口縁部横筺磨き・胴部磨滅。	北西柱穴脇 床面
3	弥生土器 甕	口径 18.0 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③石英・片岩・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂 ④口縁部～胴部下位 3/4	外面　口頸部縦刷毛目→頸部 2 連止簾状文(11 歯 /14㎜)→口縁部 4 段・肩部 4 段（上→下）の波状文（10 歯 /13㎜）、胴部斜刷毛目→横筺磨き、胴部中位にバンド状煤付着。 内面　口縁部～胴部斜刷毛目→横筺磨き。	南西柱穴脇 床面
4	弥生土器 甕	口径 (16.8) 底径 － 器高 －	①普通②橙色③石英・角閃石・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部中位	外面　口縁部～肩部縦刷毛目→頸部 6 分割の 2 連止簾状文→口縁部 7 段（下→上）・肩部 5 段の波状文を重ねる（上→下）、櫛歯は 8 歯 /12㎜で共通、胴部斜筺撫で、胴部中位に煤付着。 内面　口頸部斜刷毛目→横筺磨き、胴部斜筺撫で→横筺磨き。	北西部 床面
5	弥生土器 甕	口径 16.6 底径 － 器高 －	①普通②にぶい橙色③石英・角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部下位	外面　折り返し口縁部横撫で→頸部 8 分割の 2 連止簾状文→口縁部 2 段（下→上）・肩部 3 段（上→下）の波状文、櫛歯は 9 歯 /16㎜で共通、胴部縦筺磨き、胴部上半に煤付着。 内面　口縁部～胴部横筺磨き。	南西部 床面
6	弥生土器 台付甕	口径 13.1 底径 － 器高 －	①普通②にぶい褐色③角閃石・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部上半	外面　口縁部横撫で→口頸部～胴部斜刷毛目→頸部 7 分割の等間隔簾状文→口縁部 2 段（下→上）・肩部 1 段の波状文、櫛歯は 6 歯 /12㎜で共通、全体に被熱と薄く煤付着。 内面　口縁部～胴部斜刷毛目→横筺磨き。	北西部 床面
7	弥生土器 鉢	口径 8.6 底径 3.9 器高 5.4	①普通②明赤褐色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂多い④口縁部～体部 1/3 欠損	外面　口縁部～底部赤彩→筺磨き。 内面　口縁部～底部赤彩→筺磨き。	覆土
8	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部 3 段以上の櫛描円弧文（上→下、左→右、5 歯 /14㎜）。 内面　胴部撫で。	覆土
9	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部 3 段以上の櫛描円弧文（上→下、左→右、5 歯 /14㎜）。 内面　胴部撫で。	中央部 床面
10	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部 3 段以上の櫛描円弧文（上→下、左→右、5 歯 /14㎜）。 内面　胴部撫で。	中央部 床面
11	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　頸部 3 連止簾状文、胴部 2 段以上の櫛描円弧文（上→下、左→右、7 歯 /14㎜）。 内面　胴部撫で。	覆土
12	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部 3 段以上の櫛描円弧文。 内面　胴部撫で。	覆土
13	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部 4 段以上の櫛描円弧文（上→下、左→右、6 歯 /13㎜）。 内面　胴部撫で。	覆土
14	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部 3 段以上の櫛描円弧文（6 歯 /13㎜）。 内面　胴部撫で。	覆土
15	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部 3 段以上の櫛描円弧文（5 歯 /14㎜）。 内面　胴部撫で。	覆土
16	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部櫛描円弧文。 内面　胴部撫で。	覆土
17	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通、外面に黒斑②灰色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部 3 段以上の櫛描円弧文（上→下、左→右、6 歯 /11㎜）。 内面　胴部撫で。	覆土
18	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　肩部櫛描円弧文（8 歯 /12㎜）、胴部下半斜刷毛目→横筺磨き肩部に煤付着。 内面　胴部斜刷毛目→横筺磨き。	北西部 床面
19	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部櫛描円弧文。 内面　胴部撫で。	覆土

第78表　33号・34号住居址出土土器観察表

34 号住居

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
20	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②黄橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④肩部破片	外面　胴部斜撫で→頸部３連止簾状文→肩部２段の櫛描横羽状文（上：左→右、下：右→左、10 歯 /20mm）。 内面　胴部斜撫で→まばらな横篦磨き。	覆土
21	土製紡錘車	径 5.3cm ～ 5.4cm、厚さ 2.0cm、孔径 0.6cm、重さ 45.82g。	石英・角閃石・パミス・赤粒を含む。		北西柱穴脇

溝

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・片岩・チャート・赤粒の粗～細砂多い④胴部破片	外面　胴部斜縄文（LR）→２条の沈線。 内面　胴部横方向撫で。	２号溝
2	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③石英・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部破片	外面　口縁部粘土帯接合痕と指圧痕。 内面　口縁部横撫で。	３号溝
3	弥生土器 高坏	口径 14.7 底径　8.3 器高 12.4	①普通②浅黄橙色③石英・チャート・角閃石・赤粒・パミスの粗～細砂 ④坏部 2/3 欠損	外面　坏部磨滅、脚部縦刷毛目。 内面　坏部横刷毛目→赤彩→横篦磨き磨滅、脚部指撫で。	13 号溝
4	弥生土器 鉢	口径 (11.3) 底径　6.7 器高　9.0	①普通、底部外面に黒斑②浅黄橙色 ③石英・チャート・パミスの粗～細砂④ 口縁部 3/4 欠損	外面　口縁部～体部指撫で、底部篦削り。 内面　口縁部指押さえ、体部～底部篦撫で。	13 号溝
5	土製勾玉	石英・角閃石・パミスの粗～細砂含む。			９号溝
6	須恵器 短頸壺	口径 10.3 底径　－ 器高　6.3	①還元②灰色③チャート・パミスの細砂④口縁部～底部 1/2	外面　胴部下半～底部手持ち篦削り調整、底部篦記号。 内面　底部内面撫で調整。	５号溝

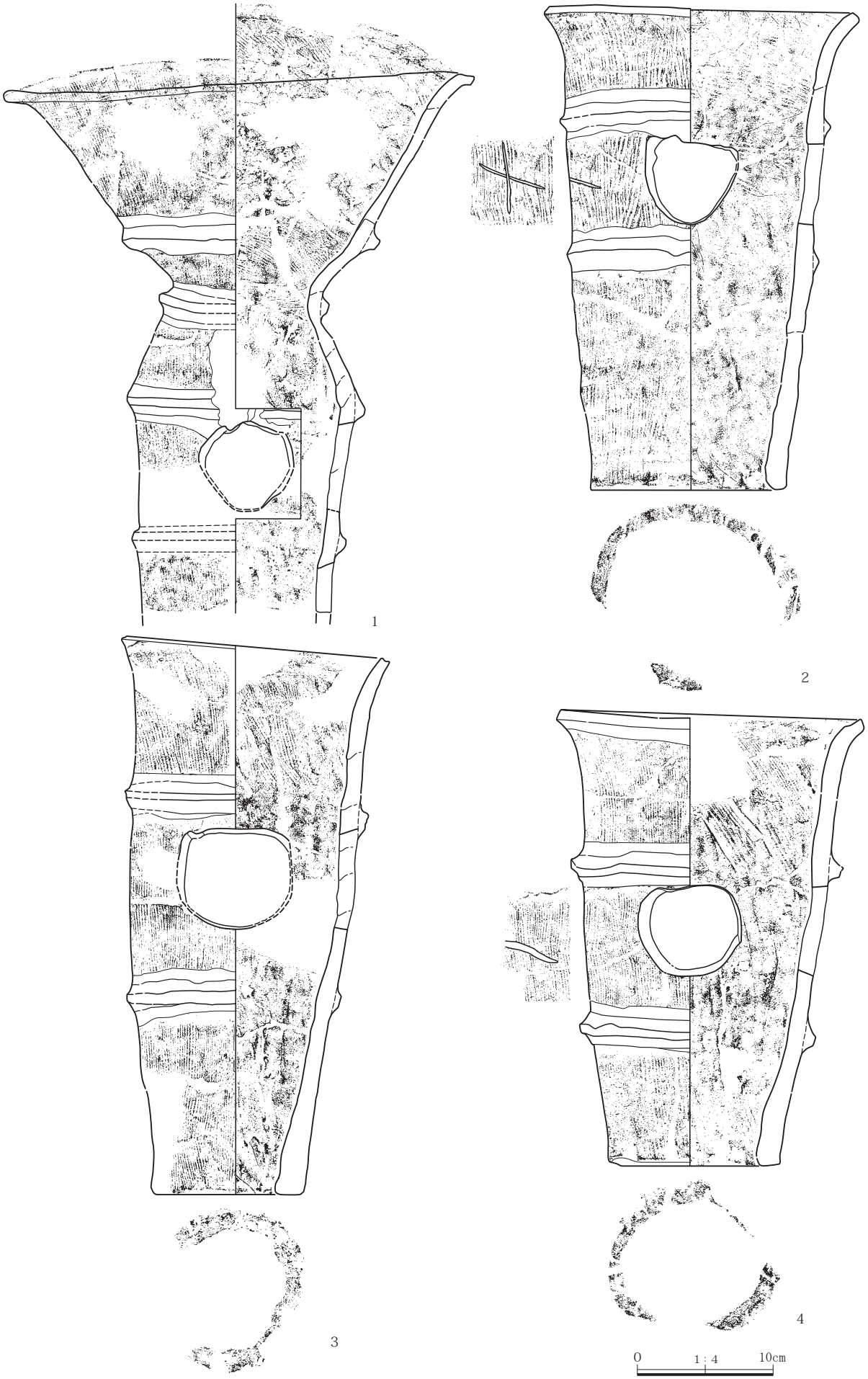
古墳

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・角閃石・チャートの粗～細砂④胴部破片	外面　胴部篦描鋸歯文内を篦描沈線で充填→赤彩（鋸歯文内を除く）→赤彩部を縦篦磨き。 内面　胴部横方向撫で。	１号墳
2	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③角閃石・チャート・パミスの粗～細砂④胴部破片	外面　胴部篦描沈線の上部を２段以上の波状文、下部を篦描鋸歯文。 内面　胴部横方向の撫で。	１号墳
3	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②にぶい黄橙色③角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部斜刷毛目→２段以上の波状文→相対するＪ字文（10 歯 /16mm）。 内面　胴部斜刷毛目→まばらな横篦磨き。	１号墳墳丘
4	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部櫛描円弧文（７歯 /11mm）。 内面　胴部斜刷毛目。	１号墳墳丘

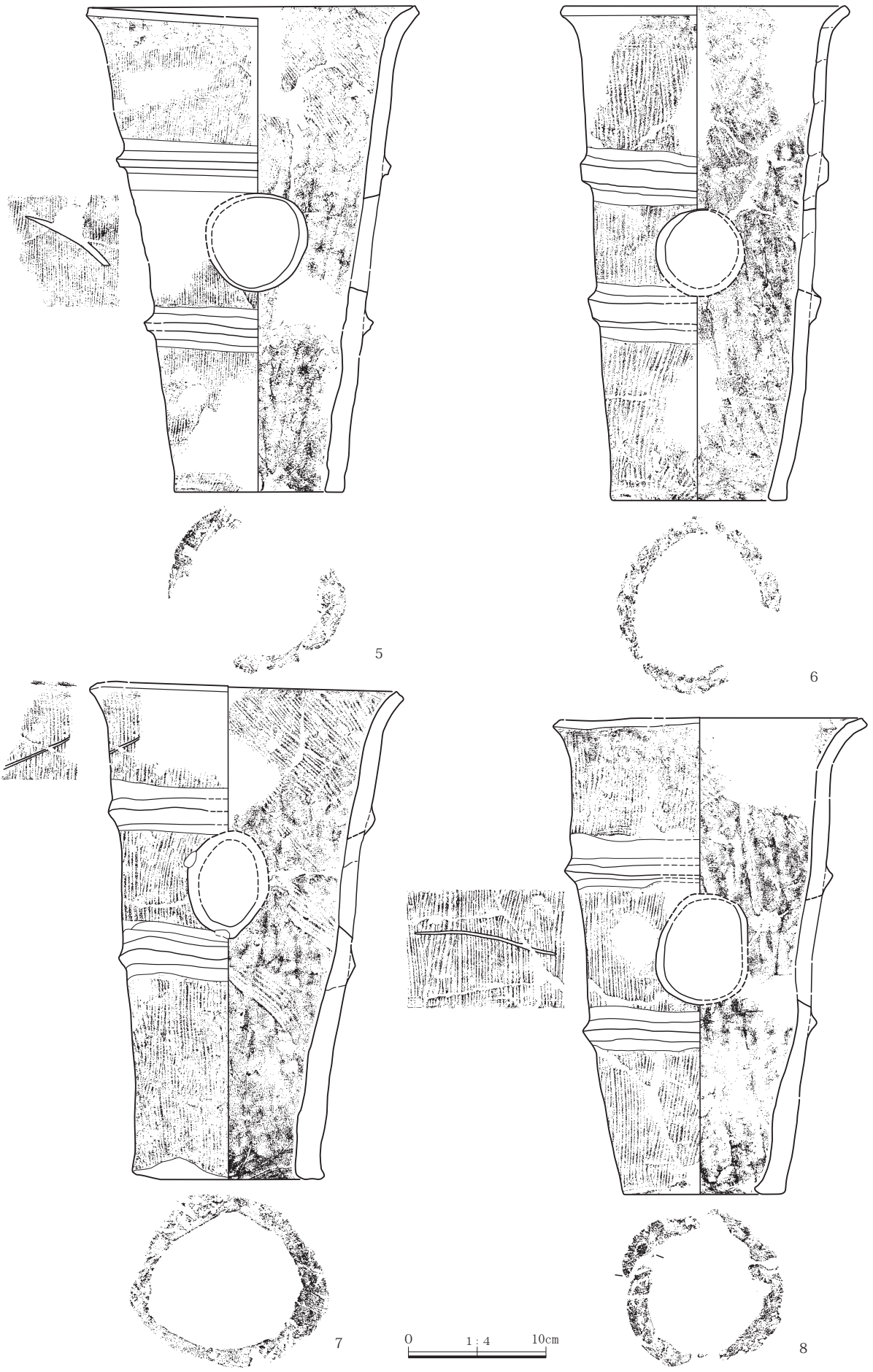
遺構外

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 蓋	口径　－ 摘径　2.8 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③チャート・パミスの粗～細砂④口縁部欠損	外面　摘部撫でと指押さえ、体部粘土帯接合痕残す。 内面　天井部～体部撫で。	４区

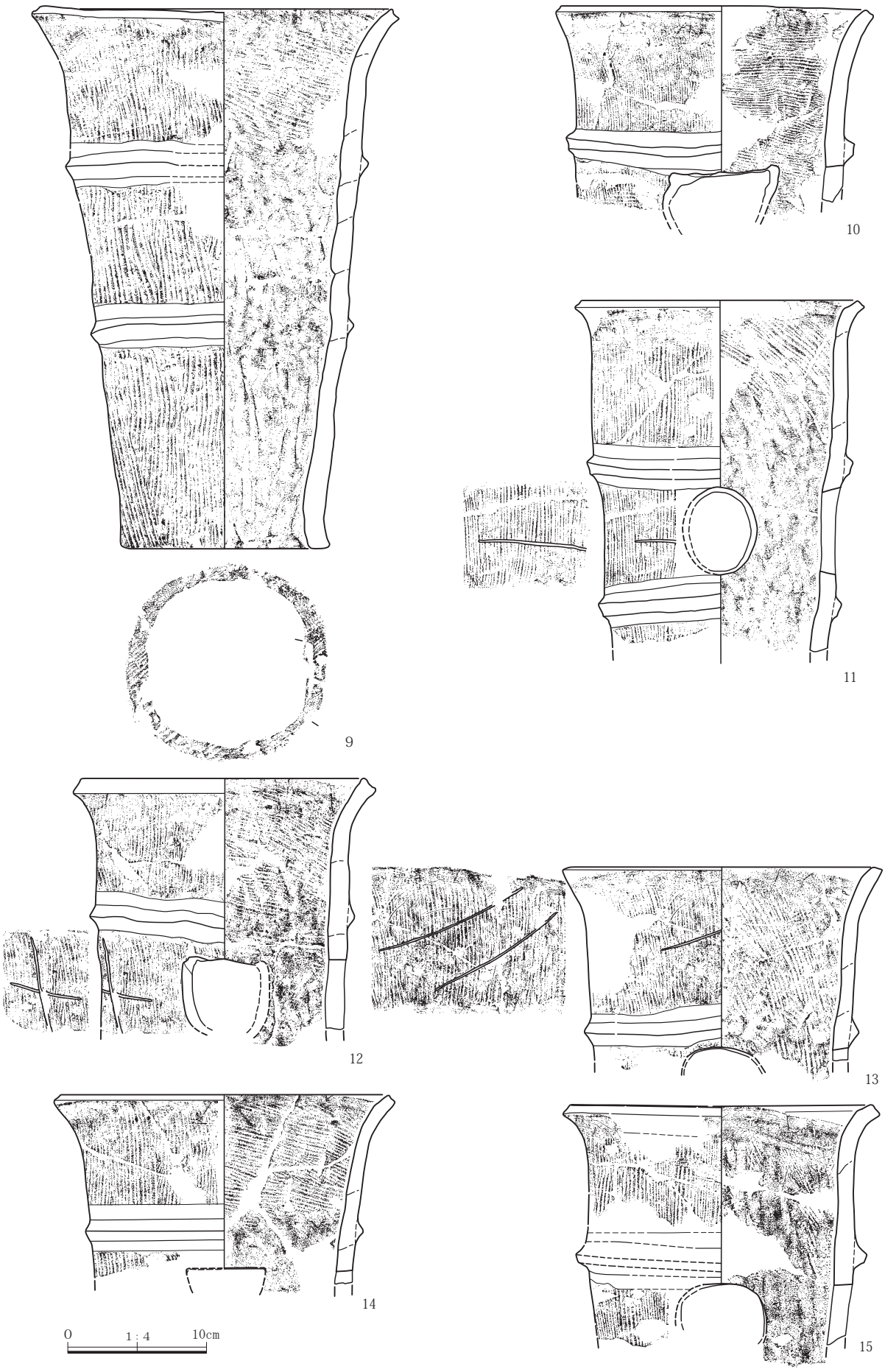
第79表　34号住居址、溝、古墳、遺構外出土土器観察表



第148図　瀧１号古墳出土円筒埴輪実測図(1)

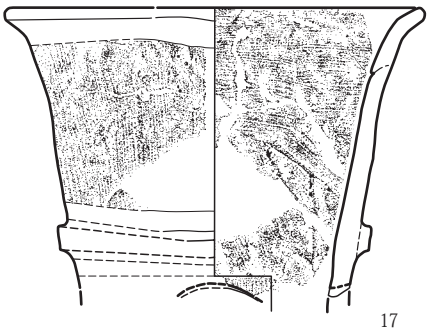


第149図　瀧１号古墳出土円筒埴輪実測図(2)

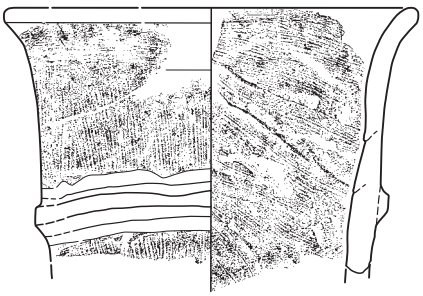


第150図　瀧１号古墳出土円筒埴輪実測図(3)

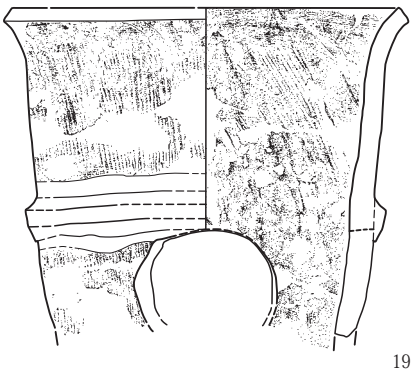
16



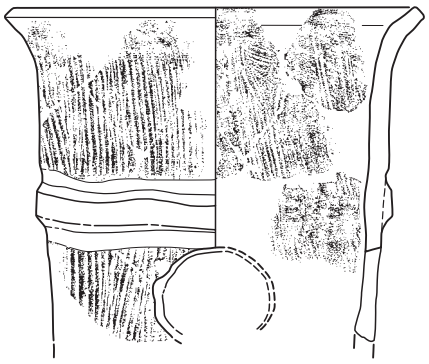
17



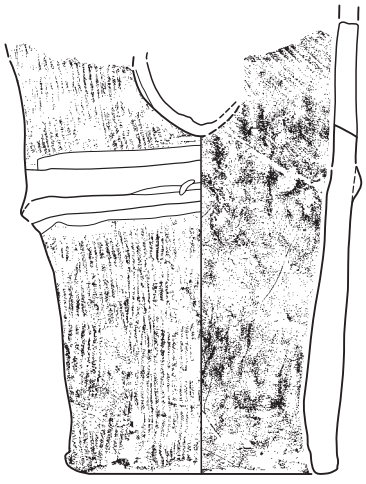
18



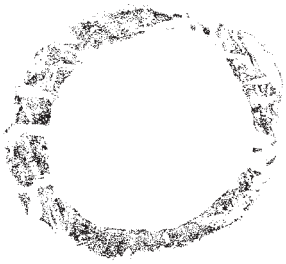
19

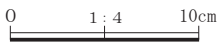


20

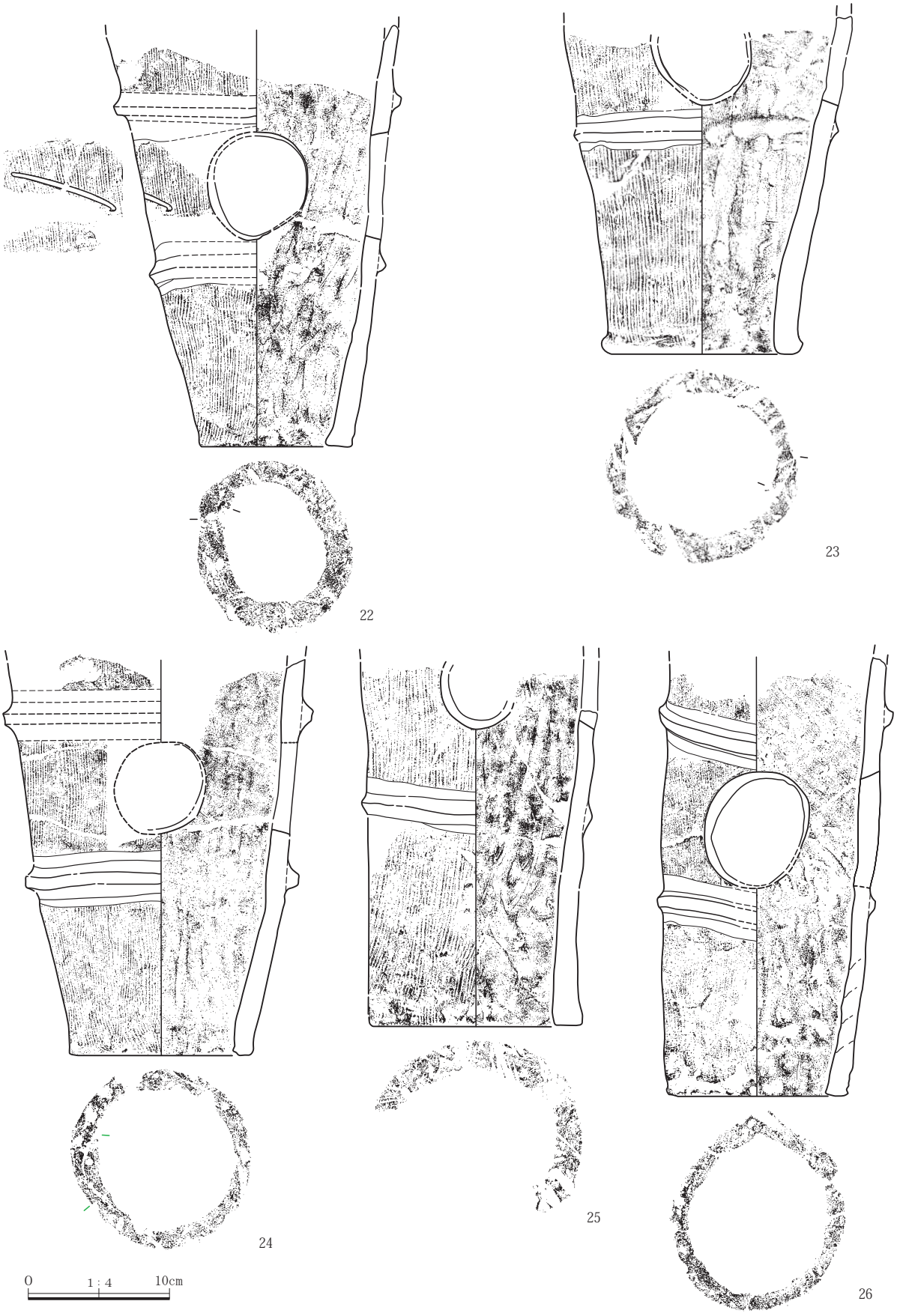


21

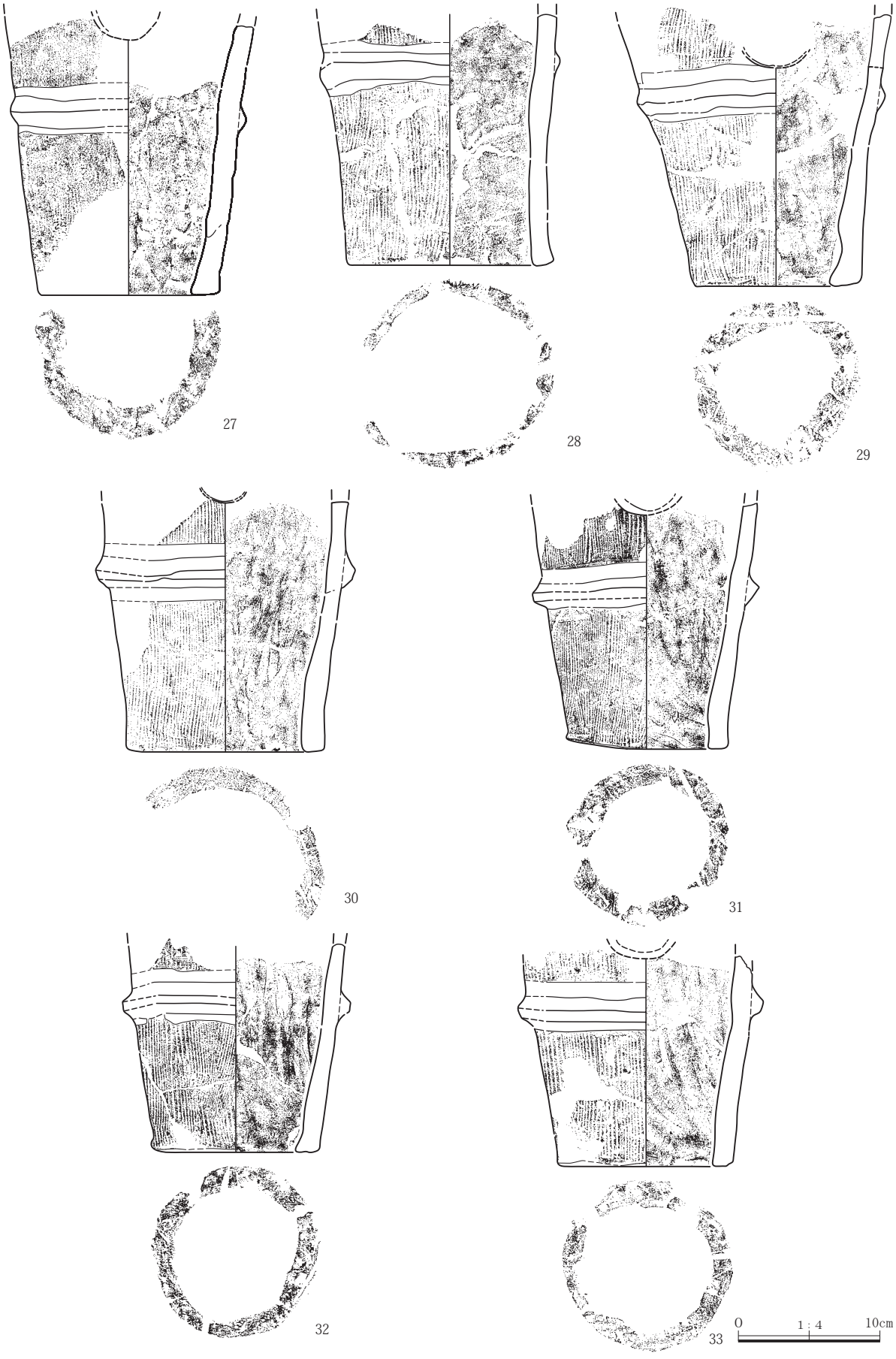




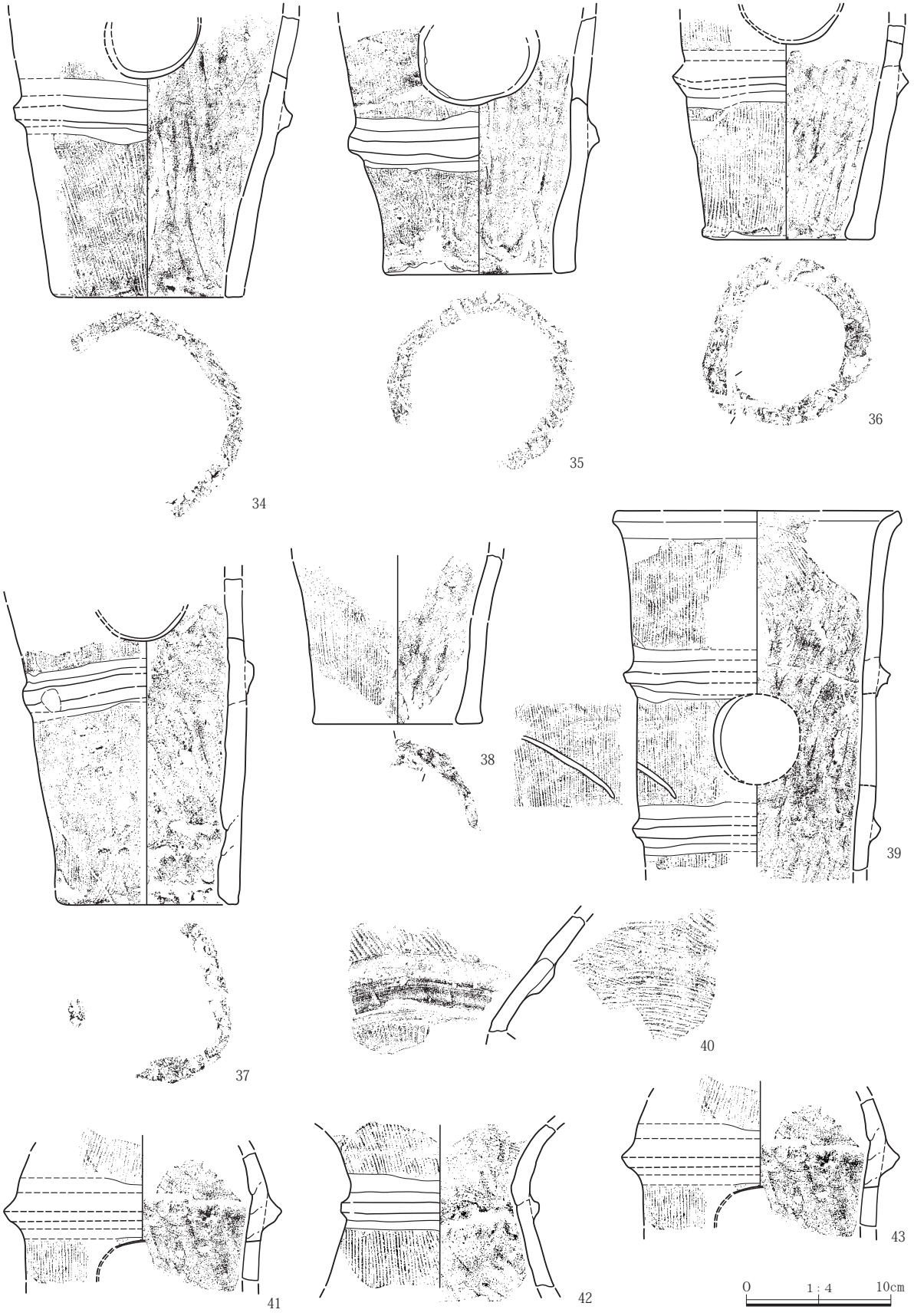
第151図　瀧１号古墳出土円筒埴輪実測図(4)



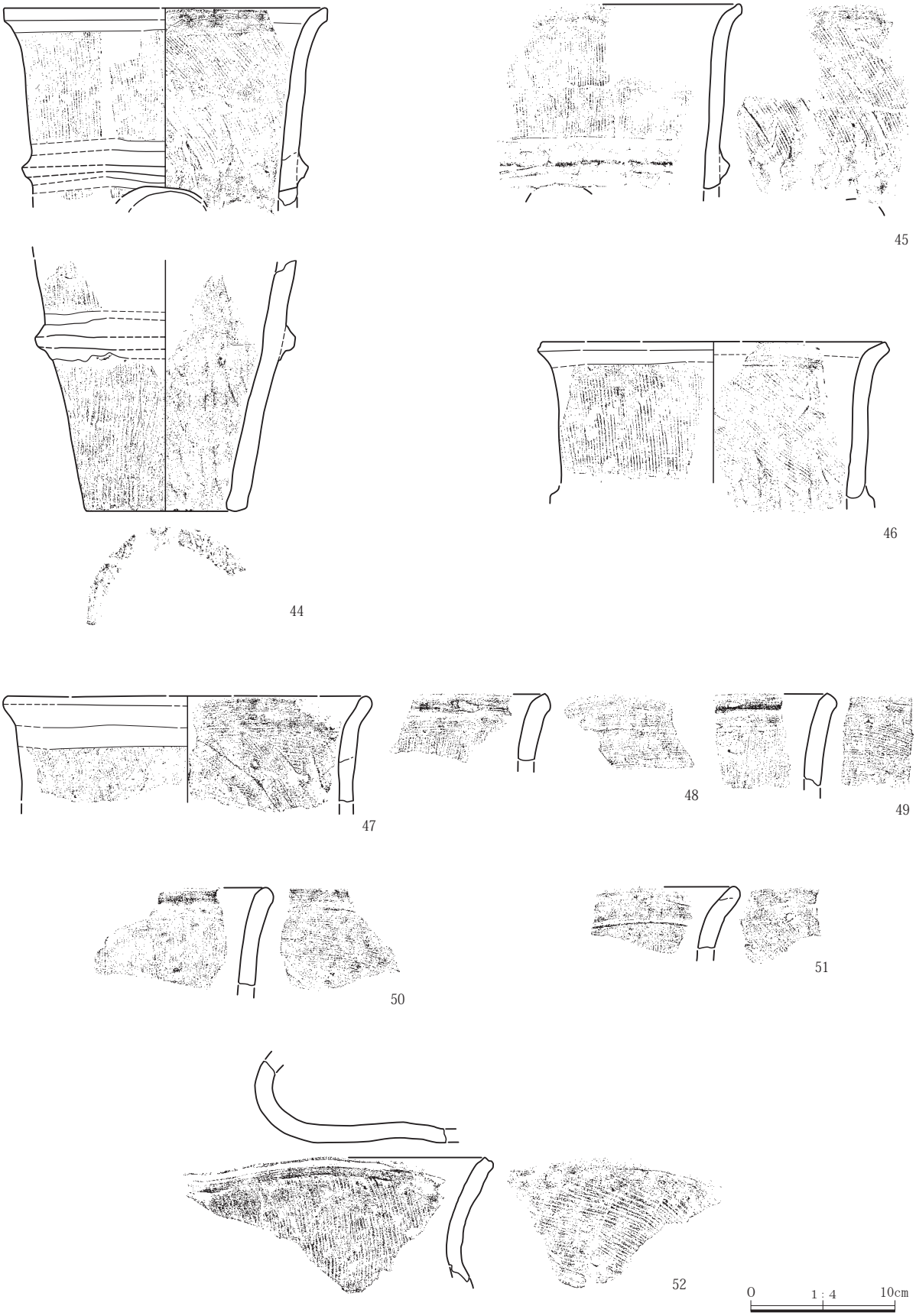
第152図　瀧１号古墳出土円筒埴輪実測図(5)



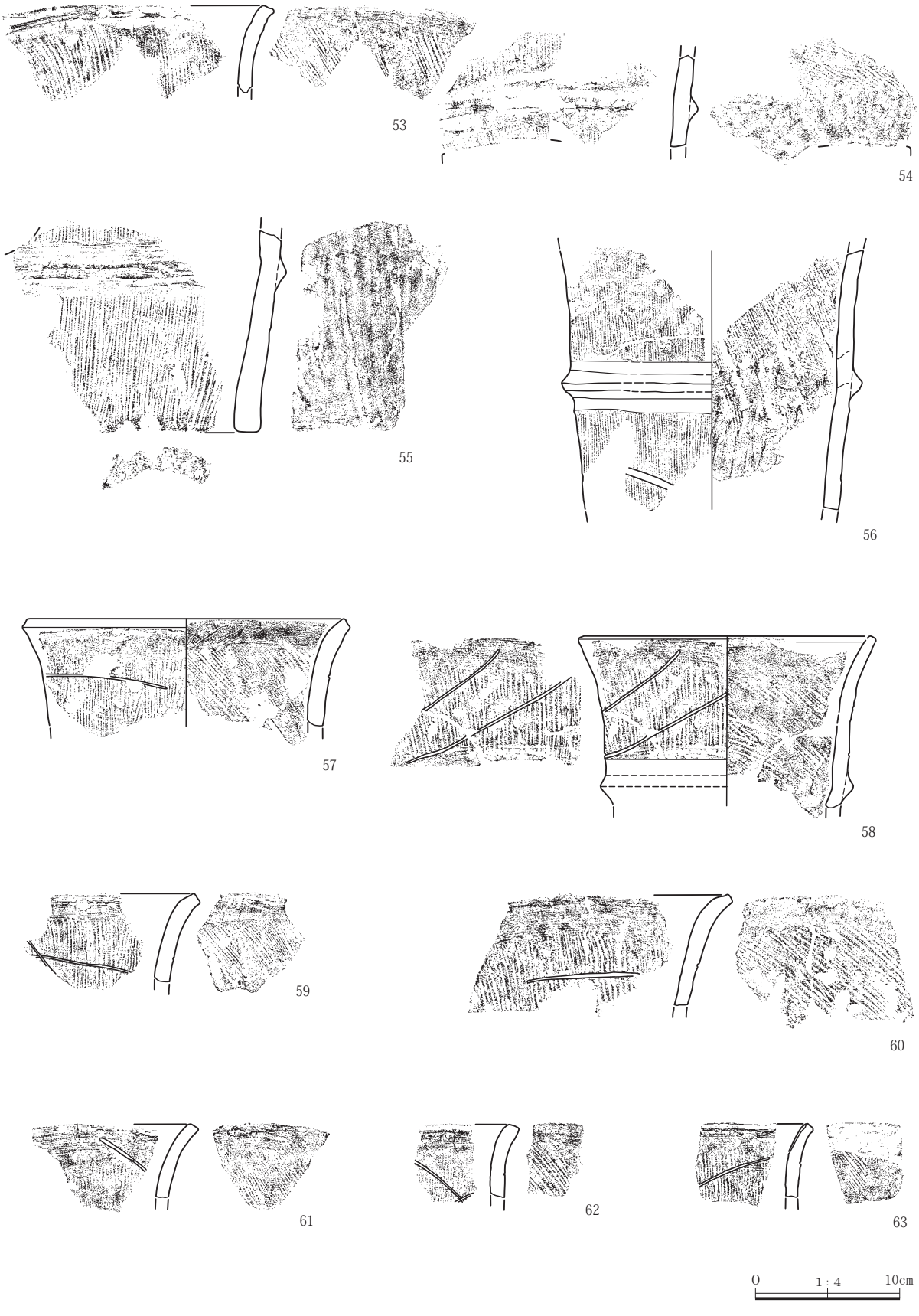
第153図　瀧１号古墳出土円筒埴輪実測図(6)



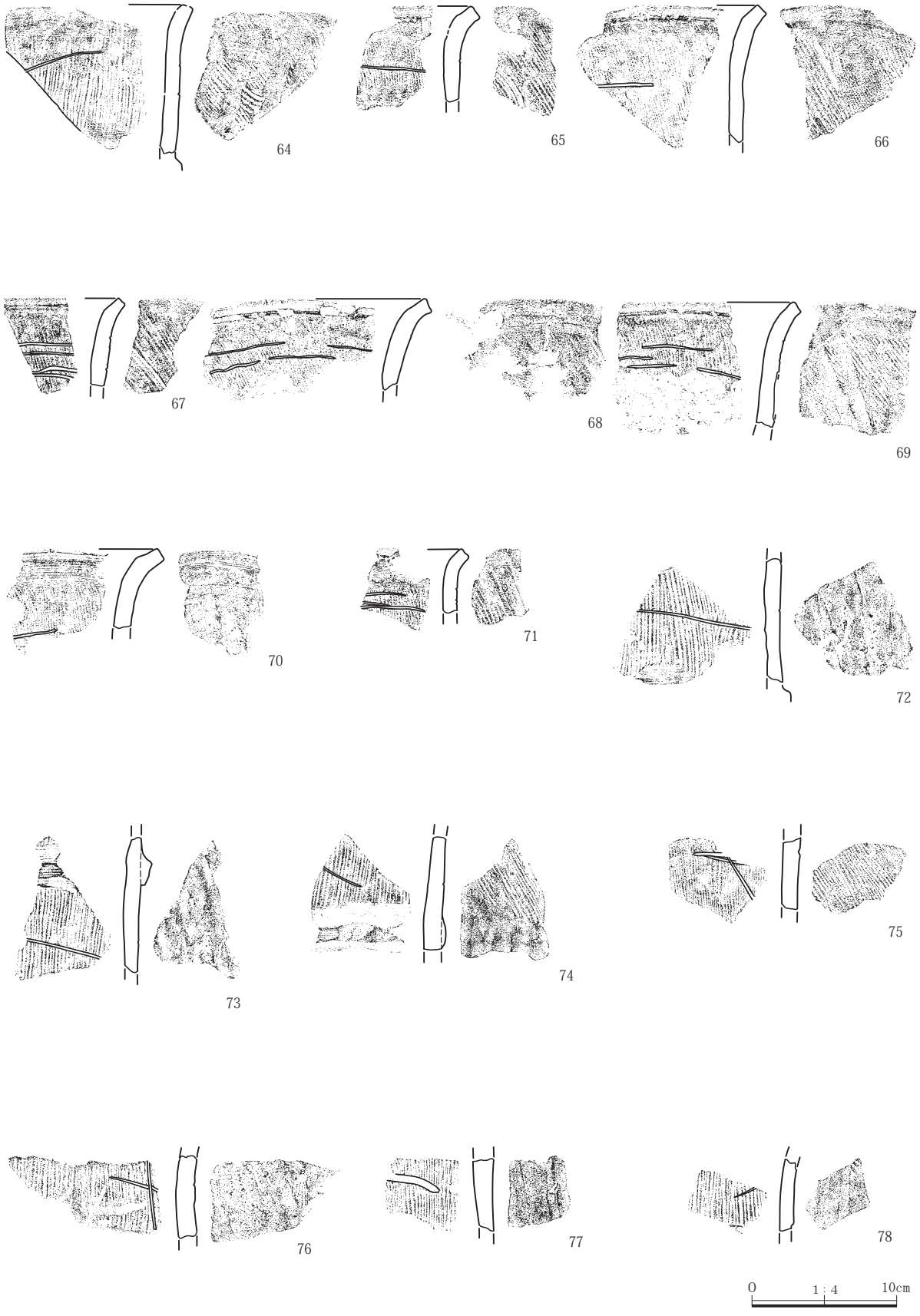
第154図　瀧１号古墳出土円筒埴輪実測図(7)



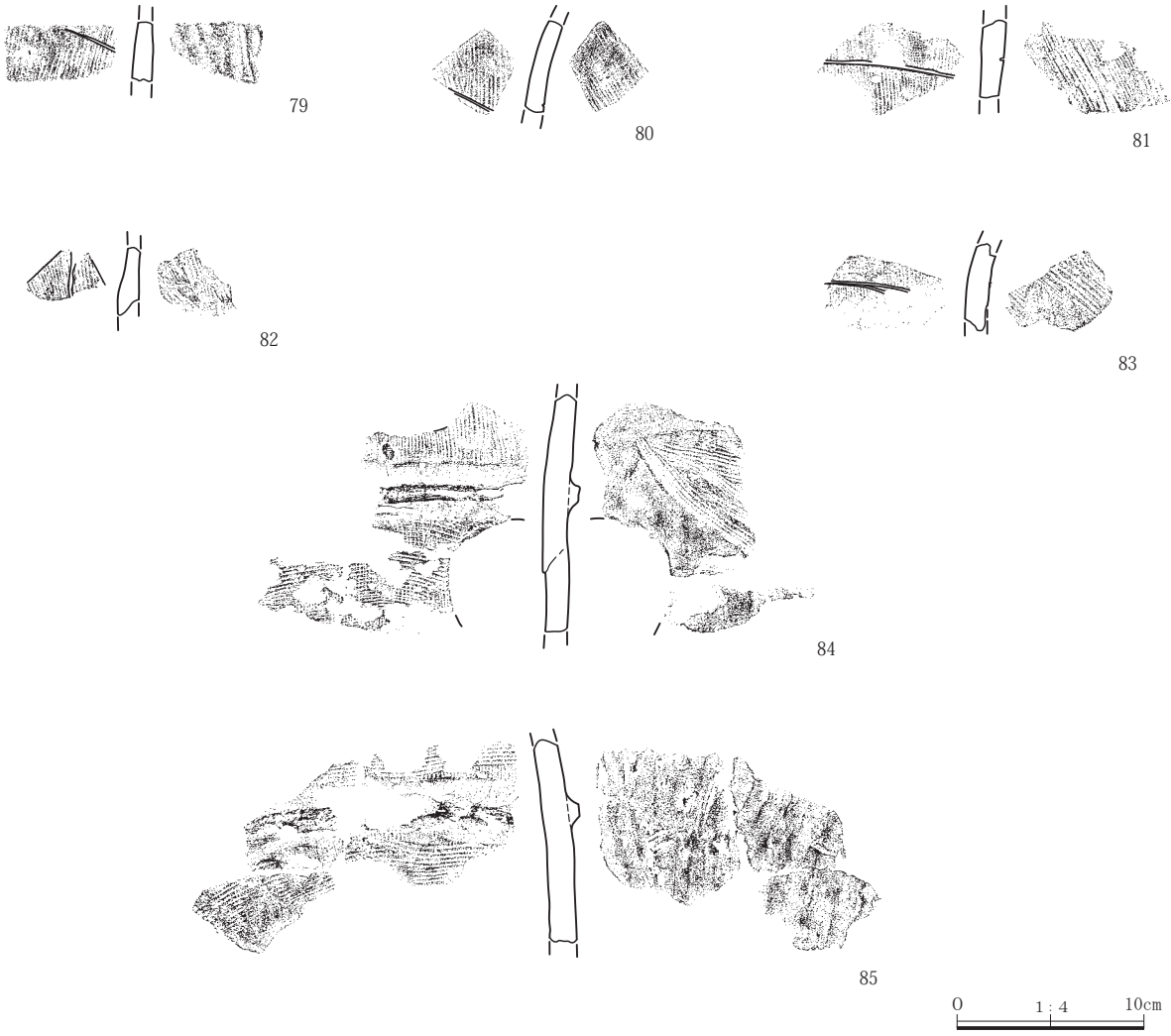
第155図　瀧１号古墳出土円筒埴輪実測図(8)



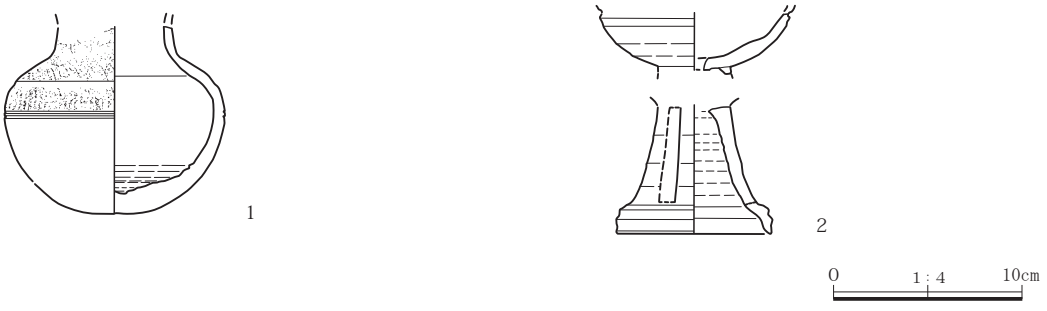
第156図　瀧１号古墳出土円筒埴輪実測図(9)



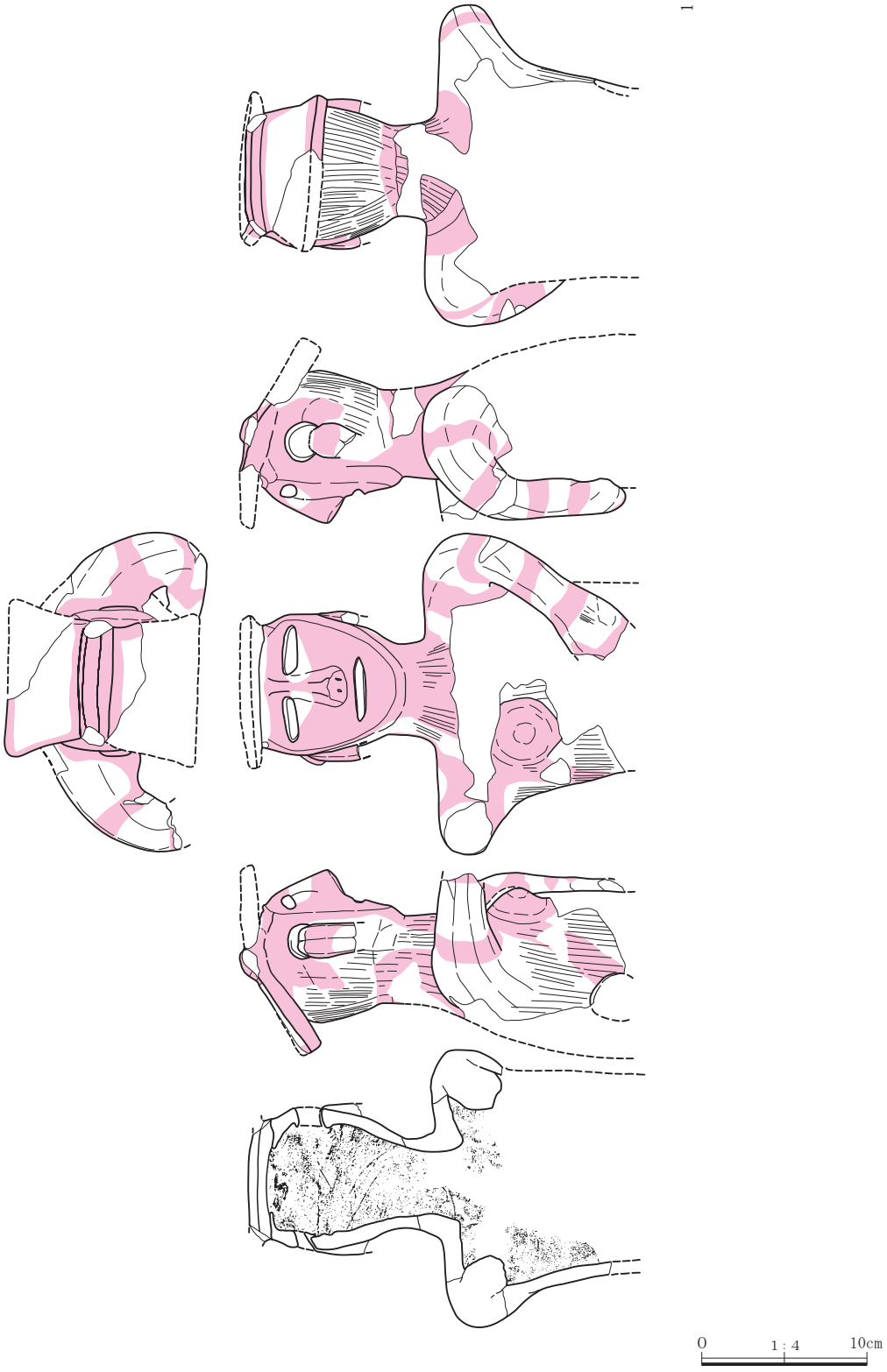
第157図　瀧１号古墳出土円筒埴輪実測図(10)



第158図　瀧１号古墳出土円筒埴輪実測図(11)



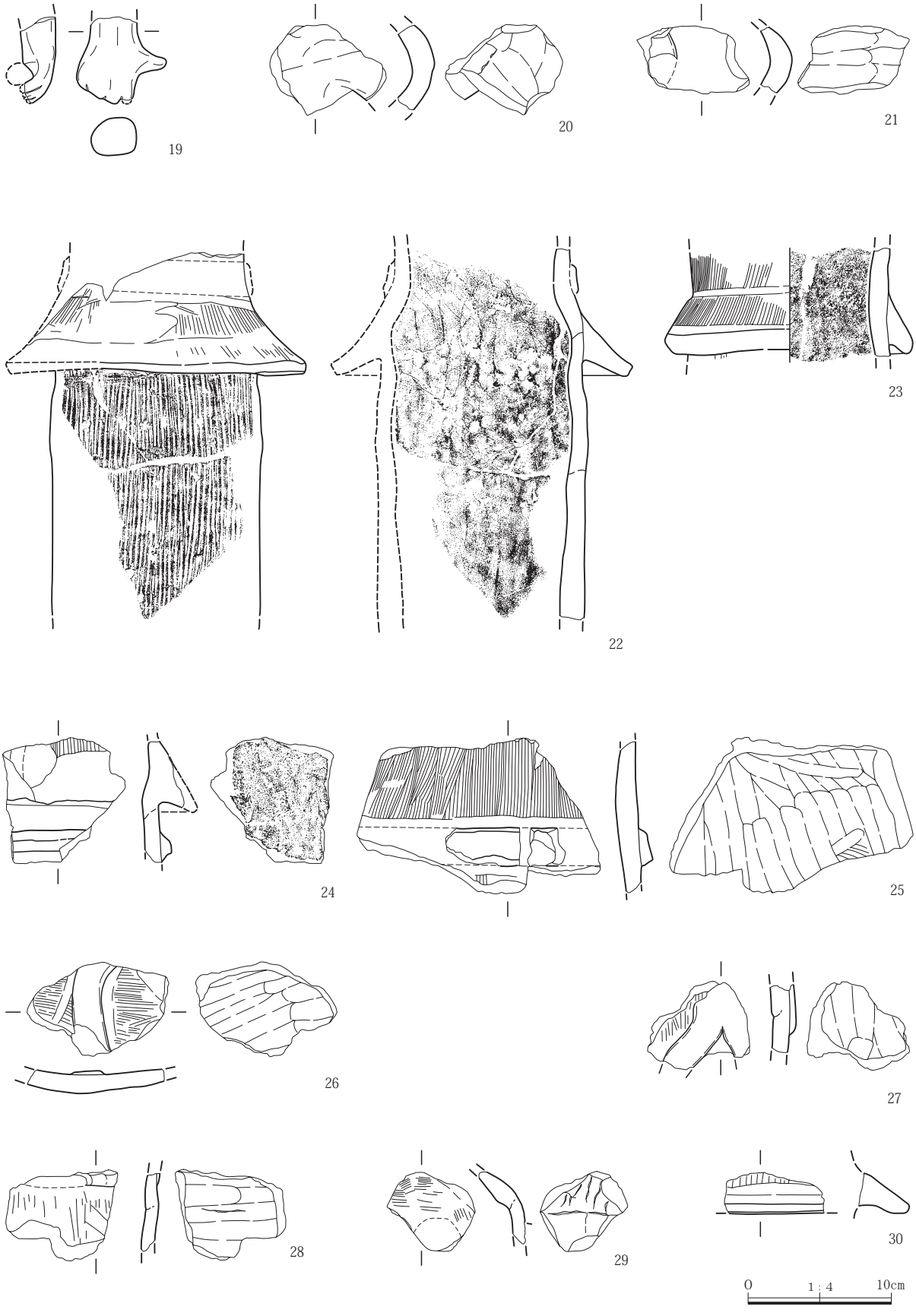
第159図　瀧１号古墳出土土器実測図



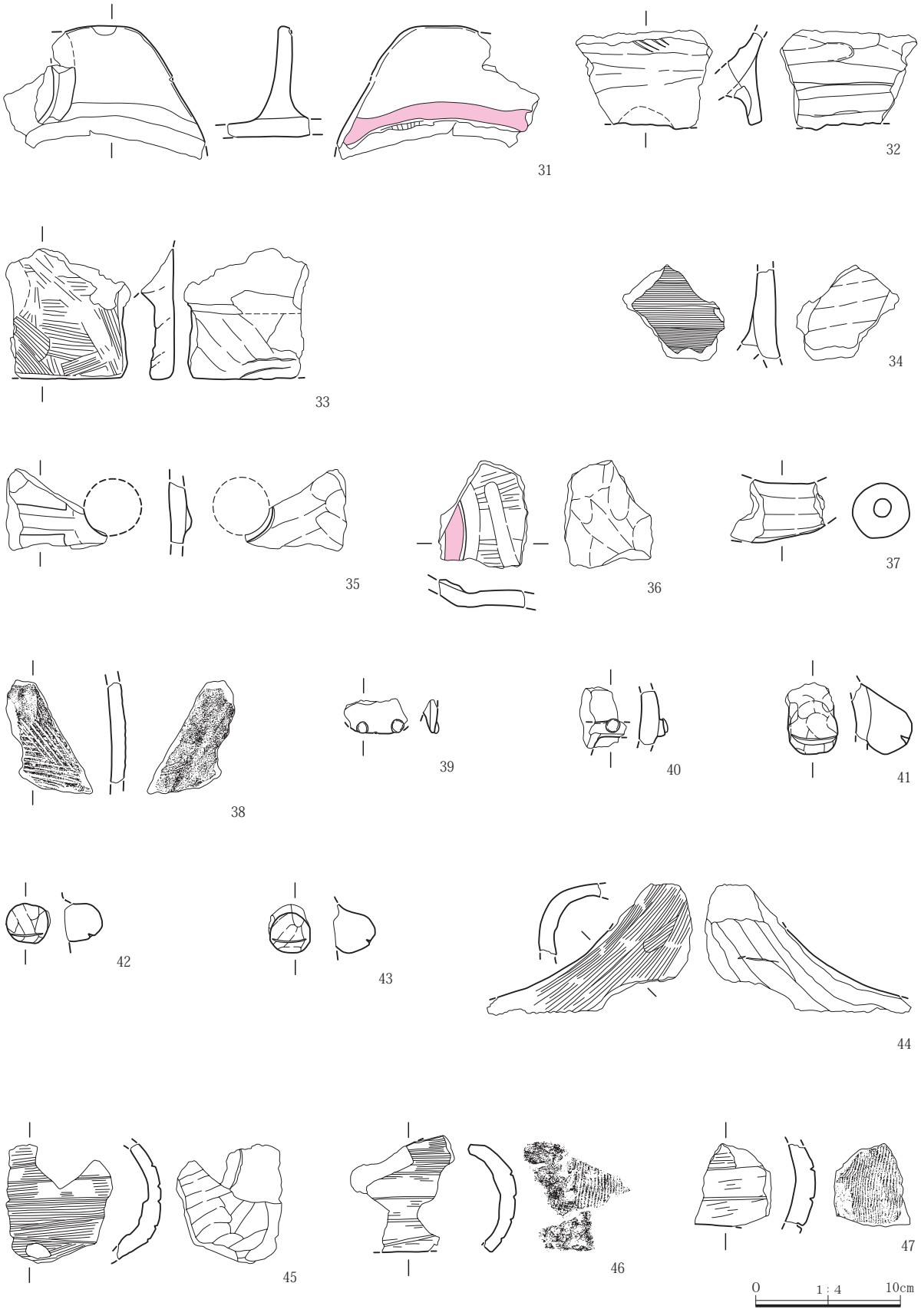
第160図　瀧１号古墳出土形象埴輪実測図(1)

第161図　瀧１号古墳出土形象埴輪実測図(2)

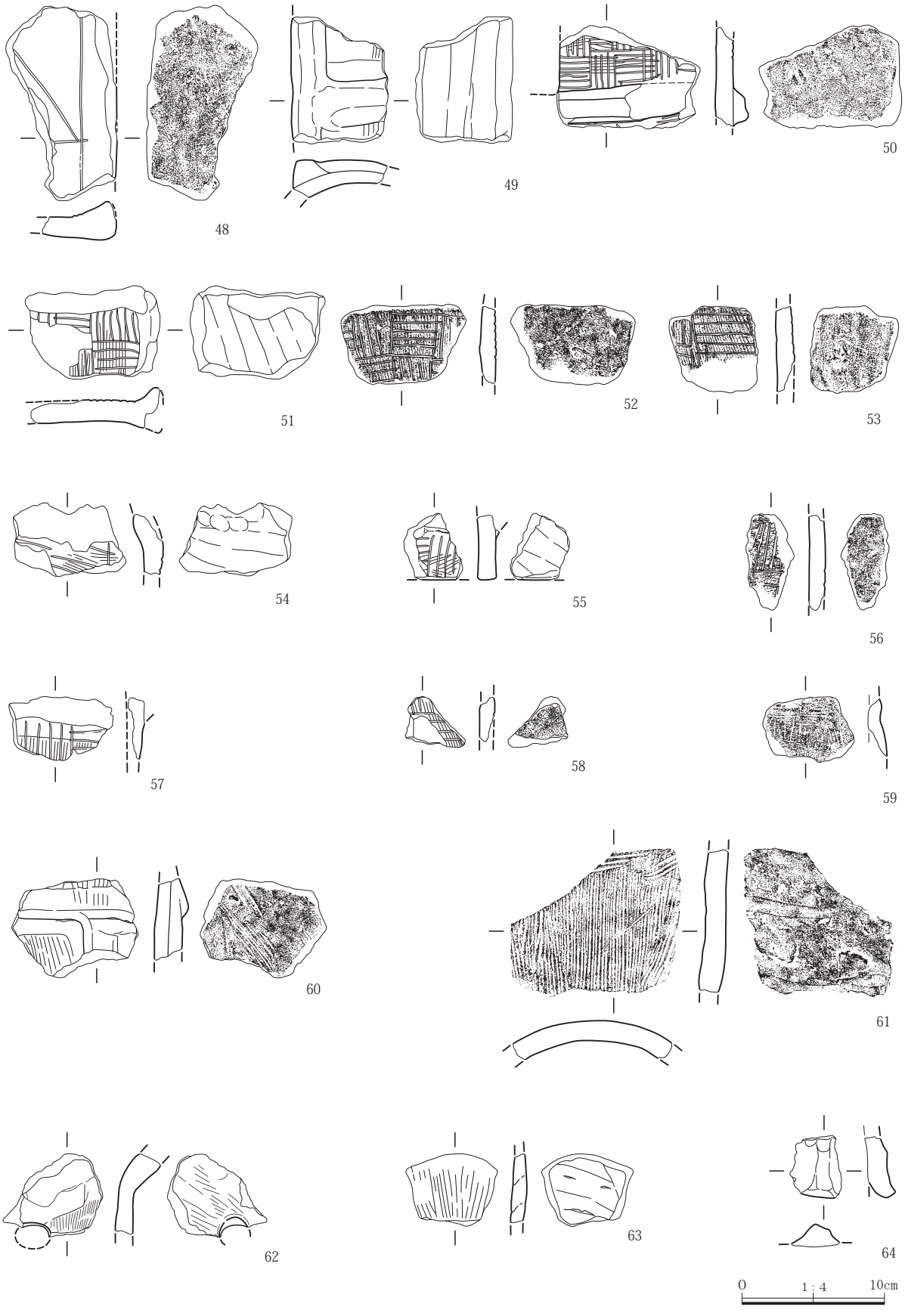
第162図　瀧１号古墳出土形象埴輪実測図(3)



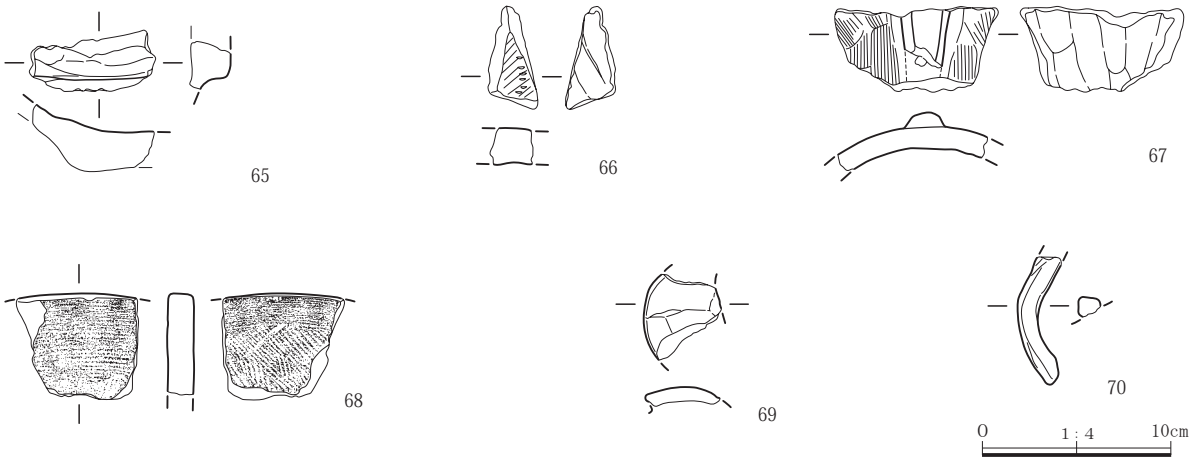
第163図　瀧１号古墳出土形象埴輪実測図(4)



第164図　瀧１号古墳出土形象埴輪実測図(5)



第165図　瀧１号古墳出土形象埴輪実測図(6)



第166図　瀧１号古墳出土形象埴輪実測図(7)

番号	種類	計測値 (cm)	突帯	透孔		刷毛目	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状	縦×横	/2cm			
1	朝顔形円筒埴輪	口径 34.5 3段 9.5 4段 7.8 5段 4.7 6段 12.2	台形 ～ 三角形	円	－×7.0	10	外面　タテハケ。 内面　第２～４段ナデ。第５・６段ナナメハケ後、第６段中位以下ナデ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	６段構成と想定。外面第５・６段に赤色塗彩。透孔上側の第４段を粘土貼付により亀裂補修。第３段透孔付近に小孔。
2	円筒埴輪	口径 23.1 器高 35.0 底径 14.3 1段 16.7 2段 9.9 3段 8.4	三角形	半円	6.1×6.7	9～11	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、第１～２段指ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・粗粒チャート 橙色	３段構成。外面第２段に線刻。
3	円筒埴輪	口径 (19.8) 器高 (41.0) 底径 11.3 1段 14.6 2段 15.1 3段 (11.3)	台形 ～ 三角形	半円	7.4×(8.5)	10～13	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、第１～２段指ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・粗粒チャート 橙色	３段構成。
4	円筒埴輪	口径 (22.4) 器高 32.5 底径 (12.5) 1段 9.5 2段 12.2 3段 10.8	台形	円	6.5×7.5	5・13	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　第１～２段タテ指ナデ、第３段ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい黄橙色	３段構成。外面第２段に線刻。
5	円筒埴輪	口径 (24.0) 器高 35.3 底径 12.3 1段 12.4 2段 11.3 3段 11.6	台形 ～ 三角形	円	6.9×7.0	10～13	外面　タテハケ。 内面　第１～２段タテ指ナデ、第３段ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。突帯裏側に指頭圧痕。	チャート・凝灰岩 明黄橙色	３段構成。外面第２段に線刻。外面第３段に赤色塗彩の痕跡。一部還元気味の焼成。
6	円筒埴輪	口径 (21.0) 器高 35.9 底径 12.8 1段 14.6 2段 10.0 3段 11.3	台形	円	(6.3×6.5)	6～8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、部分的にナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 明黄褐色	３段構成。外面第３段に赤色塗彩の痕跡。
7	円筒埴輪	口径 (22.8) 器高 36.0 底径 13.9 1段 15.5 2段 10.7 3段 9.8	三角形	楕円	7.5×(5.8)	9～12	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、第１～２段タテ指ナデ。口縁部ヨコナデ。突帯裏側に指頭圧痕。	片岩・粗粒チャート 橙色	３段構成。外面第３段に線刻、赤色塗彩の痕跡。
8	円筒埴輪	口径 (22.7) 器高 34.5 底径 11.8 1段 12.4 2段 10.7 3段 11.4	三角形	楕円	(8.0×6.6)	9～10	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　第３段ナナメハケ後、第１～３段下位タテ指ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・チャート にぶい橙色	３段構成。外面第２段に線刻。外面第３段に赤色塗彩痕。
9	円筒埴輪	口径 (26.4) 器高 38.9 底径 15.0 1段 16.1 2段 11.5 3段 11.3	三角形	－	－	7～8	外面　タテハケ。 内面　第３段ナナメハケ、第１～２段タテ指ナデ、突帯裏側に指頭圧痕。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	３段構成。

第80表　瀧１号古墳出土円筒埴輪観察表(1)

番号	種類	計測値 (cm)	突帯	透孔		刷毛目	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状	縦 × 横	/2cm			
10	円筒埴輪	口径 (22.8) 1段 9.6	台形	(半円)	－ ×8.1	10～13 8～9	外面 タテハケ。第2段は一部2次ヨコハケ。 内面 第3段ヨコ・ナナメハケ、第2段ナデ。	チャート・凝灰岩 明褐色	3段構成と想定。
11	円筒埴輪	口径 (20.7) 2段 10.2 3段 11.6	台形	楕円	6.2×(5.3)	8～10	外面 タテハケ。 内面 第3段ナナメハケ、第2段以下指ナデ、突帯裏側に指頭圧痕。口縁部ヨコナデ。	片岩・チャート にぶい橙色	3段構成と想定。外面第2段に線刻。
12	円筒埴輪	口径 (21.7) 3段 9.9	三角形	半円	－ ×(6.3)	8～10	外面 タテハケ。 内面 第3段ナナメハケ、第2段以下ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・チャート にぶい黄褐色	3段構成と想定。外面第2段に線刻。やや還元気味の焼成。
13	円筒埴輪	口径 (23.0) 3段 11.8	三角形	(円)	－	8～9	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。突帯裏側に指頭圧痕。	片岩・チャート 橙色	3段構成と想定。外面第3段に線刻、赤色塗彩の痕跡。
14	円筒埴輪	口径 (24.5) 3段 9.8	三角形	(半円)	－	8～9	外面 タテハケ。 内面 第3段ヨコ・ナナメハケ、第2段以下ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・粗粒チャート・白色針状粒 橙色	3段構成と想定。
15	円筒埴輪	口径 (22.8) 3段 10.7	台形	(円)	－	7～10	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ後、タテ指ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	3段構成と想定。外面に赤色塗彩の痕跡。
16	円筒埴輪	口径 (21.6) 3段 11.9	台形	(円)	－	5～7	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後、タテ指ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・チャート 橙色	3段構成と想定。外面第3段に赤色塗彩の痕跡。
17	円筒埴輪	口径 (22.2) 3段 11.6	台形	(円)	－	9～13	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 黄橙色	3段構成と想定。
18	円筒埴輪	口径 (22.0) 3段 9.9	台形	－	－	10	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ。	チャート・白色粒 橙色	3段構成と想定。
19	円筒埴輪	口径 (21.4) 3段 10.7	台形	円	－ ×7.4	9～10	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・粗粒チャート 橙色	3段構成と想定。
20	円筒埴輪	口径 (22.2) 3段 9.6	台形	円	－ ×(6.4)	6～8	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後、一部ナデ。突帯裏側に指頭圧痕。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 浅黄橙色	3段構成と想定。外面第3段に赤色塗彩の痕跡。
21	円筒埴輪	底径 14.9 1段 15.4	三角形	不明	－	5～7	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後、タテ指ナデ、第1段下位ケズリ。突帯裏側に指頭圧痕。	片岩・粗粒チャート 橙色	底面に棒状圧痕。
22	円筒埴輪	底径 10.8 1段 12.9 2段 11.7	台形	円	7.6×7.2	9～10	外面 タテハケ。 内面 第3段ナナメハケ、第1～2段タテ指ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	外面第2段に線刻。
23	円筒埴輪	底径 14.2 1段 15.8	三角形	不明	－ ×7.0	10	外面 タテハケ。 内面 第1～2段タテ指ナデ。突帯裏側に指頭圧痕。	片岩・チャート 橙色	底面に棒状圧痕。
24	円筒埴輪	底径 13.0 1段 12.8 2段 11.6	台形	(円)	－	10	外面 タテハケ。 内面 タテ指ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	外面第3段に赤色塗彩の痕跡。
25	円筒埴輪	底径 15.0 1段 14.8	三角形	(円)	－	8～9	外面 タテハケ。 内面 タテ・ナナメ指ナデ。	片岩・白色針状粒 にぶい橙色	底面に棒状圧痕。
26	円筒埴輪	底径 12.8 1段 13.8 2段 13.4	台形	楕円	(8.3)×7.5	9～10	外面 タテハケ。 内面 第2段ナナメハケ、第3段タテ・ナナメ指ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	底面ナデ。
27	円筒埴輪	底径 12.8 1段 12.5	三角形	不明	－	9～10	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ、ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
28	円筒埴輪	底径 14.6 1段 14.5	三角形	－	－	7	外面 タテハケ。 内面 ナデ、底部ケズリ。	片岩・粗粒チャート にぶい橙色	底面に棒状圧痕。
29	円筒埴輪	底径 11.8 1段 13.4	三角形	不明	－	9	外面 タテハケ。 内面 タテ指ナデ。	片岩・粗粒チャート にぶい橙色	底面に棒状圧痕。
30	円筒埴輪	底径 (14.0) 1段 12.9	台形	(円)	－	8	外面 タテハケ。 内面 タテ指ナデ。	片岩・粗粒チャート にぶい橙色	
31	円筒埴輪	底径 11.5 1段 11.4	台形～三角形	不明	－	10～11	外面 タテハケ。 内面 タテ・ナナメ指ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 にぶい橙色	底面に棒状圧痕。
32	円筒埴輪	底径 11.8 1段 10.6	台形	－	－	8～13	外面 タテハケ。 内面 タテ・ナナメ指ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	底面に棒状圧痕。
33	円筒埴輪	底径 12.4 1段 11.7	台形	不明	－	7～9	外面 タテハケ。 内面 タテ・ナナメ指ナデ。	片岩・粗粒チャート にぶい橙色	

第81表　瀧1号古墳出土円筒埴輪観察表(2)

番号	種類	計測値 (cm)	突帯	透孔		刷毛目	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状	縦 × 横	/2cm			
34	円筒埴輪	底径 (13.4) 1段 12.7	台形	不明	−	7 〜 9	外面 タテハケ。 内面 タテ・ナナメ指ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	
35	円筒埴輪	底径 13.3 1段 10.2	台形	(円)	− ×8.4	8 〜 10	外面 粗雑なタテハケ。 内面 タテ・ナナメハケ後、粗雑なナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	底面に棒状圧痕。
36	円筒埴輪	底径 11.9 1段 10.9	台形 〜 三角形	不明	−	10 〜 12	外面 タテハケ。 内面 タテ・ナナメ指ナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	
37	円筒埴輪	底径 (12.5) 1段 16.5	台形	不明	−	10	外面 タテハケ。 内面 タテ・ナナメ指ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	
38	円筒埴輪	底径 (11.8)	−	−	−	12 〜 13	外面 タテハケ。 内面 タテ・ナナメ指ナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい黄橙色	底部に焼ムラあり。
39	円筒埴輪	口径 (20.0) 2段 10.6 3段 11.3	台形	(円)	−	11 〜 14	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 第3段ナナメハケ、第3段中位以下タテ指ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 淡黄色	3段構成と想定。外面第2段に線刻。
40	朝顔形円筒埴輪		低台形	−	−	6	外面 ナナメハケ、タテハケ。 内面 ヨコ・ナナメハケ後に一部ナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面を赤色塗彩。
41	朝顔形円筒埴輪		三角形	−	−	10 〜 12	外面 タテハケ。 内面 ヨコ・ナナメハケ、括れ部ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	内面は褐灰色。
42	朝顔形円筒埴輪		台形	−	−	9 〜 12	外面 タテハケ。 内面 括れ部上側はヨコ・ナナメハケ、下側はナナメ指ナデ。	片岩・粗粒チャート 橙色	
43	朝顔形円筒埴輪		台形 〜 三角形	(円)	−	10 〜 12	外面 タテハケ。 内面 ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
44	円筒埴輪	口径 (22.4) 底径 (11.2) 1段 12.1 3段 11.0	台形	円	−	6 〜 12	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 第3段ナナメハケ、第2段以下タテ・ナナメ指ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 にぶい橙色	
45	円筒埴輪	3段 11.1	台形 〜 三角形	不明	−	9 〜 13	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 第3段ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	3段構成と想定
46	円筒埴輪	口径 (24.4)	−	−	−	9 〜 13	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 第3段ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	3段構成と想定。
47	円筒埴輪	口径 (25.6)	−	−	−	9 〜 15	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ヨコハケ、ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 橙色	外面に赤色塗彩の痕跡。
48	円筒埴輪		−	−	−	12	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ヨコハケ。	チャート・凝灰岩 橙色	口縁部やや肥厚。
49	円筒埴輪		−	−	−	12	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ヨコハケ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	口縁部やや肥厚。
50	円筒埴輪		−	−	−	8 〜 12	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ヨコ・ナナメハケ。	チャート・白色粒 にぶい黄橙色	口縁部やや肥厚。
51	円筒埴輪		−	−	−	10 〜 13	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	外面に赤色塗彩の痕跡。
52	円筒埴輪		−	−	−	6 〜 12	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 明赤褐色	歪み著しい。還元気味の焼成。
53	円筒埴輪		−	−	−	5 〜 9	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・チャート にぶい黄橙色	還元気味の焼成。外面に赤色塗彩の痕跡。
54	円筒埴輪		三角形	(半円)	−	8 〜 12	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。突帯裏側に指頭圧痕。	チャート・凝灰岩 にぶい黄橙色	還元気味の焼成。
55	円筒埴輪	1段 9.3	三角形	不明	−	10	外面 タテハケ。 内面 タテ指ナデ。突帯裏側に指頭圧痕。	片岩・粗粒チャート にぶい橙色	
56	円筒埴輪		台形 〜 三角形	−	−	8・12	外面 タテハケ。 内面 第3段ナナメハケ、第2段タテ指ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	3段構成と想定。外面第2段に線刻。
57	円筒埴輪	口径 (22.6)	−	−	−	6 〜 12	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・粗粒チャート にぶい橙色	外面に線刻。
58	円筒埴輪	口径 (20.6) 3段 10.4	三角形	−	−	5 〜 9	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	3段構成と想定。外面第3段に線刻。

第82表　瀧1号古墳出土円筒埴輪観察表(3)

番号	種類	計測値 (cm)	突帯	透孔		刷毛目	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状	縦 × 横	/2cm			
59	円筒埴輪		−	−	−	8	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に線刻。
60	円筒埴輪		−	−	−	5	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・粗粒チャート にぶい橙色	外面に線刻。
61	円筒埴輪		−	−	−	9 ～ 11	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・白色粒 橙色	外面に線刻。
62	円筒埴輪		−	−	−	8 ～ 9	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	片岩・チャート 橙色	外面に線刻。
63	円筒埴輪		−	−	−	9 ～ 10	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後ナデ。	片岩・白色針状粒 にぶい橙色	外面に線刻。内面口縁部剥離。
64	円筒埴輪		−	−	−	6 ～ 9	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後ナデ。	片岩・チャート 橙色	外面に線刻。
65	円筒埴輪		−	−	−	7 ～ 12	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	片岩・粗粒チャート にぶい橙色	外面に線刻。
66	円筒埴輪		−	−	−	7 ～ 14	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に線刻。
67	円筒埴輪		−	−	−	6 ～ 7	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に線刻。
68	円筒埴輪		−	−	−	6 ～ 8	外面　タテハケ。 内面　剥離著しいがナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に線刻、赤色塗彩の痕跡。
69	円筒埴輪		−	−	−	6 ～ 7	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部指ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい黄橙色	外面に線刻。
70	円筒埴輪		−	−	−	10	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後、タテ指ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・粗粒チャート にぶい橙色	外面に線刻。
71	円筒埴輪		−	−	−	6 ～ 10	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に線刻。
72	円筒埴輪		−	−	−	9	外面　タテハケ。 内面　タテ・ナナメ指ナデ。	片岩・チャート にぶい橙色	外面に線刻。
73	円筒埴輪		台形 ～ M字	−	−	8 ～ 12	外面　タテハケ。 内面　ナナメ指ナデ。	片岩・チャート にぶい橙色	外面に線刻。
74	円筒埴輪		低台形	−	−	8 ～ 9	外面　タテハケ。 内面　破片上側ナナメハケ、下側タテ指ナデ。	片岩・白色針状粒 にぶい橙色	外面に線刻。
75	円筒埴輪		−	−	−	9 ～ 11	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に線刻。
76	円筒埴輪		−	−	−	7	外面　タテハケ。 内面　タテ・ナナメ指ナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい黄色	外面に線刻。内面は灰色。還元気味の焼成。
77	円筒埴輪		−	−	−	10	外面　タテハケ。 内面　タテ指ナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に線刻。
78	円筒埴輪		−	−	−	8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、タテ指ナデ。	片岩・チャート にぶい橙色	外面に線刻。
79	円筒埴輪		−	−	−	10	外面　タテハケ。 内面　タテ指ナデ。	片岩・チャート 橙色	外面に線刻。
80	円筒埴輪		−	−	−	8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。	片岩・白色針状粒 橙色	外面に線刻、赤色塗彩の痕跡。
81	円筒埴輪		−	−	−	9 ～ 11	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 橙色	外面に線刻。
82	円筒埴輪		−	−	−	8 ～ 11	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	外面に線刻。
83	円筒埴輪		−	−	−	9 ～ 13	外面　タテハケ。剥離著しい。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	外面に線刻。
84	円筒埴輪		台形	(円)	−	8	外面　タテハケ、第２段は２次ヨコハケ。 内面　ナナメハケ後、第２段中心にナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	外面第１段に線刻あるが不明瞭。
85	円筒埴輪		台形	−	−	9	外面　１次タテハケ、２次ヨコハケ。 内面　タテ・ナナメ指ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	

第83表　瀧１号古墳出土円筒埴輪観察表(4)

番号	種類	計測値 (cm)	成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
1	須恵器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	丸底。肩部に凹線と列点文。	チャート・凝灰岩 灰色	
2	須恵器 高　坏	口径　－ 底径　(8.0) 器高　－	脚部裾は有段。長方形の三方透し。	片岩・雲母・チャート にぶい黄橙色	酸化焔気味の焼成。

第84表　瀧１号古墳出土土器観察表

番号	種類	計測値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
1	人物	残高　23.4	半身像と推定される女子人物の上半身。島田髷の 1/3､右腕部 2/3､左胸部、背中部を欠損する。板状の鼓形島田髷で頭部を閉塞する。島田髷中央部に粘土紐を貼付して結び緒を表現し、両端部は剥落するが突出するようである。櫛は貼付表現されていた可能性もあるが剥落のため明確ではない。目･口は大きく開けられ、鼻は粘土を貼付して隆起させ鼻孔を刺突表現する。耳は円形孔で、２本の粘土紐による下げ紐状表現があるが端部は欠損する。腕部は中実造りでソケット状に肩部に差し込む。左手を腹部に当て、右手は前に差し出すようである。胸部は粘土を貼付して隆起させる。脇腹部に円形と推定される透孔がある。後頭部・胸部は粗い（５～６本／２ｃｍ）ハケで、髷・顔・腕・乳房・耳飾りはナデ。赤色塗彩は、島田髷の周縁部と結び緒、両目の下の三角形部分を除く顔全体、耳飾りの上部、首、胸には面で、腕部と肩付近には帯状に施され、肩付近の赤彩は襷表現と想定される。	チャート・白色粒 橙色	形態・成形・調整及び赤色塗彩等、保渡田Ⅶ遺跡出土の女子人物に類似。
2	人物		半身像と想定される。頭部は欠損するが島田髷と思われる剥離痕がある。左耳に欠損するが耳環表現。顔は口の下側を除き欠損。帯状の粘土紐を貼付して襷を表現する。腕部は中実つくりで、手の平には左右とも剥離痕がある。着衣は裾部を表現する。	片岩・粗粒チャート 橙色	上下は接合しないが、胎土・色調・調整から同一個体と判断した。
3	人物		女子人物の頭部。粘土紐積み上げ成形。鼓形と想定される板状の島田髷で頭頂部を閉塞する。島田髷中央部には粘土紐で結緒を表現。額には線刻により櫛が表現されている。	片岩・チャート 橙色	顔面に赤色塗彩痕。
4	人物		島田髷が剥落した女子と思われる人物頭部。右耳部に環状の剥離痕。眉は粘土紐を貼付して表現。内外面とも全体的に磨滅する。	片岩・チャート 橙色	
5	人物	長さ　(11.9) 幅　11.2	女子人物の頭部から剥落した島田髷。平面形は鼓形で、粘土板を２枚合わせて立体的につくる。中央部の結緒を除きハケ目。	片岩・粗粒チャート にぶい褐色	前面側に赤色塗彩痕。
6	人物		女子人物の頭部から剥落した板状の島田髷。平面形は鼓形。	片岩・粗粒チャート 橙色	
7	人物		女子人物の頭部から剥落した板状の島田髷。中央部に粘土紐を貼付して結緒を表現する。	片岩・チャート 橙色	
8	人物		女子人物の頭部から剥落した板状の島田髷。上面はハケ後ナデ。	片岩・チャート 橙色	
9	人物		女子人物の頭部から剥落した島田髷。粘土紐貼付による結緒表現。	片岩・チャート・凝灰岩 橙色	
10	人物		島田髷の結緒部分の破片。	片岩・チャート 橙色	
11	人物		顔の破片。左目・鼻・口上部が残る。	チャート・凝灰岩 橙色	
12	人物		耳部分の破片。環状に粘土を貼付し、耳孔を穿孔する。	片岩・チャート 橙色	
13	人物		耳部分の破片。耳孔を穿孔する。	片岩・雲母・白色針状粒 橙色	
14	(人物)		顔部分の破片と思われる。目と耳孔穿孔部がわずかに残る。	片岩・チャート 橙色	赤色塗彩の痕跡。
15	人物		女子人物の胸部分。半球形の粘土を貼付して乳房を表現。大半が剥落しているが首部に一連の丸玉を貼付。右腕は上方に上げるようである。	片岩・チャート 黄橙色	首付近に赤色塗彩痕。
16	人物		ソケット状に差し込まれる腕部。中実つくり。差し込み部が長い。右手と思われる。	片岩・チャート 橙色	
17	人物		ソケット状に差し込まれる左腕部。一部欠損するが五指が立体表現されている。中実つくり。差し込み部が長い。彎曲して胸付近に当てられていたと思われる。	片岩・チャート 橙色	
18	人物		ソケット状に差し込まれる腕部。中実つくり。	片岩・チャート にぶい褐色	
19	人物		右手。親指以外の先端は欠損するが五指が表現されている。彎曲の状態と剥離痕から棒状の物を握っていたと思われる。	片岩・白色針状粒 橙色	
20	(人物)		腕が差し込まれていた人物埴輪の脇部か。	片岩・チャート 橙色	
21	(人物)		腕が差し込まれていた人物埴輪の脇部か。貼付されている粘土紐は襷の一部か。	片岩・粗粒チャート 橙色	
22	人物		円筒部に粘土を貼付して衣裾を表現。帯状の剥離痕がある。外面は、円筒部タテハケ、衣部分はタテハケ後に裾部をナデ。内面は縦方向の指ナデ。	片岩・チャート 黄橙色	

第85表　瀧１号古墳出土形象埴輪観察表(1)

番号	種類	計測値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
23	人物		円筒部に粘土を貼付して衣裾を表現。外面、タテハケ、裾部ナデ。内面、指ナデ。	片岩・チャート 橙色	
24	人物		腰付近と思われる。帯状粘土が貼付されている。外面、タテハケ。内面、指ナデ。	片岩・チャート 橙色	
25	人物		円筒部に粘土を貼付して衣裾を表現しているが、大半を欠損している。何らかの剥離痕があるが不明瞭。	粗粒チャート・白色粒 橙色	
26	人物		脇付近の破片。帯状粘土を貼付して襷を表現する。外面ハケ、内面ナデ。	片岩・チャート 橙色	
27	人物		背中もしくは腰付近の破片。帯状粘土が貼付されている。襷もしくは着衣の結び目を表現と思われる。	片岩・チャート 橙色	
28	(人物)		上側に何かを載せる頭部片か。外面、ハケ後ナデ。内面、ナデ。	片岩・チャート 橙色	
29	(人物)		耳の剥離痕のある頭部片か。外面、ハケ後ナデ。内面、粗雑なナデ。	片岩・チャート 橙色	
30	人物		衣裾部の破片。表面はハケ後に裾部をヨコナデ。	片岩・チャート 橙色	
31	馬		鞍。前輪。前側に粘土紐で手綱を表現。タテガミの接合部が欠損する。後側の下端に帯状に赤色塗彩を施す。	粗粒チャート・白色粒 橙色	
32	馬		円筒状の頭部に付けられた側板と思われる。下位に半円形の剥離痕。	チャート・凝灰岩 明黄褐色	一部に赤色塗彩痕。
33	馬		馬胴部から剥落した板状の障泥。表面はハケ目後に一部ナデ。裏面は粗雑なナデ。環状の剥離痕があり、鐙が剥落したと思われる。	片岩・チャート 橙色	
34	馬		障泥部分と思われる。外面ハケ、内面指ナデ。	片岩・粗粒チャート 橙色	
35	馬		尻の上部。推定径 3.8cm の孔を中心に粘土紐を貼付して尻繋を表現。	粗粒チャート・凝灰岩 明黄褐色	一部に赤色塗彩痕。
36	馬		尻部か。貼付された粘土紐は尻尾の回りに巻かれた繋と思われる。	チャート・凝灰岩 橙色	尻繋に赤色塗彩。
37	馬		尻尾。木芯中空つくり。	白色針状粒・チャート にぶい褐色	
38	馬		胴部の破片か。外面、ハケ後に一部ナデ。内面、ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	一部に赤色塗彩痕。
39	馬		本体から剥落した鏡板の破片。粘土粒を貼付して鋲が表現されている。	チャート・凝灰岩 橙色	
40	馬		粘土紐で面繋を表現。粘土粒を貼付して鋲が表現されている。	片岩・チャート にぶい褐色	
41	(馬)		鈴。中実つくり。切れ込みがある。	チャート・白色粒 橙色	一部に赤色塗彩痕。
42	(馬)		本体から剥落した鈴。中実つくり。切れ込みがある。	片岩・チャート にぶい褐色	
43	(馬)		本体から剥落した鈴。中実つくり。切れ込みがある。	白色針状粒・チャート 橙色	
44	不明		トリ形埴輪の頸部か。外面ハケ、内面ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
45	トリ		筒状の尾。外面、ハケと同一方向に線刻を施す。内面、粗雑なナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
46	トリ		筒状の尾。外面、ハケと同一方向に線刻を施す。内面、ハケ・ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
47	トリ		筒状の尾。外面、ハケと同一方向に線刻を施す。内面、ハケ。	片岩・チャート 橙色	
48	家		入母屋造りの上屋根部。沈線で鋸歯文を描くと想定される。	チャート・赤褐色粒 橙色	
49	家		四隅壁体柱。四柱は粘土を貼付。横方向の突帯。	チャート・赤褐色粒 にぶい褐色	四柱に赤色塗彩の痕跡。
50	家		壁体部。縦横の線刻で網代壁を表現する。出入口と想定される透しがある。	チャート・凝灰岩 橙色	
51	家		切妻造りの屋根部と思われる。線刻による網代表現。	片岩・チャート にぶい黄橙色	
52	家		屋根か。線刻による網代表現。	チャート・凝灰岩 橙色	
53	家		屋根か。線刻による網代表現。	片岩・チャート 橙色	
54	不明		外面、ハケ後に横方向・縦方向の線刻。内面、ナデ・指頭圧痕。	チャート・凝灰岩 橙色	
55	家		壁体部。線刻により網代壁を表現。出入口もしくは窓と想定される透しがある。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	
56	家		屋根かあるいは壁体部か。線刻による網代表現。	チャート・凝灰岩 橙色	

第86表　瀧１号古墳出土形象埴輪観察表(2)

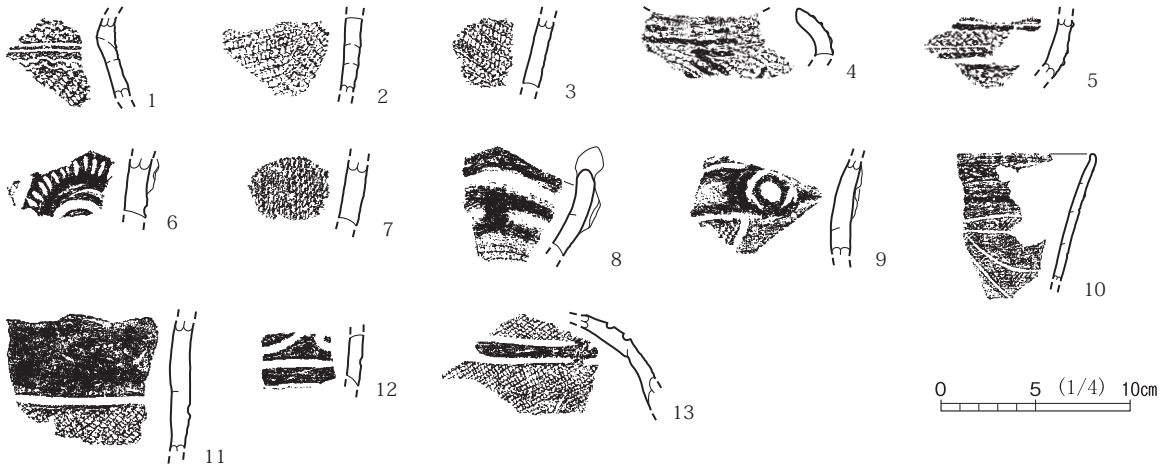
番号	種類	計測値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
57	家		屋根かあるいは壁体部か。線刻による網代表現。	チャート・凝灰岩 橙色	
58	家		屋根かあるいは壁体部か。線刻による網代表現。	チャート・凝灰岩 橙色	
59	(家)		屋根か。線刻による網代表現。裏側は剥離面。	チャート・凝灰岩 橙色	
60	不明		縦位に粘土紐を貼付し、さらに横位に粘土を付加している。内面はナナメハケ後ナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい褐色	
61	不明		外面タテハケ、内面ナデ。人物埴輪の胴部か。	白色針状粒・チャート 明赤褐色	
62	不明		小孔のある破片。人物埴輪の脇部か。内面、ハケ後ナデ。	片岩・チャート 橙色	
63	不明		外面タテハケ、内面ナデ。人物埴輪の頭部か。	片岩・チャート 橙色	
64	不明		断面が台形の破片。裏側は剥離面。	チャート・凝灰岩 橙色	
65	不明		内側に反る突帯状の破片。裏側は剥離面。	チャート・凝灰岩 橙色	
66	不明		連続刺突のある小破片。内面ナデ。	チャート・白色粒 橙色	
67	不明		突帯状の粘土が貼付される破片。外面ハケ、内面ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
68	不明		頂部が弧状となる破片。	チャート・凝灰岩 橙色	
69	不明		本体から剥落した部品で裏側は剥離面。粗雑なナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
70	不明		本体から剥落した紐状の部品。裏側は剥離面。	片岩・白色針状粒 橙色	

第87表　瀧１号古墳出土形象埴輪観察表(3)

第167図　瀧２号古墳出土円筒埴輪実測図

番号	種類	計測値 (cm)	突帯	透孔		刷毛目	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状	縦 × 横	/2cm			
1	朝顔形 円筒埴輪	3段　14.6 4段　9.5	台形 ～ 弱M字	円	4.8×(5.6)	9 ～ 10	外面　タテハケ。 内面　第２～３段ナナメハケ。第４段ナナメ指ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 にぶい黄褐色	６段構成と想定。
2	円筒埴輪		－	－	－	10	外面　タテハケ。 内面　ナデ。	チャート・赤褐色粒 橙色	口縁部片。
3	円筒埴輪		－	－	－	8	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ヨコ・ナナメハケ。	チャート・赤褐色粒 浅黄橙色	口縁部片。

第88表　瀧２号古墳出土円筒埴輪観察表



第168図　遺構外出土縄文土器実測図

遺構外

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③繊維・石英・赤褐色粒④胴部	単節LR縄文施文後、横位沈線とコンパス文を施文。内面は横位のナデ。	一括
2	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②灰黄褐色③繊維・赤褐色粒 ④胴部	単節RL、LRの羽状縄文を縦位施文。内面は横位のナデ。	一括
3	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②明赤褐色③繊維・石英 ④胴部	単節RL縄文施文。内面は横位のナデ。	一括
4	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色 ③石英・黒色粒 ④口縁部	波状口縁。LR縄文施文後、口縁部に２条の横位浮線貼付後、その下に弧状の浮線。内面は横位のナデ。	一括
5	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色 ③石英・砂粒 ④胴部片	LR縄文施文後、浮線を横位貼付。内面は横位のナデ。	一括
6	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③石英・輝石・砂粒 ④胴部	隆帯貼付後、棒状工具で弧状に区画。隆帯上に角押文。内面は横位のナデ。	21号住居跡 覆土
7	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②明赤褐色③輝石・砂粒 ④胴部	撚糸ｒ施文。内面は横位のナデ。	21号住居跡 覆土
8	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・輝石・砂粒④口縁部	波状口縁。胴部LR縄文施文→口縁部粘土貼付後、指頭状工具による沈線。波頂下に指で摘みあげたような稜をもつ。内面は横位のナデ。	2号住居跡 覆土
9	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③輝石・チャート・砂粒④口縁部	胴部LR縄文施文。口縁部粘土貼付後円形刺突→横位沈線→弧状沈線。内面は横位のナデ。	一括
10	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①良好②褐灰色③角閃石・砂粒④口縁～胴部	口縁部、丁寧に磨いた後、隆線を貼付し、押圧。胴部、LR縄文施文後、沈線で弧状に区画、磨り消し縄文。内面、口縁部に沈線、丁寧な横位のナデ。	2号墳周辺
11	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②黄灰色③輝石・砂隆④頸部～胴部	胴部RL縄文施文後、頸部横位の磨き→横位沈線で区画。内面は横位のナデ。	3号溝 覆土
12	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①良好②暗灰褐色③角閃石・砂粒 ④胴部	丁寧に磨いた後、横位沈線、弧状？沈線。内面は横位のナデ。	1号墳 墳丘
13	縄文土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄褐色③石英・チャート・骨針④胴部	LR縄文施文後、２条の横位沈線。内面は横位のナデ。	13号住居跡 覆土

第89表　遺構外出土縄文土器観察表

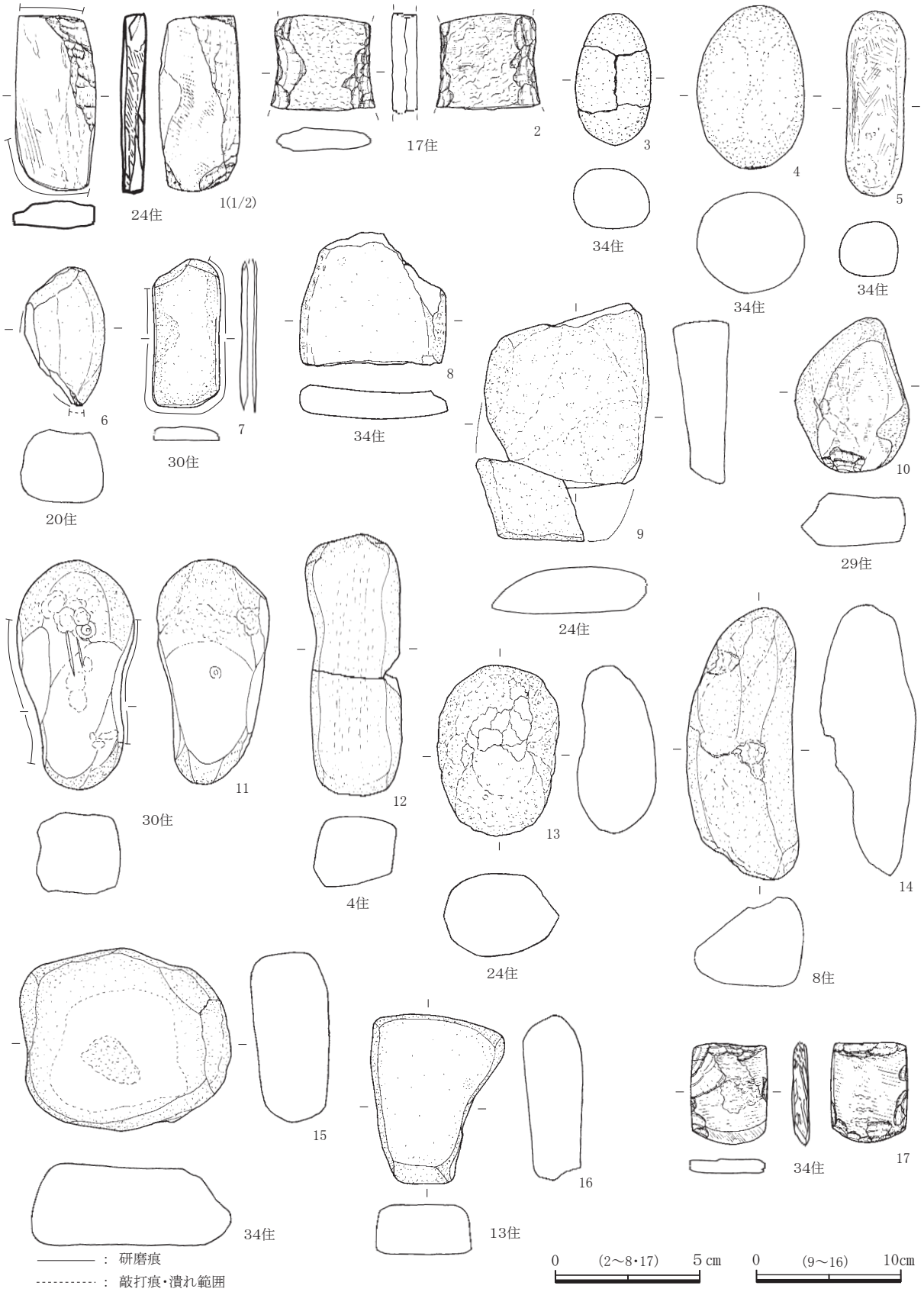
小日向瀧遺跡出土の石器（第169図）

本遺跡からは、12軒の住居址、土坑から石器19点が出土した。石器は、住居址から少数出土しており、遺跡の主体が、弥生時代であり他時期の遺物混入の可能性が低いことから、概ね後期後半を主体とした石器群と推定される。器種組成は、第90表のとおりである。剥片石器等の石器製作は、遺物からは認められず、全て他からの搬入品あるいは単品である。台石等の大形石器は、床面直上で出土したものを遺構に伴うものとした。

１は両面研磨によって矩形に整形されたタブレット状（板状）の磨製石鏃素材（珪質準片岩）である。２は、安山岩製石鏃の中央部分破片である。形状は刃部が大きくなるうちわ形と推定される。板状（鉄平石）の礫を素材に両側縁に直接打撃による交互剥離調整を施している。片面中央には磨れ痕が観察される。３～５は、磨石である。安山岩製（３、４）と緑色岩類製（５）がある。５は棒状の自然礫で礫面には、部分的に磨り面と筋状の研磨痕がある。砥石の可能性もある。６は頁岩製（黒色）の敲石（石槌）の欠損品である。拳大程の自然礫で、端部に敲打痕がある。７と８は、牛伏砂岩製の砥石である。７は平面長方形、断面扁平で両側縁には研磨による平滑面がある。９～16は台石である。礫面が平坦で砥石として使用されたもの（９～11）、礫面に敲打の痕跡あるいは凹みが残るもの（13～15）、平坦面があるもの（12、15）がある。11は、四側面が湾曲し、凹みあるいは太い線状痕が観察される。砥石として使用された可能性がある。９の砂岩製以外は、安山岩製である。なお、９は被熱により脆く、下端部が欠損している。17は大陸系磨製石器に分類される緑色岩類製（青灰色）の扁平片刃石斧である。全面研磨が認められるが、研磨後の剥離痕が刃部、両側縁、上端部に観察され、本来の磨製石斧の機能とは別の敲石への二次転用の可能性がある。（井上　慎也）

瀧遺跡	磨製石鏃	磨鏃素材	スクレイパーB	石鍬	磨石	凹石	敲石	砥石	台石	太型蛤刃石斧	扁平片刃石斧	原石	管玉	紡錘車	棒状礫	搬入礫	合計
13号住									1								1
24号住									2								2
29号住									1								1
30号住								1									1
34号住					3			1	1								5
４号住									1								1
５号土坑					2												2
８号住									1								1
17号住				1													1
20号住							1										1
24号住		1															1
30号住								1									1
34号住											1						1
合計	0	1	0	1	5	0	1	3	7	0	1	0	0	0	0	0	19

第90表　瀧遺跡出土弥生石器組成表



第169図　瀧遺跡出土弥生石器実測図

挿図番号	登録番号	遺構名	器種	形態	石材	欠損	被熱	長さ(㎜)	幅(㎜)	厚さ(㎜)	重量(g)	備考
1	28	Y24住	磨製石鏃素材		珪質準片岩			62.82	29.20	7.85	27.0	
2	24	Y17住	石鏃		安山岩	○		66.52	76.03	15.94	147.6	
3	68	Y34住	磨石		安山岩	○	○	86.66	51.11	44.87	242.3	
4	67	Y34住	磨石		頁岩			110.12	81.65	70.91	888.4	
5	59	Y34住	磨石		頁岩			129.15	44.49	37.60	317.9	
6	25	Y20住	敲石	楕円形	頁岩			92.81	60.02	49.60	438.6	
7	27	Y30住	砥石	中砥	砂岩			106.04	49.45	9.70	68.2	
8	60	Y34住	砥石	仕上砥	安山岩			91.95	104.68	19.90	335.5	
9	70	Y24住S－2	台石		砂岩	○	○	293.00	229.00	57.00	3800.0	
10	72	Y29住石No.1	台石		頁岩			207.00	147.00	189.00	3400.0	
11	75	Y30住石No.1	砥石	仕上砥	安山岩			289.00	154.00	144.00	6500.0	
12	66	Y4住S－1	台石		安山岩			315.00	108.00	93.00	7100.0	
13	69	Y24住S－3	台石	中央凹み	安山岩			218.00	156.00	114.00	3600.0	
14	74	Y8住石No.1	台石		安山岩			358.00	166.00	106.00	9200.0	
15	73	Y34住石No.3	台石		安山岩			237.00	284.00	105.00	12800.0	
16	65	Y13住S－1	台石		安山岩			217.00	128.00	89.00	5200.0	
17	26	Y34住S-1	扁平片刃石斧		緑色岩類			72.39	54.45	10.75	89.4	
18	71	5号土坑石No.1	磨石	楕円形	安山岩			125.81	81.15	63.42	894.8	
19	58	5号土坑石No.2	磨石	円形	安山岩			138.04	124.46	57.00	1756.7	

第91表　瀧遺跡出土弥生石器観察表

小日向瀧遺跡　小結

小日向瀧遺跡で検出された遺構は、弥生時代後期の竪穴住居跡33軒と遺物集中地点１箇所、古墳時代前期の竪穴住居跡１軒と後期の古墳２基、古代～近代までの溝17条、時期不明の掘立柱建物跡１棟と土坑４基である。各時代の概要は以下の通りである。

⑴　縄文時代

弥生時代の住居などで縄文土器が散見する（第168図）。前期中葉（１・２）・後葉（３～５）、中期中葉（６）・後半（７～９）、後期前葉～中葉（10・11）、晩期前葉～中葉（12・13）などである。袋状土坑の２号土坑は縄文時代の可能性が考えられる。

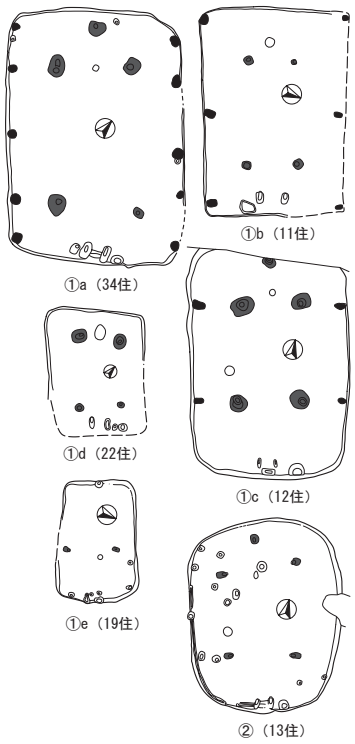
⑵　弥生時代

弥生時代後期の竪穴住居跡は調査区中央の遺構空白域を取り囲む配置を示す（１住～31住、33・34住）。住居の平面形は第170図のように、長方形（①a～①e）と小判形（②、13住）に分けられ、①dと①eは長軸5m以下の小型である。主柱穴は短軸上の２本となる①e（10・19住）を除き、４本である。壁柱穴は①a～①cの長辺沿いにみられ、それぞれ10本・６本・４本である。７住で16㎝×32㎝の長方形の柱痕が検出され、９住で13㎝×30㎝の断面長方形の柱根（クリ、AMS年代測定1,830±30yrBP）が出土したことから、主柱には板状の柱材が使用されたことが窺われる。北側主柱穴間の北寄りに棟持柱を有する住居が約1/3の割合で存在する。竪穴の拡張は半数近くの住居で行われ、29住では４回の拡張が確認された。住居の軸を90°変えて拡張した例もある（８住）。

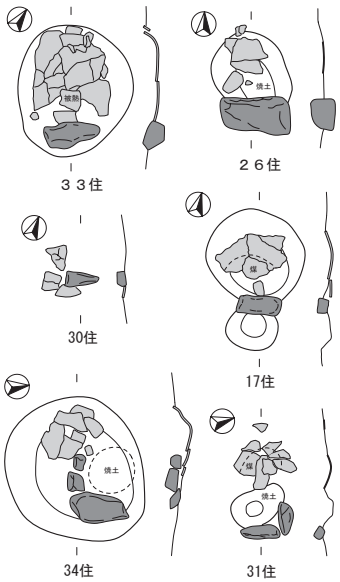
炉は南北軸の住居では北側に設置され、比較的大型の住居では西側にも設置される例がある。炉の形態は円形ないし楕円形の地床炉の縁に枕石１石を置いたものが大半であるが、第171図に示した６軒では炉底に土器片を敷いた土器敷炉が検出された。土器敷炉の形態は炉底全体に土器（壺

胴部下半）を敷く33住や、火床には土器を敷かない26・31・34住の例がある。17・31住の土器には半円形に煤の付着がみられる。31・34住の枕石は火床をL字状に囲むように配置される。これらのL字状石囲炉や土器敷炉は、長野県佐久地方の影響を受けたものと考えられる。佐久地方の土器敷炉や石囲炉は弥生時代後期前半の千曲川右岸に盛行し、地床炉を主体とする千曲川左岸とは対象的であるとされ、さらに千曲川右岸には天竜川流域に多い埋甕炉が一定量存在することから、両地域間の活発な交流が指摘されている（助川1990）。本遺跡では天竜川流域に特徴的な櫛描円弧文を施す壺が出土しており（第172図）、千曲川右岸を介した天竜川流域との交流の可能性を示している。なお土器敷炉を有する６軒の住居は全て棟持柱を有し、31住を除き調査区西側にまとまっている。

出土遺物で注目されるのは24住で出土した壺（４・11）である（第173図）。内湾する口縁形状、交互刺突文・連繋渦文の特徴から、弥生時代後期前半の東北地方南部に分布する天王山式土器の系統と捉えられる。県内では長根安坪遺跡（高崎市）、後田東遺跡（渋川市）、下縄引遺跡（前橋市）で出土している。このほか横羽状文の壺（15住１・21住４）、焼成後に貼付文を施した壺（21住１）、底部を穿孔した壺（24住３）などが特徴的である。口縁部が二重になる異形壺（３住１）は見立相好遺跡（渋川市）に類例がある（第174図）。５住では片口鉢の上に有孔鉢が重なった状態で出土した。２点とも内面に灰汁状物質が付着することから、組み合わせて使用されたことが確実であり、有孔鉢が濾過器として使用されたことを窺わせる。灰汁状物質が付着する片口鉢は遺物集中地点や24住にもあり、小型台付甕（24住）・赤彩鉢（21住）での付着例もみられる。



第170図　弥生時代後期の竪穴住居形態（縮尺1／30）



第171図　弥生後期の土器敷炉（縮尺１／40）

⑶　古墳時代

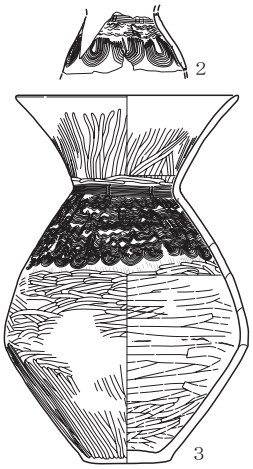
竪穴住居跡は前期の32住１軒のみである。１号墳は周溝を含めた全長16.5ｍの円墳で、主体部は未調査である。中段テラス面の外側には円筒埴輪列があり、内側では形象埴輪（人物・馬・トリ・家）の破片が多く出土した。朝顔形円筒埴輪は６段と想定され、外面の第５・６段に赤彩が施される。円筒埴輪は３段構成で、外面第３段に赤彩を施すものがある。外面調整はすべて一次タテハケで、二次調整（ヨコハケ）を施すものはない。透孔は円形と半円形がある。人物埴輪は島田髷の数などから７体前後の女子人物が樹立されていたと思われるが、男子人物と判断されるものはなかった。人物埴輪は22や23などの衣裾部・基部の状態から半身像と想定され、５のように立体的に島田髷を表現したものもある。腕部はいずれも中実造りでソケット状に差し込むものである。１の人物埴輪は保渡田Ⅶ遺跡（高崎市）出土の女子人物に形態・成形・調整及び赤彩が類似しており、同一工人が製作した可能性が高い。馬形埴輪の鞍部片等には赤彩が施される。これらの埴輪の特徴から、１号墳は５世紀末葉の築造と考えられる。円筒埴輪・形象埴輪の胎土には片岩や粗粒チャートが顕著に観察され、藤岡地域で生産されたものと考えられる。

２号墳はかろうじて検出された周溝から少量の朝顔形円筒埴輪や円筒埴輪が出土した。朝顔形円筒埴輪の形態の類似から１号墳に近接した時期と考えられる。

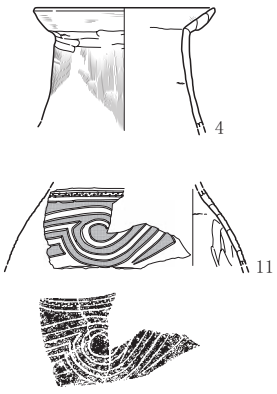
⑷　古代以降

１号溝はAs－A軽石を含む近代の溝、２・３号溝はAs－B軽石混土を含む中世の溝である。５・９・13号溝はAs－B軽石より古く、須恵器が出土することから古代の溝と考えられるが、出土遺物が少なく時期の特定はできない。４・11号溝とともに灌漑用水路として機能したと考えられる。１号掘立柱建物跡は、４・13号溝に囲まれる位置関係から同時期の可能性がある。

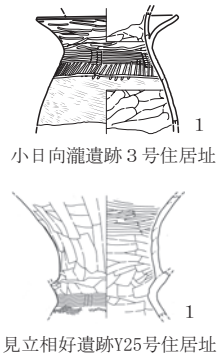
（常深　尚）



第172図　５号住居址出土の櫛描円弧文を施す壺（縮尺１／８）



第173図　24号住居址出土の天王山式系土器（縮尺１／８）



第174図　弥生時代後期の異形壺（縮尺１／８）

参考文献
林幸彦・花岡弘 1983「弥生時代の炉」『信濃』35－4　信濃史学会
助川　朋広 1990「弥生時代の炉再考－佐久地方を中心として」『赤い土器を追う』佐久考古学会
小林　修他 2005『見立相好遺跡Ⅰ・Ⅱ』赤城村教育委員会

4　小日向壱丁田遺跡

4　小日向壱丁田遺跡

⑴　概　　要

本遺跡は瀧遺跡の西に隣接する緩やかな南斜面上に位置している。標高は北端で約208m、南端で約205mを測る。現在、行政区上の小字が異なるため瀧遺跡とは別遺跡として報告するが、実際は同一台地上に連続して展開する一連の遺跡と捉えることができる。本遺跡の西側には小規模な沢が北西から南東へ流下している。小字上はこの沢の西側も壱丁田であり、確認されている遺構も同時期所産のものが主体をなしている。しかし、前述の沢の部分で集落としては一旦途切れることから、その沢までを壱丁田遺跡としてここで報告し、沢の西側部分は壱丁田Ⅱ遺跡として次章で報告する（ただし、弥生時代石器については、壱丁田Ⅱ遺跡出土のものも本章で報告している）。遺跡地は九十九川左岸の段丘上に位置しており、眼下に九十九川の流れを望む地である。

⑵　弥生時代

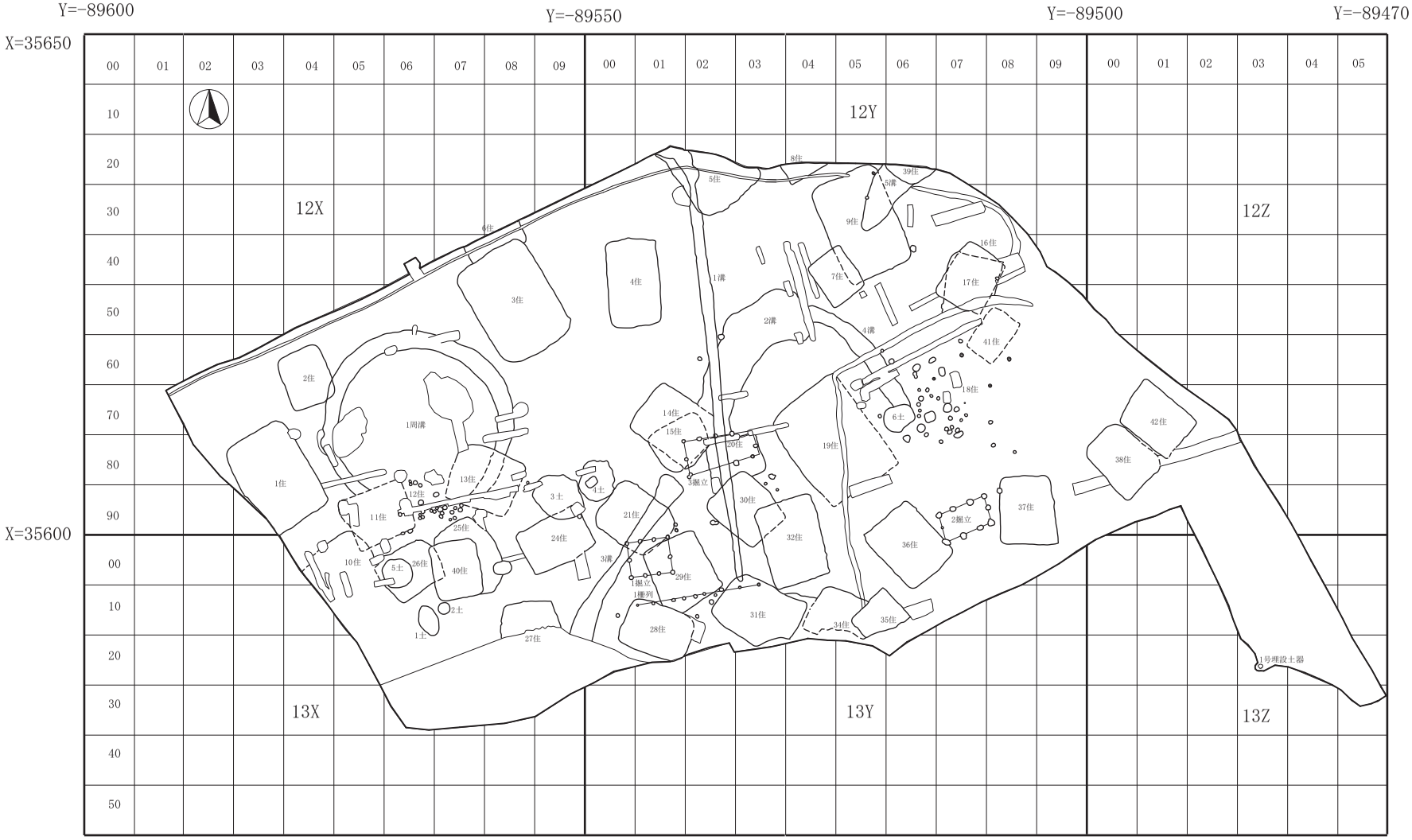
本遺跡の主体をなすのが、弥生時代後期の遺構である。今回の調査により樽式期の所産と考えられる竪穴住居址が37軒検出されているが、遺存状況は全体的に不良であり、プランを正確に把握できていない住居址もある。他の樽式期集落と同様に大型住居址が多く、１号・３号・９号・19号住居址は、いずれも長軸10mを超えている。住居址の近接・重複が多く、一定期間継続した集落であると考えられる。

⑶　古墳時代

円形の堀が確認された。堀の周辺には、原位置はとどめていないが石室の構築材として利用されたと推測される大型扁平礫等が複数認められたため、円形の堀は古墳周堀と判断した。周堀の規模は直径約19mである。主体部は全て削平されており、石室構造等については不明である。埴輪・副葬品等古墳に伴うと考えられる遺物も確認されていない。

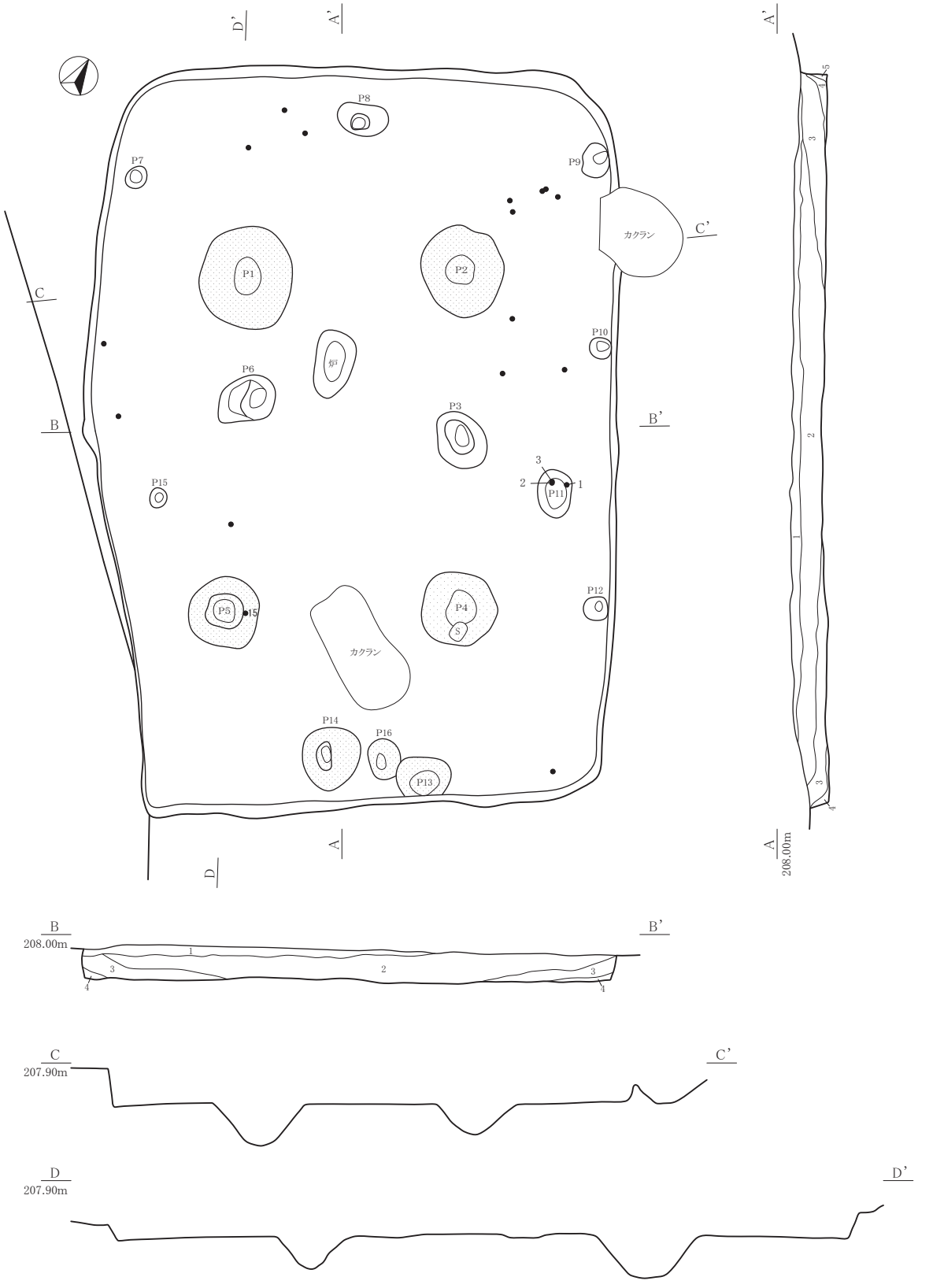
⑷　古代以降

覆土に As-Ｂ軽石を含む溝が検出されているが、時期・性格等不明な点が多い。



第175図　小日向壱丁田遺跡全体図・グリッド設定図

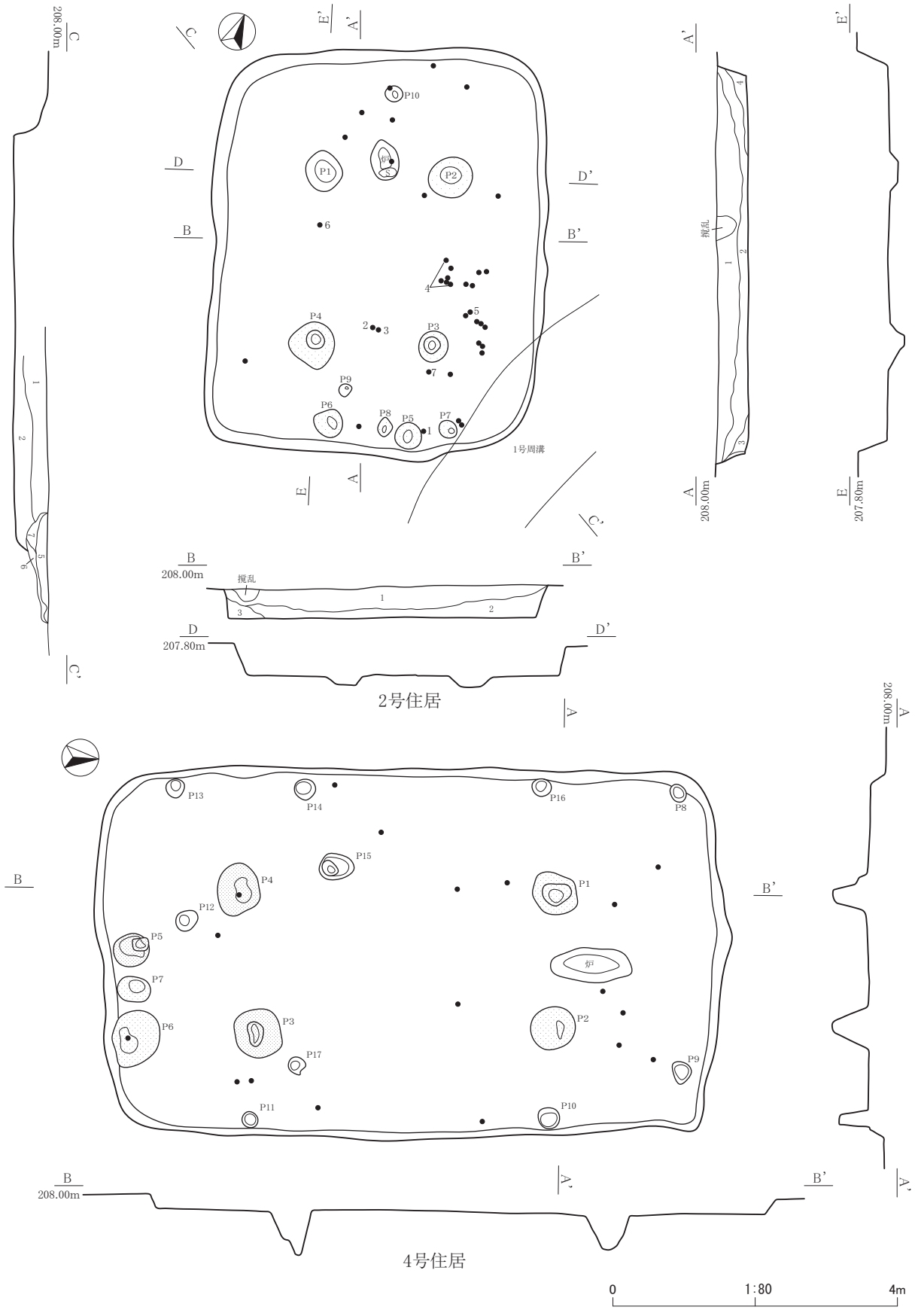
0　1:600　30m



1 号住居

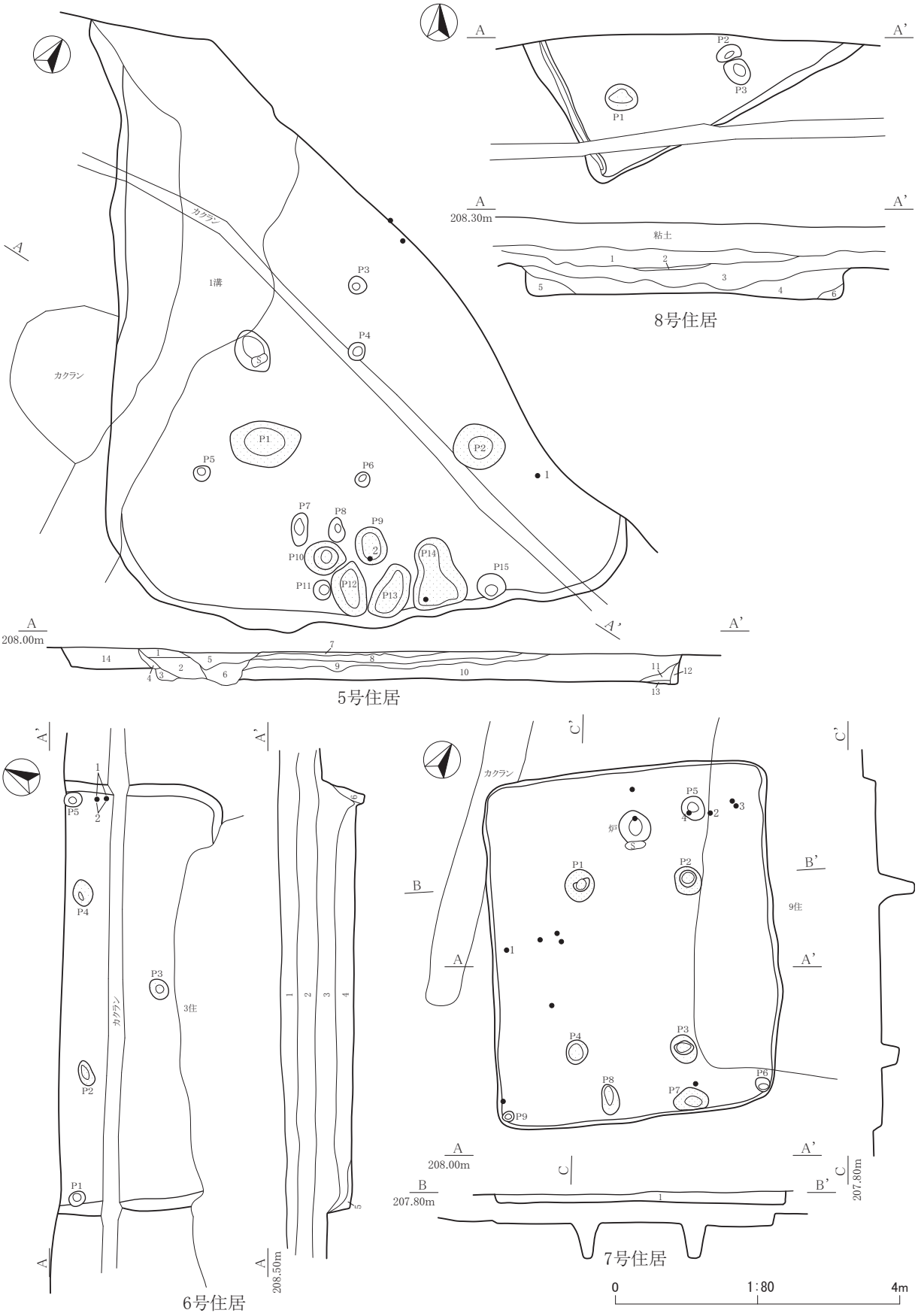
0 1:80 4m

第176図　1 号住居址実測図

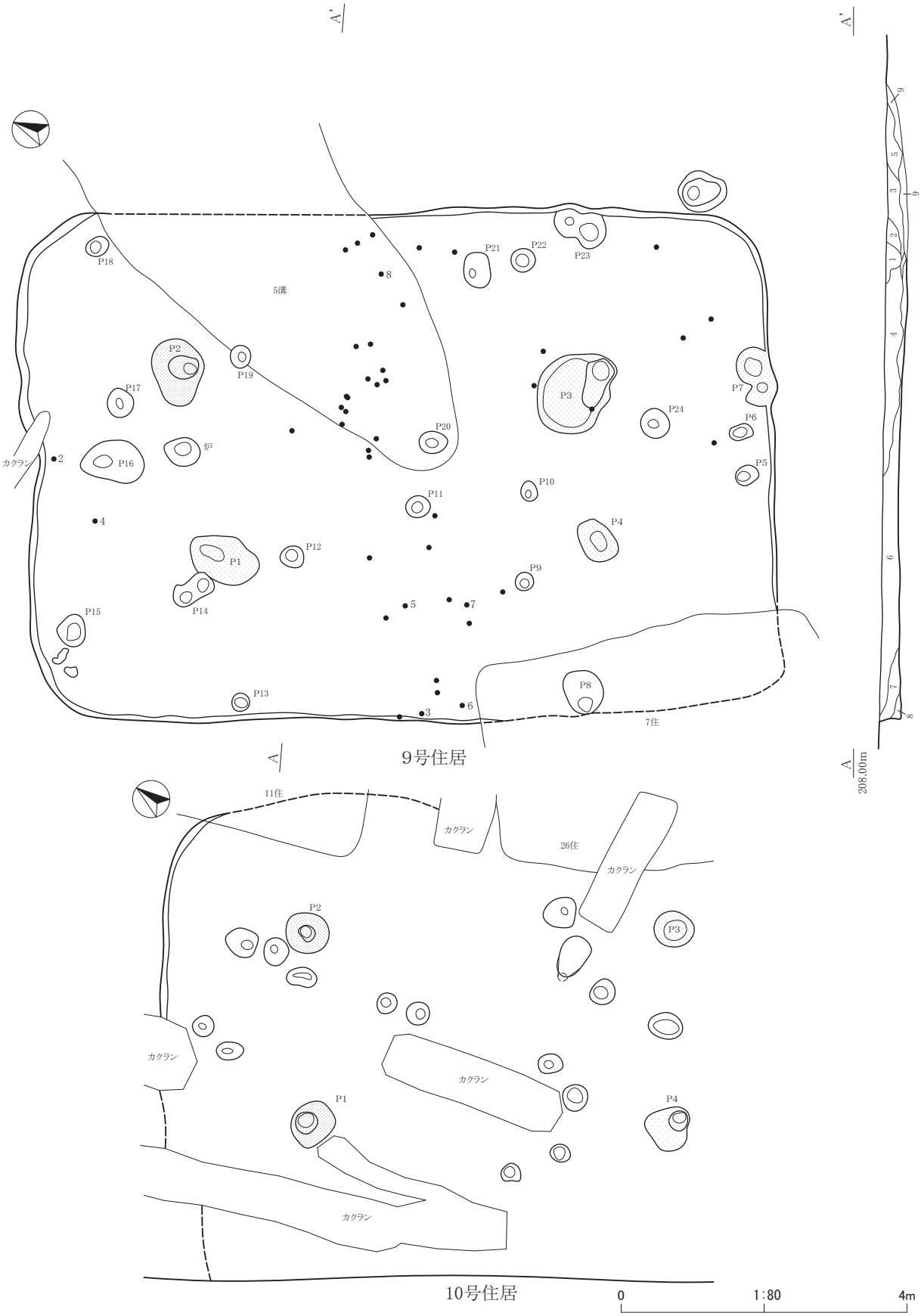


第177図　2号・4号住居址実測図

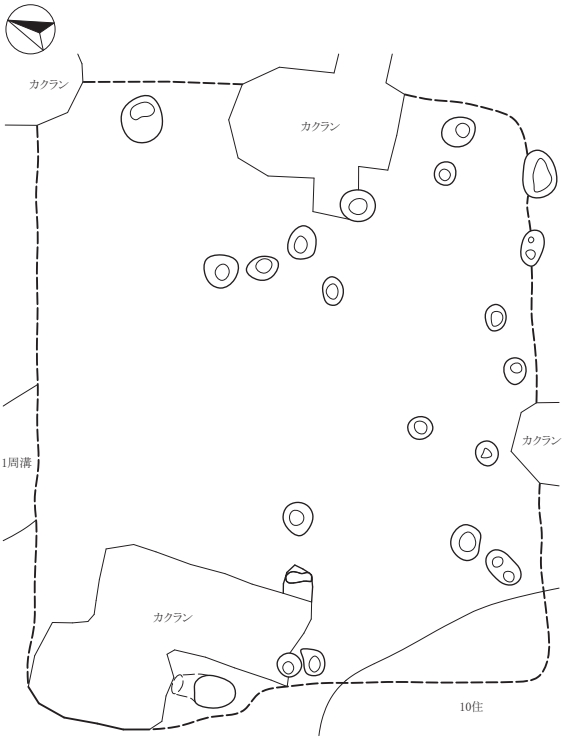
第178図　３号住居址実測図



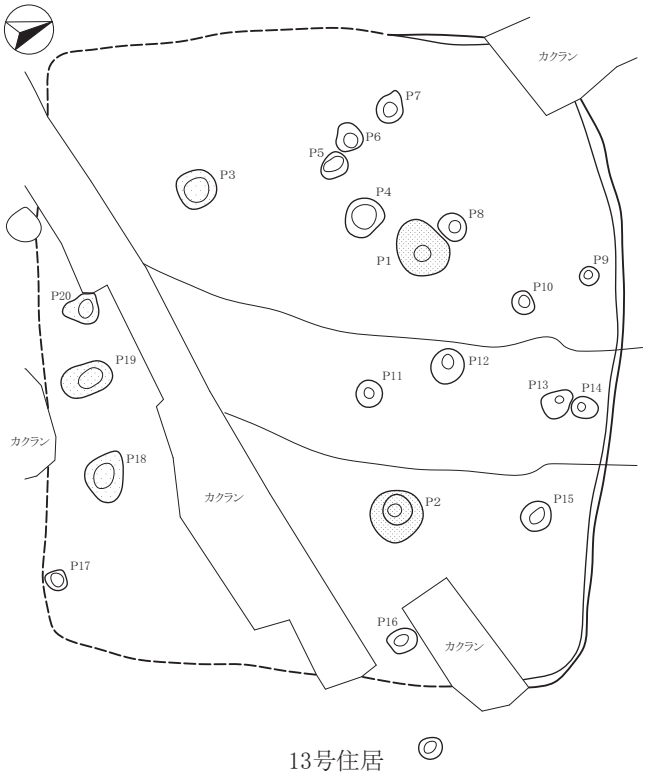
第179図　5～8号住居址実測図



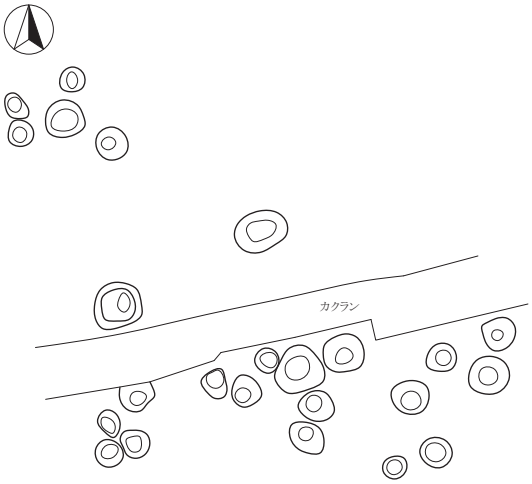
第180図　9号・10号住居址実測図



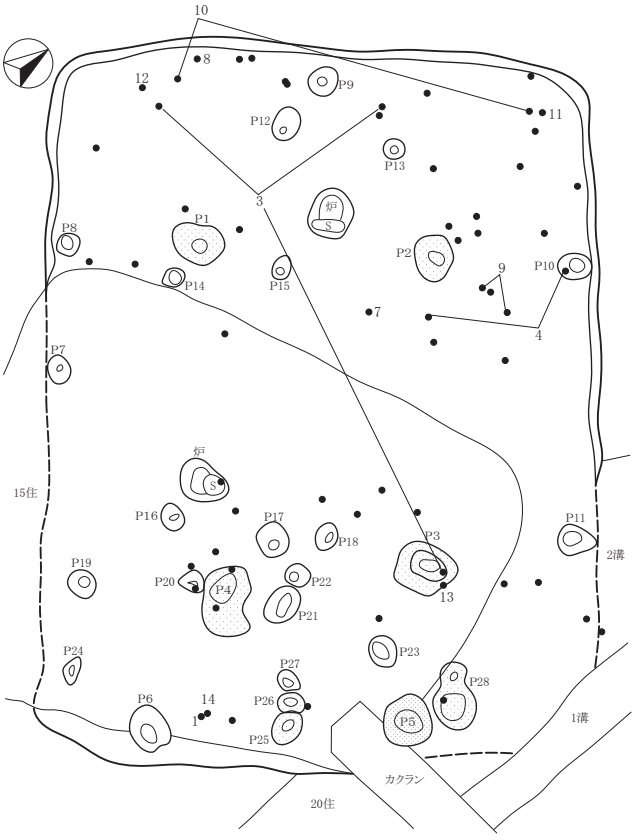
11号住居



13号住居



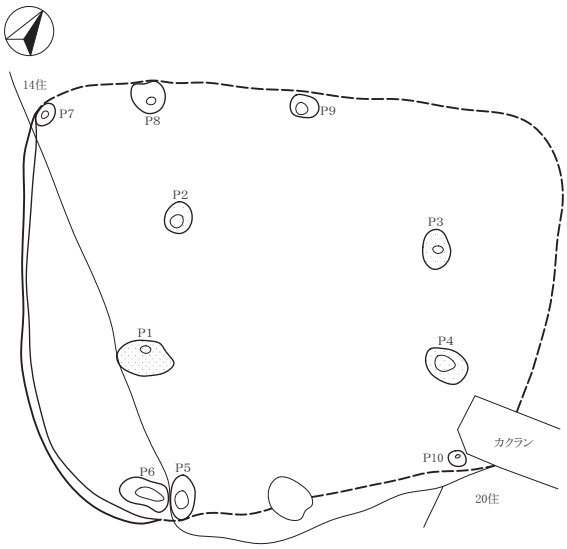
12号住居



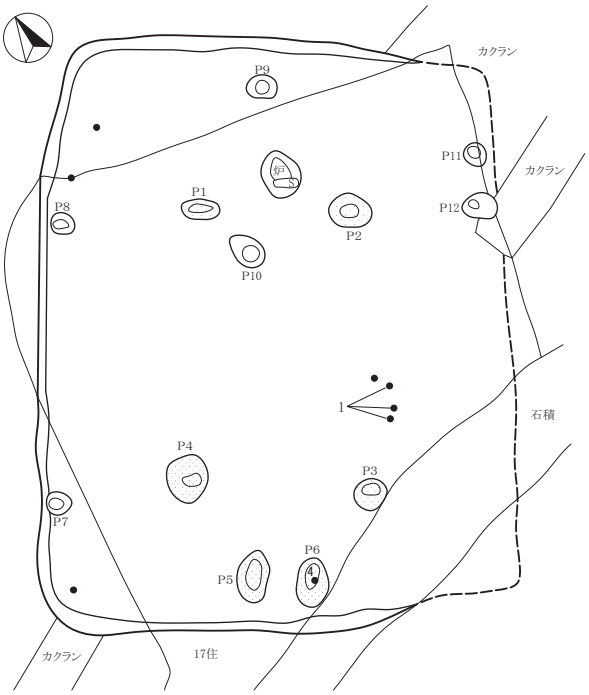
14号住居

0　1:80　4m

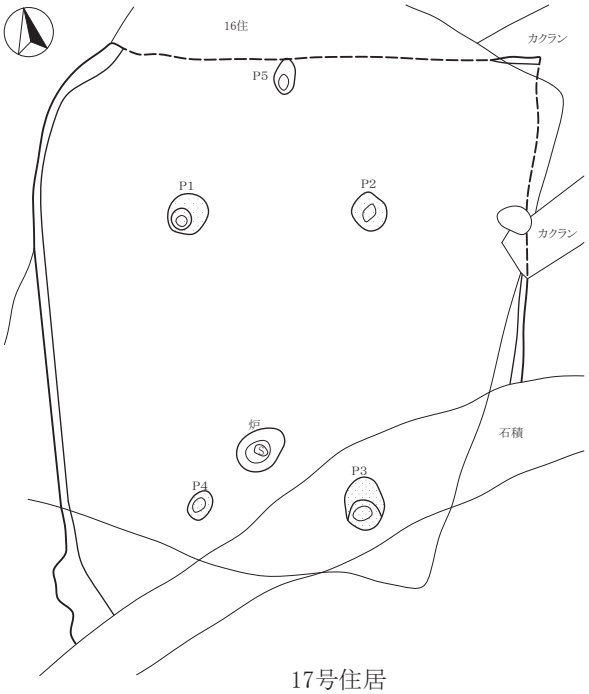
第181図　11～14号住居址実測図



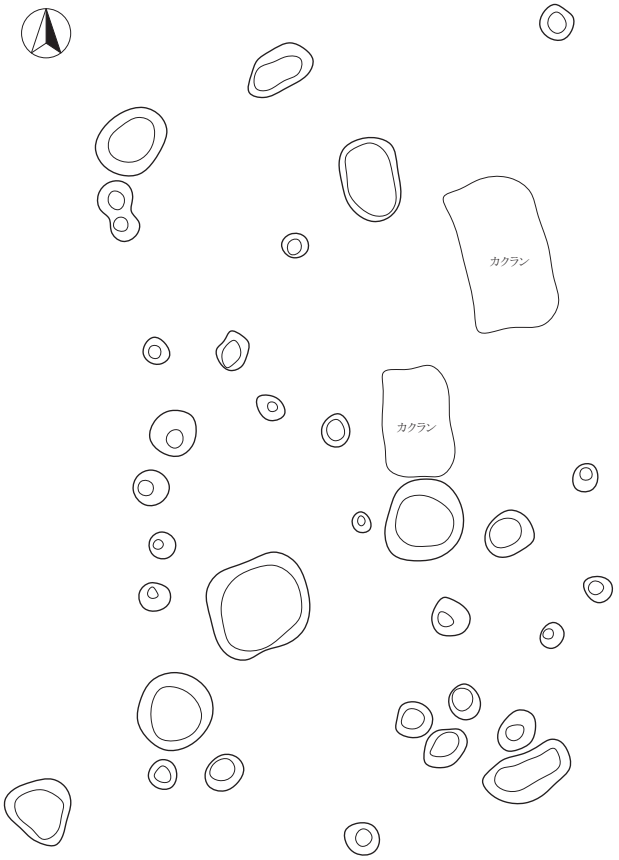
15号住居



16号住居



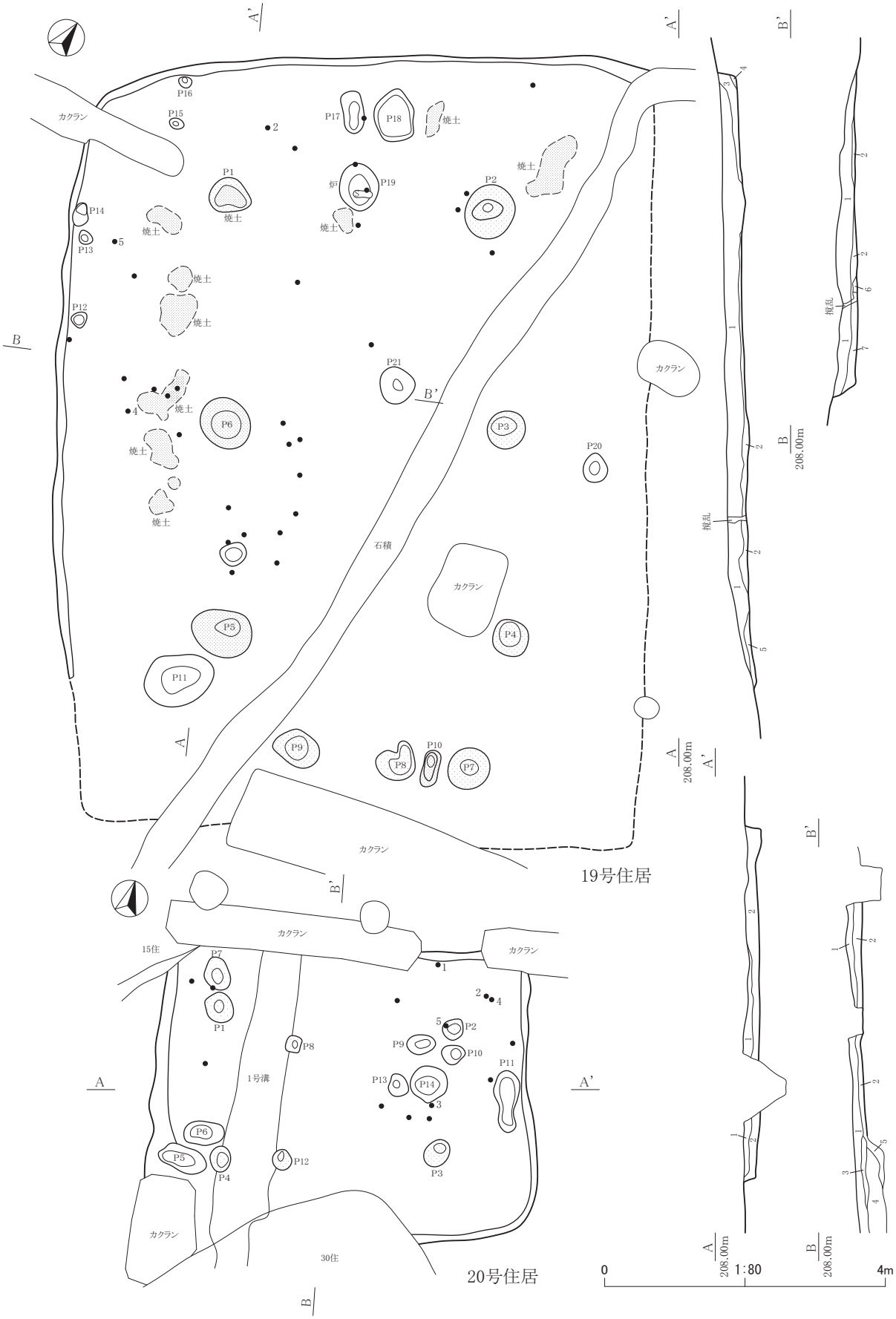
17号住居



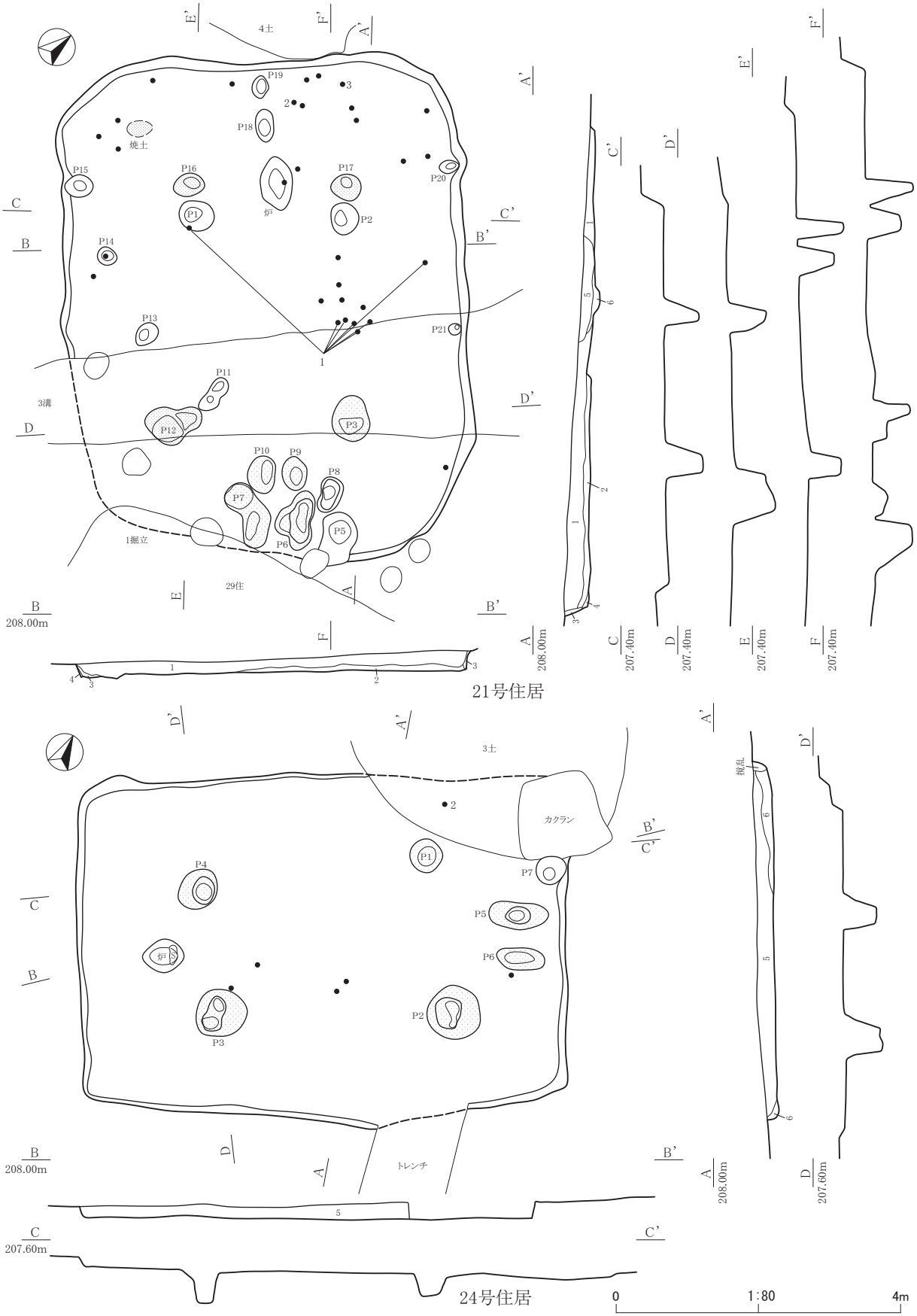
18号住居

0 1:80 4m

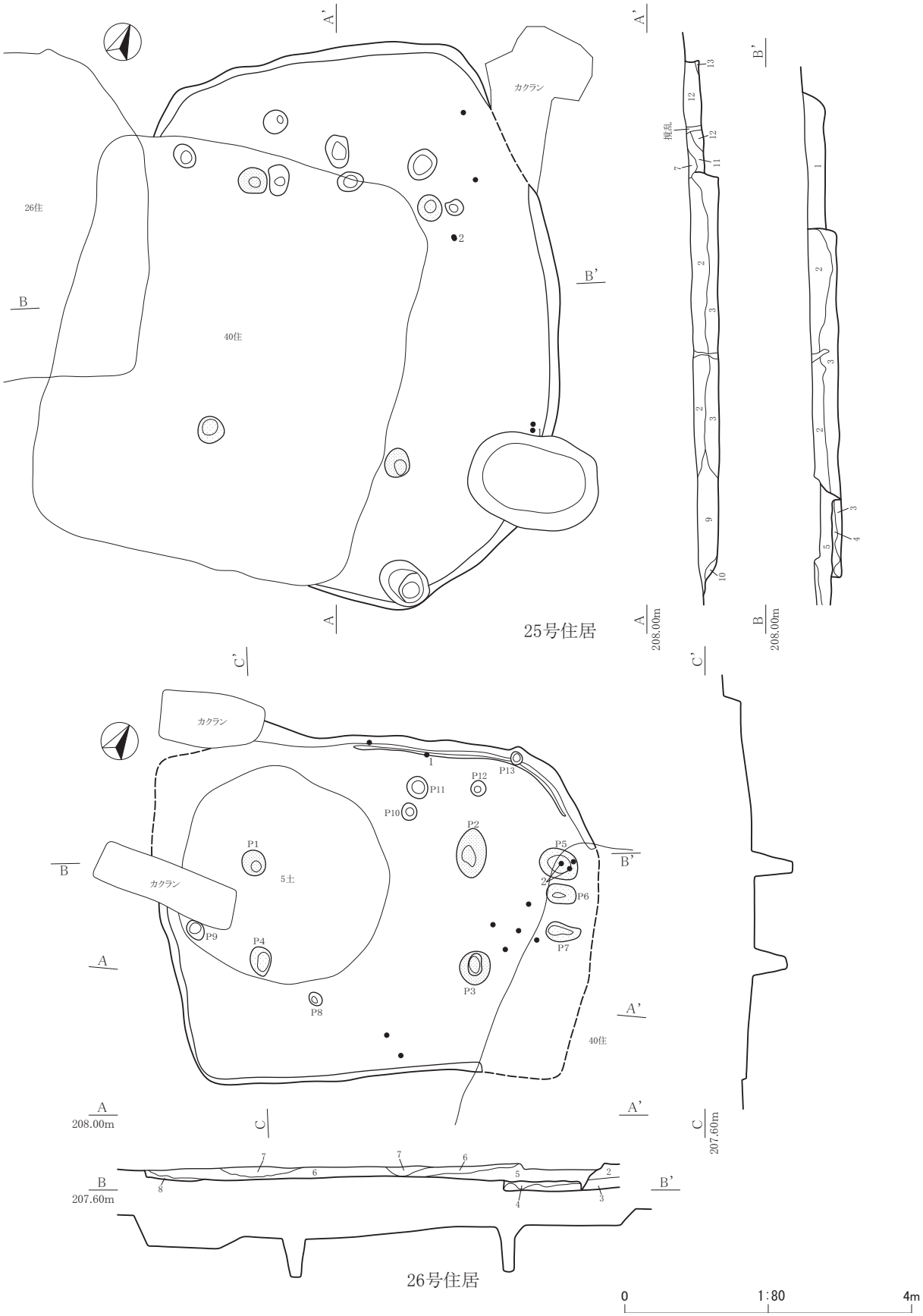
第182図　15～18号住居址実測図



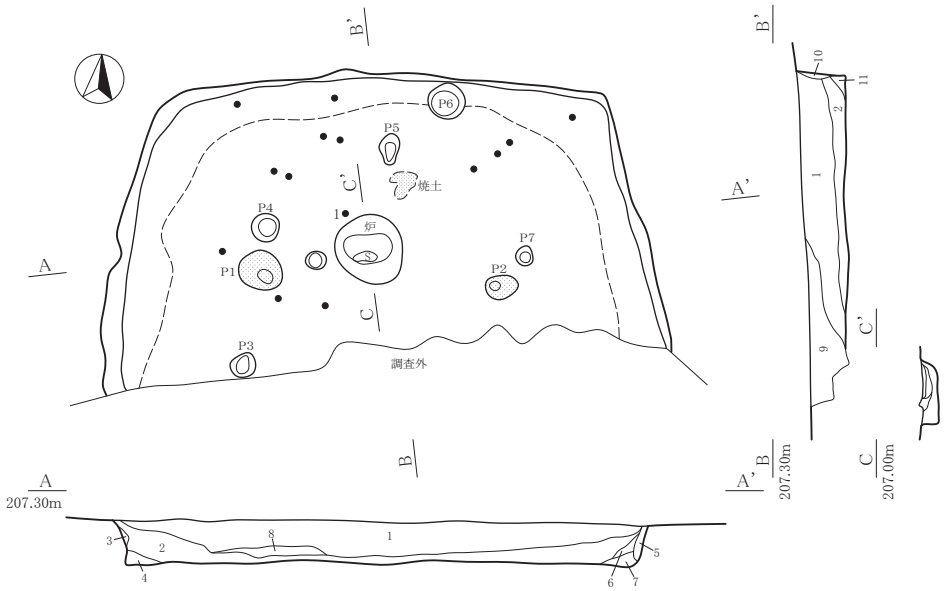
第183図　19号・20号住居址実測図



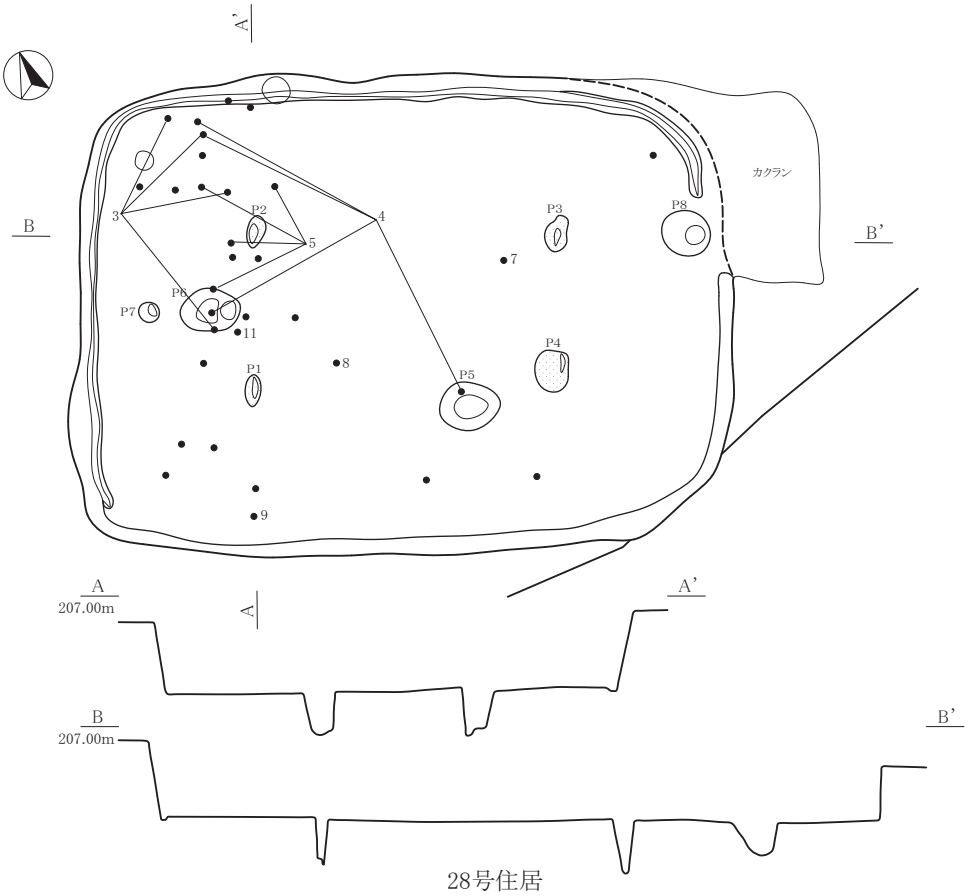
第184図　21号・24号住居址実測図



第185図　25号・26号住居址実測図



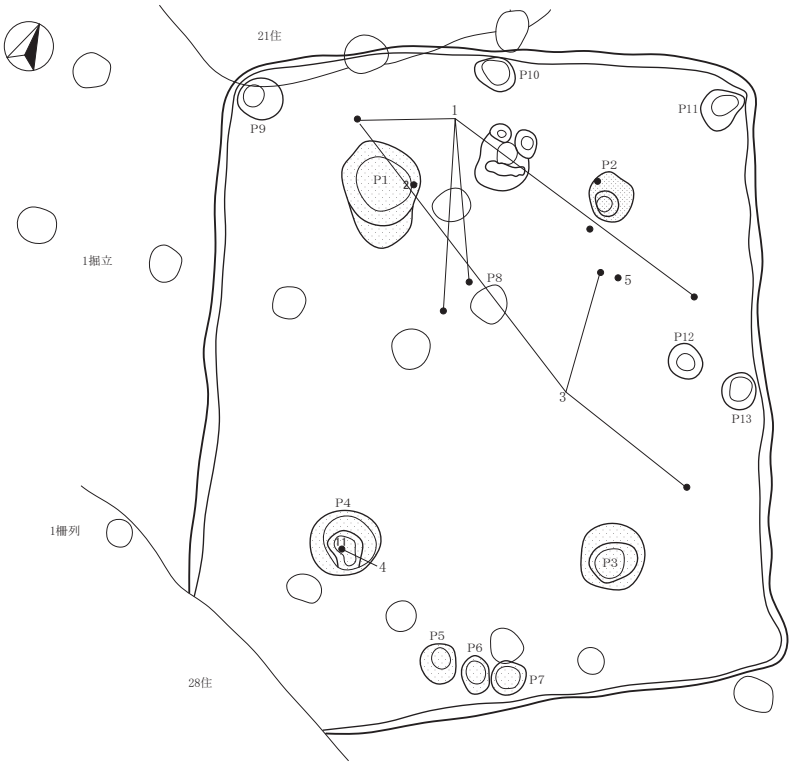
27号住居



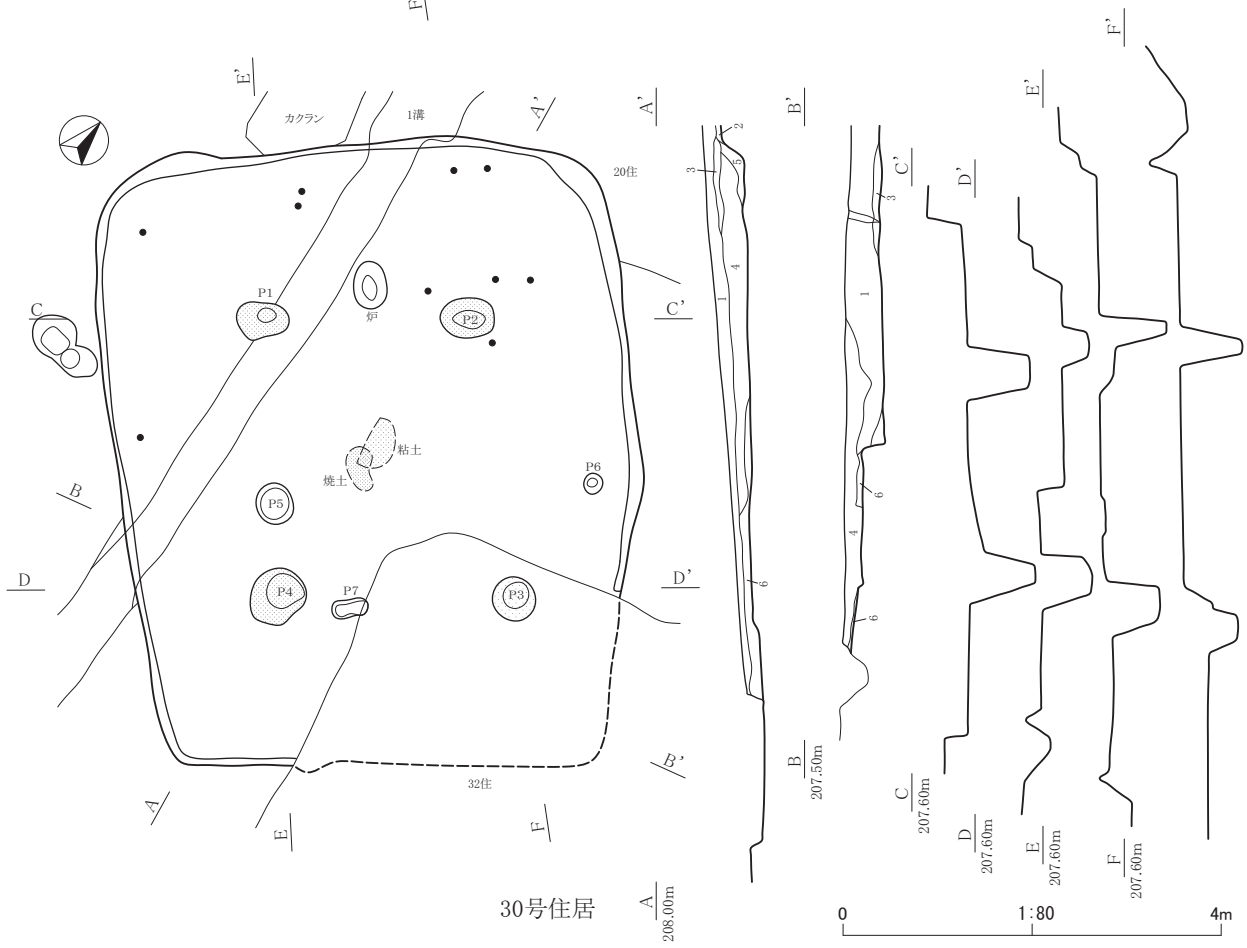
28号住居

0 1:80 4m

第186図　27号・28号住居址実測図

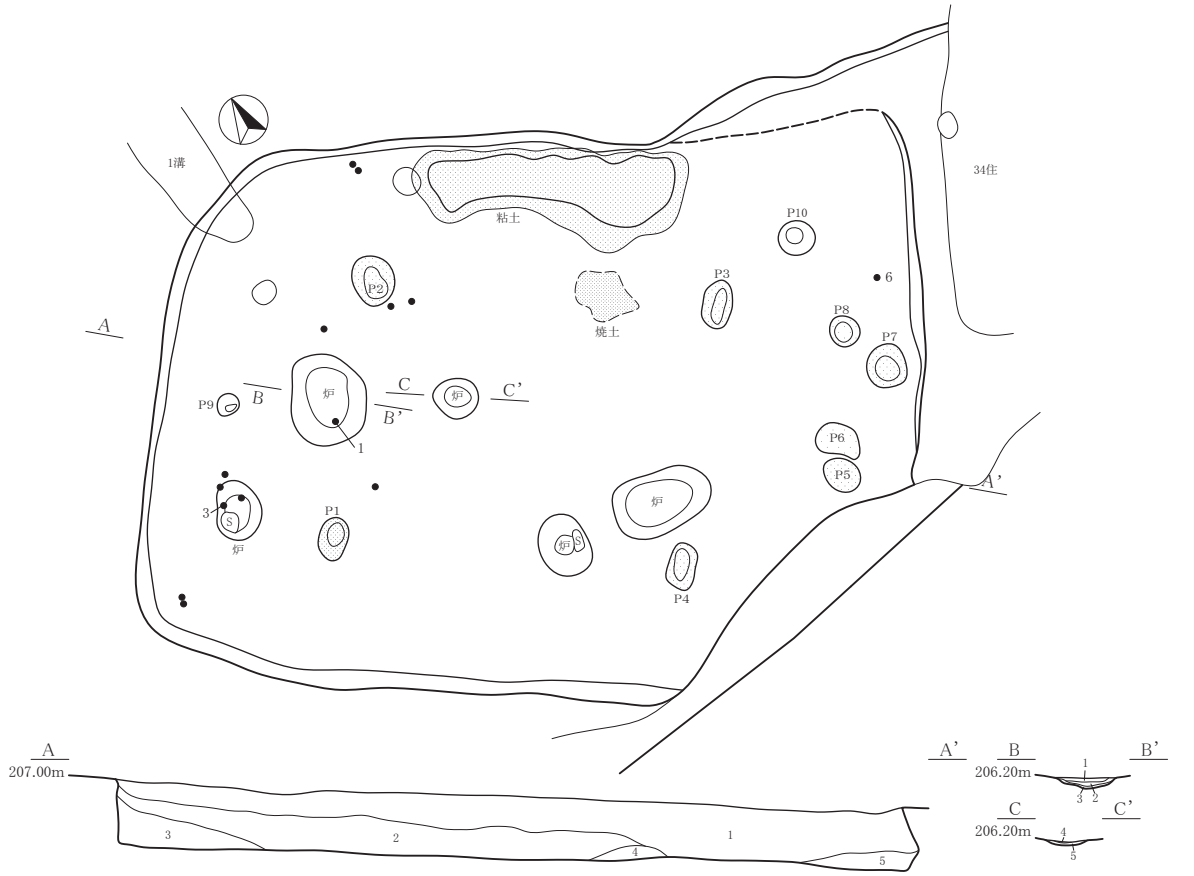


29号住居

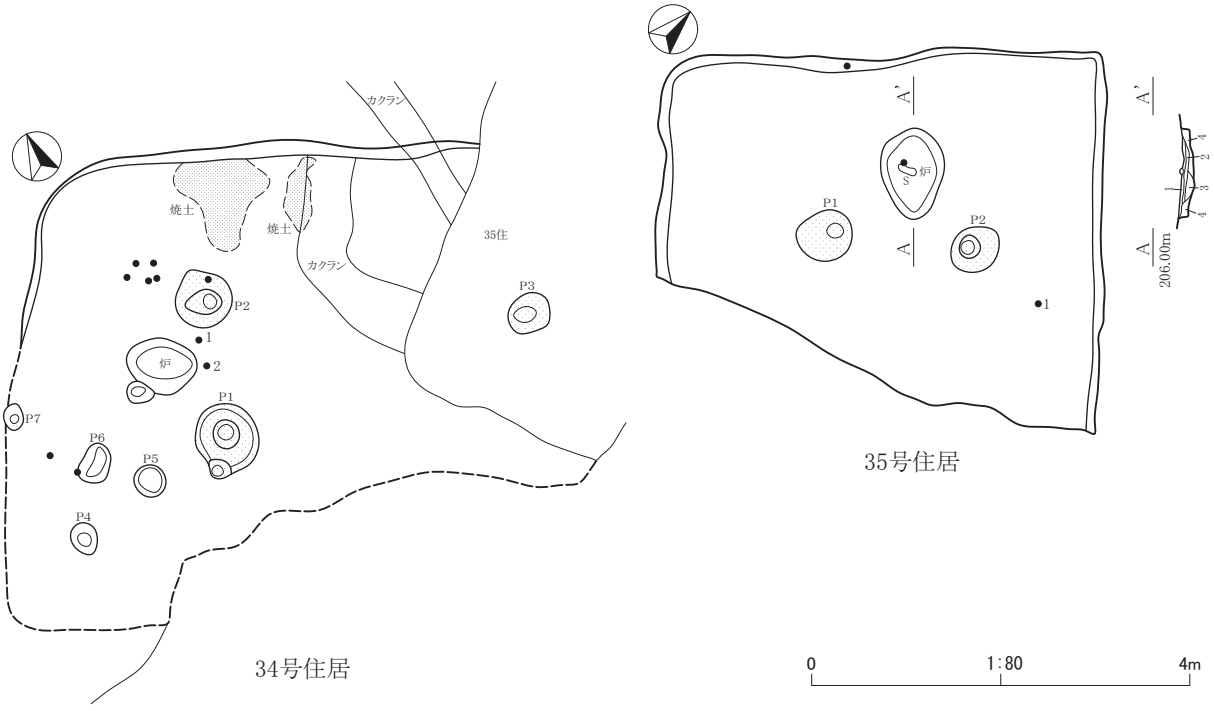


30号住居

第187図　29号・30号住居址実測図



31号住居

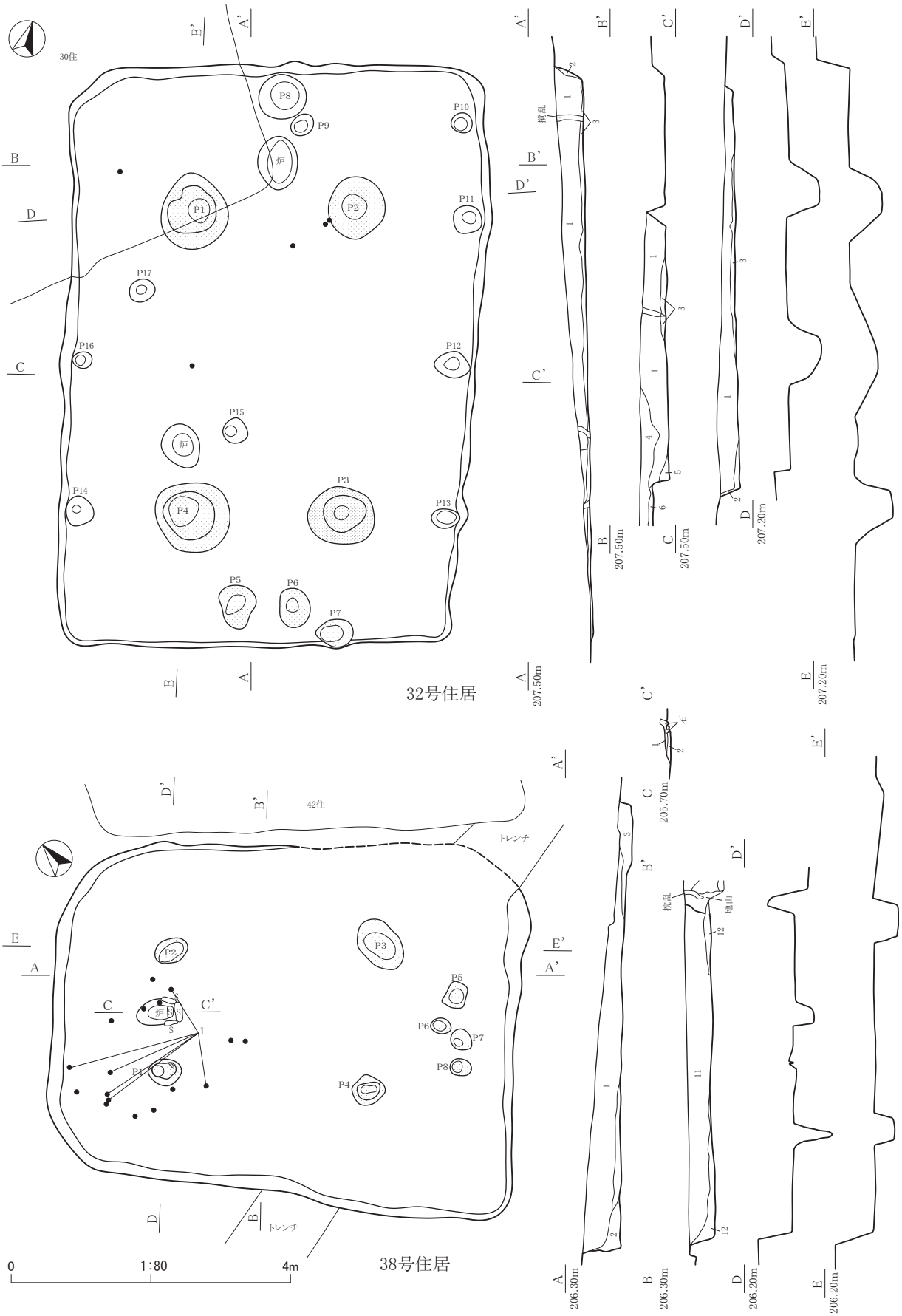


34号住居

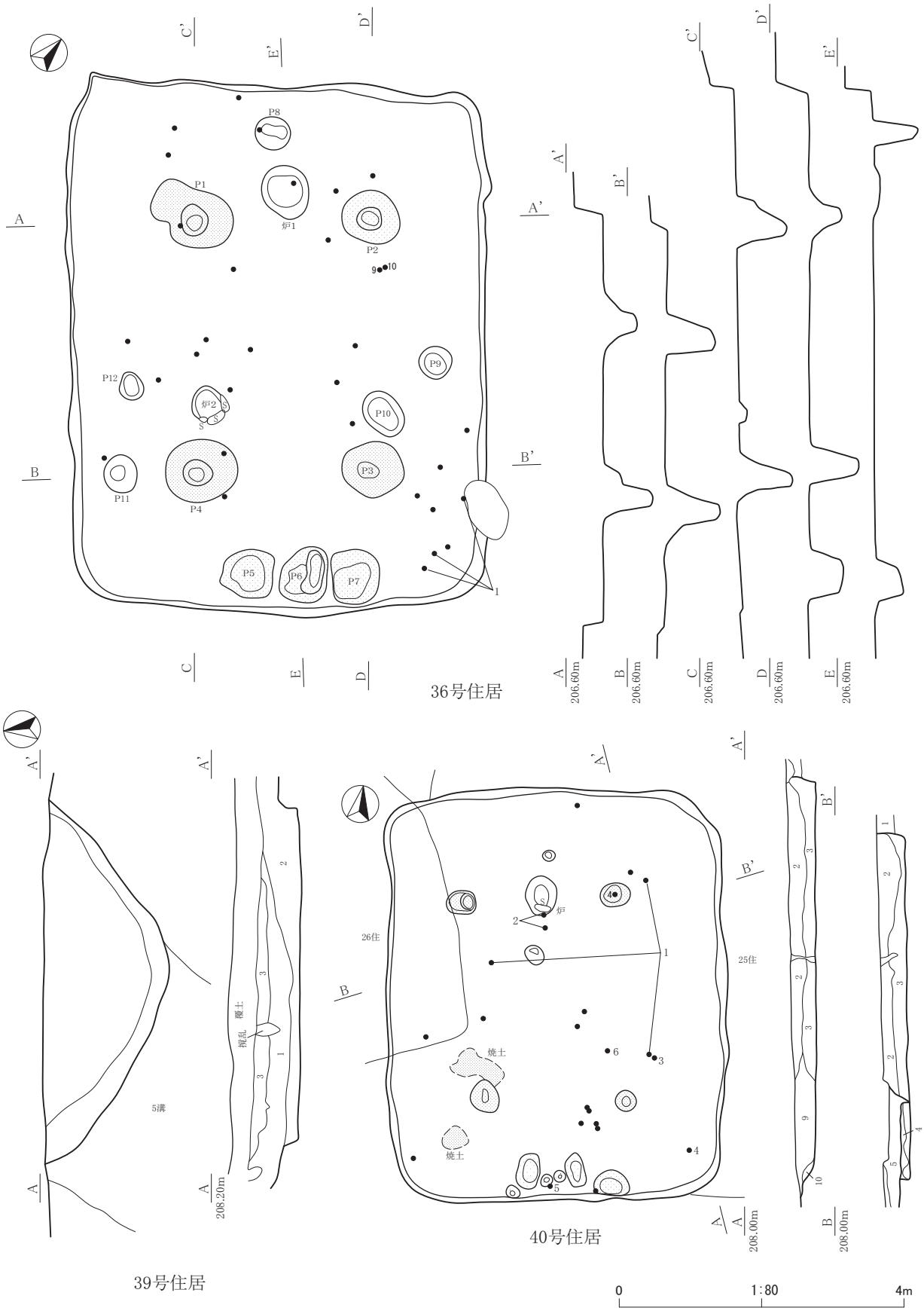
35号住居

0 1:80 4m

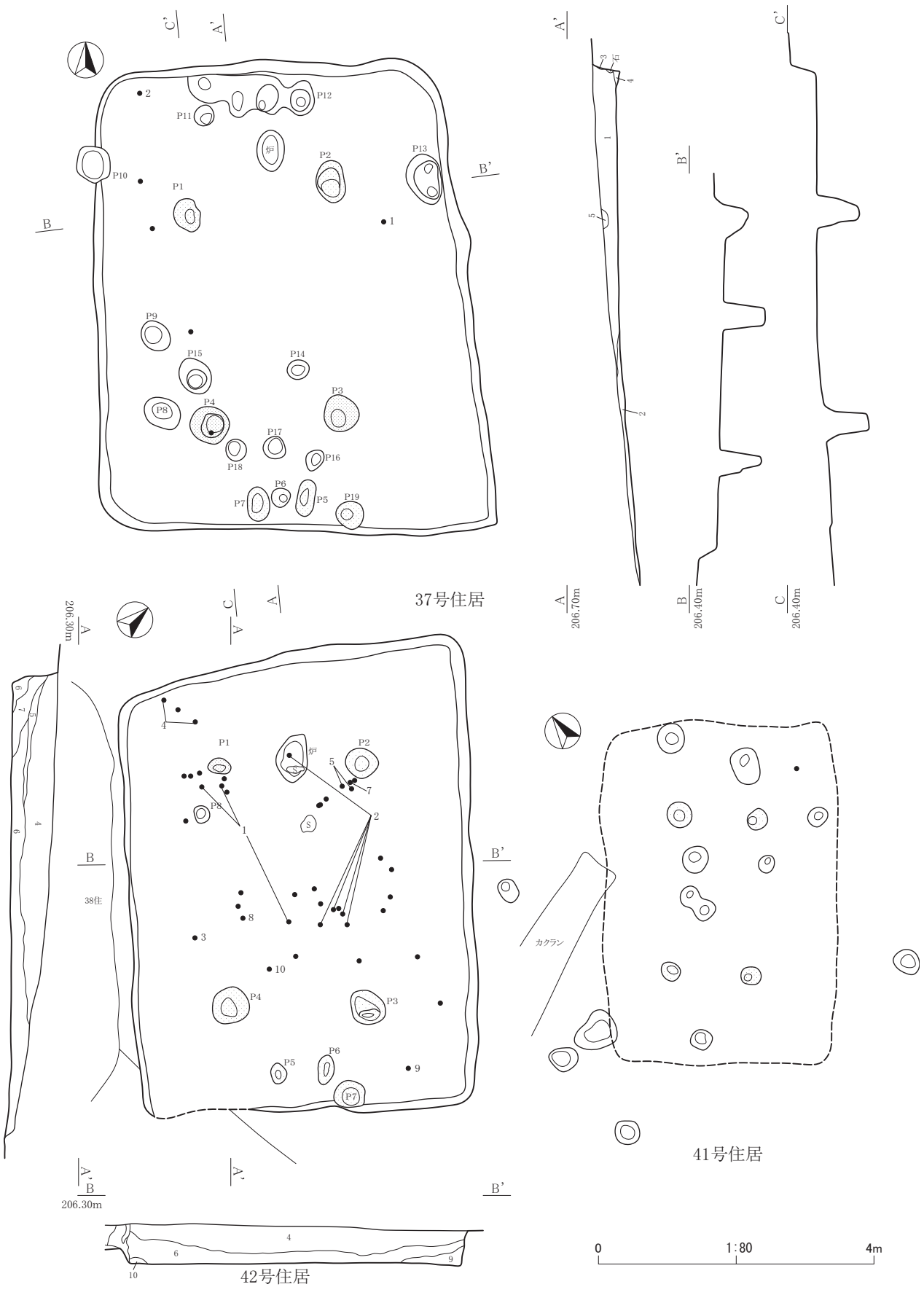
第188図　31号・34号・35号住居址実測図



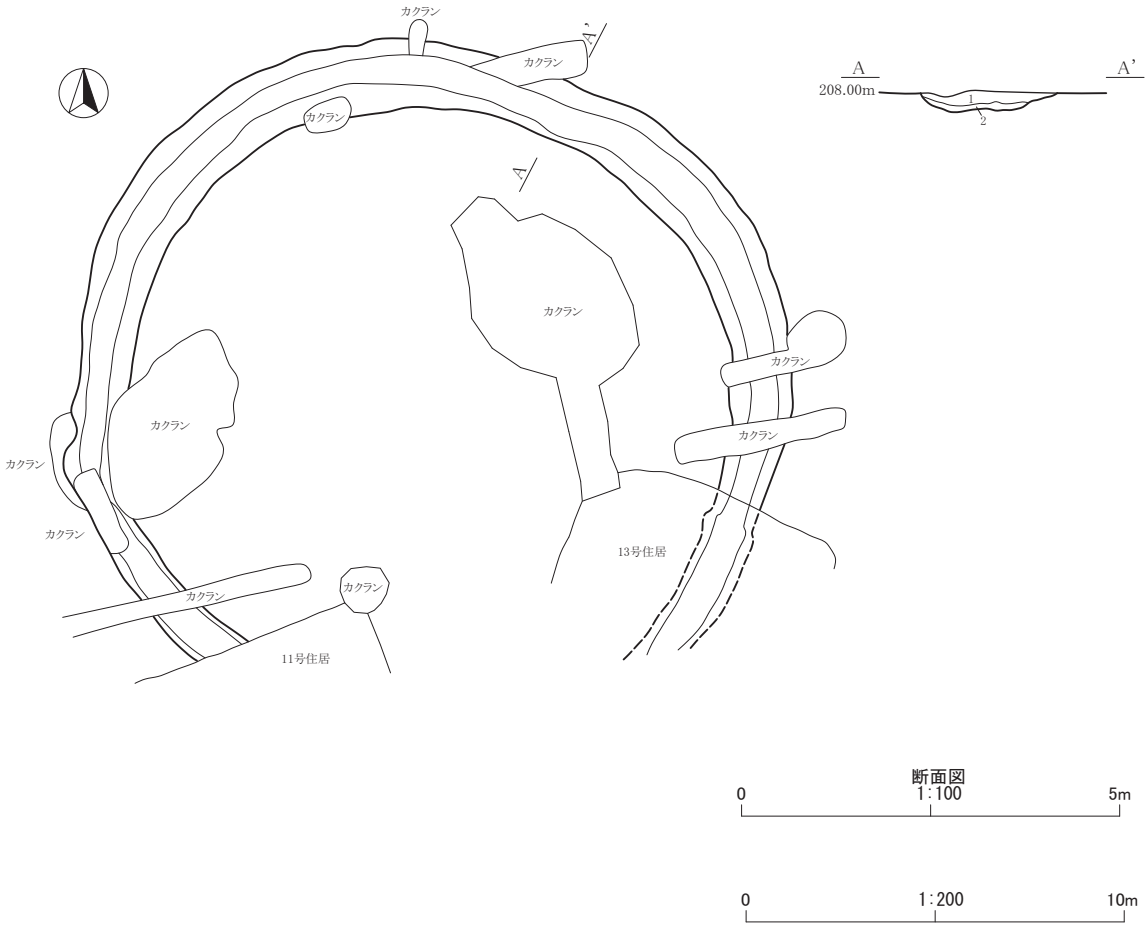
第189図　32号・38号住居址実測図



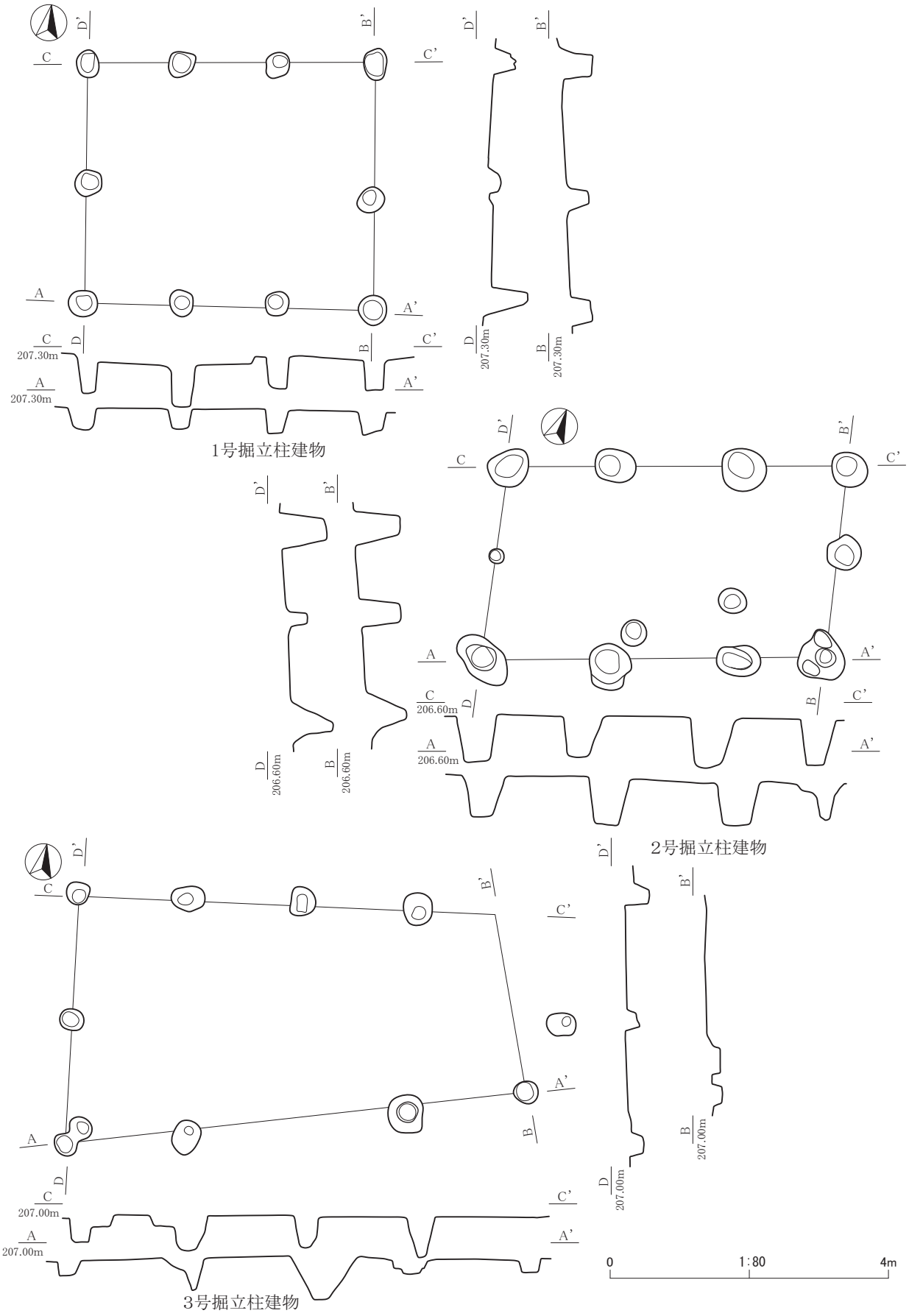
第190図　36号・39号・40号住居址実測図



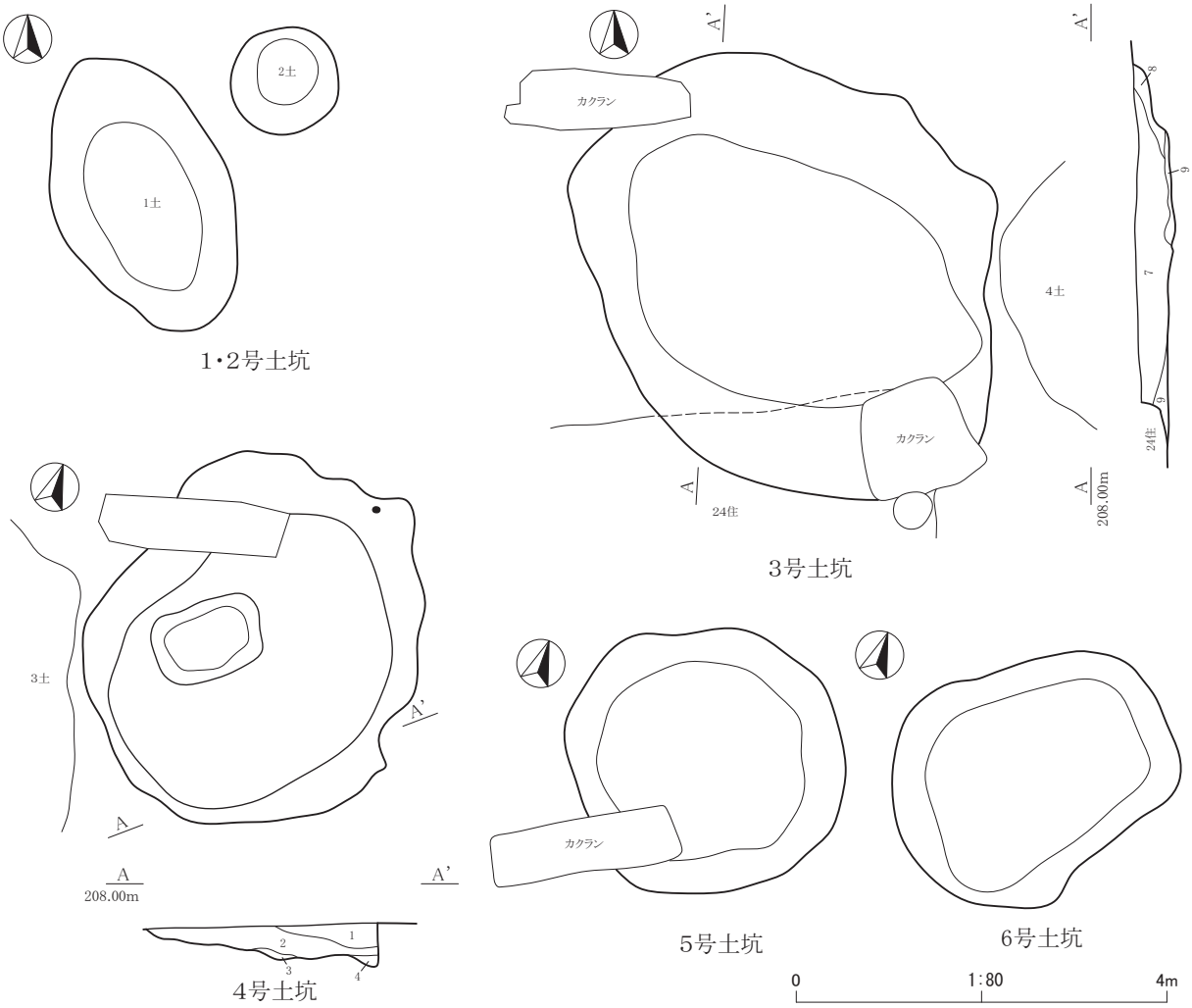
第191図　37号・41号・42号住居址実測図

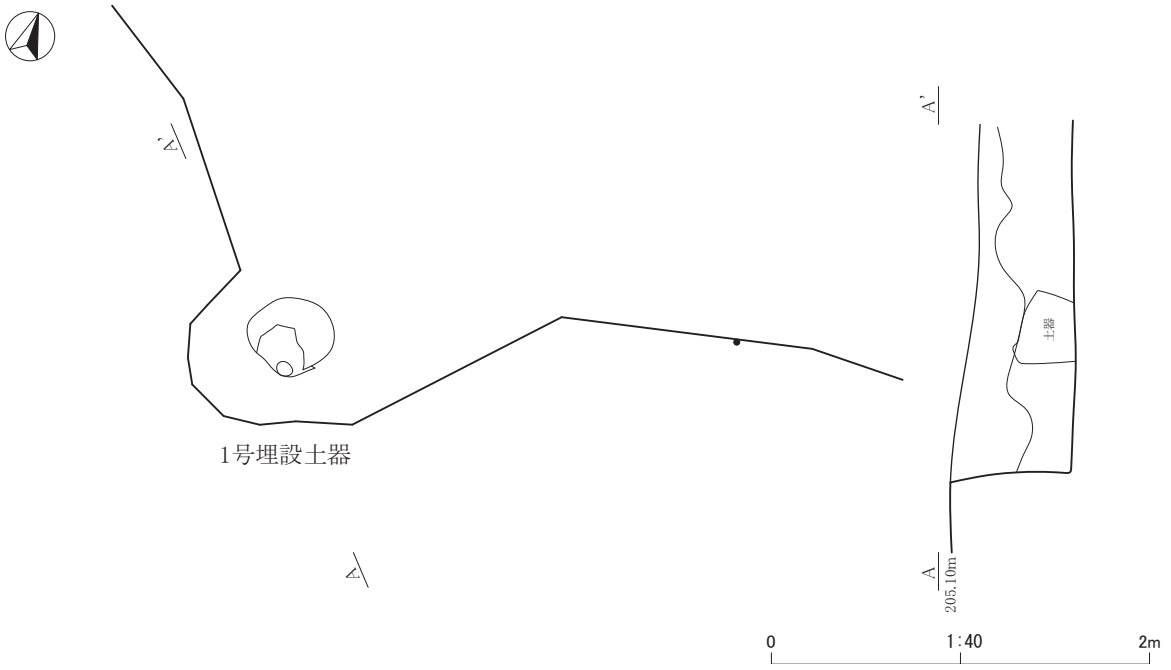


第192図　1号古墳実測図

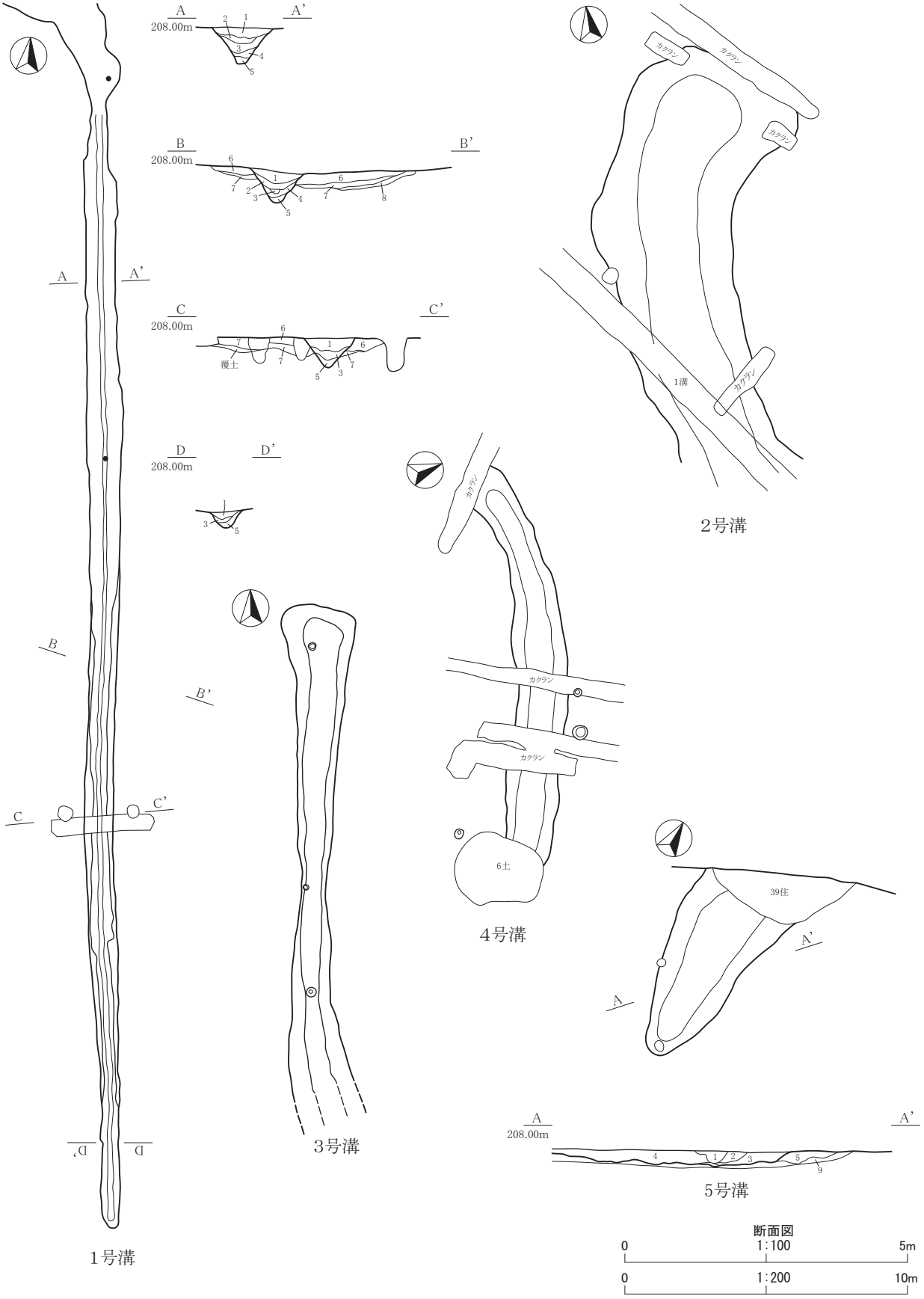


第193図　1～3号掘立柱建物址実測図





第194図　1～6号土坑・1号埋設土器実測図



第195図　1～5号溝実測図

1号住居（A-A'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	灰色土	グライ化しており灰色を呈す(灰色の中に鉄分が酸化してサビた色調を呈す)	
2	暗褐色土	黒色土を多量に含む。軽石の粒を含む	
3	暗褐色土	ローム粒を少量含む。微量の軽石を含む	
4	暗褐色土	ロームブロックを少量含む	
5	褐色土	ロームブロックを多量に含む	

2号住居（A-A', B-B', C-C'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	ローム粒・炭化粒を含む。φ10㎜前後の黄色パミスを少量含む	
2	暗褐色土	(他の層より淡い色調)ロームブロック・ローム粒を多量に含む。黄色パミスを１層より多く含む	
3	暗褐色土	ローム粒を少量含む。φ数㎜前後の黄色パミスを少量含む	
4	暗褐色土	３層に同じ(ローム粒は微量)	
5	暗褐色土	φ数㎜の白色パミスを含む。ローム粒を少量含む	古墳周溝
6	褐色土	ローム粒・ロームブロックを含む。白色パミスを少量含む	
7	暗褐色土	白色パミスを含む。（５層より多い）　ローム粒を少量含む	

4号住居土層注記なし

3号住居（A-A', B-B'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	φ数㎜の白色パミスが多量に混入	
2	暗褐色土	φ数㎜の黄色パミスを多量に含む。ローム粒を含む。ロームブロックをごく微量に含む	
3	黒褐色土	φ数㎜の黄色パミスを微量に含む。ローム粒を少量含む	
4	褐色土	ローム粒・ロームブロックを多量に含む(崩落による流込)	
5	褐色土	ローム粒・ロームブロックを含む。φ数㎜の黄色パミスを少量含む	
6	暗褐色土	炭化材の粒を少量含む	
7	黒色土	炭化粒を微量に含む	
8	暗褐色土	ロームブロックを含む(床直上に)	
9	暗褐色土	φ数㎜の白色パミスを少量含む	

5号住居（A-A'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	白色パミスを多量に含む。軽石を少量含む	1溝
2	暗褐色土	ローム粒を微量に含む。白色パミスをごく微量含む	
3	褐色土	ロームブロックに暗褐色土を少量含む(Ｈ５の壁の一部が崩落)	
4	暗褐色土	白色パミスにローム粒を多量に含む	
5	暗褐色土	ローム粒(少量)に軽石の層。白色パミスを少量含む(大半は軽石)	
6	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む	
7	暗褐色土	白色パミスに軽石を多量に含む	
8	暗褐色土	１の層に同じ	
9	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む。白色パミスを少量含む	
10	暗褐色土	ローム粒を微量に含む。炭化粒が多量に混入	
11	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックに炭化粒を少量含む	
12	褐色土	ローム粒・ロームブロックに黒色土を微量に含む(崩落)	
13	褐色土	ロームブロックに焼土粒・炭化粒を微量に含む	
14	暗褐色土	白色パミスにローム粒を微量に含む	

6号住居（A-A'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗灰褐色土	表土(耕作土)　軽石を含む	
2	褐色土(淡い)	グライ化した層。φ数㎜の白色パミスを多量に含む	
3	暗褐色土	白色パミスを多量に含む	
4	暗褐色土(３層より淡い)	φ数㎜の黄色パミスを含む。炭化粒・ローム粒を微量に含む	
5	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを含む	
6	暗褐色土	５層に同じ	

7号住居（A-A'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	白色パミスを多量に含む	

8号住居（A-A'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	白色パミスを少量含む	
2	褐色	Ｂ軽石(レンズ状に堆積)	
3	暗褐色土	φ数㎜の白色パミスを多量に含む。φ数㎜の黄色パミスを少量含む	
4	暗褐色土	(３層より淡い)　炭化粒を多量に含む。ローム粒を含む	
5	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを少量含む。炭化粒をほとんど含まないため４層と区別	
6	暗褐色土	ローム粒を少量含む。炭化粒をほとんど含まない	

第92表　１～３号・５～８号住居址土層注記

9号住居（A-A'）　5号溝（A-A'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	軽石(B？)を多量に含む	
2	暗褐色土	軽石を少量含む	
3	暗褐色土	軽石を少量含む。ローム粒を微量に含む	5溝
4	暗褐色土	3層に同じ	
5	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを少量含む	
6	暗褐色土	ローム粒を微量に含む。φ数㎜前後の白色パミスを少量含む	
7	暗褐色土	ローム粒を少量含む	9H
8	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを少量含む	
9	褐色土	ローム粒・ロームブロックを少量含む	

10～18号住居土層注記なし

19号住居（A-A', B-B'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	炭化粒が少量混入。川原石・ロームブロックが混入。φ数㎜以下白色パミス多量に混入	
2	暗褐色土	ロームブロック・焼土粒・炭化材が多量に混入	
3	暗褐色土	ローム粒・焼土粒・炭化材を多量に含む	
4	明褐色土	ロームブロック・ローム粒(崩落流込み)	
5	褐色土	ロームブロック・ローム粒にφ数㎜以下の白色パミスが少量混入	
6	暗赤褐色土	焼土ブロック	
7	暗褐色土	2層に同じ	

20号住居（A-A', B-B'）　30号住居（A-A'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	軽石を多量に含む。ローム粒を微量に含む	
2	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを少量含む	20H
3	暗褐色土	軽石を微量に含む	
4	明褐色土	ローム粒・黄色パミスφ数㎜を含む。炭化材(粒)を多量に含む	
5	淡い暗褐色土		30H
6	褐色土	ロームブロック・粘土ブロック(黄白色を呈す)の層	

21号住居（A-A', B-B'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	φ数㎜の白色パミスを多量に含む	
2	暗褐色土	焼土粒・炭化材を多量に含む	
3	褐色土	ローム粒を少量含む。φ数㎜の黄色パミスを微量に含む	
4	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを含む	
5	暗褐色土	φ数㎜の白色パミスに軽石(B)を微量に含む	3溝
6	褐色土	ロームブロックを少量含む。φ数㎜の白色パミスを微量に含む	

24号住居（A-A', B-B'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	黒色土にローム粒。φ数㎜の黄色パミスを含む	
2	暗褐色土	1層よりローム粒を多量に含む	

25号住居（A-A', B-B'）　26号住居（A-A'）　40号住居（A-A', B-B'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	φ数㎜の白色パミスが多量に混入。ローム粒が微量に混入	25H
2	暗褐色土	φ10㎜前後の白色パミスが混入	
3	暗褐色土	焼土粒・炭化材(ブロック)が多量に混入。φ数㎜の黄色パミスを多量に含む	40H
4	褐色土		
5	暗褐色土	ローム粒を微量に含む。φ数㎜前後の白色パミスを含む	26H
6	暗褐色土	ローム粒を少量含む。白色パミスを含む	26H
7	暗褐色土	ロームブロックに軽石を多量に含む	
8	褐色土	ロームブロック・ローム粒を含む	26H
9	赤暗褐色土	焼土ブロック・炭化材・ロームブロックを多量に含む	40H
10	褐色土	ロームブロック(崩落)	
11	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを多量に含む	25H
12	暗褐色土	ロームブロック(少量)にφ数㎜の白色パミスを少量含む	
13	暗褐色土	ローム粒を微量に含む	

26号住居土層注記なし

27号住居（A-A', B-B'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	軽石に川原石を多量に含む	
2	暗褐色土	焼土粒と炭化材を多量に含む	
3	明褐色土	ロームブロックに褐色土(崩落)	
4	暗褐色土	ローム粒に焼土粒と炭化材(細)を含む	
5	褐色土	ローム粒を多量に含む(崩落)	
6	褐色土	ローム粒を多量に含む	
7	暗褐色土	ローム粒を少量含む	
8	褐色土	ロームブロックを多量に含む(流込み)	
9	暗褐色土	大きな川原石を含む軽石の層	
10	褐色土	ロームブロックを含む	
11	暗褐色土	ローム粒を多量に含む。焼土粒を微量に含む	

※炉の土層注記なし

第93表　9号・19～21号・24号・25号・27号住居址土層注記

28．29号住居土層注記なし

30号住居（B-B'）　32号住居（A-A'，B-B'，C-C'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	φ数㎜～10㎜ぐらいの白色パミスを多量に含む	32H
2	褐色土	φ数㎜～10㎜ぐらいの白色パミスを少量含む。ローム粒・ロームブロックを多量に含む	
3	暗褐色土	φ数㎜ぐらいの白色パミス・黄色パミスにローム粒を多量に含む	
4	暗褐色土	軽石(Ｂ？)を含む。φ数㎜の白色パミスを少量含む	30H
5	暗褐色土	ローム粒を微量に含む。φ数㎜の黄色パミスを少量含む	32H
6	褐色土	ローム粒・ロームブロックを多量に含む(H-030の床直上)	30H

31号住居（A-A'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	φ数㎜の黄色パミス・炭化材を少量含む	
2	暗褐色土	ローム粒を少量含む。１層とのきわにローム粒多量	
3	暗褐色土	φ５㎜前後の黄色パミスを少量含む(黒い色調)	
4	暗褐色土(淡い)	ローム粒・ロームブロックを少量含む	
5	暗褐色土	SI034(H-034)の貼り床(ローム粒にスコリア等を多量に含んだ層)	

31号住居（炉）（B-B'，C-C'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土(黒褐色に近い)	炭化粒に焼土粒を多量に含む	
2	褐色土	炭化粒(少量)に焼土粒・焼土ブロックを多量に含む	
3	褐色土	地山に微量の焼土粒が混入	
4	暗褐色土	炭化粒と焼土粒を含む	
5	褐色土	焼土粒を多量に含む	

34号住居土層注記なし

35号住居（炉）（A-A'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	焼土粒・焼土ブロックを多量に含む	
2	火焼部	焼土ブロック	
3	暗褐色土	(１より明褐色土)ローム粒・黄色パミス	
4	暗褐色土	地山	

37号住居（A-A'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	φ数㎜の黄色パミスを少量含む。炭化物を微量に含む	
2	褐色土	ローム粒を多量に含む(自然石が床にささった状態)	
3	明褐色土	崩落によりロームブロックの混入	
4	黒褐色土	酸化鉄？(地山)が床の一部として堆積(黒褐色で少し赤みを帯びる)	
5	暗褐色土	軽石粒(Ｂ？)が混入	

38号住居（A-A'，B-B'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	φ５㎜前後の黄色パミス・スコリアを多量に含む。炭化材を少量含む	
2	暗褐色土	ロームブロック(少量)にφ５㎜前後の黄色パミス・スコリアを多量に含む	
3	暗褐色土	φ数㎜の白色パミスを少量含む	
4		貼り床部分で、11層と12層の間にロームブロックが微量の混入	

38号住居（炉）（C-C'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	赤褐色	火床部(焼土・炭化物を多量に含む)	
2	暗褐色	焼土粒・炭化物を含む	

※本来は石囲炉であったものがいくつかぬき取られた可能性が指摘される

39号住居（A-A'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	(黒褐色に近い)川原石(やや大きめ)がいくつか混入	５溝
2	暗褐色土	ローム粒を微量に含む	
3	褐色	Ｂ軽石を多量に含む。黒色土を少量含む	５溝

42号住居（A-A'，B-B'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	φ10㎜弱の黄色パミスを多量に含む(６層よりもローム粒・ロームブロックを多量に含む。φ数㎜の細かい白色パミスを多量に含む)	
2	暗褐色土	φ10㎜弱の黄色パミスを多量に含む。炭化材を多量に含む	
3	暗褐色土	φ５㎜前後の黄色パミスを多量に含む。炭化粒を微量に含む	
4	暗褐色土	(５層よりも暗い色調)炭化粒・黄色パミス(スコリア？)を多量に含む	
5	暗褐色土	崩落。φ㎜の黄色パミスを含む(炭化粒がほとんど含まれず淡い色調を呈す)	
6	暗褐色土	３層に比べてφ数㎜の黄色パミスを少量含む	
7	暗褐色土	(３層よりも淡い色調)φ数㎜の白色パミスを多量に含む	

１号古墳

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	φ数ミリの白色パミスを含む。ローム粒を少量含む	
2	褐色土	ローム粒・ロームブロックを少量含む。黒色土を少量含む	

第94表　30号・31号・35号・37～39号・42号住居址、１号古墳土層注記

1号溝（A-A', B-B', C-C', D-D'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	軽石を多量に含む	
2	暗褐色土	軽石を多量に含む。ローム粒を少量含む。小石(砂利)が複数混入	
3	暗褐色土	軽石を含む。ローム粒を多量に含む	
4	暗褐色土	軽石を少量含む。ローム粒を多量に含む。ロームブロックを少量含む	
5	褐色土	軽石を多少含む。ローム粒・ロームブロックを多量に含む	
6	暗褐色土	軽石(Ag-B)がレンズ上に堆積。締まりや粘性に乏しい	
7	暗褐色土	軽石(Ag-B)を少量含む。黄色パミスを少量含む。より黒色に近い暗褐色を呈する	
8	褐色土	ローム粒・ロームブロックを多量に含む	

3号土坑（A-A'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	軽石を多量に含む	
2	褐色土	ロームブロックに黒褐色土を少量含む	
3	褐色土	地山？(一部掘りすぎ)　2層にほぼ同じ	

4号土坑（A-A'）

層番	層　名	土　層　中　含　有　物	備考
1	暗褐色土	軽石の層。一部茶色の軽石がレンズ状に堆積	
2	暗褐色土	軽石に微量のローム粒を含む	
3	褐色土	多量のローム粒を含む黒色土(マーブル状に堆積。流れて堆積したような状態)	
4	褐色土	マーブル状に堆積	

第95表　1号溝、3号・4号土坑土層注記

壱丁田遺跡遺構観察表

（　）推定値　〈　〉残存値

住居名	平面形態	規模				壁溝	主軸方向	主柱穴	壁際柱穴（炉の対面）	補助柱穴（壁際）	炉位置	貯蔵穴			遺物	時期	グリッド	備考
		長軸m	短軸m	深さ最大cm	深さ最小cm							長軸cm	短軸cm	深さcm				
1住	大型縦長方形	10.08	7.20	48	23	×	N-28°-W	4	3	5	北側主柱穴間住居中央寄り	72	52	53	◎	弥生	12X-83他	
2住	中型縦長方形	5.76	4.72	50	42	×	N-19°-W	4	4	—	北側主柱穴間				◎	弥生	12X-64他	1号周溝と重複
4住	大型縦長方形	8.80	5.20	24	19	×	N-3°-W	4	2	7	北側主柱穴間	80	68	52	◎	弥生	12Y-40他	
3住	大型縦長方形	11.20	7.92	73	54	×	N-28°-W	6	3	9	炉1：北側主柱穴間 炉2：南西主柱穴北 炉3：南西主柱穴北				◎	弥生	12X-58他	6号住と重複
5住	大型縦長方形	〈8.08〉	7.28	46	38	×	N-31°-W	2(4)	8	1	南西主柱穴北	100	72	40	◎	弥生	12Y-22他	1号溝と重複
6住	不明	6.08	〈1.84〉	51	37	×	N-26°-W	—	—	—	—				△	弥生	12X-48他	3号住と重複
7住	中型縦長方形	4.96	4.00	25	10	×	N-35°-W	4	2	2	北側主柱穴間壁寄り	48	36	40	△	弥生	12Y-45他	9号住と重複
8住	不明	〈3.84〉	〈2.16〉	43	39	○	—	—	—	—	—				△	弥生	12Y-24	
9住	大型縦長方形	10.40	7.20	33	13	×	N-22°-W	4	2	6	北側主柱穴間	84	44	37	◎	弥生	12Y-35他	7号住・5号溝と重複
10住	不明	(4.80)	(3.84)	17	0	×	N-35°-W	4	—	—	—				※	弥生	13X-05他	11号住と重複
11住	大型縦長方形	(6.24)	(5.28)	16	0	×	N-72°-E	—	—	—	—				※	弥生	12X-95他	10号住・1号周溝と重複
12住	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—					※	不明	12X-96他	
13住	大型縦長方形	(6.88)	(6.24)	21	0	×	N-67°-W	3(4)	—	4	—				※	弥生	12X-88他	1号周溝と重複
14住	大型縦長方形	7.68	5.84	33	24	×	N-53°-W	4	3	8	炉1：西側主柱穴間 炉2：南主柱穴西	72	44	33	◎	弥生	12Y-71他	15号住と重複
15住	中型縦長方形	(5.60)	(4.72)	21	0	×	N-65°-W	4	—	6	—				※	弥生	12Y-81他	14号20号住・3号堀立と重複
16住	大型縦長方形	6.32	(5.04)	56	43	×	N-33°-E	4	2	5	北側主柱穴間				◎	弥生	12Y-47他	17号住と重複
17住	大型縦長方形	(5.84)	5.12	52	17	×	N-16°-E	4	—	—	南側主柱穴間住居中央寄り					弥生	12Y-47他	
18住	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				※	不明	12Y-76他	
19住	大型縦長方形	(11.28)	(8.40)	49	20	×	N-35°-W	6	2	4	北側主柱穴間	60	60	53	◎	弥生	12Y-84他	
20住	中型縦長方形	5.20	4.08	18	11	×	S-79°-W	—	—	—	—				◎	弥生	12Y-83他	15号30号住・3号堀立・1号溝と重複
21住	大型縦長方形	7.12	5.68	38	8	×	N-49°-W	4	5	4	西側主柱穴間	76	48	61	◎	弥生	12Y-90他	焼土あり 29号住・1号堀立・3号溝と重複
22住	大型縦長方形	6.88	4.88	36	9	×	S-63°-W	4	2	1	西側主柱穴間	40	40	50	○	弥生	13X-09他	3号土坑と重複
23住	大型縦長方形	7.84	(5.60)	35	8	×	N-17°-W	—	—	—	—				○	弥生	13X-07他	40号住と重複
24住	大型縦長方形	(6.16)	4.56	30	25	○	S-60°-W	4	2	2	—	56	44	57	○	弥生	13X-06他	40号住・5号土坑と重複
25住	不明	〈3.12〉	6.00	60	40	×	N-2°-W	2(4)	—	—	北側主柱穴間				◎	弥生	13X-18他	焼土あり
26住	大型縦長方形	6.96	5.04	93	65	○	N-69°-W	4	—	—	炉1：西側主柱穴間 炉2：南主柱穴西	52	48	34	◎	弥生	13Y-11他	29号住・1号柵列と重複
29住	大型縦長方形	7.20	6.00	30	13	×	N-21°-W	4	3	4	北側主柱穴間				◎	弥生	13Y-01他	21号28号住・1号堀立・1号柵列と重複
30住	大型縦長方形	(6.64)	5.52	37	6	×	N-40°-W	4	—	—	北側主柱穴間				◎	弥生	12Y-93他	焼土あり 20号30号住・1号溝と重複
31住	大型縦長方形	8.00	5.92	76	56	×	N-54°-W	4	2	1	炉1：西側主柱穴間 炉2：南主柱穴西 炉3：南主柱穴北 炉4：西主柱穴壁寄り 炉5：西側主柱穴間住居中央寄り	44	44	47	◎	弥生	13Y-13他	焼土・粘土あり 1号柵列・1号溝と重複
34住	不明	〈4.40〉	(4.96)	56	0	×	N-64°-W	3(4)	—	1	西側主柱穴間壁寄り				◎	弥生	13Y-15他	焼土あり 35号住と重複
35住	不明	〈4.00〉	4.80	40	30	×	N-41°-W	2(4)	—	—	北側主柱穴間壁寄り				○	弥生	13Y-15他	34号住と重複
32住	大型縦長方形	8.32	5.92	50	3	×	N-14°-W	4	2	8	炉1：北側主柱穴間壁寄り 炉2：南西主柱穴北	52	40	53	○	弥生	13Y-04他	30号住と重複
38住	大型縦長方形	6.64	4.96	67	0	×	N-47°-W	4	4	—	西側主柱穴間				◎	弥生	12Z-80他	
36住	大型縦長方形	7.44	5.76	49	23	×	N-42°-W	4	3	—	炉1：北側主柱穴間 炉2：南西主柱穴北	76	64	48	◎	弥生	13Y-06他	
39住	不明	〈2.80〉	〈2.40〉	56	—	×	—	—	—	—	—				※	不明	12Y-26	5号溝と重複

第96表　壱丁田遺構観察表(1)

（　）推定値　〈　〉残存値

住居名	平面形態	規模 長軸m	規模 短軸m	規模 深さ最大cm	規模 深さ最小cm	壁溝	主軸方向	主柱穴	壁際柱穴（炉の対面）	補助柱穴（壁際）	炉位置	貯蔵穴 長軸cm	貯蔵穴 短軸cm	貯蔵穴 深さcm	遺物	時期	グリッド	備考
40住	中型縦長方形	5.76	4.80	45	16	×	N-8°-W	4	6	—	北側主柱穴間				◎	弥生	13X-07他	焼土あり 25号26号住と重複
37住	大型縦長方形	6.80	5.60	23	8	×	N-1°-W	4	4	3	北側主柱穴間壁寄り	40	40	47	◎	弥生	12Y-98他	
41住	中型縦長方形	(5.04)	(3.36)	—	—	×	N-38°-W	4	—	—	—				○	弥生	12Y-58他	
42住	大型縦長方形	6.80	4.96	75	2	×	N-49°-W	4	2	1	西側主柱穴間	40	40	41	◎	弥生	12Z-71他	

堀立名	平面形態	規模 長軸m	規模 短軸m	規模 ピット深さ最小cm	規模 ピット深さ最大cm	主軸方向	遺物	時期	グリッド	備考
1号	3間×2間	4.16	3.12	10	62	S-85°-W	※		13Y-01他	21号29号住・3号溝と重複
2号	3間×2間	4.96	2.72	30	73	S-66°-W	※		12Y-97他	
3号	4間×2間	6.56 6.00	3.52 2.64	19	57	S-80°-W	※		12Y-82他	15号20号住・1号溝と重複

土坑名	規模 長軸cm	規模 短軸cm	規模 深さcm	遺物	時期	グリッド	備考
1号	312	192	19	△		13X-16他	
2号	120	120	45	※		13X-17a	
3号	520	424	45	※		12X-99他	24号住と重複
4号	400	360	100	△		12Y-80他	
5号	296	280	—	※		13X-06c	26号住と重複
6号	312	256	25	※		12Y-76c	4号溝と重複

柵列名	規模 長軸m	規模 ピット深さ最小cm	規模 ピット深さ最小cm	長軸方向	遺物	時期	グリッド	備考
1号	12.32	20	54	N-49°-E	※		13Y-12他	28号29号31号住と重複

溝名	規模 上幅 最小cm	規模 上幅 最大cm	規模 下幅 最小cm	規模 下幅 最大cm	規模 深さ 最小cm	規模 深さ 最大cm	遺物	時期	グリッド	備考
1号	56	128	8	24	18	77	△		12Y-52他	5号20号30号31号住・3号堀立・2号溝と重複
2号	320	496	176	280	24	57	△		12Y-53他	1号溝と重複
3号	88	208	44	96	2	43	※		13Y-00他	21号住・1号堀立と重複
4号	112	184	56	104	8	20	△		12Y-65他	6号土坑と重複
5号	120	352	40	192	9	35	※		12Y-35他	9号39号住と重複

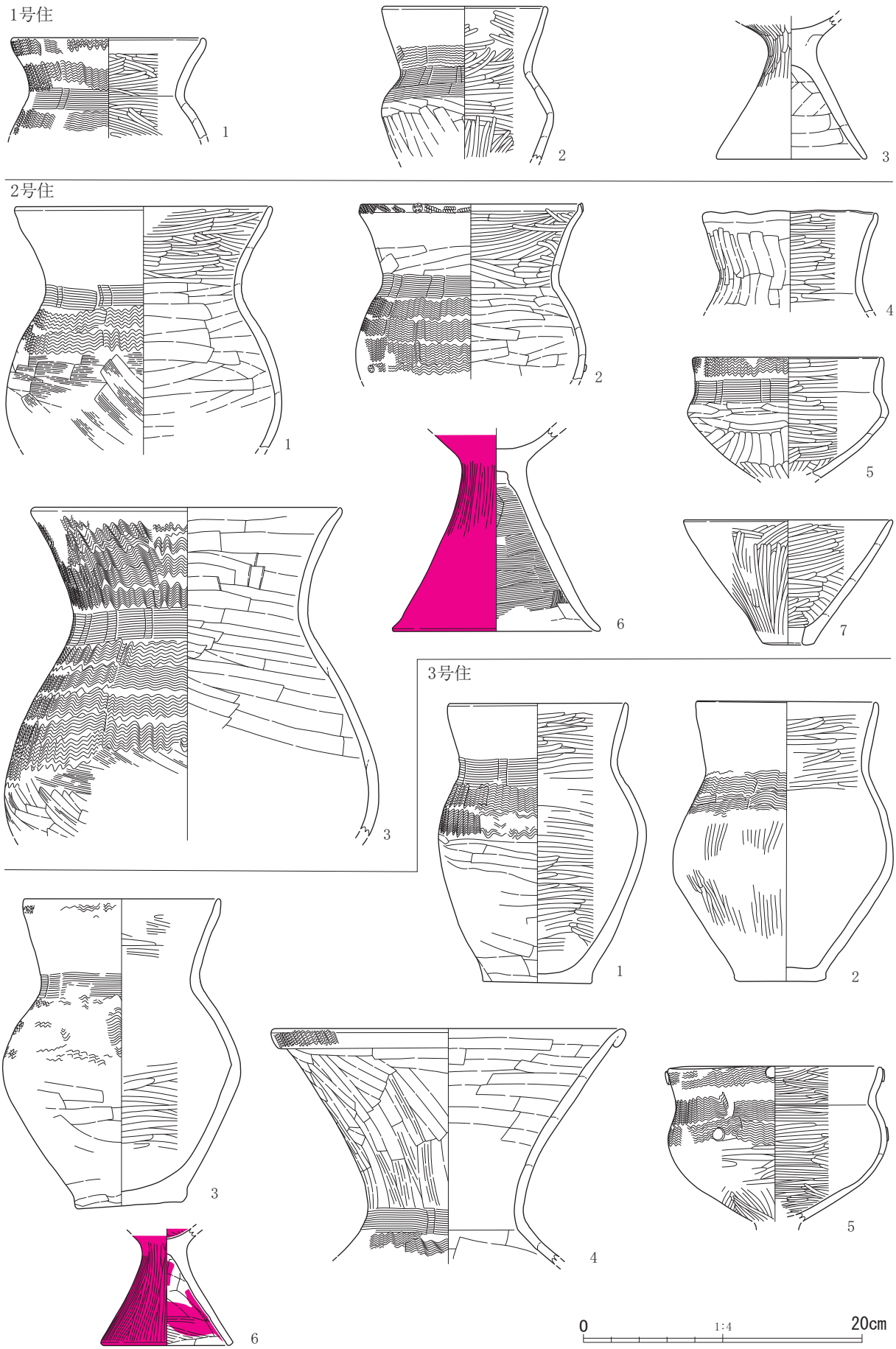
古墳名	規模 上幅 最小cm	規模 上幅 最大cm	規模 下幅 最小cm	規模 下幅 最大cm	規模 深さ 最小cm	規模 深さ 最大cm	遺物	時期	グリッド	備考
1号周堀	110	190	50	90	14	33	※		12X-67他	2号11号13号住と重複

小型4㎥以下
中型4～6㎥
大型6㎥以上

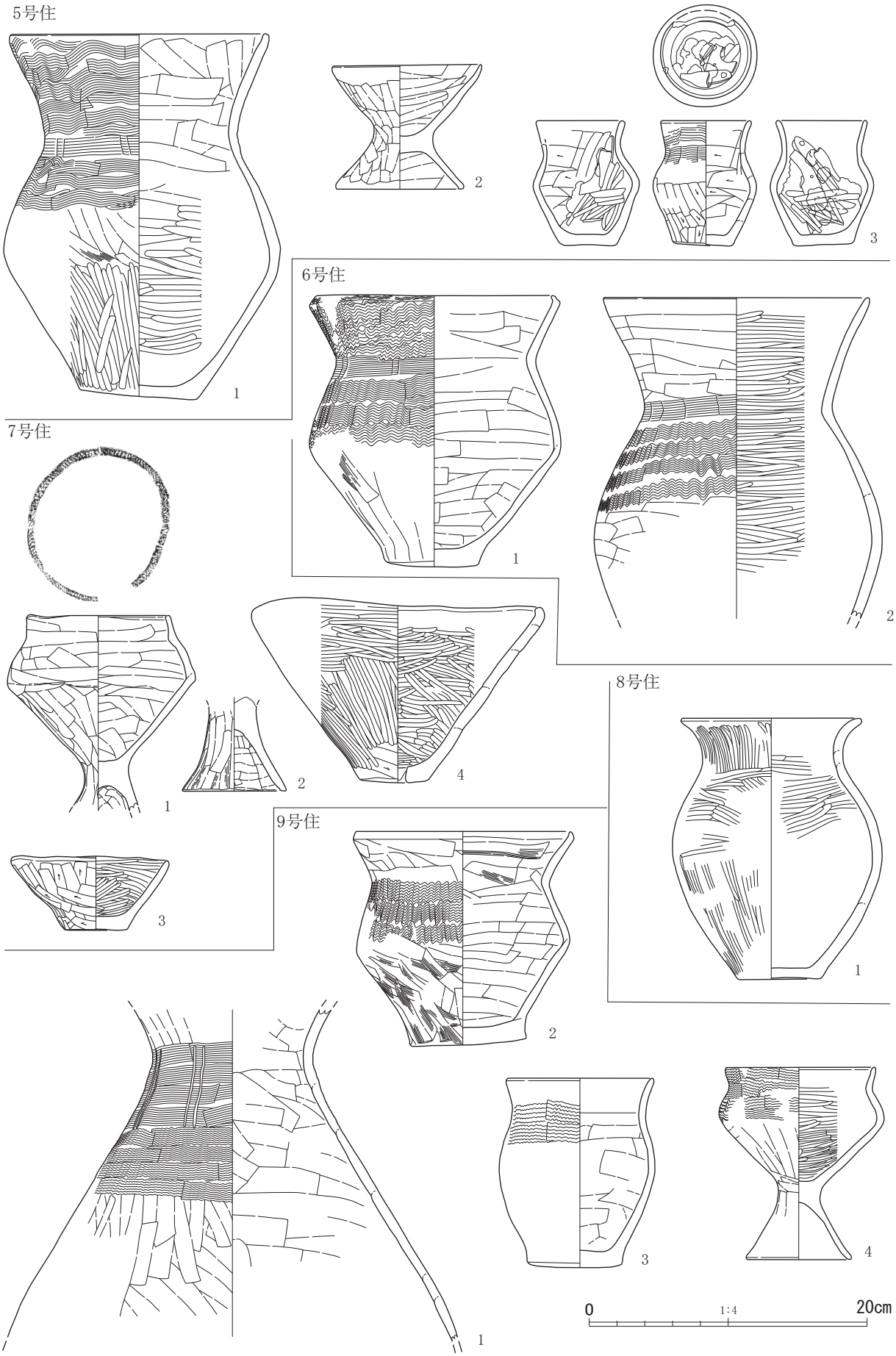
○あり
×なし

※0～1000㎡
△1000～5000㎡
○5000～10000㎡
◎10000㎡以上

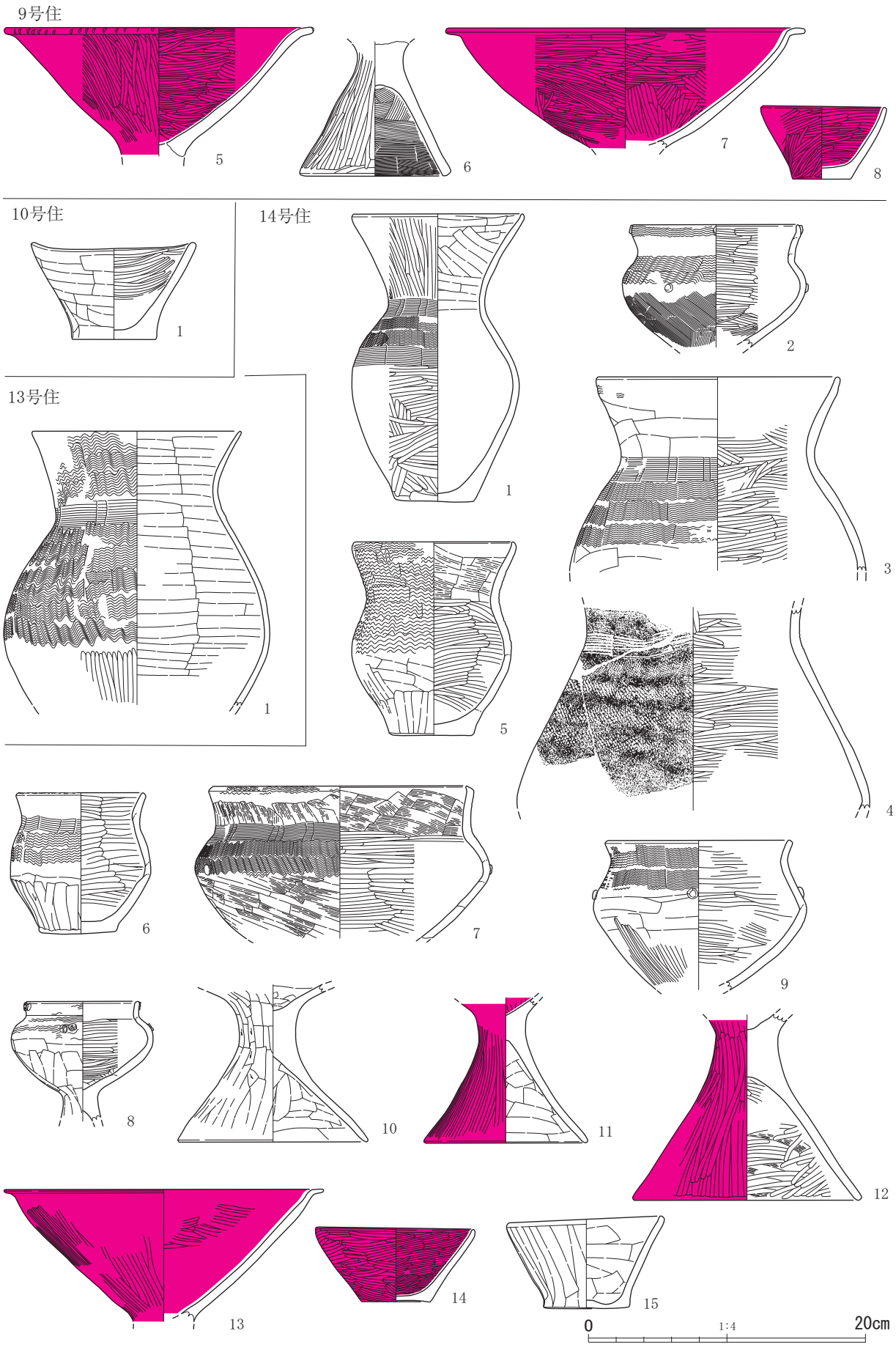
第97表　壱丁田遺構観察表(2)



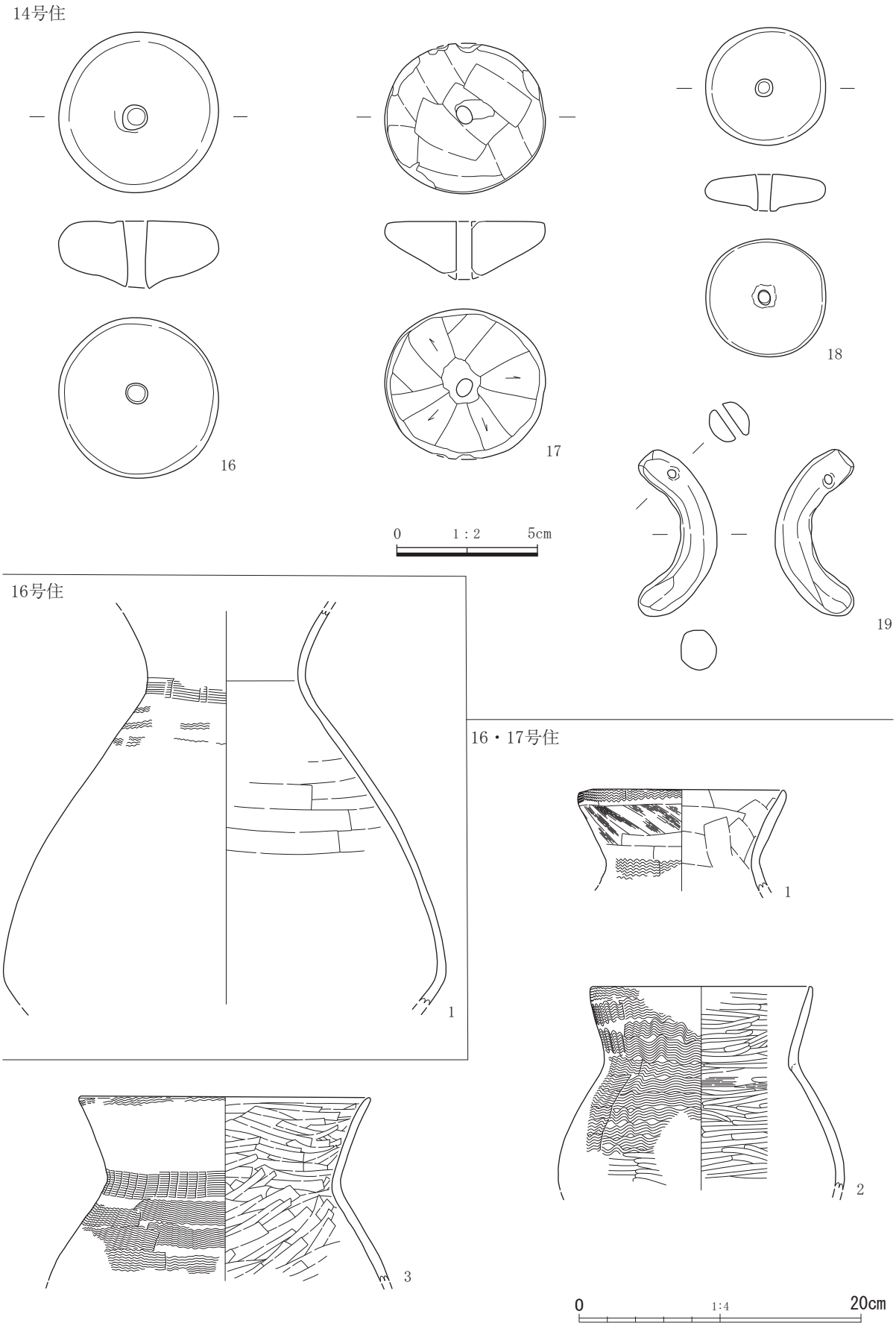
第196図　1～3号住居址出土土器実測図



第197図　５～９号住居址出土土器実測図

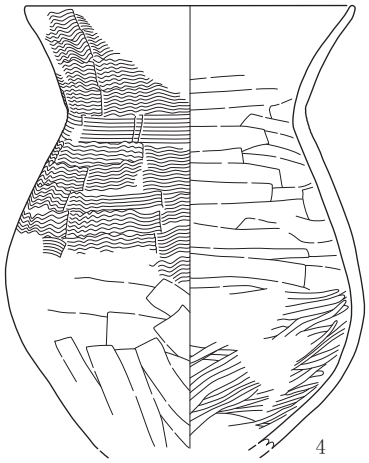


第198図　9号・10号・13号・14号住居址出土土器実測図

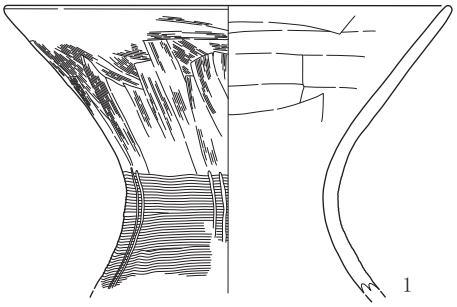


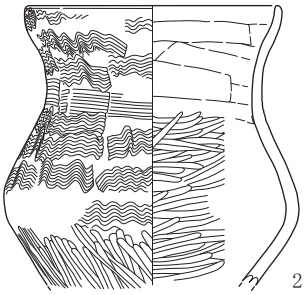
第199図　14号・16号・17号住居址出土土器実測図

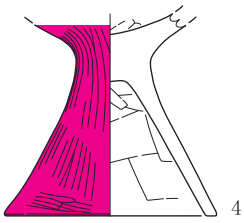
16・17号住

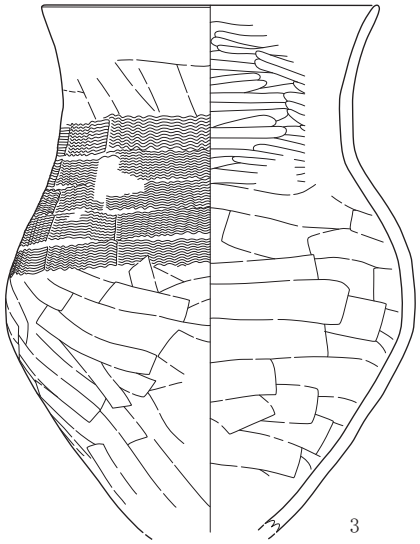


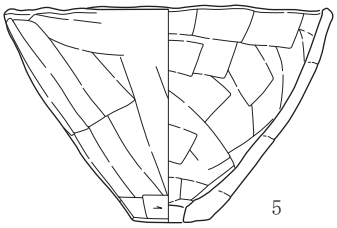
19号住

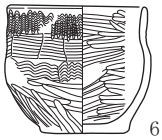




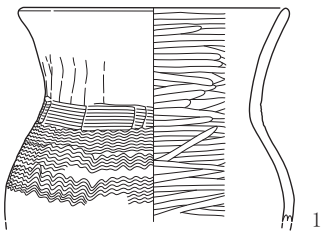


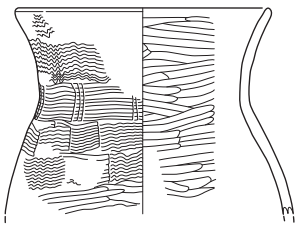


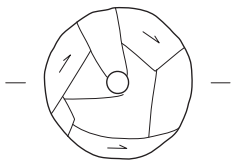


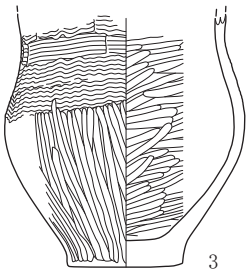


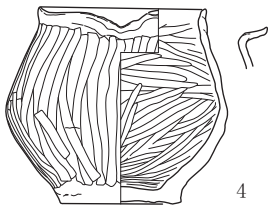
20号住

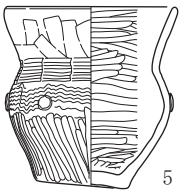


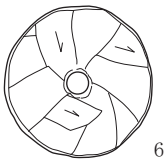


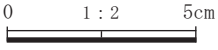




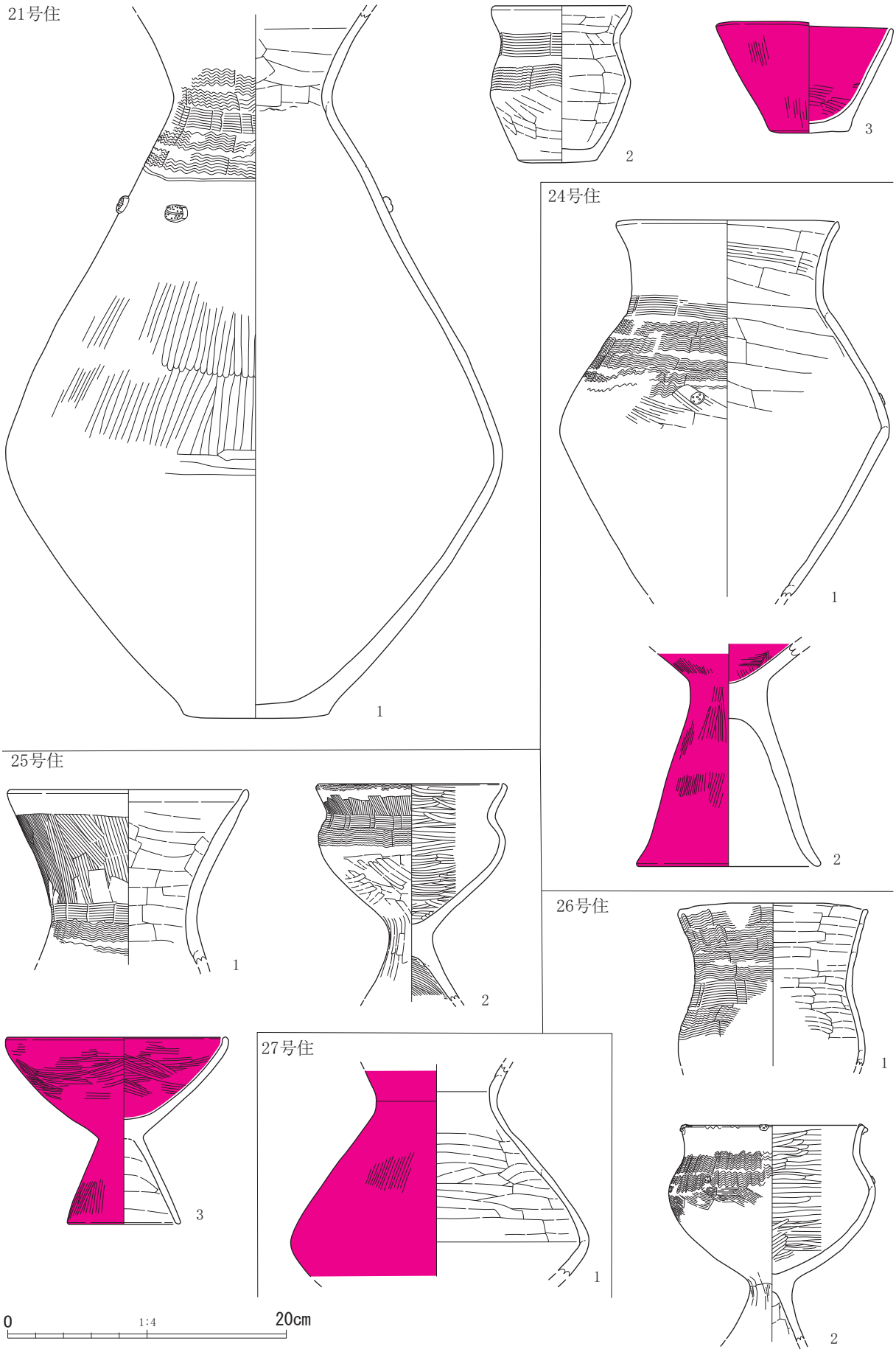




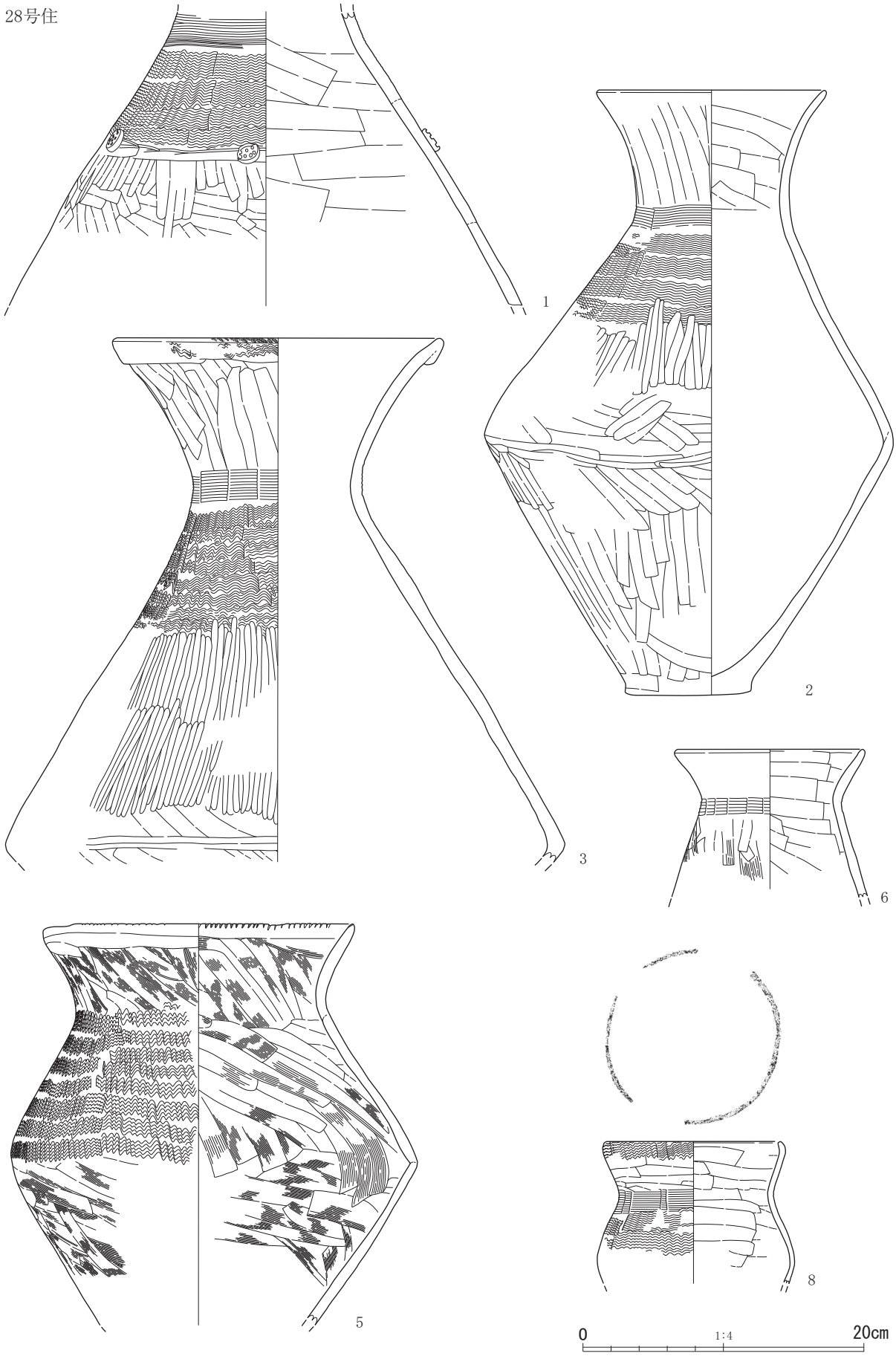




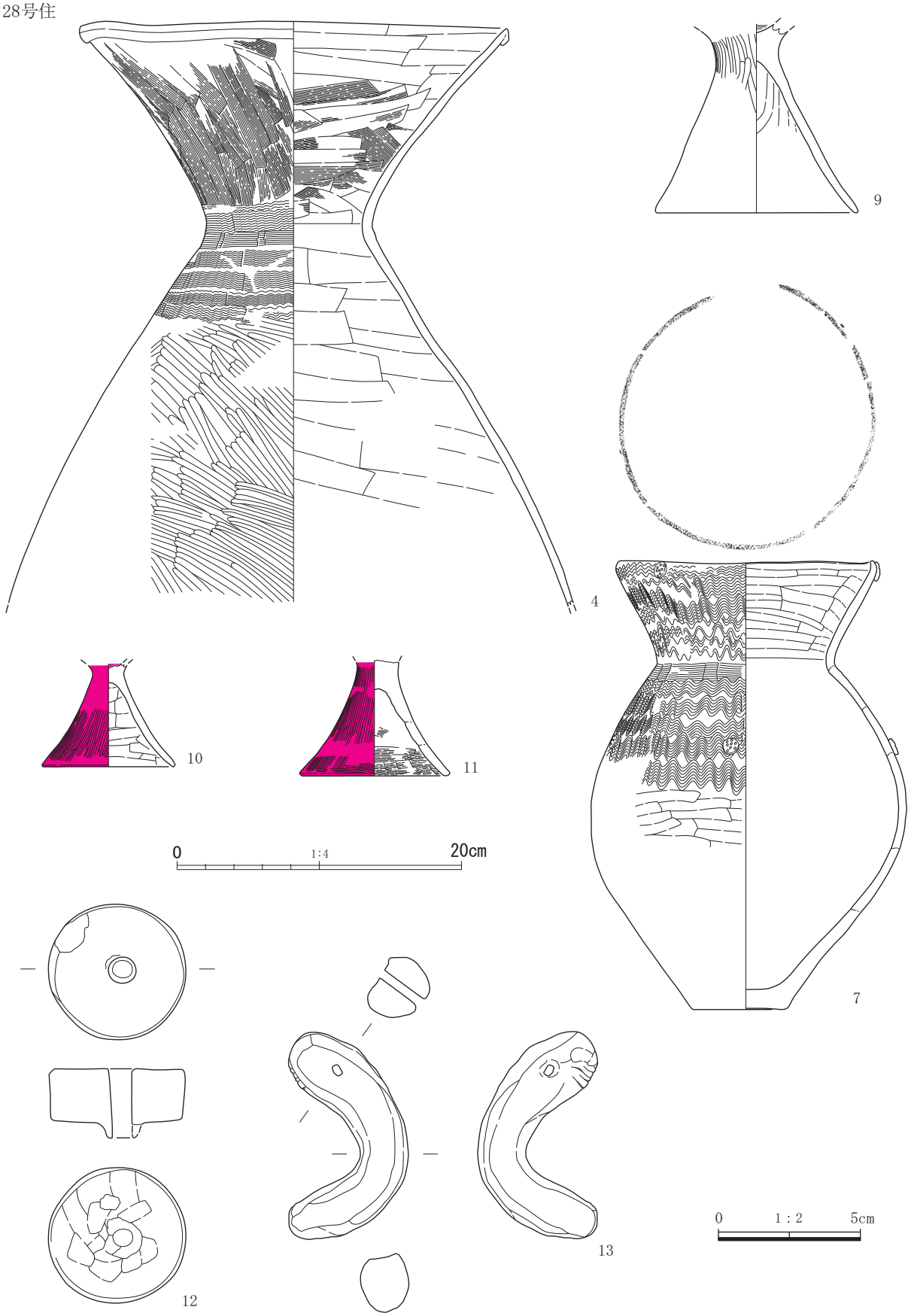
第200図　16号・17号・19号・20号住居址出土土器実測図



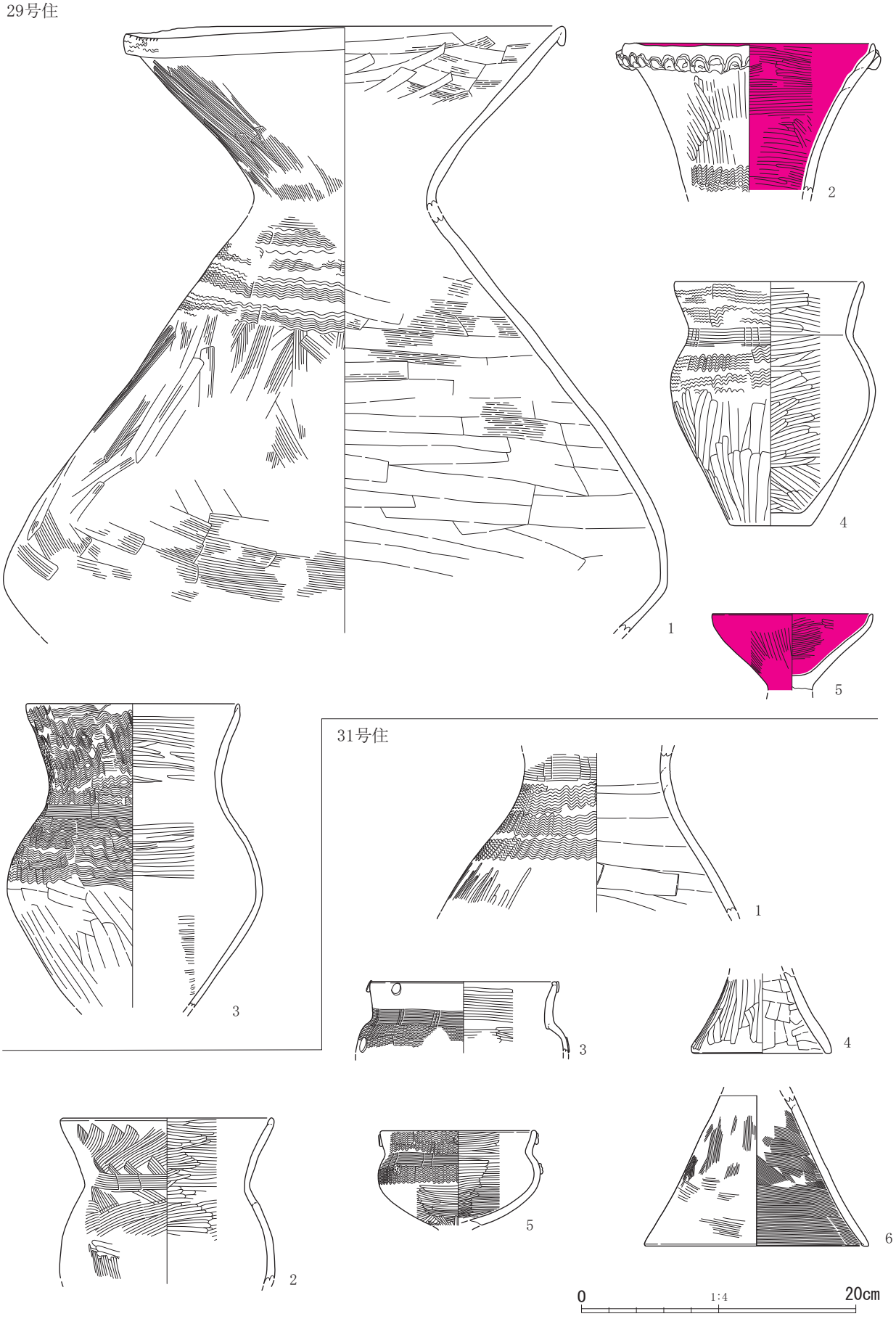
第201図　21号・24～27号住居址出土土器実測図



第202図　28号住居址出土土器実測図(1)

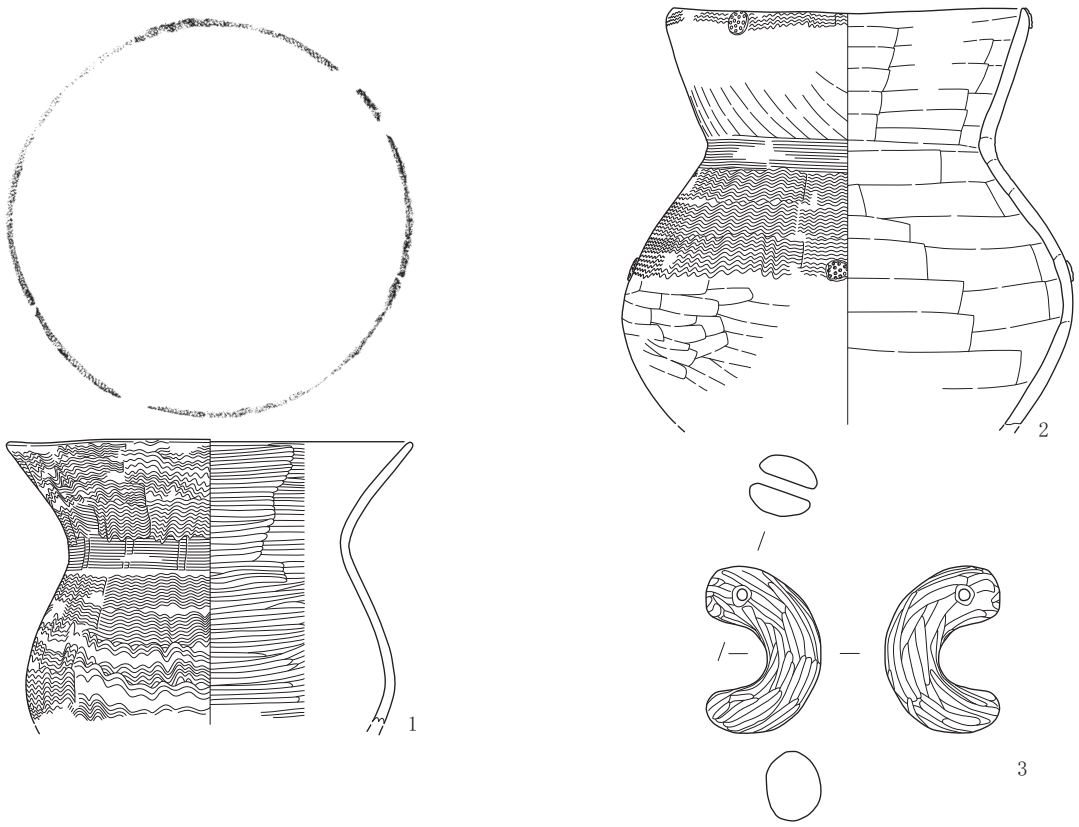


第203図　28号住居址出土土器実測図(2)

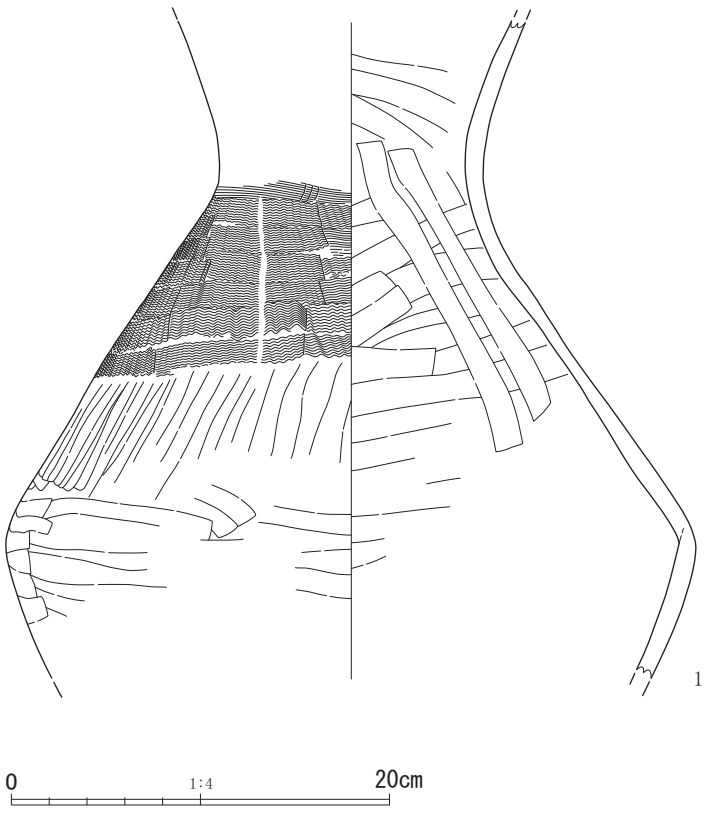


第204図　29号・31号住居址出土土器実測図

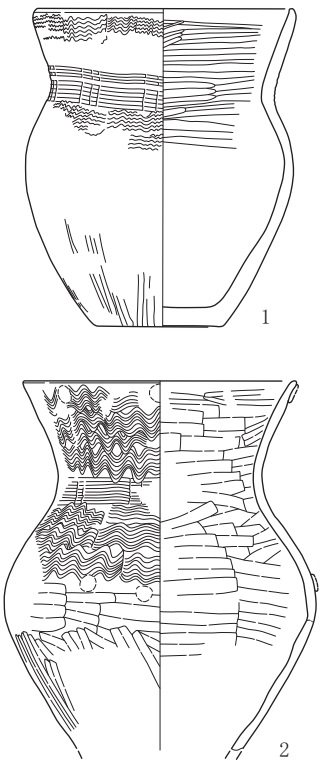
34号住



35号住

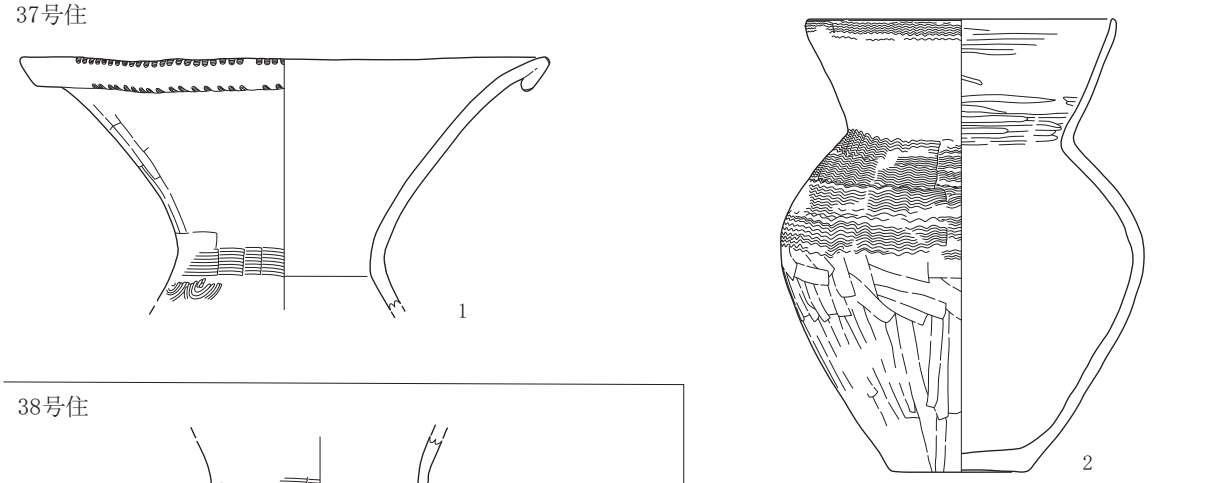


36号住

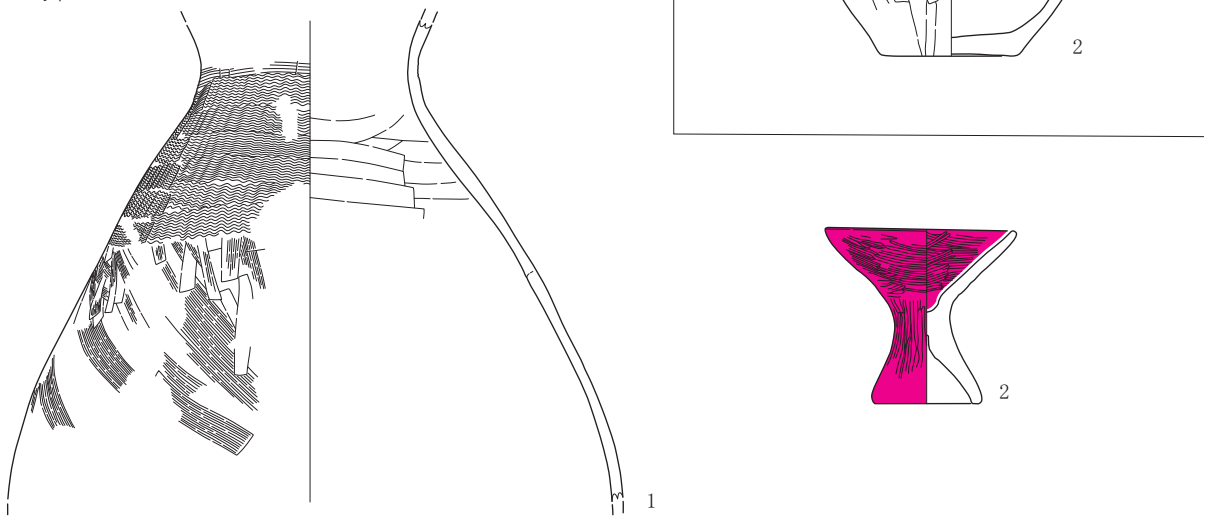


第205図　34～36号住居址出土土器実測図

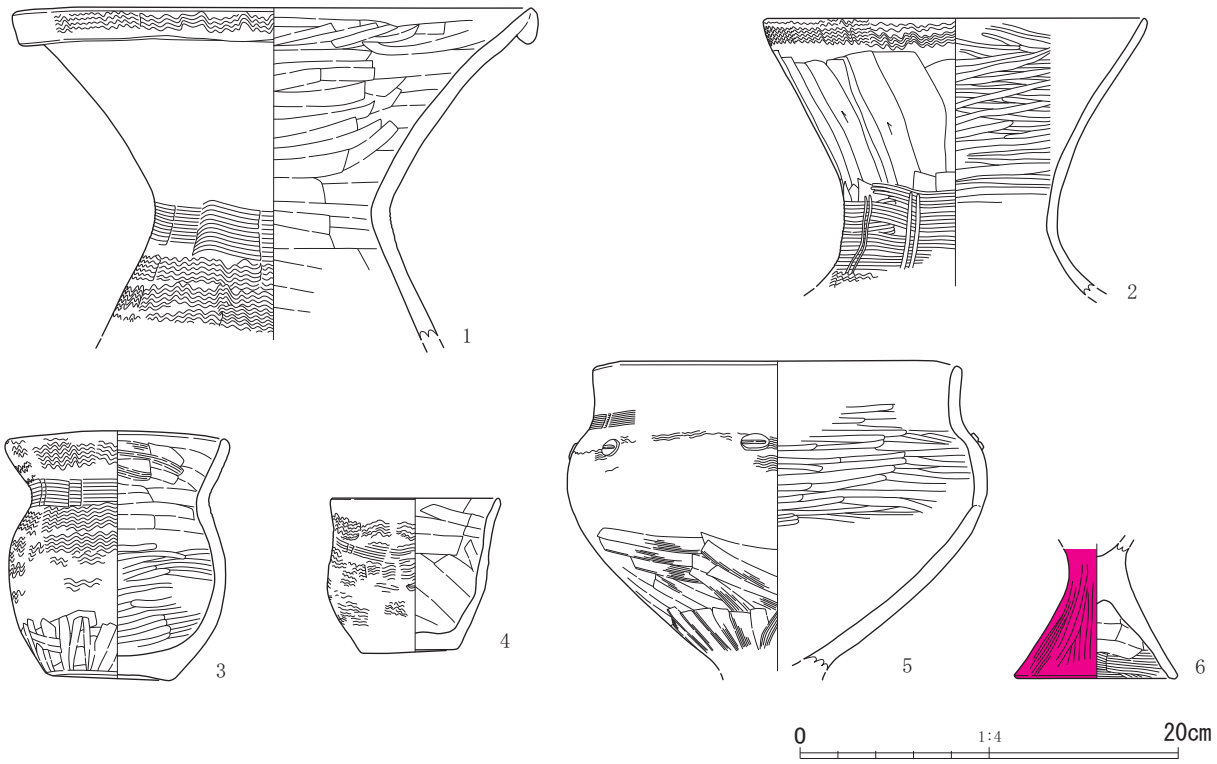
37号住



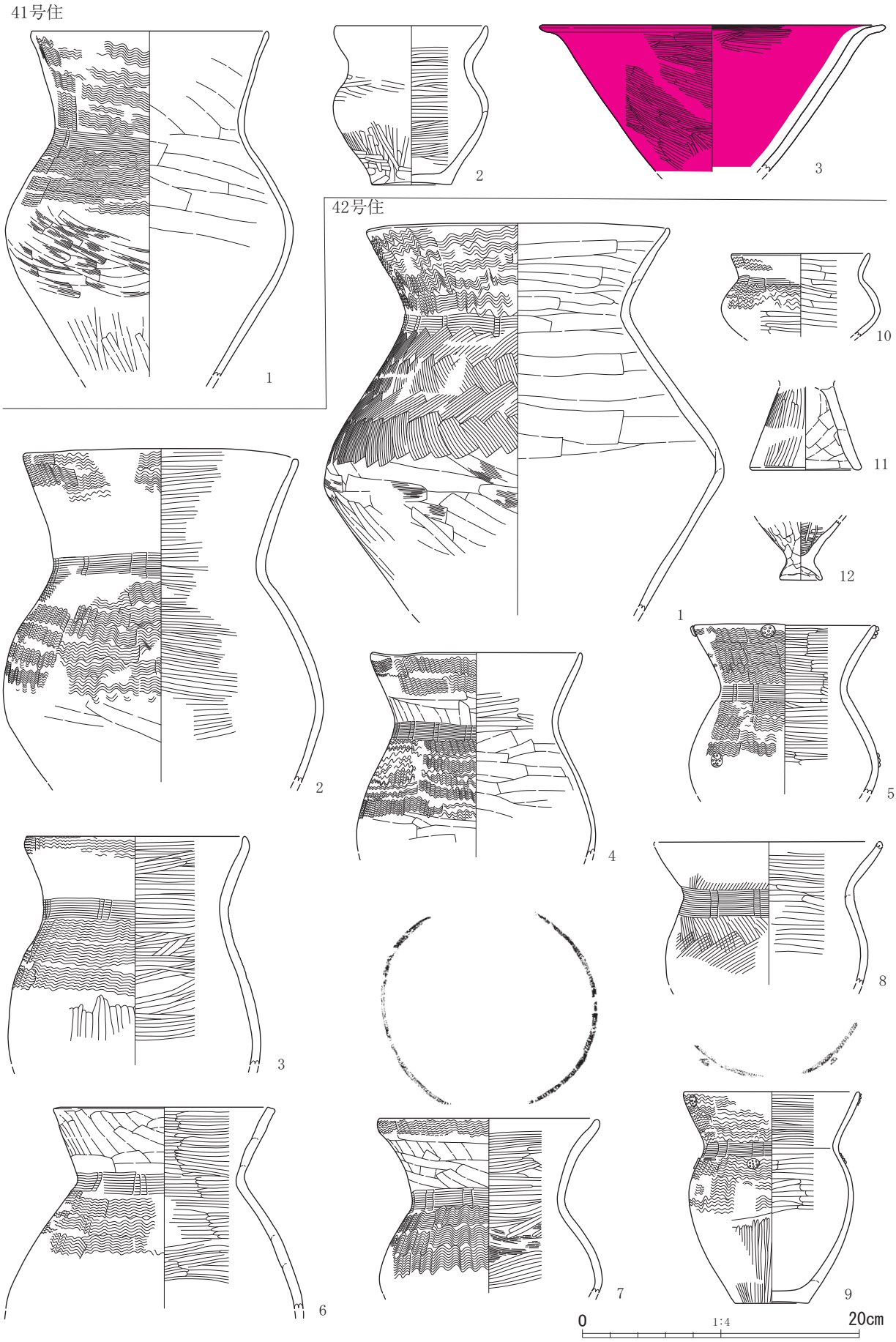
38号住



40号住



第206図　37号・38号・40号住居址出土土器実測図



第207図　41号・42号住居址出土土器実測図

壱丁田遺跡土器観察表

1号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 小形甕		口径 13.6 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い赤褐色　③白色粒・褐色粒・角閃石　④口縁部～胴部上位4/5	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面　口縁端部横撫で、口縁部～胴部上位篦磨き。
2	弥生土器 小形甕	一括	口径 11.5 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い褐色　③白色粒・石英　④口縁部～胴部中位7/8	外面　口縁部篦撫で、下位波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で。 内面　口縁部～胴部中位篦磨き。
3	弥生土器 高坏		口径 — 底径 10.7 器高 —	①普通　②橙～鈍い橙色　③白色粒・角閃石　④底部～脚部4/5	外面　脚部篦磨き。 内面　底部器面荒れ調整不明瞭、脚部篦撫で。

2号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 (18.3) 底径 — 器高 —	①普通　②橙～鈍い褐色　③白色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位1/4	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で。 内面　口縁部篦磨き、胴部篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 (15.6) 底径 — 器高 —	①普通　②橙～灰黄褐色　③白色粒・褐色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位2/3	外面　口唇部縄文RL、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位～中位波状文。 内面　口縁部篦磨き、胴部篦撫で。
3	弥生土器 甕	一括	口径 22.0 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い褐色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④口縁部～胴部中位3/4	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で。 内面　口縁部～胴部中位篦撫で。
4	弥生土器 小形甕	一括	口径 12.3 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い褐色　③白色粒・角閃石　④口縁部～胴部上位7/8	外面　口縁端部横撫で、口縁部～胴部上位篦撫で。 内面　口縁部～胴部上位篦磨き。
5	弥生土器 台付甕	一括	口径 13.3 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・角閃石　④口縁部～胴部下位3/5	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位篦撫で、下位篦磨き。 内面　口縁部～胴部下位篦磨き。
6	弥生土器 高坏		口径 — 底径 14.5 器高 —	①普通　②黒褐色、赤色　③白色粒・角閃石　④体部下位～脚部9/10	外面　脚部篦磨き、赤彩。 内面　底部撫で、脚部刷毛目、裾部篦撫で。
7	弥生土器 有孔鉢	一括	口径 (14.8) 底径 3.7 器高 9.0	①普通　②橙～鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④3/5	外面　口縁部～底部篦磨き。 内面　口縁部～底部篦磨き。底部に径２㎝の円孔。

3号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕		口径 12.7 底径 7.7 器高 20.2	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④7/8	外面　口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位～底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き。
2	弥生土器 甕		口径 12.8 底径 6.3 器高 20.1	①普通　②鈍い褐～灰褐色　③白色粒・褐色粒　④7/8	外面　口縁端部横撫で、口縁部篦撫で、胴部上位波状文、胴部中位～下位篦磨き、底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き。
3	弥生土器 甕		口径 13.9 底径 7.5 器高 22.3	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④3/4	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位～底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き。
4	弥生土器 甕	一括	口径 25.0 底径 — 器高 —	①普通　②橙色　③白色粒・褐色粒・礫　④口縁部～胴部上位残存	外面　複合口縁、波状文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面　口縁部～胴部上位篦撫で。
5	弥生土器 台付甕	一括	口径 15.2 底径 — 器高 —	①普通　②暗褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部下位5/6	外面　口縁部～胴部上位波状文、円形浮文、胴部下位篦磨き。 内面　口縁部～胴部下位篦磨き。
6	弥生土器 高坏	一括	口径 — 底径 9.0 器高 —	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・角閃石　④脚部7/8	外面　脚部篦磨き、赤彩。 内面　底部篦磨き、赤彩、脚部篦撫で、所々に赤色顔料が付着。

5号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕		口径 18.2 底径 8.4 器高 26.4	①普通　②鈍い黄橙～灰黄褐色　③白色粒・角閃石　④口縁部・胴部一部欠損	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で、下位篦磨き、底部篦削り。 内面　口縁端部横撫で、口縁部～胴部上位篦撫で、下位～底部篦磨き。
2	弥生土器 高坏		口径 10.6 底径 9.0 器高 9.0	①普通　②鈍い黄橙色　③黒色粒・角閃石　④口縁部一部欠損	外面　口縁部～脚部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦撫で、脚部篦撫で。
3	弥生土器 ミニチュア土器	一括	口径 6.3 底径 3.7 器高 9.0	①普通　②橙色　③白色粒・角閃石　④口縁部1/4欠損	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位篦撫で、中位～下位篦削り、底部篦撫で。 内面　口縁部横撫で、胴部篦削り。内に板状の鉄片が多量に錆着した塊あり。

第98表　１～３号・５号住居址出土土器観察表

6号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	№.1 №.2 一括	口径 17.0 底径 6.5 器高 19.5	①普通　②橙～鈍い黄褐色 ③白色粒・黒色粒　④5/6	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦撫で。
2	弥生土器 甕	№.1 №.2 一括 Y-3住一括	口径 19.0 底径 — 器高 —	①普通　②褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部下位1/2	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で。 内面　口縁部～胴部中位篦磨き。

7号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 台付甕		口径 10.0 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～台部上位残存	外面　口唇部縄文 LR、口縁部～台部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦撫で、台部篦撫で。
2	弥生土器 高坏	一括	口径 — 底径 7.4 器高 —	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒　④脚部7/8	外面　脚部篦撫で。 内面　脚部篦撫で。
3	弥生土器 鉢		口径 11.1 底径 4.5 器高 5.4	①普通　②橙～鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、体部～底部篦削り。 内面　口縁部～底部篦磨き。
4	弥生土器 有孔鉢		口径 20.5 底径 4.9 器高 13.3	①普通　②橙色　③白色粒・礫　④2/3	外面　口縁部～体部下位篦磨き、体部下位～底部篦削り。 内面　口縁部横撫で、体部～底部篦磨き。底部に径1.5cmの円孔。

8号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 12.8 底径 5.8 器高 18.8	①普通　②明赤褐色　③白色粒・角閃石・石英　④7/8	外面　口縁部～胴部篦磨き、底部器面荒れ調整不明瞭。 内面　口縁部器面荒れ調整不明瞭、胴部上位篦磨き、中位～底部器面荒れ調整不明瞭。

9号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④口縁部下位～胴部中位3/5	外面　口縁部下位篦撫で、頸部Ｔ字文、胴部上位波状文、中位篦撫で。 内面　口縁部下位～胴部中位篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 15.4 底径 8.2 器高 15.5	①普通　②橙～鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④7/8	外面　口縁端部横撫で、口縁部篦撫で、頸部～胴部上位波状文、下位～底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦撫で。
3	弥生土器 小形甕		口径 10.7 底径 6.8 器高 13.6	①普通　②明赤褐色　③白色粒・褐色粒・角閃石　④3/4	外面　口縁部横撫で、頸部～胴部上位波状文、中位～底部器面が荒れ調整不明瞭。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部篦撫で。
4	弥生土器 台付甕		口径 10.6 底径 (7.4) 器高 13.9	①普通　②橙色　③白色粒・角閃石　④7/8	外面　口縁部～胴部上位波状文、胴部下位～台部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き、脚部器面荒れ調整不明瞭。
5	弥生土器 高坏	一括	口径 22.0 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色、赤色 ③白色粒・角閃石　④坏部7/8	外面　口唇部刻目、口縁部～体部篦磨き、赤彩。 内面　口縁部～底部篦磨き、赤彩。
6	弥生土器 高坏		口径 — 底径 9.8 器高 —	①普通　②鈍い橙～褐灰色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④脚部残存	外面　脚部篦磨き。 内面　脚部刷毛目、赤色顔料が付着、塗彩ではなく容器として転用したものか。
7	弥生土器 高坏	一括	口径 (25.8) 底径 — 器高 —	①普通　②赤褐色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④口縁部～体部下位5/6	外面　口縁部～体部篦磨き、赤彩。 内面　口縁部～体部篦磨き、赤彩。
8	弥生土器 鉢		口径 8.7 底径 4.2 器高 5.3	①普通　②鈍い赤褐色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④口縁部一部欠損	外面　口縁部～体部篦磨き、赤彩、底部撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き、赤彩。

10号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 鉢	一括	口径 (11.6) 底径 6.0 器高 7.0	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④1/3	外面　口縁部～体部篦撫で、底部撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き。

13号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 (15.0) 底径 — 器高 —	①普通　②褐～黒褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部下位1/2	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦磨き。 内面　口縁部～胴部下位篦撫で。

第99表　6～10号・13号住居址出土土器観察表

14号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺		口径 12.2 底径 5.6 器高 20.8	①普通　②鈍い赤褐色　③白色粒・黒色粒・褐色粒・石英　④ほぼ完形	外面　口縁部篦磨き、頸部簾状文、胴部上位波状文、簾状文、胴部中位～下位篦磨き、底部篦削り。 内面　口縁部～底部篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 11.8 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙～赤褐色　③白色粒・角閃石　④口縁部～胴部下位4/5	外面　口縁端部波状文、円形浮文、口縁部横撫で、頸部～胴部上位波状文、円形浮文、下位刷毛目。 内面　口縁部～胴部下位篦磨き。
3	弥生土器 甕		口径 (17.3) 底径 — 器高 —	①普通　②灰褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部中位2/3	外面　口縁部上位波状文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦撫で。 内面　口縁部～胴部中位篦磨き。
4	弥生土器 甕	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部下位～胴部中位1/3	外面　口縁部下位篦撫で、頸部簾状文、胴部上位縄文 LR・RL、中位篦撫で。 内面　口縁部下位～胴部中位篦磨き。
5	弥生土器 小形甕	一括	口径 (11.3) 底径 5.7 器高 14.0	①普通　②灰褐色　③白色粒・褐色粒　④1/3	外面　口縁部～胴部上位波状文、胴部下位～底部篦撫で。 内面　口縁部篦撫で、胴部～底部篦磨き。
6	弥生土器 小形甕	一括	口径 8.9 底径 5.4 器高 10.2	①普通　②灰黄褐色　③白色粒・黒色粒　④1/3	外面　口縁端部刻目、口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部下位～底部篦削り。 内面　口縁部～底部篦磨き。
7	弥生土器 台付甕	一括	口径 18.3 底径 — 器高 —	①普通　②橙～鈍い赤褐色　③白色粒　④口縁部～胴部下位7/8	外面　口縁端部波状文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、下位篦撫で。 内面　口縁部篦撫で、胴部篦磨き。
8	弥生土器 台付甕		口径 8.0 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い赤褐色　③白色粒・角閃石　④口縁部～台部上位残存	外面　口縁部～胴部上位波状文、円形浮文、下位～台部上位篦撫で。 内面　口縁部器面荒れ調整不明瞭、胴部～底部篦磨き。
9	弥生土器 台付甕	一括	口径 (13.0) 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄褐～鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④口縁部～胴部下位3/4	外面　口縁部～胴部上位波状文、円形浮文、胴部中位篦撫で、胴部下位篦磨き。 内面　口縁部～胴部下位篦磨き。
10	弥生土器 高坏	一括	口径 — 底径 13.5 器高 —	①普通　②橙～鈍い黄橙色　③白色粒・褐色粒・角閃石　④体部下位～脚部残存	外面　体部下位～脚部篦削り後篦撫で。 内面　底部篦撫で、脚部篦撫で。
11	弥生土器 高坏		口径 — 底径 11.5 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色、赤色　③白色粒・角閃石　④体部下位～脚部7/8	外面　体部下位～脚部篦磨き、赤彩。 内面　底部篦磨き、赤彩、脚部篦撫で。
12	弥生土器 高坏	一括	口径 — 底径 (16.2) 器高 —	①普通　②鈍い黄褐色　③白色粒　④底部～脚部3/5	外面　脚部篦磨き、赤彩。 内面　底部器面荒れ調整不明瞭、脚部篦撫で後篦磨き。
13	弥生土器 高坏		口径 (22.8) 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色、赤褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～体部下位2/3	外面　口縁部～体部下位篦磨き、赤彩。 内面　口縁部～体部下位篦磨き、赤彩。
14	弥生土器 鉢	一括	口径 11.3 底径 5.0 器高 5.4	①普通　②赤褐～鈍い橙色　③白色粒　④4/5	外面　口縁部～底部篦磨き、口縁部～体部赤彩。 内面　口縁部～底部篦磨き、赤彩。
15	弥生土器 鉢	貯蔵穴	口径 10.9 底径 6.2 器高 6.7	①普通　②鈍い黄橙～黒褐色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④完形	外面　口縁部～底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦撫で。

16号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通　②外 - 褐灰色、内 - 橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部下位～胴部中位3/4	外面　口縁部下位器面荒れ調整不明瞭、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位調整不明瞭。 内面　口縁部下位～胴部中位篦撫で。

16・17号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 14.4 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部上位4/5	外面　口縁端部波状文、口縁部篦撫で、頸部～胴部上位波状文。 内面　口縁部～胴部上位篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 (15.4) 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙～鈍い黄褐色　③白色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位1/3	外面　口縁部～胴部上位波状文、胴部中位篦磨き。 内面　口縁部～胴部中位篦撫で後篦磨き。
3	弥生土器 甕	一括	口径 20.4 底径 — 器高 —	①普通　②浅黄橙～灰褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部上位3/4	外面　口縁端部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面　口縁部～胴部上位篦撫で。
4	弥生土器 甕	一括	口径 17.2 底径 — 器高 —	①普通　②浅黄橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部下位5/6	外面　口縁端部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位篦撫で。 内面　口縁部～胴部上位篦撫で、下位篦磨き。

第100表　14号・16号・17号住居址出土土器観察表

19号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 23.2 底径 — 器高 —	①普通　②橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部上位2/3	外面　口縁部篦撫で、頸部～胴部上位Ｔ字文。 内面　口縁部～胴部上位篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 13.1 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い赤褐～鈍い褐色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部下位2/3	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部下位篦磨き。 内面　口縁部篦撫で、胴部篦磨き。
3	弥生土器 甕	一括	口径 17.6 底径 — 器高 —	①普通　②明赤褐～灰褐色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部下位2/5	外面　口縁部篦撫で、頸部～胴部上位波状文、胴部下位篦撫で。 内面　口縁部篦磨き、胴部篦撫で。
4	弥生土器 高坏	Ｐ４ 一括	口径 — 底径 (11.1) 器高 —	①普通　②鈍い赤褐色　③白色粒・黒色粒　④底部～脚部1/3	外面　脚部篦磨き、赤彩。 内面　底部篦撫で、脚部篦撫で。
5	弥生土器 有孔鉢		口径 16.8 底径 4.1 器高 11.5	①普通　②鈍い褐色　③白色粒・褐色粒・礫　④口縁部1/4欠損	外面　口縁部～体部下位篦撫で、体部下位～底部篦削り。 内面　口縁部～底部篦撫で。底部に径1.3㎝の円孔。
6	弥生土器 ミニチュア土器	一括	口径 7.1 底径 4.3 器高 6.8	①普通　②浅黄橙～橙色　③褐色粒　④5/6	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部下位篦磨き、底部調整不明瞭。 内面　口縁部～底部篦磨き。

20号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕		口径 13.9 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部中位残存	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦撫で。 内面　口縁部～胴部中位篦磨き。
2	弥生土器 甕	一括	口径 13.2 底径 — 器高 —	①普通　②橙～灰褐色　③褐色粒　④口縁部～胴部中位1/2	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦磨き。 内面　口縁部～胴部中位篦磨き。
3	弥生土器 小形甕	一括	口径 — 底径 5.9 器高 —	①普通　②鈍い褐色　③褐色粒　④口縁部下位～底部5/6	外面　口縁部下位波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位から下位篦磨き、底部篦撫で。 内面　口縁部下位～底部篦磨き。
4	弥生土器 片口鉢		口径 8.7 底径 6.4 器高 10.5	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④ほぼ完形	外面　口縁部横撫で、頸部～胴部篦磨き、胴部下位篦撫で、底部篦削り。 内面　口縁部～底部篦磨き。
5	弥生土器 ミニチュア土器		口径 9.0 底径 4.9 器高 9.6	①普通　②鈍い黄橙～鈍い灰黄褐色　③褐色粒　④口縁部一部欠損	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、胴部下位篦磨き、底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き。

21号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 — 底径 10.3 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③黒色粒　④口縁部下位～底部2/3	外面　口縁部下位篦撫で、波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、１条の沈線で区画し下位に円形浮文、胴部篦磨き、底部篦削り。 内面　口縁部下位～底部篦撫で。
2	弥生土器 小形甕	一括	口径 9.6 底径 5.6 器高 11.3	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④口縁部・胴部一部欠損	外面　口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部下位～底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦撫で。
3	弥生土器 鉢		口径 12.4 底径 5.6 器高 8.0	①普通　②鈍い黄橙色、赤褐色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④完形	外面　口縁部～体部篦磨き、赤彩、底部器面荒れ調整不明瞭。 内面　口縁部～底部篦磨き、赤彩。

24号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 15.8 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④口縁部～胴部下位1/2	外面　口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、下位篦撫で。 内面　口縁部～胴部下位篦撫で。
2	弥生土器 高坏		口径 — 底径 12.8 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色、赤色　③白色粒・角閃石　④体部下位～脚部1/2	外面　体部下位～脚部篦磨き、赤彩。 内面　底部篦磨き、赤彩、脚部器面荒れ調整不明瞭。

25号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕		口径 17.0 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い橙色　③白色粒・褐色粒・角閃石　④口縁部～胴部上位4/5	外面　口縁部上位横撫で、口縁部刷毛目、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面　口縁部上位横撫で、口縁部～胴部上位篦撫で。

第101表　19～21号・24号・25号住居址出土土器観察表

25号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
2	弥生土器 台付甕	一括	口径 13.2 底径 — 器高 —	①普通　②明赤褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～台部上位7/8	外面　口縁端部波状文、口縁部刷毛目、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部下位～台部上位篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き、台部刷毛目。
3	弥生土器 高坏	一括	口径 (15.6) 底径　7.9 器高 13.4	①普通　②鈍い黄橙色、赤褐色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④3/5	外面　口縁部～脚部篦磨き、赤彩。 内面　口縁部～底部篦磨き、赤彩、脚部篦撫で。

26号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 13.4 底径 — 器高 —	①普通　②橙～灰黄褐色　③白色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位2/3	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦撫で。 内面　口縁部～胴部中位篦撫で。
2	弥生土器 台付甕	一括	口径 12.9 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～台部上位2/3	外面　口縁端部波状文、円形浮文、口縁部横撫で、頸部～胴部上位波状文、胴部中位～台部上位篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き、台部篦撫で。

27号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺		口径 — 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色、赤褐色　③白色粒・褐色粒・角閃石　④頸部～胴部中位残存	外面　頸部器面荒れ調整不明瞭、胴部上位～中位篦磨き、赤彩。 内面　頸部器面荒れ調整不明瞭、胴部篦撫で。

28号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④頸部～胴部中位2/3	外面　頸部横線文、胴部上位波状文、円形浮文、中位篦撫で。 内面　頸部～胴部中位篦撫で。
2	弥生土器 壺	一括	口径 16.0 底径　8.9 器高 43.1	①普通　②鈍い橙～鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・石英　④3/5	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位篦磨き、 下位～底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦撫で。
3	弥生土器 壺		口径 (23.0) 底径 — 器高 —	①普通　②橙～鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・褐色粒　④口縁部～胴部中位2/3	外面　口縁端部縄文 RL、複合口縁、波状文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦磨き、赤彩、下位篦撫で。 内面　口縁部赤彩、口縁部～胴部器面が荒れ調整不明瞭。
4	弥生土器 壺	一括	口径 30.0 底径 — 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部中位7/8	外面　複合口縁、口縁部篦撫で、頸部波状文、簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦磨き。 内面　口縁部～胴部中位篦撫で。
5	弥生土器 甕	一括	口径 21.9 底径 — 器高 —	①普通　②橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部下位残存	外面　口縁端部横撫で後刻目、口縁部篦撫で、頸部～胴部中位波状文、胴部下位篦撫で。 内面　口縁部～胴部下位篦撫で。
6	弥生土器 甕	一括	口径 13.2 底径 — 器高 —	①普通　②灰黄褐色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位4/5	外面　口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部篦撫で。 内面　口縁部～胴部中位篦撫で。
7	弥生土器 甕	一括	口径 17.8 底径　6.4 器高 31.6	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④2/3	外面　口唇部縄文、口縁部波状文、円形浮文、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、下位～底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦撫で。
8	弥生土器 小形甕		口径 12.4 底径 — 器高 —	①普通　②黄褐色　③白色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位4/5	外面　口唇部縄文、口縁部上位波状文、下位篦撫で、頸部簾状文、 胴部上位波状文、胴部中位篦撫で。 内面　口縁部～胴部中位篦撫で。
9	弥生土器 高坏		口径 — 底径 (14.0) 器高 —	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・角閃石　④底部～脚部3/5	外面　脚部篦磨き。 内面　底部篦磨き、脚部篦撫で。
10	弥生土器 高坏	一括	口径 — 底径　9.2 器高 —	①普通　②赤褐色　③白色粒・黒色粒　④底部～脚部残存	外面　脚部篦磨き、赤彩。 内面　底部撫で、赤彩、脚部篦撫で。
11	弥生土器 高坏	一括	口径 — 底径 10.0 器高 —	①普通　②鈍い橙色、赤色　③白色粒・褐色粒　④脚部9/10	外面　脚部篦磨き、赤彩。 内面　脚部篦撫で。

第102表　25～28号住居址出土土器観察表

29号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺		口径 31.8 底径 — 器高 —	①普通 ②明黄褐色 ③黒色粒・褐色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位4/5	外面 複合口縁、波状文、口縁部刷毛目、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位刷毛目。 内面 口縁部～胴部篦撫で。
2	弥生土器 壺	一括	口径 18.0 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部3/5	外面 口縁部上位に波状の粘土紐貼付、口縁部篦磨き、下位波状文。 内面 口縁部篦磨き、赤彩。
3	弥生土器 甕	一括	口径 15.4 底径 — 器高 —	①普通 ②灰黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部下位2/3	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部下位篦撫で。 内面 口縁部～胴部下位篦磨き。
4	弥生土器 甕	一括	口径 (13.7) 底径 5.9 器高 17.8	①普通 ②鈍い褐～明褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④4/5	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位～下位篦磨き、底部篦撫で。 内面 口縁部～底部篦磨き。
5	弥生土器 高坏		口径 11.6 底径 — 器高 —	①普通 ②明赤褐色 ③白色粒・黒色粒 ④坏部9/10	外面 口縁部～体部下位篦磨き、赤彩。 内面 口縁部～底部篦磨き、赤彩。

31号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺		口径 — 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・黒色粒 ④頸部～胴部中位2/3	外面 頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦磨き。 内面 頸部～胴部中位篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 (15.2) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位2/5	外面 口縁部～胴部上位羽状文、頸部簾状文、胴部中位篦磨き。 内面 口縁部～胴部中位篦磨き。
3	弥生土器 台付甕	№3 一括	口径 (13.3) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部上位3/8	外面 口縁部刷毛目後撫で、円形浮文、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文。 内面 口縁端部横撫で、口縁部～胴部上位篦磨き。
4	弥生土器 台付甕	一括	口径 — 底径 9.8 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・黒色粒 ④台部残存	外面 台部篦削り後篦磨き。 内面 台部篦撫で。
5	弥生土器 台付甕	一括	口径 11.1 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部下位2/3	外面 口唇部縄文 RL、口縁部波状文、円形浮文、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、下位篦磨き。 内面 口縁部～胴部下位篦磨き。
6	弥生土器 高坏	一括	口径 — 底径 16.2 器高 —	①普通 ②橙色、赤色 ③白色粒・角閃石 ④脚部9/10	外面 脚部刷毛目後篦磨き、赤彩。 内面 脚部刷毛目。

34号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括 Y-31住一括	口径 21.2 底径 — 器高 —	①普通 ②黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部中位4/5	外面 口唇部縄文、口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面 口縁部～胴部中位篦磨き。
2	弥生土器 甕	一括 Y-35住一括	口径 18.5 底径 — 器高 —	①普通 ②明赤褐～鈍い黄橙色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位7/8	外面 口縁端部波状文、円形浮文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦撫で。 内面 口縁部～胴部中位篦撫で。

35号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部中位～胴部中位2/3	外面 口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦撫で。 内面 口縁部～胴部中位篦撫で。

36号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 13.3 底径 6.6 器高 16.9	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・褐色粒 ④3/4	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位～下位篦磨き、底部篦撫で。 内面 口縁部～底部篦磨き。
2	弥生土器 甕	一括	口径 (14.4) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙～黒褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁部～胴部下位1/4	外面 口縁部波状文、円形浮文、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、中位～下位篦撫で。 内面 口縁部上位篦磨き、口縁部～胴部下位篦撫で。

37号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 (27.7) 底径 — 器高 —	①普通 ②橙色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部上位1/2	外面 複合口縁、刻目、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位連弧文。 内面 口縁部～胴部上位器面荒れ調整不明瞭。

第103表　29号・31号・34～37号住居址出土土器観察表

37号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
2	弥生土器 甕		口径 16.1 底径 7.1 器高 24.0	①普通 ②鈍い褐色～灰褐色 ③白色粒・褐色粒 ④7/8	外面 口縁端部波状文、口縁部篦撫で、頸部～胴部上位波状文、位～底部篦撫で。 内面 口縁部～底部篦磨き。

38号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通 ②橙～鈍い黄橙色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部下位～胴部中位4/5	外面 口縁部下位篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦撫で。 内面 口縁部下位～胴部中位篦撫で。
2	弥生土器 高坏	一括	口径 9.8 底径 5.4 器高 9.4	①普通 ②橙色、赤色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 口縁部～脚部篦磨き、赤彩。 内面 口縁部～底部篦磨き、赤彩、脚部篦撫で。

40号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括 Y-25住一括 Y-26住一括	口径 27.2 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部上位4/5	外面 複合口縁、波状文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面 口縁部～胴部中位篦撫で。
2	弥生土器 甕	№２	口径 (20.0) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～頸部3/4	外面 口縁端部波状文、口縁部篦削り、口縁部下位篦撫で、頸部Ｔ字文、胴部上位波状文。 内面 口縁部～胴部上位篦磨き。
3	弥生土器 小形甕	一括 Y-25住一括	口径 11.4 底径 6.1 器高 13.1	①普通 ②鈍い褐色 ③白色粒・褐色粒 ④2/3	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位～中位波状文、下位～底部篦撫で。 内面 口縁部篦撫で、胴部～底部篦磨き。
4	弥生土器 小形甕		口径 8.7 底径 5.0 器高 8.2	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 口縁部上位横撫で、下位波状文、頸部簾状文、胴部上位～中位波状文、下位～底部篦撫で。 内面 口縁部～底部篦撫で。
5	弥生土器 台付甕	一括	口径 19.0 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い赤褐色 ③白色粒・礫 ④口縁部～胴部下位3/5	外面 口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、下位篦撫で。 内面 口縁部～胴部下位篦磨き。
6	弥生土器 高坏		口径 — 底径 8.3 器高 —	①普通 ②明赤褐色、鈍い褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④底部～脚部残存	外面 脚部篦磨き、赤彩。 内面 底部器面荒れ調整不明瞭、脚部篦撫で、裾部刷毛目。

41号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 (17.0) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部下位3/5	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～下位篦撫で。 内面 口縁部～胴部下位篦撫で。
2	弥生土器 小形甕	一括	口径 10.8 底径 5.8 器高 11.5	①普通 ②鈍い褐色 ③白色粒・黒色粒 ④3/4	外面 口縁部横撫で、胴部篦磨き、底部篦撫で。 内面 口縁部～底部篦磨き。
3	弥生土器 高坏	一括	口径 (24.6) 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙色、赤色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～体部下位1/5	外面 口縁部篦磨き、赤彩。 内面 口縁部篦磨き、赤彩。

42号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 21.7 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い橙～鈍い褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁部～胴部下位3/4	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位～中位櫛描羽状文。 内面 口縁部～胴部下位篦撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 19.7 底径 — 器高 —	①普通 ②褐～暗褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位1/2	外面 口縁部上位波状文、口縁部下位篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦撫で。 内面 口縁部～胴部中位篦磨き。
3	弥生土器 甕		口径 15.6 底径 — 器高 —	①普通 ②褐～灰褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部中位3/5	外面 口縁端部波状文、口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦磨き。 内面 口縁部～胴部中位篦磨き。
4	弥生土器 甕		口径 15.0 底径 — 器高 —	①普通 ②鈍い黄橙～灰黄褐色 ③白色粒・黒色粒・褐色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位2/3	外面 口縁部上位波状文、口縁部下位篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦撫で。 内面 口縁部篦磨き、胴部篦撫で。
5	弥生土器 甕	一括	口径 13.0 底径 — 器高 —	①普通 ②褐～暗褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位2/3	外面 口縁部波状文、円形浮文、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、胴部中位器面荒れ調整不明瞭。 内面 口縁部～胴部中位篦磨き。

第104表　37号・38号・40～42号住居址出土土器観察表

42号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
6	弥生土器 甕	一括 Y-38住一括	口径　15.0 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄褐色　③白色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位3/4	外面　口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位器面荒れ調整不明瞭。 内面　口縁部～胴部中位篦磨き。
7	弥生土器 甕	一括	口径　15.8 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い黄褐～鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位3/4	外面　口縁端部波状文、口縁部篦撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位篦撫で。 内面　口縁部～胴部中位篦撫で後篦磨き。
8	弥生土器 甕		口径　— 底径　— 器高　—	①普通　②鈍い橙～鈍い褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部中位1/2	外面　口縁部刷毛目、頸部簾状文、胴部上位刷毛目。 内面　口縁部～胴部中位篦磨き。
9	弥生土器 小形甕		口径 (12.6) 底径　5.3 器高 15.3	①普通　②鈍い黄褐～黒褐色　③白色粒・黒色粒　④3/4	外面　口唇部縄文、口縁部波状文、円形浮文、頸部簾状文、胴部上位波状文、円形浮文、胴部下位篦磨き、底部篦撫で。 内面　口縁部～底部篦磨き。
10	弥生土器 小形台付 甕		口径　9.9 底径　— 器高　—	①普通　②明褐～鈍い褐色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部下位1/2	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、胴部中位～下位篦磨き。 内面　口縁部～胴部下位篦磨き。
11	弥生土器 台付甕	一括 Y-38住一括	口径　— 底径　7.6 器高　—	①普通　②鈍い橙色　③白色粒　④台部9/10	外面　台部篦磨き。 内面　台部篦撫で。
12	弥生土器 ミニチュア土器	一括	口径　— 底径　2.9 器高　—	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒　④胴部下位～台部4/5	外面　胴部下位～台部篦撫で。 内面　胴部下位～底部篦磨き、台部篦撫で。

第105表　42号住居址出土土器観察表

小日向壱丁田遺跡出土の石器（第208図）

本遺跡では、19軒の住居址、遺構外から石器26点が出土した。石器は、住居址覆土が主体であったが、石器の形態的特徴、土器との共伴関係により、後期後半を主体とする石器群に位置づけられる。石器の器種組成は、第106表のとおりである。剥片石器等の石器製作は、遺物からは認められず、全て他からの搬入品あるいは単品である。台石等の大形石器は、床面直上で出土したため、遺構に伴うものとした。

１は、両面研磨によって扁平に整形された平面五角形、珪質準片岩製の有孔磨製石鏃（凹基式）である。２は、頁岩製の横刃形スクレイパーで、縁辺（刃部）には、摩耗痕が観察される。形状が半月状であることから打製石庖丁の可能性がある。３は、ホルンフェルス製の大形横長剥片を素材とした石鏃で、直接打撃による両面交互隔離調整によって整形された中形で刃部が剣先形と推定される。４は安山岩製の磨石（Ⅰ形態）、５は安山岩製の敲石（Ⅰ形態）である。６～13は砥石である。砥石は定型的な仕上砥（Ⅲ形態：６～８、13）と不定形の中砥（Ⅱ形態、９～12）に分けられる。６と11には、細い線状痕が観察され､金属器等の刃先を研いだ痕跡の可能性がある｡側辺に研ぎによる平滑面が観察されるもの（６、８）も認められる。７には、中央部に研磨による浅い滑らかな凹面が観察される。砥石の石材は、緻密細粒の牛伏砂岩（８～13）と硬質で滑らかな緑色岩類（６）及び安山岩（７）に分けられる。14は、両面の２カ所に凹みのある結晶片岩製の石器（凹石）で、凹みには磨り痕によって滑らかとなっている。15～17は、台石である。15は扁平礫を素材とした牛伏砂岩製である。被熱により表面が脆くなているが、側面が面取され直方体となっている。16と17は、安山岩製で礫面中央に敲打あるいは使用による浅い凹み（使用痕）が観察される。18は器体中央部が欠損した輝緑岩製の太型蛤刃石斧で、欠損面は再加工により研磨されている。刃部と器体の一部には、敲打による潰れ痕が残ることから、本来の石斧としての機能ではなく、敲石としての転用が考えられる。19は堆積岩系石材製の扁平片刃石斧の刃部破片で、被熱による剥落が認められる。18と19は形態的特徴から中期後半に盛行した大陸系磨製石器である。20はやや軟質の凝灰岩質石材製の扁平紡錘車で、敲打、研磨によって整形されたいる。21は、棒状の自然礫に筋状の浅い沈線のある結晶片岩製石製品である。22は、棒状の頁岩製石製品で全面が滑らかな礫面で覆われている。砥石の可能性もある。23は黒色安山岩の板状原石である。24は、２次調査（Ｋ－２）で出土した磨製石鏃の素材剥片（珪質準片岩）である。　（井上　慎也）

壱丁田遺跡	磨製石鏃	磨鏃素材	スクレイパーB	石鏃	磨石	凹石	敲石	砥石	台石	太型蛤刃石斧	扁平片刃石斧	原石	管玉	紡錘車	棒状礫	搬入礫	合計
10号住			1					1									2
12Y-76								1									1
13号住						1			1								2
36号住	1																1
42号住									1								1
１号住					1												1
３号住								1			1						2
６号住								1									1
８号住								1									1
９号住															1		1
15号住														1			1
19号住								1									1
20号住							1	1									2
25号住								1									1
28号住									1			1					2
31号住								1									1
35号住										1							1
42号住			1		1												2
遺構外				1													1
K-2 2号住		1															1
合計	1	1	2	1	2	1	1	9	3	1	1	1	0	1	1	0	26

第106表　壱丁田遺跡出土石器組成表

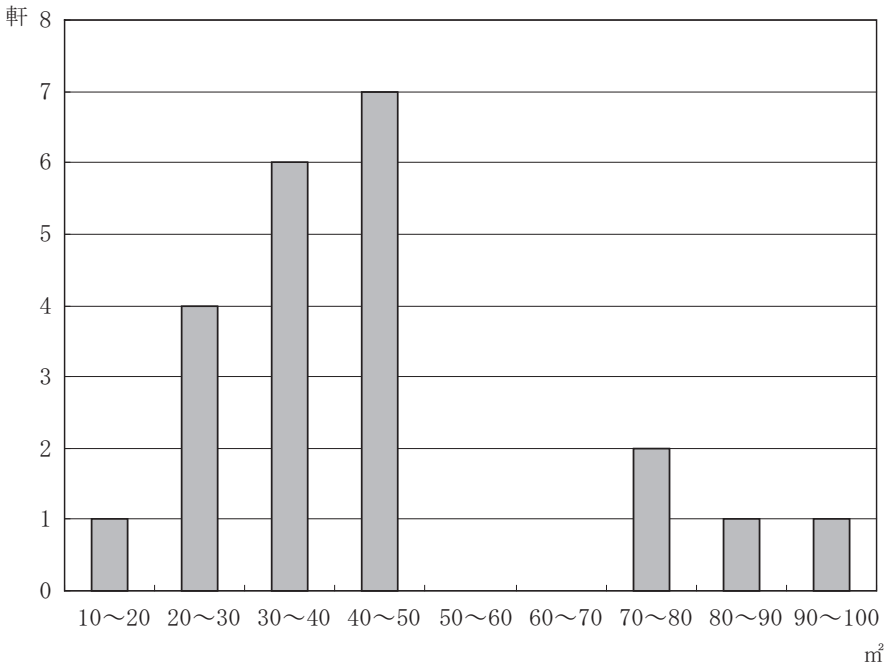
第208図　壱丁田遺跡出土石器実測図

挿図番号	登録番号	遺構名	器　種	形　態	石　材	欠損	被熱	長さ(㎜)	幅(㎜)	厚さ(㎜)	重量(ｇ)	備　　考
1	77	36住	磨製石鏃	有孔	珪質凝灰岩			50.16	25.49	2.90	4.6	
2	02	42住	ScB	Ⅱ両刃	頁岩			38.61	61.92	7.65	23.2	
3	11	表採	石鍬	両刃	安山岩			186.68	82.48	23.38	496.3	
4	12	１住	磨石	円形	安山岩			60.20	64.02	60.11	265.1	
5	03	20住	敲石	円形	安山岩			64.61	52.48	46.72	20.5	
6	16	20住	砥石	仕上砥	緑色岩類			113.81	42.53	9.24	93.5	線状痕
7	10	10住	ScB	Ⅲ	安山岩			44.97	79.20	11.66	47.6	
8	04	25住	砥石	仕上砥	砂岩			124.40	70.24	13.46	165.8	
9	17	６住	砥石	中砥	砂岩			96.16	54.90	15.00	104.8	
10	19	３住	砥石	中砥	砂岩			54.93	63.83	15.05	80.3	
11	18	12Y-76	砥石	中砥	砂岩			75.97	50.77	10.17	55.5	
12	09	19住№６	砥石	荒砥	砂岩			72.26	55.43	11.68	83.7	
13	15	８住	砥石	仕上砥	砂岩			63.20	41.91	25.92	72.3	
14	61	13住西炉	凹石	棒状	結晶片岩			245.00	62.84	34.59	1113.7	
15	21	28住	台石	扁平四角	砂岩		○	219.14	170.79	40.84	2013.0	
16	64	42住石５	台石		安山岩	○		161.00	196.00	84.00	3200.0	
17	63	13住Ｓ-２	台石		安山岩	○		226.00	196.00	151.00	8000.0	
18	13	35住№４	太型蛤刃		斑糲岩			110.78	78.74	48.06	745.7	
19	20	３住	扁平片刃石斧		不明	○		19.00	48.22	7.05	6.2	
20	08	15住Ｓ-１	紡錘車	扁平	凝灰岩質			46.66	47.34	11.47	27.5	
21	06	９住	棒状礫		結晶片岩			104.89	29.52	25.78	111.8	
22	07	31住	棒状砥石	仕上砥	結晶片岩			100.22	19.16	89.30	33.9	
23	05	28住	原石		黒色安山岩			100.22	72.69	26.69	376.4	
24	57	K2-２住５区４層	磨製石鏃素材	破片	珪質凝灰岩			52.07	27.78	3.52	6.3	
25	62	10住石Ⅰ	砥石	仕上砥	安山岩			142.04	89.45	43.65	824.6	
26	01	42住	磨石	楕円形	安山岩	○		75.70	66.03	53.00	309.0	

第107表　壱丁田遺跡弥生石器観察表

小日向壱丁田遺跡　小結

本遺跡においては弥生時代後期の遺構が主体をなしており、樽式期竪穴住居址が37軒検出されている。先述のように、当該期集落は東の遠地谷戸遺跡から、西の田中遺跡にかけての広範な地域に展開している。位置的には、本遺跡及び東接する瀧遺跡が当該期集落の中心部付近となる。そのことに起因しているのか本遺跡及び瀧遺跡には大型住居址が多い。遺跡群全体では178軒の樽式期住居址が検出されており、そのうちの13軒が長軸10mを超える大型住居址である。本遺跡においては１号・３号・10号・19号住居址の４軒がこれに該当する。この中で19号住居址は、一部が柱穴位置による推定ではあるが、面積は約94.7㎡を測り、本遺跡群の中で最大の規模を持つものである。本遺跡の竪穴住居址面積別グラフを次に示す。

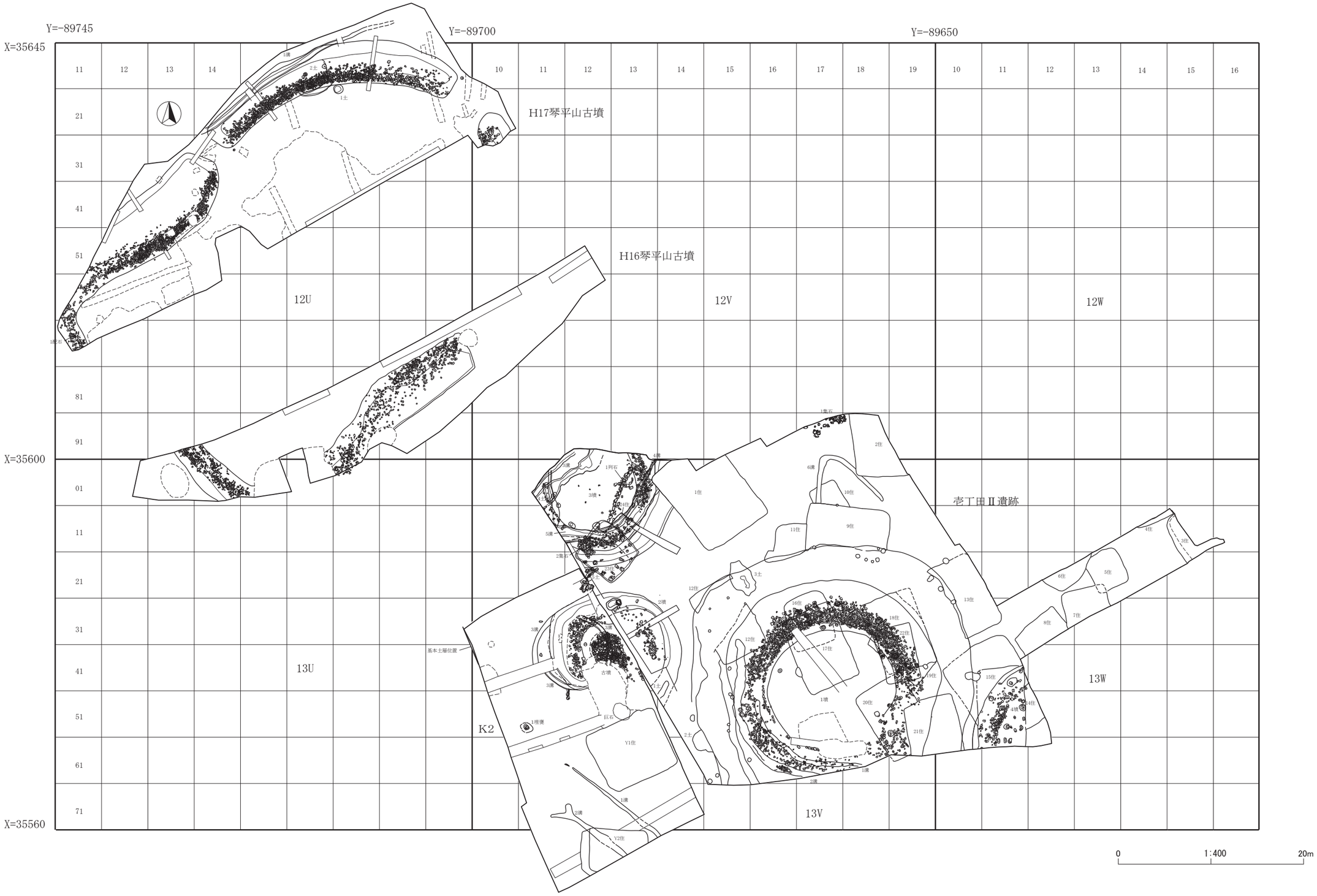


第209図　壱丁田遺跡樽式期住居址面積別グラフ

本遺跡検出の樽式期住居址面積の平均は、約44.8㎡である。前掲のグラフが示すとおり、大部分の住居址は面積50㎡以下であり、80㎡前後の大型住居址が何軒か存在している。つまり、分布のピークが２ケ所認められるのである。これは本遺跡において特徴的に見られる傾向ではなく、遺跡群全体の傾向として認められるものである。この点についてはⅦ章において検討・考察を試みたい。

また、出土遺物の中で特殊なものとして、５号住居－３として報告をした小形（ミニチュア）甕があげられる。住居址一括遺物として取り上げているために、出土位置・状況等は不明である。法量は口径6.3㎝、器高9.0㎝であり、口縁の一部が欠損している。Ｘ線写真撮影の結果、内部には板状鉄片が多量に遺存していることが判明した。今回の小日向地区遺跡群発掘調査の中で、弥生時代所産の鉄と推定されるのは本遺物のみである。当該期鉄製品の製作方法・普及状況等を検討していく上で、極めて重要な資料と思われる。　（壁　伸明）

5　小日向壱丁田Ⅱ遺跡



第210図　小日向壱丁田Ⅱ遺跡全体図・グリッド設定図

5　小日向壱丁田Ⅱ遺跡

⑴　概　　要

本遺跡は、平成16年度～18年度の３カ年で調査を実施した。遺跡地の大部分を16年度に、琴平山古墳北半を17年度に、遺跡地西端の一部分の調査を18年度に実施した（18年度調査分をＫ２と呼称している）。遺跡地の東西には小規模な谷地が存在し、それぞれの谷地を挟んで東は壱丁田遺跡に、西は田中遺跡に接している。なお、本遺跡が所在する場所の字名は「壱丁田」であるが、前章でも述べたように壱丁田遺跡との間には谷地が存在し、弥生時代後期の集落が一旦途切れるため、遺跡名を壱丁田Ⅱ遺跡としている。また、琴平山古墳も本遺跡に属するものなので、ここで報告する。

⑵　縄文時代

平成16年度調査において、中期末葉の所産と推定される列石が、３号古墳の墳丘下で検出されている。やや細長い石を、長軸方向を揃えて、北北西から南南西の方向へ緩い弧状に配置している。列石両端は３号古墳周堀により壊されており、確認されたのは７メートル程である。しかし、18年度調査時に２号古墳北側及び南側周堀付近において、本遺構と一連のものと考えられる石が数個検出されており、最低でも26メートル以上の規模を有するものと推定される。列石周辺からは、加曽利Ｅ式期の土器が一定量出土しているため、中期末葉の所産と考えられる。

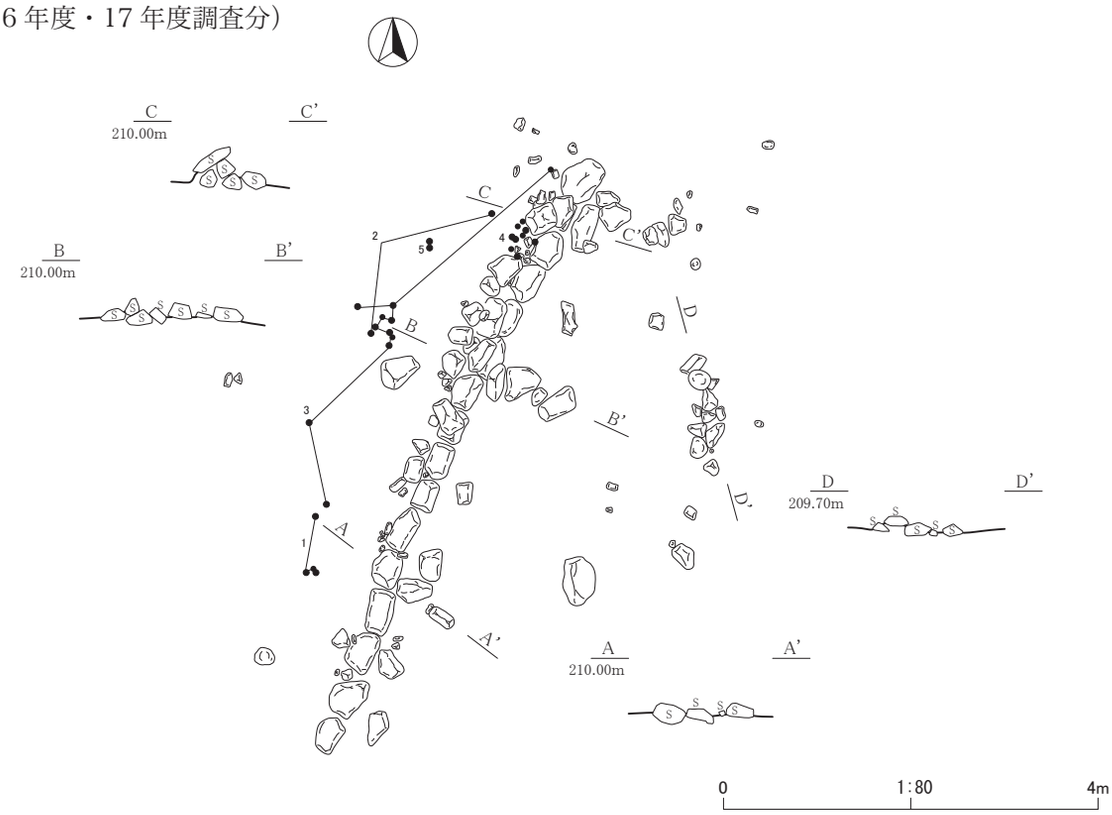
⑶　弥生時代～古墳時代初頭

平成16年度調査において、弥生時代後期～古墳時代初頭の所産と考えられる竪穴住居址が24軒検出された。１号住居址・14号住居址のように、長軸方向が10メートルを超える大型住居址も確認されている。また、住居址の重複や拡張住居址も目立ち、一定期間継続して営まれた集落と考えられる。平成18年度調査においては、２号古墳の一部・弥生時代後期竪穴住居址２軒・住居址と同時期の所産と推定される埋設土器等の調査を実施した。

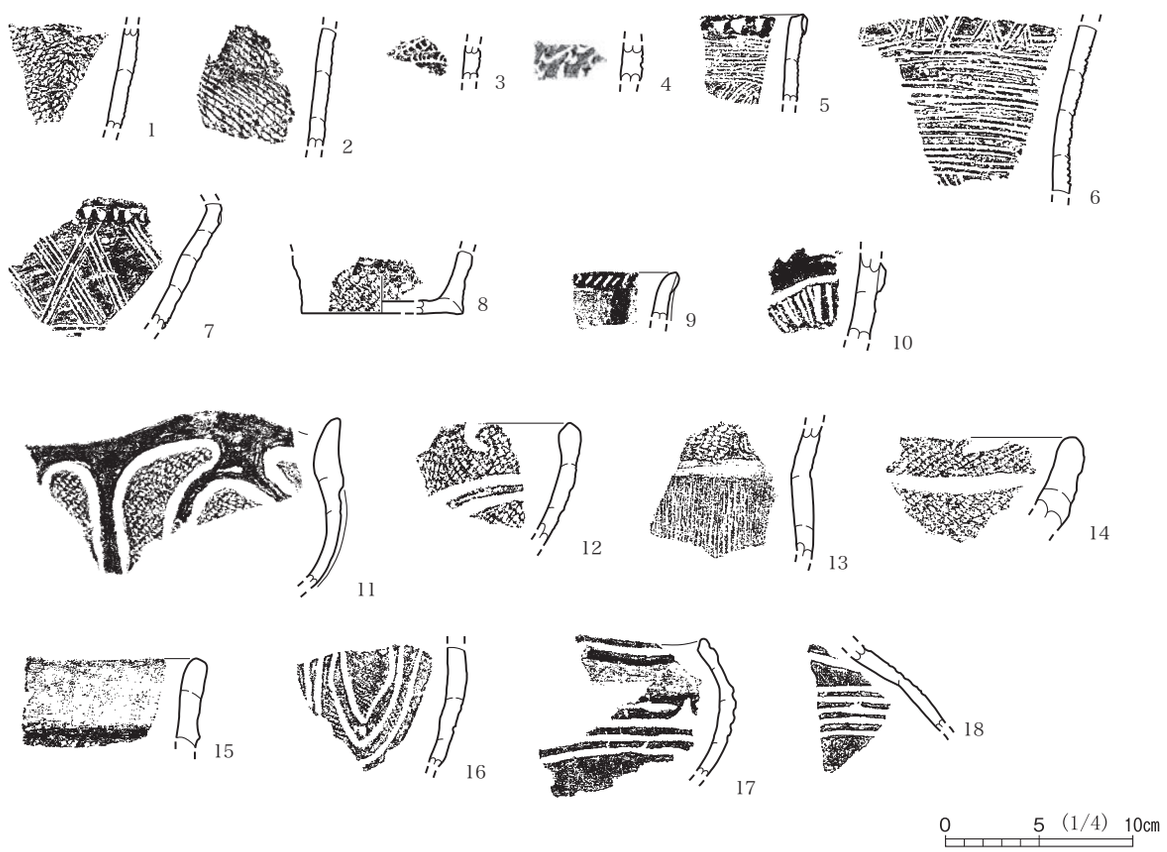
⑷　古墳時代

前述の琴平山古墳の他に４基、合計５基の古墳の調査を実施した。琴平山古墳は、昭和の初め頃県道建設工事に伴い墳丘の中心部分が削平されたため、道路の南北に墳丘が分断され遺存している状況であった。南半を16年度に、北半を17年度に調査した結果、本墳は全長50メートル強の前方後円墳であり、安中市内においては梁瀬二子塚に次ぐ規模を有するものであることが判明した。また、築造時期も６世紀初頭～前半と考えられ、九十九川流域においては最古級の１基と考えられる。周堀からは多数の円筒埴輪・形象埴輪が出土している。特に石見型盾の出土は県内３例めと考えられ、貴重な発見となった。なお、「松井田町誌」には、道路建設時に出土した遺物は国立博物館に収蔵されていると記載されているが、その詳細については不明である。

（16 年度・17 年度調査分）



第211図　1 号列石実測図



第212図　遺構外出土縄文土器実測図

第213図　1号列石出土縄文土器実測図

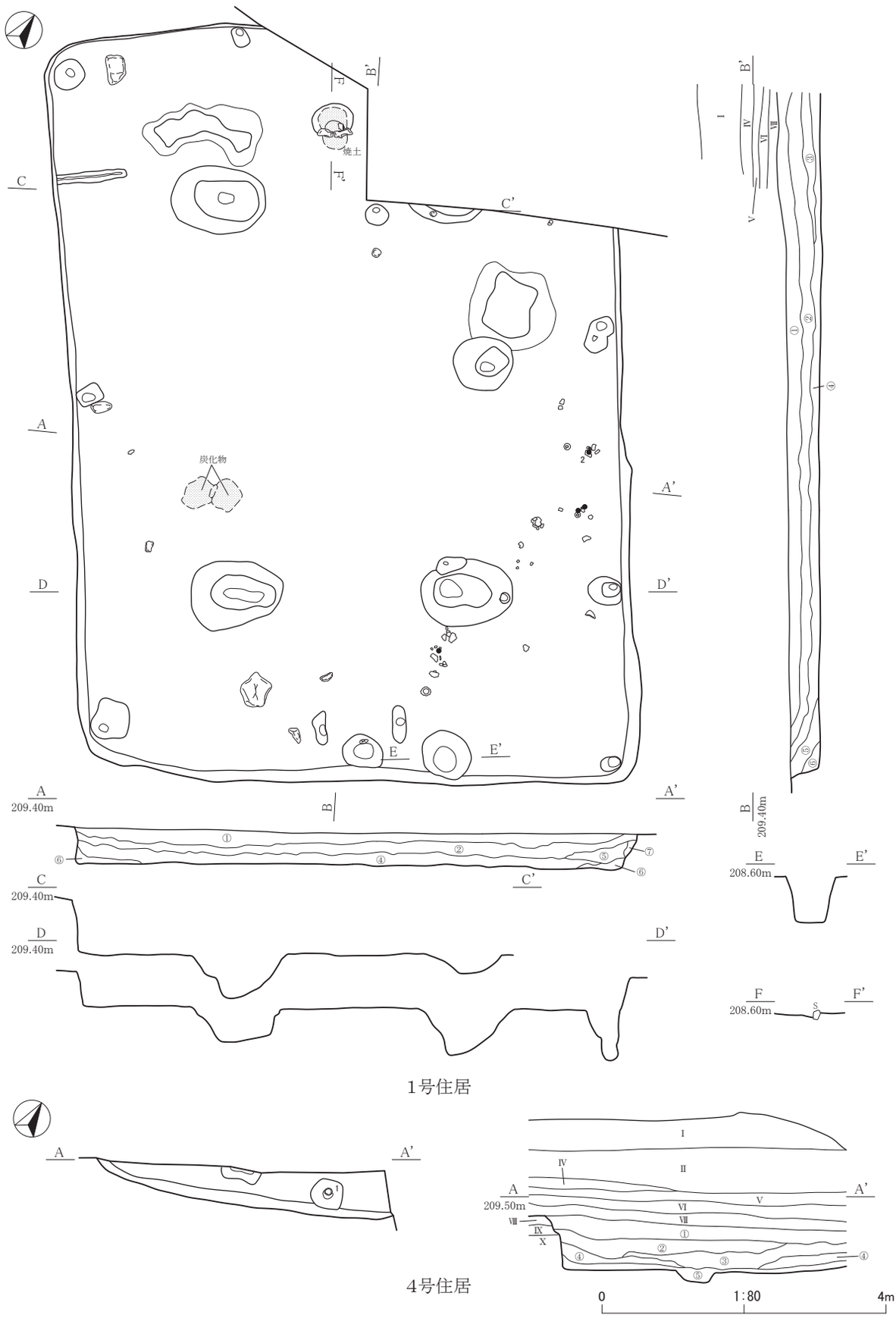
遺構外

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②黄灰色③繊維・砂粒 ④胴部	無節の羽状縄文。内面は横位のナデ。	4 号墳周辺
2	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①不良②にぶい黄橙色③繊維・砂粒 ④胴部	無節R。内面は横位のナデ。	21 号住居跡 覆土
3	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②赤褐色③砂粒④胴部	半裁竹管状工具による爪形文。内面は横位のナデ。	1 号列石 周辺
4	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・砂粒 ④胴部	半裁竹管状工具による爪形文を弧状に施文。内面は横位のナデ。	1 号墳 墳丘南西部
5	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・砂粒 ④口縁部～胴部	胴部に斜位の集合沈線→頸部横位集合沈線→口縁部粘土貼付後、押圧。内面は横位のナデ。	5 号土坑 覆土
6	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい橙色③角閃石・チャート・砂粒④胴部	横位集合沈線→斜位の集合沈線、格子状の集合沈線。内面は横位のナデ。	1 号列石 南側
7	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②灰黄褐色③角閃石・チャート・砂粒④頸部～胴部	口縁部、くの字状に屈曲する。横位集合沈線で区画→格子状の集合沈線、屈曲部に押圧。内面は横位のナデ。	1 号列石 南側
8	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　8.6 器高　－	①普通②橙色③角閃石・砂粒 ④胴部～底部	平底。胴部単節LR縄文。内面は横位のナデ。	2 号土坑 覆土
9	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③チャート・砂粒 ④口縁部	平縁。口唇部に横位隆帯貼付→口縁部から垂下する隆帯を貼付→横位隆帯上に刻み。内面は横位のナデ。	一括
10	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③角閃石・石英・砂粒 ④胴部	弧状に隆帯を貼付し区画→区画内を角押文で充填→隆帯脇に沈線。内面は横位のナデ。	23 号住居跡 覆土
11	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③角閃石・砂粒 ④口縁部	波状口縁。口縁部を隆帯で楕円状・∩状に区画→区画内にRL縄文を施文→隆帯脇に指頭状工具による沈線。内面は横位の丁寧なナデ。	2 号住居跡 覆土
12	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③石英・砂粒④口縁部	平縁。RL縄文施文後、弧状の沈線。内面は横位のナデ。	2 号住居跡 覆土
13	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②明赤褐色③角閃石・砂粒④頸部～胴部	頸部RL縄文施文後、指頭状工具による沈線→屈曲部指頭状工具による横位沈線。胴部縦位の条線。内面は横位のナデ。	1 号列石 北側
14	縄文土器 鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②灰黄褐色③角閃石・砂粒 ④口縁部	RL縄文施文後、横位沈線。内面は横位のナデ。	23 号住居跡 覆土
15	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③角閃石・砂粒 ④口縁～頸部	胴部縄文施文。口縁部横位の丁寧なナデ。頸部に稜を持つ。内面は横位のナデ。	9 号住居跡 覆土
16	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③砂粒④胴部	LR縄文施文後、U字状沈線。内面は横位のナデ。	2 号住居跡 覆土
17	縄文土器 鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①良好②褐灰色③骨針・砂粒④口縁～胴部	内湾する口縁。外面丁寧な磨き。胴部上位に変形工字文。内面は横位のナデ。	5 号住居跡 覆土
18	縄文土器 鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①良好②黄灰色③骨針・角閃石・砂粒 ④胴部	胴部上位を５条の横位沈線で区画。区画内に斜位の沈線。内面は縦位のナデ。	1 号住居跡 覆土

1 号列石

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	縄文土器 鉢	口径 (23.6) 底径　－ 器高　－	①普通②黄橙色③骨針・角閃石・砂粒 ④口縁部～胴部	平縁。口縁部横位のナデ。胴部、隆帯で弧条に区画→区画内RL縄文施文→隆帯脇を指頭状工具による沈線。胴部下位に縦位の条線。内面は横位のナデ。	列石北西側
2	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②黄橙色③角閃石・石英・砂粒 ④口縁～胴部	内湾する口縁。RL縄文施文後、口縁部にU字状の隆帯を貼付。隆帯脇を指頭状工具による沈線。胴部、同様の工具による縦位の沈線で区画。区画内は磨り消し。内面は横位のナデ。	列石北西側
3	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　9.2 器高　－	①普通②橙色③角閃石・砂粒④胴～底部	RL縄文施文後、２条１組の縦位の隆帯、∩状隆帯を貼付し区画。隆帯脇を指頭状工具による沈線。区画内は擦り消し。内面は上位は横位のナデ、下位は縦位のナデ。	列石北西側
4	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径 (9.0) 器高　－	①普通②黄橙色③角閃石・砂粒 ④胴～底部	RL縄文施文後、２条１組の縦位の沈線を施文。沈線による区画内は擦り消し。内面は横位のナデ。	列石北西側
5	縄文土器 深鉢	口径　－ 底径　8.8 器高　－	①普通②橙色③角閃石・砂粒 ④胴～底部	LR縄文施文後、指頭状工具による２条１組の縦位の沈線を施文。沈線による区画内は擦り消し。内面は横位のナデ、底部付近に帯状のコゲが半周する。	列石北西側

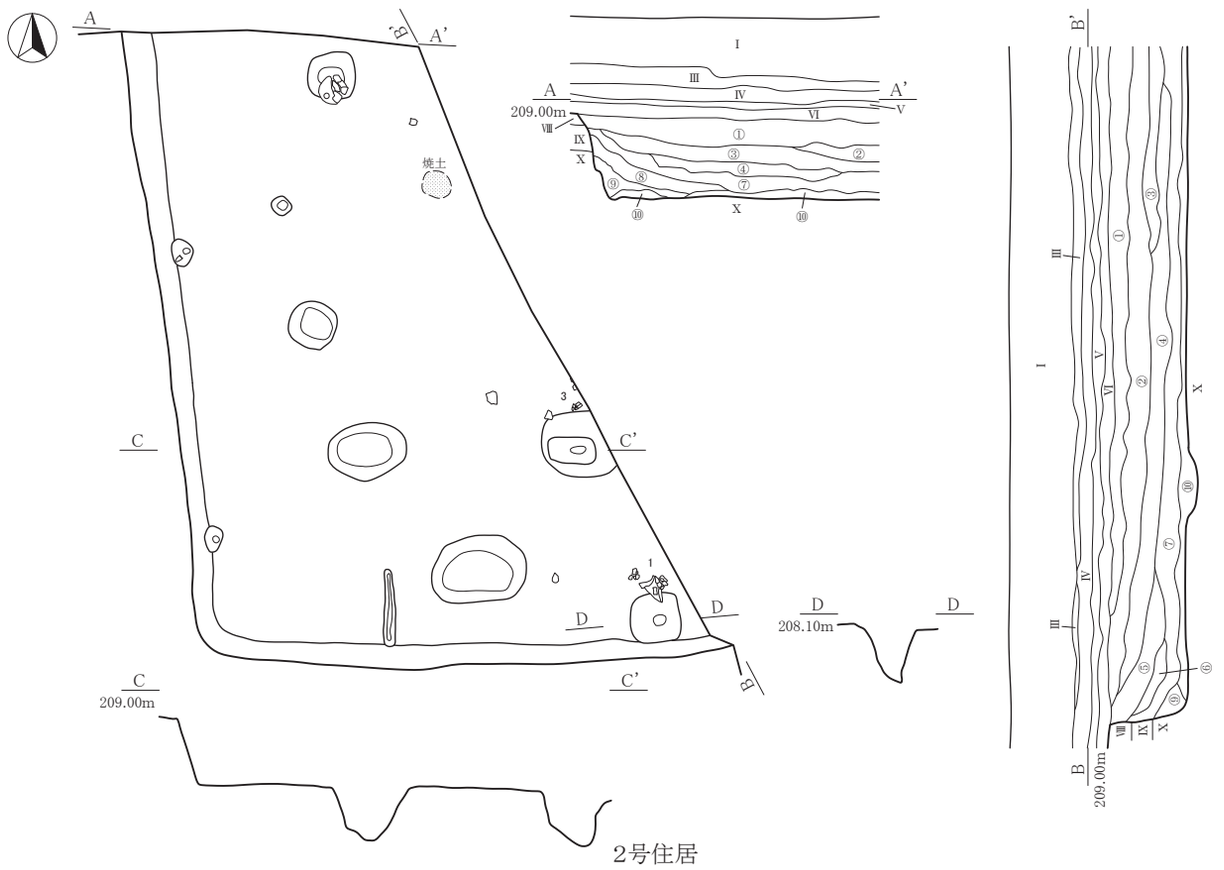
第108表　遺構外・１号列石出土縄文土器観察表

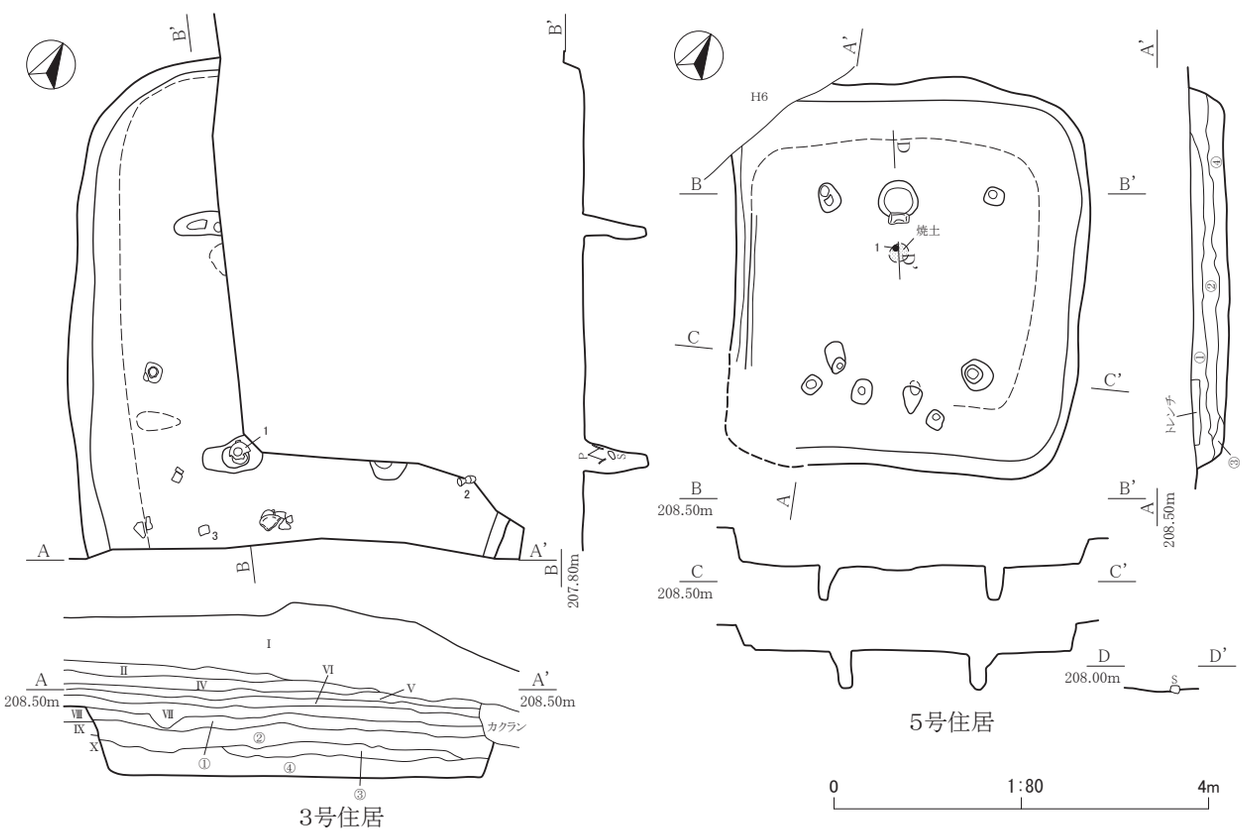


1号住居

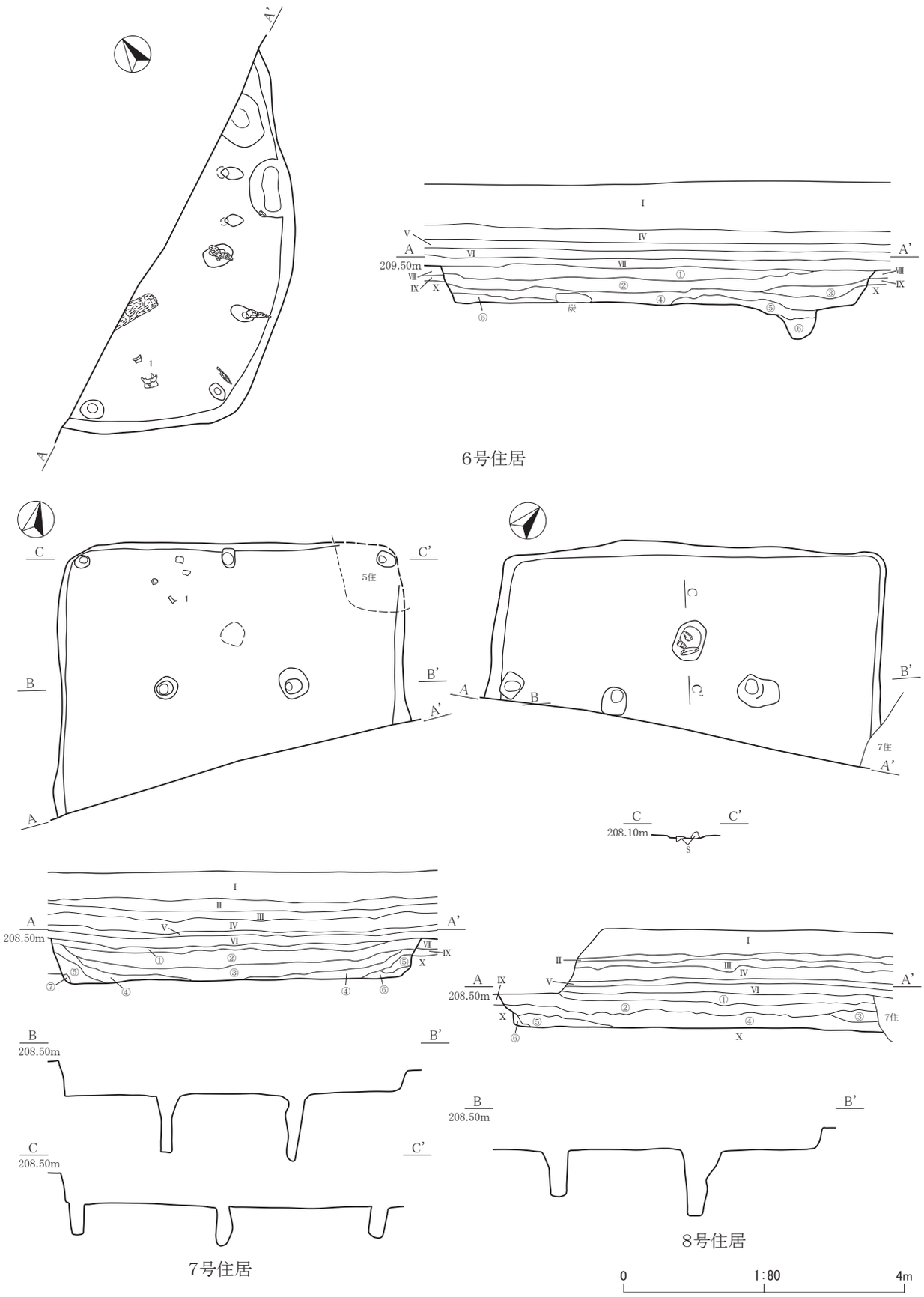
4号住居

第214図　1号・4号住居址実測図

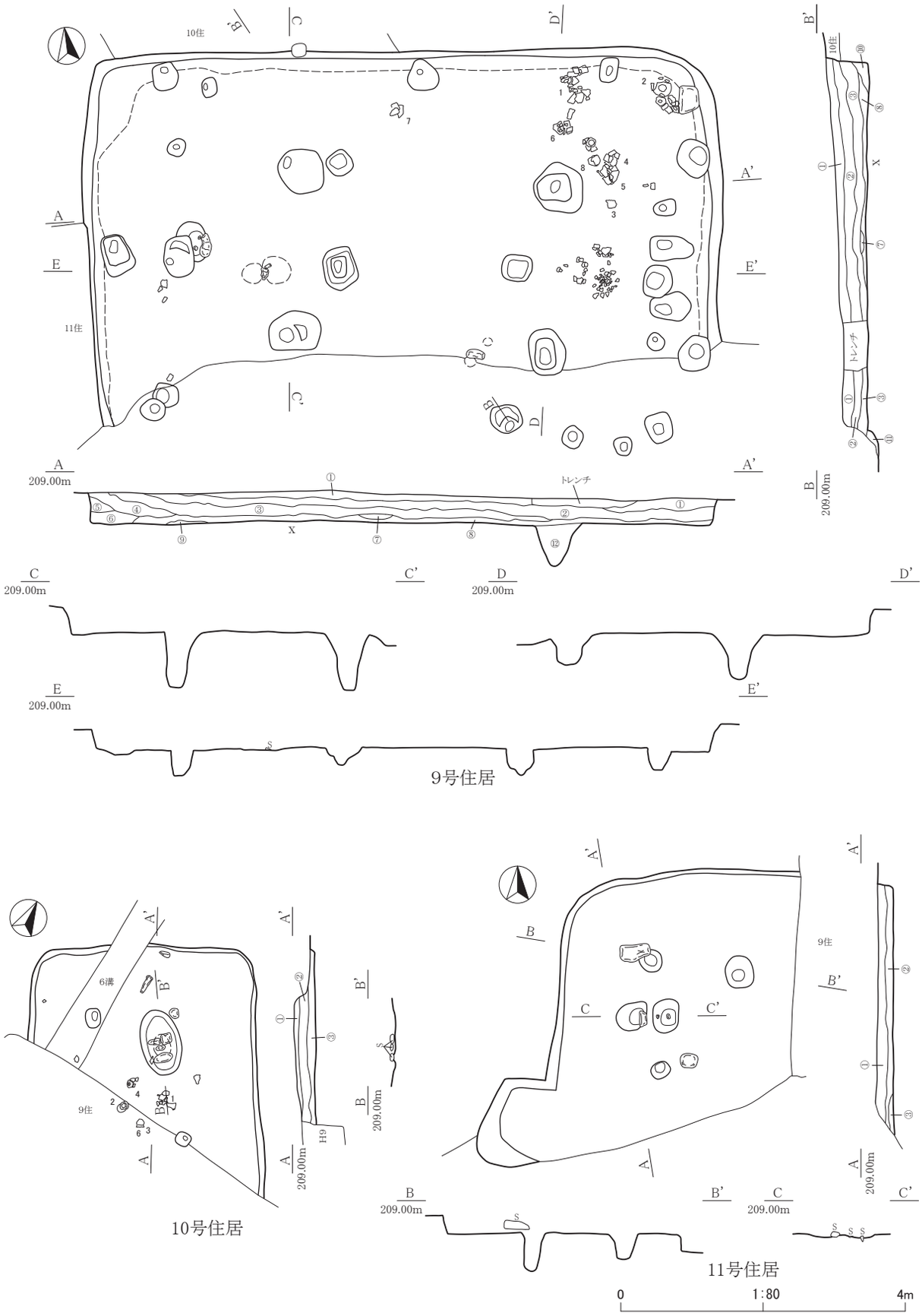




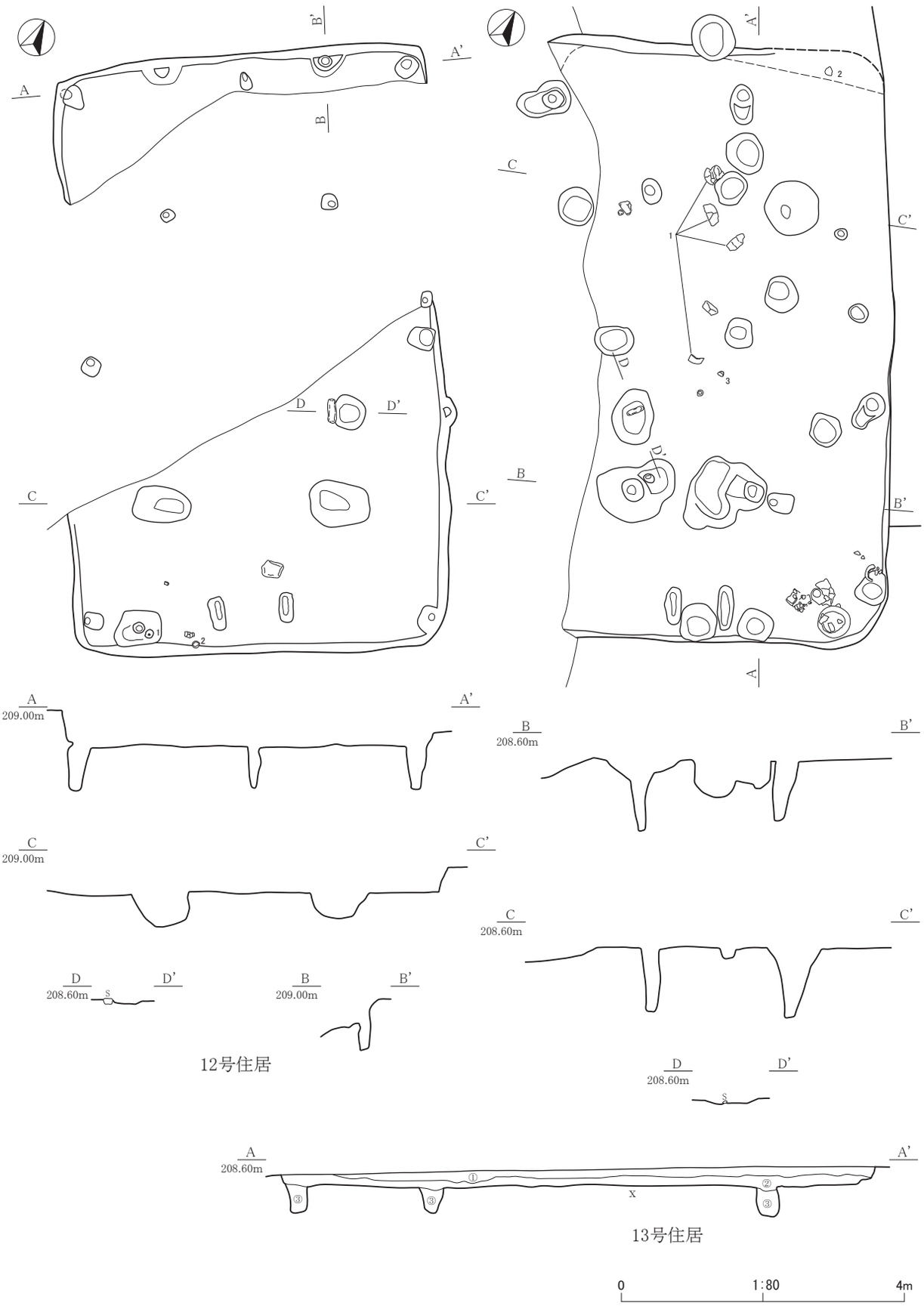
第215図　2号・3号・5号住居址実測図



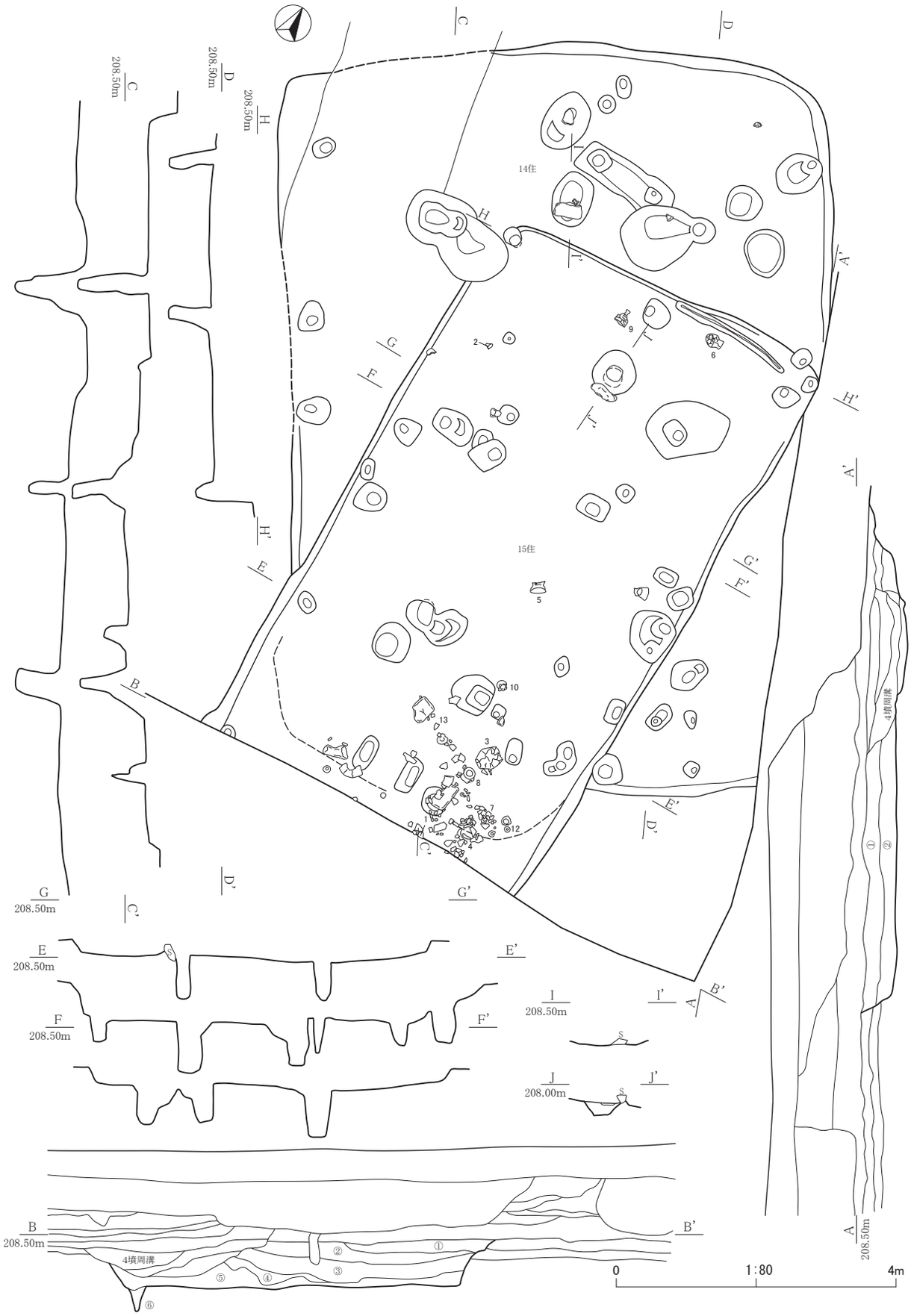
第216図　6号・7号・8号住居址実測図



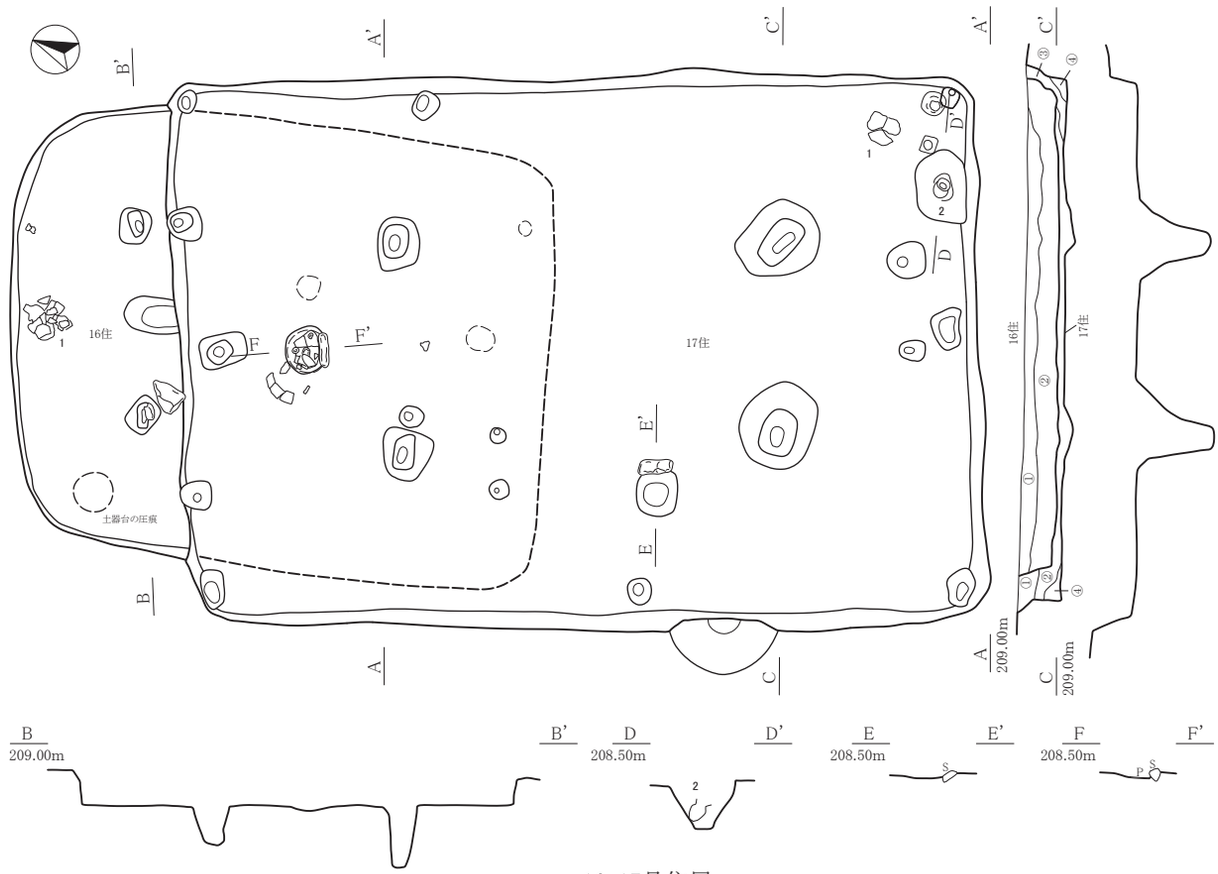
第217図　9号・10号・11号住居址実測図



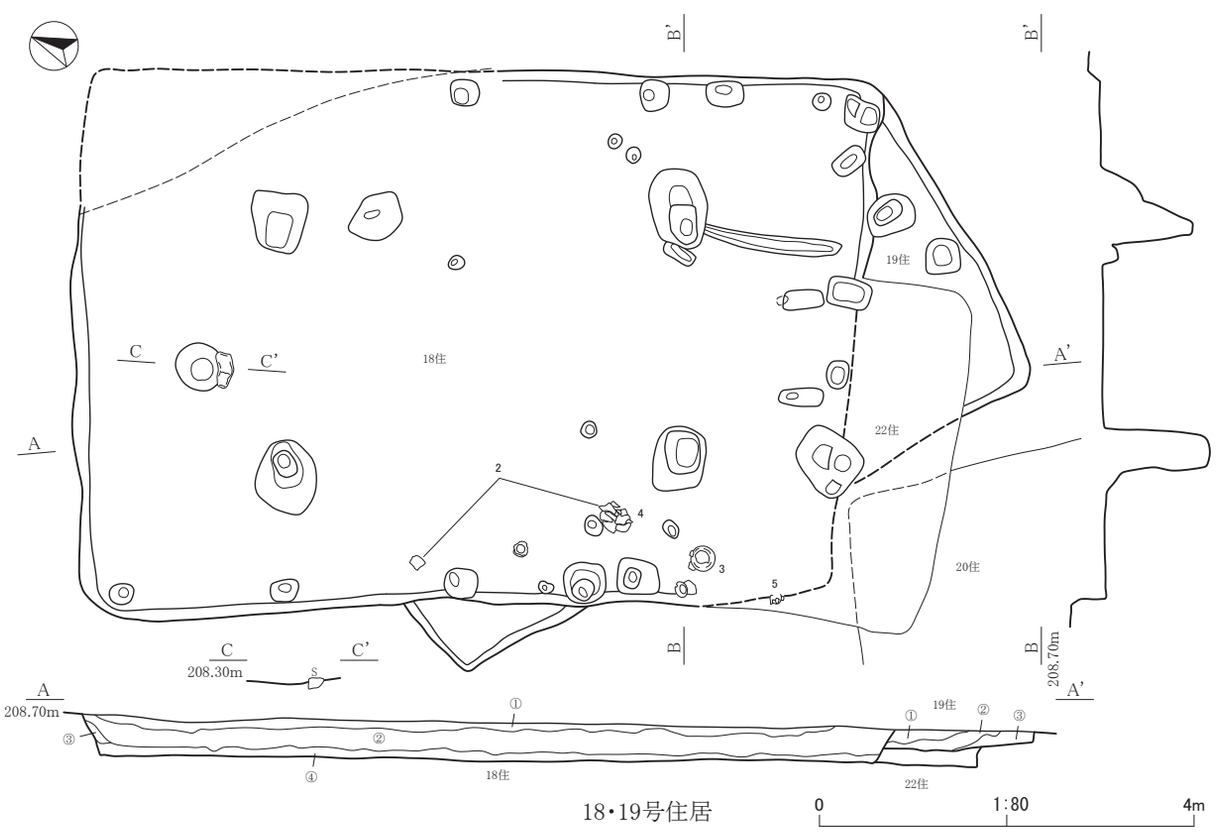
第218図　12号・13号住居址実測図



第219図　14号・15号住居址実測図



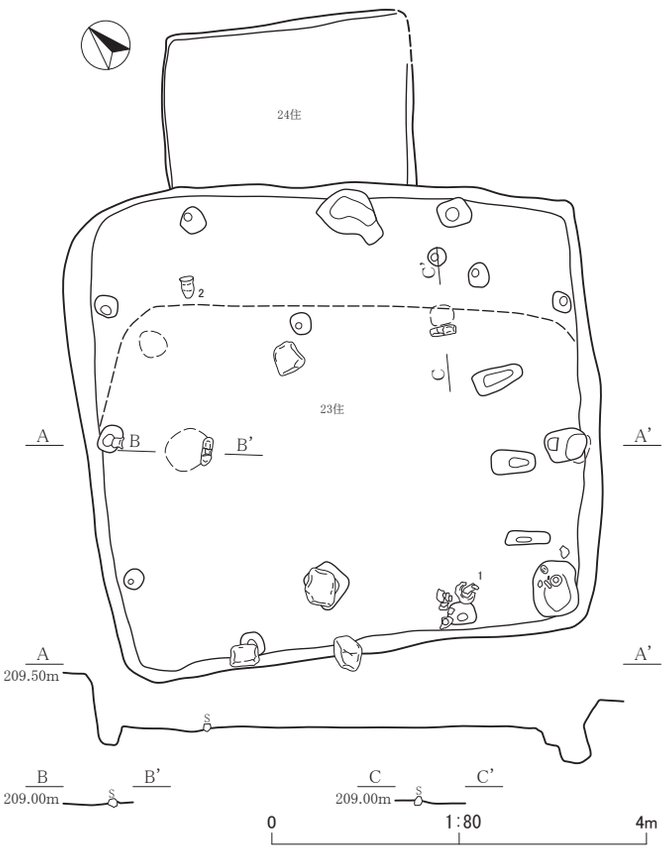
16･17号住居



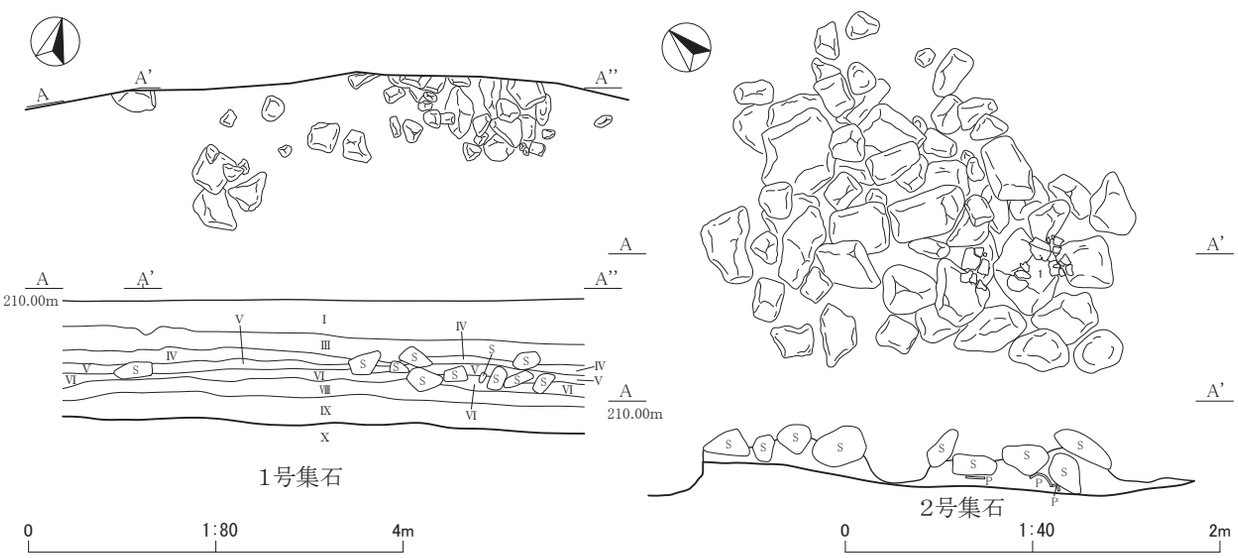
18･19号住居

第220図　16号・17号・18号・19号住居址実測図

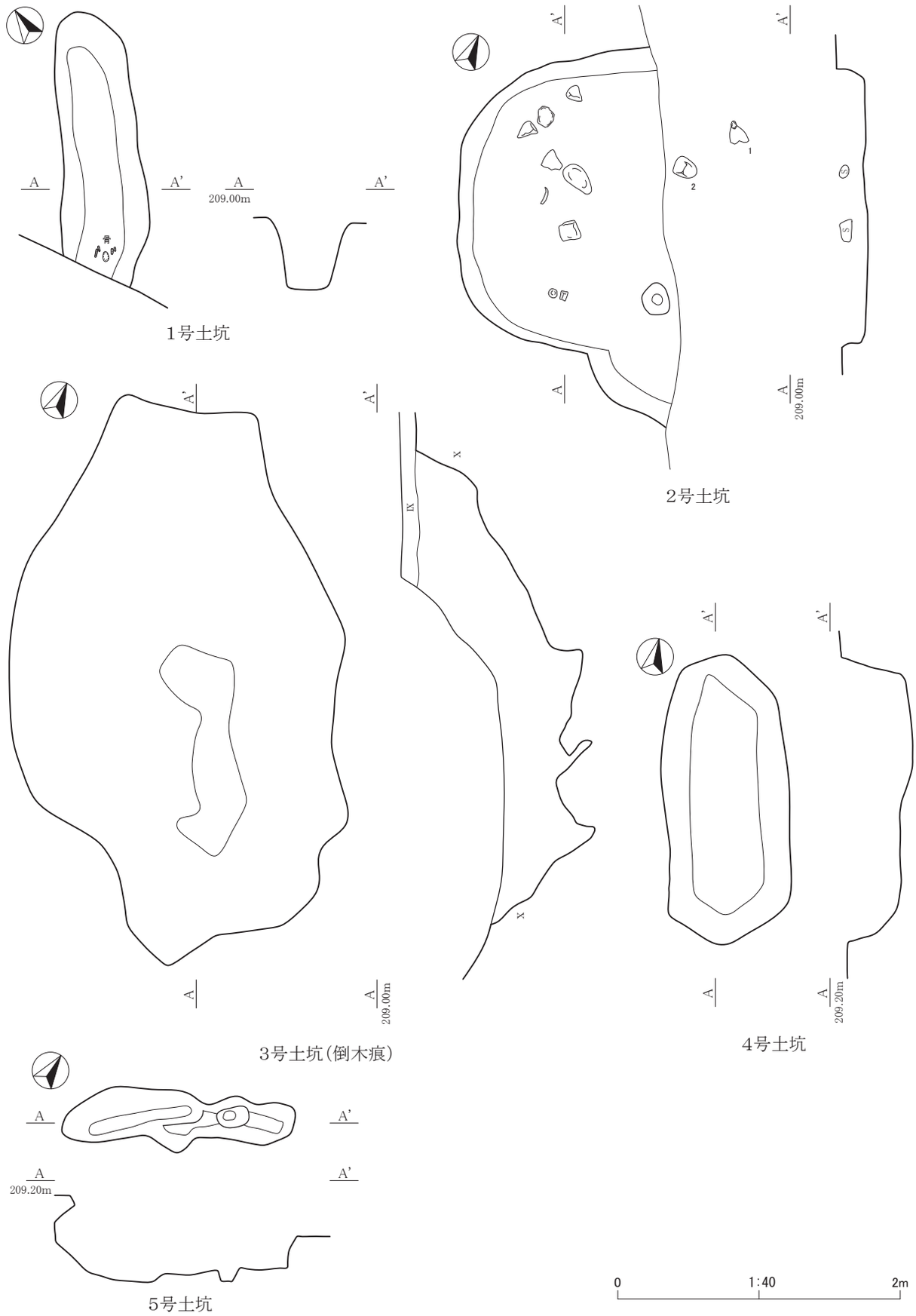
第221図　20号・21号・22号住居址実測図



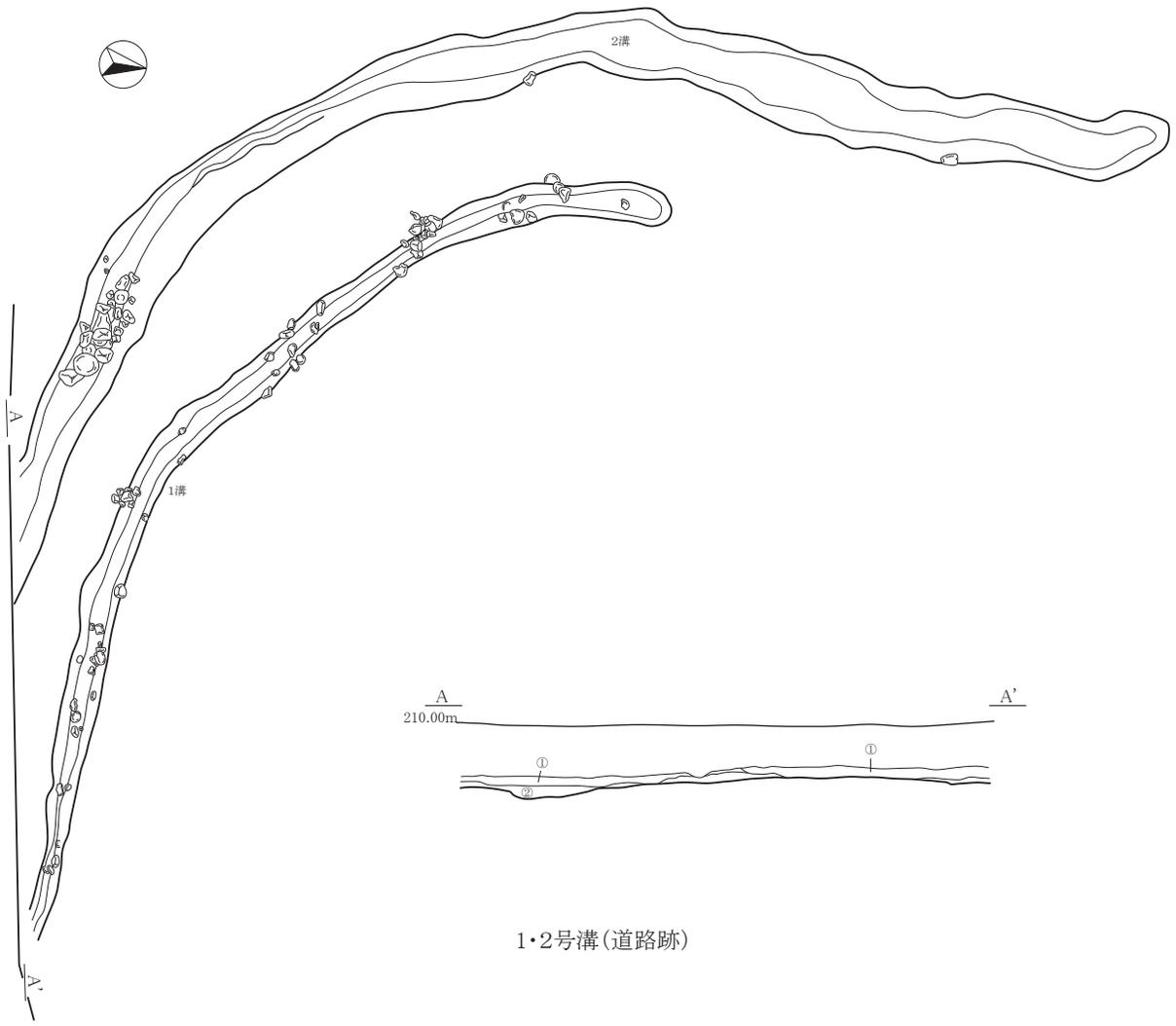
第222図　23号・24号住居址実測図



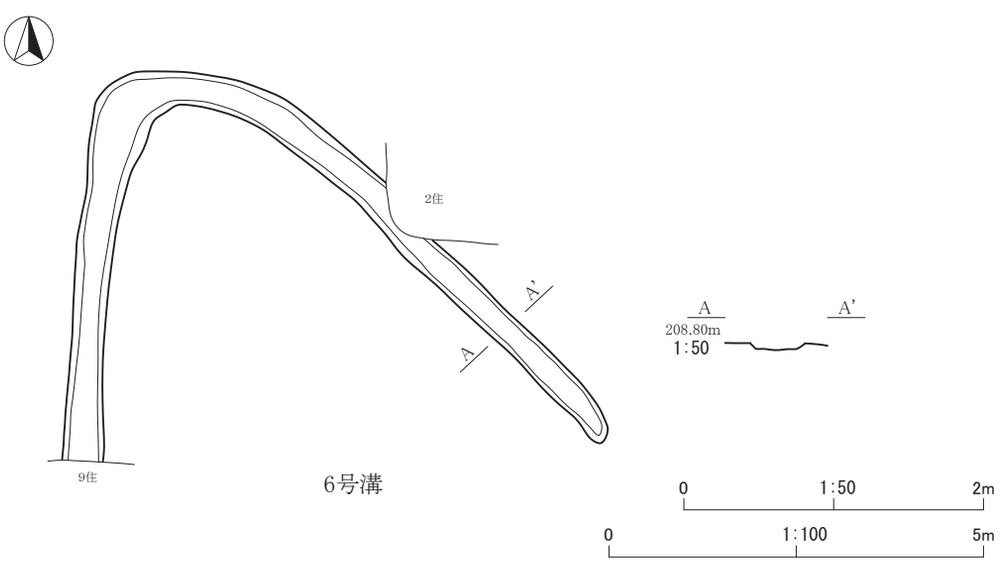
第223図　1号・2号集石実測図



第224図　1号・2号・3号・4号・5号土坑実測図



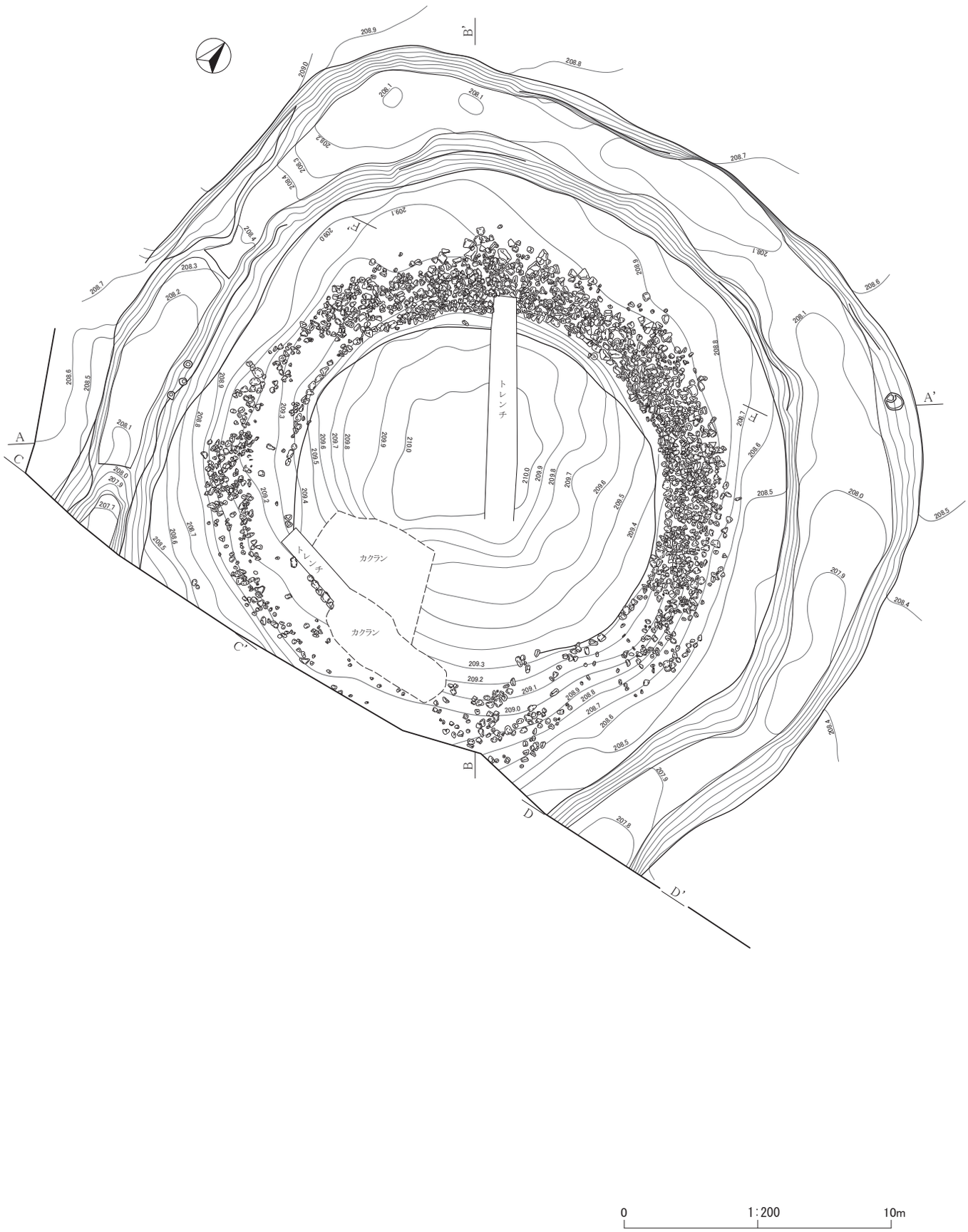
1・2号溝(道路跡)



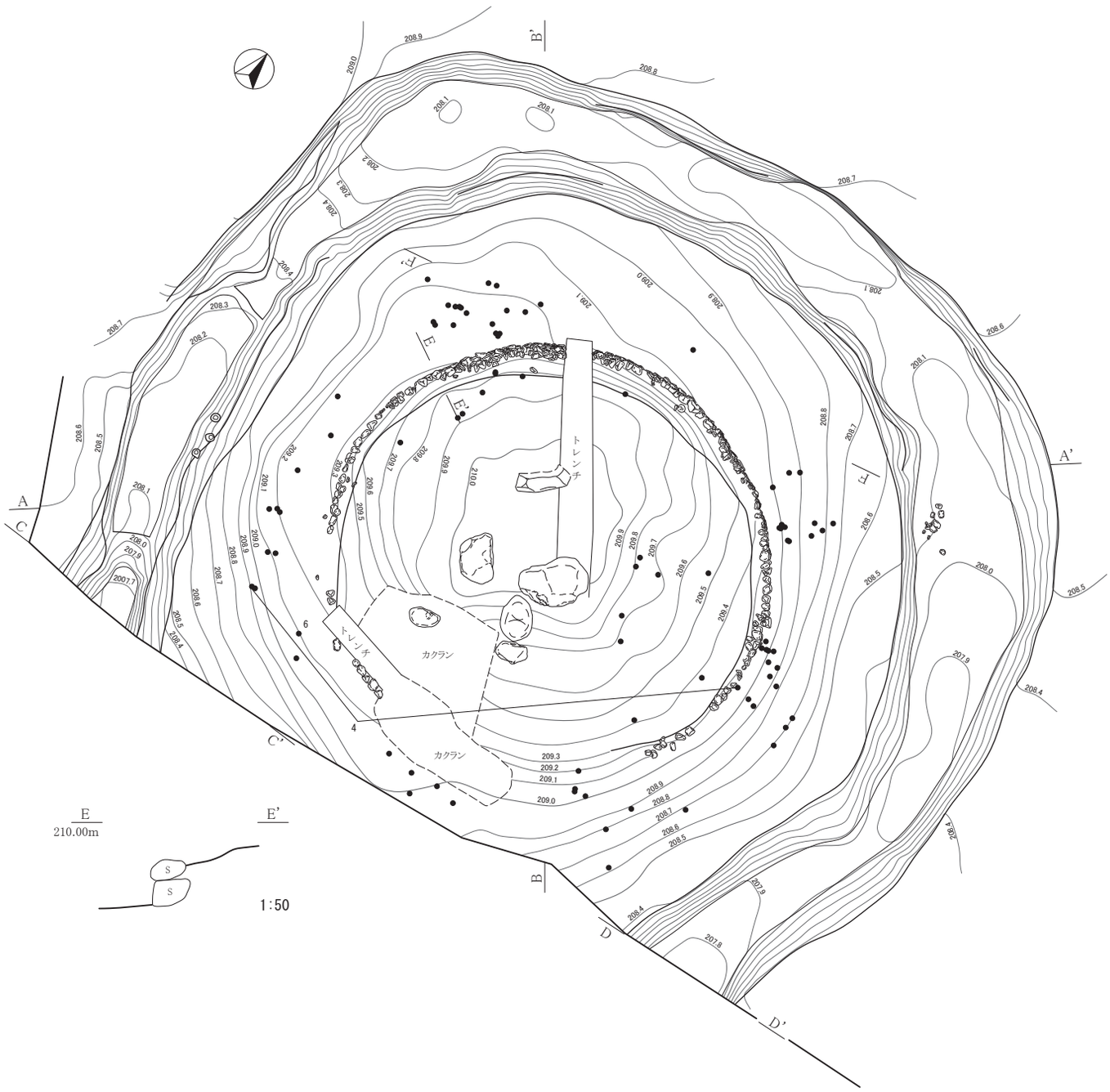
6号溝

第225図　1号・2号・6号溝実測図

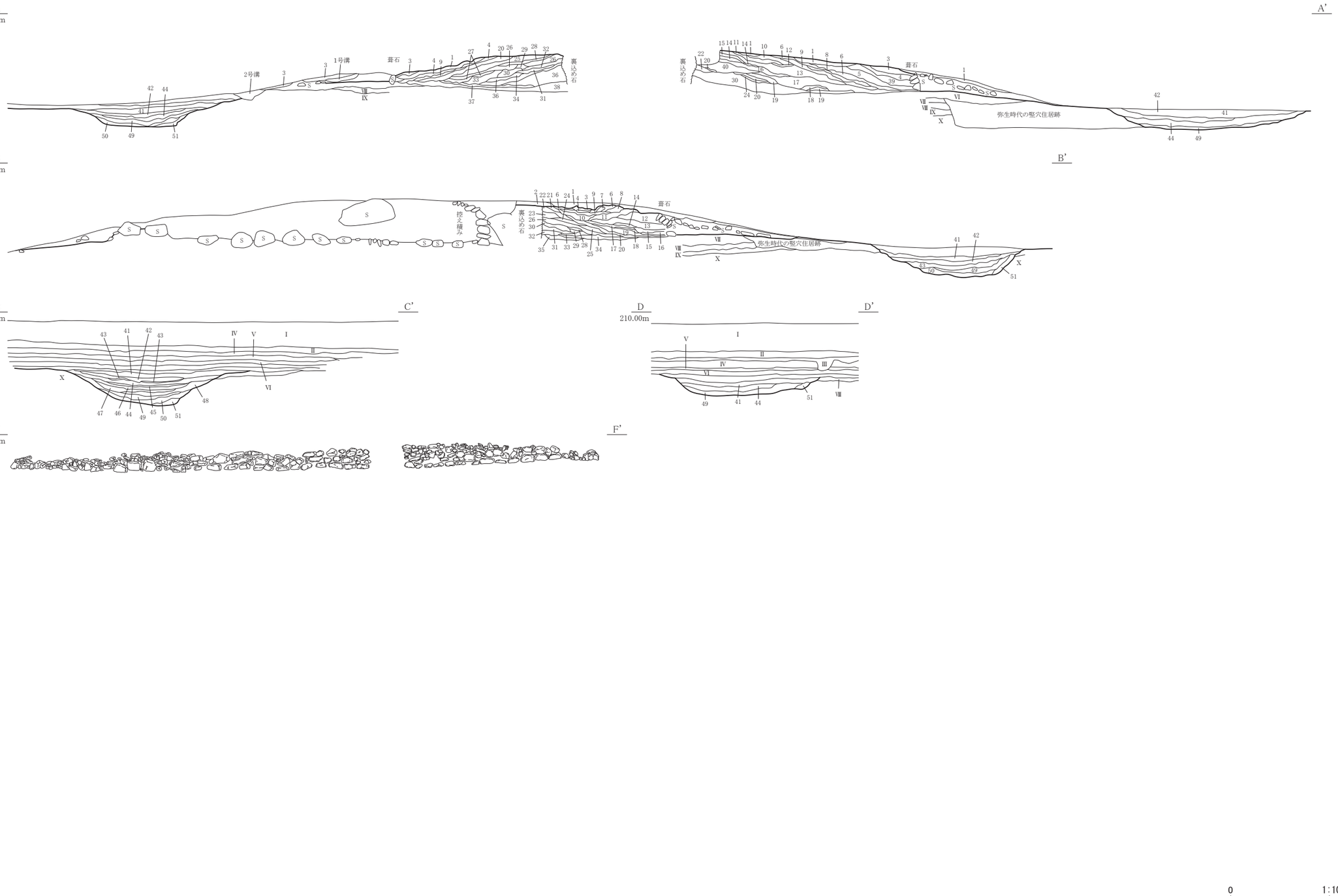
第226図　3～5号溝実測図



第227図　1号古墳葺石崩落状況実測図



第228図　1号古墳実測図(1)



0　1:100　5m

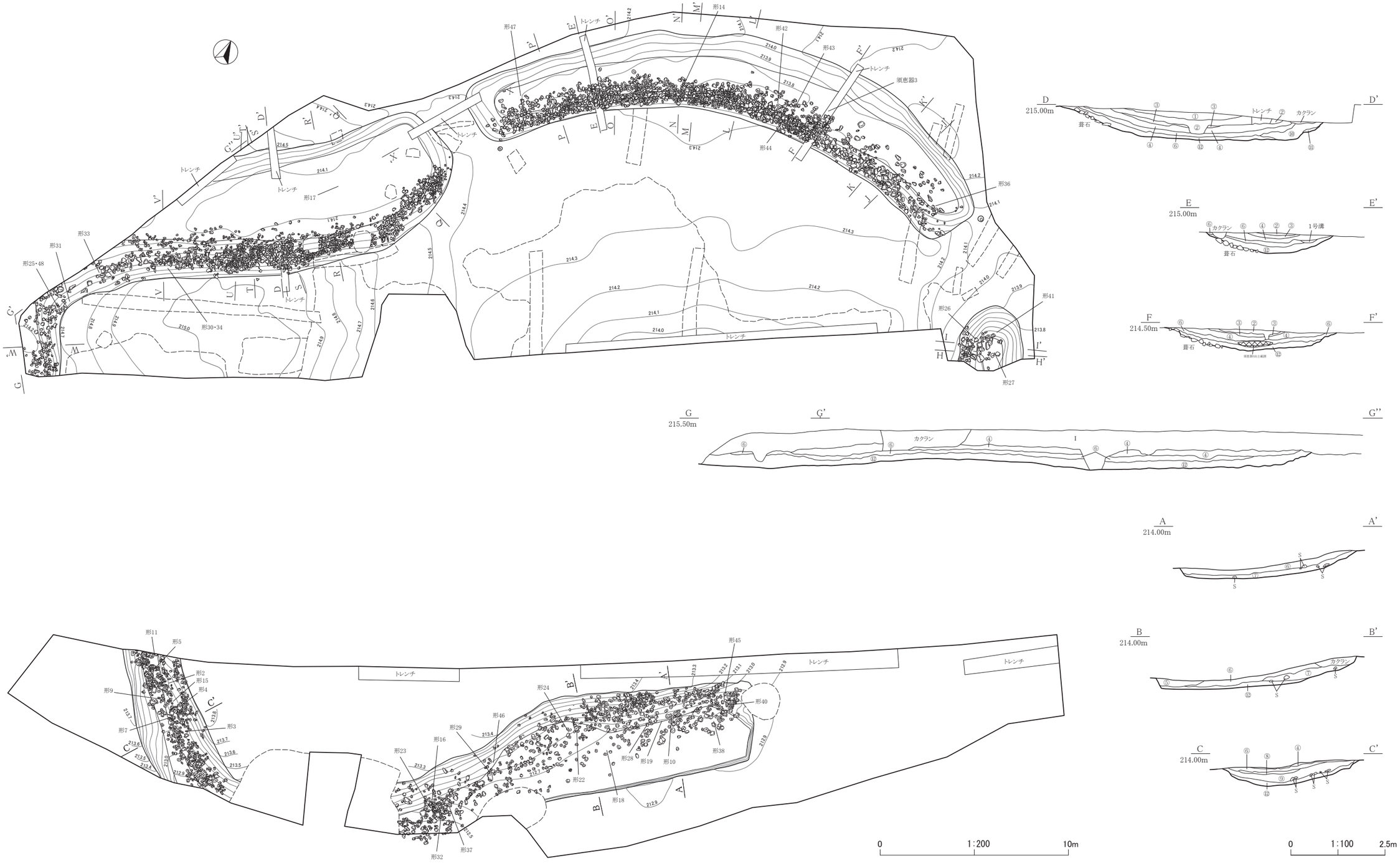
第229図　1号古墳実測図(2)

第230図　1号古墳石室実測図

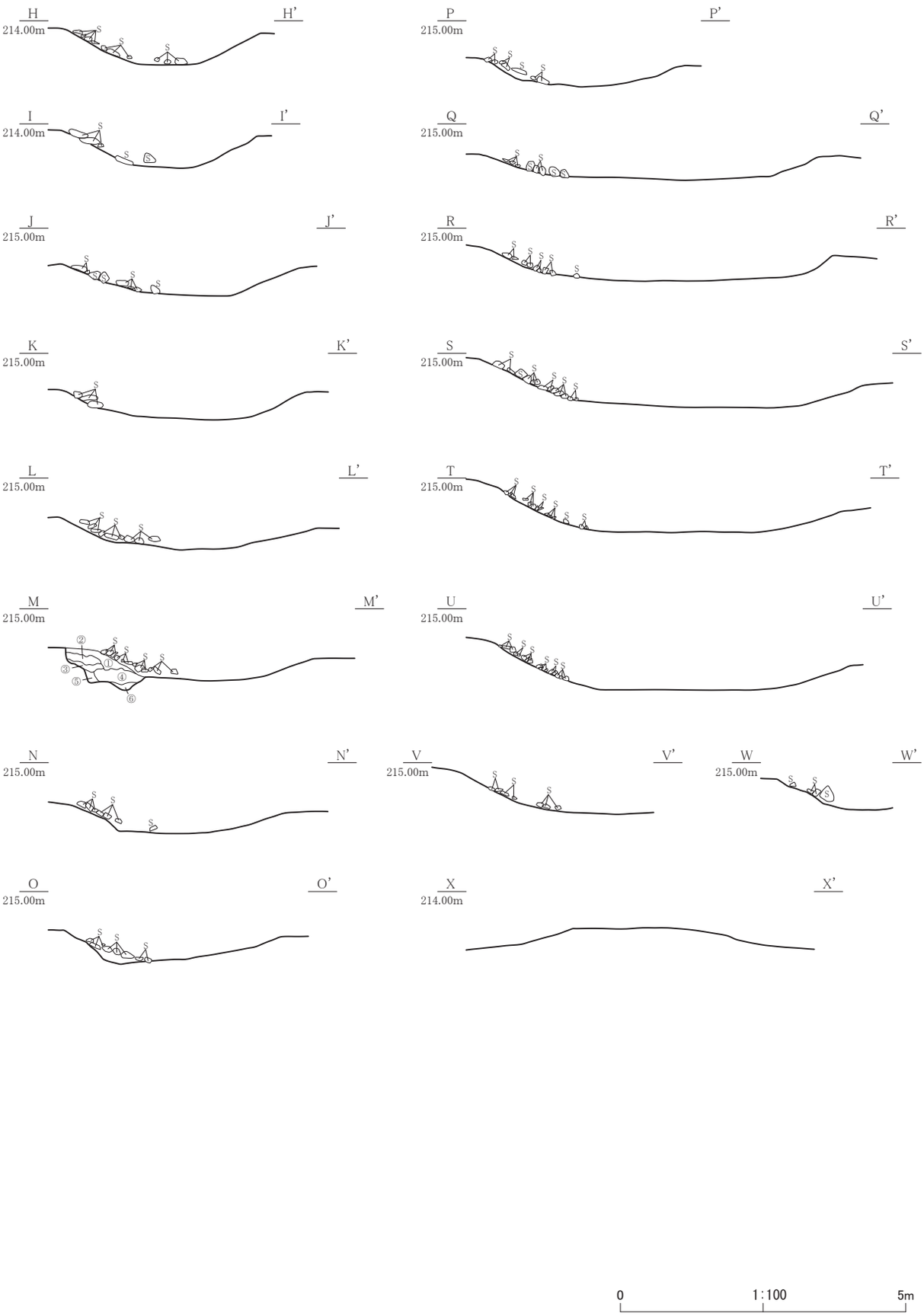
第231図　２号古墳実測図

第232図　３号古墳実測図

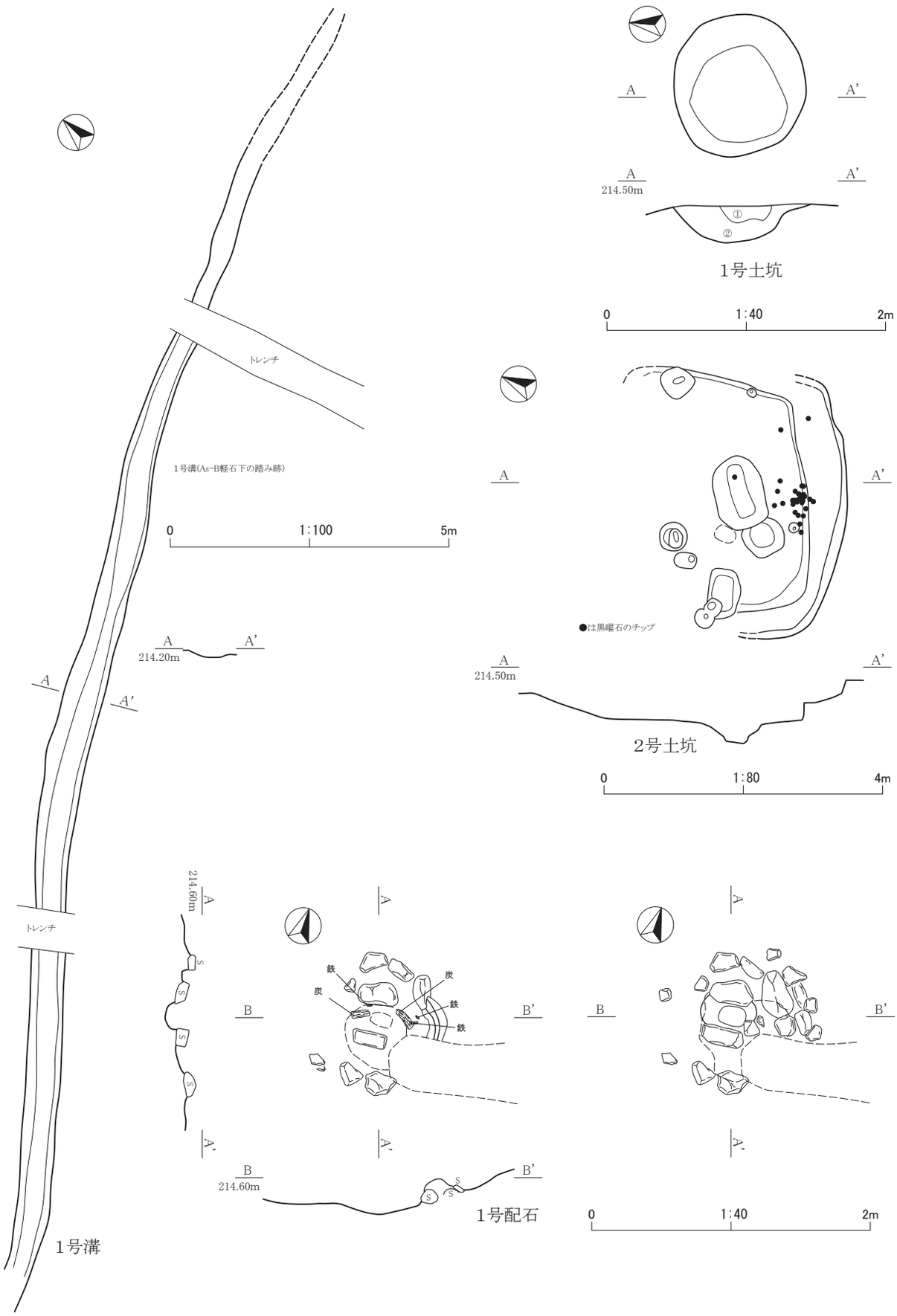
第233図　4号古墳実測図



第234図　琴平山古墳実測図(1)



第235図　琴平山古墳実測図(2)



第236図　1号溝、1・2号土坑、1号配石実測図

1号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	As-C 軽石多量、炭化粒微量に含む	
2	黒色土	As-C 軽石・ローム粒少量含む	粘土質
3	黒色土	炭化粒多量、焼土粒微量に含む	粘土質
4	灰黄色土	炭化粒・ロームブロック・ローム粒少量含む	粘土質
5	黒褐色土	炭化粒・ロームブロック少量含む	
6	黒褐色土	ローム粒多量に含む	粘土質
7	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒多量に含む	

2号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	As-C 軽石・小石少量含む	
2	黒褐色土	As-C 軽石多量に含む	
3	黒褐色土	As-C 軽石・ローム粒多量に含む	
4	褐灰色土		
5	ロームブロック	黒褐色土少量含む	
6	灰黄褐色土	ローム粒多量に含む	
7	黒褐色土	ロームブロック多量、焼土ブロック・炭化物少量含む	
8	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
9	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒多量に含む	
10	灰黄褐色土	炭化粒少量含む	粘土質

3号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	土器片・小石多量に含む	
2	黒褐色土	小石多量、炭化粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒多量、炭化粒少量含む	
4	黒褐色土	炭化材多量、焼土粒・小石少量含む	

4号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	小石多量、炭化粒・焼土粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒多量・炭化粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック・炭化粒多量に含む	
4	黒色土	ロームブロック少量含む	
5	灰黄褐色土	ロームブロック・ローム粒多量、炭化粒少量含む	

5号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	ローム粒・小石多量、As-C 軽石少量含む	粘土質
2	黒色土	ローム粒・ロームブロック・炭化粒多量に含む	
3	褐灰色土	ローム粒少量含む	粘土質
4	黒色土	炭化材・焼土ブロック多量に含む	粘土質

6号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	ローム粒・小石少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック多量、小石少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	
4	炭化物	黒褐色土多量、焼土粒・ローム粒少量含む	
5	焼土ブロック	炭化粒多量に含む	
6	黒褐色土	炭化粒多量、ローム粒少量	

7号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	褐灰色土	ローム粒・小石少量含む	
2	黒色土	As-C 軽石・ローム粒少量含む	
3	灰白色粘土		
4	褐灰色土	ローム粒少量含む	

第109表　1～7号住居址土層注記

5	黒色土	ローム粒少量含む	
6	灰黄褐色土	ローム粒多量に含む	
7	ロームブロック		

8号住居跡

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	As-C 軽石・ローム粒・小石少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒多量、As-C 軽石・小石少量含む	
3	黒色土	ローム粒少量含む	
4	黒褐色土	ローム粒多量、炭化粒・小石少量含む	
5	黒色土	ローム粒少量含む	
6	黒色土	ロームブロック多量に含む	

9号住居跡

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	小石多量に含む	
2	黒褐色土	小石多量、炭化粒・ローム粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック多量、炭化粒少量含む	
4	黒色土	ローム粒多量、炭化粒・ロームブロック少量含む	
5	黒褐色土	ローム粒少量含む	
6	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
7	ロームブロック		
8	灰褐色土	ローム粒多量に含む	粘土質
9	炭化物		
10	黒褐色土	ローム粒少量含む	粘土質
11	黒褐色土	焼土粒多量に含む	炉跡か
12	黒褐色土		柱穴

10 号住居跡

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	土器片・小石多量に含む	
2	黒褐色土	土器片多量に含む	
3	黒褐色土	土器片少量含む	

11 号住居跡

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	焼土粒・炭化粒少量含む	
2	黒色土	ロームブロック少量含む	
3	黒色土	焼土ブロック多量に含む	

13 号住居跡

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	ローム粒・炭化粒多量、ロームブロック・小石少量含む	粘土質
2	黒色土	ローム粒・炭化粒少量含む	粘土質
3	黒褐色土	ローム粒多量に含む	ピット

14 号住居跡

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	小石多量、ローム粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック多量、炭化粒少量含む	

15 号住居跡

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	As-C 軽石・炭化粒・小石少量含む	
2	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒・土器片多量、炭化粒少量含む	
3	黒褐色土	小石多量、ローム粒少量含む	
4	ロームブロック		
5	黒色土	ローム粒・土器片多量に含む	
6	黒褐色土	ロームブロック多量に含む	

第110表　8～15号住居址土層注記

16 号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒・炭化粒・As-C 軽石多量に含む	

17 号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	炭化粒少量、ローム粒微量に含む	
2	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック多量に含む	
3	黒色土	ローム粒・炭化粒少量含む	粘土質
4	ロームブロック	黒褐色土少量含む	

18 号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	ローム粒少量含む	粘土質
2	黒色土	ローム粒多量、炭化粒・焼土粒少量含む	粘土質
3	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
4	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	粘土質

19 号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	ローム粒・小石少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
3	黒色土	ローム粒・焼土粒少量含む	粘土質

20 号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	ローム粒・炭化粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒・ローム小ブロック・炭化粒・焼土粒・土器片多量に含む	
3	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
4	灰褐色土	ローム粒少量含む	粘土質
5	黒色土	ローム粒少量含む	粘土質
6	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	
7	灰褐色土	ローム粒多量に含む	

21 号住

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒・炭化粒・焼土粒・小石多量に含む	
3	黒褐色土	ローム小ブロック・炭化粒多量に含む	
4	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
5	黒色土	ローム粒少量含む	
6	黒色土	炭化粒・焼土粒多量、ローム小ブロック少量含む	粘土質
7	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
8	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	

1・2 号溝

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	粗砂	As- B 軽石多量に含む	鉄分沈着
2	粗砂	細砂少量含む	鉄分沈着

3 号溝

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	暗灰黄色土	As- B 軽石多量に含む	鉄分沈着
2	灰黄色土	As- B 軽石・礫・粗砂多量に含む	鉄分沈着
3	灰黄色土	As- B 軽石・粗砂多量に含む	鉄分沈着
4	黒色土	As- B 軽石・礫・粗砂少量含む	鉄分沈着

4 号溝

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	粗砂	As- B 軽石少量含む	鉄分沈着

第111表　16～21号住居址、1～4号溝土層注記

5号溝

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	粗砂	As- B軽石少量含む	鉄分沈着
2	灰黄褐色土	As- B軽石少量含む	シルト質
3	粗砂	As- B軽石・細砂少量含む	鉄分沈着

1号墳

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	ロームブロック多量に含む	硬く締る
2	黒色土		
3	黒色土	ローム小ブロック多量に含む	
4	ロームブロック		
5	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
6	黒色土	ローム粒少量含む	
7	ロームブロック		
8	黒褐色土	ローム粒少量含む	
9	ロームブロック		硬く締る
10	黒色土	ロームブロック少量、炭化粒微量に含む	
11	黒褐色土	ロームブロック多量、ローム粒・小石少量含む	
12	黒褐色土	ロームブロック・小石多量に含む	
13	黒褐色土	ロームブロック多量、ローム粒少量含む	
14	ロームブロック	黒褐色土・ローム粒少量含む	
15	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	
16	黒褐色土	ローム小ブロック極めて多量に含む	
17	黒褐色土	ロームブロック多量に含む	
18	ロームブロック	黒褐色土少量含む	
19	黒色土	ロームブロック少量含む	
20	ロームブロック	黒色土少量含む	硬く締る
21	黒色土	ローム小ブロック少量含む	
22	黒色土	ローム粒多量に含む	
23	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
24	黒色土	ローム粒少量含む	
25	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	
26	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
27	ロームブロック	黒褐色土少量含む	
28	黒褐色土	ローム粒少量含む	
29	ロームブロック	黒褐色土少量含む	
30	ロームブロック	黒褐色土少量含む	硬く締る
31	黒褐色土	ローム小ブロック・ローム粒少量含む	
32	ロームブロック	黒褐色土少量含む	
33	黒褐色土	ロームブロック少量含む	
34	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
35	ロームブロック	黒色土少量含む	硬く締る
36	黒褐色土	ロームブロック多量に含む	
37	黒色土	ローム粒少量含む	
38	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
39	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒少量含む	
40	黒色土	ロームブロック多量に含む	
41	黒褐色土	ローム粒少量含む	
42	黒色土	ローム粒少量含む	
43	灰褐色土	ローム粒少量含む	砂質
44	黒褐色土	ローム粒少量含む	
45	灰色土	ローム粒少量含む	シルト質
46	灰色土	ローム粒少量含む	シルト質
47	灰褐色土	ローム粒少量含む	
48	黒褐色土	ローム粒少量含む	
49	黒色土	ローム粒少量含む	
50	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	
51	黒色土	ローム小ブロック多量に含む	

第112表　5号溝・1号古墳土層注記

3号墳

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	As-C 軽石・ローム粒・小石多量に含む	
2	黒色土	As-C 軽石・ローム粒多量に含む	
3	黒色土	As-C 軽石・ローム粒・ロームブロック多量に含む	

4号墳

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒色土	小石多量に含む	
2	黒色土	小石・ローム粒多量に含む	
3	黒色土	小石少量含む	
4	黒色土	小石多量に含む	
5	黒色土	ローム粒多量、小石少量含む	
6	黒色土	小石多量、As-C 軽石少量含む	
7	黒色土	礫を少量含む	
8	黒色土		
9	黒色土	崩落した葺石を多量に含む	
10	黒褐色土	ロームブロック多量に含む	

琴平山古墳

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	ロームブロック	As-B 軽石少量含む	
2	黒褐色土	As-B 軽石多量に含む	
3	As-B 軽石二次堆積		
4	As-B 軽石		
5	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
6	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック・崩落した葺石・埴輪を少量含む	
7	黒褐色土	ローム粒少量含む	
8	黒褐色土	ローム粒・ローム小ブロック少量含む	
9	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	
10	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	
11	黒褐色土	ローム粒少量含む	
12	灰黄褐色土	ローム粒・ロームブロック・崩落した葺石・埴輪を多量に含む	

1号土坑

土層番号	色　調	土　層　中　含　有　物	備　考
1	黒褐色土	As-C 軽石・炭化粒少量含む	
2	灰褐色土	As-C 軽石・炭化粒・ロームブロック・礫少量含む	

第113表　3・4号古墳、琴平山古墳、1号土坑土層注記

OI- Ⅱ

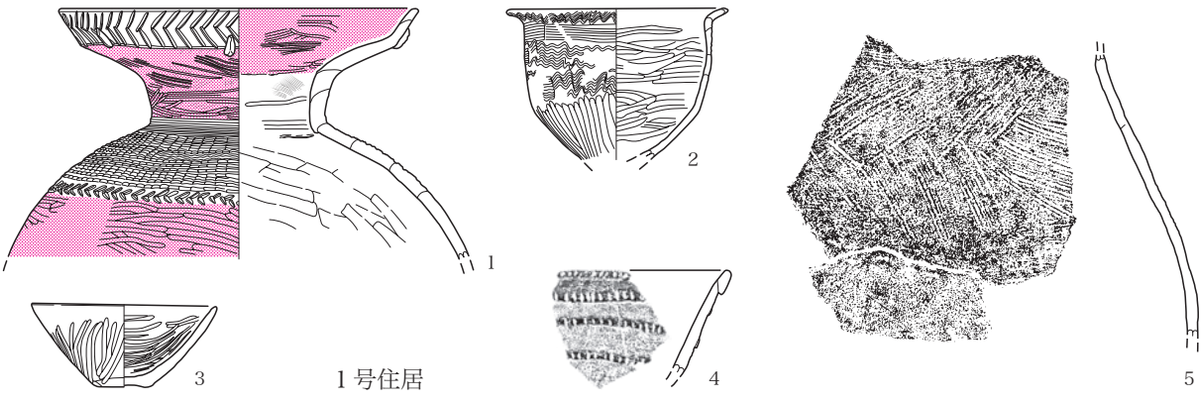
() 推定値 〈〉残存値

住居名	平面形態	規模				壁溝	主軸方向	主柱穴	壁際柱穴（炉の対面）	補助柱穴（壁際）	炉位置	貯蔵穴			時期	グリッド	備考
		長軸 m	短軸 m	深さ最大 cm	深さ最小 cm							長軸 cm	短軸 cm	深さ cm			
1 住	大型縦長方形	10.68	7.94	60	42	×	N-36° -W	4	4	7	北側主柱穴間壁寄り	72	58	66	弥生	13V-04 他	5 溝・3 号墳と重複
2 住	方形？	〈6.82〉	〈5.44〉	86	82	×	N-7° -W	3(4)	1	2	−	54	54	64	弥生	12V-98 他	焼土あり 6 溝と重複
3 住	方形？	〈5.22〉	4.52	64	54	×	N-31° -W	3(4)	−	−	−	−	−	−	弥生	13W-15 他	
4 住	不明	−	−	78	52	×	−	−	−	−	−	−	−	−	弥生	13W-14 他	
5 住	中型正方形	4.22	3.82	40	38	×	N-26° -W	4	4	−	北側主柱穴間	−	−	−	弥生	13W-23 他	焼土あり 6 号 7 号住と重複
6 住	不明	−	−	56	48	×	−	−	4	2	−	76	60	42	弥生	13W-22 他	5 号住と重複
7 住	方形？	〈3.7〉	4.98	60	44	×	N-12° -W	2(4)	−	3	−	−	−	−	弥生	13W-33 他	焼土あり 5 号 8 号住と重複
8 住	方形？	〈3.04〉	5.66	52	46	×	N-39° -W	2(4)	−	1	北側主柱穴間壁寄り	−	−	−	弥生	13W-32 他	7 号住と重複
9 住	大型横長方形	9.02	〈5.14〉	60	−	×	N-77° -W	4	6	7	西側主柱穴間壁寄り	−	−	−	弥生	13V-18 他	10 号 11 号住・6 号溝と重複
10 住	方形？	〈3.32〉	3.22	30	−	×	N-30° -W	−	−	−	住居北側やや東寄り	−	−	−	弥生	13V-07 他	9 号住・6 号溝と重複
11 住	方形？	−	−	26	−	×	−	2(4)	−	−	西側主柱穴間	−	−	−	弥生	13V-16 他	9 号住・1 号墳と重複
12 住	大型縦長方形	8.60	5.44	56	36	×	N-27° -W	4	3	9	炉 2: 東側主柱穴間南寄り	68	46	−	弥生	13V-35 他	3 号土坑・1 号墳・2 号溝と重複
13 住	大型縦長方形	8.50	〈4.52〉	30	16	×	N-28° -W	3(4)	4	1	−	52	48	−	弥生	13W-20 他	1 号墳と重複
14 住	大型縦長方形	10.74	7.96	50	38	×	N-31° -W	6	3	6	北側主柱穴間	48	44	64	弥生	13W-41 他	15 号住・1 号 4 号墳と重複
15 住	中型縦長方形	〈8.54〉	5.20	68	58	○	N-2° -W	4	3	7	北側主柱穴間壁寄り	40	-34	−	弥生	13W-51 他	14 号住・4 号墳と重複
16 住	方形？	(5.80)	4.74	38	28	×	N-21° -W	3(4)	−	−	−	−	−	−	弥生	13v-37 他	17 号住・1 号墳と重複
17 住	大型縦長方形	8.62	5.96	46	38	×	N-21° -W	4	4	8	北側主柱穴間壁寄り	76	54	52	弥生	13v-47 他	16 号住・1 号墳と重複
18 住	大型縦長方形	8.56	5.72	42	36	×	N-22° -W	4	4	8	北側主柱穴間壁寄り	−	−	−	弥生	13v-39 他	19 号 22 号住・1 号墳と重複
19 住	大型縦長方形	7.18	−	24	12	×	N-49° -W		4	−	−	−	−	−	弥生	13v-49 他	18 号 22 号住・1 号墳と重複
20 住	中型縦長方形	8.34	5.72	42	36	×	N-33° -W	4	−	4	炉 1: 北側主柱穴間 炉 2: 西側主柱穴間	−	−	−	弥生	13v-58 他	焼土あり 21 号 22 号住・1 号墳と重複
21 住	大型縦長方形	〈6.18〉	5.76	60	44	○	N-14° -W	2(4)	−	5	北側主柱穴間やや壁寄り	−	−	−	弥生	13v-59 他	焼土あり 20 号住・1 号墳と重複
22 住	大型縦長方形	6.14	3.76	48	46	×	N-12° -W	1(4)	3	7	−	−	−	−	弥生	13v-49 他	18 号 19 号 20 号住・1 号墳と重複
23 住	中型正方形	5.56	5.18	62	56	×	N-51° -W	−	3	8	炉 1: 住居北側中央 炉 2: 住居南側やや東寄り	50	38	40	弥生	13v-12 他	24 号住・4 号 5 号溝・3 号墳・2 号集石と重複
24 住	方形？	〈1.86〉	2.66	30	25	×	N-40° -E	−	−	−	−	−	−	−	弥生	13v-13 他	23 号住・4 号 5 号溝・3 号墳・2 号集石と重複

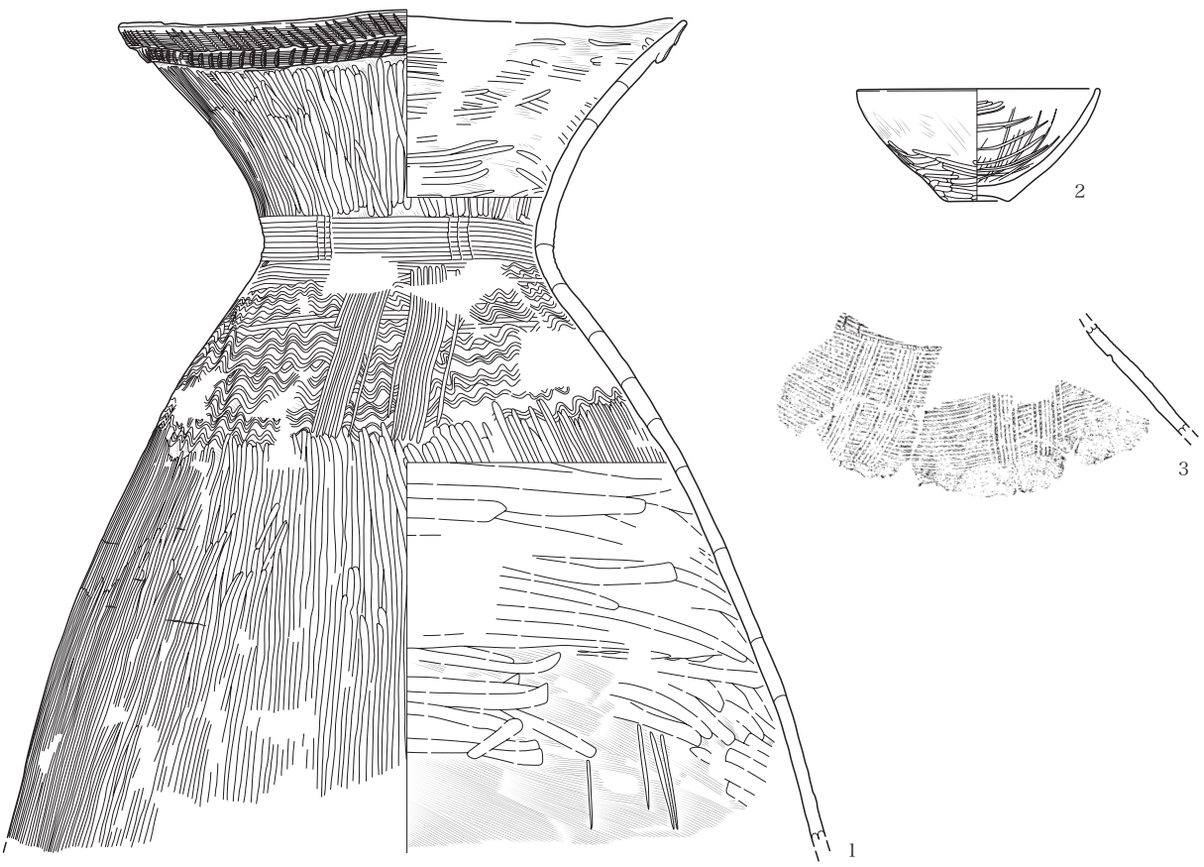
OI- Ⅱ

土坑名	規模			時期	グリッド	備考
	長軸 cm	短軸 cm	深さ cm			
1 号	53	1.86	52	弥生	13V-44 他	2 号墳と重複
2 号	2.69	〈1.47〉	〈21〉	弥生	13V-64 他	1 号墳と重複
3 号	4.05	2.38	1.27	弥生	13V-25 他	12 号住・1 号墳と重複
4 号	2.05	91	50	弥生	13V-01	3 号 5 号溝・3 号墳と重複
5 号	1.64	44	62	弥生	13V-22	23 号住と重複

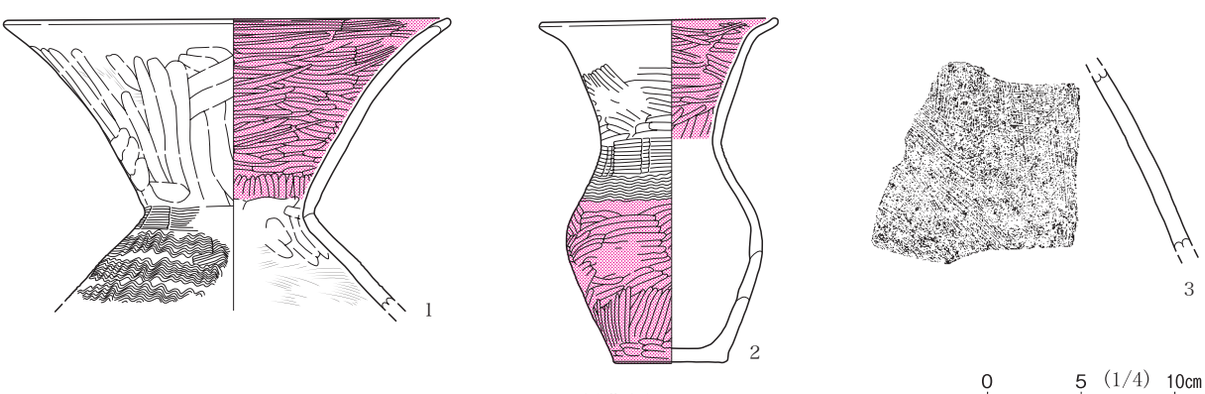
第114表　壱丁田Ⅱ遺跡（16年度・17年度調査分）遺構観察表



1号住居

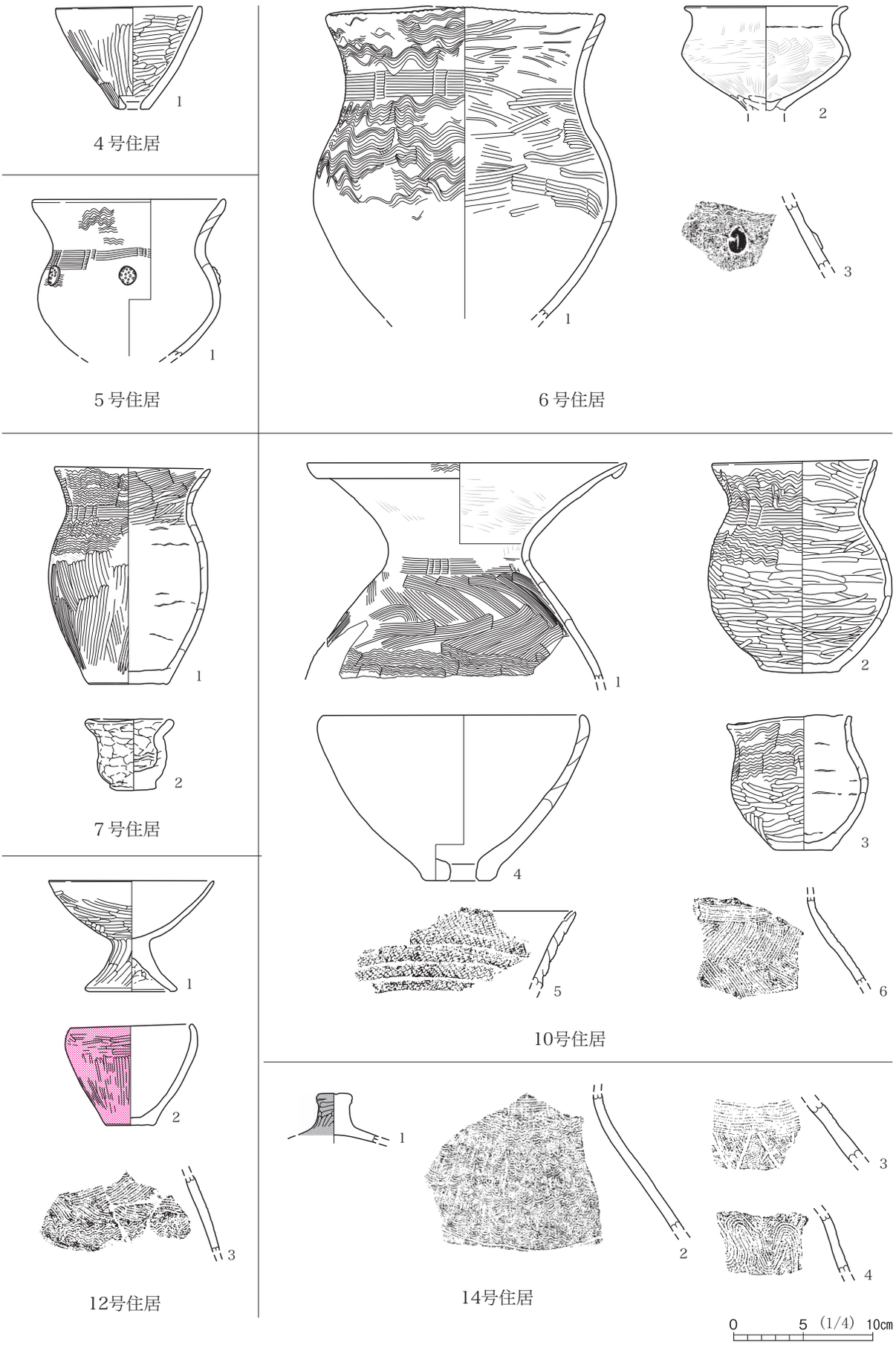


2号住居

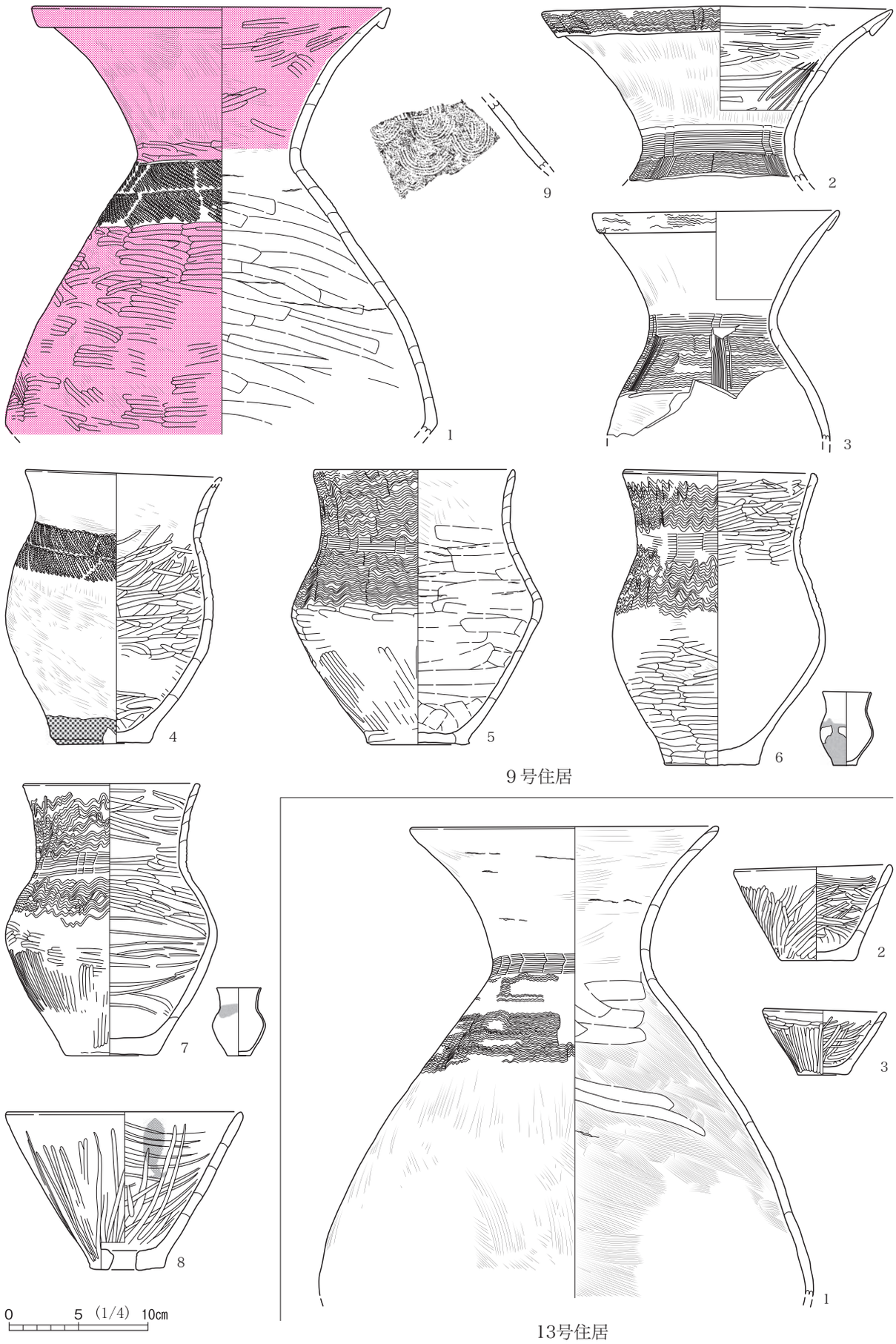


3号住居

第237図　1・2・3号住居址出土土器実測図



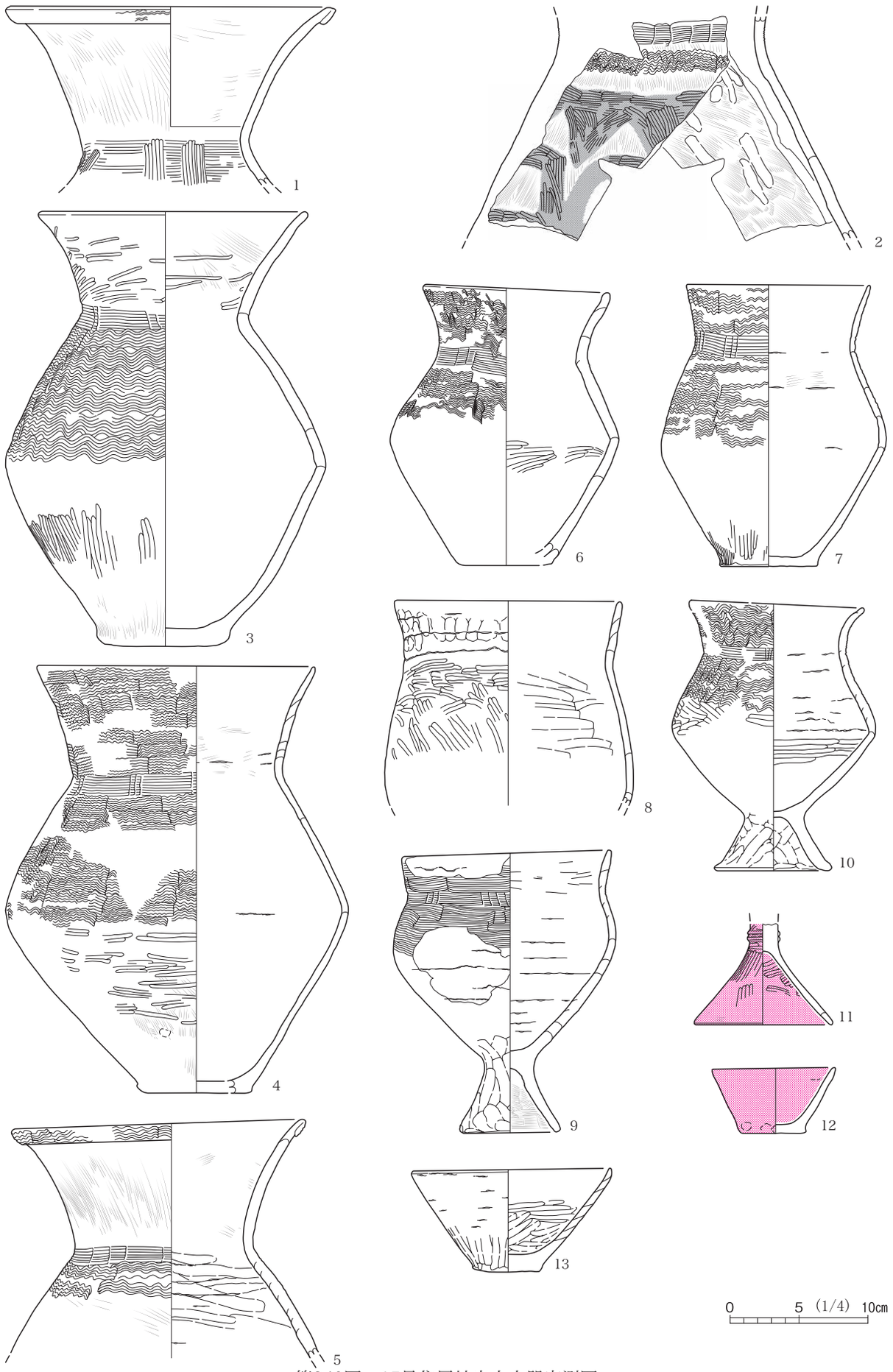
第238図　4・5・6・7・10・12・14号住居址出土土器実測図



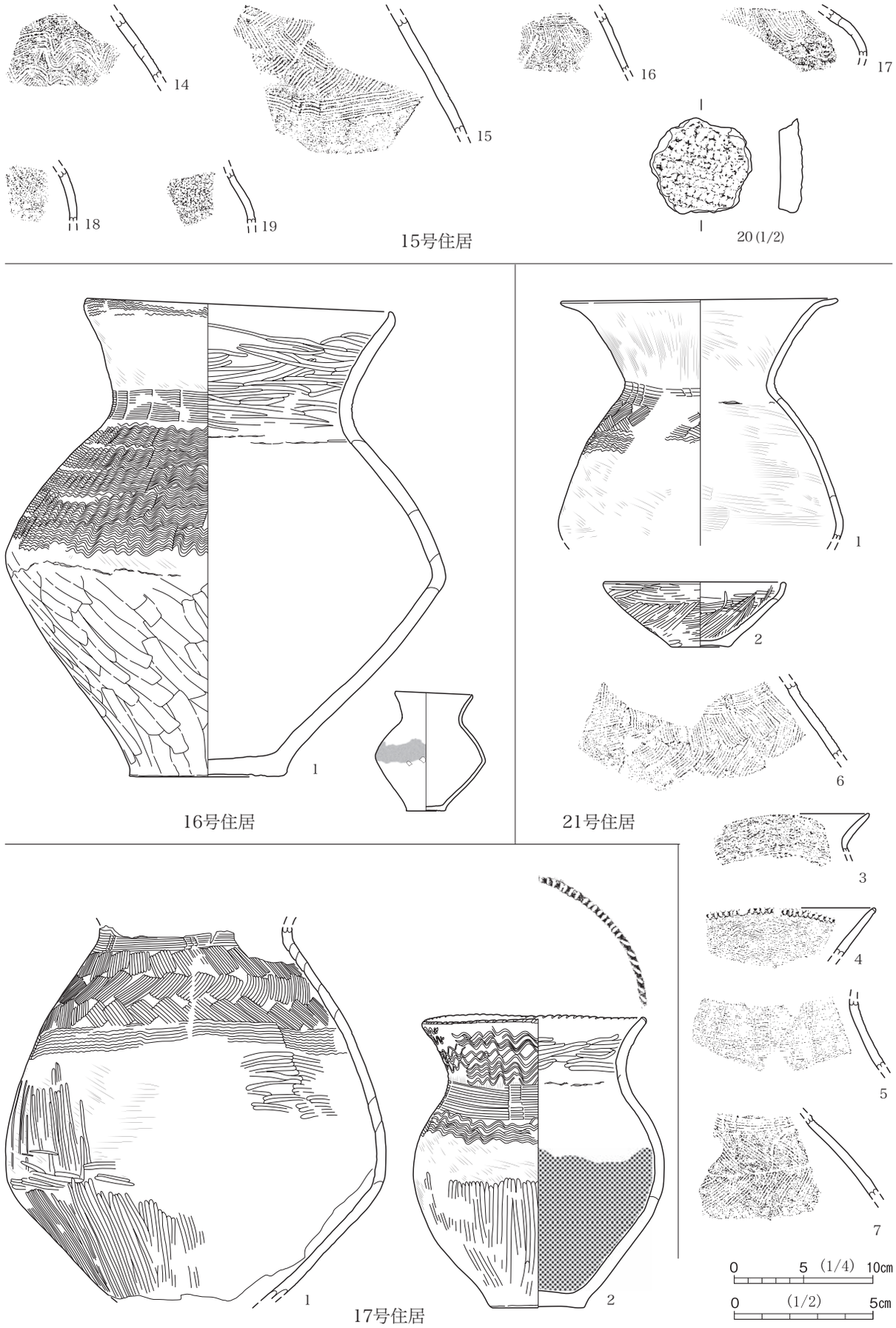
9号住居

13号住居

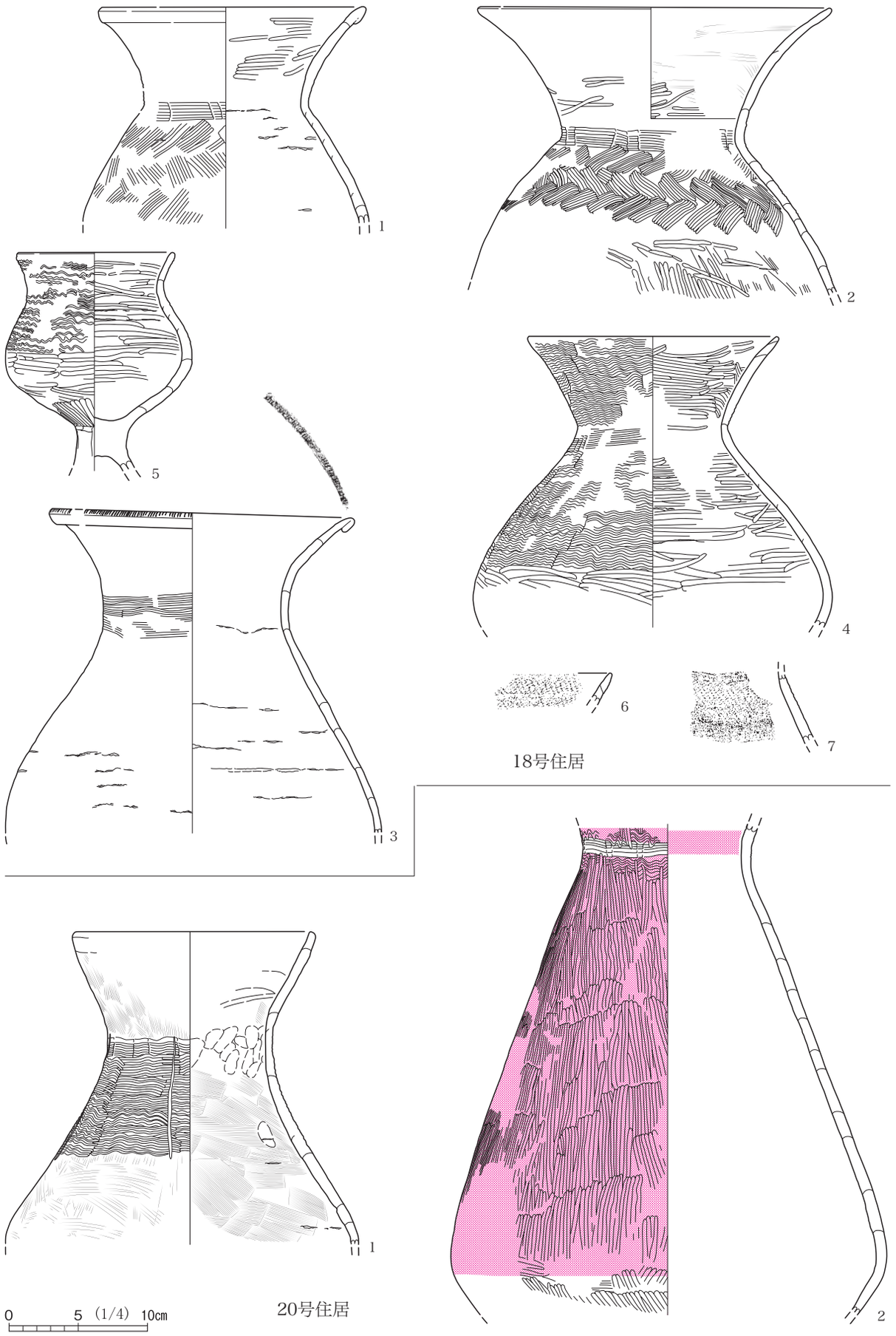
第239図　9・13号住居址出土土器実測図



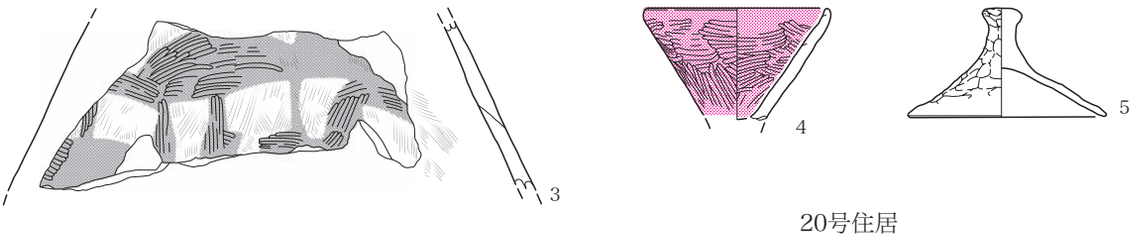
第240図　15号住居址出土土器実測図



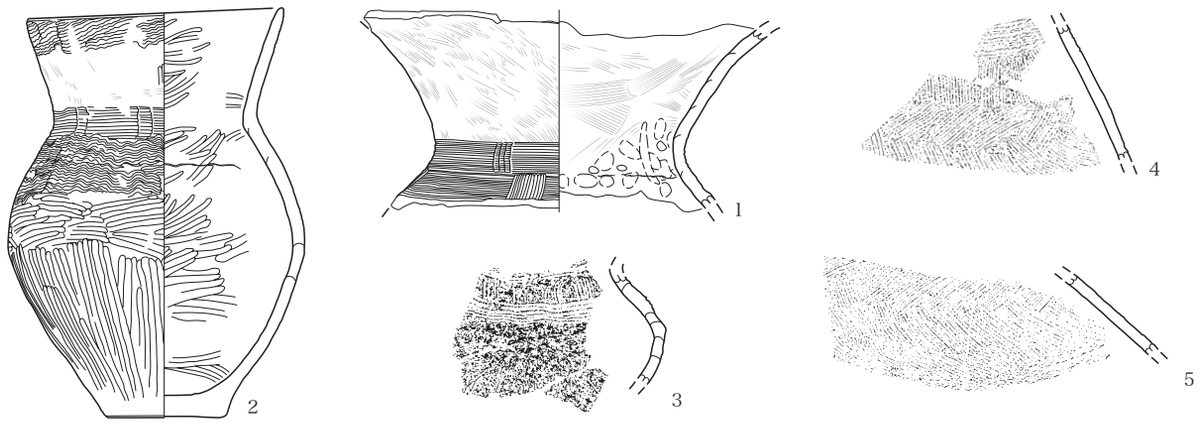
第241図　15・16・17・21号住居址出土土器実測図



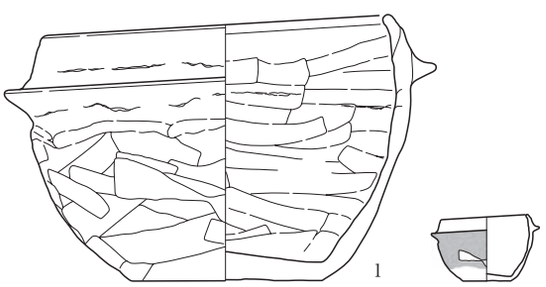
第242図　18・20号住居址出土土器実測図



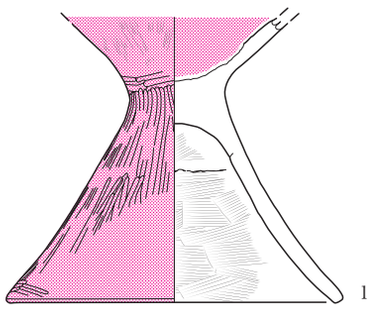
20号住居



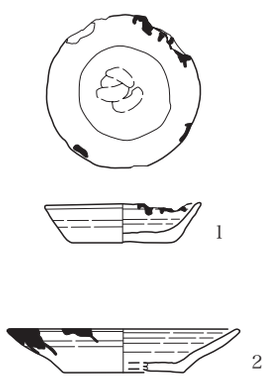
23号住居



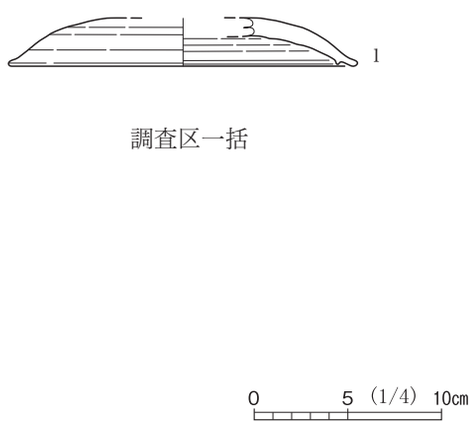
2号集石



2号土坑



3号溝



調査区一括

第243図　20・23号住居址、２号集石、２号土坑、３号溝、調査区一括出土土器実測図

1号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 (18.9) 底径 － 器高 －	①普通②にぶい橙色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④口頸部 1/4 と胴部上半 1/2	２点の図上復元。口縁部外面に棒状貼付文。 外面　口縁部箆状具による矢羽状沈線、頸部斜刷毛目→赤彩→横箆磨き、頸部櫛描直線文→肩部３段の簾状文（一部で波状）→肩部下端箆状具による矢羽状沈線、胴部赤彩→横箆磨き。 内面　口縁部赤彩→横箆磨き、頸部斜刷毛目、胴部斜指撫で。	覆土
2	弥生土器 台付甕	口径 11.5 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂多い④口縁部～胴部	外面　頸部８分割の等間隔簾状文（7 歯 /9㎜）→口縁部１段・肩部２段の波状文（7 歯 /9㎜）、胴部縦箆磨き、全体に薄く煤付着。 内面　口縁部磨滅、頸部～胴部横箆磨き。	東壁中央 床面
3	弥生土器 鉢	口径　9.9 底径　2.8 器高　4.5	①普通、底部外面に黒斑②にぶい黄橙色③片岩・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂多い④口縁部 1/3 欠損	外面　口縁部磨滅、体部斜箆磨き、体部下端横箆削り、底部箆磨き。 内面　口縁部磨滅、体部～底部斜箆磨き。	南東側柱穴
4	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②橙色③石英・片岩・チャートの粗～細砂④口縁部破片	外面　口縁部は薄い粘土帯を付加した折り返し、口唇部と折り返し部に箆状具による刻み。 内面　口縁部磨滅。	覆土
5	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③片岩・角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　頸部簾状文→肩部２段の櫛描羽状文（上→下、右→左）、胴部横箆磨き磨滅、全体に被熱。 内面　胴部磨滅し、粘土紐痕顕著。	ピット

2号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 30.0 底径 － 器高 －	①普通、口縁部～胴部の外面に黒斑②にぶい黄橙色③片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④口頸部、胴部上半 3/4	外面　折り返し口縁部は板状具小口による横撫で→櫛状具刺突による矢羽状文、頸部斜刷毛目→６分割の３連止簾状文（9 歯 /20㎜）→縦箆磨き、肩部斜刷毛目→２段の櫛描横線文→４段の波状文（下→上、5 歯 /20㎜）→２条１組の櫛描垂下文４ヶ所（8 歯 /22㎜）、胴部縦箆磨き。 内面　口頸部横刷毛目→横箆磨き、 胴部斜刷毛目→横箆撫で。	南東貯蔵穴脇＋ 16 号住居跡＋ 17 号住居跡
2	弥生土器 鉢	口径 13.8 底径　3.3 器高　6.0	①普通、体部外面に黒斑②浅黄橙色③片岩・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部 1/4 欠損	外面　口縁部横撫で、体部斜刷毛目→横箆磨き、底部箆磨き。 内面　口縁部横撫で、体部～底部まばらな箆磨き。	覆土
3	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通、肩部外面に黒斑②淡黄色③片岩・角閃石・赤粒の粗～細砂④肩部破片	外面　頸部多連止簾状文→肩部４段の櫛描直線文（上→下、7 歯 /15㎜）→２条１組の櫛描垂下文（7 歯 /15㎜）、胴部横箆磨き。 内面　胴部まばらな横箆磨き。	南東柱穴脇

3号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 23.6 底径 － 器高 －	①普通②明赤褐色③片岩・角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④口頸部 3/4 と肩部 1/2	外面　口頸部斜刷毛目→口縁部横撫で・頸部縦指撫で→頸部等間隔簾状文（9 歯 /13㎜）→肩部３段以上の波状文（9 歯 /13㎜）。 内面　口縁部斜刷毛目→赤彩→縦横箆磨き、頸部指撫で、胴部斜刷毛目。	南西柱穴
2	弥生土器 壺	口径 12.4 底径　6.1 器高 18.4	①普通②赤色③石英・片岩・角閃石・パミスの粗～細砂④口頸部の一部剥離	外面　口縁部横撫で→口頸部横箆磨き→頸部 10 分割の２連止簾状文（9 歯 /15㎜）→肩部１段の波状文（9 歯 /15㎜）、胴部斜刷毛目→赤彩→縦横箆磨き、底部周縁摩滅。 内面　口頸部赤彩→縦横箆磨き、胴部斜刷毛目。	南東部床面
3	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②橙色③片岩・角閃石・チャート④胴部破片	外面　胴部斜刷毛目→まばらな撫で→箆描鋸歯文。 内面　胴部横箆削り→横箆撫で。	南西部

4号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 有孔鉢	口径 10.3 底径　2.5 器高　7.4	①普通②暗褐色③石英・片岩・チャート・赤粒の粗～細砂多い④口縁部 1/5 欠損	底部焼成前穿孔。 外面　体部縦箆磨き、口縁部と底部摩滅。 内面　口縁部～体部横箆磨き。	ピット

5号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 台付甕	口径 (13.6) 底径 － 器高 －	①普通②明赤褐色③石英・片岩・パミスの粗～細砂多い④口縁部～胴部 3/4	外面　全体に摩滅顕著で薄く煤付着、頸部３連止簾状文、肩部１段の波状文→円形貼付文６ヶ所。 内面　全体に摩滅顕著。	炉跡脇

6号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 (19.6) 底径 － 器高 －	①普通②橙色③片岩・角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部 1/2	外面　口唇部に箆状具による刻み、口縁部～肩部斜刷毛目→頸部２連止簾状文（9 歯 /16㎜）→口縁部３～５段・肩部５～６段の波状文を重ねる、胴部縦箆磨き。 内面　口縁部～胴部横箆磨き。	南部床面
2	弥生土器 台付甕	口径 11.8 底径 － 器高 －	①普通②明赤褐色③石英・角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部 1/2	外面　口縁部横撫で、頸部～胴部縦横刷毛目→まばらな指撫で、口縁部～胴部の一部に白色物質付着。 内面　口縁部摩滅、胴部横刷毛目。	覆土
3	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部縦刷毛目→波状文(7 歯 /10㎜)→縦沈線のある楕円形貼付文。 内面　胴部横箆撫で。	覆土

第115表　１・２・３・４・５・６号住居址出土土器観察表

7号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 (11.1) 底径　5.7 器高　15.6	①普通、胴部外面に黒斑②にぶい黄橙色③石英・片岩・パミスの粗～細砂④口頸部 1/4 欠損	外面　口縁部横撫で→頸部３～６の多連止籠状文→口縁部２段（下→上）・肩部２段の波状文（上→下）、櫛歯は７歯 /11㎜で共通、胴部縦篦磨き、底部撫で、全体に薄い煤付着。　内面　口頸部横篦磨き、胴部横篦磨き→まばらな縦篦磨き、底部撫で。	北部床面
2	弥生土器 ミニチュア （甕）	口径 (5.8) 底径 (3.3) 器高 (5.1)	①普通②にぶい黄橙色③チャート・角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部 1/2 欠損	外面　口縁部～胴部撫でと指圧痕、底部撫で。 内面　口縁部～底部撫で。	覆土

9号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 (25.5) 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部中位 4/5	外面　折り返し口縁部は無文、頸部斜刷毛目→口縁部～頸部赤彩→横篦磨き→肩部２帯の横位斜縄文（RL）、胴部斜刷毛目→赤彩→横篦磨き。 内面　口頸部横刷毛目→赤彩→横篦磨き、胴部斜篦撫で。	北東壁沿い 床面
2	弥生土器 壺	口径　25.0 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③片岩・パミスの粗～細砂④口頸部	頸部欠損面の整形と頸部内面の擦痕（倒立土器台に転用）。 外面　折り返し口縁部に１～２段の波状文（12 歯 /16㎜）、頸部縦刷毛目→まばらな横方向撫で→５分割の２連止籠状文（12 歯 /16㎜）→肩部波状文（12 歯 /16㎜）→籠状文と同位置の櫛描垂下文（９歯 /15㎜） 内面　口頸部まばらな横篦磨き。	北東隅 床面
3	弥生土器 壺	口径 (17.6) 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②にぶい橙色③石英・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部上半 3/4	外面　折り返し口縁部に１～２段の波状文、頸部縦刷毛目→２連止籠状文（９歯 /14㎜）→肩部３段の波状文（９歯 /14㎜）→櫛描垂下文４ヶ所（７歯 /13㎜）、胴部斜刷毛目。 内面　摩滅と剥離。	北東部 床面
4	弥生土器 甕	口径 (13.9) 底径　6.7 器高 (19.8)	①普通、胴部外面に黒斑②にぶい橙色③角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部と胴部の一部欠損。	外面　口頸部板状具小口による横撫で、肩部２～３帯の横位斜縄文（RL）、胴部縦刷毛目→板状具小口による斜撫で、胴部下端～底部に白色物質付着。 内面　口縁部～胴部斜刷毛目→横篦磨き、底部撫で。	北東部 床面
5	弥生土器 甕	口径 (14.3) 底径 (6.7) 器高　19.8	①普通、胴部外面に黒斑②灰黄褐色　③角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂　④口縁部と胴部の一部欠損	外面　頸部 13 分割の２連止め籠状文→口縁部４段（下→上）・肩部３段（上→下）の波状文、櫛歯は９歯 /13㎜で共通、胴部縦横篦磨き、底部摩滅、全体に薄い煤付着。 内面　口縁部横撫で、頸部斜刷毛目→頸部～底部篦撫で。	北東部 床面
6	弥生土器 甕	口径　13.4 底径　6.5 器高　21.3	①普通②にぶい黄橙色③角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部の 1/4 欠損	外面　口縁部横撫で、頸部２連止籠状文（11 歯 /19㎜）→口縁部２段（下→上）・肩部３段（上→下）の波状文（９歯 /11㎜）、胴部斜刷毛目→横篦磨き、底部摩滅、胴部下半煤付着、底部白色物質付着。 内面　口縁部～胴部横篦磨き、底部撫で。	北東部 床面
7	弥生土器 甕	口径 (12.3) 底径　6.7 器高　19.6	①普通、底部外面に黒斑②にぶい黄橙色③片岩・角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部 1/2 欠損	外面　口縁部横撫で、頸部斜刷毛目→３連止籠状文（７歯 /15㎜）→口縁部３～４段・肩部３～４段の波状文（６歯 /10㎜）を重ねる、胴部縦横篦磨き、底部撫で、頸部にバンド状煤付着。 内面　口縁部～底部横篦磨き。	北部床面
8	弥生土器 有孔鉢	口径　16.8 底径　5.4 器高　11.4	①普通、体部外面に黒斑②明黄褐色　③チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部 1/2 欠損	底部焼成前穿孔。　外面　口縁部横撫で、体部まばらな縦篦磨き、底部撫で、底部に白色物質付着。 内面　口縁部横撫で、体部まばらな縦横篦磨き、底部撫で。	北東部 床面
9	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部２段の櫛描円弧文（９歯 /15㎜）と波状文。 内面　胴部横刷毛目。	覆土

10 号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 (22.9) 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②橙色③角閃石・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部 1/4・胴部 3/4	外面　折り返し口縁部１段の波状文、頸部斜刷毛目→４連止籠状文（８歯 /11㎜）→肩部２段の櫛描横羽状文（８歯 /14㎜）→２段以上の波状文（８歯 /14㎜）。 内面　口縁部～胴部斜刷毛目→横篦磨き摩滅。	中央部 床面
2	弥生土器 甕	口径　11.7 底径　5.6 器高　15.3	①普通②にぶい橙色③片岩・パミスの粗～細砂④口頸部 1/2 欠損	外面　口縁部横撫で→頸部２連止籠状文→口縁部２段・肩部２～３段の波状文、櫛歯は６歯 /11㎜で共通、胴部横篦磨き、底部篦削り、全体に被熱と薄く煤付着。 内面　口縁部～胴部横篦磨き、底部撫で。	中央部 床面
3	弥生土器 甕	口径　8.8 底径　4.1 器高　9.7	①普通、口縁部内外面に黒斑②にぶい橙色③石英・角閃石・パミスの粗～細砂④完形	外面　口縁部横撫で→口縁部から肩部３～４段の波状文を重ねる、胴部～底部篦磨き。 内面　口縁部横撫でと指圧痕、胴部篦磨き摩滅、底部撫で。	中央部 床面
4	弥生土器 有孔鉢	口径　18.6 底径　4.7 器高　11.9	①普通、底部外面に黒斑②橙色③石英・角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部 3/4 ～体部 1/2 欠損	底部に焼成前穿孔（孔径 1.8cm）。 外面　口縁部摩滅と剥離、体部縦篦磨き摩滅、底部撫で。 内面　口縁部～胴部横篦磨き摩滅。	中央部 床面
5	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部破片	外面　口縁部５段の粘土帯接合痕を残し、横位斜縄文（RL）。 内面　口縁部斜撫で。	覆土
6	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・チャートの粗～細砂④肩部破片	外面　頸部多連止籠状文（８歯 /10㎜）、肩部２段以上の櫛描横羽状文（８歯 /14㎜）。 内面　頸部～肩部まばらな横篦磨き。	中央部 床面

12 号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 高坏	口径　11.8 底径　6.6 器高　8.0	①普通、坏部外面に黒斑②淡黄色③角閃石・パミスの粗～細砂、海綿骨針微量④口縁部一部欠損	外面　口縁部横撫で、坏部横篦磨き、脚部縦篦磨き。 内面　坏部横篦磨き摩滅、脚部横方向撫で。	南西隅 貯蔵穴
2	弥生土器 鉢	口径　8.7 底径　3.5 器高　7.3	①普通②赤色③チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部一部欠損	外面　口縁部～体部赤彩→口縁部横篦磨き・体部縦篦磨き、底部摩滅。 内面　体部横篦磨きだが全体に摩滅と剥離、一部にベンガラ付着。	南壁沿い 床面

第116表　7・9・10・12号住居址出土土器観察表

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
3	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③角閃石・雲母・パミス・赤粒の粗～細砂④肩部破片	外面　肩部２段の櫛描横羽状文→１段の波状文、櫛歯は８歯/11㎜で共通 内面　肩部縦横指撫で。	覆土

13 号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 (22.1) 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②浅黄橙色③角閃石・チャート・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部上半 3/4	外面　口頸部斜刷毛目→頸部等間隔簾状文→肩部５段の波状文、櫛歯は 11 歯/13㎜で共通、胴部縦篦磨き。 内面　口頸部横刷毛目、胴部斜刷毛目→まばらな横方向撫で。	中央部 床面
2	弥生土器 鉢	口径　11.1 底径　5.3 器高　6.9	①普通②にぶい黄橙色③石英・角閃石・パミスの粗～細砂④口縁部～体部 1/3 欠損	外面　口縁部横撫で、体部斜篦磨き、底部撫で。 内面　口縁部～底部横篦磨き。	北東隅 床面
3	弥生土器 鉢	口径　8.7 底径　3.6 器高　4.8	①普通、体部外面に黒斑②にぶい黄橙色③チャート・パミスの粗～細砂④口縁部 1/4 欠損	外面　口縁部横撫で、体部縦横篦磨き、底部撫で。 内面　口縁部～底部まばらな縦横篦磨き。	中央部床面

14 号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 蓋	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②明赤褐色③石英・角閃石・パミスの粗～細砂④摘み部	外面　摘み部上部に全周しない浅い沈線、摘み部赤彩→縦横篦磨き。 内面　天井部撫で。	覆土
2	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③石英・片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④肩部破片	外面　頸部簾状文→篦描沈線、肩部縦刷毛目→４段の波状文→文様帯下端に篦描沈線、櫛歯は８歯/16㎜。 内面　肩部斜刷毛目→横篦撫で。	覆土
3	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③角閃石・チャート・パミスの粗～細砂④肩部破片	外面　肩部２段の櫛描横線文（上→下、８歯/13㎜）→篦描鋸歯文→鋸歯文内を鋭利な金属器による沈線。 内面　肩部横方向撫で。	覆土
4	弥生土器 甕？	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③角閃石・パミスの粗～細砂④胴部破片	外面　胴部櫛描曲線文（7 歯/11㎜）。 内面　胴部横方向撫で。	覆土

15 号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径　23.6 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口頸部 3/4	外面　折り返し口縁部１段の波状文、頸部斜刷毛目→２段以上の櫛描横線文→肩部対称位置４ヶ所に２条１組の櫛描垂下文（８歯/15㎜）。 内面　口頸部横刷毛目摩滅。	南東側貯蔵穴脇
2	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③チャート・パミスの粗～細砂④頸部～肩部 1/6	外面　肩部縦刷毛目→頸部等間隔簾状文・肩部１段の波状文（7 歯/12㎜）・肩部赤彩塗り分けによる幾何学的文様表現→赤彩部篦磨き。 内面　肩部斜刷毛目→まばらな指撫で。	北西部床面＋20 号住居跡
3	弥生土器 甕	口径 (19.0) 底径　9.2 器高　31.5	①普通②にぶい黄橙色③片岩・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部一部欠損	外面　口頸部まばらな横篦磨き、頸部９分割の２連止簾状文（9 歯/13㎜）→胴部上半６段の波状文（上→下、7 歯/15㎜）、胴部下半縦刷毛目→縦篦磨き、底部摩滅、全体に薄く煤付着。 内面　口頸部斜刷毛目→まばらな横篦磨き、胴部横篦磨き。	南東部 床面
4	弥生土器 甕	口径　20.0 底径 (8.0) 器高　31.0	①普通、胴部外面に黒斑②浅黄橙色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④胴部～底部 1/4 欠損	外面　頸部２～４連止簾状文（8 歯/14㎜）→口縁部７段以上・胴部上半９段以上の波状文を重ねる、胴部下半斜刷毛目→横篦磨き、底部摩滅、胴部上位と口縁部に薄い煤付着。 内面　口頸部斜刷毛目、胴部撫で。	南東部 床面
5	弥生土器 甕	口径 (21.4) 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②にぶい黄橙色③片岩・パミスの粗～細砂④口頸部 1/2～胴部上半	外面　折り返し口縁部１段の波状文、頸部２～４連止簾状文（6 歯/10㎜）→肩部２段の波状文（上→下、6 歯/10㎜）、胴部斜刷毛目。 内面　口頸部斜刷毛目、胴部斜撫で。	中央部 床面
6	弥生土器 甕	口径　13.1 底径　6.9 器高　20.4	①普通②褐灰色③石英・角閃石・パミスの粗～細砂多い④胴部下半 1/2 と底部 1/2 欠損	外面　頸部７分割の２連止簾状文（8 歯/13㎜）→口縁部４～５段・肩部３～４段の波状文を重ねる、胴部～底部摩滅と剥離、全体に薄い煤付着。　内面　口縁部横撫で、頸部指撫で、胴部横篦磨き。	北東部 床面
7	弥生土器 甕	口径　13.2 底径　7.0 器高　20.5	①普通②にぶい黄橙色③チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部 1/2 欠損	外面　頸部９分割の３連止簾状文（7 歯/13㎜）→口縁部２～３段・肩部４～５段の波状文、胴部縦篦磨き摩滅、底部撫で。 内面　口縁部～胴部斜刷毛目摩滅、底部撫で。	南東部 床面
8	弥生土器 甕	口径　16.2 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③チャート・パミスの粗～細砂④口縁部～胴部上半	外面　口縁部３段の粘土帯接合痕と指圧痕、胴部縦横篦磨き。 内面　口頸部摩滅、胴部斜篦撫で。	南東部 床面
9	弥生土器 台付甕	口径　14.7 底径　6.7 器高　20.5	①普通②にぶい黄橙色③片岩・雲母・パミスの粗～細砂④口縁部と胴部の一部剥落	外面　頸部３～４連止簾状文→口縁部２段（下→上）・肩部３～４段（上→下）、櫛歯は７歯/10㎜で共通、胴部～脚部撫で、胴部～脚部被熱、全体に薄い煤付着。 内面　口頸部横刷毛目→口縁部～胴部撫で、脚部横刷毛目。	北壁沿い 床面
10	弥生土器 台付甕	口径　12.5 底径　8.5 器高　19.7	①普通②明褐色③石英・パミスの粗～細砂④口縁部 1/2 と胴部下半 1/2 欠損	外面　頸部２～３連止簾状文→口縁部４段・肩部３段の波状文、櫛歯は５歯/9㎜、胴部横篦磨き、脚部撫で、口縁部～胴部薄く煤付着。 内面　口縁部～胴部横篦磨き、脚部撫で。	南東柱穴脇 床面
11	弥生土器 高坏	口径　－ 底径 (9.8) 器高　－	①普通②赤色③石英・角閃石の細砂④脚部 1/2	外面　脚部横刷毛目→２条の突帯→赤彩→篦磨き。 内面　脚部赤彩→横篦磨き。	覆土
12	弥生土器 鉢	口径　8.8 底径　4.6 器高　4.8	①普通、底部外面に黒斑②赤色③石英・角閃石・パミスの粗～細砂④完形	外面　口縁部～体部赤彩→体部横篦磨き、体部下端指圧痕、底部撫で。 内面　口縁部～体部斜刷毛目→口縁部～底部赤彩→横篦磨き。	南東部 床面
13	弥生土器 鉢	口径 (14.2) 底径　4.8 器高　7.7	①普通、底部外面に黒斑②浅黄橙色③石英・角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部 1/2 欠損	外面　口縁部横撫で、体部縦篦撫で、底部篦撫で。 内面　口縁部横篦磨き、体部～底部篦撫で。	南東部 床面
14	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通、肩部外面に黒斑②にぶい黄橙色③石英・パミスの粗～細砂④肩部破片	外面　肩部簾状文と２段以上の波長の長い波状文（7 歯/10㎜）。 内面　肩部横方向撫で。	覆土

第117表　12・13・14・15号住居址出土土器観察表

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
15	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・片岩・パミスの粗～細砂④肩部破片	外面　肩部３段以上の櫛描横羽状文（7 歯 /12㎜）→肩部下端３連止め簾状文（9 歯 /15㎜）。 内面　肩部横方向篦撫で。	覆土 +21 号住居跡
16	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②黄灰色③角閃石・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④肩部破片	外面　肩部櫛描横線文→櫛描円弧文（7 歯 /11㎜）。 内面　肩部横方向撫で。	覆土
17	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部櫛描円弧文（7 歯 /11㎜）。 内面　胴部横方向篦撫で。	覆土
18	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②橙色③片岩・石英の粗～細砂④胴部破片	外面　胴部横位斜縄文（RL）。 内面　内面篦磨き摩滅。	覆土
19	弥生土器 甕？	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・角閃石・パミスの粗～細砂④胴部破片	外面　胴部櫛歯状刺突。 内面　胴部横方向撫で。	覆土
20	加工円盤	甕胴部片（外面斜縄文）の側面を打ち欠く。径 3.3cm ～ 3.6cm。石英・パミスの粗～細砂多く含む。			覆土

16 号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径　21.8 底径　11.3 器高　34.4	①普通②浅黄橙色③片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④ほぼ完形	外面　口縁部～胴部上半斜刷毛目→頸部 22 分割の等間隔簾状文（13 歯 /20mm）→口縁部 1 段・肩部 5 ～ 6 段の波状文（上→下→上、13 歯 /20mm）、胴部下半～底部撫で、胴部中位にバンド状煤付着。 内面　口縁部～胴部横篦磨き、底部撫で。	北壁沿い 床面

17 号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②浅黄橙色③片岩・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④頸部～胴部 1/2	外面　頸部３連止簾状文→肩部３段の櫛描横羽状文（上→下）→肩部下端に１段の波状文。櫛歯は８歯 /17mm で共通、胴部斜刷毛目→縦横篦磨き。　内面　胴部横篦磨き磨滅・剥離。	南東部 床面
2	弥生土器 甕	口径　15.9 底径　6.7 器高　20.9	①普通②明黄褐色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂④ほぼ完形	口唇部櫛状具による刻み。　外面　口縁部～胴部斜刷毛目→口縁部２段の波状文→頸部６分割の２連止簾状文（10 歯 /24mm）→肩部１段の波状文、胴部下半縦篦磨き。　内面　口縁部～胴部横篦磨き、底部撫で、胴部中位以下に白色物質付着。	南東側貯蔵穴内

18 号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 (19.0) 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂多い④口縁部～胴部上半 1/2	外面　折り返し口縁部は無文、頸部斜刷毛目→２連止簾状文（6 歯 /13mm）→肩部３段以上の櫛描横羽状文（6 歯 /13mm）。 内面　口頸部横篦磨き、胴部磨滅。	ピット
2	弥生土器 壺	口径　25.3 底径　－ 器高　－	①普通、口縁部～胴部外面に黒斑②浅黄橙色③チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部上半 3/4	外面　口頸部縦刷毛目→まばらな横篦磨き→頸部３～４連止簾状文（8 歯 /13mm）→肩部３段の櫛描横羽状文（7 歯 /13mm）、胴部斜刷毛目→縦横篦磨き。 内面　口縁部～胴部斜刷毛目→まばらな横篦磨き。	西部床面
3	弥生土器 壺	口径　21.7 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②浅黄橙色③片岩・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部上半 3/4	折り返し口縁の口唇部に櫛歯状具による刻み。 外面　頸部～胴部斜刷毛目→頸部２段の櫛描横線文。全体に磨滅。 内面　口縁部～胴部まばらな横篦磨き、全体に磨滅。	南西部 床面
4	弥生土器 甕	口径 (17.9) 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②浅黄橙色③片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部上半 2/3	外面　口縁部～胴部斜刷毛目→頸部３連止簾状文→口頸部５段・肩部６～７段の波状文、櫛歯は 10 歯 /16mm で共通、胴部横篦磨き。 内面　口縁部～胴部横篦磨き。	南西部 床面
5	弥生土器 台付甕	口径 (11.2) 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②にぶい黄橙色③片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部 3/4 と脚部上半	外面　口縁部～肩部５段の波状文（上→下、6 歯 /15mm）、胴部～脚部縦横篦磨き。 内面　口縁部～胴部横篦磨き、脚部刷毛目。	南西部 床面
6	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③片岩・赤粒の粗～細砂④口縁部破片	外面　口縁部横位斜縄文（RL）。 内面　口縁部横撫で。	覆土
7	弥生土器 甕	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②浅黄橙色③角閃石・赤粒の粗～細砂④肩部破片	外面　肩部横位斜縄文（RL）。 内面　肩部撫で。	覆土

20 号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 (16.8) 底径　－ 器高　－	①普通、胴部外面に黒斑②にぶい黄橙色③片岩・チャート・パミスの粗～細砂多い④口縁部 1/4 と胴部上半 3/4	外面　口縁部横撫で、頸部～胴部斜刷毛目→頸部等間隔簾状文（7 歯 /13mm）→肩部６段の波状文（上→下、6 歯 /13mm）→肩部５ないし６ヶ所に縦方向の篦描沈線。 内面　口縁部横方向撫で、頸部指圧痕、胴部斜刷毛目。	覆土
2	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②赤色③片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④頸部～胴部中位 1/2	外面　頸部２連止簾状文（8 歯 /12mm）→頸部・肩部波状文→口縁部・胴部上半赤彩→口縁部・胴部縦篦磨き。 内面　全体に磨滅と剥離。	北西部 床面
3	弥生土器 壺	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通②にぶい黄橙色③石英・チャート・赤粒の粗～細砂、海綿骨針④胴部破片	外面　胴部斜刷毛目→赤彩塗り残しによる多角形の文様表現→赤彩部篦磨き。 内面　胴部斜刷毛目。	ピット
4	弥生土器 高坏	口径　9.6 底径　－ 器高　－	①普通②赤色③石英・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④坏部	外面　坏部赤彩→縦横篦磨き。 内面　坏部赤彩→縦横篦磨き。	炉跡内
5	弥生土器 蓋	口径 (10.3) 底径　－ 器高　5.8	①普通②橙色③片岩・チャート・パミス・赤粒の粗～細砂多い④口縁部 1/2 欠損	外面　摘み～口縁部指圧痕。 内面　天井部～口縁部指圧痕。全体に剥離。	覆土

第118表　15・16・17・18・20号住居址出土土器観察表

21 号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 19.6 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③片岩・チャート・赤粒の粗～細砂④口縁部～胴部上半 1/2	外面　口頸部縦刷毛目→口縁部横撫で→頸部３連止簾状文→肩部２段の櫛描横羽状文→肩部下端１段の波状文、櫛歯は８歯 /14㎜で共通、胴部斜刷毛目→まばらな横箆磨き。 内面　口頸部斜刷毛目、胴部横刷毛目。	覆土
2	弥生土器 鉢	口径 12.7 底径 4.1 器高 4.7	①普通②赤色③チャート・赤粒の粗～細砂④口縁部 1/2 欠損	外面　口縁部～体部赤彩→口縁部横箆磨き・体部斜箆磨き、底部箆磨き。 内面　口縁部～底部赤彩→口縁部横箆磨き・体部～底部縦箆磨き。	覆土
3	弥生土器 甕	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口頸部破片	外面　頸部２連止簾状文→口縁部２～３段の波状文。 内面　口頸部横箆磨き磨滅。	覆土
4	弥生土器 甕	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③石英・チャートの粗～細砂④口縁部破片	口唇部箆状具による刻み。 外面　口縁部３段以上の波状文を重ねる（10 歯 /12㎜）。 内面　口縁部斜刷毛目→まばらな横箆磨き。	覆土
5	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③石英・チャート・赤粒の粗～細砂④肩部破片	外面　肩部３段の櫛描直線文（上→下、13 歯 /14㎜）→肩部下位波状文→縦方向の箆描沈線文。 内面　肩部磨滅と剥離。	覆土
6	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄色③角閃石・パミス・赤粒の粗～細砂④肩部破片	外面　頸部３連止簾状文→肩部２段の櫛描横羽状文（8 歯 /13㎜）。 内面　肩部磨滅。	覆土
7	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通、肩部外面に黒斑②にぶい黄橙色③片岩・パミス・赤粒の粗～細砂④肩部破片	外面　肩部斜刷毛目→頸部２連止簾状文→肩部２段の櫛描横羽状文（6 歯 /10㎜）。 内面　肩部斜刷毛目→まばらな横箆磨き。	覆土

23 号住

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②にぶい黄橙色③チャート・パミス・赤粒の粗～細砂④口頸部	口縁部と肩部の欠損面の整形と頸部内面の擦痕（倒立土器台転用）。 外面　口頸部斜刷毛目→頸部５分割の４連止簾状文→肩部２段以上の櫛描直線文→櫛描垂下文、櫛歯は 14 歯 /17㎜で共通。 内面　口縁部斜刷毛目、頸部指撫で。	南部床面
2	弥生土器 甕	口径 13.5 底径 6.3 器高 21.9	①普通、口縁部～胴部外面に黒斑②橙色③片岩・パミスの粗～細砂④完形	外面　口頸部斜刷毛目→撫で→頸部８分割の２連止簾状文→口縁部１段・肩部２段（上→下）の波状文、櫛歯は 10 歯 /15㎜で共通、胴部縦横箆磨き、底部撫で、全体に薄い煤付着。 内面　口縁部～底部横箆磨き。	北部床面
3	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通、肩部外面に黒斑②明赤褐色③石英・チャート・パミスの粗～細砂④胴部破片	外面　胴部斜刷毛目→頸部多連止簾状文→肩部櫛描垂下文→肩部下端櫛描直線文、櫛歯は６歯 /10㎜で共通。 内面　胴部斜刷毛目。	覆土
4	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③チャート・赤粒の粗～細砂④肩部破片 ５と同一個体	外面　胴部斜刷毛目→頸部簾状文→肩部１段の波状文→肩部３段以上の櫛描横羽状文、櫛歯は９歯 /14㎜で共通。 内面　肩部斜刷毛目→撫で。	ピット
5	弥生土器 壺	口径 － 底径 － 器高 －	①普通②浅黄橙色③チャート・赤粒の粗～細砂④肩部破片 ４と同一個体	外面　胴部斜刷毛目→肩部３段以上の櫛描横羽状文→肩部下端波状文、櫛歯は９歯 /14㎜で共通。 内面　肩部斜刷毛目→撫で。	ピット

２号集石

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	羽釜	口径 18.2 底径 10.2 器高 14.2	①酸化炎②にぶい橙色③石英・チャートの粗～細砂④口縁部～胴部 1/4 欠損	外面　口縁部横撫で、胴部斜箆削り、底部撫で、胴部上位～中位に煤付着。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部撫で。	集石上

２号土坑

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 高坏	口径 － 底径 18.0 器高 －	①普通②赤色③片岩・チャートの粗～細砂④坏部と脚部 1/2 欠損	外面　坏部～脚部斜刷毛目→赤彩→箆磨き。 内面　坏部剥離、板状具小口による撫で。	土坑底面
2	台石	長さ 21.1㎝、幅 14.2㎝、厚さ 7.0㎝、重さ 2877.8g。安山岩の扁平礫で裏面に浅い皿状の削り痕。			土坑底面

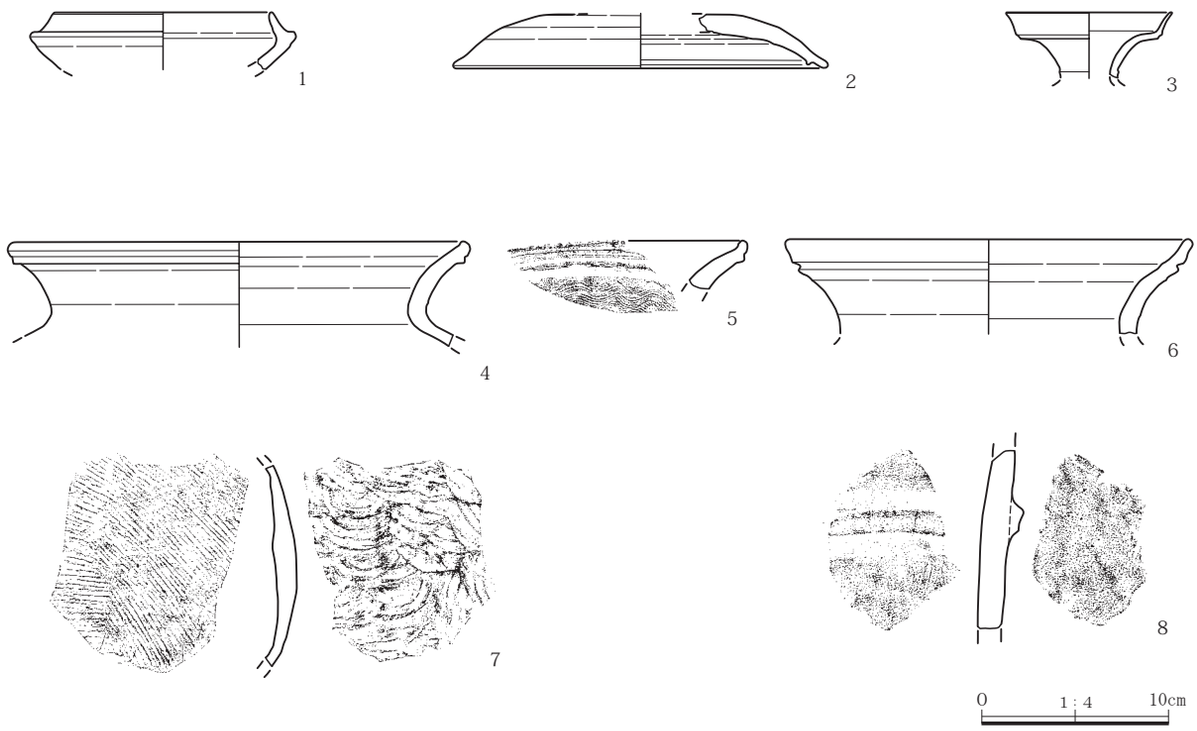
３号溝

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	かわらけ	口径 8.2 底径 5.5 器高 2.2	①酸化炎②にぶい黄橙色③雲母・チャート④口縁部の一部欠損	人為的に打ち欠いた口縁部に油煙付着。 外面　底部左回転糸切り。 内面　底部中央不定方向指撫で。	覆土
2	かわらけ	口径 12.3 底径 6.5 器高 2.3	①酸化炎②にぶい黄橙色③雲母・チャート④ 1/3	外面　底部回転糸切り。口縁部外面に油煙付着。	覆土

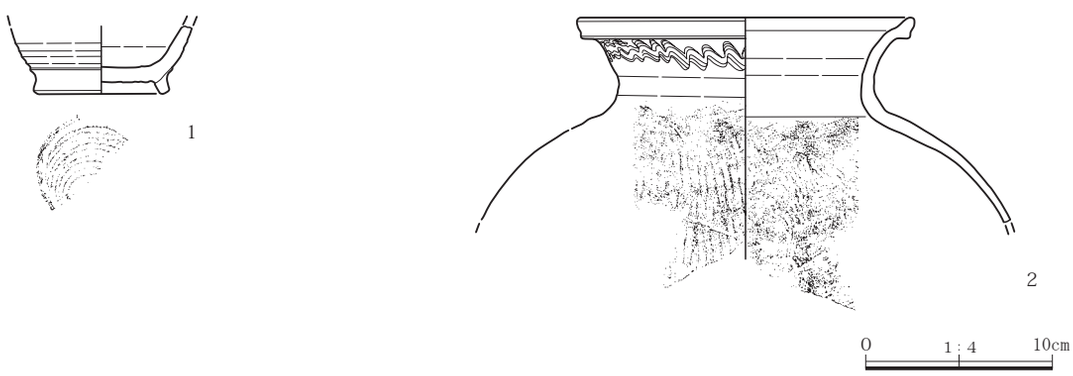
調査区一括

番号	器　種	法量 (cm)	①焼成②色調③胎土④残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	須恵器 蓋	口径 (18.4) 底径 － 器高 －	①還元炎②灰色③石英・パミスの粗～細砂④天井部～口縁部 1/4	外面　天井部回転箆削り。	調査区

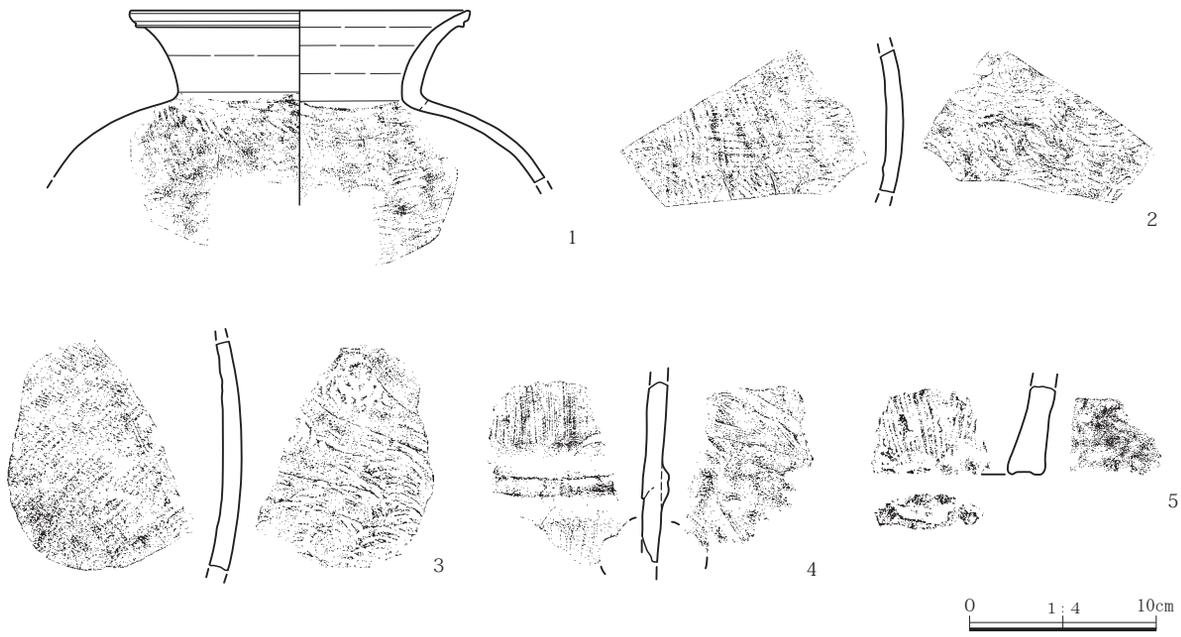
第119表　21・23号住居址、２号集石、２号土坑、３号溝、調査区一括出土土器観察表



第244図　１号古墳出土土器・埴輪実測図



第245図　２号古墳出土土器実測図



第246図　３号古墳出土土器・埴輪実測図

第247図　４号古墳出土土器実測図

第248図　３号溝出土埴輪実測図

番号	種類	計測値 (cm)	成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
1	須恵器 坏	口径 (11.6) 底径 － 器高 －	ロクロ整形。	チャート・黒色粒 灰白色	小片。
2	須恵器 蓋	口径 (20.0) 器高 －	ロクロ整形。天井部回転ヘラケズリ。内面に返りを持つ。	チャート・石英・ 白色粒 灰色	1/4 残存。
3	須恵器 甕	口径 (9.0) 底径 － 器高 －	口縁部ロクロ整形。	石英・白色粒 黒色	口縁部片。 内面に灰かぶり。
4	須恵器 甕	口径 (24.8) 底径 － 器高 －	口縁部ロクロ整形。	チャート・黒色粒 灰色	口縁部 1/2 残存。
5	須恵器 甕	口径 (41.4) 底径 － 器高 －	口縁部ロクロ整形。外面に波状文。	チャート・石英・ 白色粒 にぶい赤褐色	口縁部小片。
6	須恵器 甕	口径 (21.8) 底径 － 器高 －	口縁部ロクロ整形。	黒色粒・白色粒 灰白色	口縁部片。
7	須恵器 甕	口径 － 底径 － 器高 －	外面、擬格子目タタキ。内面、同心円文。	チャート・石英・ 白色粒 灰黄色	胴部片。

番号	種類	計測値 (cm)	突帯	透孔		ハケ	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状	縦 × 横	/2cm			
8	円筒埴輪		台形 ～ 弱M字	－	－	不明	外面　タテハケ（磨滅する）。 内面　指ナデ（磨滅する）。	チャート・凝灰岩 橙色	紛れ込みと思われる。

第120表　1 号古墳出土土器・埴輪観察表

番号	種類	計測値 (cm)	成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
1	須恵器 (瓶)	口径 － 底径 (7.2) 器高 －	ロクロ整形。底部回転糸切り後、高台貼付。	チャート・微砂粒 灰色	底部 1/2 残存。
2	須恵器 甕	口径 18.0 底径 － 器高	外面、口縁部に波状文、胴部は平行タタキ。内面、口縁部はロクロナデ、胴部は同心円文後にナデ。	白色粒・黒色粒 灰色	

第121表　2 号古墳出土土器観察表

番号	種類	計測値 (cm)	成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
1	須恵器 甕	口径 (18.2) 底径 － 器高 －	外面、口縁部ロクロナデ、胴部平行タタキ後にナデ。内面、口縁部ロクロナデ、胴部同心円文後にナデ。	白色粒・黒色粒・ 微砂粒 灰色	1 ～ 4 号墳の破片が接合。
2	須恵器 甕	口径 － 底径 － 器高 －	外面、胴部擬格子目タタキ。内面、胴部同心円文。	白色粒・黒色粒・ 微砂粒 灰色	胴部片。
3	須恵器 甕	口径 － 底径 － 器高 －	外面、胴部擬格子目タタキ。内面、胴部同心円文後に一部ナデ。	チャート・凝灰岩 灰色	胴部片。

番号	種類	計測値 (cm)	突帯	透孔		ハケ	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状	縦 × 横	/2cm			
4	円筒埴輪		低M字 ～ 低台形	不明	－	23 ～ 25	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	紛れ込みと思われる。
5	円筒埴輪		－	－	－	6	外面　タテハケ。 内面　指ナデ。	片岩・チャート 橙色	紛れ込みと思われる。

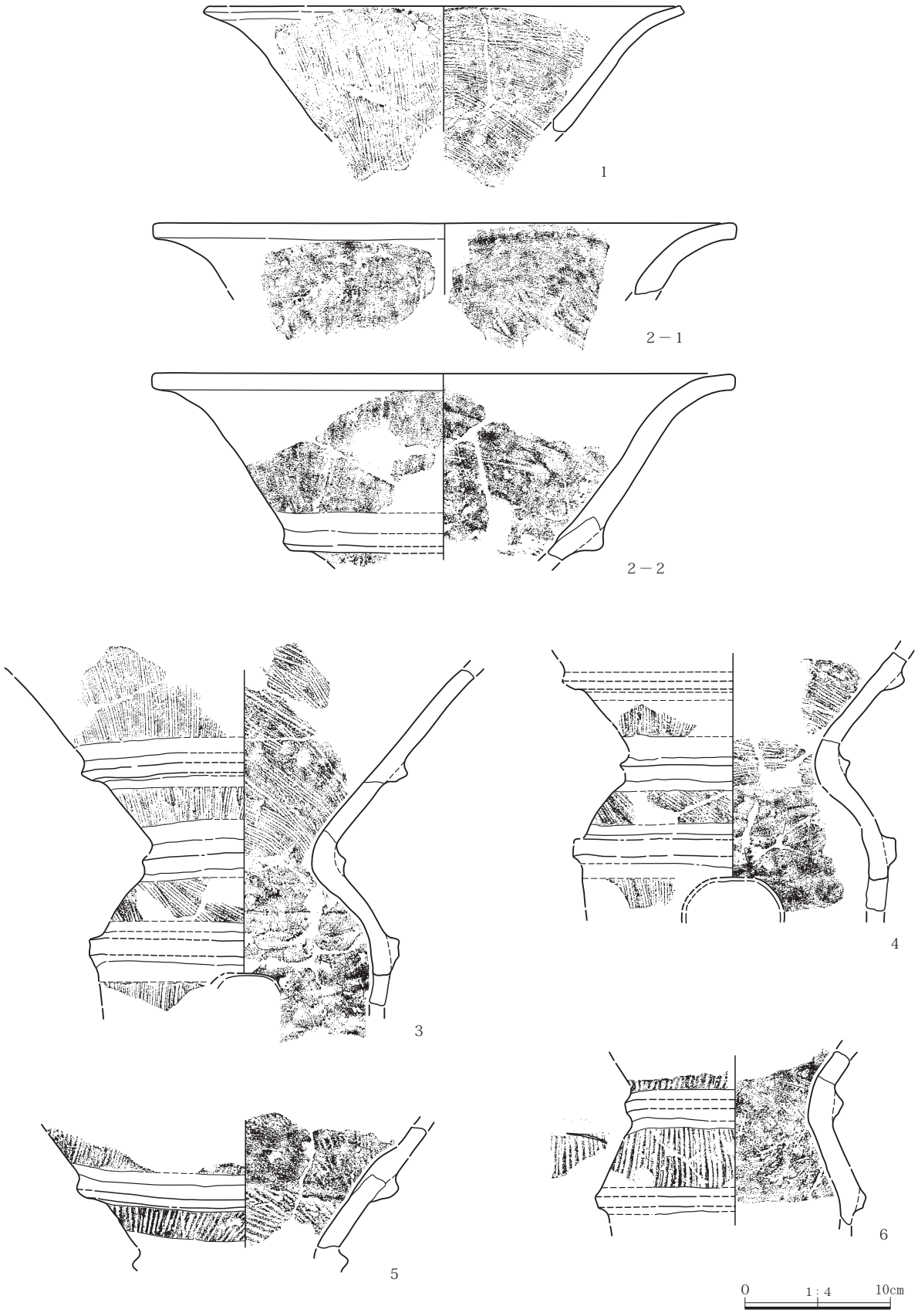
第122表　3 号古墳出土土器・埴輪観察表

番号	種類	計測値 (cm)	成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
1	須恵器 甕	口径 － 底径 － 器高 －	外面、胴部平行タタキ後に一部ナデ。内面、胴部同心円文。	黒色粒・白色粒・ 微砂粒 黄灰色	胴部片

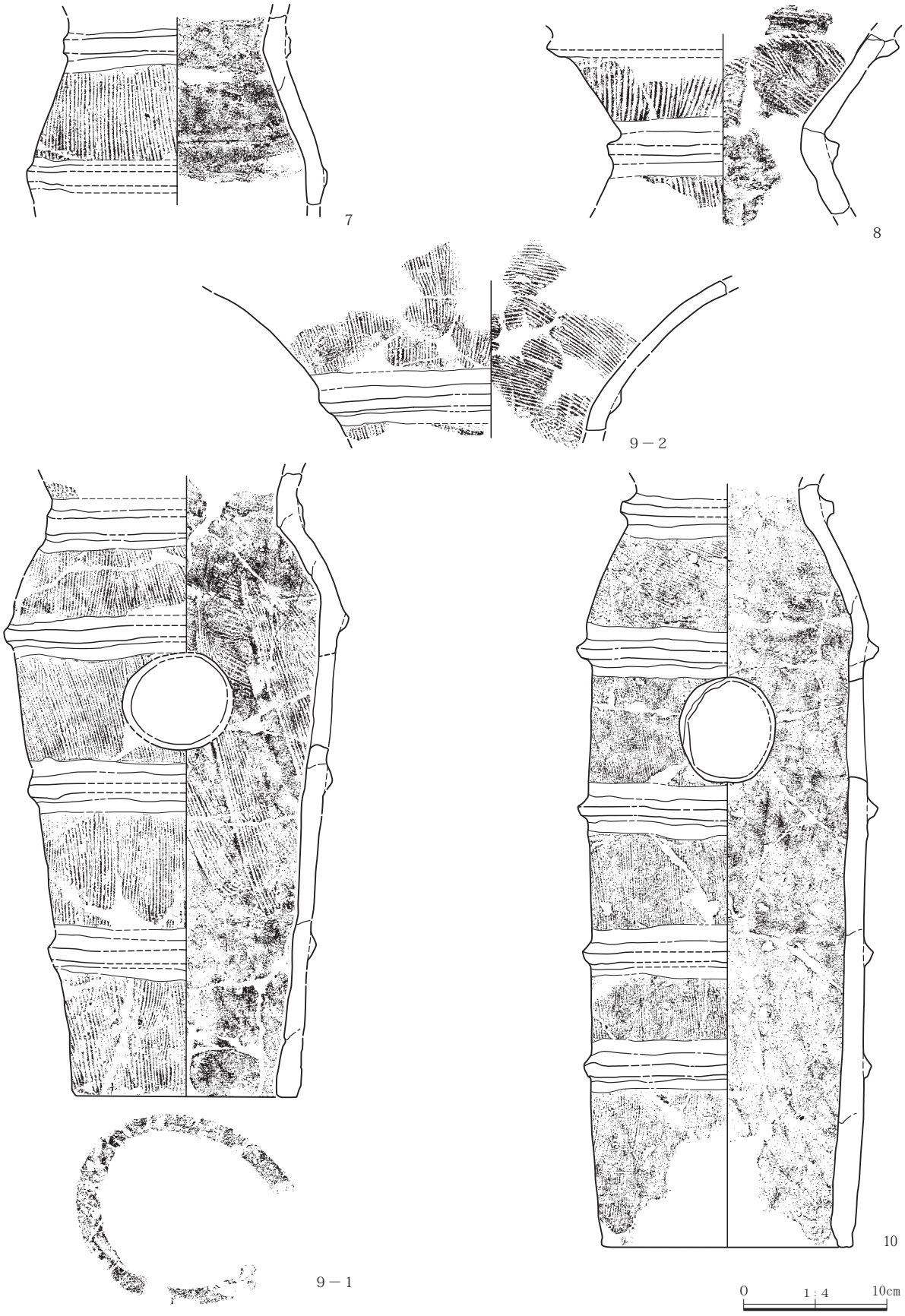
第123表　4 号古墳出土土器観察表

番号	種類	計測値 (cm)	突帯	透孔		ハケ	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状	縦 × 横	/2cm			
1	円筒埴輪		低台形	(円)	－	8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、一部ナデ。	チャート・凝灰岩 浅黄橙色	紛れ込み。
2	朝顔形 円筒埴輪		低台形 ～ 低M字	－	－	6	外面　タテハケ。 内面　指ナデ。	雲母・片岩・チャート にぶい橙色	紛れ込み。

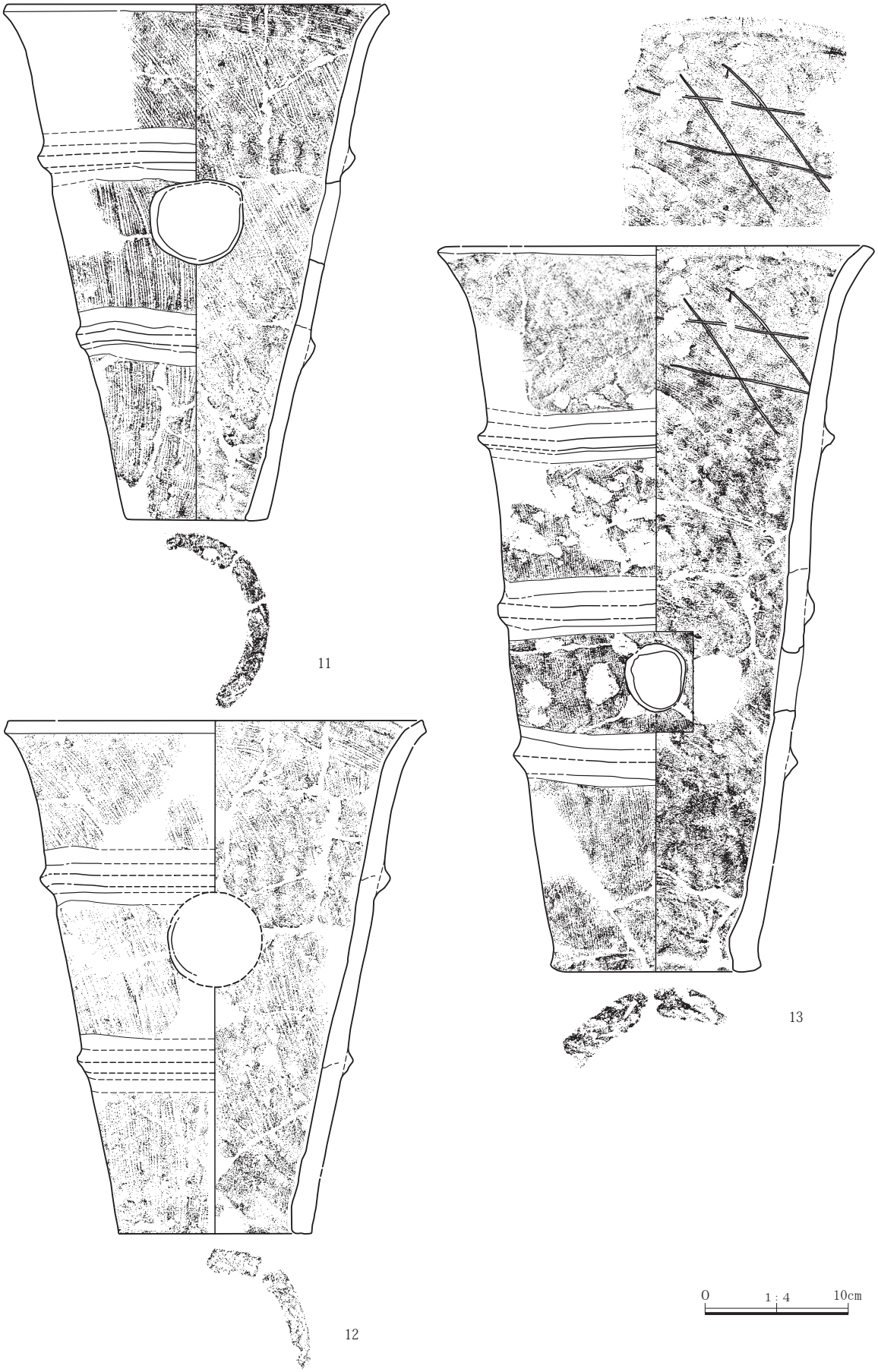
第124表　3 号溝出土埴輪観察表



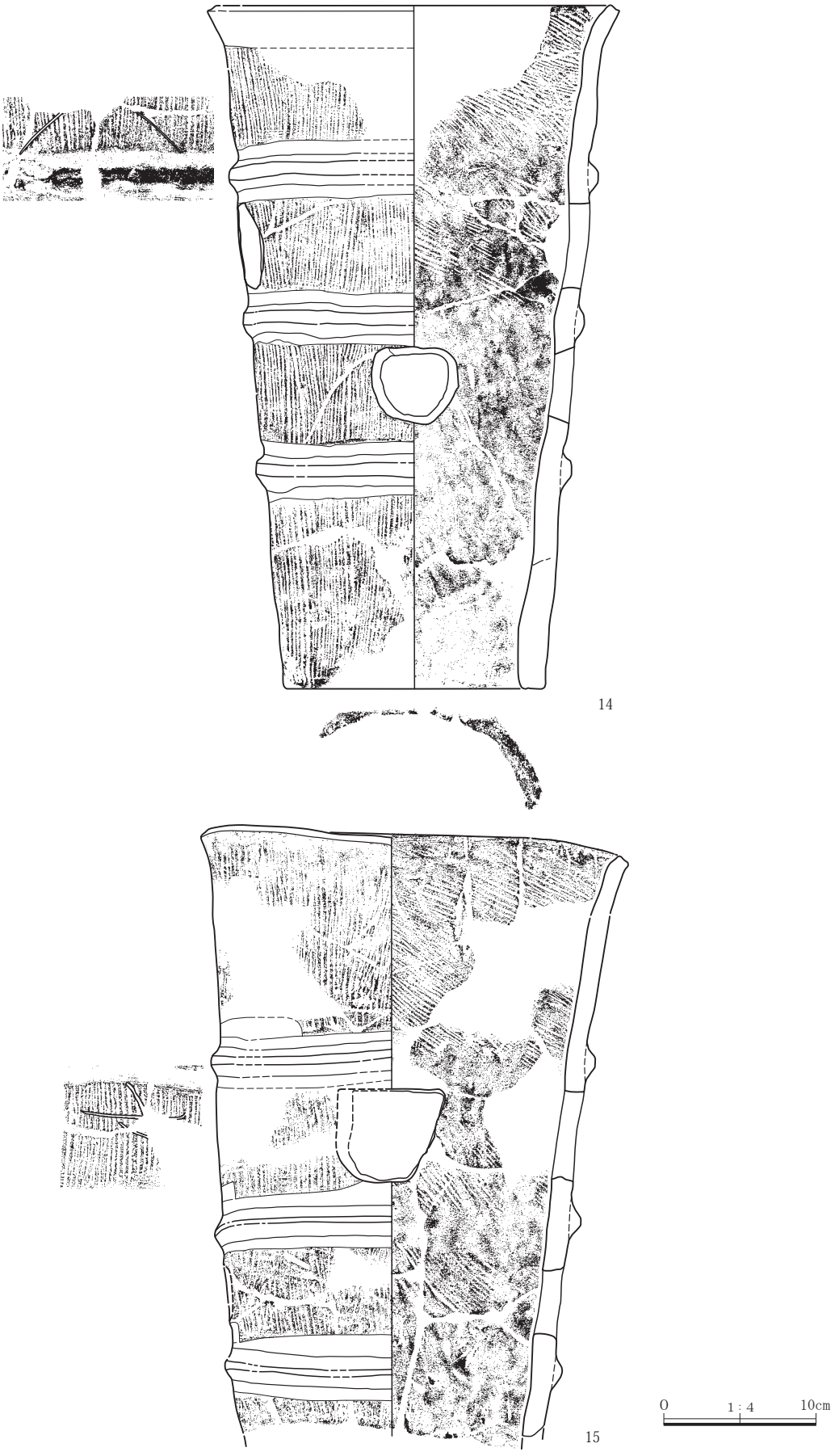
第249図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(1)



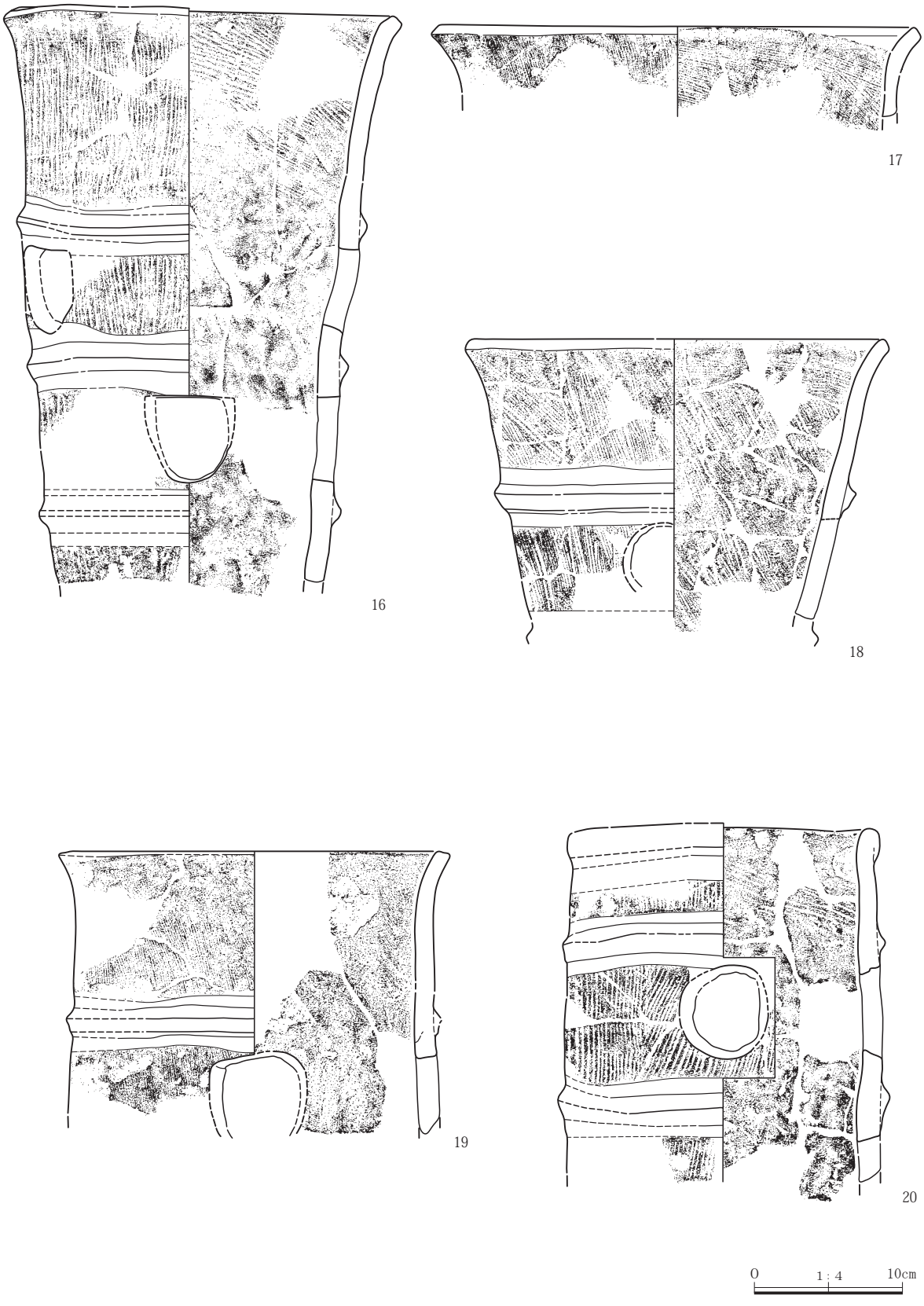
第250図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(2)



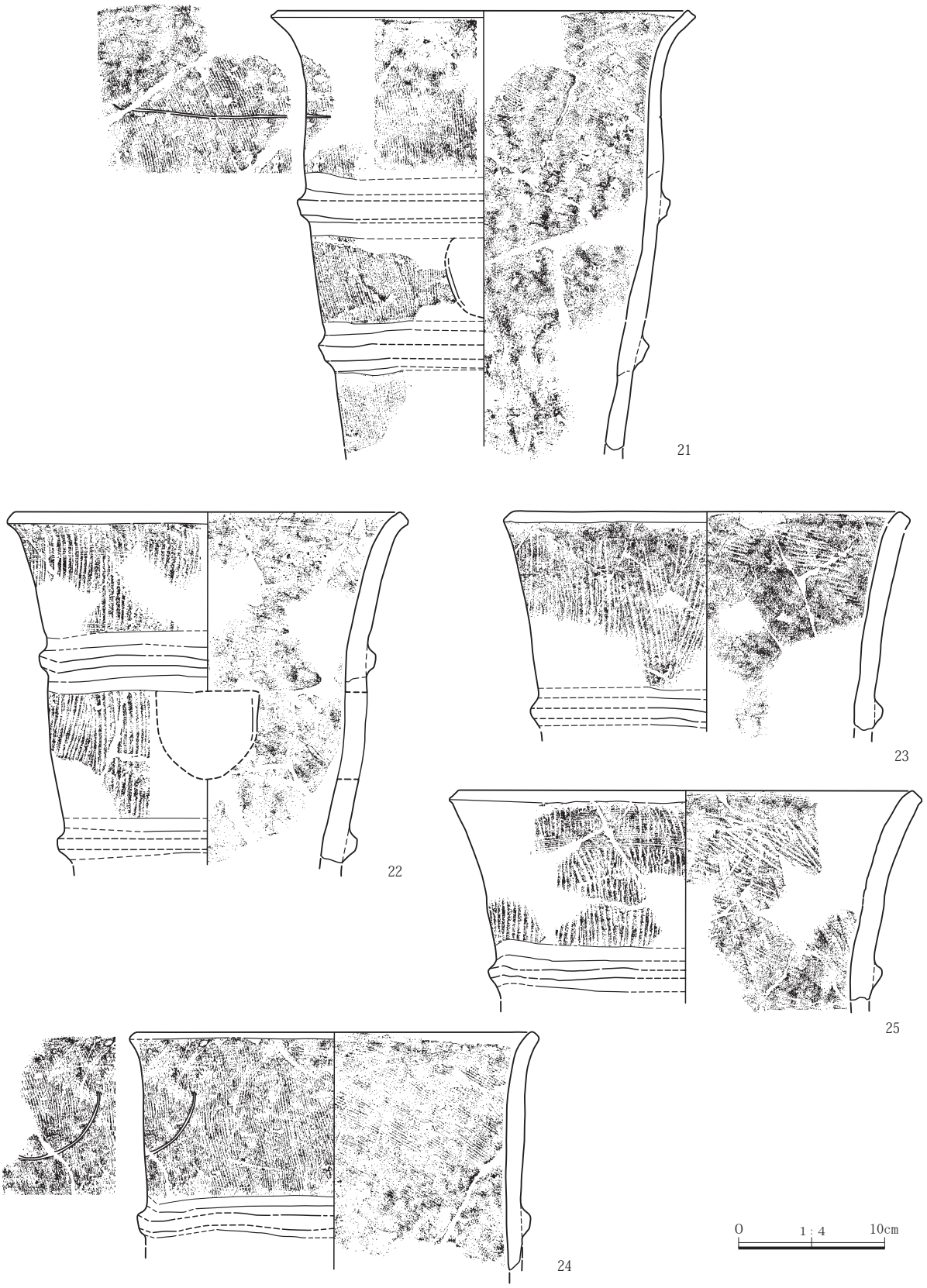
第251図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(3)



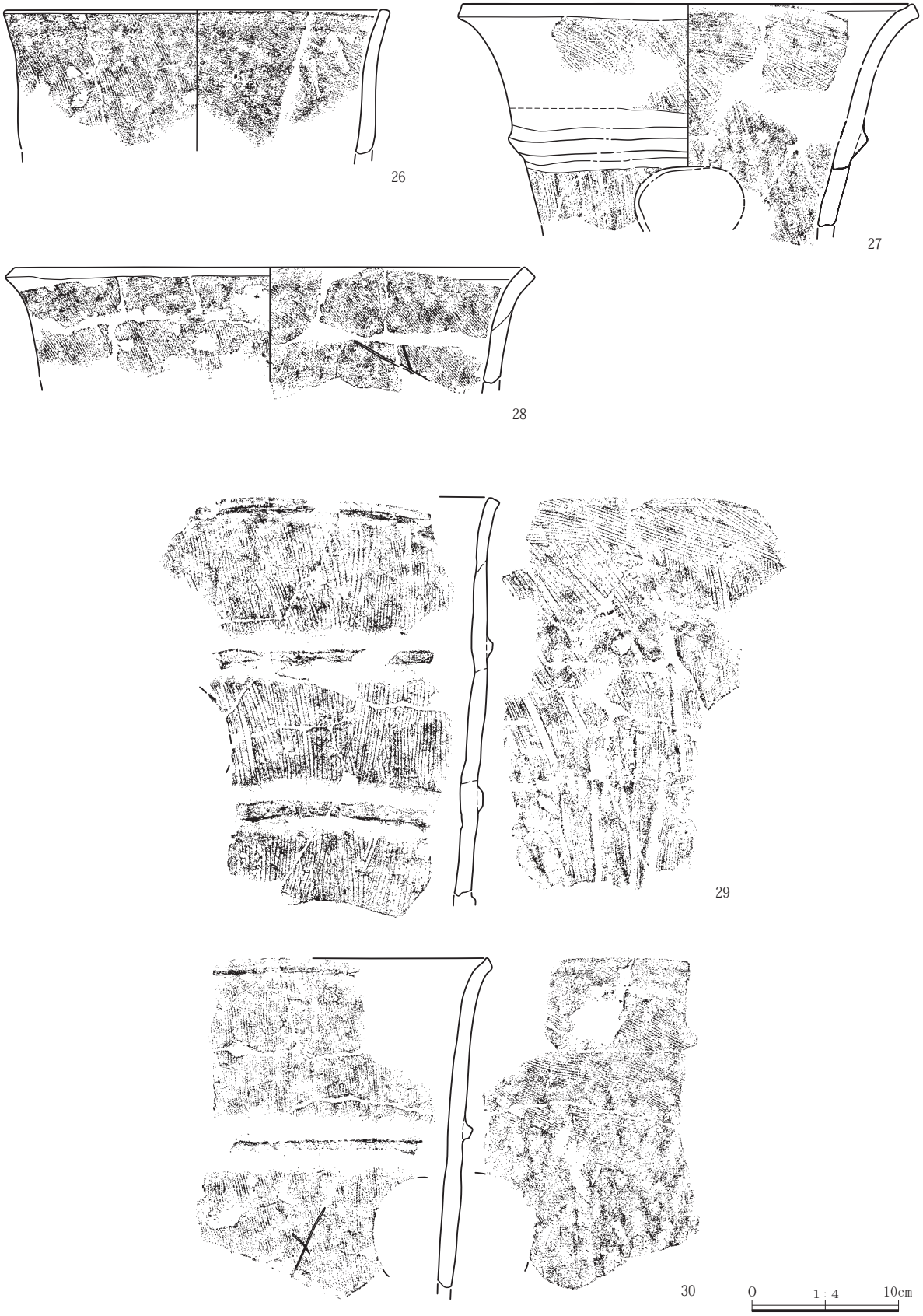
第252図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(4)



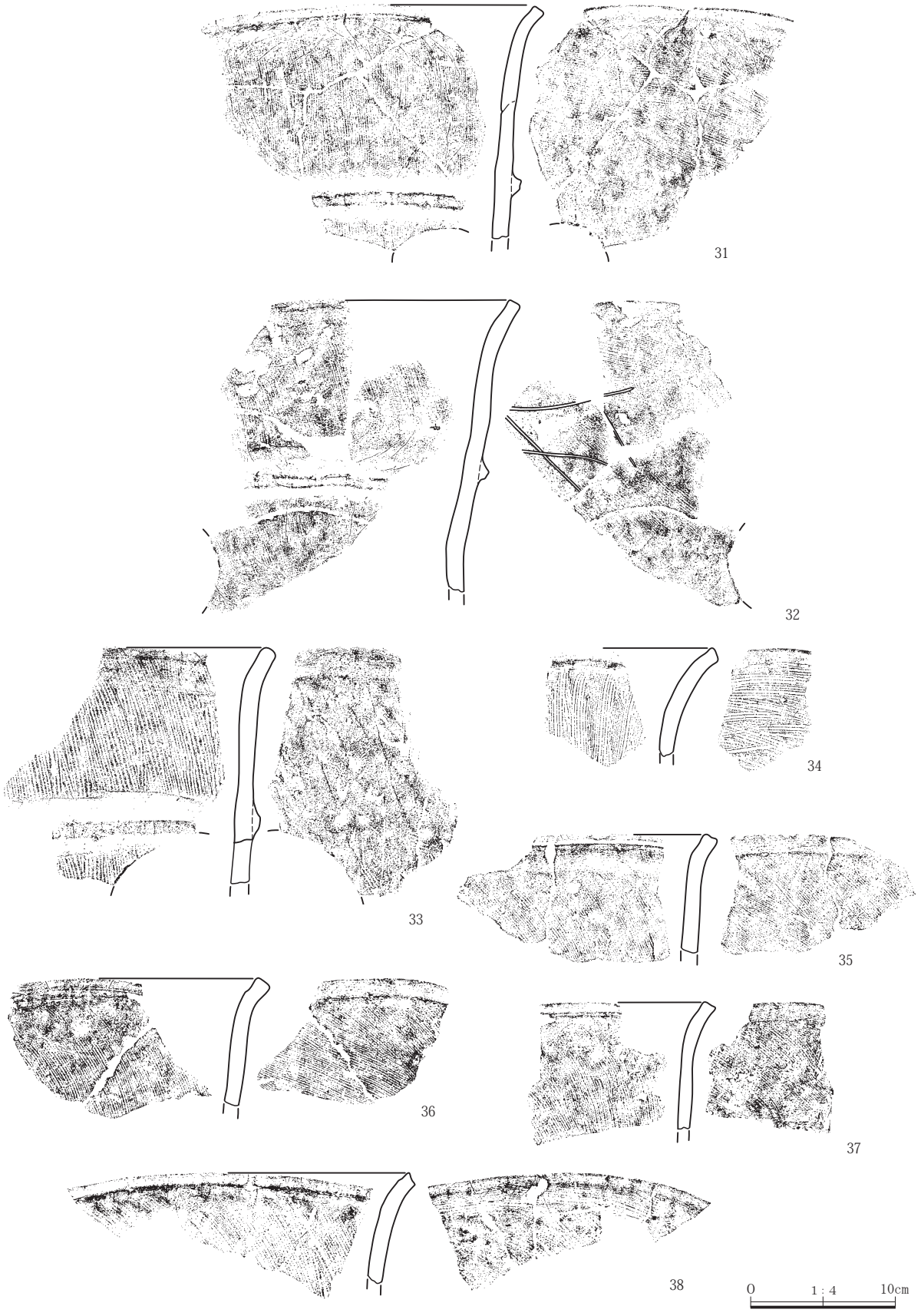
第253図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(5)



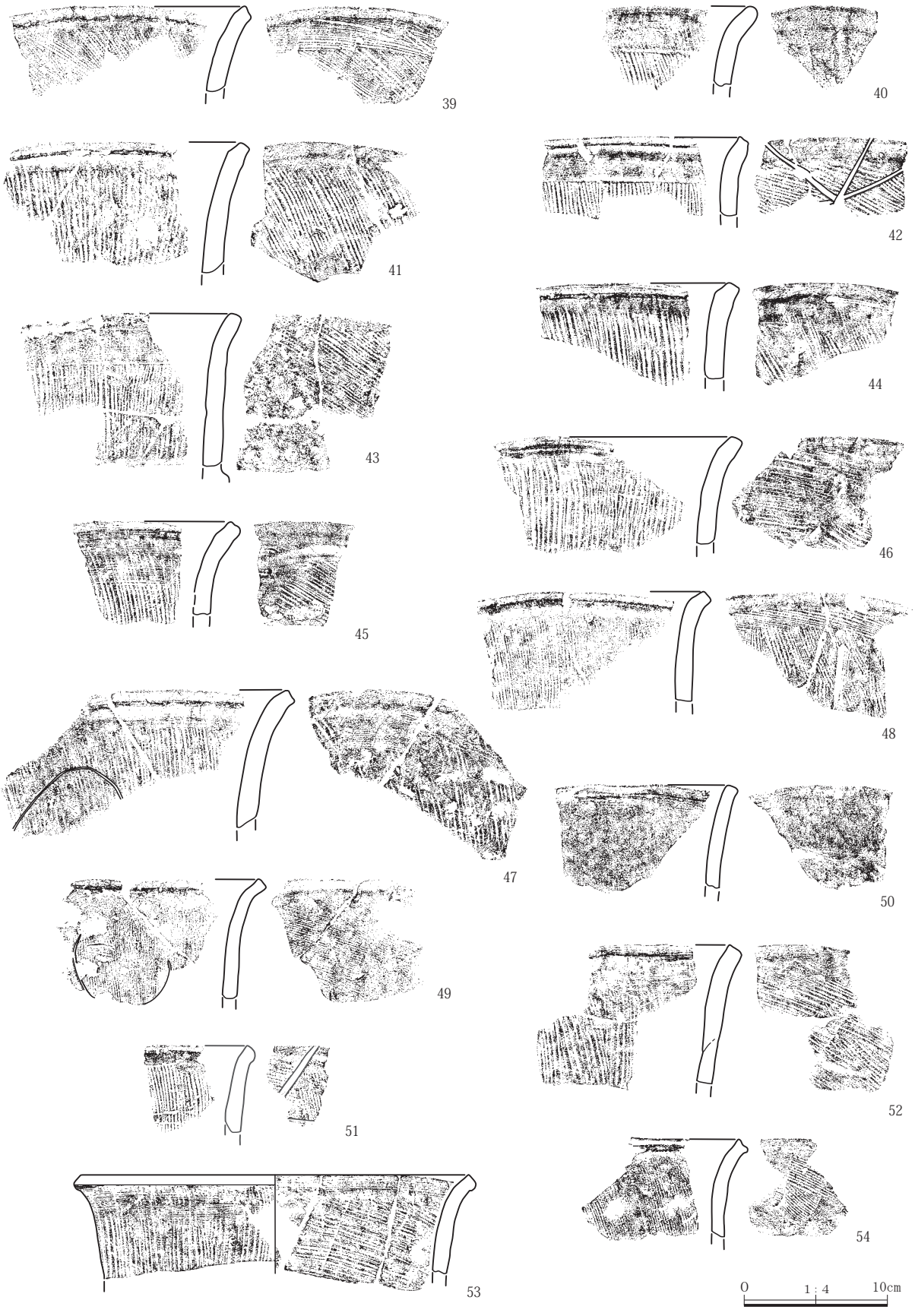
第254図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(6)



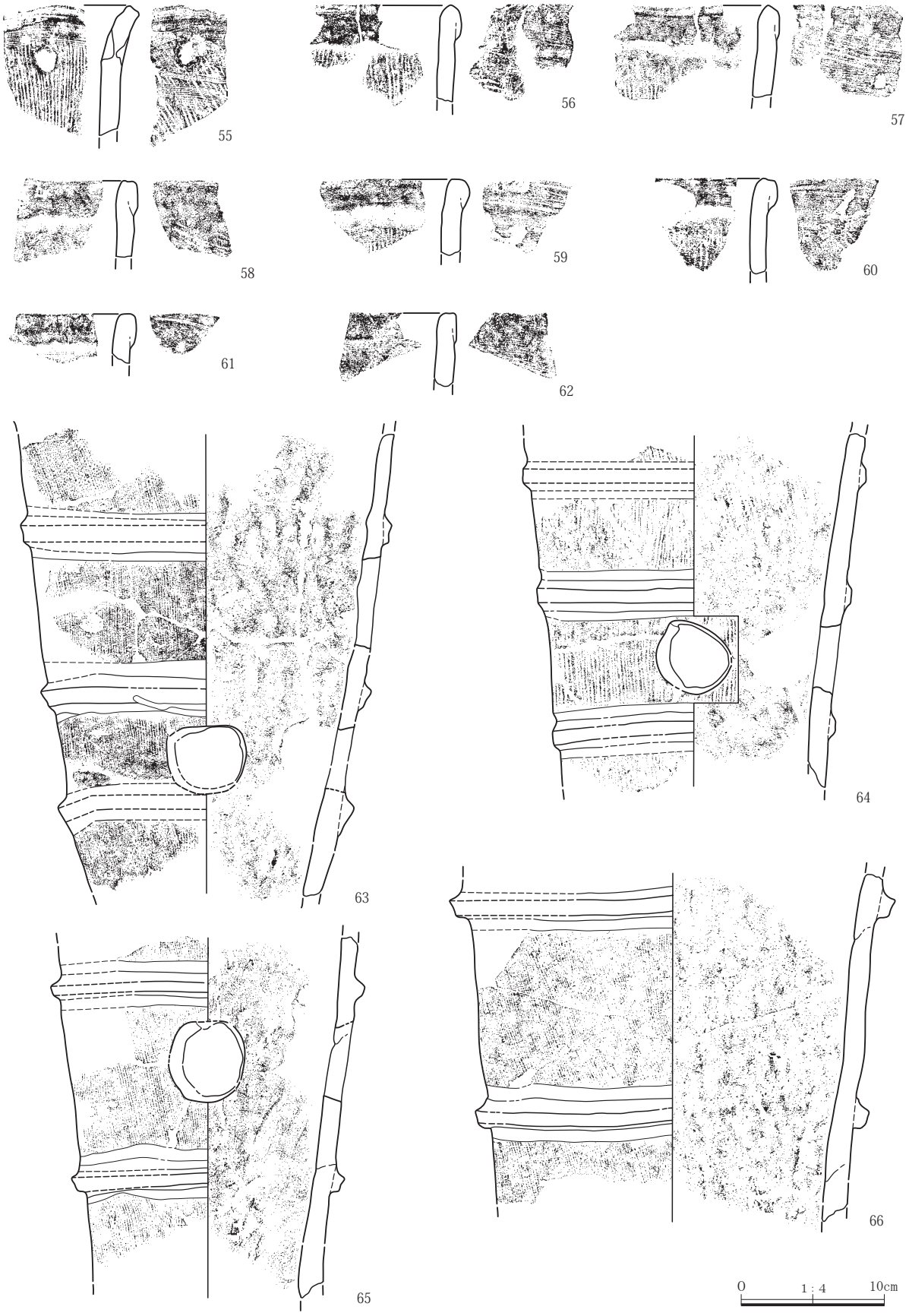
第255図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(7)



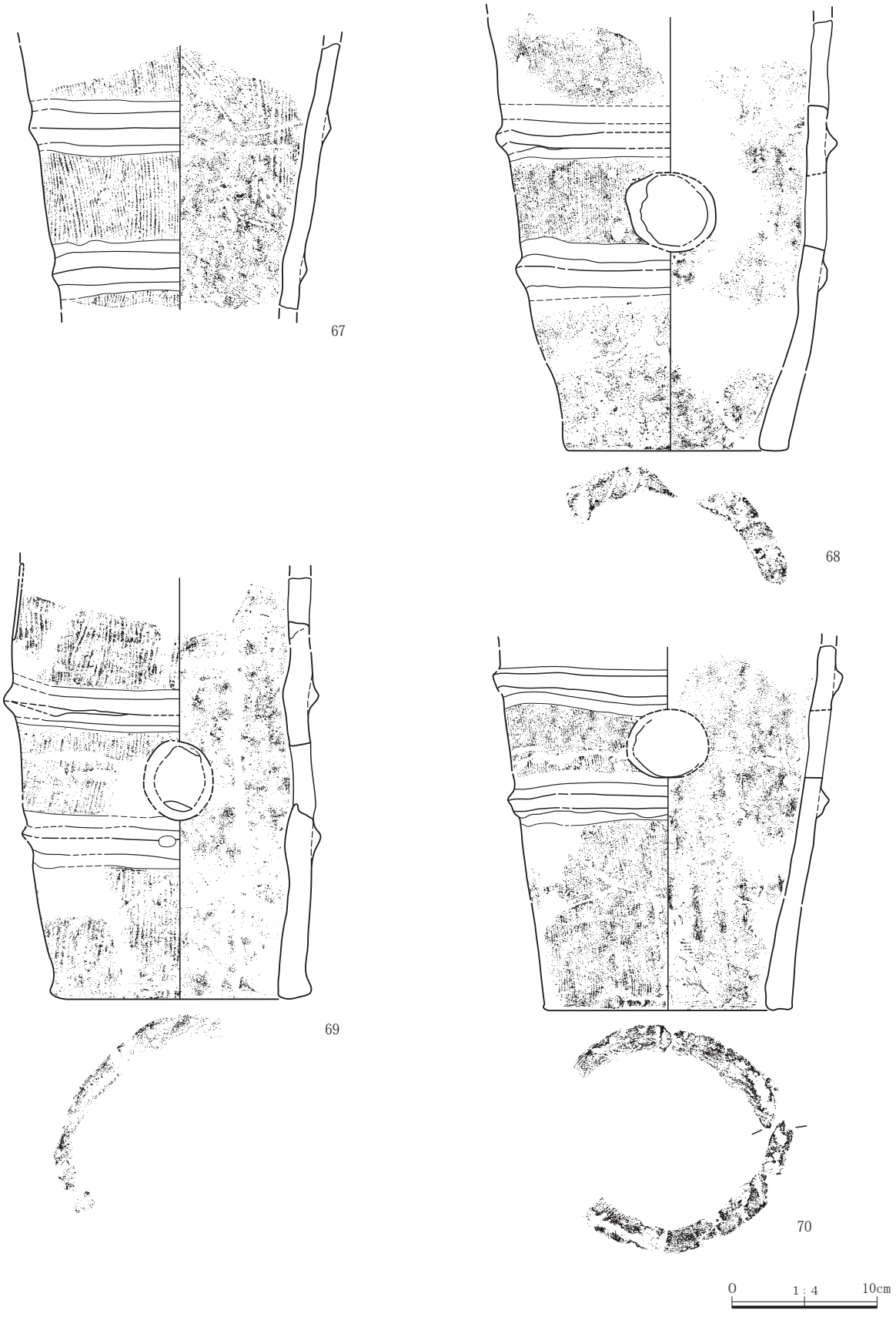
第256図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(8)



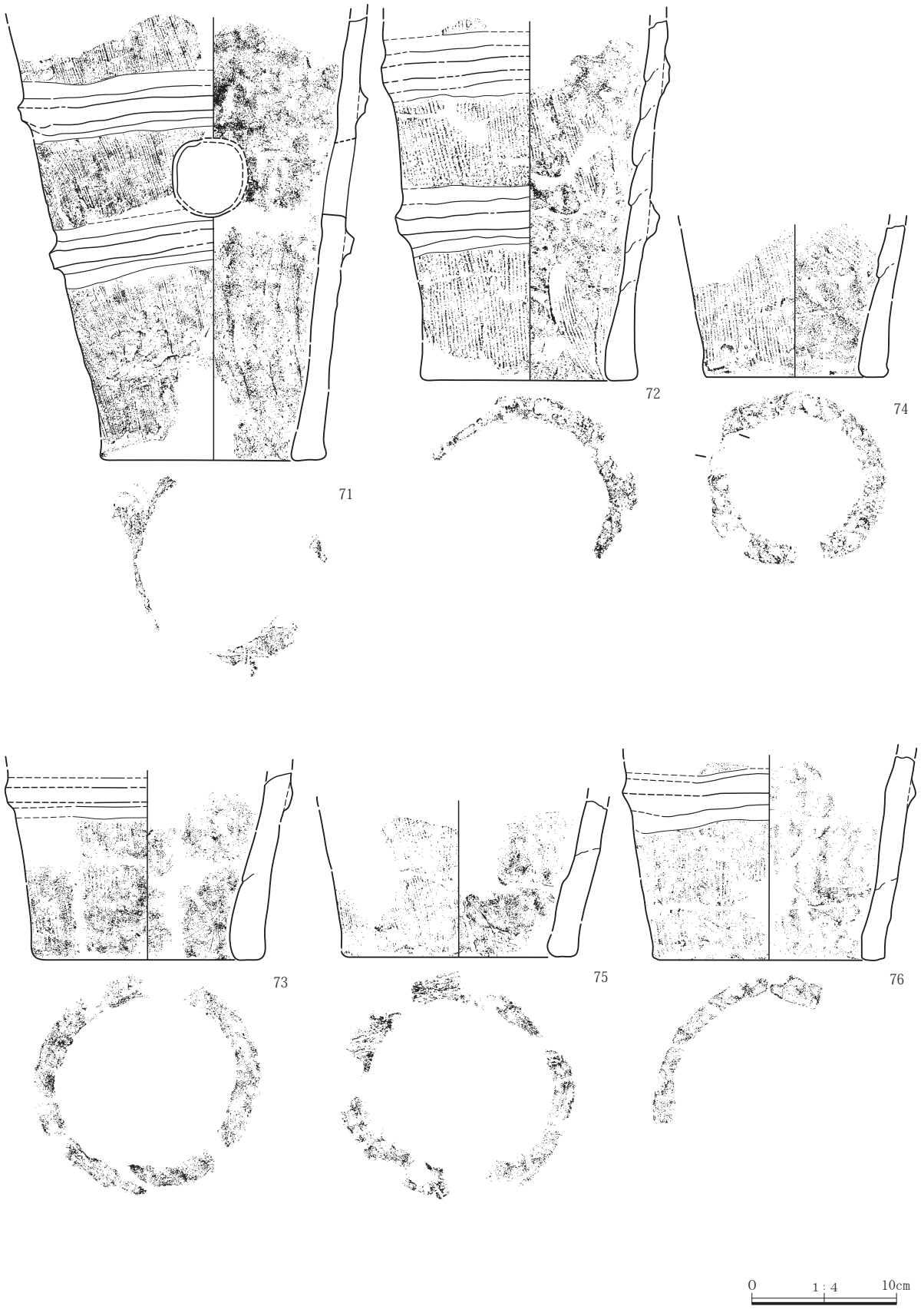
第257図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(9)



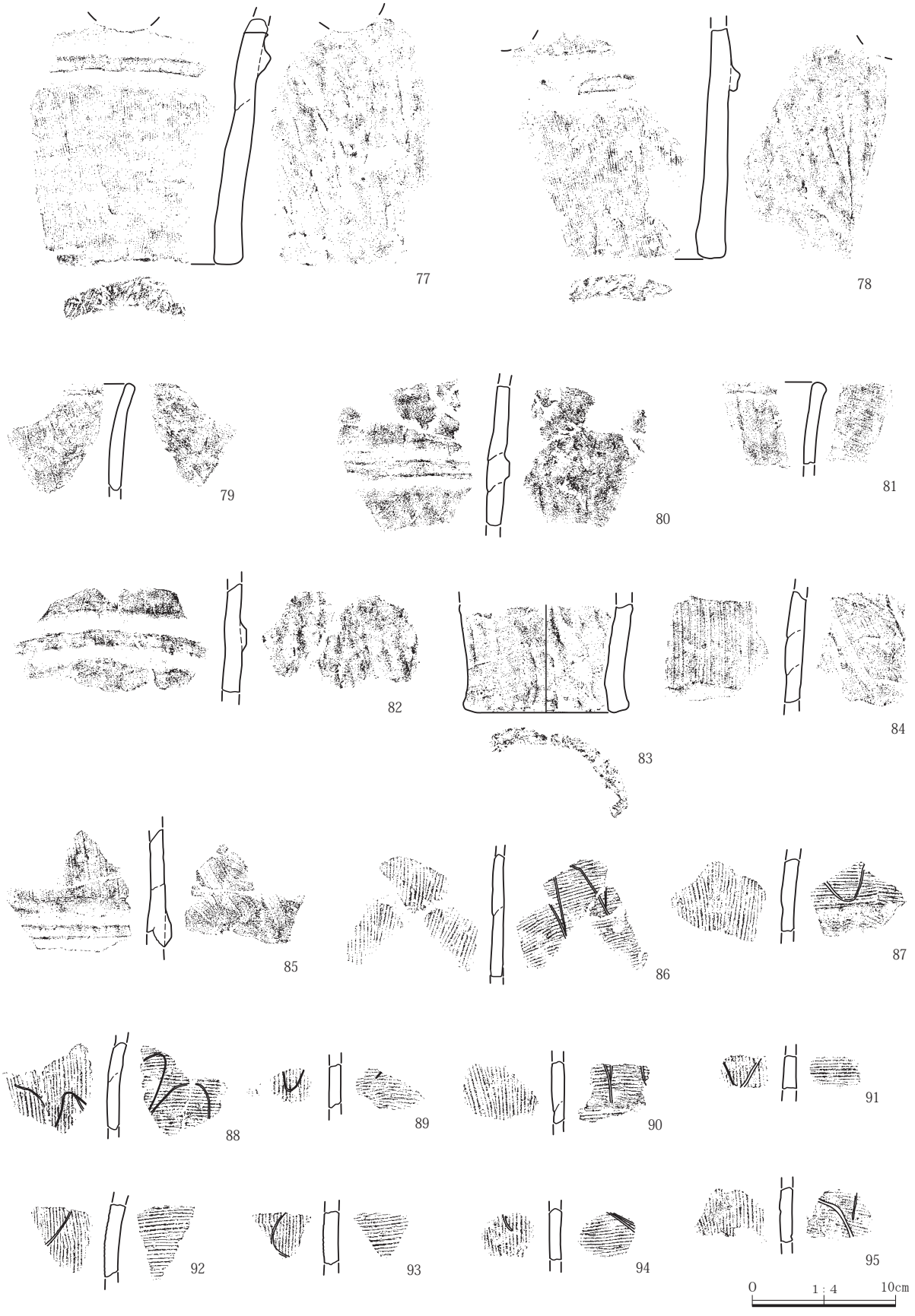
第258図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(10)



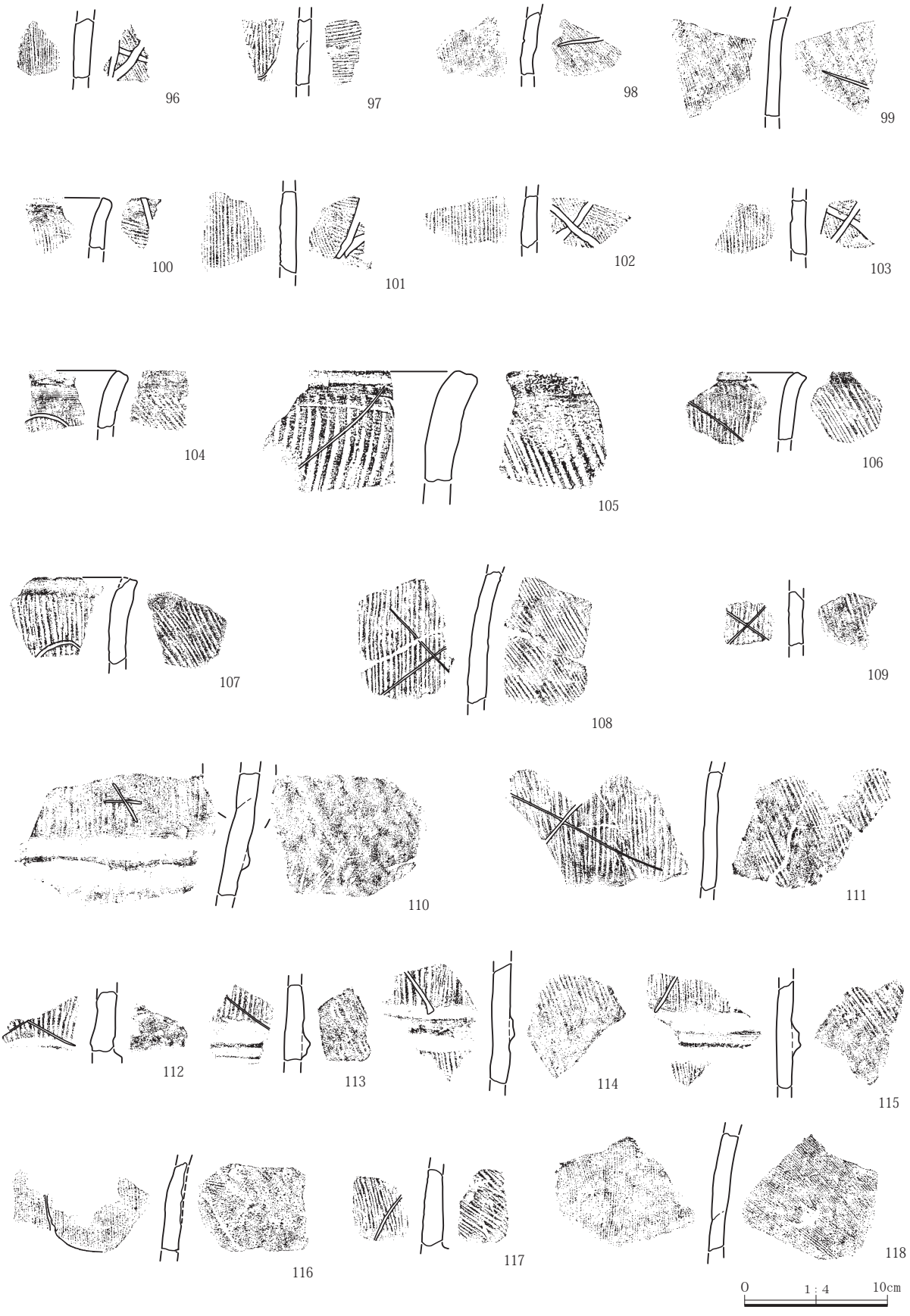
第259図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(11)



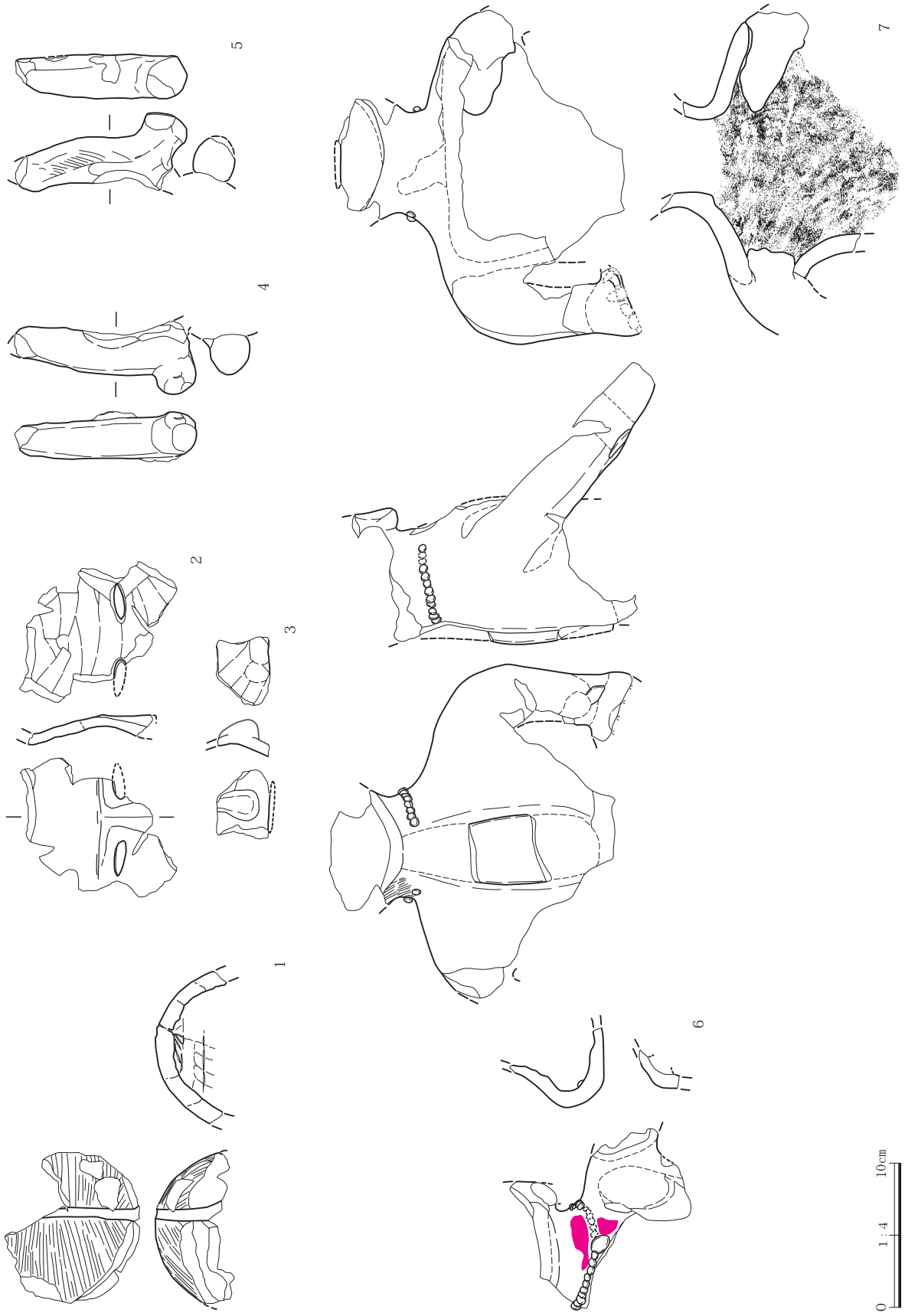
第260図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(12)



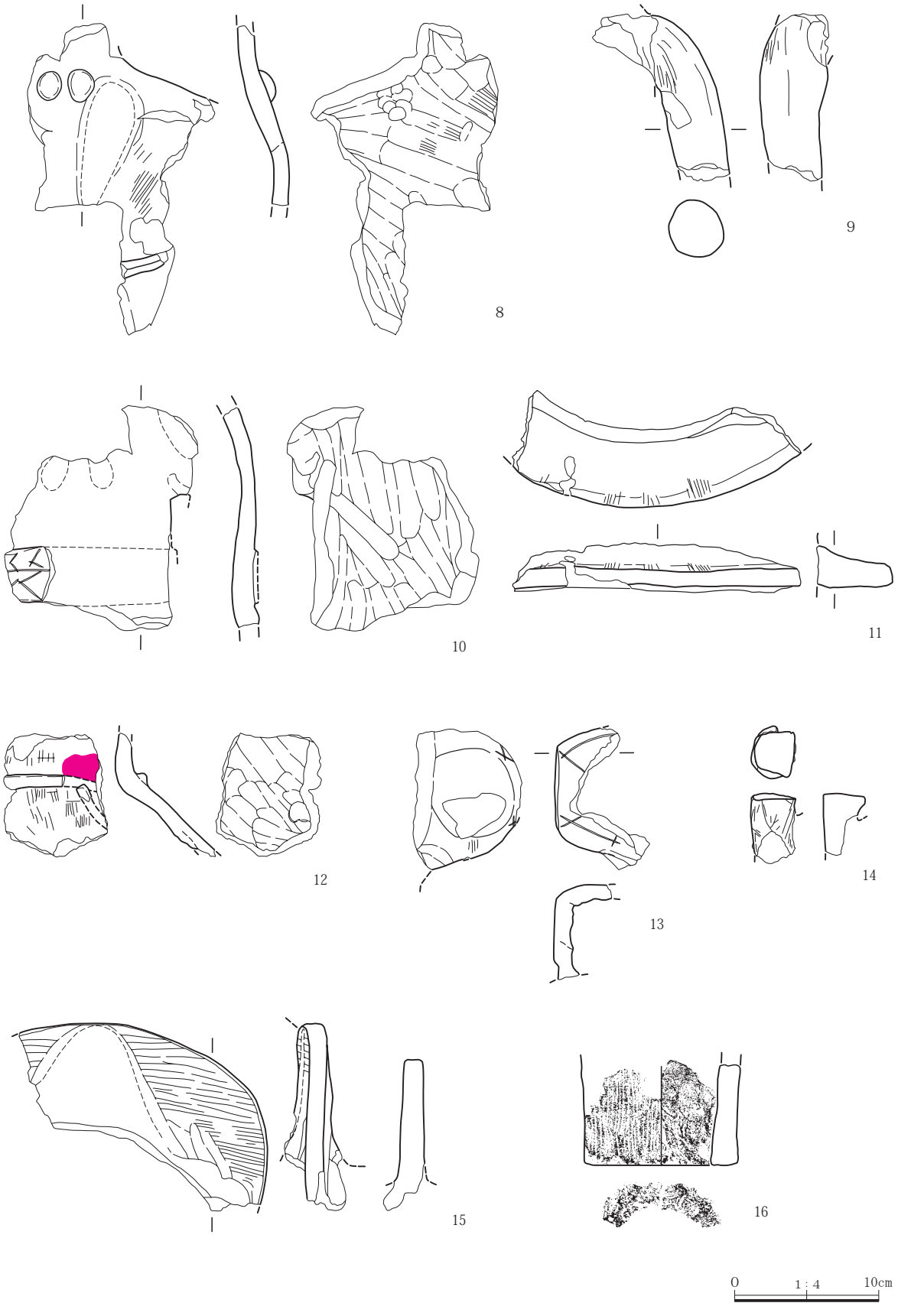
第261図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(13)



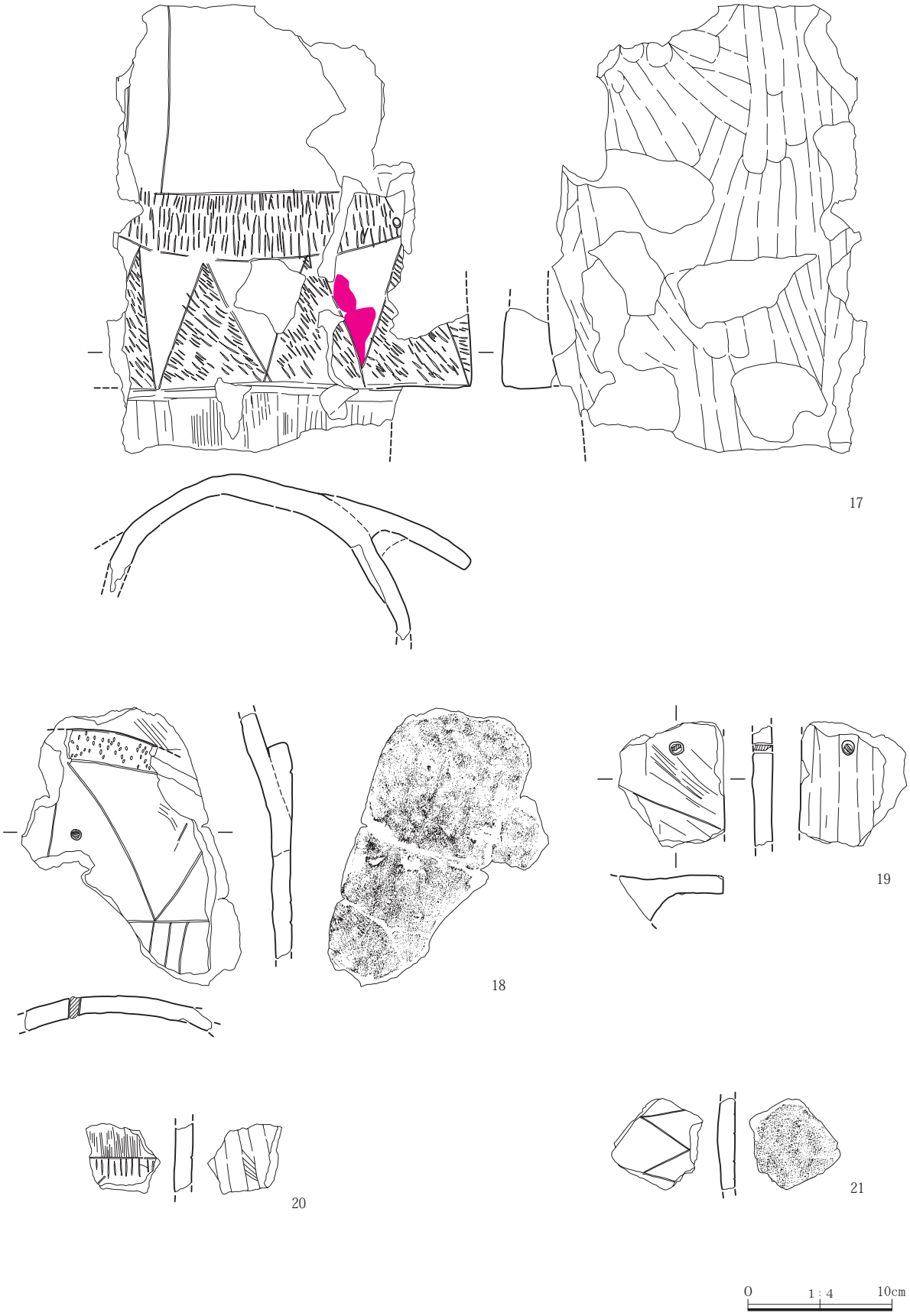
第262図　琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(14)



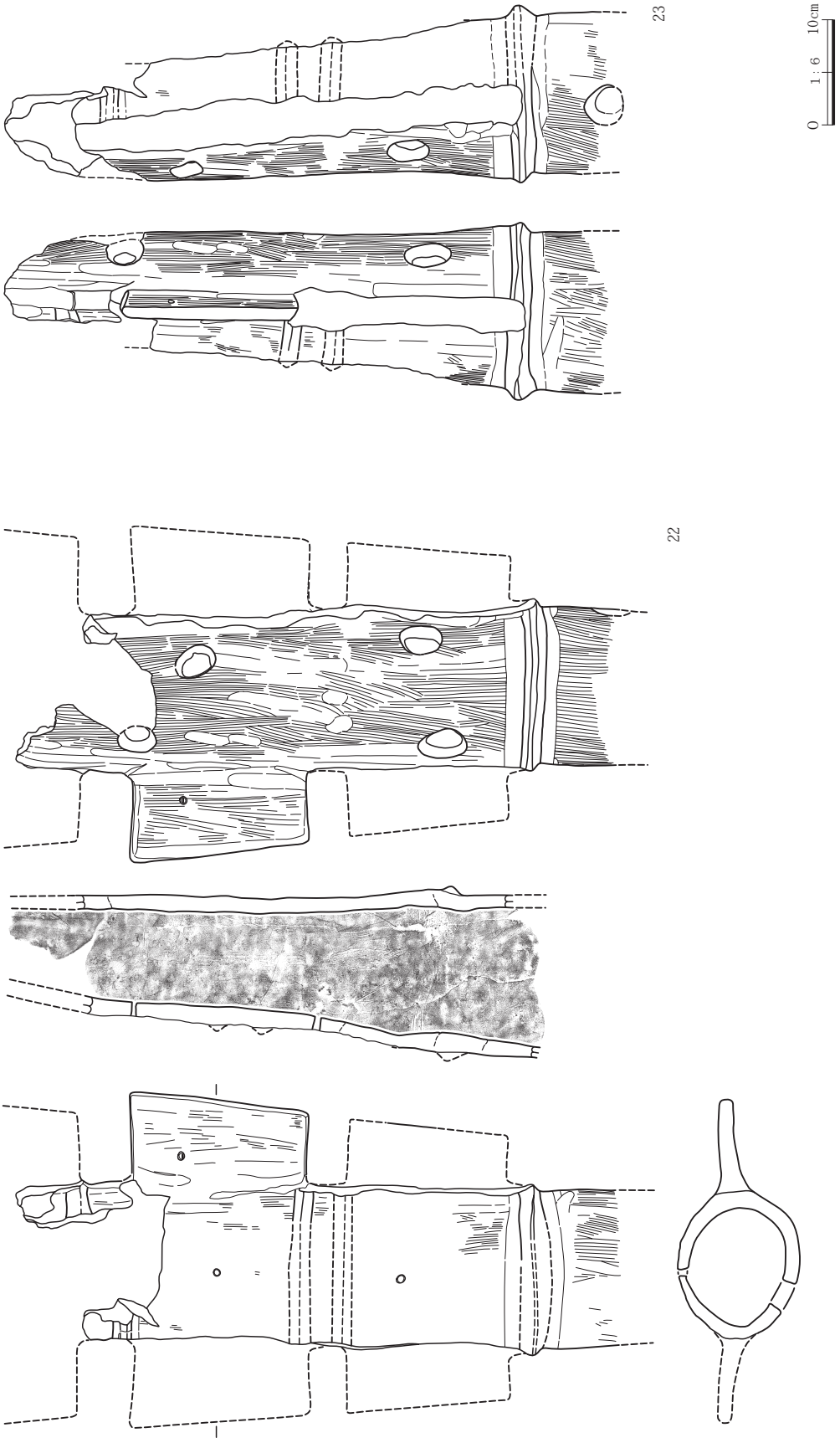
第263図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(1)



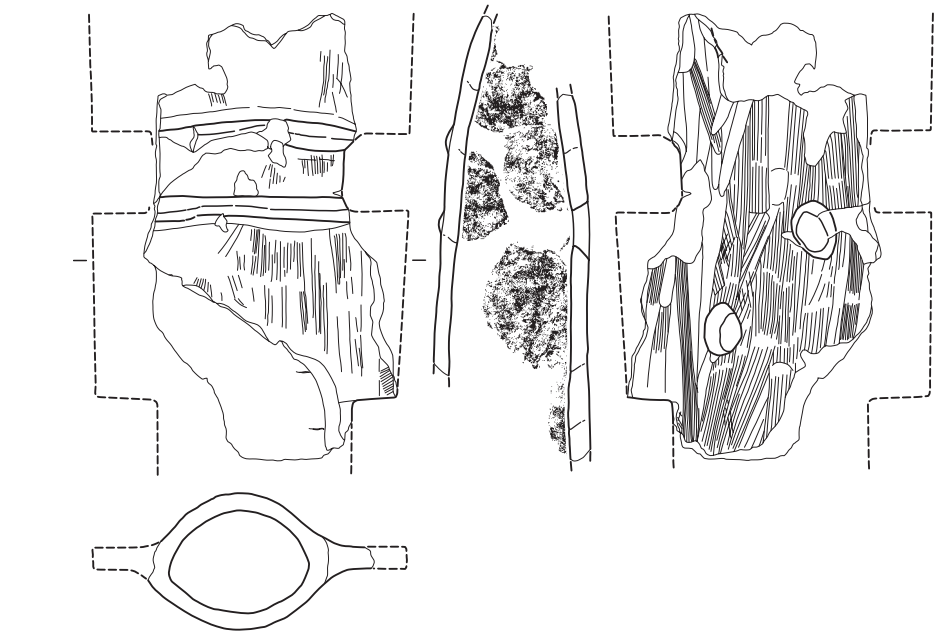
第264図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(2)



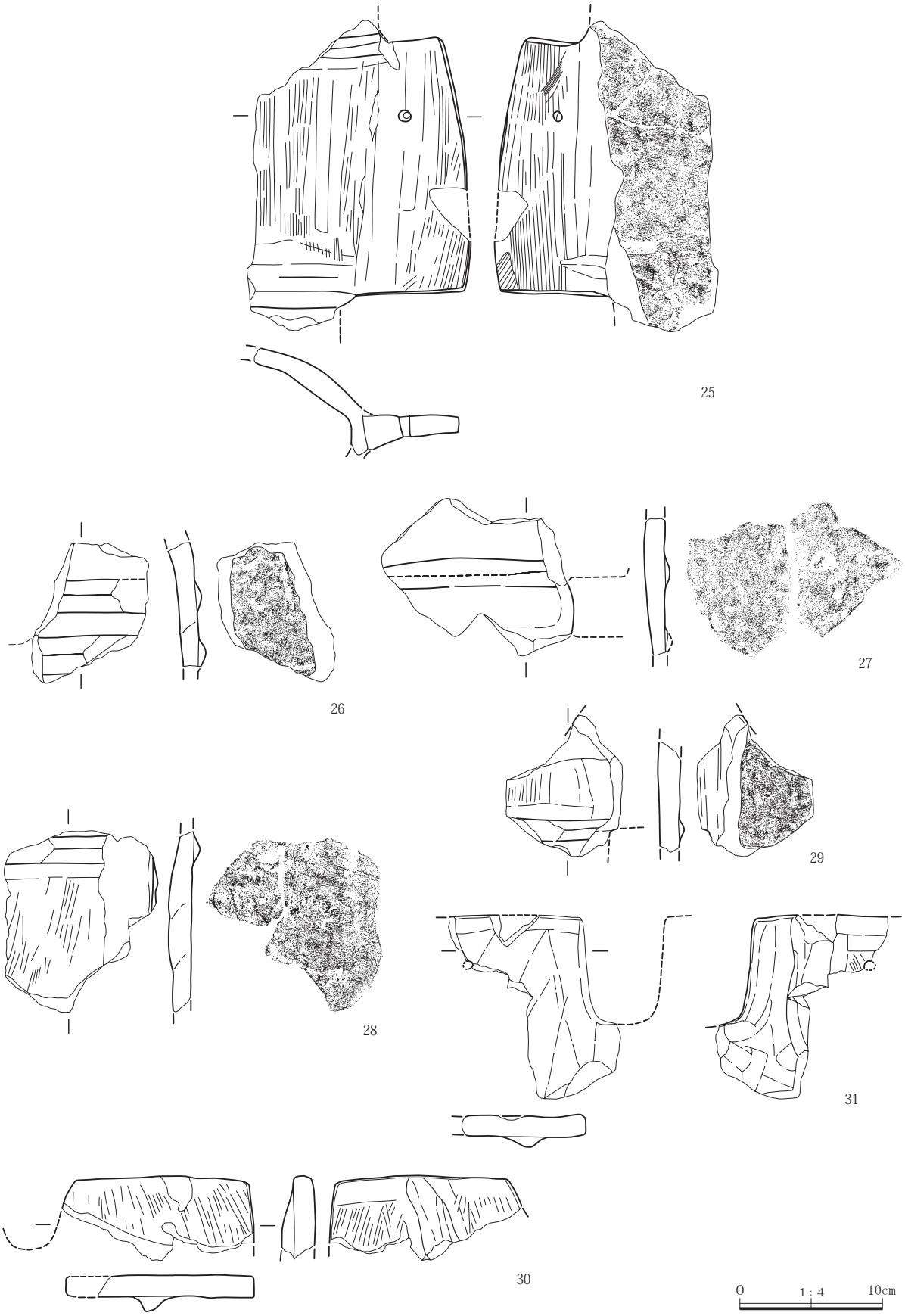
第265図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(3)



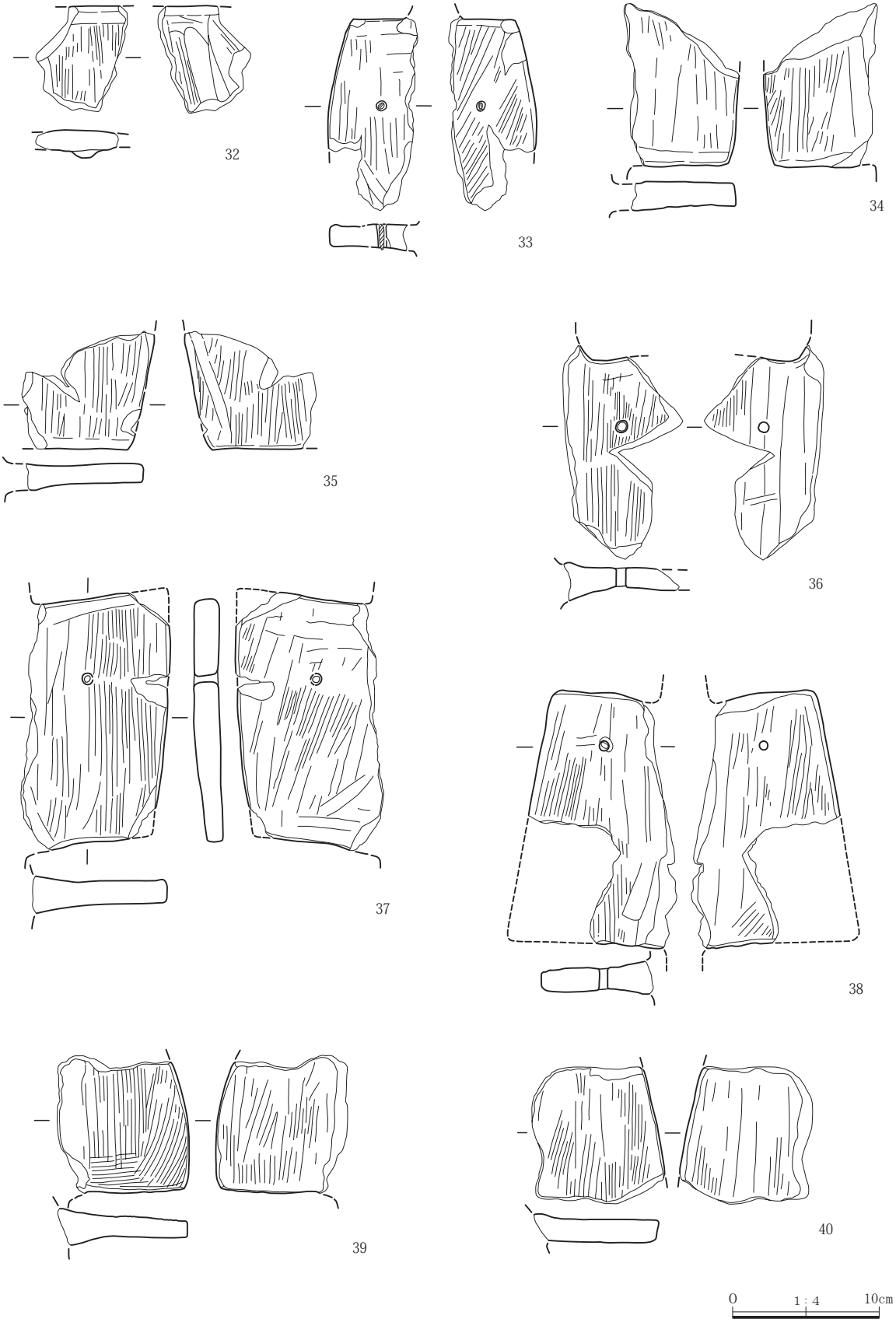
第266図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(4)



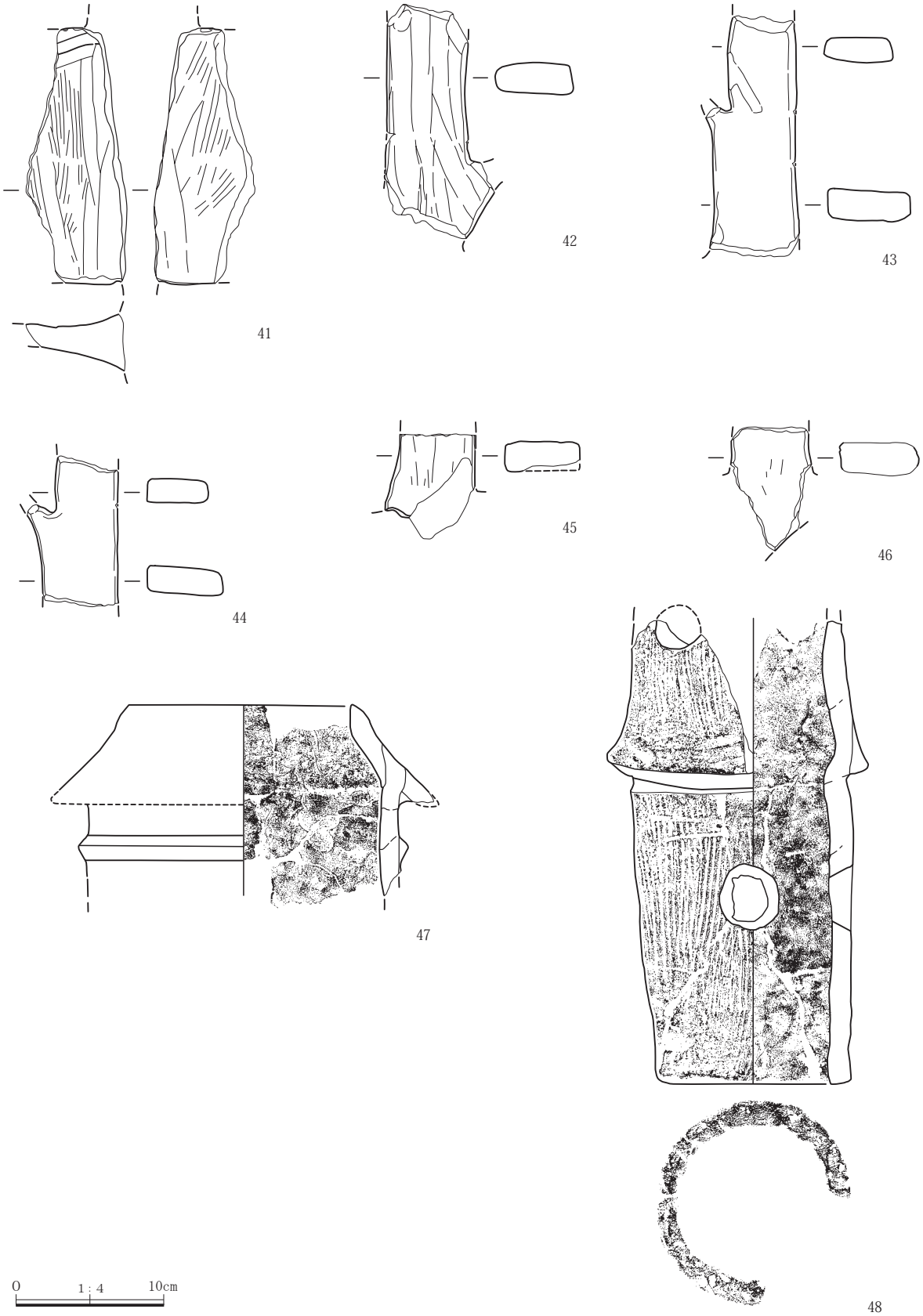
第267図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(5)



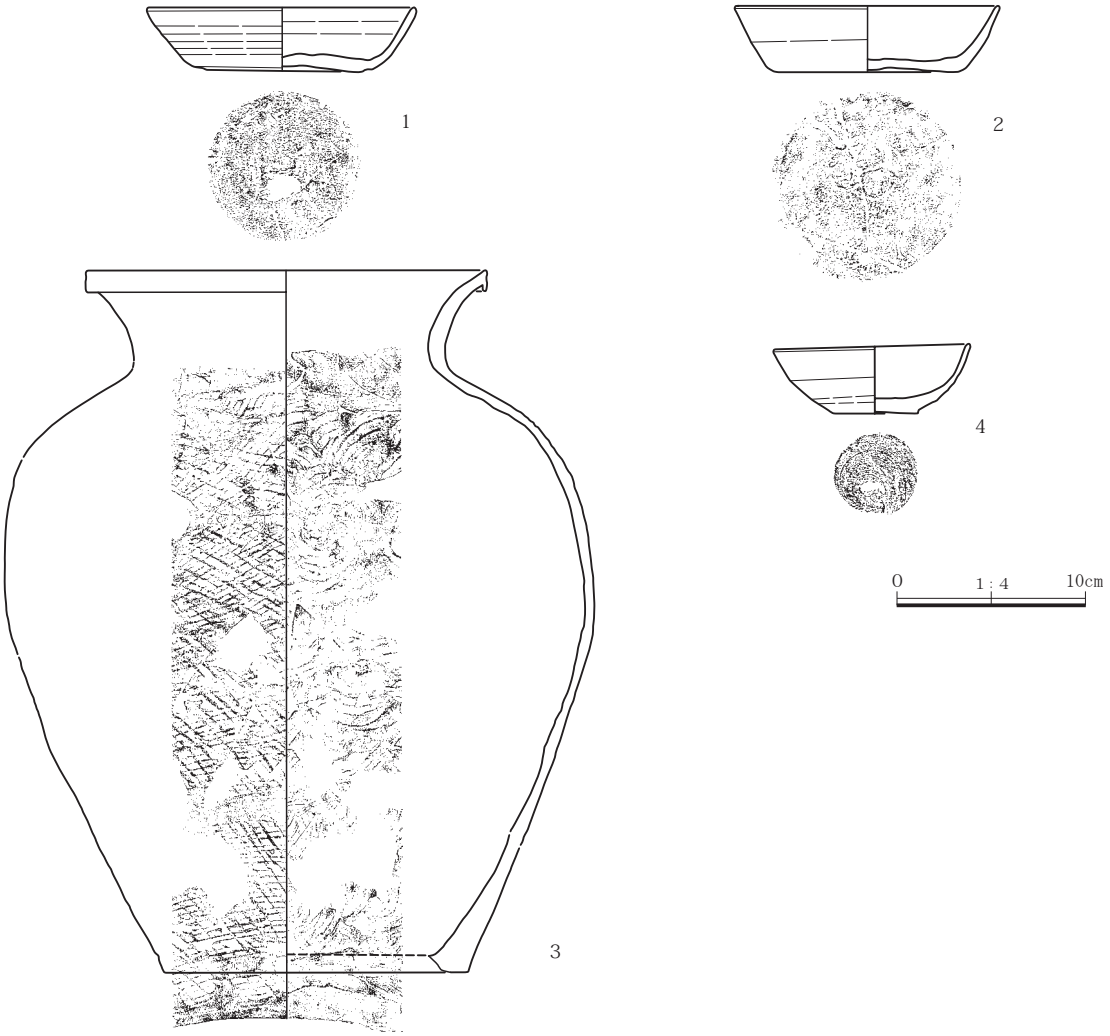
第268図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(6)



第269図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(7)



第270図　琴平山古墳出土形象埴輪実測図(8)



第271図　琴平山古墳出土土器実測図

番号	種類	計測値(cm)	突帯	透孔		ハケ	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状	縦×横	/2cm			
1	朝顔形円筒埴輪	口径　(33.0)	－	－	－	10～15	外面　タテ・ナナメハケ。口縁部ナデ。 内面　ヨコ・ナナメハケ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	
2	朝顔形円筒埴輪	底径　(40.0) (6段)　(11.5)	台形	－	－	6	外面　タテハケ。 内面　ハケ後ナデ。	片岩・雲母・チャート 明赤褐色	図上復元。
3	朝顔形円筒埴輪	(4段)　5.4 (5段)　5.9	台形 三角形	(円)	－	10～15	外面　タテハケ。第4段はナナメハケ。 内面　第4段以下、ナデ。第5段以上ナナメハケ。	チャート・白色粒 橙色	外面に赤色塗彩の痕跡。
4	朝顔形円筒埴輪	(4段)　5.4 (5段)　5.5	台形 三角形	(円)	－	6～10	外面　タテハケ。第4段はナナメハケ。 内面　第4段以下、ナデ。第5段以上ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 浅黄色	外面に赤色塗彩。
5	朝顔形円筒埴輪		台形	－	－	5～7	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後ナデ。	片岩・粗粒チャート 明赤褐色	
6	朝顔形円筒埴輪	(4段)　6.5	台形	－	－	5～7	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。第4段ナデ。	片岩・粗粒チャート 明赤褐色	外面4段に線刻。
7	朝顔形円筒埴輪	(4段)　9.1	台形	－	－	7～8	外面　タテハケ。 内面　ナデ。	チャート・赤褐色粒 明黄褐色	
8	朝顔形円筒埴輪	(5段)　6.7	台形	－	－	5～7	外面　タテハケ。 内面　第4段以下、ナデ。第5段以上ナナメハケ。	片岩・雲母・チャート 明赤褐色	刻みのある擬似口縁。

第125表　琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(1)

番号	種類	計測値 (cm)	突帯	透孔		ハケ	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状	縦×横	/2cm			
9	朝顔形 円筒埴輪	底径 16.0 1段 10.6 2段 11.4 3段 11.3 4段 7.7 5段 － 6段 －	低台形 ～ 三角形	円	(6.7×7.7)	14～15	外面 タテハケ。 内面 第1段ナデ。第2～3段ナナメ・タテハケ後に一部ナデ。第4段ナデ。第5～6段ヨコ・ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 明黄褐色	6段構成。外面第3～6段に赤色塗彩。
10	朝顔形 円筒埴輪	底径 (17.5) 1段 12.7 2段 7.8 3段 10.1 4段 11.1 5段 10.1	台形	円	7.3×(6.7)	11～15	外面 タテハケ。第5段はナナメハケ。 内面 指ナデ。	片岩・粗粒チャート 橙色	7段構成と想定される。第2・4段に透孔。
11	円筒埴輪	口径 26.8 器高 36.0 底径 (10.0) 1段 12.2 2段 13.1 3段 10.7	台形	円	5.9×6.5	6～15	外面 タテハケ。口縁部弱いヨコナデ。 内面 ヨコ・ナナメハケ。突帯裏側に指頭圧痕。	粗粒チャート・白色粒 明黄褐色	3段構成。
12	円筒埴輪	口径 (29.4) 器高 35.8 底径 (13.4) 1段 12.1 2段 12.7 3段 11.0	台形	(円)	－	6～11	外面 タテハケ。口縁部弱いヨコナデ。 内面 ナナメハケ、第1段下位ナデ。突帯裏側に指頭圧痕。	粗粒チャート・白色粒 橙色	3段構成。第2・3段外面に赤色塗彩痕。
13	円筒埴輪	口径 (30.4) 器高 50.5 底径 (14.7) 1段 14.6 2段 11.1 3段 11.6 4段 13.2	台形 ～ 三角形	円	4.8×4.2	12	外面 タテハケ。第4段はややナナメハケ。 内面 口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・白色粒 橙色	4段構成。第4段内面に線刻。
14	円筒埴輪	口径 (27.4) 器高 44.8 底径 (16.8) 1段 14.8 2段 9.8 3段 9.5 4段 10.7	台形	円	5.1×5.7	7～8	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ後、第3段以下ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・チャート	4段構成。第4段外面に線刻。
15	円筒埴輪	口径 (28.1) 2段 8.6 3段 11.5 4段 15.1	台形 ～ 三角形	半円	6.1×7.1	6	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後、第3段以下ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	4段構成。第3段外面に線刻。
16	円筒埴輪	口径 26.9 2段 (9.7) 3段 9.5 4段 14.1	台形 ～ 三角形	半円	5.9×(6.0)	6	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後、第3段以下ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・チャート 橙色	4段構成。
17	円筒埴輪	口径 33.1	－	－	－	10～13	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	
18	円筒埴輪	口径 (28.5) 3段 10.4	台形	(円)	－	10～12	外面 タテハケ。第3段はややナナメハケ。 内面 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。突帯裏側に指頭圧痕。	粗粒チャート・凝灰岩 にぶい橙色	3段構成と想定。外面第2・3段に赤色塗彩。
19	円筒埴輪	口径 (26.4) 4段 11.3	台形 ～ 三角形	半円	－	12～14	外面 タテハケ。第4段はややナナメハケ。 内面 ナナメハケ後ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	4段構成と想定。
20	(円筒基台)	口径 (21.1) 3段 10.4 4段 7.7	三角形	円	6.3×6.0	6～7	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ後、第3段以下中心にナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	4段構成と想定。肥厚する口縁部。組合せ式器財埴輪の円筒基台部か。
21	円筒埴輪	口径 (29.0) 3段 10.0 4段 13.0	台形	(半円)	－	12	外面 タテハケ。第4段上位に指頭圧痕。 内面 ナナメハケ後、第4段中位以下指ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 黄橙色	4段構成と想定。第4段外面に線刻。第2・3段に透孔。
22	円筒埴輪	口径 (27.4) 3段 12.3 4段 9.8	台形	(半円)	－	6	外面 タテハケ。 内面 ナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	4段構成と想定。
23	円筒埴輪	口径 (28.0) 4段 12.5	台形	－	－	10～12	外面 タテハケ。 内面 第4段ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	4段構成と想定。第4段外面に線刻。
24	円筒埴輪	口径 (27.8) 4段 13.5	台形	－	－	5～8	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後、指ナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	4段構成と想定。
25	円筒埴輪	口径 (32.3) 4段 12.3	台形 ～ 三角形	－	－	4～7	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・チャート 明赤褐色	4段構成と想定。

第126表　琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(2)

番号	種類	計測値 (cm)	突帯	透孔		ハケ	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状	縦 × 横	/2cm			
26	円筒埴輪	口径　26.4	－	－	－	14	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	
27	円筒埴輪	口径　(31.4) 4段　9.2	低台形	(円)	－×(7.5)	9～11	外面　第3段タテハケ、第4段ナナメハケ。 内面　ナナメハケ後、第3段以下ナデ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	4段構成と想定。外面第3・4段に赤色塗彩。
28	円筒埴輪	口径　(36.1)	－	－	－	12～14	外面　タテハケ。口縁部弱いヨコナデ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	内面に線刻。
29	円筒埴輪	3段　10.1 4段　9.8	台形	(円)	－	8	外面　タテハケ。 内面　タテ・ナナメハケ後に一部ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	4段構成。
30	円筒埴輪	4段　11.5	台形	円	－	12	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、第2段以下ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	4段構成と想定。第3段外面に線刻。
31	円筒埴輪	4段　11.9	台形	円	－	13	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、第2段以下ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	4段構成と想定。
32	円筒埴輪	4段　11.8	台形	(円)	－	14～16	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、第2段以下ナデ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	4段構成と想定。第4段内面に線刻。
33	円筒埴輪	4段　11.5	台形	円	－	6～8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後ナデ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・白色粒 にぶい黄橙色	3段構成と想定。
34	円筒埴輪		－	－	－	10～12	外面　タテハケ。 内面　ヨコ・ナナメハケ、口縁部ヨコナデ。	チャート・白色粒 橙色	
35	円筒埴輪		－	－	－	12～14	外面　ナナメハケ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・白色粒 橙色	
36	円筒埴輪		－	－	－	12～14	外面　ナナメハケ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	
37	円筒埴輪		－	－	－	11～14	外面　ややナナメハケ。 内面	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	
38	円筒埴輪		－	－	－	10～11	外面　ナナメハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 黄橙色	
39	円筒埴輪		－	－	－	10	外面　ナナメハケ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 浅黄橙色	外面に赤色塗彩の痕跡。
40	円筒埴輪		－	－	－	8	外面　タテハケ。 内面　ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
41	円筒埴輪		－	－	－	5～6	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	
42	円筒埴輪		－	－	－	8	外面　タテハケ。口縁部ヘラナデ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	内面に線刻。
43	円筒埴輪		－	－	－	9	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ。広範に磨滅。	片岩・雲母・チャート 橙色	
44	円筒埴輪		－	－	－	7～9	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	
45	円筒埴輪		－	－	－	7～8	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ。一部が剥離。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	
46	円筒埴輪		－	－	－	5	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	
47	円筒埴輪		－	－	－	6～7	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・粗粒チャート 橙色	外面に線刻。
48	円筒埴輪		－	－	－	8～12	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　タテ・ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・チャート・白色粒 橙色	
49	円筒埴輪		－	－	－	12～13	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・チャート・白色粒 橙色	外面に線刻。
50	円筒埴輪		－	－	－	不明	外面　条数不明瞭な幅広で浅いタテハケ。 内面　口縁部ヨコナデ。 浅いナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	

第127表　琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(3)

番号	種類	計測値 (cm)	突帯	透孔		ハケ	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状	縦×横	/2cm			
51	円筒埴輪		－	－	－	8～11	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・白色粒 にぶい橙色	内面に線刻。外面に赤色塗彩の痕跡。
52	円筒埴輪		－	－	－	5	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・チャート・白色粒 にぶい橙色	
53	円筒埴輪	口径　(28.0)	－	－	－	6	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
54	円筒埴輪		－	－	－	10～12	外面　タテハケ。指頭圧痕。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
55	円筒埴輪		－	－	－	5～10	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・白色針状粒 橙色	内外面の同一箇所に指頭窪み。
56	(円筒基台)		－	－	－	5～6	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・白色針状粒 にぶい赤褐	肥厚する口縁部。円筒基台か。
57	(円筒基台)		－	－	－	6	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・チャート にぶい赤褐	肥厚する口縁部。円筒基台か。
58	(円筒基台)		－	－	－	5	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・粗粒チャート 明赤褐色	肥厚する口縁部。円筒基台か。
59	(円筒基台)		－	－	－	5～7	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ後ナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	肥厚する口縁部。円筒基台か。
60	(円筒基台)		－	－	－	6	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　磨滅するが、ナナメハケ後ナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	肥厚する口縁部。円筒基台か。
61	(円筒基台)		－	－	－	－	外面　口縁部ヨコナデ。 内面　ナデ。	片岩・雲母・白色針状粒 橙色	肥厚する口縁部。円筒基台か。
62	(円筒基台)		－	－	－	－	外面　口縁部ヨコナデ。 内面　ナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	肥厚する口縁部。円筒基台か。
63	円筒埴輪	2段　8.1 3段　11.6	低M字 ～ 台形	円	(4.8)×5.6	13	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、第2段以下ナデ。突帯裏側に指頭圧痕。	粗粒チャート・凝灰岩 浅黄橙色	4段構成。
64	円筒埴輪	2段　9.2 3段　8.3	台形	円	5.2×5.2	6～7	外面　タテハケ。 内面　磨滅するが、ナナメハケ後、第2段以下ナデ。	片岩・粗粒チャート 橙色	4段構成。
65	円筒埴輪	2段　13.3	台形	円	5.6×5.3	12	外面　タテハケ。 内面　指ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	
66	円筒埴輪		台形	－	－	13	外面　タテハケ。 内面　指ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	
67	円筒埴輪		三角形	－	－	7～8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、下側ナデ。	チャート・赤褐色粒 にぶい黄橙	外面上位に赤色塗彩の痕跡。
68	円筒埴輪	底径　(15.0) 1段　12.5 2段　8.7	三角形 ～ 台形	円	(5.5)×6.2	10	外面　タテハケ。 内面　第1～3段ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	4段構成。底部に焼きムラあり。
69	円筒埴輪	底径　(18.0) 1段　11.2 2段　9.7	三角形	円	5.5×(4.8)	5～7	外面　タテハケ。 内面　第1～3段ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	4段構成。
70	円筒埴輪	底径　17.2 1段　14.5 2段　8.5	低M字 ～ 台形	円	(4.7)×5.6	12	外面　タテハケ。 内面　第1～2段指ナデ。突帯裏側に指頭圧痕。	チャート・凝灰岩 浅黄橙色	
71	円筒埴輪	底径　(15.6) 1段　15.3 2段　9.7	M字 ～ 台形	円	(5.4×5.2)	11～14	外面　タテハケ。 内面　第1～3段タテ指ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	
72	円筒埴輪	底径　(15.0) 1段　11.4 2段　10.3	M字 ～ 台形	－	－	7～10	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、部分的にナデ。	チャート・凝灰岩 明黄褐色	
73	円筒埴輪	底径　15.5 1段　(11.7)	低台形	－	－	6	外面　タテハケ。 内面　ナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	
74	円筒埴輪	底径　12.8	－	－	－	7～8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 明黄褐色	
75	円筒埴輪	底径　16.3	－	－	－	11～14	外面　タテハケ。 内面　指ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
76	円筒埴輪	底径　(16.0)	三角形	－	－	6～7	外面　タテハケ。 内面　指ナデ。	片岩・チャート 明赤褐色	

第128表　琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(4)

番号	種類	計測値 (cm)		突帯	透孔		ハケ	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
				断面形状	形状	縦 × 横	/2cm			
77	円筒埴輪	1段	14.3	台形	(円)	−	12	外面　タテハケ。 内面　指ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
78	円筒埴輪	1段	12.9	低M字	−	−	12	外面　タテハケ。 内面　指ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	
79	(円筒埴輪)			−	−	−	−	外面　ナデ。 内面　ナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい黄橙	口唇部に赤色塗彩の痕跡。形象埴輪の可能性あり。
80	(円筒埴輪)			低台形	−	−	−	外面　ナデ。 内面　ナデ。	チャート・凝灰岩 浅黄橙	外面に赤色塗彩の痕跡。
81	円筒埴輪			−	−	−	不明	外面　条数不明瞭な幅広で浅いタテハケ。 内面　浅いナナメハケ。	チャート・凝灰岩 橙色	
82	円筒埴輪			低台形	−	−	不明	外面　条数不明瞭な幅広で浅いタテハケ。 内面　指ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
83	円筒埴輪			−	−	−	不明	外面　条数不明瞭な幅広で浅いタテハケ。 内面　指ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
84	円筒埴輪			−	−	−	20	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に赤色塗彩の痕跡。
85	円筒埴輪			低台形	−	−	10 ～ 14	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後、破片下位ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に赤色塗彩。
86	円筒埴輪			−	−	−	9	外面　タテハケ。 内面　ヨコ・ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい黄橙色	内面に線刻。
87	円筒埴輪			−	−	−	8	外面　タテハケ。 内面　ヨコ・ナナメハケ後に一部ナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	内面に線刻。
88	円筒埴輪			−	−	−	8 ～ 9	外面　タテハケ。 内面　ヨコ・ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面・内面に線刻。
89	円筒埴輪			−	−	−	7 ～ 9	外面　タテハケ。 内面　ヨコ・ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に線刻。
90	円筒埴輪			−	−	−	8 ～ 9	外面　タテハケ。 内面　ヨコ・ナナメハケ後に一部ナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	内面に線刻。
91	円筒埴輪			−	−	−	8 ～ 10	外面　タテハケ。 内面　ヨコハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に線刻。
92	円筒埴輪			−	−	−	8 ～ 10	外面　タテハケ。 内面　ヨコハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に線刻。
93	円筒埴輪			−	−	−	8	外面　タテハケ。 内面　ヨコハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に線刻。
94	円筒埴輪			−	−	−	8 ～ 9	外面　タテハケ。 内面　ヨコハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	内面に線刻。
95	円筒埴輪			−	−	−	8	外面　タテハケ。 内面　ヨコ・ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	内面に線刻。
96	円筒埴輪			−	−	−	8 ～ 12	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	内面に線刻。外面に赤色塗彩の痕跡。
97	円筒埴輪			−	−	−	8	外面　タテハケ。 内面　ヨコ・ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい橙色	外面に線刻。
98	円筒埴輪			−	−	−	15	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 橙色	内面に線刻。
99	円筒埴輪			−	−	−	12 ～ 18	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい黄橙色	内面に線刻。
100	円筒埴輪			−	−	−	8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。口縁部ナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい黄橙色	内面に線刻。外面に赤色塗彩の痕跡。
101	円筒埴輪			−	−	−	8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 にぶい黄橙色	内面に線刻。

第129表　琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(5)

番号	種類	計測値 (cm)	突帯	透孔		ハケ	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状	縦×横	/2cm			
102	円筒埴輪		−	−	−	7～8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。	粗粒チャート・赤褐色粒 橙色	内面に線刻。
103	円筒埴輪		−	−	−	8～10	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	内面に線刻。
104	円筒埴輪		−	−	−	7～8	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	外面に線刻。
105	円筒埴輪		−	−	−	6～8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	雲母・チャート 橙色	外面に線刻。
106	円筒埴輪		−	−	−	6～8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	片岩・白色針状粒 橙色	外面に線刻。
107	円筒埴輪		−	−	−	4～6	外面　タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面　ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	片岩・白色針状粒 橙色	外面に線刻。
108	円筒埴輪		−	−	−	6～8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。	チャート・白色粒 橙色	外面に線刻。
109	円筒埴輪		−	−	−	6	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	外面に線刻。
110	円筒埴輪		三角形	(円)	−	5	外面　タテハケ。 内面　ナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	外面に線刻。
111	円筒埴輪		−	−	−	6～7	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。	片岩・チャート 橙色	外面に線刻。
112	円筒埴輪		−	−	−	6	外面　タテハケ。 内面　ナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	外面に線刻。
113	円筒埴輪		低M字	−	−	6～8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。	片岩・白色針状粒 橙色	外面に線刻。
114	円筒埴輪		低M字	−	−	5～8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。	片岩・チャート 橙色	外面に線刻。
115	円筒埴輪		低M字	−	−	6～8	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に破片下位ナデ。	片岩・粗粒チャート 橙色	外面に線刻。
116	円筒埴輪		−	−	−	10～12	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後ナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	外面に線刻。
117	円筒埴輪		−	−	−	6～10	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ後に一部ナデ。	片岩・雲母・チャート 橙色	外面に線刻。
118	円筒埴輪		−	−	−	13～15	外面　タテハケ。 内面　ナナメハケ。	粗粒チャート・凝灰岩 橙色	内面に線刻。

第130表　琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(6)

番号	種類	計測値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
1	人物		男子人物の頭部。振り分け髪で、線刻で頭髪を表現する。	片岩・チャート 橙色	
2	人物		顔面部分の破片。頭頂部に何か（島田髷か）を載せる。粘土貼付による一本眉と鼻表現。内外面ともナデ。	片岩・チャート 橙色	頬と額に赤色塗彩。
3	人物		顔面部分の破片。粘土貼付による鼻表現。内外面ともナデ。	片岩・チャート 橙色	
4	人物	残長　12.6	外向きに曲がる下げ美豆良。棒状品の下側に粘土を貼付してつくる。	片岩・チャート 橙色	赤色塗彩の痕跡。
5	人物	残長　11.9	外向きに曲がる下げ美豆良。棒状品の下側に粘土を貼付してつくる。	片岩・チャート 橙色	赤色塗彩の痕跡。
6	人物		左胸付近。粘土貼付による首玉表現。左頬部には欠損するが美豆良が付けられていたようである。顔面は剥離する。左胸の剥離部に何らかの部品が貼付されていたと思われる。左腕の付け根部にも剥離痕。	片岩・チャート 橙色	首付近に赤色塗彩。
7	人物		顔部・胸部・左碗部を欠く男子人物の上半身。首飾りは一部欠損するが一連の丸玉を貼付する。腕部は中実つくりでソケット状に差し込む。欠損するが五指が表現されていたようである。背中に垂髪表現が残る。	片岩・チャート 橙色	顔に赤色塗彩の痕跡。
8	人物		左胸部。首には大きめの丸玉を貼付し２個が残存。左胸に何らかの部品が貼付されていた痕跡。腰部には断面三角形の粘土紐を貼付する。	片岩・チャート 橙色	首付近に赤色塗彩の痕跡。

第131表　琴平山古墳出土形象埴輪観察表(1)

番号	種類	計測値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
9	人物		ソケット状に差し込む中実つくりの腕部。	チャート・凝灰岩 黄橙色	差し込まれる部分に多数の指紋。
10	人物		胸部の破片。腰部には帯状の粘土を巻き２段の線刻。胸部・左腕付け根部に剥離痕。左腕は接合痕から前方下側に向かうと思われる。	チャート・凝灰岩 黄橙色	
11	人物		円筒状の胴部から剥落した衣裾部。上側は剥離著しい。下側は粗雑なナデ。	片岩・チャート 橙色	
12	不明		粘土紐が貼付されている破片。外面ハケ後ナデ、内面ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	赤色塗彩の痕跡。
13	人物		人物埴輪から剥落した太鼓。上面に線刻を施す。粘土を積み上げて中空につくり、本体に装着する。外面はハケ後ナデ、内面は粗雑なナデ。	片岩・チャート 橙色	上面に赤色塗彩痕。
14	馬		タテガミ先端の柱状部。片側面に粘土紐が貼付されている。	片岩・チャート 橙色	
15	馬		鞍 (前輪) 部の破片。前側に山状のタテガミ剥離痕。前側は横方向のハケ、後側はナデ。	片岩・チャート 橙色	
16	馬	底径　(10.5)	脚部片。外面タテハケ、内面ナデ。	片岩・白色針状粒 明褐色	
17	盾		盾面下側。円筒部前側の側面に粘土板を取り付け盾面を表現する。外区は下辺に鋸歯文があり、交互に刺突もしくは短沈線を加える。内区外縁には２条の線刻があり、下辺には短沈線を加える。盾面に小孔が１箇所残る。	片岩・粗粒チャート 橙色	外区鋸歯文に赤色塗彩の痕跡。
18	盾持人		盾持人の盾面。円筒部前面の上側と (両) 側部に粘土板を取り付けて盾面を表現する。盾面の外区に鋸歯文、外縁区画内に刺突。盾面に小孔が１箇所残る。	片岩・粗粒チャート 橙色	小孔内に鉄 (鉄鏃か) が残る。
19	盾		円筒部から剥落した盾面。斜位の線刻。表面はハケ後ナデ、裏面はタテ指ナデ。小孔あり。	片岩・チャート 橙色	小孔内に鉄 (鉄鏃か) が残る。
20	盾		盾面の破片。区画線下に縦位の短沈線。	チャート・凝灰岩 橙色	
21	盾		盾面の破片。表面に鋸歯文、裏面はタテハケ。	片岩・チャート 橙色	
22	石見	残高　56.9	ヒレ部は１か所残存するのみであるが、３段と想定される。円筒部断面は下位は円形で上位は楕円形。円筒部前面は剥離が著しい。円筒部の両側に粘土板を貼り付けてヒレ部をつくる。残存するヒレ部は長さ 16.9cm で、上幅は 8cm、下幅約 7cm ほどである。各ヒレ部間は「コ」の字状の間隔があり、ヒレ部下側及び上側に繋がるように突帯が施されるが後面には最下段を除き回らない。円筒部前面には小孔が中軸線上に２孔、後面には透孔が不規則に４孔認められる。全体にハケ目を施し、接合部などの一部をナデる。	片岩・粗粒チャート 明赤褐色	ヒレ部上側にも小孔があり、鉄（鉄鏃か）が差し込まれていた痕跡が認められる。
23	石見	残高　35.1	円筒部の両側に粘土板を貼り付けてヒレ部をつくる。ヒレ部上側と下側に繋がるように突帯が施されるが後面にはない。円筒部後面には透孔が不規則に２孔認められる。	片岩・粗粒チャート 明赤褐色	
24	石見	残高　38.2	円筒部の両側に粘土板を貼り付けてヒレ部をつくる。ヒレ部上側と下側に繋がるように突帯が施されるが後面にはない。ヒレ部上側に小孔１、円筒部後面に透孔が不規則に２孔認められる。円筒部後面の上端はＵ字状に抉られている。	片岩・粗粒チャート 橙色	
25	石見		円筒部の側面に粘土板を貼り付けてヒレ部をつくる。残存するヒレ部の長さは 17.7cm で上幅は約 4cm、下幅は約 7.5cm で下側が長い。ヒレ部上側に小孔がある。	片岩・チャート 明褐色	
26	石見		円筒部前面の破片。突帯が２条貼付されている。側面にヒレ部の剥離痕あり。	片岩・チャート 明褐色	
27	石見		円筒部前面の破片。突帯が２条貼付されている。側面にヒレ部の剥離痕あり。	片岩・粗粒チャート 明褐色	
28	石見		円筒部前面の破片。突帯が貼付されている。側面にヒレ部の剥離痕あり。	片岩・チャート 明褐色	
29	石見		円筒部前面の破片。突帯が貼付されている。側面にヒレ部の剥落痕あり。	片岩・粗粒チャート 明褐色	
30	石見		ヒレ部最上段の破片。上端幅 11.9cm。後面に補強粘土が貼付されている。前後面ともハケ後ナデ。	片岩・粗粒チャート 明褐色	
31	石見		ヒレ部最上段の破片。小孔が１か所認められる。後面に補強粘土が貼付されている。前後面ともナデ。	片岩・チャート	
32	石見		ヒレ部最上段の破片。後面に補強粘土が貼付されている。前後面ともハケ後ナデ。	片岩・チャート 明赤褐色	
33	石見		ヒレ部の破片。小孔が１か所認められる。	片岩・チャート 明赤褐色	小孔内に鉄 (鉄鏃か) が残る。
34	石見		ヒレ部の破片。前後面ともハケ後ナデで、後面はナデ弱い。	片岩・白色針状粒 にぶい褐色	31 と同一地点から出土。
35	石見		ヒレ部の破片。前後面ともハケ後に弱いナデ。	片岩・チャート 明褐色	
36	石見		ヒレ部の破片。小孔が１か所認められる。	片岩・チャート 明褐色	
37	石見		円筒部から剥落したヒレ部。ヒレ部の残存長は 17.4cm で上幅は約 9cm、下幅は約 8cm。ヒレ部上側に小孔がある。	片岩・チャート 明赤褐色	
38	石見		円筒部から剥落したヒレ部。ヒレ部の長さは 17.5cm で幅は下側が長いと想定される。ヒレ部上側に小孔がある。	片岩・チャート 橙色	小孔内に鉄 (鉄鏃か) 片が残る。

第132表　琴平山古墳出土形象埴輪観察表(2)

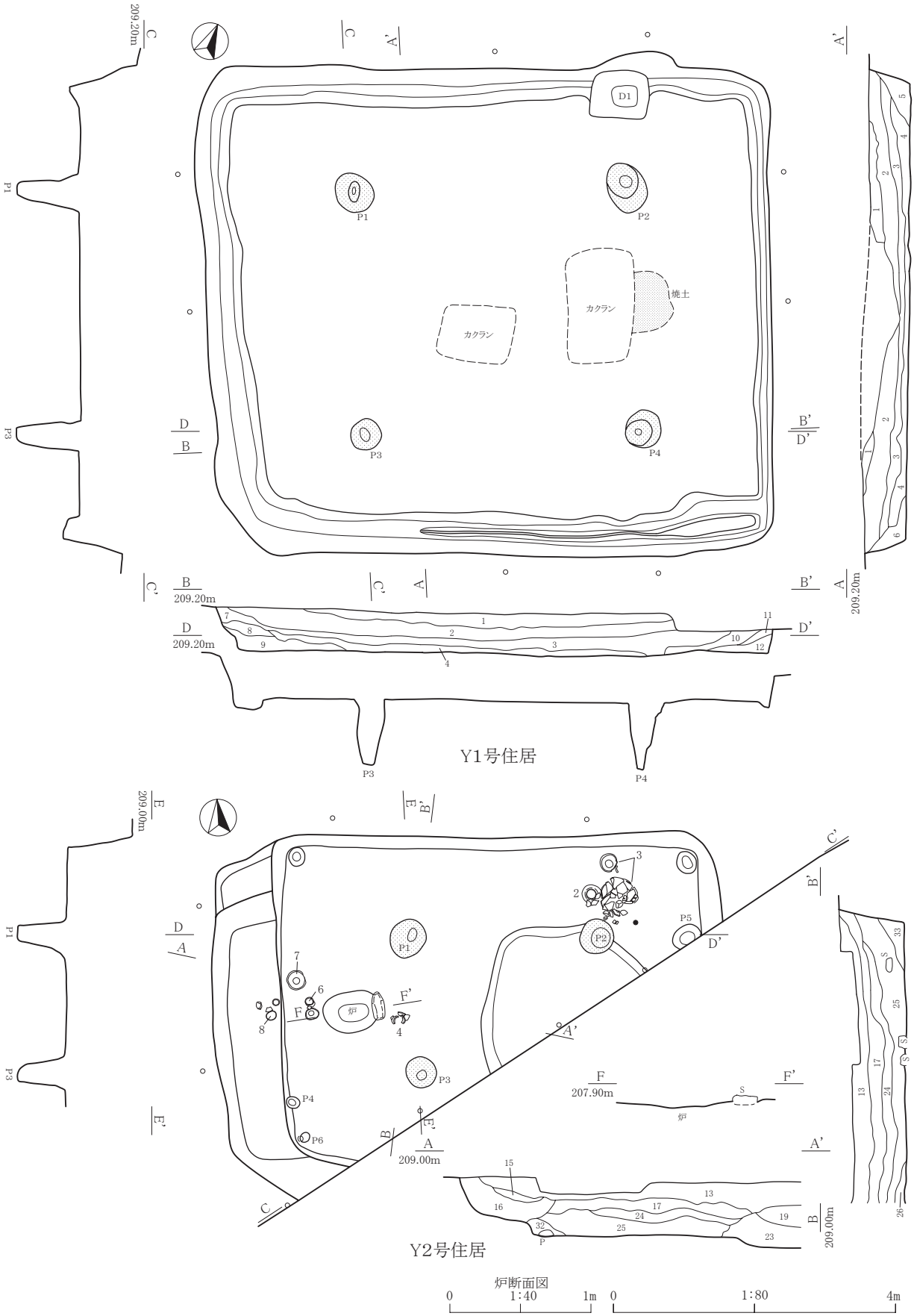
番号	種類	計測値 (cm)	形態・成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
39	石見		ヒレ部の破片。幅は下側が長いと想定される。	片岩・チャート 橙色	
40	石見		ヒレ部の破片。前後面ともハケ後に弱いナデ。	片岩・チャート 橙色	
41	石見		ヒレ部の破片。長さ 17.1cm。前面上側に突帯が貼付されている。	片岩・チャート 橙色	
42	蓋		立ち飾りの破片。下側に突起が剥落か。全体をナデ。中位の幅 5.3cm。	片岩・チャート 明赤褐色	
43	蓋		立ち飾りの破片。中位に突起あり。全体をナデ。下位の幅 5.4cm。	片岩・チャート 明赤褐色	
44	蓋		立ち飾りの破片。中位に突起あり。全体をナデ。下位の幅 5.0cm。	片岩・白色針状粒 明赤褐色	
45	蓋		立ち飾り基部の破片。全体をナデ。	片岩・チャート 明赤褐色	
46	蓋		立ち飾り基部の破片。全体をナデ。	片岩・チャート 明赤褐色	
47	蓋		笠部。笠下に突帯が巡り、不明瞭だが透孔が開くようである。外面はハケ調整と思われるが、磨滅が著しい。内面はナデ。	片岩・粗粒チャート 明褐色	
48	(石見)	底径 13.1 残高 31.3	器財埴輪の基台部。円筒部に透孔。その上段部には不規則に透孔が２箇所あり、剥離痕の状態から石見型埴輪の可能性がある。外面はタテハケ、内面は指ナデ。	片岩・粗粒チャート 明褐色	

第133表　琴平山古墳出土形象埴輪観察表(3)

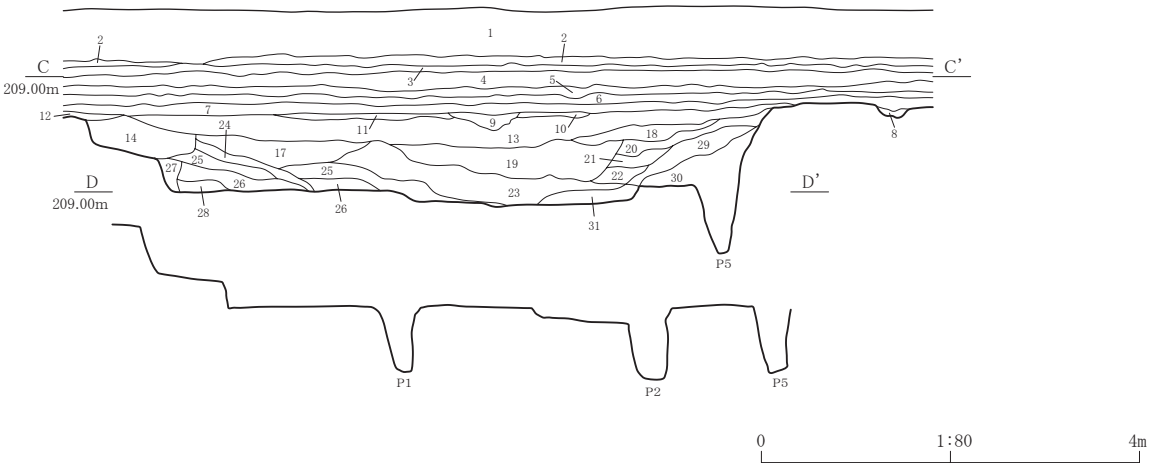
番号	種類	計測値 (cm)	成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
1	須恵器 坏	口径 14.3 底径 8.5 器高 3.4	ロクロ整形。底部ヘラ起こし。	黒色粒・白色粒 灰色	3/4 残存。 古墳より新しい遺構。
2	須恵器 坏	口径 14.0 底径 10.3 器高 3.5	ロクロ整形。底部ヘラ起こし。	チャート・白色粒 黄灰色	4/5 残存。 古墳より新しい遺構。
3	須恵器 甕	口径 21.2 底径 16.1 器高 37.1	肩部は丸く張り、口唇部は下方に突出する。外面、口縁～肩部はヨコナデ、胴部は擬格子目タタキ。内面、口縁部はヨコナデ、胴部に同心円文、底部ナデ。	黒色粒・白色粒 灰白色	古墳より新しい遺構。
4	須恵器 坏	口径 10.4 底径 2.4 器高 3.7	ロクロ整形。底部回転糸切り無調整。	チャート・白色粒 浅黄橙色	1/3 残存。酸化焔。 古墳より新しい遺構。

第134表　琴平山古墳出土土器観察表

（18年度調査分）



第272図　Ｙ１号・Ｙ２号住居址実測図



第273図　Ｙ２号住居址実測図

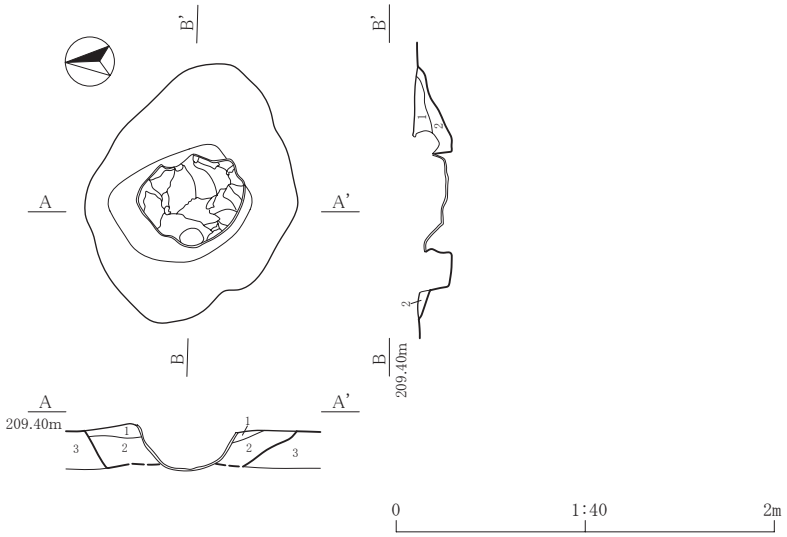
Y-1号住

層番	層　名		色調	しまり	粘性	混入物						備　　考
						RP	RB	YP	As-C	炭化物	焼土	
1	10YR3/1	黒褐色土層		○	△	※	※	△	※	※	※	
2	10Y2/1	黒色土層		○	△	※	※	△	△	※	※	2層より3層の方が、As-Cを若干多く含む
3	10Y3/2	黒褐色土層	3＞6	△	△	△	※	△	△	※	※	
4	10Y4/2	灰黄褐色土層	4＜7	△	△	△	△	※	○	※	※	As-Cを多く含む
5	10Y4/4	褐色土層		△	○	○	△	△	※	※	※	
6	10Y3/2	黒褐色土層	6＜3	△	△	△	※	※	※	※	※	
7	10Y4/2	灰黄褐色土層	7＞4	△	△	△	△	※	※	※	※	
8	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		△	○	○	△	※	※	※	※	
9	10YR4/6	褐色土層		△	○	○	○	△	※	※	※	
10	10YR5/2	灰黄褐色土層		※	※	※	※	※	○	※	※	
11	10YR3/3	暗褐色土層		△	○	※	※	△	※	※	※	
12	10YR3/4	暗褐色土層		△	○	△	△	△	※	※	※	

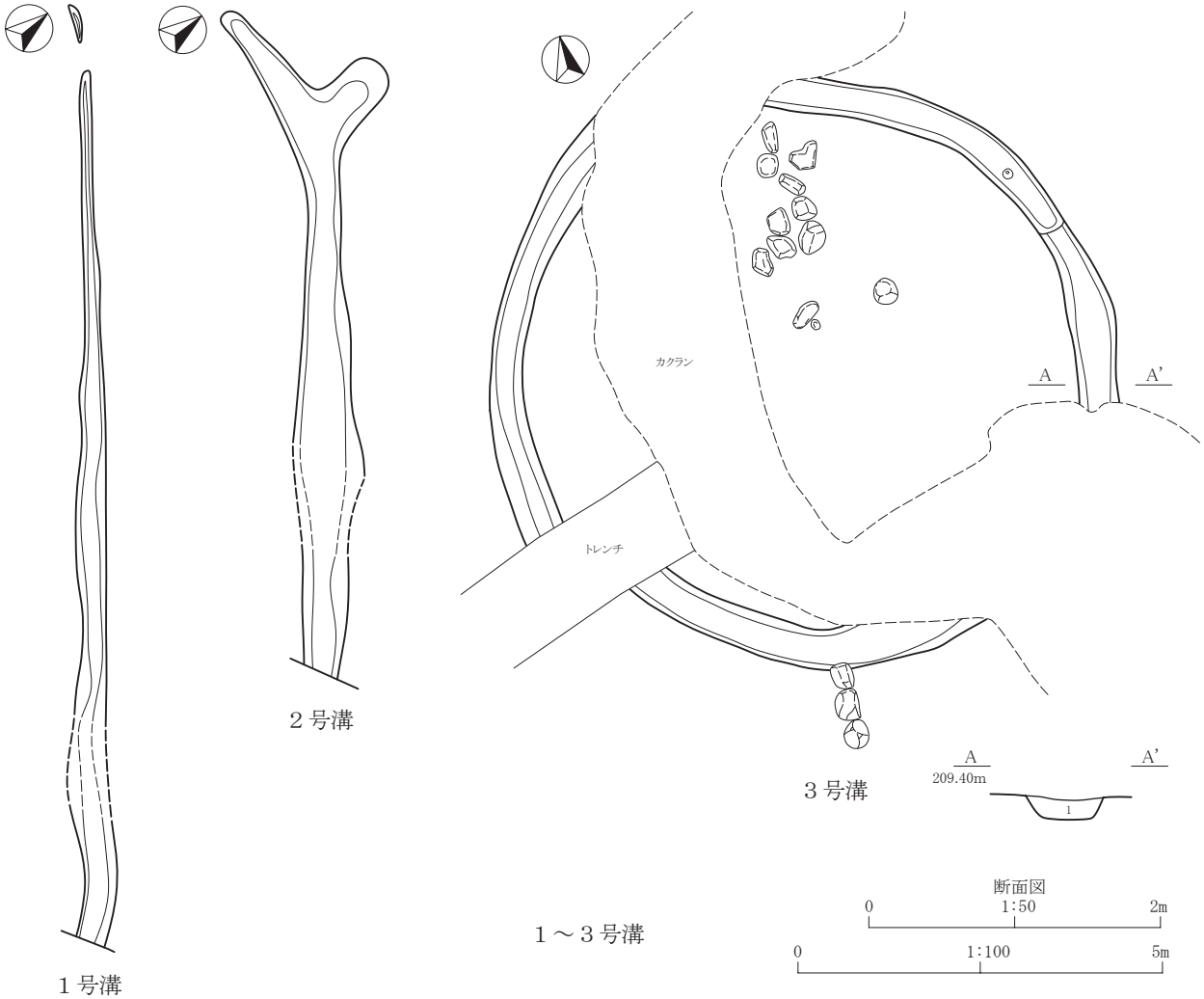
Y-2号住

層番	層　名		色調	しまり	粘性	混入物							備　　考
						RP	RB	YP	As-B	As-C	炭化物	焼土	
1	10YR3/4	暗褐色土層		○	△	※	×	※	△	※	×	×	撹乱、最近の工事で動いている土
2	10YR6/4	にぶい黄橙色土層		△	△	※	×	×	△	×	×	×	
3	10YR5/2	灰黄褐色土層		△	※	×	×	×	△	×	×	×	
4	10YR5/3	にぶい黄褐色土層		×	×	×	×	×	○	×	×	×	
5	10YR6/6	明黄褐色土層		×	×	×	×	×	◎	×	×	×	As-B一次堆積
6	10YR3/3	暗褐色土層		△	○	×	×	×	×	×	×	×	
7	10Y4/2	灰黄褐色土層	7＞9＞10＞22	△	○	※	×	※	×	×	×	×	
8	10YR4/1	褐灰色土層		△	○	×	×	×	×	×	×	×	1号溝覆土
9	10Y4/2	灰黄褐色土層	7＞9＞10＞22	△	△	×	×	×	×	×	×	×	2号溝覆土、底部に砂質土のブロック有り
10	10Y4/2	灰黄褐色土層	7＞9＞10＞22	△	△	×	×	×	×	×	×	×	
11	10YR4/3	にぶい黄褐色土層	11＞21	△	△	×	×	×	×	×	×	×	部分的に砂質土を含む
12	10Y3/2	黒褐色土層	31＜12＜30	△	△	×	×	×	×	△	×	×	
13	10Y2/1	黒色土層		△	△	※	※	△	−	○	※	※	
14	10Y4/4	褐色土層	14＜29	△	○	○	△	△	×	×	×	×	
15	10YR2/3	黒褐色土層		△	△	△	※	※	−	△	×	×	Y2Hより新しい別遺構の覆土？
16	10YR2/2	黒褐色土層	16＜19	△	○	△	△	※	−	△	×	×	
17	10YR3/1	黒褐色土層		△	△	△	※	※	−	△	※	※	
18	10YR3/1	黒褐色土層		△	△	×	×	×	×	○	×	×	
19	10YR2/2	黒褐色土層	19＞16	△	△	△	△	※	−	△	※	※	
20	10YR3/3	暗褐色土層	20＜28	△	○	○	△	△	×	※	×	×	
21	10YR4/3	にぶい黄褐色土層	21＜11	△	△	△	※	△	×	×	×	×	
22	10Y4/2	灰黄褐色土層	7＞9＞10＞22	△	△	※	※	△	×	×	×	×	
23	10YR4/6	褐色土層		△	○	○	○	△	−	※	※	※	
24	10YR3/3	暗褐色土層		△	○	△	△	※	−	※	※	※	
25	10Y4/2	灰黄褐色土層		△	○	△	○	△	−	※	△	△	
26	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		△	○	○	○	※	−	※	※	※	
27	10YR6/8	明黄褐色土層		△	○	○	○	○	×	×	×	×	
28	10YR3/3	暗褐色土層	28＞20	△	○	○	△	※	×	△	×	×	
29	10Y4/4	褐色土層	29＞14	△	○	○	△	△	×	×	×	×	
30	10Y3/2	黒褐色土層	30＞12＞31	△	○	△	△	△	×	×	※	×	
31	10Y3/2	黒褐色土層	30＞12＞31	△	○	△	△	△	×	×	※	×	
32	10YR4/1	褐灰色土層		△	○	○	△	※	−	※	※	※	
33	10Y4/4	褐色土層		△	○	△	△	△	−	※	※	※	

第135表　Ｙ１号・Ｙ２号住居址土層注記



1 号埋設土器



1 号溝

2 号溝

1 ～ 3 号溝

3 号溝

断面図

第274図　1 号埋設土器、1 ～ 3 号溝実測図

2号古墳

層番	層名		色調	しまり	粘性	混入物						備考
						RP	RB	YP	As-C	炭化物	焼土	
1	10YR3/1	黒褐色土層		○	△	△	※	△	△	×	×	2号古墳盛り土
2	10YR3/3	暗褐色土層		○	○	○	△	△	△	×	×	溝？
3	10YR2/2	黒褐色土層		○	△	※	※	△	△	×	×	
4	10YR2/3	黒褐色土層		○	△	△	※	※	※	×	×	
5	10YR3/4	暗褐色土層		○	△	○	※	△	×	×	×	
6	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		○	○	◎	△	※	×	×	×	

2号古墳　周掘

層番	層名		色調	しまり	粘性	混入物						備考	
						RP	RB	YP	As-C	炭化物	焼土		（黄色粒）
1	10Y3/2	黒褐色土層		○	△	※	※	※	○	×	×	黄色粒〔ローム粒ではない〕を多く含む	○
2	10YR5/4	にぶい黄褐色土層		△	△	△	※	△	△	×	×		△
3	10YR5/2	灰黄褐色土層		△	△	※	※	※	△	×	×		△
4	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		○	△	※	△	△	△	×	×		△
5	10YR5/3	にぶい黄褐色土層		△	△	※	※	※	※	×	×		
6	10YR3/4	暗褐色土層	6＜8	○	△	※	※	※	△	×	×	砂質でしまりなし	
7	10Y4/2	灰黄褐色土層		※	※	※	※	※	※	×	×		
8	10YR3/4	暗褐色土層	8＞6	△	△	※	※	※	※	×	×		
9	10YR2/2	黒褐色土層		○	○	△	△	△	△	×	×		
10	10YR3/3	暗褐色土層		○	○	△	※	△	×	×	×		

1号埋設土器

層番	層名		色調	しまり	粘性	混入物						備考
						RP	RB	YP	As-C	炭化物	焼土	
1	10Y2/1	黒色土層		○	△	※	※	※	△	※	※	フク土
2	10YR3/1	黒褐色土層		○	△	△	※	△	※	※	※	フク土
3	10Y3/2	黒褐色土層		○	△	△	※	△	※	※	※	地山

3号溝

層番	層名		色調	しまり	粘性	混入物						備考
						RP	RB	YP	As-C	炭化物	焼土	
1	10YR3/1	黒褐色土層		○	○	△	※	※	※	※	※	2号墳より古い事は確実である

第136表　2号古墳、1号埋設土器、3号溝土層注記

K2　　（）推定値

住居名	平面形態	規模				壁溝	主軸方向	主柱穴	壁際柱穴（炉の対面）	補助柱穴（壁際）	炉位置	貯蔵穴			遺物	時期	グリッド	備考
		長軸 m	短軸 m	深さ最大 m	深さ最小 cm							長軸 cm	短軸 cm	深さ cm				
Y1 住	大型縦長方形	8.00	6.96	81	25	○	N-67° -E	4	-	-	-	-	-	-	○	弥生	13V-63 他	焼土あり
Y2 住	大型縦長方形	6.32	4.72	92	85	×	N-87° -W	3(4)	-	5	西側主柱穴間壁寄り	-	-	-	◎	弥生	13V-82 他	2号溝と重複

K2

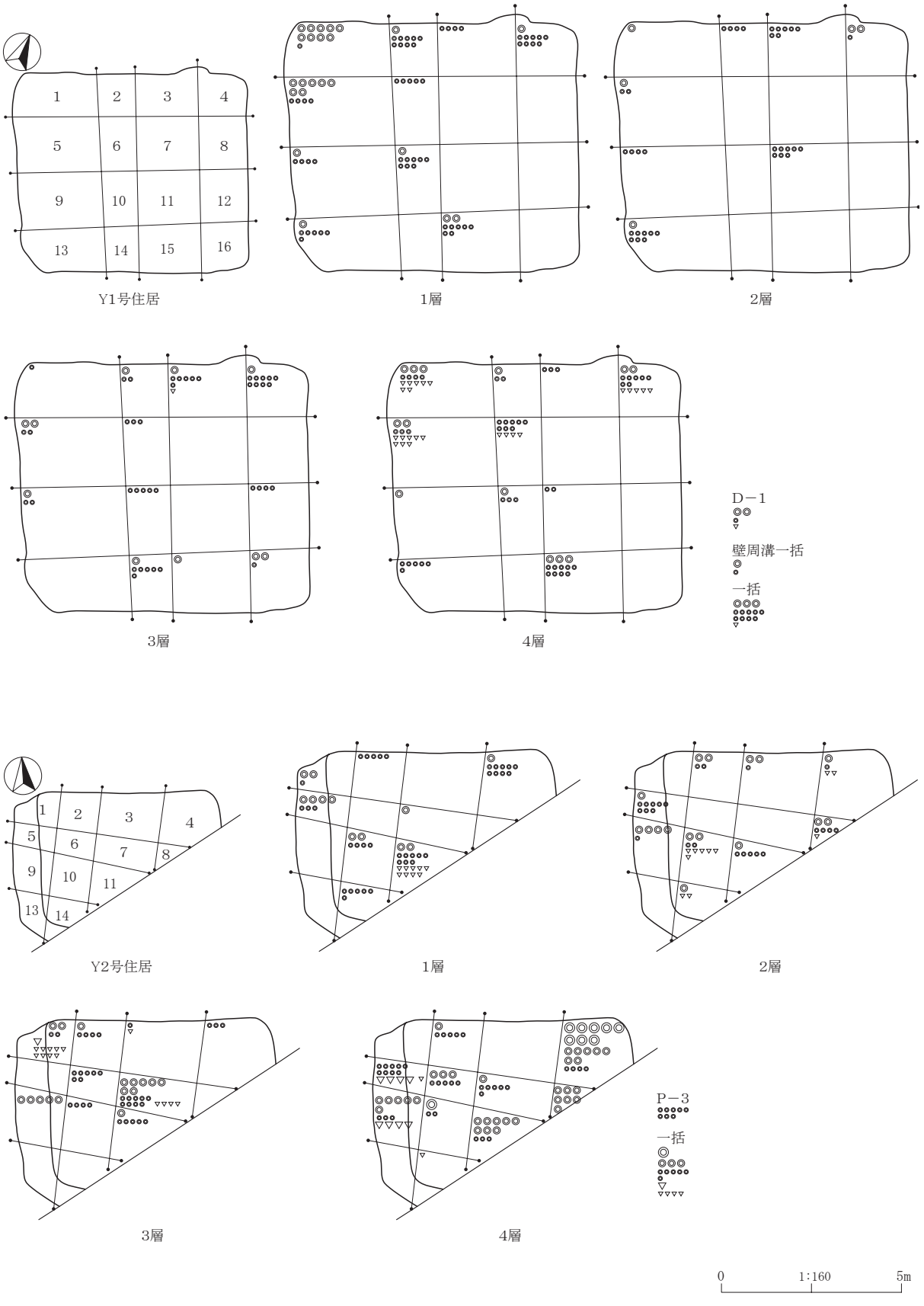
溝名	規模						遺物	時期	グリッド	備考
	上　幅		下　幅		深　さ					
	最小 cm	最大 cm	最小 cm	最大 cm	最小 cm	最大 cm				
1号	16	48	4	24	-	-	※		13V-73 他	
2号	32	92	20	60	-	-	※		13V-82 他	Y2 号住と重複
3号	44	64	20	44	12	24	△		13V-32 他	

K2

古墳名	形態	規模			石室方向	周堀規模				遺物	時期	グリッド	備考
		長軸 m	短軸 m	墳丘高 cm		幅最大 cm	幅最小 cm	深さ最大 cm	深さ最小 cm				
2号墳	円墳	(9.60)	〈7.36〉	80	N-19° -W	96	40	23	39	○		13V-42 他	

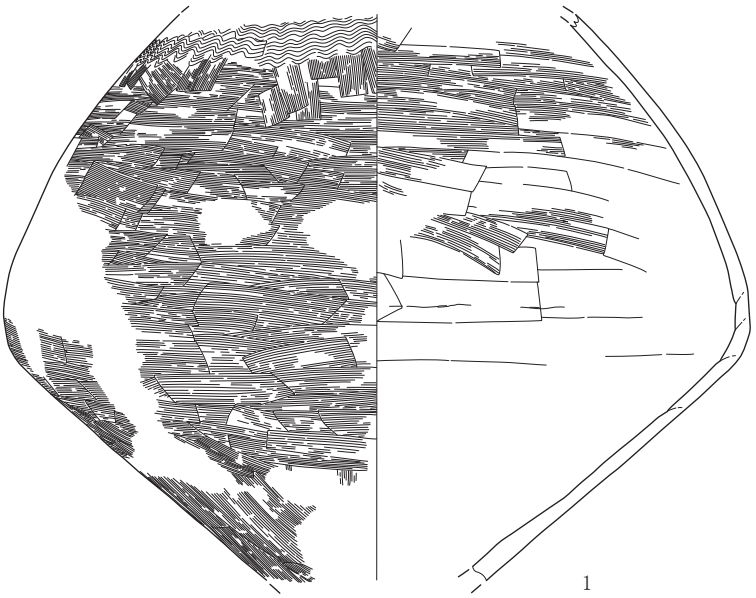
※ 0 ～ 1000㎡
△ 1000 ～ 5000㎡
○ 5000 ～ 10000㎡
◎ 10000㎡以上

第137表　壱丁田Ⅱ遺跡（18年度調査分）遺構観察表

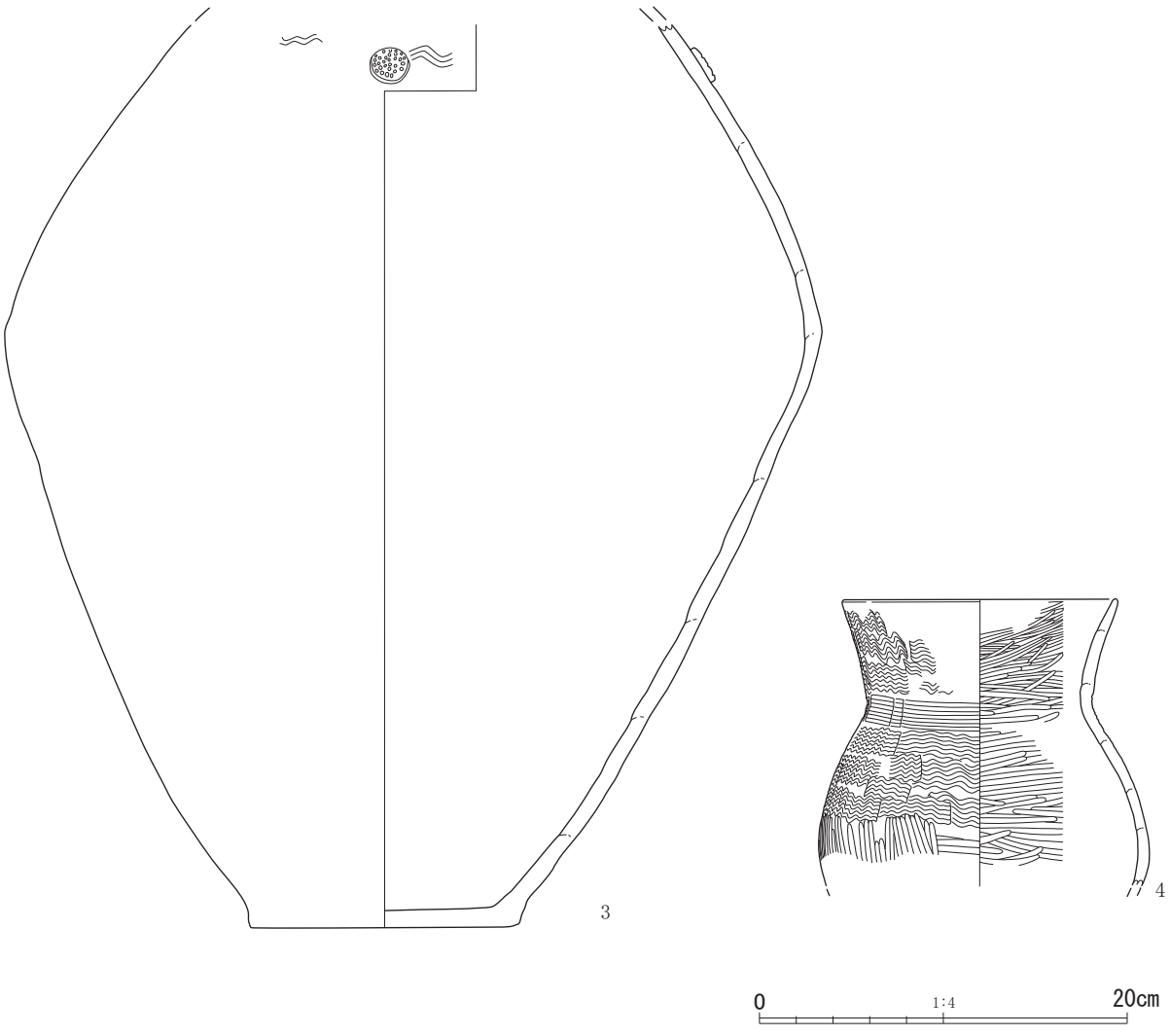


第275図　壱丁田Ⅱ遺跡（18年度調査分）出土遺物重量分布図

Ｙ－１号住

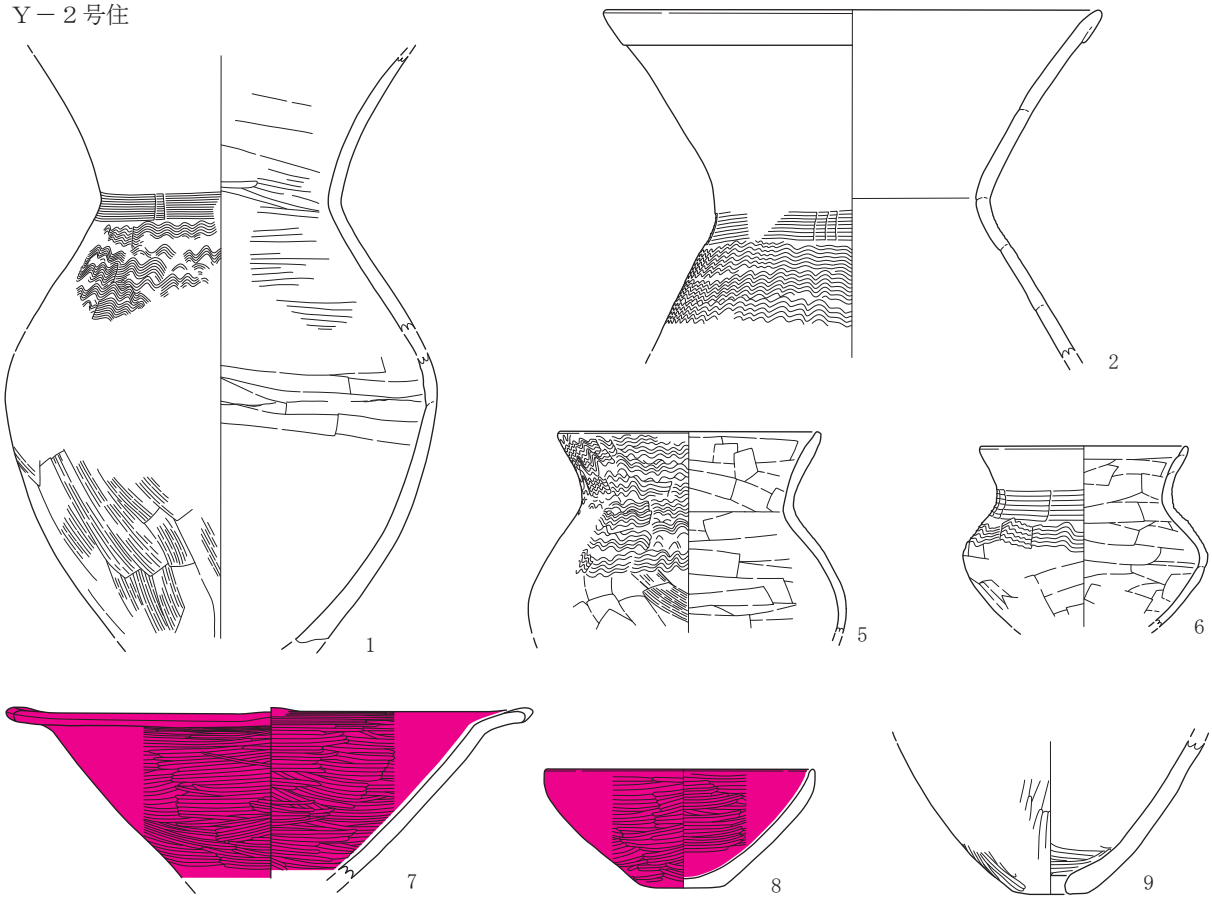


Ｙ－２号住

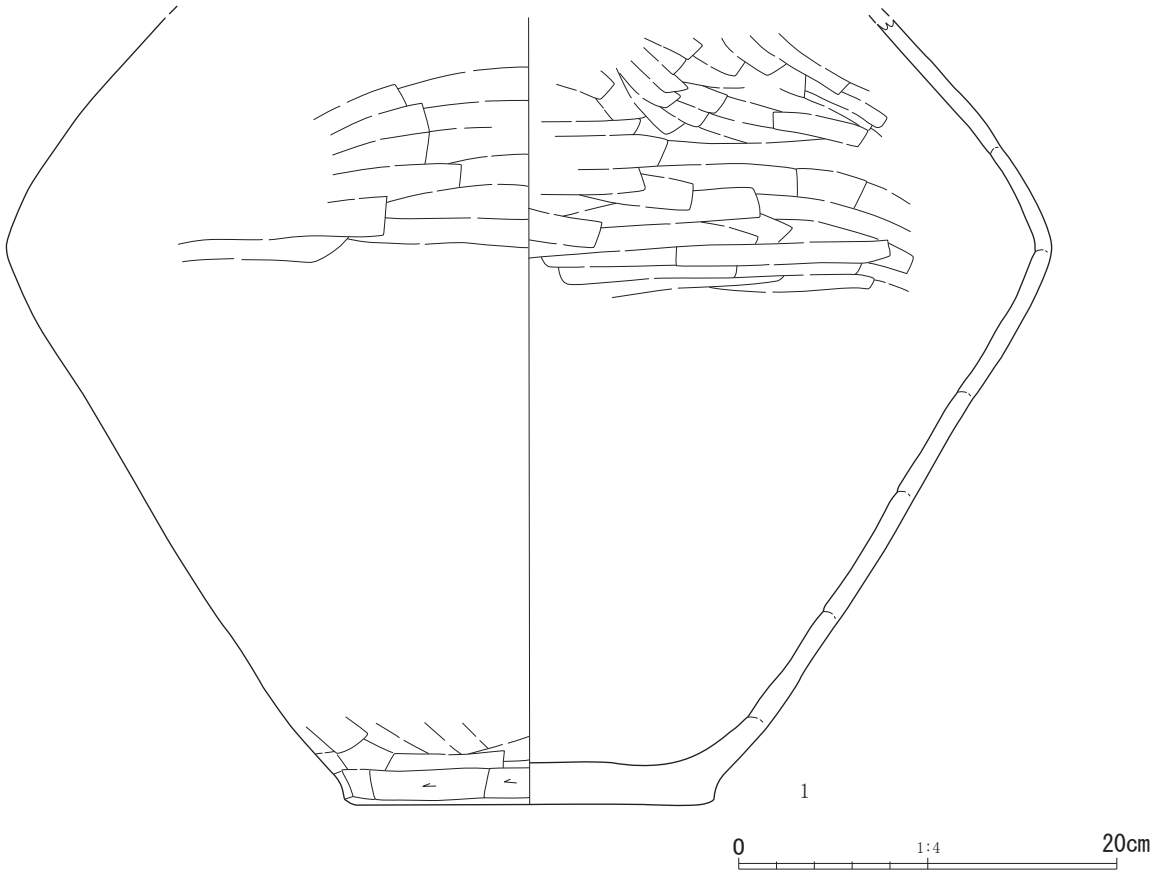


第276図　Ｙ１号・Ｙ２号住居址出土土器実測図

Y－２号住



1号埋設



第277図　Ｙ２号住居址、１号埋設土器実測図

Y-1号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	1区1層 5区1層	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通　②橙～鈍い褐色　③白色粒・黒色粒　④胴部上位～下位 1/3	外面　胴部上位波状文、中位～下位箆撫で。 内面　胴部上位～中位箆撫で、下位調整不明瞭。

Y-1号住居址

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	4区4層 6区4層 7区3層 8区2層 8区4層	口径　－ 底径　－ 器高　－	①普通　②橙～鈍い橙色　③白色粒・黒色粒　④口縁部～胴部下位 4/5、口縁端部欠損	外面　口縁部器面が荒れ調整不明瞭、頸部簾状文、胴部上位波状文、中～下位箆撫で。 内面　口縁部箆撫で、頸部～胴部上位箆磨き、中～下位箆撫で。
2	弥生土器 壺	7区1層 8区4層	口径 26.0 底径　－ 器高　－	①普通　②鈍い黄橙色　③黒色粒・角閃石　④口縁部～胴部上位 4/5	外面　口縁部器面が荒れ調整不明瞭、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面　器面が荒れ調整不明瞭。
3	弥生土器 壺	4区4層	口径　－ 底径 14.5 器高　－	①普通　②橙色　③白色粒・黒色粒　④胴部上位～底部 3/4	外面　胴部上位波状文、円形浮文、刺突文で充填、調整は器面が荒れ不明瞭。 内面　調整は器面が荒れ不明瞭。
4	弥生土器 甕	11区4層	口径 (14.7) 底径　－ 器高　－	①普通　②鈍い橙～灰褐色　③白色粒・角閃石・石英　④口縁部～胴部中位 3/5	外面　口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～下位箆磨き。 内面　口縁部～胴部下位箆磨き。
5	弥生土器 小形甕	9区4層 11区4層	口径 13.7 底径　－ 器高　－	①普通　②鈍い黄橙色　③白色粒・黒色粒・角閃石　④口縁部～胴部中位 2/3	外面　口縁部～胴部上位波状文、中位箆撫で。 内面　口縁部～胴部中位箆撫で。
6	弥生土器 小形台付甕	1区3層	口径 10.8 底径　－ 器高　－	①普通　②鈍い黄橙～灰黄褐色　③白色粒・褐色粒　④口縁部～胴部下位 3/4	外面　口縁部横撫で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位～下位箆撫で。 内面　口縁部～胴部下位箆撫で。
7	弥生土器 高坏		口径 27.2 底径　－ 器高　－	①普通　②鈍い黄橙色、赤色　③白色粒・黒色粒　④坏部 3/4	外面　口縁部～体部箆磨き、赤彩。口縁部は4単位の小波状。 内面　口縁部～体部箆磨き、赤彩。
8	弥生土器 鉢		口径 14.0 底径　4.5 器高　6.3	①普通　②橙色、赤色　③白色粒　④口縁部 1/2 欠損	外面　口縁部～体部箆磨き、赤彩。底部調整不明瞭 内面　口縁部～底部箆磨き、赤彩。
9	弥生土器 甑	11区4層	口径　－ 底径　4.0 器高　－	①普通　②橙色　③白色粒・黒色粒　④胴部中位～底部 1/2	外面　胴部下位箆磨き、底部箆削り。 内面　胴部下位箆磨き。底部に径 1.8㎝の円孔。

1号埋設土器

番号	器　種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	1号埋設土器 13V-51c	口径　－ 底径 19.6 器高　－	①普通　②橙色　③白色粒・褐色粒・角閃石　④胴部上位～底部 1/3	外面　胴部箆撫で、底部箆削り。 内面　胴部上位箆撫で、下位調整不明瞭。

第138表　Ｙ１号・Ｙ２号住居址、１号埋設土器観察表

小日向壱丁田Ⅱ遺跡　小結

九十九川上位段丘の末端に位置する琴平山古墳では、縄文時代の土坑１基、古墳時代後期の前方後円墳１基、平安時代の溝１条、時期不明の配石１基が検出された。下位段丘に位置する小日向壱丁田Ⅱ遺跡では、縄文時代中期末葉の弧状列石１基、弥生時代後期の竪穴住居跡26軒・土坑１基・溝１条・埋甕１基、古墳時代後期の円墳４基、平安時代の集石２基、中世の溝５条が検出された。各時代の概要は次の通りである。

⑴　縄文時代

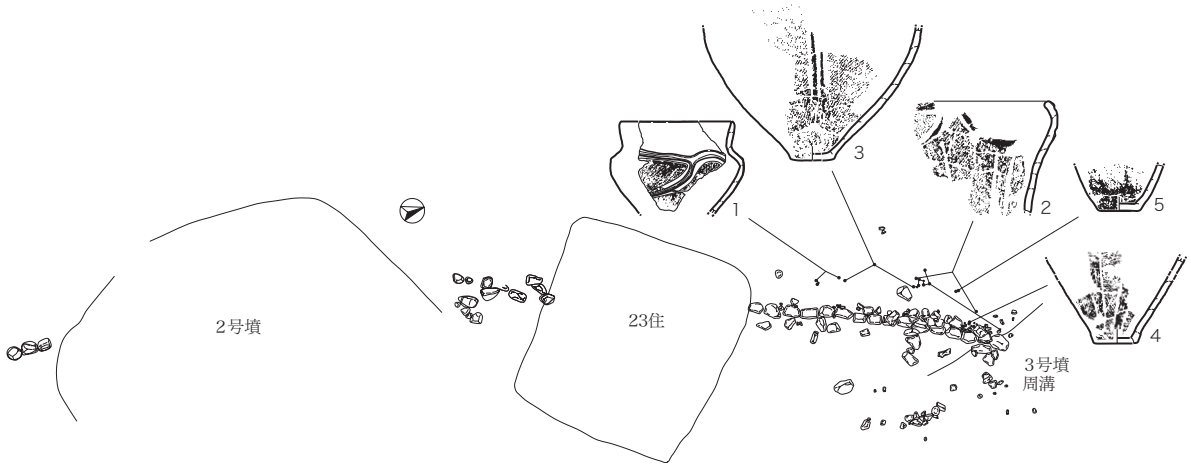
琴平山古墳の２号土坑は黒曜石の剥片を廃棄した土坑である。小日向壱丁田Ⅱ遺跡の３号墳の墳丘下からは概ね南北に延びる弧状列石が検出され、２号墳南側まで約26mにわたって確認された。南端は途切れるが、北側は調査区外へ続く。列石は30㎝大の扁平礫の広口面を長軸方向に配置したものである。北部では列石が最大３段に平積みされるほか、内側に小規模な配石が直交して取り付き、外側では加曽利Ｅ３式の深鉢が出土した。本遺跡西方の田中西遺跡で加曽利Ｅ３式期の敷石住居が検出されていることから、本遺跡の弧状列石は集落の東縁部に構築されたものと判断される。

⑵　弥生時代

後期の竪穴住居跡26軒と埋甕１基が検出された。１住・14住は10.6m×7.8mの大型住居で、14住は６本の主柱穴を有する。５住・10住・11住などの小型住居を除き壁柱穴を有する住居が多い。平成18年度調査区Ｙ１住は、方形に近いプラン、柱位置、壁周溝の存在が他の住居と異なっている。炉は枕石１石を置くものが大半だが、17住では土器敷炉、８住・10住・20住では石囲炉が検出された。平成18年度調査の３号溝は弧状列石より新しく、２号墳より古い円形周溝状遺構である。

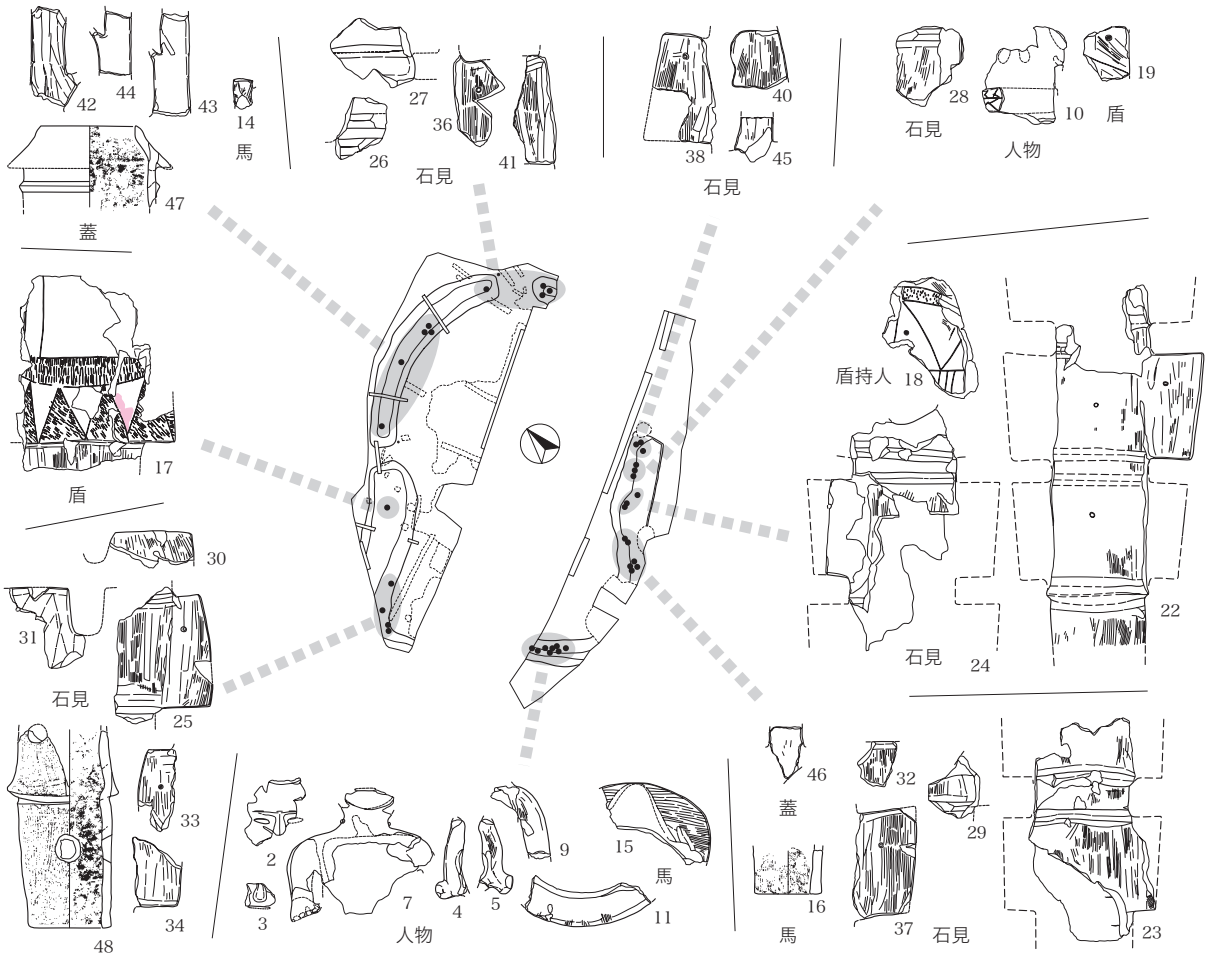
⑶　古墳時代

琴平山古墳は周溝を含む全長51.5mの前方後円墳である。後円部径39.0m、前方部長21.5m、周溝幅2.8m～6.4m、周溝深さ50～90㎝である。南に緩傾斜する旧地形のために周溝底面の標高は南側が約１m低い。主体部は削平されている。後円部の北西部と北東部には掘り残しによる陸橋が存在し、小



第278図　弧状列石（縮尺１／200、土器１／16）

ピットを１基ずつ伴う。平成17年度調査区では周溝底面まで葺石が確認された。後円部北側の周溝覆土中には破砕された須恵器甕がある。周溝底部から朝顔形円筒埴輪、円筒埴輪、形象埴輪（人物・盾持人・馬・盾・石見・蓋）が広い範囲で出土した。また、過去に心葉形杏葉が出土したとされる。朝顔形円筒埴輪は円筒部の段数から、６段構成（９）と７段構成（10）の２タイプが存在するものと想定される。円筒埴輪も３段構成と４段構成の２タイプが存在する。外面調整は一次タテハケのみである。胎土には片岩や粗粒チャートが顕著に観察され、藤岡地域で生産されたものと考えられる。20は肥厚する口縁部を有するもので組合せ式器財埴輪の円筒基台部の可能性があり、口縁部片ではあるが、57～62も同様の埴輪と思われる。円筒基台部は群馬県東部の塚廻り古墳群（太田市）や古海松塚37号墳（大泉町）に類例がある。人物埴輪は、振り分け髪（１）、美豆良（４・５）、垂髪（７）の男子が認められる。２は島田髷が剥落した可能性もあるが、女子人物と確実に判断できるものではない。13は人物本体から剥落した太鼓で、正面側に線刻を施している。馬形埴輪はいずれも部分破片で詳細は不明である。盾形埴輪（17）は刺突もしくは短沈線を密に加えている。塚廻り４号墳など６世紀前半の古墳出土例に散見される意匠である。19も盾形埴輪と判断したもので、小孔内に棒状と推測される鉄製品片が残存していた。18は盾面上側の状態から盾持人と判断したもので、盾面の小孔内に19と同様の鉄製品片が残存していた。石見型埴輪（22～41）は４個体以上が存在するようである。ヒレ部は３段と想定され、



第279図　琴平山古墳形象埴輪出土位置図（縮尺１／1,000、埴輪１／12）

裏側の円筒部には複数の透孔がある。ヒレ部の上側には小孔があり、孔内に鉄製品片が残存するものがみられた（22・33・38）。小孔内に鉄製品が残る石見型埴輪は、他に市尾今田２号墳（奈良県）・堂山２号墳（大阪府）の例がある（註１）。群馬県内の石見型埴輪は、一ノ宮４号墳（富岡市）・前二子古墳（前橋市）からの出土が報告されている程度で、極めて稀少な資料といえる。時期的にも群馬県内の石見型埴輪は６世紀前半に限定されているようである。なお、関東地方では他に確実な出土例がない。蓋形埴輪は、立ち飾りの破片と笠部確認されている。形象埴輪の胎土は円筒埴輪と同様に片岩や粗粒チャートを顕著に含有するものがほとんどである。これらの埴輪の特徴から、琴平山古墳の築造時期は６世紀前半と考えられる。

小日向壱丁田Ⅱ遺跡の４基の円墳は後期の群集墳である。出土した少量の須恵器から７世紀代の築造と判断される。円筒埴輪片は琴平山古墳からの紛れ込みである。最大規模の１号墳は周溝を含む径30ｍで、主体部は横穴式石室である。石室内は撹乱を受けていたが、石室の控え積みと墳丘の葺石が残存していた。東側周溝が４号墳を避けることから、４号墳が先行するとみられる。２号墳周溝内の２号土坑は周溝埋没後、As－B軽石以前の土坑墓である。

⑷　平安時代

琴平山古墳の１号溝はAs－B軽石直下で検出された踏み跡で、墳丘裾を巻く道跡である。小日向壱丁田Ⅱ遺跡ではAs－B軽石下で２基の集石がある。1.2m×1.9mの長方形を呈する２号集石は、集石下で羽釜が出土し、３号墳の墳丘裾での何らかの儀礼行為を想定させるものである。

⑸　中　　世

小日向壱丁田Ⅱ遺跡１・２号溝は、１号墳の墳丘裾を巻く中世の道路跡である。３号溝は上位段丘の崖下に位置し、３号墳の墳丘を削り、琴平山古墳を巻くように延びる戦国期の溝である。溝内には古墳の葺石の転用と思われる礫が充填され、上面が硬化することから、石敷の道路跡の可能性がある。琴平山古墳の周溝はAs－B軽石降下後に人為的な埋め戻しがあるが、これは戦国期に松井田城の出城として築かれた小日向城に関わるものと推測される。

（常深　尚）

註１　河内一浩氏の御教示による。

参考文献

小板橋良平　1954『九十九史考』九十九村教育委員会
石坂　　茂　2004「関東・中部地方の環状列石－中期から後期への変容と地域的様相を探る」
『研究紀要22－創立25周年記念論文集－』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
江原昌俊他　2008『おくま山古墳（第１・２次）』東松山市教育委員会

小日向地区遺跡群

―県営農村振興総合整備事業（田園居住空間整備）小日向地区
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―

《第１分冊　本文・図版編１》

平成22年３月15日　印刷
平成22年３月19日　発行

編集・発行／安中市教育委員会
〒379-0292　群馬県安中市松井田町新堀245
TEL 027-382-1111（代表）

印　　刷／朝日印刷工業株式会社